開講科目表

授業回数…◎＝週２回、○＝週１回、●＝週１回・２時限連続を表しています。
DP及び学修成果の項目については、「英語科卒業認定・学位授与の方針と開講科目との関連」（P.53）および「英語科卒業認定・学位授与の方針及び学修成果獲得の観点」（P.64 ～ 66）を参照してください。

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
英語必修科目									講義内容（シラバス）→ P.1 ～ P.119		
ENG101	英語Ⅰ	2			◎		1	永野、平野、近藤、狩野、C.Oliver、神谷、Thomas、M.Lupas、B.Irwin、岩崎	・クラス指定 ・P.61(7)「履修上の注意」参照	3	3-①
ENG102	英語Ⅱ	2				◎	1	平野、神谷、Thomas、M.Lupas、B.Irwin、N.Cook、O.Ilina、岩崎、P.McQuilling、M.Wilkinson、J.Zhang	・クラス指定 ・P.61(7)「履修上の注意」参照	3	3-①
ENG201	英語Ⅲ	2			◎		2	R.Burton、N.Cook、G.Freddes、O.Ilina、小林(美)、O.Massoud、P.McQuilling、M.Wilkinson、A.Wintzer、J.Zhang	・クラス指定 ・P.61(7)「履修上の注意」参照	3	3-①
ENG202	英語Ⅳ	2				◎	2	B.Irwin、R.Burton、N.Cook、G.Freddes、岩崎、O.Massoud、P.McQuilling、M.Wilkinson、A.Wintzer	・クラス指定 ・P.61(7)「履修上の注意」参照	3	3-①
ENG111	TOEIC対策講座Ⅰ	1			○		1	C.Oliver、神谷、Thomas、M.Lupas、B.Irwin、M.Wilkinson	・クラス指定 ・P.61(7)「履修上の注意」参照	3	3-②
ENG112	TOEIC対策講座Ⅱ	1				○	1	O.Ilina、P.McQuilling、J.Zhang	・クラス指定 ・P.61(7)「履修上の注意」参照	3	3-②
英語選択必修科目（英語スキルズ）									講義内容（シラバス）→ P.120 ～ P.175		
ENG121	基礎英語スキルズ（生活の英語）		2		◎	◎	1･2	（春）O.Massoud （秋）A.Garin	[人]各30名	3	3-③
ENG123	基礎英語スキルズ（ライティング･文法）		2		◎	◎	1･2	（春）J.Zhang （秋）小林(美)	[人]各30名	3	3-③
ENG124	基礎英語スキルズ（リーディング･語彙）		2		◎	◎	1･2	石原	[人]各30名	3	3-③
ENG125	基礎英語スキルズ（旅行の英語）		2		◎		1･2	仲沢	[人]30名	3	3-③
ENG150	標準英語スキルズ（職場の英語）		2		◎		1･2	N.Cook	[人]30名	3	3-③
ENG160	標準英語スキルズ（メディアの英語）		2		◎	◎	1･2	（春）A.Garin （秋）仲沢	[人]各30名	3	3-③
ENG159	標準英語スキルズ（パブリックスピーキング）		2		◎		1･2	A.Wintzer	[人]30名	3	3-③
ENG158	標準英語スキルズ（ディスカッション）		2		◎	◎	1･2	（春）O.Ilina （秋）O.Massoud	[人]各30名	3	3-③
ENG162	標準英語スキルズ（ライティング･文法）		2		◎	◎	1･2	（春）R.Burton （秋）仲沢	[人]各30名	3	3-③
ENG163	標準英語スキルズ（リーディング･語彙）		2		◎	◎	1･2	石原	[人]各30名	3	3-③
ENG161	標準英語スキルズ（編入対策）		2		◎		1･2	岩崎	[人]30名	3	3-③

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
ENG164	標準英語スキルズ(アメリカの文化と社会)		2		◎		1･2	M.Wilkinson	[人]30名	3	3-③
ENG166	標準英語スキルズ(ホスピタリティの英語)		2			◎	1･2	小林(美)	[人]30名	3	3-③
ENG167	標準英語スキルズ(日本の文化)		2			◎	1･2	宮崎	[人]30名	3	3-③
ENG182	準上級英語スキルズ(TOEICスピーキング･ライティング対策)		2		◎		1･2	P.McQuilling	[人]30名	3	3-②,3-③
ENG183	準上級英語スキルズ(多読速読)		2		◎		1･2	M.Lupas	[人]30名	3	3-③
ENG184	準上級英語スキルズ(アカデミックライティング)		2			◎	1･2	R.Burton	[人]30名	3	3-③
ENG185	準上級英語スキルズ(翻訳演習)		2		◎		1･2	仲沢	[人]30名	3	3-③
ENG186	準上級英語アカデミックスキルズ(諸学問領域A)		2		◎		1･2	B.Irwin	[人]30名	3	3-③
ENG187	準上級英語アカデミックスキルズ(諸学問領域B)		2			◎	1･2	C.Oliver	[人]30名	3	3-③
ENG225	上級英語スキルズ(編入対策)		2		◎		1･2	平野	[人]30名	3	3-③
ENG226	上級英語スキルズ(TOEICスピーキング･ライティング対策)		2			◎	1･2	A.Garin	[人]30名	3	3-②,3-③
ENG229	上級英語スキルズ(SDGs)		2		◎		1･2	A.Garin	[人]30名	3	3-③
教養必修科目									講義内容（シラバス）→ P.176 ～ P.177		
SCH100	人間学Ⅰ	2			○		1	丹木、小林(宏)、島村	・クラス指定 ・P.61(7)「履修上の注意」参照	1,2	1-①,2-①
教養選択科目									講義内容（シラバス）→ P.178 ～ P.247		
SCH101	人間学Ⅱ			2		○	1･2	小林(宏)	[人]30名	1,2	1-①,2-①
HST201	歴史学A			2		○	1･2	森下	[人]30名	2	2-①
HST202	歴史学B			2		○	1･2	森下	[人]30名	2	2-①
PHL203	哲学A			2	○	○	1･2	丹木	[人] (春) 70名 (秋) 40名	1,2	1-①,2-①
PHL204	哲学B			2		○	1･2	(春) 休講 (秋) 丹木	[人]40名	1,2	1-①,2-①
REL201	宗教学A			2	○		1･2	(春) 小林(宏) (秋) 休講	[人]30名	1,2	1-①,2-①
REL202	宗教学B			2		○	1･2	(春) 休講 (秋) 小林(宏)	[人]30名	1,2	1-①,2-①
MUS201	音楽A			2		○	1･2	北村	[人]30名	2	2-①
MUS202	音楽B			2		○	1･2	北村	[人]70名	2	2-①
SOC201	社会学A			2	○	○	1･2	李	[人] (春) 70名 (秋) 95名	2	2-①
SOC202	社会学B			2	○	○	1･2	李	[人] (春) 70名 (秋) 95名	2	2-①
LAW211	日本国憲法A			2	○		1･2	牧	[人]40名	2	2-①

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
LAW212	日本国憲法Ｂ			2		○	1･2	牧	[人]30名	2	2-①
LAW201	法学Ａ			2	○		1･2	牧	[人]40名	2	2-①
LAW202	法学Ｂ			2		○	1･2	牧	[人]30名	2	2-①
EDU201	教育学Ａ			2		○	1･2	(春) 休講 (秋) 櫛桁	[人]70名	2	2-①
EDU202	教育学Ｂ			2	○	○	1･2	(春) 杉村 (秋) 黒田	[人] (春) 100名 (秋) 40名	2	2-①
ECN201	経済学Ａ			2	○		1･2	孫	[人]100名	2	2-①
ECN202	経済学Ｂ			2		○	1･2	孫	[人]100名	2	2-①
BUS201	経営学Ａ			2	○		1･2	杉山	[人]100名	2	2-①
BUS202	経営学Ｂ			2		○	1･2	杉山	[人]100名	2	2-①
SWF201	社会福祉入門Ａ			2		○	1･2	西牧	[人]40名	2	2-①
SWF202	社会福祉入門Ｂ			2		○	1･2	小山	[人]40名	2	2-①
JRN202	マスメディア論Ａ			2	○	○	1･2	吉武	[人] (春) 70名 (秋) 40名	2	2-①
JRN203	マスメディア論Ｂ			2	○	○	1･2	吉武	[人] (春) 70名 (秋) 40名	2	2-①
COM101	基礎コンピューター演習			2	○	○	1･2	(春) 坂本 (秋) 津垣	[人]各18名	2	2-②
MTH201	数学Ａ			2		○	1･2	津垣	[人]30名	2	2-①
MTH202	数学Ｂ			2		○	1･2	津垣	[人]30名	2	2-①
PSY201	心理学Ａ			2	○	○	1･2	奥村	[人]各70名	2	2-①
PSY202	心理学Ｂ			2	○	○	1･2	奥村	[人]各100名	2	2-①
PED100	体育理論 (ウエルネスと身体)			2	○	○	1･2	髙橋	[人]各40名	2	2-③
PED113	体育Ａ			1	○	○	1･2	若松	[人]各20名	2	2-③
PED114	体育Ｂ			1	○	○	1･2	若松	[人]各20名	2	2-③
基礎選択科目（異文化理解領域）									各領域の基礎科目は1年次履修が望ましい 講義内容（シラバス）→ P.248 ～ P.251		
REL210	キリスト教文化入門			4		◎	1･2	小林(宏)（輪講）	[人]100名	1,4	1-①,4-②
IDS210	異文化間 コミュニケーション			4	◎		1･2	C.Oliver	[人]95名	3,4	3-④,4-②
基礎選択科目（英米文学研究領域）									各領域の基礎科目は1年次履修が望ましい 講義内容（シラバス）→ P.252 ～ P.253		
LIT201	英文学概論			4	◎	◎	1･2	飯田	[人] (春) 40名 (秋) 30名	4	4-②
基礎選択科目（言語研究領域）									各領域の基礎科目は1年次履修が望ましい 講義内容（シラバス）→ P.254 ～ P.257		
LNG200	言語学概論			4	◎	◎	1･2	(春) 近藤 (秋) 神谷	[人]各40名	4	4-②
基礎選択科目（言語教育領域）									各領域の基礎科目は1年次履修が望ましい 講義内容（シラバス）→ P.258 ～ P.259		
EDU205	児童英語教育概説			4	◎		1･2	狩野	[人]95名	4,5	4-②,5-②

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
基礎選択科目									講義内容（シラバス）→ P.260 ～ P.287		
GMN101	ドイツ語Ⅰ			2	◎	◎	1･2	工藤	[人]各30名 PP.61-62(12)「履修上の注意」参照	4	4-①
GMN102	ドイツ語Ⅱ			2	◎		1･2	工藤	[人]30名 ・「ドイツ語Ⅰ」既修者か、それに相当する者に限る ・P.60(4)、PP.61-62(12)「履修上の注意」参照	4	4-①
FRN101	フランス語Ⅰ			2	◎	◎	1･2	渡邉	[人]各30名 PP.61-62(12)「履修上の注意」参照	4	4-①
FRN102	フランス語Ⅱ			2	◎		1･2	渡邉	[人]30名 ・「フランス語Ⅰ」既修者か、それに相当する者に限る ・P.60(4)、PP.61-62(12)「履修上の注意」参照	4	4-①
SPN101	スペイン語Ⅰ			2	◎	◎	1･2	関	[人]各30名 PP.61-62(12)「履修上の注意」参照	4	4-①
SPN102	スペイン語Ⅱ			2	◎		1･2	関	[人]30名 ・「スペイン語Ⅰ」既修者か、それに相当する者に限る ・P.60(4)、PP.61-62(12)「履修上の注意」参照	4	4-①
CHN101	中国語Ⅰ			2	◎	◎	1･2	廣重	[人]各30名 PP.61-62(12)「履修上の注意」参照	4	4-①
CHN102	中国語Ⅱ			2	◎		1･2	廣重	[人]30名 ・「中国語Ⅰ」既修者か、それに相当する者に限る ・P.60(4)、PP.61-62(12)「履修上の注意」参照	4	4-①
KOR101	韓国語Ⅰ			2	◎	◎	1･2	金	[人]各30名 PP.61-62(12)「履修上の注意」参照	4	4-①
JPN250	日本語表現法			2	○	○	1･2	大山	[人]各30名	4	4-①
SEF200	キャリアプランニング			2		○	1･2	森下(輪講)	[人]100名 同窓会寄附講座	4	4-①
SEF100	アカデミックスキルズ・フォローアップ講座			1		○	1･2	森下	[人]30名	2	2-④
ENG252	留学準備Ａ			1	○		1･2	岩崎	[人]40名	3,4	3-④,4-①
ENG253	留学準備Ｂ			1		○	1･2	狩野	[人]30名	3,4	3-④,4-①
専門必修科目									講義内容（シラバス）→ P.288 ～ P.365		
SES100	基礎ゼミナール	2			○		1	平野、丹木、宮崎、杉村、小林(宏)、飯田	・クラス指定 ・P.61(7)「履修上の注意」参照	2	2-④
SES150	プレ・ゼミナール(永野)	2				○	1	永野	・P.61(7)「履修上の注意」参照 ・原則として2年次に履修する「ゼミナールⅠ」・「ゼミナールⅡ」担当教員と同一であること。但し、教員のサバティカルにより同一教員が履修できない場合がある。詳細は「ゼミナール説明会」(6月実施)で説明する。	4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール(平野)	2				○	1	平野		4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール(近藤)	2				○	1	近藤		4	4-③

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
SES150	プレ・ゼミナール(丹木)	2				○	1	丹木	・P.61(7)「履修上の注意」参照 ・原則として2年次に履修する「ゼミナールⅠ」・「ゼミナールⅡ」担当教員と同一であること。但し、教員のサバティカルにより同一教員が履修できない場合がある。詳細は「ゼミナール説明会」(6月実施）で説明する。	4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール(森下)	2				○	1	森下		4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール(宮崎)	2				○	1	宮崎		4,5	4-③,5-①
SES150	プレ・ゼミナール(狩野)	2				○	1	狩野		4,5	4-③,5-②
SES150	プレ・ゼミナール(Oliver)	2				○	1	C.Oliver		3,4	3-④,4-③
SES150	プレ・ゼミナール(神谷)	2				○	1	神谷		4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール(杉村)	2				○	1	杉村		4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール(小林)	2				○	1	小林（宏）		4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール(Thomas)	2				○	1	Thomas		3,4	3-④,4-③
SES150	プレ・ゼミナール(Lupas)	2				○	1	M.Lupas		3,4	3-④,4-③
SES150	プレ・ゼミナール(Irwin)	2				○	1	B.Irwin		3,4	3-④,4-③
SES200	ゼミナールⅠ(永野)	2			○		2	永野	・P.61(7)「履修上の注意」参照 ・原則として、「ゼミナールⅠ」と「ゼミナールⅡ」は同一教員の担当科目を履修する。	4	4-④
SES200	ゼミナールⅠ(平野)	2			○		2	平野		4	4-④
SES200	ゼミナールⅠ(近藤)	2			○		2	近藤		4	4-④
SES200	ゼミナールⅠ(丹木)	2			○		2	丹木		4	4-④
SES200	ゼミナールⅠ(森下)	2					2	2023年度休講		4	4-④
SES200	ゼミナールⅠ(宮崎)	2			○		2	宮崎		4,5	4-④,5-①
SES200	ゼミナールⅠ(狩野)	2			○		2	狩野		4,5	4-④,5-②
SES200	ゼミナールⅠ(Oliver)	2			○		2	C.Oliver		3,4	3-④,4-④
SES200	ゼミナールⅠ(神谷)	2			○		2	神谷		4	4-④
SES200	ゼミナールⅠ(杉村)	2			○		2	杉村		4	4-④
SES200	ゼミナールⅠ(小林)	2			○		2	小林（宏）		4	4-④
SES200	ゼミナールⅠ(Thomas)	2			○		2	Thomas		3,4	3-④,4-④
SES200	ゼミナールⅠ(Lupas)	2			○		2	M.Lupas		3,4	3-④,4-④
SES300	ゼミナールⅡ(永野)	2				○	2	永野	・P.61(7)「履修上の注意」参照 ・原則として、「ゼミナールⅠ」と「ゼミナールⅡ」は同一教員の担当科目を履修する。	4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ(平野)	2				○	2	平野		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ(近藤)	2				○	2	近藤		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ(丹木)	2				○	2	丹木		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ(森下)	2					2	2023年度休講		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ(宮崎)	2				○	2	宮崎		4,5	4-④,5-①

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
SES300	ゼミナールⅡ(狩野)	2				○	2	狩野	・P.61(7)「履修上の注意」参照 ・原則として、「ゼミナールⅠ」と「ゼミナールⅡ」は同一教員の担当科目を履修する。	4,5	4-④,5-②
SES300	ゼミナールⅡ(Oliver)	2				○	2	C.Oliver		3,4	3-④,4-④
SES300	ゼミナールⅡ(神谷)	2				○	2	神谷		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ(杉村)	2				○	2	杉村		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ(小林)	2				○	2	小林（宏）		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ(Thomas)	2				○	2	Thomas		3,4	3-④,4-④
SES300	ゼミナールⅡ(Lupas)	2				○	2	M.Lupas		3,4	3-④,4-④
専門選択科目（異文化理解領域）									講義内容（シラバス）→ P.366 ～ P.383		
HST310	東洋研究			4	◎		1･2	玉置	[人]100名	4	4-⑤
HST302	西洋研究			4			1･2	2023年度休講	隔年開講	4	4-⑤
JPN311	日本文化			4			1･2	2023年度休講	隔年開講	4	4-⑤
HST301	英米史			4			1･2	2023年度休講	隔年開講	4	4-⑤
HST300	比較社会史			4		◎	1･2	森下	[人]100名 隔年開講	4	4-⑤
INT301	国際関係論			4	◎	◎	1･2	大木	[人]各95名	4	4-⑤
ANT200	文化人類学			4		◎	1･2	C.Oliver	[人]100名	3,4	3-④,4-⑤
ART200	現代美術			4	◎		1･2	G.Freddes	[人]70名	3,4	3-④,4-⑤
EDU302	比較・国際教育学			4	◎		1･2	杉村	[人]100名	4	4-⑤
PHL210	倫理学			4		◎	1･2	丹木	[人]30名	1,4	1-①,4-⑤
SOC301	平和と開発			4		◎	1･2	Thomas	[人]70名	3,4	3-④,4-⑤
IDS300	デジタルメディアリテラシー			4		◎	1･2	B.Irwin	[人]40名	3,4	3-④,4-⑤
専門選択科目（英米文学研究領域）									講義内容（シラバス）→ P.384 ～ P.391		
LIT323	イギリスの文化と文学			4	◎		1･2	山本	[人]70名	4	4-⑤
LIT310	英詩研究			4		◎	1･2	飯田	[人]95名 隔年開講	4	4-⑤
LIT320	演劇研究			4			1･2	2023年度休講	隔年開講	4	4-⑤
LIT321	小説研究			4		◎	1･2	永野	[人]95名	4	4-⑤
LIT322	映画と文学			4	◎		1･2	飯田	[人]95名	4	4-⑤
専門選択科目（言語研究領域）									講義内容（シラバス）→ P.392 ～ P.401		
LNG310	社会言語学			4	◎		1･2	神谷	[人]40名	4	4-⑤
LNG305	音声学			4		◎	1･2	奥澤	[人]100名	4	4-⑤
LNG330	日本語学			2		○	1･2	大山	[人]95名	4	4-⑤

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
LNG302	語用論			4		◎	1・2	近藤	[人]95名	4	4-⑤
ENG360	英語史			4		◎	1・2	山本	[人]70名	4	4-⑤
専門選択科目（言語教育領域）									講義内容（シラバス）→ P. 402 ～ P. 423		
LNG320	バイリンガル教育			2	○		1・2	宮崎	[人]40名	4, 5	4-⑤, 5-①
EDU310	初等教育			4		◎	1・2	杉村	[人]95名	4	4-⑤
EDU300	児童英語教育演習Ａ			4	●		2	狩野	[人]各25名 ・「児童英語教育概説」、「児童英語指導者養成講座」、「第二言語習得」「リテラシーと多文化教育」のうち、いずれかの科目の既修者に限る ・P.60(4)「履修上の注意」参照	4, 5	4-⑤, 5-②
EDU301	児童英語教育演習Ｂ			4		●	1・2	狩野		4, 5	4-⑤, 5-②
EDU206	児童英語指導者養成講座			4		◎	1・2	杉村	[人]30名	4, 5	4-⑤, 5-②
SLE201	サービスラーニング入門講座			1	○	○	1・2	宮崎	[人]（春）95名 （秋）70名	4, 5	4-⑤, 5-①, 5-②
SLE301	サービスラーニング（小中学校日本語支援Ａ）			3	◎		2	大山	[人]各20名 ・「サービスラーニング入門講座」既修者に限る ・P. 60(4)、P. 62(14)「履修上の注意」参照	4, 5	4-⑤, 5-①
SLE302	サービスラーニング（小中学校日本語支援Ｂ）			3		◎	1・2	宮崎		4, 5	4-⑤, 5-①
SLE303	サービスラーニング（地域日本語支援Ａ）			3	◎		2	宮崎		4, 5	4-⑤, 5-①
SLE304	サービスラーニング（地域日本語支援Ｂ）			3		◎	1・2	大山		4, 5	4-⑤, 5-①
EDU322	リテラシーと多文化教育			4		◎	1・2	M. Lupas	[人]95名	3, 4	3-④, 4-⑤
専門選択科目（その他）											
SES399	インデペンデント・スタディ			2			1・2	担当教員	詳細はP. 62「履修上の注意」参照	3, 4	3-④, 4-⑤
ENG260	海外短期語学講座			2			1・2	短期留学制度	詳細はP. 42「単位認定」参照	3	3-④

上智大学短期大学部の必修英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

1. 目標 Goals

- 「他者のために、他者とともに」という本学の精神を持つ責任ある地球市民となるために必要な様々な問題について理解を深める
- 複眼的かつ分析的に物事を考える力をつける
- 他者の考えを理解し、自分の考えを効果的に表現する英語力をつける
- 自律した英語学習者となるための知識とスキルを身につける

2. 内容 Contents

◆英語Ⅰ　他者と共に生きる：人とのつながりと人生の意味を探究する

English I. Living with others: Exploring relationships and life values

英語Ⅰでは自分自身、身近な他者との関係、人生設計などに関する内容を扱います。

◆英語Ⅱ　異文化との遭遇：他者を理解し尊重する

English Ⅱ. Crossing cultures: Understanding and respecting others

英語Ⅱでは世界の様々な国の多様な文化について扱います。

◆英語Ⅲ　日本における社会問題：より良いコミュニティーを目指して

English Ⅲ. Social issues in Japan: Toward a better community

英語Ⅲでは地域社会や日本全体にかかわる問題を扱います。それらの問題は必ずしも日本特有のものではないかもしれませんが、日本でどのように問題が顕在化し捉えられているかに焦点を当てます。

◆英語Ⅳ　日本と世界：国際社会で生きる

English Ⅳ. Japan and the world: Living in an international community

英語Ⅳでは世界が直面している重要な問題について扱います。必ずしも全ての問題が日本と大きな関係があるとは限りませんが、世界の重要な問題について日本と日本人がどのような役割を果たすことができるのかについて考えます。

科目名	ENG101:　英語Ⅰ			担当教員	永野 良博，平野 幸治，近藤 佐智子，狩野 晶子，C. Oliver，神谷 雅仁，Thomas，M. Lupas，B. Irwin，岩崎 明子
開講期	春	分類	必修		
単位	2	標準受講年次	1年		

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** **英語Ⅰ　他者と共に生きる：人とのつながりと人生の意味を探究する** This course will cover a variety of topics related to the individual, her direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English. Examples of topics that might be included: ・family, friends, interpersonal relationships; ・love, marriage, children; ・growing up, growing older, growing old; ・school, work, independence, lifestyle changes; ・illness, caring for others; ・service learning; ・ethical challenges faced in life; ・life goals, aspirations, dreams; ・the value of life, the meaning of death.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
課題等に対するフィードバック方法	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。 For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1-28	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.		

テキスト	科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
参考書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG102: 英語Ⅱ			担当教員	平野 幸治，神谷 雅仁，Thomas, M. Lupas，B. Irwin，N. Cook, O. Ilina，岩崎 明子，P. McQuilling, M. Wilkinson，J. Zhang
開講期	秋	分類	必修		
単位	2	標準受講年次	1年		

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English Ⅱ. Crossing cultures: Understanding and respecting others** **英語Ⅱ　異文化との遭遇：他者を理解し尊重する** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English. Examples of topics that might be included: ・cultural traditions, myths, folklore; ・holidays, celebrations, rituals; ・world religions, religious beliefs and customs; ・art, literature, music, popular culture; ・humor in different countries; ・food, clothing, housing, daily life; ・mass media, media language, media images; ・stereotypes, ethnocentrism; ・cultural identity, ethnic identity, national identity.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
課題等に対するフィードバック方法	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。 For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1-28	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.		

テキスト	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
参考書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG201:　英語Ⅲ			担当教員	R. Burton, N. Cook, G. Freddes, O. Ilina, 小林 美文, O. Massoud, P. McQuilling, M. Wilkinson, A. Wintzer, J. Zhang
開講期	春	分類	必修		
単位	2	標準受講年次	2年		

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English Ⅲ. Social issues in Japan: Toward a better community** **英語Ⅲ　日本における社会問題：より良いコミュニティーを目指して** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan. Examples of topics that might be included: ・Japan's aging population; ・gender discrimination; ・crime, youth crime; ・homelessness; ・Japan's high suicide rate; ・victims of natural disasters; ・depopulation of the countryside; ・child abuse, elder abuse, animal abuse; ・volunteerism.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
課題等に対するフィードバック方法	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。 For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1-28	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.		

テキスト	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
参考書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG202: 英語Ⅳ			担当教員	B. Irwin, R. Burton, N. Cook, G. Freddes, 岩崎 明子, O. Massoud, P. McQuilling, M. Wilkinson, A. Wintzer
開講期	秋	分類	必修		
単位	2	標準受講年次	2年		

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** **英語Ⅳ　日本と世界：国際社会で生きる** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues. Examples of topics that might be included: ・human rights, animal rights; ・immigration, refugees; ・religious freedom, religious suppression; ・environmental destruction, environmental activism; ・NGOs, NPOs, JICA, the UN; ・international conflicts, terrorism, war, peace; ・overpopulation; ・famine, poverty; ・child labor; ・AIDS.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.
評価基準	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
課題等に対するフィードバック方法	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。 For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1-28	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.		

テキスト	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
参考書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student’s final grade.

科目名	ENG101:　英語Ⅰ（1）					担当教員	M. Lupas
開講期	春	開講時限	火金 3 限			研究室	4206
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** This course will cover a variety of topics related to the individual, her direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will be able to: use appropriate vocabulary and expressions for expressing their opinions on 12 topics connected to daily life, make individual slide presentations about their hometown, prepare and write up an interview with an appropriate person about the Showa era, write an organized essay with organized paragraphs having topic, supporting, and concluding sentences, make and execute individual study plans according to their English language goals, write formal emails in English to a teacher, and create a worksheet presenting a short book and testing its comprehension.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Assessment (25%); Independent learning (15%).
評価基準	**Participation:** active participation in class sessions, writing workshops, and book worksheet circles. **Homework:** unit review sheets that summarize main vocabulary and grammar for each topic are evaluated on completeness and timely submission (18%). “My Hometown” presentation and essays are evaluated on criteria in *English Essentials (EE)* for presentations and essays (12%). **Assessment**: conversation test: carrying on a good conversation (*EE*, page 18) (5%), extensive reading word count (10%) and essays evaluated to categories in *EE*, page 70 (10%). **Independent learning (IL):** plans and results are complete, timely, and sent in a formal email to the teacher. Reports are complete and submitted on time. A presentation on “What I Learned in IL” is evaluated on appropriate content, length, organization, and delivery.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course. Conversations	lecture, pair and group work	Make an independent learning plan and send a formal email.
2	Interpersonal Relationships: Introducing Yourself	Warm-up, reading, pair and group work	Do extensive reading in XReading, 3000 words or more.
3	Interpersonal Relationships: People in other cultures	Warm-up, reading, pair and group work	Do extensive reading in XReading, 3000 words or more.
4	Introduction to Extensive Reading. How to use Xreading. Conversations	Warm-up, reading, pair and group work	Do extensive reading, 1000 words and unit review sheet.
5	Lifestyle: Sleep according to you and your culture. Independent Learning Report Sharing	Warm-up, reading, pair and group work	Do April IL report and email.
6	Lifestyle: Sleep and Rest in other cultures	Warm-up, reading, pair and group work	Do extensive reading in XReading, 3000 words or more.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	School: classroom relationships for you and in your culture	Warm-up, reading, pair and group work	Do extensive reading, 1000 words and unit review sheet.
8	School: classroom relationships in other cultures Writing Paragraphs	Warm-up, reading, pair and group work	Do extensive reading in XReading, 3000 words or more.
9	Friends and Family: Having Guests in Your Home	Warm-up, reading, pair and group work	Do extensive reading,1000 words and unit review sheet.
10	Friends and Family: Having Guests in the home in other cultures	Warm-up, reading, pair and group work	Do extensive reading in XReading, 3000 words or more.
11	Truth and Lies: having a conversation or discussion in your culture. Writing 1	Warm-up, reading, pair and group work	Write unit review sheet.
12	Truth and Lies: having a conversation or discussion in other cultures	Warm-up, reading, pair and group work	Do extensive reading in XReading, 3000 words or more.
13	Introduce Writing about the Showa Era (interview an appropriate person)	Warm-up, reading, pair and group work	Do May Independent Learning report and e-mail.
14	Working life: In a shop for you and your culture	Warm-up, reading, pair and group work	Write unit review sheet.
15	Working life: In a shop for people in other cultures. What is an essay?	Warm-up, reading, pair and group work	Do extensive reading in XReading, 3000 words or more.
16	Romance and Relationships: You and your culture	Warm-up, reading, pair and group work	Write unit review sheet.
17	Romance and Relationships: life choices Share essays about the Showa Era	Warm-up, reading, pair and group work	Write and bring Showa essay.
18	Parents and Children: You and your culture Essay Workshop	Warm-up, reading, writing	Write unit review sheet.
19	Parents and Children: in other cultures Introduce book worksheets	Warm-up, reading, pair and group work	Do extensive reading in XReading, 4000 words or more.
20	Helping others: Asking for help and favors in your culture	Warm-up, reading, pair and group work	Write unit review sheet.
21	Helping others: Asking for help in other cultures Book Worksheet circles	Warm-up, reading, pair and group work	Do extensive reading in XReading, 4000 words or more.
22	Introduce “My Hometown” Presentations	Warm-up, reading, pair and group work	Do June Independent Learning report and e-mail / unit review
23	Attitudes towards strangers: in my culture Preparing My Hometown presentations	Warm-up, reading, workshop	Do extensive reading in XReading, 4000 words or more.
24	Attitudes towards strangers: in other cultures Preparing My Hometown presentations	Warm-up, reading, workshop	Do extensive reading in XReading, 4000 words or more.
25	My Hometown Presentations	Warm-up, reading, student presentations	Write unit review sheet.
26	Essay Workshop	Warm-up, reading, writing	Do extensive reading in XReading, 4000 words or more.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Independent Learning Presentations Sharing essays	Warm-up, reading, student presentations	Do July Independent Learning report and e-mail.
28	Reflecting on this class	Warm-up, reading, pair and group work	Reflect on your English learning.

テキスト	① S. Richmond and B. Vannieu. *Ibunka! Intercultural Communication in Everyday Life* (Alma). ② X-Reading.com 6-month student subscription.
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG101:　英語Ⅰ（2）					担当教員	C. Oliver
開講期	春	開講時限	火金４限			研究室	4205
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** This course will cover a variety of topics related to the individual, her direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to remember and use key English vocabulary to discuss various issues related to “relationships and life values;” use problem / solution thinking when expressing their views on these issues; express their ideas in a short, well-organized presentation with good delivery; utilize problem / solution thinking in the presentation; create and carry out three-week plans for independent English study; manage one’s time to complete assigned independent learning tasks.
評価方法	Participation and performance in classroom activities, including short speeches (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment (25%), including two vocabulary tests (10%) and final presentation (15%); Independent learning (15%).
評価基準	Participation and performance: active everyday involvement, effort to use English, use of vocabulary studied, content and delivery of speeches; Homework: completed thoroughly, submitted on time, use of vocabulary studied, use of problem / solution thinking; Vocabulary tests: correct answers to multiple-choice, matching, and fill-in questions; Final presentation: length, suitability of theme, use of a “preview” in Introduction, organization, delivery, problem / solution thinking; Independent learning (IL): IL Study Plans, IL Reflection Sheets, and IL Journal completed thoroughly and submitted on time, and evidence of timely completion of assigned IL tasks.
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course	explanation by instructor, pair work	Review syllabus after class
2	Friendship (textbook Unit 2); explanation of short speech #1	pair work, small-group discussion, listening	Review Unit 2 textbook content
3	Friendship (supplementary materials); Independent Learning (IL) guidelines	pair work, small-group discussion	Review Unit 2 supplementary materials
4	Love (textbook Unit 19); discuss IL Study Plan #1; recap of Unit 2	pair work, small-group discussion, listening	Write Unit Recap; write IL Study Plan #1

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	Love (supplementary materials)	pair work, small-group discussion	Review Unit 19
6	Short speech #1; speech / presentation organization	speeches, lecture	Prepare speech
7	Compromise (textbook Unit 12); recap of Unit 19; explanation of short speech #2	pair work, small-group discussion, listening	Write Unit Recap
8	Compromise (supplementary materials); discuss IL progress	pair work, small-group discussion	Review Unit 12; write IL Reflection Sheet #1
9	Adolescence and adulthood (textbook Unit 4); recap of Unit 12; discuss IL Study Plan #2	pair work, small-group discussion, listening	Write Unit Recap; write IL Study Plan #2
10	Adolescence and adulthood (suppl. materials)	pair work, small-group discussion	Review Unit 4
11	Living as an adult (textbook Unit 10); recap of Unit 4	pair work, small-group discussion, listening	Write Unit Recap
12	Living as an adult (supplementary materials)	pair work, small-group discussion	Review Unit 10
13	Short speech #2	speeches	Prepare speech
14	Vocabulary Test #1; recap of Unit 10; expl. of short speech #3; Earning money (textb. Unit 8)	test, pair work, small-group discussion	Write Unit Recap; write IL Reflection Sheet #2
15	Earning money (supplementary materials); discuss IL Study Plan #3	pair work, small-group discussion	Write IL Study Plan #3
16	Career choice (textbook Unit 13); recap of Unit 8	pair work, small-group discussion, listening	Write Unit Recap
17	Career choice (supplementary materials)	pair work, small-group discussion	Review Unit 13
18	Workplace relationships (textb. Unit 11); recap of Unit 13; return Test #1 and go over results	pair work, small-group discussion, listening	Write Unit Recap
19	Workplace relationships (supplementary materials)	pair work, small-group discussion	Review Unit 11
20	Divorce (textbook Unit 20); recap of Unit 11; discuss IL progress	pair work, small-group discussion, listening	Write Unit Recap; write IL Reflection Sheet #3
21	Short speech #3; explanation of final presentation; discuss IL Study Plan #4	speeches, small-group discussion	Prepare speech; write IL Study Plan #4
22	Divorce (supplementary materials)	pair work, small-group discussion	Review Unit 20
23	Starting a family (textbook Unit 7); recap of Unit 20	pair work, small-group discussion, listening	Write Unit Recap
24	Starting a family (supplementary materials)	pair work, small-group discussion	Review Unit 20
25	Vocabulary Test #2; recap of Unit 7	test, pair work	Write Unit Recap
26	Return Test #2 and go over results; course evaluation; discuss IL progress; final pres. prep.	pair work, small-group discussion	Write IL Reflection Sheet #4; prep. IL Journal (submit today)
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final presentations	presentations	Prepare presentation
28	Final presentations	presentations	Prepare presentation

テキスト	Richard R. Day, Joseph Shaules, and Junko Yamanaka. *Impact Issues 3* (Pearson).

科目名	ENG101:　英語Ⅰ（3）					担当教員	Thomas
開講期	春	開講時限	火金４限			研究室	4211
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** This course will cover a variety of topics related to the individual, her direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English ・For students to acquire academic writing skills
到達目標（学修成果）	By the end of this course students should be able to: ・express their ideas on ‘living with others’ and ‘life values’ confidently and logically ・do a short research on one’s own hometown and make PowerPoint presentation systematically ・write a paragraph and short essay academically ・deliver a short speech and engage in a discussion using simple English
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	To be distributed at the first class.
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to syllabus, teaching materials and class policies	Lecture, self-introduction, pair work	Buy textbook, read syllabus
2	Unit 1. Lesson 1. Make generalizations, auxiliary verbs, paragraph writing	Lecture, pair work, reading, listening	Do exercises (Ex) on page (p.) 8-9, English Essentials p. 51-52
3	Unit 1. Lesson 2. Write an informal e-mail, pros and cons of Facebook	Lecture, reading, writing, speaking, pair work	Read article on p. 12, do Ex on p. 11-13
4	Unit 1. Lesson 3. Retell a simple narrative in your own words	Lecture, reading, writing, speaking, pair work	Do Ex on p. 14-16
5	Unit 2. Lesson 1. Give opinions and agree / disagree	Lecture, reading, writing, speaking, pair work	Do Ex on p. 20-22
6	Unit 2. Lesson 2. Deal with problems, relative clauses, relative clauses	Lecture, reading, writing, speaking, pair work	Do Ex on p. 23-25, read the article on p. 24

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Unit 2. Lesson 3. Describe an important event from your life	Lecture, reading, pair work, writing	Do Ex on p. 26-28, prepare for wring activity on p. 28
8	Unit 3. Lesson 1. Write a letter of complaint, presentation on ‘My Hometown’, Quiz	Lecture, reading, speaking, pair work	Do Ex on p. 32-34, prepare for presentation & quiz
9	Unit 3. Lesson 2. Compare cities, comparatives	Lecture, reading, speaking, pair work	Do Ex on p. 35-37, prepare for presentation
10	Unit 3. Lesson 3. Make a formal phone call, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, speaking, pair work	Do Ex on p. 38-40, prepare for presentation
11	Unit 4. Lesson 1. Make small talk, question tags, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, speaking, pair work	Do Ex on p. 44-46, prepare for presentation
12	Unit 4. Lesson 2. Make and respond to invitations, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, speaking, pair work	Do Ex on p. 47-49, prepare for presentation
13	Unit 4. Lesson 3. Write a short, classified ad, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, pair work, writing	Do Ex on p. 50-52, prepare for presentation
14	Unit 5. Lesson 1. Suggest and respond to ideas, presentation on ‘My Hometown’, Quiz	Lecture, reading, listening, speaking	Do Ex on p. 56-58, prepare for presentation & quiz
15	Unit 5. Lesson 2. Describe a movie or book, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, speaking, listening, pair work	Do Ex on p. 59-61, prepare for presentation
16	Unit 5. Lesson 3. Recommend a restaurant, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, pair work, writing	Do Ex on p. 62-64, prepare for presentation
17	Unit 6. Lesson 1. Describe a memorable photo, presentation on ‘My Hometown’, Quiz	Lecture, reading, listening, pair work	Do Ex on p. 68-70, prepare for presentation & quiz
18	Unit 6. Lesson 2. Get around a new place, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, pair work, writing	Do Ex on p. 71-73, prepare for presentation
19	Unit 6. Lesson 3. Show interest and surprise, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, listening, pair work	Do Ex on p. 74-76, prepare for presentation
20	Unit 7. Lesson 1. Describe a learning experience, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, listening, pair work	Do Ex on p. 80-83, prepare for presentation & quiz
21	Unit 7. Lesson 2. Describe a teacher from your past, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, listening, pair work, speaking	Do Ex on p. 83-85, prepare for presentation
22	Unit 7. Lesson 3. Talk about abilities, modals of ability, past and present	Lecture, reading, listening, pair work	Do Ex on p. 86-89
23	Unit 8. Lesson 1. Talk about cause and result, unreal conditional	Lecture, reading, listening, pair work	Do Ex on p. 92-94, prepare for the writing activity on p. 94
24	Unit 8. Lesson 2. Talk about change, adverbs	Lecture, reading, listening, speaking	Do Ex on p. 95-97, read article on p. 96
25	Unit 8. Lesson 3. Describe the effect of important decisions, past unreal conditional	Lecture, reading, pair work, writing	Do Ex on p. 98-100, prepare for the writing activity on p. 100
26	Unit 9. Lesson 1. Present ideas to a group, prepare for quiz	Lecture, reading, listening, speaking	Do Ex on p. 104-106, read the article on p. 104
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Unit 9. Lesson 2. Report information, reported speech	Lecture, reading, listening, speaking	Do Ex on p. 107-109
28	Unit 9. Lesson 3. State routine job requirements, past obligation / permission	Lecture, reading, listening, speaking	Do Ex on p. 110-112, submit final report

テキスト	Maria Victoria Saumell and Sarah Louisa Birchley. *English in Common 4* (Pearson).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG101:　英語Ⅰ（4）					担当教員	神谷　雅仁
開講期	春	開講時限	月木 3 限			研究室	4215
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** This course will cover a variety of topics related to the individual, her direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	Dealing with various topics related to English I’s common theme, students will be able to improve their receptive skills including extensive and intensive reading through various assignments and exercises in the textbook and English articles from newspapers, and listening skills through various exericises in the textbook and interactions with the teacher and classmates. They will also be able to improve their productive skills including oral communication skills such as giving a speech, and paragraph-writing skills. In addition, they will be able to build up their vocabulary through a TOEIC vocabulary book.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as a final presentation and vocabulary quizzes (25%); Independent learning (15%).
評価基準	To be distributed at the first class.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course Overview and how to study English	Lecture, reading, discussion, Q&A	Review the syllabus and check the class assignments.
2	Oral practice: talking about yourself and getting to know each other	Discussion, oral activities, Q&A	Prepare some questions to ask in class.
3	Course assignments to be explained Paragraph organization①: basic structure	Reading, discussion, lecture & doing exercises	Read class syllabus and Units 6 of *English Essentials.*
4	Paragraph organization②: topic sentence and supporting sentences	Reading, discussion, lecture & doing exercises	Read class syllabus and Units 5 & 6 of *English Essentials.*
5	Paragraph organization③: writing paragraphs; vocab. quiz	Reading, discussion, lecture & doing exercises	Read Units 5 & 6 of *English Essentials* and do homework.
6	Unit 1: Roommates: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 1 of *New Connection 2*; prepare WSR 1
7	Unit 13: Right and Wrong: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 13 of *New Connection 2.*

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unit 5: Close Ties: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 5 of *New Connection 2.*
9	Unit 4: Money Management: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 4 of *New Connection 2.*
10	Review of THEME①：Cover the units of THEME① that haven't been finished yet; quiz	Lecture, oral practice, group work, exercises	Review Units 1, 13, 5, and 4 of *New Connection 2.*
11	Unit 11: Study Abroad: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 11 of *New Connection 2.*
12	Unit 14: Your Career Starts Now: practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 14 of *New Connection 2.*
13	Review of THEME②：Cover the units of THEME② that haven't been finished yet	Lecture, oral practice, group work, exercises	Review Units 11 and 14 of *New Connection 2.*
14	Unit 3: Get in Shape: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 3 of *New Connection 2*; prepare WSR 2
15	Prep. for speech：talking about evaluation and outline, and reviewing speech organization, etc.	Lecture, group work, discussion (Q&A)	Read Units 2 and 5 of *English Essentials*
16	Unit 10: Music to Our Ears: practice 4 skills and learn vocab. and grammar; vocab. quiz	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 10 of *New Connection 2*; prep. for quiz.
17	Review of THEME③：Cover the units of THEME③ that haven't been finished yet	Lecture, oral practice, group work, exercises	Review Units 3 and 10 of *New Connection 2.*
18	Speech to be given by all the students; comments and reflections	Deliver a speech, give feedback and evaluation	Write the outline; practice and rehearse for speech.
19	Unit 7: Animals in Danger: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 7 of *New Connection 2.*
20	Unit 12: Technology and You: practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 12 of *New Connection 2.*
21	Unit 2: Checking Out: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook; quiz	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 2 of *New Connection 2*; prep. for quiz.
22	Unit 9: Tune In: practice 4 skills and learn vocab. and grammar in the textbook	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 9 of *New Connection 2.*
23	Unit 6: Time to Celebrate: practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 6 of *New Connection 2*; prepare WSR 3.
24	Book Report: a brief presentation about the book they read; peer review and discussion	Group work, in-class discussion, evaluation	Prepare to present what they read for Book Report.
25	Prep. for Final Presentation 1 (evaluation, outline, schedule, etc.); vocab. quiz	Lecture, group work, discussion (Q&A)	Read Units 2 & 5 of *English Essential*; prep. for quiz.
26	Prep. for Final Presentation 2 (structure of a presentation to be reviewed; rehearsing)	Lecture, group work, discussion (Q&A)	Write an outline for in-class group discussion.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final Presentation: GROUP 1. Deliver presentation and give feedback	Students' presentation, Q&A, and evaluation	Prepare for presentation: script, outline, practice and rehearsal.
28	Final Presentation: GROUP 2. Deliver presentation and give feedback. Course review	Students' presentation, Q&A, and evaluation	Prepare for presentation: script, outline, practice and rehearsal.

テキスト	①角山照彦, Andrey Dubinsky, David Edward Keane. *New Connection Book 2*（成美堂）. ②ロバート ヒルキ他『新装版 TOEIC テスト スーパー英単語―5 人のエキスパートが選んだ 3000 語』（アルク）
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook* 福島範昌『英語が英語のままわかる本：頭の中に英語回路をつくる実践トレーニング』（The Japan Times）

科目名	ENG101: 英語Ⅰ（5）					担当教員	Thomas
開講期	春	開講時限	火金 3 限			研究室	4211
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** This course will cover a variety of topics related to the individual, her direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English ・For students to acquire academic writing skills
到達目標（学修成果）	By the end of this course students should be able to: ・express their ideas on ‘living with others’ and ‘life values’ confidently and logically ・do a short research on one’s own hometown and make PowerPoint presentation systematically ・write a paragraph and short essay academically ・deliver a short speech and engage in a discussion using simple English
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	To be distributed at the first class.
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to syllabus, teaching materials and class policies	Lecture, self-introduction, pair work	Buy textbook, read syllabus
2	Unit 1. Lesson 1. Talk about personal likes and dislikes, paragraph writing	Lecture, pair work, reading, listening	Do exercise (Ex) on page (p.) 8-9, English Essentials p. 51-52
3	Unit 1. Lesson 2. Ask and answer questions about daily routines	Lecture, pair work, listening	Do Ex on p. 10-11
4	Unit 1. Lesson 3. Write an email to update someone about your life	Lecture, reading, listening, writing	Do Ex on p. 12-13, prepare for the writing exercise on p. 13
5	Unit 2. Lesson 1. Talk about personal event in the past, simple past	Lecture, pair work, writing, listening	Do Ex on p. 18-19, prepare for the writing exercise on p. 19
6	Unit 2. Lesson 2. Compare yourself to another person, agreement, *so* and *neither*	Lecture, pair work, reading, listening	Do Ex on p. 20-21, read the article on p. 20

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Unit 2. Lesson 3. Talk about personal achievements and experiences	Lecture, pair work, listening, speaking	Do Ex on p. 22-23
8	Unit 3. Lesson 1. Tell a friend about your future plans, presentation on ‘My Hometown’, Quiz	Lecture, pair work, reading, listening	Do Ex on p. 28-29, prepare for presentation and quiz
9	Unit 3. Lesson 2. Write an informal invitation, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, pair work, writing, listening	Do Ex on p. 30-31, prepare for the writing exercise on p. 31
10	Unit 3. Lesson 3. Make plans with a friend, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, pair work, reading, listening	Do Ex on p. 32-33, read the article on p. 32
11	Unit 4. Lesson 1. Compare people, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, pair work, reading, listening	Do Ex on p. 38-39, prepare for presentation
12	Unit 4. Lesson 2. Write a thank you note, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, pair work, writing, listening	Do Ex on p. 40-41, prepare for presentation
13	Unit 4. Lesson 3. Ask polite questions, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, pair work, reading, listening	Do Ex on p. 42-43, prepare for presentation
14	Unit 5. Lesson 1. Exchange opinions with a friend, ‘My Hometown’	Lecture, pair work, reading, listening	Do Ex on p. 48-49, prepare for presentation
15	Unit 5. Lesson 2. Write a personal profile, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, pair work, reading, writing	Do Ex on p. 50-51, prepare for presentation
16	Unit 5. Lesson 3. Describe yourself when you are younger	Lecture, pair work, speaking, listening	Do Ex on p. 52-53, prepare for presentation
17	Unit 6. Lesson 1. Make general predictions, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, pair work, speaking, listening	Do Ex on p. 58-59, prepare for presentation
18	Unit 6. Lesson 2. Give explanations for choices, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, pair work, speaking, listening	Do Ex on p. 60-61, prepare for presentation
19	Unit 6. Lesson 3. Describe a favorite place, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, pair work, reading, writing	Do Ex on p. 62-63, prepare for presentation
20	Unit 7. Lesson 1. Describe a person’s physical appearance, ‘My Hometown’, Quiz	Lecture, pair work, speaking, listening	Do Ex on p. 68-69, prepare for presentation and quiz
21	Unit 7. Lesson 2. Describe someone’s personality, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, pair work, listening, speaking	Do Ex on p. 70-71, prepare for presentation
22	Unit 7. Lesson 3. Talk about illness and give advice, presentation on ‘My Hometown’	Lecture, pair work, reading, writing	Do Ex on p. 72-73, prepare for presentation
23	Unit 8. Lesson 1. Describe simple changes, passive voice	Lecture, pair work, speaking, listening	Do Ex on p. 78-79, read the paragraphs on p. 78
24	Unit 8. Lesson 2. Find out personal information, review of question types	Lecture, pair work, speaking, listening	Do Ex on p. 80-81, read the paragraph on p. 80
25	Unit 8. Lesson 3. Ask and answer questions about past actions	Lecture, pair work, reading, writing	Do Ex on p. 82-83, prepare for the writing exercise on p. 83
26	Unit 9. Lesson 1. Respond to simple job interview questions, quiz	Lecture, pair work, speaking, listening	Do Ex on p. 88-89, prepare for quiz
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Unit 9. Lesson 2. Talk about your abilities, *can, could, be able to*	Lecture, pair work, speaking, listening	Do Ex on p. 90-91
28	Unit 9. Lesson 3. Write a short article, passive voice: past	Lecture, pair work, reading, speaking	Do Ex on p. 92-93, submit final report

テキスト	Maria Victoria Saumell and Sarah Louisa Birchley. *English in Common 3* (Pearson).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG101: 英語Ⅰ（6）					担当教員	平野　幸治
開講期	春	開講時限	火金 3 限			研究室	4210
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** This course will cover a variety of topics related to the individual, her direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to recognize and use key vocabulary and phrases from the textbook with correct pronunciation; understand and think critically about social issues on relationships with family, friends and people in their community; express their opinions and deliver interesting and informative two-to-three-minute presentations; and be autonomous learners in setting their own independent learning goals.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	Participation and performance (active participation in class activities, including discussions, group work, and oral presentations); Homework (timely completion of assignments, presentations, and independent learning reflection sheets); Testing and assessment: quizzes (correct answers demonstrating knowledge of course content using correct grammar and newly acquired vocabulary); presentations (well-organized and prepared; following the guidelines in English Essentials); Independent learning (timely completion of three independent learning plans with IL reflections sheets).
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction; getting to know each other; assessment; introduce *In Focus* Online Study	Teacher’s explanation, pair & group work	Review syllabus; prep self-introduction
2	Unit 1: The Effect of Advertising; consider lifestyles; self introductions	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 1-5, reading, vocab. & ***Unit 1 Online***
3	Unit 1: Continue; finish self introductions; think about life values based on advertisement	Discussion, pair & group work	Study pp. 6-8, reading, vocab. & ***English Essentials*** pp. 6-9
4	Unit 2: Extreme Sports; think about interpersonal relationship through sports	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 9-11, reading, vocab. & ***Unit 2 Online***
5	Unit 2: Continue; discuss Independent learning plan #1; Quiz #1 (Units 1, 2)	Quiz, reading, listening, pair work, discussion	Study for Quiz #1 & pp. 12-16, reading, vocab.
6	Unit 3: Our Aging Population; think about growing old; return Quiz #1 and go over results	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 17-21, reading, vocab. & ***Unit 3 Online***
7	Unit 3: Continue; introduce public speaking & Presentation #1	Discussion, pair & group work	Study pp. 22-24 & ***English Essentials*** pp. 19-22

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unit 4: Robots in the Home; consider lifestyles; prepare Presentation #1	Quiz, reading, listening, pair work, discussion	Study for Quiz #2 & pp. 25-27, reading & vocab.
9	Unit 4: Continue; prepare Presentation #1; Quiz #2 (Units 3, 4)	Quiz, reading, listening, pair work, discussion	Study for Quiz #2 & pp. 28-32, vocab. & ***Unit 4 Online***
10	Presentation #1; reflections on IL Plan #1; return Quiz #2 and go over results	Presentation, pair & group work, discussion	Prep presentation #1; write IL Reflections #1
11	Unit 5: Animals: Our Research Partners?; think about ethical issues through animal rights	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 33-35, reading, vocab. & ***Unit 5 Online***
12	Unit 5: Continue; give feedback on Presentation #1; discuss Independent Learning Plan #2_a	Discussion, listening, pair & group work	Study pp. 36-37, reading, vocab.; write IL Plan #2
13	Unit 6: The Online Information Debate; consider lifestyles; discuss IL Plan #2_b	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 41-45, reading, vocab. & ***Unit 6 Online***
14	Unit 6: Continue; reflections on IL Plan #2; Quiz #3 (Units 5, 6)	Quiz, reading, listening, pair work, discussion	Study for Quiz #3 & write IL Reflections #2
15	Unit 7: Online Advertising: Making Our Lives Better?; return Quiz #3 and go over results	Discussion, listening, pair & group work	Study pp. 49-53, reading, vocab. & ***Unit 7 Online***
16	Unit 7: Continue; think about the value of life; prepare Presentation #2	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 57-59, reading, vocab. & ***Unit 8 Online***
17	Unit 8: Winning at Any Cost; interpersonal relationship through sports; Presentation #2	Presentation, pair & group work, discussion	Study pp. 60-61, reading, vocab.; prep Presentation #2
18	Unit 8: Continue; give feedback on Presentation #2; Quiz #4 (Units 7, 8); discuss IL Plan #3	Quiz, reading, listening, pair work, discussion	Prep presentation #2; write IL plan #3
19	Unit 9: Do You Want to Live Forever?; return Quiz #4 and go over results	Quiz, reading, listening, pair work, discussion	Study for Quiz #4 & pp. 65-67 & ***Unit 9 Online***
20	Unit 9: Continue; think about the meaning of death; discuss IL Plan #3	Discussion, listening, pair & group work	Study pp. 68-72, reading, vocab. & ***Unit 9 Online***
21	Unit 10: I Lost My Job to a Machine!; prepare Presentation #3; reflections on IL Plan #3	Reading, listening, pair work, discussion	Study pp. 73-77 & write IL Reflections #3
22	Unit 10: Continue; consider work & workplace; prepare Presentation #3; Quiz #5 (Units 9, 10)	Quiz, reading, listening, pair work, discussion	Study for Quiz #5 & pp. 78-80, & ***Unit 10 Online***
23	Unit 11: Treatment of Animals; return Quiz #5 and go over results; Presentation #3	Presentation, pair & group work, discussion	Study pp. 81-85, reading, vocab. & prep presentation #3
24	Unit 11: Continue; consider love; give feedback on Presentation #3	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 86-88, reading, vocab. & ***Unit 11 Online***
25	Unit 12: Who Owns the News?; consider independence; discuss *English Essentials*	Discussion, listening, pair & group work	Study pp. 89-93 & ***English Essentials*** pp. 26-32
26	Unit 12: Continue; prepare Presentation #4; Quiz #6 (Units 11, 12); discuss IL Plan #4	Discussion, pair & group work	Study for Quiz #6 & ***Unit 12 Online***
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentation #4; return Quiz #6 and go over results; reflections on IL Plan #4	Presentation, pair & group work, discussion	Prep presentation #4; write IL Final Reflections
28	Remaining presentations (if any); give feedback on Presentation #4, and recap of the semester	Discussion, pair & group work	Review textbook units and IL plans and reflections

テキスト	C. Brown et all. *IN FOCUS Book 1* (Cambridge University Press).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	To access to the Online website, students are supposed to buy a new textbook with its access code, not a second-hand textbook.

科目名	ENG101: 英語Ⅰ（7）					担当教員	永野　良博
開講期	春	開講時限	月木 3 限			研究室	4218
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** This course will cover a variety of topics related to the individual, her direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	This course expects students to increase vocabulary and gain grammar knowledge, to gain expressive skills in discussions, oral presentations, and Q&A, to understand paragraph writing and basic essay writing. Students will learn these skills as they deepen their understanding of English I themes. Also, students are expected to develop independent learning skills. The final goal is to write and present a discussion essay.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	Participation and performance: active and constructive involvement with conversation, discussion, and Q&A; presentation delivered with clarity of voice, eye-contact, good posture, appropriate voice inflection, readiness for Q&A, etc.. Homework assignments: essays showing significant thesis, solid structure, original thoughts, logical development, significant conclusion, etc.. Testing and assessment (Take-home exam): fully understanding vocabulary, grammar, reading, and writing skills covered in the main textbook. Independent learning: detailed study reports on the main textbook and books students choose.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction. First Impressions: relationships, appearance, gender equality	Reading, listening, discussion	Read the main textbook pp.10-11
2	First Impressions: relationships, appearance, gender equality (structuring your opinion)	Reading, listening, discussion, writing	Read the main textbook pp.12-13
3	Learning presentation skills: loud and clear voice, voice inflection, eye contact, posture	Reading, reading aloud	Read English Essentials pp.19-25
4	Practicing presentation skills. First Impressions (oral presentation)	Oral presentation, Q&A	Prepare for presentation
5	Independent learning tasks and pronunciation practice	Lecture, Q&A	Start independent learning (special tasks)

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Getting ahead: education, relationships, culture	Reading, listening, discussion	Read the main textbook pp.22-23
7	Getting ahead: education, relationships, culture (structuring your opinion)	Reading, listening, discussion, writing	Read the main textbook pp.24-25
8	Getting ahead: education, relationships, culture (oral presentation)	Oral presentation, Q&A	Prepare for presentation
9	What are friends for?: friendship, relationship	Reading, listening, discussion	Read the main textbook Unit 6, pp.30-31
10	What are friends for?: friendship, relationship (structuring your opinion)	Reading, listening, discussion, writing	Read the main textbook Unit 6, pp.32-33
11	What are friends for?: friendship, relationship (oral presentation)	Oral presentation, Q&A	Prepare for presentation
12	Paragraph writing: topic sentence, supporting details, concluding sentence	Reading, writing	Read English Essentials pp.51-60
13	Your online past: technology, privacy	Reading, listening, discussion	Read the main textbook Unit 8, pp.38-39
14	Your online past: technology, privacy (structuring your opinion)	Reading, listening, discussion, writing	Read the main textbook Unit 8, pp.40-41
15	Take-home exam #1 (announcement) Essay writing: introduction, body, conclusion	Testing, reading, writing	Prepare for a test, read English Essentials pp.61-70
16	Essay writing: time order, space order, cause and effect	Reading, writing	Read English Essentials pp.61-70 and read a handout
17	Essay writing: unity, coherence, discussion essay	Reading, writing	Read a handout
18	Taking care of father: family, aging, city life Return take-home exam #1 and go over results	Reading, listening, discussion	Read the main textbook Unit 9, pp.42-43
19	Taking care of father: family, aging, city life (structuring your opinion)	Reading, listening, discussion, writing	Read the main textbook Unit 9, pp.44-45
20	Taking care of father: family, aging, city life (oral presentation)	Oral presentation, Q&A	Prepare for presentation
21	My student life: education, lifestyle, future plans	Reading, listening, discussion	Read the main textbook Unit 10, pp.46-47
22	My student life: education, lifestyle, future plans (structuring your opinion)	Reading, listening, discussion, writing	Read the main textbook Unit 10, pp.48-49
23	My student life: education, lifestyle, future plans (oral presentation)	Oral presentation, Q&A	Prepare for presentation
24	Government control: government, social issues, family	Reading, listening, discussion, writing	Read the main textbook Unit 14, pp.62-65
25	Take-home exam #2 (announcement). A mother's story: crime, punishment, compassion	Reading, listening, discussion	Read the main textbook Unit 20, pp.86-87
26	A mother's story: crime, punishment, compassion (structuring your opinion)	Reading, listening, discussion, writing	Read the main textbook Unit 20, pp.88-89
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final oral presentation: discussion essay	Oral presentation, Q&A	Prepare for presentation
28	Final oral presentation: discussion essay Return take-home exam #2 and go over results	Oral presentation, Q&A	Prepare for presentation

テキスト	Richard R. Day, et al. *Impact Issues 2: Presenting Your Ideas in English* (Pearson Longman).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG101:　英語Ⅰ（8）					担当教員	岩崎　明子
開講期	春	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** This course will cover a variety of topics related to the individual, her direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to think and talk ideas on everyday-life issues of college students; make a clear speech on each topic; discuss the topic with others; write an essay with well-structured passage, and confidently deliver about five-minute PowerPoint presentation that includes clear message with effective visual aid and performance.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	**Participation and performance**: active involvement in-text exercises, discussions, group work, and short speech; **Homework**: submission of assignments (writing, etc.) in time; **Assessmen**t: ①result of vocabulary quizzes and review tests; ②final presentation and report (w / quality of research, clear facts and opinions, persuasive message, effective visual aid, and performance) [*following guidelines in English Essentials]; **Independent Learning**: submission of IL plans, review reports, journals on time.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview Independent learning	lecture, group work	pp.1-5
2	Ut.1 Personality: Reading strategy (RS): guessing	lecture, pair work	IL. plan#1 pp.6-7
3	Personality Your music and your personality	reading, pair work	pp.8-9
4	Personality: short speech①	writing, pair work, speech	p.9 prepare writing and speech
5	Ut.2 Happiness (RS): skimming	lecture, pair work	pp.12-13
6	Happiness A businessman’s view	reading, pair work	pp.14-15

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Happiness: short speech②	writing, pair work, speech	p.16 prepare writing and speech
8	Ut.3 Friendship (RS): scanning	lecture, pair work	IL. review #1 & plan #2: journals, pp.18-19
9	Friendship What I like most about my best friend	reading, pair work	pp.20-21
10	Friendship :short speech③	writing, pair work, speech	p.22 prepare writing and speech
11	Review1, Topic of final presentation: Kindness brainstorming	review exercise lecture	p.24 prepare exercise p.56
12	Unit.4 Difficult decisions (SR): making predictions	lecture, pair work	pp.28-29
13	Unit.4 Difficult decisions Choosing right career	reading, pair work	pp.30-31
14	Unit.4 Difficult decisions: short speech④	writing, pair work, speech	pp.32-33 prepare writing and speech
15	Ut.5 Life-changing moments (SR): making inference	lecture, pair work	IL. Review #2 & plan #3: journals, pp.34-35
16	Ut.5 Life-changing moments Ana and her fiancé	reading, pair work	pp.36-37
17	Ut.5 Life-changing moments: short speech⑤	writing, pair work, speech	p.38 prepare writing and speech
18	Ut.6 Unexpected events (SR): interpreting	lecture, pair work	pp.40-41
19	Ut.6 Unexpected events A surprise gold medal	reading, pair work	pp.42-43
20	Ut.6 Unexpected events: short speech ⑥	writing, pair work, speech	pp.44-45 prepare writing and speech
21	Review2, Presentation outline: Kindness	review exercise lecture	p.46, prepare exercise p.56
22	Ut.7 Finding love (SR): making judgement	lecture, pair work	IL. review #3 & plan #4: journals, pp.50-51
23	Ut.7 Finding love A night club romance	reading, pair work	pp.52-53
24	Ut.7 Finding love: short speech⑦	writing, pair work, speech	p.54 prepare writing and speech
25	How to make a presentation	lecture, pair work, peer editing	Prepare presentation script
26	Presentation (1), Question & Answer	presentation, evaluation	presentation, evaluation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentation (2) Q&A	presentation, evaluation	IL review #4: journals presentation, evaluation
28	Presentation (3) Q&A, wrap-up the course	presentation, evaluation	presentation, evaluation

テキスト	Osamu Takeuch (2022). *A Good Read 1- Developing Strategies for Effective Reading [Pre-Intermediate]* (松柏社).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG101: 英語Ⅰ (9)					担当教員	近藤 佐智子
開講期	春	開講時限	月木3限			研究室	4208
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** This course will cover a variety of topics related to the individual, her direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English. To develop students' speaking abilities, in particular, each student will present short speeches and be involved in group discussions for some of the topics covered in the class. Students will learn how to write English paragraphs through their preparation for the speeches.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of "For Others, With Others" ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to read and critically analyze articles on relationships with family, friends, and people in their community; remember and use key vocabulary related to these issues; express their opinions about the issues both in writing and speaking; make presentations using visual aids; be an autonomous learner of English through making vocabulary lists, doing Extensive Reading Project, and keeping Independent Learning (IL) Journal.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests (25%); Independent learning (15%).
評価基準	To be distributed at the first class.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction, Talking and Writing about Yourself	lecture, pair-work, speech	Read syllabus.
2	Why do we learn English? (Unit 20), How to Study English, Setting Goals: Can-Do List	lecture, reading, listening, discussion	Read pp. 86-89. Do exercises.
3	Friends: Shop Lifting (Unit 2)	reading, listening, pair work	Read pp. 14-16. Do exercises.
4	Friends: Good Friendship (Unit 2)	listening, speech	Read p. 17. Prepare for speech.
5	Friends: I'm not addicted! (Unit 3)	reading, listening, pair work, speech	Read pp. 18-21. Do exercises.
6	Family Values (Unit 7)	reading, listening, pair work	Read pp. 34-37. Do exercises.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Interpersonal Relationships: Saying “I love you.” (Unit 6)	reading, listening, pair work	Read pp. 30-33. Do exercises.
8	Interpersonal Relationships: Someone Special, Extensive Reading Presentation (1)	reading, listening, speaking, presentation	Prepare for extensive reading presentation.
9	Interpersonal Relationships: A Visit to Grandma (Unit 9)	reading, listening, pair work, speech	Read pp. 42-45. Do exercises.
10	In-Class Test (1) (40 min.), IL Journal Discussion (60 min.)	test, discussion, reading *English Essentials*	Prepare for test. IL Journal & vocabulary (1) due
11	Interpersonal Relationships: Fan Worship (Unit 10)	reading, listening, pair work	Read pp. 46-49. Do exercises.
12	Return test (1) and go over results, Ethical Challenges: Pet Peeve (Unit 11)	reading, listening, pair work, speech	Read pp. 50-53. Do exercises.
13	Ethical Challenges: Close your Eyes and See (Unit 12)	reading, listening, pair work	Read pp. 54-56. Do exercises.
14	Ethical Challenges: Improving Life for People with Disabilities (Unit 12)	listening, speech, discussion	Read p. 57. Prepare for speech.
15	Presentations (Friends, Family, & Ethical Challenges)	presentations	Prepare for presentation.
16	Presentations (Friends, Family, & Ethical Challenges)	presentations	Prepare for presentation.
17	Ethical Challenges: Protecting our Environment (Unit 13)	reading, listening, pair work	Read pp. 58-60. Do exercises.
18	Ethical Challenges: What to Do for the Environment (Unit 13)	listening, speech, discussion	Read p. 61. Prepare for speech.
19	Ethical Challenges: Are humans smart? (Unit 18)	reading, listening, pair work	Read pp. 78-81. Do exercises.
20	Ethical Challenges: Cloning Cyndi (Unit 19)	reading, listening, pair work	Read pp. 82-85. Do exercises.
21	Beliefs: Flight 77 (Unit 16)	reading, listening, pair work, discussion	Read pp. 70-71. Do exercises. Interview worksheet due
22	Beliefs: What dream do you remember? (Unit 16)	listening, speech, discussion	Read pp. 72-73. Prepare for speech. Outline due
23	Life Goals and Dreams: Get a Job! (Unit 14) Extensive Reading Presentation (2)	reading, listening, pair work	Read pp. 62-64. Prepare for extensive reading presentation.
24	Life Goals and Dreams: Your Life Goals (Unit 14)	listening, speech, discussion	Read p. 65. Submit presentation script.
25	In-Class Test (2) (40 min.), Preparation for Presentation (70 min.)	test, discussion	Prepare for test. Prepare for presentation.
26	Presentations (Occupations)	presentations	Prepare for presentation. IL Journal & vocabulary (2) due
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentations (Occupations)	presentations	Prepare for presentation.
28	Return test (2) and go over results, Goals for the Future, Self-Assessment: Can-Do List	discussion, lecture	Write “My Future Goals.”

テキスト	Richard R. Day, Joseph Shaules and Junko Yamanaka. *Impact Issues 1: Presenting your Ideas in English, Third Edition* (Pearson Education South Asia Pte Ltd).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG101: 英語Ⅰ（10）					担当教員	B. Irwin
開講期	春	開講時限	火金 3 限			研究室	4216
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** This course will cover a variety of topics related to the individual, her direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of the semester, each student will be able to understand and use key vocabulary and grammar structures to facilitate conversation on a wide range of level appropriate topics. Through group work activities, students will be able to share opinions, organize, and collaborate effectively. Students will also be able to clearly express themselves in written English and oral presentations.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments and quizzes (30%); Testing and assessment, such as group presentations (20%) and final self-reflection report (5%); Independent learning (15%).
評価基準	Participation and performance: students are expected to be actively involved in each lesson and to participate in group and pair work. Homework assignments and quizzes: regular homework must be submitted in a timely manner. Vocabulary & Grammar quizzes will be conducted for each textbook unit studied in class.Testing and assessment: Group presentations: length, content, organization, and language accuracy; Final self-reflection report: content, thoughtfulness of reflection, plan for future improvement. Independent learning: complete all required activities in student workbook.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction: syllabus, learning materials, class policies, and expectations	Self-introductions and pair work	Read syllabus, review schedule & textbook
2	Unit 1. Connections: Listening & Speaking; Vocabulary & Grammar	Lecture, pair work, listening, speaking	Preview pp.1-5; Review Vocabulary & Grammar
3	Unit 1. Connections: Listening & Speaking; Reading and Writing	Lecture, pair work, reading, writing	Preview pp.6-9; Review Writing
4	Unit 1. Time to Speak: Short Group Presentations; Self-reflection	Lecture, group work, presentations	Preview p.10, Prepare Presentation; Review Feedback
5	Unit 1 Quiz; Unit 2. Work and Study: Listening & Speaking	Quiz; Lecture, pair work, listening, speaking	Study for Quiz; Preview pp.11-15; Review Voc. & Grammar
6	Unit 2. Work and Study: Listening & Speaking; Reading and Writing	Lecture, pair work, reading, writing	Preview pp.16-19; Review Writing
7	Unit 2. Time to Speak: Short Group Presentations; Self-reflection	Lecture, group work, presentations	Preview p.20, Prepare Presentation; Review Feedback

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unit 2 Quiz; Unit 4. Good Times: Listening & Speaking	Quiz; Lecture, pair work, listening, speaking	Study for Quiz; Preview pp.33-37; Review Voc. & Grammar
9	Unit 4. Good Times: Listening & Speaking; Reading and Writing	Lecture, pair work, reading, writing	Preview pp.38-41; Review Writing
10	Unit 4. Time to Speak: Short Group Presentations; Self-reflection	Lecture, group work, presentations	Preview p.42, Prepare Presentation; Review Feedback
11	Unit 4 Quiz; Unit 6. Buy Now, Pay Later: Listening & Speaking	Quiz; Lecture, pair work, listening, speaking	Study for Quiz; Preview pp.53-57; Review Voc. & Grammar
12	Unit 6. Buy Now, Pay Later: Listening & Speaking; Reading and Writing	Lecture, pair work, reading, writing	Preview pp.58-61; Review Writing
13	Unit 6. Time to Speak: Short Group Presentations; Self-reflection	Lecture, group work, presentations	Preview p.62, Prepare Presentation; Review Feedback
14	Unit 6 Quiz; Unit 7. Eat, Drink, Be Happy: Listening & Speaking	Quiz; Lecture, pair work, listening, speaking	Study for Quiz; Preview pp.65-69; Review Voc. & Grammar
15	Unit 7. Eat, Drink, Be Happy: Listening & Speaking; Reading and Writing	Lecture, pair work, reading, writing	Preview pp.70-73; Review Writing
16	Unit 7. Time to Speak: Short Group Presentations; Self-reflection	Lecture, group work, presentations	Preview p.74, Prepare Presentation; Review Feedback
17	Unit 7 Quiz; Unit 8. Trips: Listening & Speaking	Quiz; Lecture, pair work, listening, speaking	Study for Quiz; Preview pp.75-79; Review Voc. & Grammar
18	Unit 8. Trips: Listening & Speaking; Reading and Writing	Lecture, pair work, reading, writing	Preview pp.80-83; Review Writing
19	Unit 8. Time to Speak: Short Group Presentations; Self-reflection	Lecture, group work, presentations	Preview p.84, Prepare Presentation; Review Feedback
20	Unit 8 Quiz; Unit 10. Risky Business: Listening & Speaking	Quiz; Lecture, pair work, listening, speaking	Study for Quiz; Preview pp.97-101; Review Voc. & Grammar
21	Unit 10. Risky Business: Listening & Speaking; Reading and Writing	Lecture, pair work, reading, writing	Preview pp.102-105; Review Writing
22	Unit 10. Time to Speak: Short Group Presentations; Self-reflection	Lecture, group work, presentations	Preview p.106, Prepare Presentation; Review Feedback
23	Unit 10 Quiz; Unit 11. Me, Online: Listening & Speaking	Quiz; Lecture, pair work, listening, speaking	Study for Quiz; Preview pp.97-101; Review Voc. & Grammar
24	Unit 11. Me, Online: Listening & Speaking; Reading and Writing	Lecture, pair work, reading, writing	Preview pp.102-105; Review Writing
25	Unit 11. Time to Speak: Short Group Presentations; Self-reflection	Lecture, group work, presentations	Preview p.106, Prepare Presentation; Review Feedback
26	Unit 11 Quiz; Unit 12. Outdoors: Listening & Speaking	Quiz; Lecture, pair work, listening, speaking	Study for Quiz; Preview pp.107-111; Review Voc. & Grammar
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Unit 12. Outdoors: Listening & Speaking; Reading and Writing	Lecture, pair work, reading, writing	Preview pp.112-115; Review Writing
28	Unit 12. Time to Speak: Short Group Presentations; Self-reflection	Lecture, group work, presentations	Preview p.116, Prepare Presentation; Submit Final Self-Reflection Report

テキスト	Lindsay Clandfield, Ben Goldstein, Ceri Jones, and Philip Kerr. *Evolve 2* (Cambridge).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG101: 英語Ⅰ（11）					担当教員	狩野　晶子
開講期	春	開講時限	月木４限			研究室	4203
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** This course will cover a variety of topics related to the individual, her direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	Students will be able to read and listen to materials related to a given topic, identify and express their understandings and ideas with sufficient grammar and vocabulary. They will be able to apply and identify sequences of events, author’s purpose, and main ideas while learning how to summarize, categorize and scan for information. They will be able to give a presentation in an effective manner using the speaking and reading strategies learned in this course.
評価方法	①Participation and performance in classroom activities (30%); ②Homework assignments (30%); ③Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); ④Independent learning (15%).
評価基準	①effort to use English throughout the class, active participation in everyday class activities, appropriate use of key vocabulary and expressions from the textbook in class activities. ②score on homework assignments, submitted on time, thoroughly completed. ③score on in-class tests: listening comprehension, reading, writing, presentations and speech (criteria mentioned in English Essentials (EE) p.25, Organization and visuals; issues mentioned in EE pp. 26~39.). ④Independent learning (IL): IL Study Plans, IL Reflection Sheets, and IL Journal completed thoroughly and submitted on time.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Orientation to the class, create an independent learning (IL) study plan	explanation from teacher, pair work	Review syllabus, goals of class and assessment guidelines.
2	Unit 1: Welcome to the Neighborhood [sociology]	pair work, group work, discussion	Review IL guidelines. Study Unit 1, Worksheet.
3	Unit 1: Life in Longyearbyen	video viewing, pair work, group work	Review Unit 1. Work on pp. 3-17.
4	Unit 2: Oldest, Middle, Youngest [psychology / sociology]	pair work, group work, discussion	Write Unit 1 reflection sheet. Work on pp. 18-25.
5	Unit 2: Birth Order Theory Speech / presentation organization	pair work, group work, video viewing, lecture	Study Unit 2. Work on pp. 26-29.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Short speech #1; Feedback session	speech, peer-feedback, discussion	Prepare and rehearse short speech. Work on pp. 30-33.
7	Unit 3: I'm a Big Fan [music]	video viewing, pair work, group work	Study Unit 3. Work on pp. 34-41.
8	Unit 3: Why do we disagree about music?	video viewing, pair work, group work	Unit 3 worksheet. Review Unit 2 & 3 vocabulary.
9	Unit 4: The Beauty of Science [science]	video viewing, pair work, group work	Study Unit 4. Review textbook & video.
10	Unit 4: Three Science Experiments that Changed the World	video viewing, pair work, group work	Unit 4 worksheet. Work on Unit 4, pp. 50-59.
11	Unit 4: Science You Can Do at Home	video viewing, pair work, group work	Review Unit 4, prepare and rehearse short speech.
12	Short speech #2; discuss IL progress	speeches, pair work, small-group discussion	Review Units 1-4. Write IL Reflection Sheet.
13	Unit 5: Why We Buy [marketing]	video viewing, pair work, group work	Study Unit 5. Review textbook & video.
14	Unit 5: Eight Money-saving Tips	video viewing, pair work, group work	Unit 5 worksheet. Study Unit 5 vocabulary.
15	Unit 6: Animal Magic [environmental science]	video viewing, pair work, group work	Review Unit 6, prepare for small-group discussion.
16	Unit 6: The World Through Animal Eyes	pair work, group work, small-group discussion	Unit 6 worksheet. Study Unit 6 vocabulary.
17	Unit 7: Find Your Path [career studies] Make groups for presentation, decide topic.	pair work, group work, small-group discussion	Create outline and script for presentation. Review Unit 7.
18	Unit 7: Follow Your Path Peer-edit script for group presentation.	pair work, group work, peer-editing	Write second draft presentation script. Unit 7 worksheet.
19	Unit 8: The Happy Brain [behavioral science / cultural studies], Overview of *EE* 2 & 3	pair work, group work, lecture	Read *EE* Unit 2, presentation script revision. Review Unit 8.
20	Unit 8: Discussion: How to be happy Overview of *EE* Unit 4	pair work, lecture, small-group discussion	Read *EE* Unit 3, prepare visuals for presentation.
21	Group presentation and writing feedback comments to other groups.	lecture, group work, poster presentation	Read *EE* Unit 4, practice group presentation.
22	Peer-feedback on group presentation. Quiz: vocabulary and expressions	peer-feedback session, quiz.	Study for vocabulary and expressions quiz.
23	Return and go over vocabulary & expressions, quiz, recap of units covered in semester.	pair work, in-class writing	Review lesson materials covered in semester.
24	Prepare for final presentation. Discuss IL progress.	group work, individual guidance from instructor	Prepare presentation outline. Write IL Reflection Sheet.
25	Final presentations: Session 1	presentations, asking and answering questions	Prepare presentation. Write feedback comments.
26	Final presentations: Session 2	presentations, asking and answering questions	Prepare presentation. Write feedback comments.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Peer feedback on final presentation, In-class review quiz (Units 1-8 & *EE*). Go over results.	pair work, group work, in-class quiz	Independent learning Journal. Review Units 1-8 & *EE.*
28	Self-reflection of independent learning and quizzes, recap of the semester.	pair work, group work, discussion	Review textbook, *EE* and independent learning Journal.

テキスト	Jonathan Bygrave. *REFLECT Listening & Speaking 2* (National Geographic Learning).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG102:　英語Ⅱ（1）					担当教員	平野　幸治
開講期	秋	開講時限	火金 3 限			研究室	4210
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to recognize and use key vocabulary and phrases from the textbook with correct pronunciation; understand and think critically about various cultural aspects of Japan and other countries; express their opinions and deliver interesting and informative five-minute presentations; and be autonomous learners in setting their own independent learning goals.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	Participation and performance (active participation in class activities, including discussions, group work, and oral presentations); Homework (timely completion of assignments, presentations, and independent learning reflection sheets); Testing and assessment: quizzes (correct answers demonstrating knowledge of course content using correct grammar and newly acquired vocabulary); presentations (well-organized and prepared; following the guidelines in *English Essentials*); Independent learning (timely completion of three IL Plans with IL Reflections Sheets).
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction; getting to know each other; introduce *Skills for Success* Online Study	Teacher’s explanation, pair & group work	Review syllabus; prep self-introduction
2	Unit 1: Sociology; self-introductions; Independent learning guidelines	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 2-9, reading, vocab. & *Unit 1 Online*
3	Unit 1: Continue; finish self-introductions; introduce Natural English	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 10-18, reading, vocab. & *Unit 1 Online*
4	Unit 1: Continue; finish self-introductions; introduce Natural English	Discussion, pair & group work	Study pp. 19-27 & *English Essentials* pp. 6-9
5	Unit 2: Nutritional Science; introduce Independent learning plan #1	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 28-35, reading, vocab. & *Unit 2 Online*
6	Unit 2: Continue; discuss Independent learning plan #1; practice Natural English	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 36-43, reading, vocab. & *Unit 2 Online*

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Quiz #1 (Units 1, 2); Unit 2: Continue; discuss Independent learning Plan #1	Quiz, reading, listening, pair work, discussion	Study for Quiz #1 & study pp. 44-53, reading. Write IL Plan #1
8	Unit 3: Information Technology; reflections on Independent learning Plan #1	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 54-61, reading, vocab. & *Unit 3 Online*
9	Unit 3: Continue; return and go over Quiz #1; introduce public speaking & Presentation #1	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 62-69, reading, vocab. & *Unit 3 Online*
10	Unit 3: Continue; discuss Independent learning Plan #2; prepare Presentation #1	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 70-79 & *English Essentials* pp. 6-9
11	Unit 4: Marketing; discuss Independent learning Plan #2; prepare Presentation #1	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 80-88 &*Unit 4 Online*. Write IL Plan #2
12	Unit 4: Continue; Presentation #1; reflections on Independent learning Plan #2	Presentation, pair & group work, discussion	Study pp. 89-95 &*Unit 4 Online* & prep Presentation #1
13	Quiz #2 (Units 3, 4); Unit 4: Continue; reflections on Presentation #1	Quiz, reading, listening, pair work, discussion	Study pp. 96-103, reading, vocab. & study for Quiz #2
14	Unit 5: Psychology: introduce public speaking & Presentation #2	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 104-112, reading, vocab. & *Unit 5 Online*
15	Unit 5: Continue; return Quiz #2 and go over results; prepare Presentation #2	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 113-120, reading, vocab. & *Unit 5 Online*
16	Unit 5: Continue; Presentation #2; discuss Independent learning Plan #3	Presentation, pair & group work, discussion	Study pp. 121-129, reading, vocab. & prep Presentation #2
17	Unit 6: Neurology; reflections on Presentation #2; discuss Independent learning Plan #3	Discussion, listening, pair & group work	Study pp. 130-137 & *Unit 6 Online* & write IL Plan #3
18	Unit 6: Continue; introduce public speaking & Presentation #3; reflections on IL Plan #3	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 138-148, reading, vocab. & *Unit 5 Online*
19	Quiz #3 (Units 5, 6); Unit 6: Continue; prepare Presentation #3; discuss IL Plan #4	Quiz, reading, listening, pair work, discussion	Study pp. 149-157, reading, vocab. & study for Quiz #3
20	Unit 7: Economics; prepare Presentation #3; discuss Independent learning Plan #4	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 158-164, reading, vocab. & *Unit 7 Online*
21	Unit 7: Continue; return Quiz #5 and go over results; Presentation #3	Presentation, pair & group work, discussion	Study pp. 165-174 & *Unit 7 Online* & prep Presentation #3
22	Unit 7: Continue; reflections on Presentation #3; introduce public speaking & Presentation #4	Discussion, listening, pair & group work	Study pp. 175-185, reading, vocab. & *Unit 7 Online*
23	Unit 8: Behavioral Studies; discuss Independent learning Plan #4; prepare Presentation #4	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 186-192 & *Unit 8 Online* & write IL Plan #4
24	Unit 8: Continue; prepare Presentation #4; reflections on Independent learning Plan #4	Reading, pair work, listening, discussion	Study pp. 193-199 & *Unit 8 Online*
25	Quiz #4 (Units 7, 8); prepare Presentation #4; discuss *English Essentials* for presentations	Quiz, reading, listening, pair work, discussion	Study pp. 200-208 & *Unit 8 Online* & study for Quiz #4
26	Unit 8: Continue; return Quiz #4 and go over results; Presentation #4	Presentation, pair & group work, discussion	Study pp. 209-210 & prep Presentation #4
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Remaining presentations (if any); go over results	Presentation, pair & group work, discussion	Prep Presentation #4; write IL Reflections & Final Report
28	Reflections on Presentation #4; return Final Report, go over results and recap of the semester	Discussion, pair & group work	Review textbook units and IL Plans & Reflections

テキスト	Colin S. Ward & Margot F. Gramer. *Skills for Success 3* (Oxford University Press).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	To access to the Online website, students are supposed to buy a new textbook with its access code, not a second-hand textbook.

科目名	ENG102:　英語Ⅱ（2）					担当教員	神谷　雅仁
開講期	秋	開講時限	月木４限			研究室	4215
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	Students will improve both their receptive skills including reading and listening skills, and productive skills, especially skills for expressing themselves orally, as they learn about various cultural aspects of Japan and other countries. They will also build their vocabulary and understand not only sentence structures, but also paragraph / essay organizations, which they will use for effective speaking and writing. In the end, they will be able to become more competent users of English.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as a final presentation and vocabulary quizzes (25%); Independent learning (15%).
評価基準	To be distributed at the first class.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course Overview and how to study English	Lecture, reading, discussion, Q&A	Review the syllabus and check the class assignments.
2	Oral practice: talking about yourself and getting to know each other	Discussion, oral activities, Q&A	Prepare to talk about yourself by filling out an exercise sheet.
3	Course assignments to be explained Paragraph organization①: basic structure	Reading, discussion, lecture & doing exercises	Read class syllabus and Units 5 & 6 of *English Essentials.*
4	Paragraph organization②: topic sentence and supporting sentences	Reading, discussion, lecture & doing exercises	Read Units 5 & 6 of *English Essentials* and do homework.
5	Paragraph organization③: writing paragraphs; vocab. quiz	Reading, discussion, lecture & doing exercises	Read Units 5 & 6 of *English Essentials*; prep. for quiz.
6	Unit 1: Roommates - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 1 of *New Connection 2*; prepare WSR 1
7	Unit 6: Time to Celebrate - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 6 of *New Connection 2.*

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unit 13: Right and Wrong - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 13 of *New Connection 2.*
9	Review of Units 1, 6, and 13	Lecture, oral practice, group work, exercises	Review Units 1, 6 and 13 of *New Connection 2*.
10	Unit 5: Close Ties - practice 4 skills and learn vocab. and grammar; vocab. quiz	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 5 of *New Connection 2*; prep. for quiz.
11	Unit 11: Study Abroad - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 11 of *New Connection 2.*
12	Review of Units 5 and 11	Lecture, oral practice, group work, exercises	Review Units 5 and 11 of *New Connection 2*.
13	Unit 14: Your Career Starts Now - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 14 of *New Connection 2.*
14	Prep. for speech：talking about evaluation and outline, and reviewing speech organization, etc.	Lecture, group work, discussion (Q&A)	Read Units 2 and 5 of *English Essentials*
15	Unit 8: A Fine Art - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 8 of New Connection 2.
16	Review of Units 14 and 8; vocab. quiz	Lecture, oral practice, group work, exercises	Review Units 14 and 8 of *New Connection 2*; prep. for quiz.
17	Speech to be given by all the students; comments and reflections	Deliver a speech, give feedback and evaluation	Write the outline; practice and rehearse for speech.
18	Unit 9: Tune In - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 9 of *New Connection 2*; prepare WSR 2
19	Unit 7: Animals in Danger - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 7 of *New Connection 2.*
20	Unit 4: Money Management - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 4 of *New Connection 2*; plan Book Report
21	Unit 2: Checking Out - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 2 of *New Connection 2*.
22	Unit 10: Music to Our Ears - practice 4 skills and learn vocab. and grammar; vocab. quiz	Lecture, oral practice, group work, exercises	Do exercises in Unit 10 of *New Connection 2*; prep. for quiz.
23	Review of the textbook topics; writing practice using those topics covered in class	Lecture, group work, writing practice	Review all the topics in the textbook; prepare WSR 3
24	Book Report: a brief presentation about the book they read; peer review and discussion	Group work, in-class discussion, evaluation	Prepare to present what they read for Book Report.
25	Prep. for Final Presentation 1 (evaluation, outline, schedule, etc.)	Lecture, group work, discussion (Q&A)	Read Units 2 & 5 of *English Essential*.
26	Prep. for Final Presentation 2 (structure of a presentation to be reviewed; rehearsing); vocab.	Lecture, group work, discussion (Q&A)	Write an outline for in-class group discussion; prep. for quiz.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final Presentation: GROUP 1. Deliver presentation and give feedback	Students' presentation, Q&A, and evaluation	Prepare for presentation: script, outline, practice and rehearsal.
28	Final Presentation: GROUP 2. Deliver presentation and give feedback. Course review	Students' presentation, Q&A, and evaluation	Prepare for presentation: script, outline, practice and rehearsal.

テキスト	①角山照彦, Andrey Dubinsky, David Edward Keane. *New Connection Book 2*（成美堂）. ②ロバート ヒルキ他『新装版 TOEIC テスト スーパー英単語―5 人のエキスパートが選んだ 3000 語』（アルク）
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook* 福島範昌『英語が英語のままわかる本：頭の中に英語回路をつくる実践トレーニング』（The Japan Times）

科目名	ENG102:　英語Ⅱ（3）					担当教員	岩崎　明子
開講期	秋	開講時限	月木４限			研究室	４号館２階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	Learning about World Heritage Sites would provide students with an opportunity to have extensive knowledge about the nature, history, and culture of a variety of regions and countries. And such common knowledge students absorbed in English would encourage them to talk with people from other countries. The text material based on CLIL methods will provide students with knowledge of World Heritages’ wisdom, technology, history, and culture; strengthen their cognition, communication, and understanding of the different cultures.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	①active participation in pair work and discussion in group; well-prepared presentation including appropriate response to the questions about the content introduced. ②completed homework assignment: reading necessary content and doing exercise before the class, researching and writing draft on selected topic, turning in homework on time. Good drafts should be written with clear thesis statement, good supporting content based on substantial research, well-organized paragraphs and conclusion (ref. English Essentials pp.51-60). ③score of 2 in-class review quizzes, final presentation and final report. Good presentation must meet the requirements specified in English Essentials (ref. EE pp.26-31). Good final report must meet the essay writing requirements (ref. EE pp.61-70). ④submit on time; an Independent learning (IL) plan sheet, 2 IL review sheets and a completed (IL) journal note.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview, CLIL method, introduction	talk about course, pair work	Plan of Independent Learning (IL)
2	Unit 2: an ancient city of Roman ruins	pair work, discussion, lecture	Read & exercise pp. 12-17 research and write a draft
3	Unit 2: research presentation of ancient Rome	presentation, pair work, discussion	Research and write a draft
4	Unit 3: the longest surviving castle in Japan	pair work, discussion, lecture	Read & exercise pp. 18-21 research and write a draft
5	Unit 3: research presentation of Himeji castle topics	presentation, pair work, discussion	Research and write a draft

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Unit 4: a huge valley with 2 billion years of history	pair work, discussion, lecture	Read & exercise pp. 24-27 research and write a draft
7	Unit 4: research presentation of the Grand Canyon	presentation, pair work, discussion	Research and write a draft
8	Unit 5: The greatest symbol of China's history	pair work, discussion, lecture	Read & exercise pp. 30-33 research and write a draft
9	Unit 5: research presentation of China's great walls	presentation, pair work, discussion	Research and write a draft
10	Unit 6: The mythical city in the sky	pair work, discussion, lecture	Read & exercise pp. 36-39 research and write a draft
11	Unit 6: research presentation of the Inca life and culture	presentation, pair work, discussion	Research and write a draft
12	Unit 7: Rock site shaped by erosion	pair work, discussion, lecture	Read & exercise pp. 42-45 research and write a draft
13	Unit 7: research presentation of underground cities	presentation, pair work, discussion	Prepare presentation, Sum up your opinion
14	Review quiz (ut.1-7), unit14: final research and presentation	quiz and go over the result, pair work	Prepare for quiz, read pp. 84-88 Decide your final topic
15	Unit 9: the belief in the afterlife, return quiz and go over results	pair work, discussion, lecture	Read & exercise pp. 54-57 Research and write a draft
16	Unit 9: research presentation of ancient Egypt	presentation, pair work, discussion	Prepare presentation, Sum up your opinion
17	Unit 10: a unique ecosystem of wildlife	pair work, discussion, lecture	Read & exercise pp. 60-63 Research and write a draft
18	Unit 10: research presentation of common animals of Shiretoko	presentation, pair work, discussion	Prepare presentation, Sum up your opinion
19	Unit 11: the ancient capital city of the Khmer empire	pair work, discussion, lecture	Read & exercise pp. 66-69 Research and write a draft
20	Unit 11: research presentation of Angkor Wat and Angkor Thom	presentation, pair work, discussion	Prepare presentation, Sum up your opinion
21	Unit 12: a giant block of stone on a desert plain	pair work, discussion, lecture	Read & exercise pp. 72-75 Research and write a draft
22	Unit 12: research presentation of Uluru-Kata Tjuta national park	presentation, pair work, discussion	Prepare presentation, Sum up your opinion
23	Unit 13: the Sagrada Familia－Gaudi's spirit succeed for years	pair work, discussion, lecture	Read & exercise pp. 78-81 Research and write a draft
24	Unit 13: research presentation of Gaudi's work	presentation, pair work, discussion	Prepare presentation, Sum up your opinion
25	Review quiz (ut.9-13), Unit14: final research and presentation	quiz and go over the result, lecture, pair work	Prepare for quiz, submit final script
26	Final presentation (1)	peer-review	Prepare presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final presentation (2), return quiz and go over results	peer-review	Prepare presentation
28	Final presentation (3), recap the course	peer-review	Prepare presentation

テキスト	Shigeru Sasajima, et al. (2020). *CLIL World Heritage* (Sanshusha).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG102:　英語Ⅱ（4）					担当教員	Thomas
開講期	秋	開講時限	火金 3 限			研究室	4211
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	**English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.						
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English						
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able (1) to express their ideas critically and logically when writing, (2) to engage in day-to-day conversation, (3) to listen to and understand others’ arguments and opinions during discussion, (4) to separate facts from opinion while writing and speaking, (5) to make a PowerPoint presentation about their city in English, and (6) to become an autonomous learner of English.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).						
評価基準	To be distributed at the first class.						
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Orientation to the course, explaining class policies.	lecture, pair work, discussion	prepare one-minute self-introduction, read syllabus
2	Unit 1A: Education; talk about routines, simple present, present continuous	lecture, pair work, listening	learn new vocabulary on pp. 4-5, do exercises 1A, 1B, 2A
3	Unit 1B: Education; express prohibition and obligation, zero conditional	lecture, listening, pair work	learn new vocabulary on pp. 6-7, do exercises 1C, 2A, 2B
4	Unit 1C: Education; ask and talk about feelings and reactions	lecture, pair work, conversation practice	learn new vocabulary on pp. 8-9, do exercises 1A, 4A
5	Unit 1D: Alternative education; discuss advantages and disadvantages	reading, listening, discussion	learn new vocabulary on p. 10, do exercises 1C, 2A, 2B
6	Unit 2A: Personal stories; describe what was happing in the past, past continuous	Unit test, lecture, listening, pair work	prepare for Unit 1 test, do exercises 1A, 3A, 4
7	Unit 2B: Personal stories; announce news	lecture, listening, pair work	learn new vocabulary on p. 16, do exercises 1C, 2A, 2B, 3

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unit 2C: Personal stories; tell personal stories, closing a conversation	lecture, pair work, student presentation	learn new vocabulary on p. 18, do exercises 1A, 2B, 4A, 4B
9	Unit 2D: Personal stories; describe embarrassing moments	reading, listening, student presentation	learn new vocabulary on p. 20, do exercises 1C, 2A, 2B
10	Unit 3A: Style and fashion; ask about and describe past fashions	Unit 2 test, listening, student presentation	learn new vocabulary on p. 24, do exercises 1A, 3A, 3B, 4
11	Unit 3C: Style and fashion; express opinion about style	lecture, listening, student presentation	learn new vocabulary on p. 28, do exercises 1A, 2A, 4A
12	Unit 4A: Interesting lives; ask and talk about life experiences	Unit 3 test, pair work, student presentation	learn new vocabulary on p. 34, do exercises 1A, 3A, 4A
13	Unit 4B: Interesting lives; check and clarify meaning	reading, listening, student presentation	learn new vocabulary on p. 36, do exercises 1C, 1D, 3A, 3B
14	Unit 5A: Our world; compare human-made structures	Unit 4 test, listening, student presentation	learn new vocabulary on p. 38, do exercises 1A, 3A
15	Unit 5C: Our world; ask and talk about geographical features	pair work, listening, student presentation	learn new vocabulary on p. 48, do exercise 3A
16	Unit 5D: Our world; describe natural wonders	reading, listening, student presentation	learn new vocabulary on p. 50, do exercises 1C, 2A, 2B, 3A
17	Unit 6A: Organizing your time: ask and talk about week-end plans	Unit 5 test, pair work, student presentation	learn new vocabulary on p. 54, do exercises 1A, 3A, 4A
18	Unit 6B: Organizing your time: offer to take a message	reading, listening, student presentation	learn new vocabulary on p. 56, do exercises 1C, 2A, 2C, 3A
19	Unit 6C: Organizing your time: make request, promises and offers	pair work, listening, student presentation	learn new vocabulary on p. 58, do exercises 1A, 3A, 4A
20	Unit 7A: Personalities; talk about personality traits	Unit 6 test, listening, student presentation	learn new vocabulary on p. 64, do exercises 1A, 3A, 4A
21	Unit 7C: Personalities; describe people's personalities	pair work, listening, student presentation	learn new vocabulary on p. 68, do exercises 1A, 1B, 3A, 4A
22	Unit 7D: Personalities; talk about their personality	reading, pair work, student presentation	learn new vocabulary on p. 70, do exercises 1B, 2A, 3A
23	Unit 8A: The Environment; discuss environmental problems	Unit 7 test, pair work, student presentation	learn new vocabulary on p. 74, do exercises 1A, 3A, 4A, 5A
24	Unit 8C: The Environment; talk about future possibilities	listening, pair work, student presentation	learn new vocabulary on p. 78, do exercises 1A, 3A
25	Unit 9A: Relationships; discuss what's important in relationships	Unit 8 test, pair work, student presentation	learn new vocabulary on p. 84, do exercises 1A, 3A, 3B, 4A
26	Unit 9C: Relationships; speculate about people	pair work, listening, student presentation	learn new vocabulary on p. 88, do exercises 1A, 3A, 3B
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Unit 10A: Living your life; talk about themselves and their experiences	Unit 9 test, pair work, student presentation	learn new vocabulary on p. 94, do exercises 1A, 1B, 3A
28	Unit 10C: Living your life; talk about imaginary situations	pair work, listening, course recap	do exercises 1A, 3A, submit the final report

テキスト	Jack C. Richards & David Bohlke. *Four Corners 3* (Cambridge).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG102:　英語Ⅱ（5）					担当教員	M. Wilkinson
開講期	秋	開講時限	月木４限			研究室	４号館２階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	１年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of the course students should have developed their knowledge and understanding of a number of different countries and cultures around the world. They should also be able to critically engage with different aspects of these cultures. This will involve class discussions in pairs and groups, as well as writing an essay. The course also aims to develop critical thinking, awareness of cultural differences, non-judgemental engagement with the opinions of others, self-reflection, and independent learning.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	*Participation*: Actively contributing to pair and group discussions and completing in-class tasks. *Homework assignments*: Completing and submitting assignments by the deadline (Reading textbook and completing exercises). *Testing and assessment*: Final presentation (3 minutes)-fluency and paralanguage (body language, tone, eye contact, speed, loudness), content, including quality of PowerPoint slides, organization (introduction, transitions, conclusion), with bonus points for asking questions of peer presentations. *Independent learning*: Weekly journal (Impressions of different countries and contrasts to Japan)
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions, discuss course outline and objectives, On Board Chapter 1: Australia: Reading	Lecture, pair & group discussions	Preview textbooks and prepare journal
2	On Board Chapter 1: Australia: Video & discussion questions	Lecture, pair & group discussions	Finish exercises, write journal 1
3	Share journal, On Board Chapter 2: Indonesia: Reading	Lecture, pair & group discussions	Review and preview vocabulary from textbook
4	On Board Chapter 2: Indonesia: Video & discussion questions	Lecture, pair & group discussions	Finish exercises, write journal 2
5	Share journal, On Board Chapter 3: Singapore: Reading	Lecture, pair & group discussions	Review and preview vocabulary from textbook
6	On Board Chapter 3: Singapore: Video & discussion questions	Lecture, pair & group discussions	Finish exercises, write journal 3
7	Share journal, On Board Chapter 4: China: Reading	Lecture, pair & group discussions	Review and preview vocabulary from textbook

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	On Board Chapter 4: China: Video & discussion questions	Lecture, pair & group discussions	Finish exercises, write journal 4
9	Share journal, On Board Chapter 5: Argentina: Reading	Lecture, pair & group discussions	Review and preview vocabulary from textbook
10	On Board Chapter 5: Argentina: Video & discussion questions	Lecture, pair & group discussions	Finish exercises, write journal 5
11	Share journal, On Board Chapter 6: Mexico: Reading	Lecture, pair & group discussions	Review and preview vocabulary from textbook
12	On Board Chapter 6: Mexico: Video & discussion questions	Lecture, pair & group discussions	Finish exercises, write journal 6
13	Share journal, On Board Chapter 7: Germany: Reading	Lecture, pair & group discussions	Review and preview vocabulary from textbook
14	On Board Chapter 7: Germany: Video & discussion questions	Lecture, pair & group discussions	Finish exercises, write journal 7
15	Share journal, On Board Chapter 8: Finland: Reading, *English essentials*: Presentation	Lecture, pair & group discussions	Review and preview vocabulary from textbook
16	On Board Chapter 8: Finland: Video & discussion questions	Lecture, pair & group discussions	Finish exercises, write journal 8
17	Share journal, On Board Chapter 9: Poland: Reading	Lecture, pair & group discussions	Review and preview vocabulary from textbook
18	On Board Chapter 9: Poland: Video & discussion questions	Lecture, pair & group discussions	Finish exercises, write journal 9
19	Share journal, On Board Chapter 10: Spain: Reading, *English essentials*: Presentation	Lecture, pair & group discussions	Review and preview vocabulary from textbook
20	On Board Chapter 10: Spain: Video & discussion questions	Lecture, pair & group discussions	Finish exercises, write journal 10
21	Share journal, On Board Chapter 11: Greece: Reading, *English essentials*: Visuals	Lecture, pair & group discussions	Review and preview vocabulary from textbook
22	On Board Chapter 11: Greece: Video & discussion questions	Lecture, pair & group discussions	Finish exercises, write journal 11
23	Share journal, On Board Chapter 12: Kenya: Reading, *English essentials*: Visuals	Lecture, pair & group discussions	Review and preview vocabulary from textbook, start preparing final presentation
24	On Board Chapter 12: Kenya: Video & discussion questions	Lecture, pair & group discussions	Finish exercises, write journal 12
25	Share journal, On Board Chapter 13: Morocco: Reading	Lecture, pair & group discussions	Prepare presentation
26	On Board Chapter 13: Morocco: Video & discussion questions	Lecture, pair & group discussions	Finish exercises and review unit, finish preparing presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final presentations	Presenting, Q & A	Finish journals
28	Final presentations, submit journals, feedback	Presenting, Q & A, lecture	Reflect on issues covered in class

テキスト	Scott Berlin and Megumi Kobayashi. *On board for more world adventures* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG102:　英語Ⅱ（6）					担当教員	O. Ilina
開講期	秋	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to remember and use key English vocabulary to discuss various issues related to “understanding and respecting others”, use problem / solution thinking when expressing their views on these issues; write postcards and emails; express their ideas in a short, well-organized presentation with a good delivery; utilize problem / solution thinking in the presentation; create and carry out three-week plans for independent English study; manage one’s time to complete assigned independent learning tasks.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	Participation and performance: active everyday involvement, effort to use English, use of vocabulary studied, content and delivery of speeches; Homework: completed thoroughly, submitted on time, use of vocabulary studied, use of problem / solution thinking; Vocabulary tests: correct answers to multiple-choice, matching, and fill-in questions; Final presentation: length, suitability of theme, use of a “preview” in Introduction, organization, delivery, problem / solution thinking; Independent learning (IL): IL Study Plans, IL Reflection Sheets, and IL Journal completed thoroughly and submitted on time, and evidence of timely completion of assigned IL tasks.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course / Getting to know people	Explanation by instructor, pair-work	Review Unit 1 textbook content
2	Happiness and things people like doing (textbook Unit 2)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 2 textbook content
3	Happiness and things people like doing (sup. materials), Independent learning (IL), guidelines	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 2 supplementary materials
4	Telling stories (textbook Unit 3); Recap of Unit 2	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; write IL Study Plan #1
5	Telling stories (supplementary materials), discuss IL Study plan #1	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 3
6	Hopes, ambitions, and plans (textbook Unit 5); Recap of Unit 3	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
7	Short speech #1: speech / presentation organization	Speeches, lecture	Prepare speech

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Hopes, ambitions, and plans (supplementary materials); explanation of short speech #2	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 5
9	Food, drink and eating out (textbook Unit 4); Recap of Unit 5; discuss IL progress	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Write IL Reflection Sheet #1
10	Food, drink and eating out (supplementary materials); Discuss IL study plan #2	Pair-work, small group discussion, listening	Write IL study Plan #2
11	Describing people and places (textbook Unit 6); Recap of Unit 4	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
12	Describing people and places (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 6
13	Short speech #2	Speeches	Prepare speech
14	Vocabulary test #1; Recap of Unit 6; explanation of short speech #3; Living history (tb Unit 7)	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
15	Living history (supplementary materials); Discuss IL progress	Pair-work, small group discussion, listening	Write IL Reflection Sheet #2
16	Aspects of gender (textbook Unit 8); Recap of Unit 7; discuss study plan #3	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; write IL Study Plan #3
17	Aspects of gender (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 8
18	Storytelling in different genres (tb Unit 9); Recap of Unit 8; return test #1 and go over results	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
19	Storytelling in different genres (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 9
20	Communication and technology (tb Unit 10); Recap of Unit 9; explanation of final presentation	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
21	Short speech #3; Discuss IL progress	Speeches, small group discussion	Prepare speech; Write IL Reflection Sheet #3
22	Communication and technology (supplementary materials); discuss IL Study Plan #4	Pair-work, small group discussion, listening	Write IL Study Plan #4
23	Life's ups and downs (textbook Unit 11); Recap of Unit 10	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
24	Life's ups and downs (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 11
25	Vocabulary test #2 Thinking about the future (textbook Unit 12); Recap of Unit 11	Test, pair-work, small group discussion	Write Unit Recap
26	Return Test #2 and go over results; course evaluation; discuss IL progress; final pres. prep.	Pair-work, small group discussion, listening	Write IL Reflection Sheet #4; Prep. IL Journal (submit today)
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final presentations	Presentations	Prepare presentation
28	Final presentations	Presentations	Prepare presentation

テキスト	Lis and John Soars, Amanda Maris. *New Headway Pre-Intermediate* 4th edition (Oxford).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG102:　英語Ⅱ（7）					担当教員	J. Zhang
開講期	秋	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to appreciate, collaboratively and independently conduct research on, and critically express their views on other cultures. Additionally, students will be able to build confidence to speak in public by making short presentations on culture-related topics using PowerPoint. Also, students will be able to become independent writers by learning writing skills, building vocabulary, and creating paragraphs and essays.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, including 2 presentations, and 3 writing tasks (25%); Independent learning (15%).
評価基準	・Participation in class: active participation in everyday class activities; ・Homework assignments: completing assignments on time; showing quality and effort; ・Testing and assessment: presentation#1 (5%); presentation#2 (5%); 3 writing tasks (5%×3=15%) ・Independent learning: effort to study outside of class (e.g., preview; review; keep vocabulary notebook)
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview; self-introduction; explain the evaluation criteria; ice-breaking	Course orientation; pair/group work	Buy a textbook and a notebook; Read the syllabus
2	Chapter 1 Australia; analyze & understand: structure, vocabulary, and grammar of the text	Lecture; exercise; pair/group work	Do research on Australia and prepare for a discussion
3	Chapter 1 Australia; discussing the culture in Australia; how to make a speech	Lecture; exercise; pair/group work	Review Ch 1; establish vocabulary note 1
4	Ch 2 Indonesia; analyze & understand: structure, vocabulary, and grammar of the text	Lecture; exercise; pair/group work	Do research on Indonesia and prepare for a short speech
5	Ch 2 Indonesia; short speech on Indonesia; how to make a presentation	Lecture; exercise; pair/group work	Review Ch 2; establish vocabulary note 2
6	Ch 3 Singapore; analyze & understand: structure, vocabulary, and grammar of the text	Lecture; exercise; pair/group work	Do research on Singapore and prepare for a short presentation

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Ch 3 Singapore; rehearse the short presentation; Q & A	Lecture; exercise; pair/group work	Review Ch 3; establish vocabulary note 3; rehearse P#1
8	Presentation#1; Q & A; comments	Presentation; lecture; pair/group work	Review P#1; review Chapters 1~3
9	Ch 4 China; analyze & understand: structure, vocabulary, and grammar of the text	Lecture; exercise; pair/group work	Do research on China and prepare for a short presentation
10	Ch 4 China; practice short presentation on China; writing skills: how to write a journal	Lecture; exercise; pair/group work	Review Ch 4; establish vocab. note 4; write task 1(WT1)
11	Ch 5 Argentina; analyze & understand: structure, vocabulary, and grammar of the text	Lecture; exercise; pair/group work	Do research on Argentina and prepare for a short presentation
12	Ch 5 Argentina; practice short presentation on Argentina; pair editing: WT1	Lecture; exercise; pair/group work	Review Ch 5; establish vocab. note 5; revise WT1
13	Ch 6 Mexico; analyze & understand: structure, vocabulary, and grammar of the text	Lecture; exercise; pair/group work	Do research on Mexico and prepare for a short presentation
14	Ch 6 Mexico; practice short presentation on Mexico; academic writing: paragraph structure	Lecture; exercise; pair/group work	Review Ch 6; establish vocab. note 6; submit WT1
15	Ch 7 Germany; analyze & understand: structure, vocabulary, and grammar of the text	Lecture; exercise; pair/group work	Do research on Germany and prepare for a short presentation
16	Ch 7 Germany; practice short presentation on Germany; academic writing: write a paragraph	Lecture; exercise; pair/group work	Review Ch 7; establish vocab. note 7; write task 2 (WT2)
17	Ch 8 Finland; analyze & understand: structure, vocabulary, and grammar of the text	Lecture; exercise; pair/group work	Prepare for Presentation#2; establish vocab. note 8
18	Review Ch 8; writing: pair editing WT2; Ch 9 Poland	Lecture; exercise; pair-editing	Revise and submit WT2; read *English Essentials*, pp. 51-60
19	Ch 9 Poland; writing skills: write an essay	Lecture; exercise; pair/group work	Review Ch 9; establish vocab. note 9; prepare for WT3
20	Ch 10 Spain; analyze & understand: structure, vocabulary, and grammar of the text	Lecture; exercise; pair/group work	Establish vocab. note 10; prepare for WT3
21	Review Ch 10; writing skills: write an essay	Lecture; exercise; pair/group work	Start writing WT3; prepare for Presentation#2
22	Ch 11 Greece; analyze & understand: structure, vocabulary, and grammar of the text	Lecture; exercise; pair/group work	Establish vocab. note 11; prepare for Presentation#2
23	Review Ch 11; writing skills: discuss the draft of WT3	Lecture; exercise; pair/group work	Rehearse Presentation#2; review Ch 11; revise WT3
24	Ch 12 Kenya; analyze & understand: structure, vocabulary, and grammar of the text	Lecture; exercise; pair/group work	Establish vocab. note 12; prepare for Presentation#2
25	Presentation#2; Q & A; comments	Presentation; pair/group work	Review P#2; review Chapters 1~12; revise the draft
26	Presentation#2; Q & A; comments; Ch 13 Morocco	Presentation; lecture; pair/group work	Review P#2; review Chapters 1~12; submit WT3
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Ch 13 Morocco; review Ch 12	Lecture; exercise; pair/group work	Establish vocab. note 13; read *English Essentials*, pp. 61-70
28	Review Ch 13; Course overview; self-evaluation; future study plan	Lecture; pair/group work	Review the book; continue to study

テキスト	S. Berlin & M. Kobayashi. *On board for more world adventures* (KINSEIDO).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG102:　英語Ⅱ（8）					担当教員	P. McQuilling
開講期	秋	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will be able to use the key vocabulary they have learned to discuss a variety of social issues; express their ideas clearly and justify their reasons in group discussions; structure and organize written reports, speeches and presentations and deliver speeches and presentations effectively with consideration for delivery, content and visual aids.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	**Participation and performance:** active participation in class activities, worksheets will be evaluated for content and effort, discussions will be evaluated for content and contribution, presentations will be evaluated for content and delivery; **Homework:** completed thoroughly and submitted on time; **Testing and assessment:** final report (research, organization, content) final presentation (content, delivery); **Independent Learning:** background research completed thoroughly before each report, discussion or presentation.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Orientation. Course Introduction. Learner profiles.	Course orientation, pair and group work.	Complete learner profile.
2	Chapter 1. India – history, culture, landmarks.	Video, comprehension, pair work, group work.	Research a wonder of Japan.
3	The Seven Wonders of the World.	Pair work, group work, discussion.	Research the Seven Wonders of the World.
4	Chapter 3. Thailand – history, festivals, tourism.	Video, comprehension, pair work, group work.	Study World Adventures (W.A.) Chap.1 & 3 (pp.2-3; 14-15).
5	Chapters 1 and 3 test, Chapter 4. Vietnam – history, food.	Test, video, Q and A, pair work, group work.	Research an international dish.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Test return and feedback, World food.	Brainstorming, clustering, outlining.	Prepare short speech on international food.
7	Chapter 5. Korea – history, religion, culture.	Video, comprehension, pair work, group work.	Review W.A. Chap. 4 & 5 for test (pp.20-21; 26-27).
8	Chapters 4 and 5 test, Korean popular culture.	Test, pair work, group work, discussion.	Research Korean culture.
9	Test return and feedback, Autumn Festivals.	Listening, pair work, discussion.	Write a short report on an international festival.
10	Chapter 6. France – history, culture, fashion.	Video, comprehension, pair work, group work.	Research an international designer.
11	The Fashion World: history and heritage.	Pair work, group work, discussion.	Research solutions to fast fashion.
12	Fast fashion: ideas for sustainability.	Pair work, group work, discussion.	Read W.A. (pp.37-38).
13	Chapter 7. Italy – culture, landmarks, art.	Video, comprehension, pair work, group work.	Review Chap. 6 & 7 for test (pp.32-33; 38-39).
14	Chapters 6 and 7 test, World Art presentations preparation.	Test, structuring, using visuals.	Read *Eng. Essentials* (pp.31-39). Practice Presentation.
15	Test return and feedback, World Art presentations.	Presentations, Q and A.	Complete presentation self-evaluation.
16	Chapter 8. Denmark – history and folk tales.	Video, comprehension, pair work, group work.	Research international folklore.
17	World folk tales and folklore.	Reading, sequencing, summarizing.	Read *Eng. Essentials* (pp.61-62).
18	Chapter 11. Egypt – ancient history, landmarks.	Video, comprehension, pair work, group work.	Review Chap. 8 & 11 for test (pp.44-45; 62-63).
19	Chapters 8 and 11 test, UNESCO discussion preparation.	Test, listening, pair work, discussion.	Research a candidate site for UNESCO world heritage status.
20	Test return and feedback, UNESCO World Heritage Sites discussions.	Group discussion, summarizing, writing.	Write a report based on the group discussion.
21	Chapter 13. Brazil – geography, festivals,	Video, comprehension, pair work, group work.	Review Chap. 12 & 13 for test (pp.68-69; 74-75).
22	Chapters 12 and 13 test, World festivals.	Test, listening, pair work, discussion.	Research international winter festivals.
23	Test return and feedback, Winter festivals.	Video, comprehension, pair work, group work.	Review the lesson.
24	Review of units and topics covered in the course.	Listening, pair work, group work.	Write first draft of final report. Read *Eng. Essentials* (pp.46-50).
25	Final report preparation.	Drafting, revising, proofreading.	Submit research and outline of the final report.
26	Final presentation preparation.	Presentation practice, Peer evaluations.	Finalize and practice presentations.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final presentations.	Group presentations, Q and A.	Self-reflection of presentation.
28	Final report and presentation feedback and course reflection.	Listening, Q and A, pair work, discussion.	Review the course and reflect on your progress.

テキスト	Scott Berlin, Megumi Kobayashi. *World Adventures* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG102:　英語Ⅱ（9）					担当教員	N. Cook
開講期	秋	開講時限	月木４限			研究室	４号館２階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	１年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to better understand cultures from 14 different countries; write properly formatted paragraphs and essays; summarize previously learnt information; express their ideas in writing, conversation, and formal presentation; and improve their English-language video comprehension skills.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%): based on active participation in class discussions; Homework assignments (30%): based on regular written short summaries of textbook materials; Testing and assessment (25%): based on two review tests; Independent learning (15%): based on a final presentation of an independently researched country.
評価基準	**Participation:** demonstrating understanding of English language video and reading content through active engagement in group discussions and pair work. **Homework assignments:** regular submission of 1-2 paragraph long summaries. **Assessment:** two tests, one essay, and one presentation. **Independent learning:** assignments completed on time and properly submitted.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Class introduction; Unit 1: *Australia* Warm-up, Vocabulary, & Reading	Discussions, textbook tasks, introductions	Do *Vocabulary Exercise* & *Reading* passage
2	Unit 1 Video comprehension & Discussion	Class discussion, textbook, video	Read *Vocabulary Preview* and skim *1st&2nd Viewing Q*’s
3	Unit 2: *Indonesia* Warm-up, Vocabulary, & Reading	Class discussion and textbook tasks	Do *Vocabulary Exercise* & *Reading* passage
4	Unit 2 Video comprehension & Discussion	Class discussion, textbook, video	Read *Vocabulary Preview* and skim *1st&2nd Viewing Q*’s
5	Unit 3: *Singapore* Warm-up, Vocabulary, & Reading	Class discussion and textbook tasks	Do *Vocabulary Exercise* & *Reading* passage
6	Unit 3 Video comprehension & Discussion	Class discussion, textbook, video	Read *Vocabulary Preview* and skim *1st&2nd Viewing Q*’s

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Unit 4: *China* Warm-up, Vocabulary, & Reading	Class discussion and textbook tasks	Do *Vocabulary Exercise* & *Reading* passage
8	Unit 4 Video comprehension & Discussion	Class discussion, textbook, video	Read *Vocabulary Preview* and skim *1st&2nd Viewing Q*'s
9	Unit 5: *Argentina* Warm-up, Vocabulary, & Reading	Class discussion and textbook tasks	Do *Vocabulary Exercise* & *Reading* passage
10	Unit 5 Video comprehension & Discussion	Class discussion, textbook, video	Read *Vocabulary Preview* and skim *1st&2nd Viewing Q*'s
11	Unit 6: *Mexico* Warm-up, Vocabulary, & Reading	Class discussion and textbook tasks	Do *Vocabulary Exercise* & *Reading* passage
12	Unit 6 Video comprehension & Discussion	Class discussion, textbook, video	Read *Vocabulary Preview* and skim *1st&2nd Viewing Q*'s
13	Unit 7: *Germany* Warm-up, Vocabulary, & Reading	Class discussion and textbook tasks	Do *Vocabulary Exercise* & *Reading* passage
14	Textbook Review Test #1; Unit 7 Video comprehension & Discussion	Test, class discussion, textbook, video	Prepare for test; Read *Vocabulary Preview* and *Q*'s
15	Unit 8: *Finland* Warm-up, Vocabulary, & Reading	Class discussion and textbook tasks	Do *Vocabulary Exercise* & *Reading* passage
16	Unit 8 Video comprehension & Discussion; Hand back Review Test #1 and go over answers	Class discussion, textbook, video	Read *Vocabulary Preview* and skim *1st&2nd Viewing Q*'s
17	Unit 9: *Poland* Warm-up, Vocabulary, & Reading	Class discussion and textbook tasks	Do *Vocabulary Exercise* & *Reading* passage
18	Unit 9 Video comprehension & Discussion	Class discussion, textbook, video	Read *Vocabulary Preview* and skim *1st&2nd Viewing Q*'s
19	Unit 10: *Spain* Warm-up, Vocabulary, & Reading	Class discussion and textbook tasks	Do *Vocabulary Exercise* & *Reading* passage
20	Unit 10 Video comprehension & Discussion	Class discussion, textbook, video	Read *Vocabulary Preview* and skim *1st&2nd Viewing Q*'s
21	Unit 11: *Greece* Warm-up, Vocabulary, & Reading	Class discussion and textbook tasks	Do *Vocabulary Exercise* & *Reading* passage
22	Unit 11 Video comprehension & Discussion	Class discussion, textbook, video	Read *Vocabulary Preview* and skim *1st&2nd Viewing Q*'s
23	Unit 12: *Kenya* Warm-up, Vocabulary, & Reading	Class discussion and textbook tasks	Do *Vocabulary Exercise* & *Reading* passage
24	Unit 12 Video comprehension & Discussion	Class discussion, textbook, video	Read *Vocabulary Preview* and skim *1st&2nd Viewing Q*'s
25	Unit 13: *Morocco* Warm-up, Vocabulary, & Reading	Class discussion and textbook tasks	Do *Vocabulary Exercise* & *Reading* passage
26	Textbook Review Test #2 Unit 13 Video comprehension & Discussion	Test, class discussion, textbook, video	Prepare for test, Read *Vocabulary Preview* and *Q*'s
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentations; Return Review Test #2 and check; Unit 14: *Lebanon* Warm-up, Vocab., & Reading	Presentations, textbook work	Prepare presentation; Do *Vocabulary Exercise* & *Reading*
28	Unit 14 Video comprehension & Discussion	Class discussion, textbook, video	Read *Vocabulary Preview* and skim *1st&2nd Viewing Q*'s

テキスト	Scott Berlin & Megumi Kobayashi. *World Adventures* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG102:　英語Ⅱ（10）					担当教員	M. Lupas
開講期	秋	開講時限	火金 3 限			研究室	4206
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this class, students will be able to read widely in English on issues related to crossing cultures and understanding / respecting others; express orally their understanding of what they have read and listen to fellow students who are expressing their own understanding; think critically about certain cultural tensions such as tradition / modernization, place / mobility, and belonging / citizenship and express their thoughts on these tensions in essays which are organized, avoid plagiarism, and give specific supports for ideas; create and carry out individual study plans for independent learning in English.
評価方法	Participation and performance in class activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as essays and in-class tests (25%); Independent learning (15%).
評価基準	Participation and performance in classroom activities: actively speaking in warm-ups about culture, actively sharing about readings and your adopted country. Homework assignments: homework paragraphs are complete and submitted on time (15%) and completion of extensive reading tasks (15%, of which reading 150,000 words = 15%, 140,000 words =14%, 130,000 words= 13%, and so on). Assessment: essays on “crossing cultures” that are organized, avoid plagiarism, include supporting points, and are submitted on time; vocabulary and grammar assessments. Independent learning (IL): reports are complete and submitted on time; e-mails about independent learning use proper formal e-mail language.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course. Where are you from? How to do independent learning	icebreaker, lecture, pair work	Make an independent learning plan and send a formal email.
2	What is extensive reading? What is a paragraph? *Smart Writing* (SW) 1	warm-up, reading, group work	Do extensive reading 4000+ words. Finish class writing.
3	Adopt a country and research its history Writing a narrative paragraph, SW 2	warm-up, pair work, writing	Do extensive reading 4000+ words. Finish class writing.
4	Cultural tension 1: Tradition and Modernization Readings about different traditions, SW 3	warm-up, reading, group work	Do extensive reading 4000+ words. Finish class writing.
5	Traditions and places in your adopted country Continue readings about traditions	warm-up, pair work, writing	Do extensive reading 4000+ words. Finish class writing.
6	Introduce Essay 1: Tradition and Modernization Writing to agree, SW 11	warm-up, reading, group work	Do extensive reading 4000+ words. Finish class writing.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Reading about different traditions Writing to disagree, SW 12	warm-up, pair work, writing	Do extensive reading 4000+ words. Finish class writing.
8	Writing process: Looking at the essay writing process; avoiding plagiarism	warm-up, reading, group work	Do extensive reading 4000+ words. Finish class writing.
9	Formative Assessment: Review vocabulary and grammar from SW (1, 2, 11, 12); share IL reports	warm-up, pair work, writing	Write October IL report and e-mail.
10	Sharing Essay 1; Writing to Describe Feelings, SW 4	warm-up, reading, group work	Do extensive reading 4000+ words. Finish class writing.
11	Cultural Tension 2: Place and Culture Readings about place and culture	warm-up, pair work, writing	Do extensive reading 4000+ words. Finish class writing.
12	Writing to describe people, SW 5	warm-up, reading, whole group, group work	Do extensive reading 4000+ words. Finish class writing.
13	Migration in world perspective Introduce essay 2	warm-up, pair work, writing	Do extensive reading 4000+ words. Finish class writing.
14	Writing to describe places and locations, SW 6	warm-up, reading, group work	Do extensive reading 4000+ words. Finish class writing.
15	Data Analysis, SW 13	warm-up, pair work, writing	Do extensive reading 4000+ words. Finish class writing.
16	Migration and colonialism in your adopted country	warm-up, reading, group work	Do extensive reading 4000+ words. Finish class writing.
17	Formative Assessment: Review vocabulary and grammar from SW (4, 5, 6, 13)	warm-up, group work, whole group	Write November IL report and e-mail.
18	Humor and Folktales Share Essay 2	warm-up, pair work, writing	Do extensive reading 4000+ words. Finish class writing.
19	Cultural Tension 3: Cultural Belonging and Citizenship	warm-up, reading, group work	Do extensive reading 5000+ words. Finish class writing.
20	Writing to Compare and Contrast, SW 8	warm-up, pair work, writing	Do extensive reading 5000+ words. Finish class writing.
21	Readings on cultural identity and belonging Introduce essay 3	warm-up, reading, group work	Do extensive reading 5000+ words. Finish class writing.
22	Cause and Effect Writing, SW 9	warm-up, pair work, writing	Do extensive reading 5000+ words. Finish class writing.
23	Population and citizenship in your adopted country	warm-up, reading, group work	Do extensive reading 5000+ words. Finish class writing.
24	Problem and Solution Writing, SW 10	warm-up, pair work, writing	Do extensive reading 5000+ words. Finish class writing.
25	Writing workshop	warm-up, reading, group work	Do extensive reading 5000+ words. Finish class writing.
26	Writing definitions, SW 7 Share Essay 3	warm-up, pair work, writing	Write December-Jan. IL report and e-mail.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Formative assessment: Review vocabulary and grammar from SW (7, 8, 9, 10); IL presentations	presentations	Prepare IL presentations.
28	Reflecting on the course	group and pair work	Prepare comments on the course.

テキスト	① M. Nakaya, M. Yoshihara, and R. Fallon. *Smart Writing* (Seibido). ② XReading.com 6-month student subscription.
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG102:　英語Ⅱ（11）					担当教員	B. Irwin
開講期	秋	開講時限	火金 3 限			研究室	4216
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to understand and use vocabulary and expressions related to cross cultural understanding and respect; use appropriate grammar structures in written English to express themselves clearly; write organized, well-structured, and logical paragraphs within a set amount of time; plan and carry out independent learning activities in English.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment (25%), including timed writing 10% and in-class tests 15%; Independent learning (15%).
評価基準	Participation and performance: students are expected to be actively involved in each lesson and to participate in group and pair work. Homework assignments: regular homework must be submitted in a timely manner. Testing and assessment: timed writing based on length, thoughtfulness of writing, and English accuracy; in-class tests evaluate grammar and vocabulary knowledge. Independent learning: writing portfolio for revisions of timed writing activities submitted on time.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction: syllabus, learning materials, class policies, and expectations	Self-introductions and pair work	Read syllabus, review schedule & textbook
2	Unit 1. Special Days: Reading & Writing 1; Capitalization rules	Lecture, reading, pair work	Textbook pp. 2-13: preview reading & vocabulary
3	Unit 1. Special Days: Reading & Writing 2; Discussion & writing practice	Lecture, reading & writing	Textbook pp. 14-22: preview reading & vocabulary
4	Timed Writing 1; Writing exchange & peer feedback	Research, writing, pair / group work	Textbook p. 23: preview *search the internet* section
5	Unit 2. Places: Reading & Writing 1; Adjectives	Lecture, reading, pair work	Textbook pp. 24-34: preview reading & vocabulary
6	Unit 2. Places: Reading & Writing 2; Discussion & writing practice	Lecture, reading & writing	Textbook pp. 35-44: preview reading & vocabulary

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Timed Writing 2; Writing exchange & peer feedback	Research, writing, pair / group work	Textbook p. 45: preview *search the internet* section
8	Unit 3. Ways to health: Reading & Writing 1; Using 'when'	Lecture, reading, pair work	Textbook pp. 46-56: preview reading & vocabulary
9	Unit 3. Ways to health: Reading & Writing 2; Discussion & writing practice	Lecture, reading & writing	Textbook pp. 57-64: preview reading & vocabulary
10	Timed Writing 3; Writing exchange & peer feedback	Research, writing, pair / group work	Textbook p. 65: preview *search the internet* section
11	Unit 4. Customs: Reading & Writing 1; Count & noncount nouns	Lecture, reading, pair work	Textbook pp. 66-76: preview reading & vocabulary
12	Unit 4. Customs: Reading & Writing 2; Discussion & writing practice	Lecture, reading & writing	Textbook pp. 77-84: preview reading & vocabulary
13	Timed Writing 4; Writing exchange & peer feedback	Research, writing, pair / group work	Textbook p. 85: preview *search the internet* section
14	Review; Test 1	Test; pair / group work, review	Review units 1-4 vocabulary; Study for test
15	Return Test 1 and go over results; Unit 5. Food: Reading & Writing 1; Process writing	Lecture, reading, pair work	Textbook pp. 86-95: preview reading & vocabulary
16	Unit 5. Food: Reading & Writing 2; Discussion & writing practice	Lecture, reading & writing	Textbook pp. 96-104: preview reading & vocabulary
17	Timed Writing 5; Writing exchange & peer feedback	Research, writing, pair / group work	Textbook p. 105: preview *search the internet* section
18	Unit 6. Inventors & Inventions: Reading & Writing 1; Comparisons	Lecture, reading, pair work	Textbook pp. 106-117: preview reading & vocabulary
19	Unit 6. Inventors & Inventions: Reading & Writing 2; Discussion & writing practice	Lecture, reading & writing	Textbook pp. 118-126: preview reading & vocabulary
20	Timed Writing 6; Writing exchange & peer feedback	Research, writing, pair / group work	Textbook p. 127: preview *search the internet* section
21	Unit 7. Amazing People: Reading & Writing 1; Asking questions	Lecture, reading, pair work	Textbook pp. 128-139: preview reading & vocabulary
22	Unit 7. Places: Reading & Writing 2; Discussion & writing practice	Lecture, reading & writing	Textbook pp. 140-148: preview reading & vocabulary
23	Timed Writing 7; Writing exchange & peer feedback	Research, writing, pair / group work	Textbook p. 149: preview *search the internet* section
24	Unit 8. Readings from literature: Reading & Writing 1; Parts of speech	Lecture, reading, pair work	Textbook pp. 150-159: preview reading & vocabulary
25	Unit 8. Places: Reading & Writing 2; Discussion & writing practice	Lecture, reading & writing	Textbook pp. 160-168: preview reading & vocabulary
26	Timed Writing 8; Writing exchange & peer feedback	Research, writing, pair / group work	Textbook p. 169: preview *search the internet* section
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Review; Test 2; Explanation of self-reflection activity	Test; pair / group work, review	Review units 5-8 vocabulary; Study for test
28	Return Test 2 and go over results; Course feedback & self-reflection	Lecture and self-reflection activity	Review Test 2 Feedback, Prepare self-reflection activity

テキスト	Milada Broukal. *Weaving It Together 1 (4th Ed.)* (Cengage).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG201:　英語Ⅲ（1）					担当教員	小林　美文
開講期	春	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to ① understand social issues such as gender discrimination and diet and health issues, ② build up grammar and vocabulary skills, and ③ write an effective paragraph and essay on the topics covered in this course.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	**Participation and performance in classroom activities**: active involvement, effort to use English; **Homework** (including paragraph and essay writing): accuracy of language and organization, use of reason, example, and / or evidence; **Speech**: preparation, delivery, understanding of the social issues studied; **In-class tests** (three times): accuracy of language, use of vocabulary, grammar, phrases, and expressions studied, understanding of the social issues studied; **Independent learning (IL)**: IL Study Plans & Reflections completed thoroughly and submitted on time
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction Ice breaking	Lecture, pair work, discussion	Read Unit 3 Submit IL Study Plan ①
2	Unit 3: Balancing Studies and a Part-Time Job Grammar, Vocabulary, Listening	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 3 Grammar & Vocabulary
3	Unit 3: Balancing Studies and a Part-Time Job Reading	Lecture, pair work, discussion	Read Unit 3
4	Unit 4: Convenient Stores Grammar, Vocabulary, Listening	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 4 Grammar & Vocabulary
5	Unit 4: Convenient Stores Reading	Lecture, pair work, discussion	Read Unit 5
6	Unit 5: Japanese Loan Words Grammar, Vocabulary, Listening	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 5 G & V; Submit IL Study Plan & Reflection ②

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Unit 5: Japanese Loan Words Reading	Lecture, pair work, discussion	Read *English Essentials*, Unit 6
8	Speech assignment ① overview How to write a paragraph	Lecture, discussion	Submit speech script
9	Speech ① (Schooling in Japan) Self-evaluation and feedback	Speeches, lecture, discussion	Study Units 3, 4 & 5 for Test ①
10	Review: Units 3, 4, 5 In-Class Test ①	Test, discussion	Read Unit 6
11	Unit 6: Cherry Blossoms in Japan Grammar, Vocabulary, Listening	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 6 Grammar & Vocabulary
12	Unit 6: Cherry Blossoms in Japan Reading	Lecture, pair work, discussion	Read Unit 7
13	Unit 7: Diet and Health Grammar, Vocabulary, Listening	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 7 Grammar & Vocabulary
14	Unit 7: Diet and Health Reading	Lecture, pair work, discussion	Read Unit 9; Submit IL Study Plan & Reflection ③
15	Unit 9: Time and Take a Nap Grammar, Vocabulary, Listening	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 9 Grammar & Vocabulary
16	Unit 9 Time and Take a Nap: Reading Return Test ① and go over results	Lecture, pair work, discussion	Read Unit 12
17	Unit 12: Cosmetic Surgery Grammar, Vocabulary, Listening	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 12 Grammar & Vocabulary
18	Unit 12: Cosmetic Surgery Reading	Lecture, pair work, discussion	Study Units 6, 7, 9 & 12 for Test ②
19	Review: Units 6, 7, 9, 12 In-Class Test ②	Test, lecture, discussion	Read Unit 15
20	Unit 15: Brain Training Grammar, Vocabulary, Listening	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 15 Grammar & Vocabulary
21	Unit 15: Brain Training Reading	Lecture, pair work, discussion	Read Unit 20
22	Unit 20: Women in Society Grammar, Vocabulary, Listening	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 20 Grammar & Vocabulary
23	Unit 20 Women in Society: Reading Return Test ② and go over results	Lecture, pair work, discussion	Read Unit 22; Submit IL Study Plan & Reflection ④
24	Unit 22: Earthquakes Grammar, Vocabulary, Listening	Lecture, pair work, discussion	Review Unit 22 Grammar & Vocabulary
25	Unit 22: Earthquakes Reading	Lecture, pair work, discussion	Study Units 15, 20 & 22 for Test ③
26	Review: Units 15, 20, 22; In-Class Test ③ Speech assignment ② overview	Test, discussion	Submit speech script
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Speech ② (Gender Issues in Japan) ; Feedback Return Test ③ and go over results	Speeches, discussion	Submit IL Study Plan & Reflection ⑤
28	Course Evaluation Course Review	Lecture, discussion	Review the Course

テキスト	R. Hickling, & Y. Ichikawa. *Get Reading* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG201:　英語Ⅲ（2）					担当教員	M. Wilkinson
開講期	春	開講時限	月木４限			研究室	４号館２階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	２年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.						
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English						
到達目標（学修成果）	By the end of the course students should be able to discuss, ask questions, and think critically about a number of social issues facing Japanese society and the wider world. By reading, discussing, making observations, sharing thoughts and opinions, and asking questions about these issues, students will be able to engage critically with them. This will involve class discussions in pairs and groups, as well a final presentation. The course also aims to develop critical thinking, awareness of the issues discussed, non-judgemental engagement with the opinions of others, self-reflection, and independent learning.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).						
評価基準	*Participation*: Actively contributing to pair and group discussions and completing in-class tasks. *Homework assignments*: Completing and submitting assignments by the deadline (Textbook activities). *Testing and assessment*: Final presentation (4 minutes)-fluency and paralanguage (body language, tone, eye contact, speed, loudness), content, including quality of PowerPoint slides, organization (introduction, transitions, conclusion), with bonus points for asking questions of peer presentations. *Independent learning*: Weekly journal on reflections and observations of social issues in Japan.						
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions, discuss course outline and objectives, Unit 1: Study abroad	Lecture, pair & group discussions	Preview textbook and prepare journal
2	Unit 2: Nuclear power, Critical thinking skills (CTS): Facts and opinions, Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Textbook pp.12-13, write journal 1, vocabulary review
3	Unit 3: Immigration, CTS: Beliefs or Prejudice? Submit journal 1	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.18, vocabulary review
4	Unit 3: Immigration; Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.19, write journal 2, vocabulary review
5	Unit 4: The social safety net, CTS: Supporting positions; Submit journal 2	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.24, vocabulary review

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Unit 4: The social safety net; Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.25, write journal 3
7	Unit 5: Global warming, CTS: Criteria for evaluation; Submit journal 3	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.30, vocabulary review
8	Unit 5: Global warming; Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.31, vocabulary review
9	Unit 6: Women in the workplace, CTS: Relevant facts	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.36, vocabulary review
10	Unit 6: Women in the workplace; Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.37, vocabulary review, write journal 4
11	Unit 7: School on Saturdays, CTS: Critiquing arguments; Submit journal 4	Lecture, pair & group discussions	Reading comprehension: Textbook pp.40-41
12	Unit 8: Food labelling, CTS: Generalizations & assumptions	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.48, vocabulary review
13	Unit 8: Food labelling; Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.49, vocabulary review, write journal 5
14	Unit 9: Etiquette in the digital age, CTS: Analogies; Submit journal 5	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.54, vocabulary review
15	Unit 9: Etiquette in the digital age; *English essentials*: Presentation	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.55, vocabulary review, presentation planning
16	Unit 10: Merit-based pay, CTS: Drawing inferences	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.60, vocabulary review
17	Unit 10: Merit-based pay; Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.61, vocabulary review, write journal 6
18	Unit 11: American military bases in Japan, CTS: Logical fallacies; Submit journal 6	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.66, vocabulary review
19	Unit 11: American military bases in Japan; Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.67, vocabulary review
20	Unit 12: Taxes, CTS: The slippery slope; *English essentials*: Presentation	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.72, vocabulary review, presentation planning
21	Unit 12: Taxes; Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.73, vocabulary review, write journal 7
22	Unit 13: Living together before marriage, CTS: Ad Hominem; Submit journal 7	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.78, vocabulary review
23	Unit 13: Living together before marriage; *English essentials*: Presentation	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.79, vocabulary review, write journal 8
24	Unit 14: Animal rights, CTS: The straw man; Submit journal 8	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.84, vocabulary review
25	Unit 14: Animal rights; Reading skills review	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.85, vocabulary review, write journal 9
26	Unit 15: Hosting the Olympics, CTS: The red herring; Submit journal 9	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.90, vocabulary review, finalize presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final presentations	Presenting, Q & A	Textbook p.91, vocabulary review
28	Finish presentations, submit journals	Presenting, Q & A, feedback	Reflect on issues covered in class

テキスト	Michael Hood. *Think Smart* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG201:　英語Ⅲ（3）					担当教員	A. Wintzer
開講期	春	開講時限	月木４限			研究室	４号館２階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	２年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	Integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	This course aims at helping students to develop their capacity to express their ideas in English, both orally and in writing, and at improving their listening and reading skills.At the end of this course, students will have participated in many group discussions about social issues in Japan. These English skills and experiences will be valuable for students to improve their participation in future college courses and to communicate in English in the workplace.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests (25%); Independent learning (15%).
評価基準	Classroom activities (30%): participation in class, short skits/speeches. Assessment criteria: speech delivery, body language, accuracy, speed, lexical variety, etc. Homework assignments (30%): writing practice assignments (essays, etc). Assessment criteria: structure, language accuracy, lexical variety, quality of the arguments. Testing and assessment (25%): in-class tests, vocabulary quizzes. Independent learning (15%): lexical notebooks and self-evaluation surveys after performances.
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions. Think Smart Unit 1.	Lecture, discussions	Think Smart (TS) pp. 2-5.
2	Unit 1. Short speeches: Self-introduction.	Lecture, discussions	TS pp. 6-7. Self-introduction
3	Think Smart Unit 2: Nuclear Power	Lecture, discussions	Think Smart pp. 8-13.
4	Quiz. Handout: “Staying Connected (...)?”	Lecture, discussions	Quiz. Teacher’s handout.
5	Unit 4: The Social Safety Net (Reading).	Lecture, discussions	Think Smart pp. 20-23.
6	Unit 4 (Listening & Discussion). Unit 5 (Reading)	Lecture, discussions	TS pp. 24-29. Skit script #1.
7	Think Smart Unit 5: Global Warming	Lecture, discussions	Think Smart pp. 30-31.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Teacher's handout: "Devilish Hard Work"	Lecture, discussions	Teacher's handout.
9	Think Smart Unit 6: Women in the Workplace	Lecture, discussions	TS pp. 32-37. Submit script #2.
10	Think Smart Unit 7: School on Saturdays	Lecture, discussions	Think Smart pp. 38-43.
11	Quiz. Unit 8: Food Labeling (Reading).	Lecture, discussions	TS pp. 44-47. Vocabulary quiz.
12	Unit 8: Food Labeling (Listening & Discussion).	Lecture, discussions	Think Smart pp. 48-49.
13	Skit performances	Evaluations, discussions	Skit preparation.
14	Teacher's handout: "Politics So Far from Home"	Lecture, discussions	Teacher's handout.
15	Unit 9: Etiquette in the Digital Age	Lecture, discussions	TS pp. 50-55. Essay #1.
16	Teacher's handout: "It's not society. It's you".	Lecture, discussions	Teacher's handout.
17	Quiz. Unit 10: Merit-based Pay (Reading).	Lecture, discussions	TS pp. 56-59. Vocabulary quiz.
18	Unit 10: Merit-based Pay. In-class test #1.	Lecture, discussions	TS pp. 60-61. In-class test #1
19	Quiz. *Minamata* (Andrew Levitas, 2020), part I	Screening and discussions	Study for the vocabulary quiz.
20	Film screening, part II. Return in-class test #1 and go over results.	Screening and discussions	
21	Unit 11: American Military Bases in Japan	Lecture, discussions	TS pp. 62-67. Essay #2.
22	Unit 13: Living Together Before Marriage	Lecture, discussions	Think Smart pp. 74-79.
23	Unit 14: Animal Rights (Reading).	Lecture, discussions	Think Smart pp. 80-83.
24	Unit 14: Animal Rights. In-class test #2.	Lecture, discussions	TS pp. 84-85. In-class test #2.
25	Teacher's handout: "(...) Amount of Confidence". Return in-class test #2 and go over results.	Lecture, discussions	Teacher's handout.
26	Short speeches "A social issue in Japan"	Evaluations, discussions	Prepare your short speech.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	"Robert Malley: Iran (...)" *(BBC News)*.	Lecture, discussions	Teacher's handout.
28	"Russia in Africa (...)" *(BBC News)*.	Lecture, discussions	Teacher's handout.

テキスト	Michael Hood. *Think Smart* (Kinseido). Handouts will be given in class.
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG201:　英語Ⅲ（4）					担当教員	G. Freddes
開講期	春	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan. Students will conduct research in areas of personal interest and make three presentations.
達成目標（授業の目的）	With the aim of students becoming autonomous learners, emphasis will be placed on the development of presentation skills. Students will learn to conduct research, critically analyze information, formulate a reasoned point of view, and gain skills in clear expression.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to make effective plans for independent learning; individually conduct research; separate facts from opinions; discuss the topic with others; write an essay including facts and a personal point of view; create and deliver a five to seven-minute PowerPoint presentation that includes an effective story message, visual message, and physical message. By making three presentations, students will build the confidence to speak-out in public forums.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	Participation and performance (active involvement in text exercises, discussions, group work and Q&A); Homework (effort in thoroughly completing assignments & timely submission); Assessment: Two Essays 5% each (including facts and a personal point of view; and follow guidelines in English Essentials); and three presentations 5% each (depth and quality of research, separation of facts from opinions, the story message, visual message, physical message, follow guidelines in English Essentials); Independent Learning 15% (submission of three IL Plans - Progress Reports, journal, and a presentation)
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction: Japanese social issues Mingle / Network	Meeting and greeting, Discuss social issues	Write two paragraphs; Read British News text pp. 1-3, DVD
2	The Windows of Canterbury Cathedral: Historic buildings, landmarks, preservation of the past	Networking, form groups, discussion	Read English Essentials pp. 40-45, Begin research
3	The Writing Process	Brainstorming, Clustering, Outlining	Outline; News text pp. 7-9 DVD Independent Learning (IL) plan
4	A Skateboarding School for Women: New Sports at the Tokyo Olympics / Paris Olympics 2024	Vocabulary, listening, discussion, writing	Read English Essentials (E.E.) pp. 46-50; Continue research
5	Outlining and revising an essay: organization and content	Reading, revising an essay outline	Complete outline; Read B.N.U. text pp. 13-15 and watch DVD
6	West London's Community Gardens: Greening urban areas, food self-sufficiency, open spaces	Vocabulary, listening, discussion, writing	Read E.E. text pp. 61-64; Write a paragraph

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Essay writing: thesis statement, E.E. text pp. 19-23 Speech	Oral presentation, listening, discussion	B.N.U. text pp. 19-21 and watch the DVD; First draft of essay
8	Two Generations Sharing a Home: Care for the elderly and affordable housing for the young.	Oral presentation, listening, discussion	Submit First Draft of Essay; E.E. text pp. 19-30 (skim)
9	E.E. text Speech; Visuals: Making them outstanding and effective	Oral presentation, listening, discussion	B.N.U. text pp. 19-21 and watch the DVD; Second draft of essay
10	Cornwall's Lithium Mines: Electric vehicles, circular economy, recycling electronic goods	Vocabulary, listening, discussion, writing	Complete Essay and prepare for Presentation #1
11	Presentation preparation and practice with your group	Integration of skills, group work	Practice for presentation and submit Essay
12	Presentation #1. Women with Others: A Japanese Social Issue of Personal Interest	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete the Self-Evaluation Form; B.N.U. text pp. 31-33
13	How to Be Happy on Blue Monday: Depression, social media, color therapy, adapting to stress	Listening, discussion, Form new groups	B.N.U. text pp. 37-39 and watch the DVD
14	The New Brixham Banking Hub: New financial services, online banking, cashless society	Listening, discussion, topics for Presentation 2	B.N.U. text pp. 43-45 and watch the DVD
15	Call to Clean Up London's Diesel Trains: Air pollution, government action in communities	Vocabulary, listening, discussion, writing	Outline Presentation #2; B.N.U. text pp. 49-51 and DVD
16	The Fair Shot Café: Employment opportunities for those with learning disabilities	Vocabulary, listening, discussion, writing	(IL Report); Prepare 11 visuals for Presentation #2
17	Final preparations and practice for Presentation #2	Concise writing, peer review, practice timing	Practice for presentation, Check your timing
18	Presentation #2. Women for Others: A Positive Contribution Toward Solving a Social Issue	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete the Self-Evaluation Form; B.N.U. text pp. 55-57
19	The Impact of Covid on the Brain: New research on sensory loss and complex mental tasks	Vocabulary, listening, discussion, writing	Begin Outline of your Final Report; B.N.U. text pp. 61-63
20	Women Learning Skills for Life after Prison: Rehabilitation, reintegration into society	Vocabulary, listening, discussion, writing	Complete Outline of your Final Report; B.N.U. text pp. 67-69
21	A Space for Green Businesses: Climate change, Sustainable Ventures, entrepreneurship	Vocabulary, listening, discussion, writing	B.N.U. text pp. 73-75 and watch the DVD
22	Diversity in the Workplace: Equal employment opportunities, women in management positions	Vocabulary, listening, discussion, writing	(IL Report); First Draft of Final Report; B.N.U. text pp. 79-81
23	Repayment of Student Loans: University fees, middle-class / working-class, KPMG	Vocabulary, listening, discussion, writing	B.N.U. text pp. 85-87; Revise your Final Report
24	Bringing Back Scottish Wetlands: Climate change, rising sea levels, re-imagining coastlines	Vocabulary, listening, discussion, writing	Revise your Final Report
25	Preparations for Presentation #3, present to your group	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Practice for Presentation #3
26	Presentation #3. Women for Others, With Others: Independent Learning (Group 1)	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Submit Final Report; Self-Evaluation Form and P.A.R;
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentation #3. Women for Others, With Others: Independent Learning (Group 2)	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Submit late homework, Prepare for Interview
28	Interview and Portfolio Review	Interviewing skills	Submit late homework

テキスト	Knowles, Tanaka, Nakamura, Moue. *British News Update 5* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook* Watch TEDTalks, NHK World News, BBC and CNN (all online)
その他 特記事項	Homework must be completed before class, used in class, and submitted at the end of class.

科目名	ENG201: 英語Ⅲ（5）					担当教員	O. Massoud
開講期	春	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.
達成目標（授業の目的）	・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of the semester students will be able to: ・Participate in discussions about social issues in Japan ・Acquire vocabulary related to social issues ・Write coherent, grammatically correct paragraphs ・Make a presentation about social issues in Japan ・Learn how to research on the targeted topic and write a final report in essay structure.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (25%); Testing and assessment, including quizzes, final presentation and final report (30%); Independent learning (15%).
評価基準	1. Participation and performance: Students will be evaluated on their participation in class discussions and their performance in pair and group work. 2. Homework: Students will be evaluated on their ability to complete relevant assignments on time, including textbook exercises and vocabulary sentences. 3. Testing and assessment: Quizzes will be used to assess understanding of vocabulary and class discussion topics, and the final presentation will be evaluated on volume, clarity, and the incorporation of visuals. The final report, a research project paper in essay form, will be evaluated on the quality of the research, organization, and writing style. 4. Independent learning: Students will be evaluated on their completion of two independent learning (IL) study plans and reflections.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions to Each Other; and How We Will Use the Text	Meeting and greeting, discuss social issues	Read *English Essentials* pp. 26-30
2	Unit 1: The Challenges of Teaching English amid Coronavirus	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *NHK NEWSLINE 5* text pp. 1-6
3	TED Talk 1: Creative Thinking, Listening Log #1, The Writing Processes	Listening, group discussion, writing	Read *English Essentials* pp. 31-39
4	Unit 2: Students Keeping Memory of Shuri Castle Alive	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *NHK NEWSLINE 5* text pp. 7-13
5	TED Talk 2: See Problems as Opportunities, Listening Log #2	Lecture, Listening, writing, group discussion	Read *English Essentials* pp. 40-50

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Unit 3: A Bitter Taste for Healthy Fish, Research Project Report Outline	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *NHK NEWSLINE 5* text pp. 13-15
7	Unit 4: Robots Luring Diners Back	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *NHK NEWSLINE 5* text pp. 19-21
8	TED Talk 3: How to Talk like a Native Speaker; Listening Log #3 Quiz #1	quiz and comments, lecture, discussion	Read *English Essentials* pp. 51-60
9	Unit 5: Toilet Designs Aim to Flush Away Issues	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *NHK NEWSLINE 5* text pp. 25-27
10	Unit 6: Toilet Designs Aim to Flush Away Issues; Research Project Report Draft #1	Vocabulary, listening, discussion, group work	Choosing topics for presentations
11	Unit 7: Learning to Love Rural Japan	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *NHK NEWSLINE 5* text pp. 37-39
12	Unit 8: Advocate for Abduction Issue Remembered	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *NHK NEWSLINE 5* text pp. 43-45
13	Unit 9: Clay Artist in Touch with Tradition; Research Project Report Draft #2	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read text pp. 49-51, prepare for presentations
14	Review; How to Give Presentations: Presentation preparation	Review, presentation preparation	Read *English Essentials* pp. 61-70
15	Presentations 1: A social issue which will impact your future	Oral presentation, Q&A, discussion	Prepare power point for presentation
16	Presentations 1: A social issue which will impact your future	Oral presentation, Q&A, discussion	Prepare power point for presentation
17	Unit 10: Space Development Board Game	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *NHK NEWSLINE 5* text pp. 55-57
18	Unit 11: Tatami Takes on New Shapes and Sizes	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *NHK NEWSLINE 5* text pp. 61-63
19	TED Talk 4: How to Gain Control of Your Free Time, Listening Log #4	Lecture, Listening, writing, group discussion	Begin the outline of Final Report
20	Unit 12: A Runway to a New Start	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *NHK NEWSLINE 5* text pp. 67-69
21	Unit 13: Teaching About Black Lives Matter	Vocabulary, listening, discussion, group work	Complete the outline of Final Report
22	TED Talk 5: Be confident, Listening Log #5	Lecture, Listening, writing, group discussion	Write the first draft of Final Report
23	Unit 14: Tochigi Gourd Magic	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *NHK NEWSLINE 5* text pp. 79-81
24	Review, Quiz #2, Research Project Report Draft #3	Lecture, Listening, writing, group discussion	Revise Final Report
25	Unit 15: Lifesaver for Type 1 Diabetes Patients	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *NHK NEWSLINE 5* text pp. 85-87
26	Prepare for Research Report Project Presentations	Writing and Q&A	Submit Final Report, prepare for the presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Research Report Project Presentations	Oral presentation, Q&A, comments	Presentation
28	Review the Course	Oral presentation, comments, discussion	Presentation feedback and review the course

テキスト	T. Yamazaki and S. M. Yamazaki. *NHK NEWSLINE 5* (Kinseido). Watch NHK News (Online), TED Talks (Online), BBC (Online).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG201:　英語Ⅲ（6）					担当教員	R. Burton
開講期	春	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.						
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English						
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will have expanded their vocabulary relevant to social issues, and gained considerable practice at incorporating that vocabulary into well-structured sentences, both written and spoken. The teacher’s presentations, video input and discussions will provide ample listening skills development. Paragraph writing practice should greatly improve cohesiveness, while the short presentations allow students to develop their confidence at speaking English, reinforcing realization that comprehensive preparation greatly facilitates expression, especially with carefully planned use of key expressions. In this way students should also become more resourceful and skillful as autonomous learners of English.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).						
評価基準	Participation and performance in classroom activities: vocabulary quizzes, and discussion involvement. Homework assignments: preparatory topic focus quizzes and follow-up paragraph writing evaluated for coherence, grammar correctness, and grammar variety. Final presentation: volume, clarity, and incorporation of visuals. Final report: essay structure and sentence structures. Independent learning: incorporation of key phrases from text into a learner’s diary.						
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions to each other and how we will use the text and on-line systems support	picture – caption match	read newspaper articles about disasters, and complete report
2	Unit 1 Manga Message for the Young- Japanese Manga Artist Succeeds in America	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	complete a supplementary vocabulary task
3	Manga quiz with feedback and discussion	group discussion and paragraph writing	read a manga and then write about it as a diary entry
4	Manga quiz return and feedback Unit 2 Jumping for Victory- Team-Spirit Value	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	complete a supplementary vocabulary task
5	Language-learning Quiz with feedback	group discussion and paragraph writing	read pp.9-12 and do exercises reviewing key expressions
6	Unit 3 Seeking Quality over Cost- If you have money are you happy to pay for refinement?	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	write summary & opinion (200 words)
7	Shopping quiz with feedback	group discussion and paragraph writing	convenience stores vs. local shops + prose argument analysis

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unit 4 Getting Dads Home Earlier- Should Work-Life Balance Differ for Mums and Dads?	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	read and complete text comprehension tasks pp.21-23
9	Fatherhood discussion	group discussion and paragraph writing	write an opinion paragraph on 'How involved do mothers really want fathers to be?'
10	Unit 5 Plugging Privacy-Value of Solitude outline worksheet for student mini presentation	pair work reading + mini lecture + video	read pp.26-29 comprehension tasks + presentation worksheet
11	Movie Categories Quiz	group discussion and paragraph writing	write a comparative essay, movies compared to TV drama
12	Movie Quiz return and feedback Unit 6 Recycling is a Message of Future Hope	group reading + mini lecture + video	complete a survey and check a presentation worksheet
13	Pros and Cons Quiz with feedback and discussion	group discussion and paragraph writing	read and analyze an advantages and disadvantages essay
14	Unit 7 Housing Design and Safety - Advantages and disadvantages essay	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	Complete comprehension and expressions exercises pp.39-41
15	Living environment Quiz with feedback and answers	discussion and writing presentations session 1	Writing task comparing modern interiors with trad. Japanese
16	Unit 8 A Barrier-free Welcome- Caring by and for People with Disabilities	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	complete p.44 vocabulary and comprehension exercises
17	Speculating about possible injuries or life if becoming disabled	group discussion and writing presentations session 2	Writing about a hypothetical scenario using conditional and subjunctive patterns
18	Unit 9 Helping in Times of Disaster- Volunteer Interpreters for Foreigners in a Disaster	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	complete p.50 vocabulary tasks and p.54 key expressions task
19	Writing about an experience of disaster	group discussion + 3rd session of presentations	carry out internet search task + write problem-solution essay
20	Unit 10 Right on Track- Opportunities for Women too in Motorsports	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	complete page 56
21	Driving Quiz with feedback and discussion	discussion and writing presentations session 4	carry out a driving survey and analyze response data
22	return and feedback on Driving quiz and Survey Unit 11 Refining Japanese Art and Design	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	take a 'What is unique to Japan?' quiz
23	International distinctiveness is important because...? Survey of opinions	group discussion and writing for argument	write an essay arguing for art being emblematic of a nation
24	Unit 12 Japanese Conbini Comes to Dubai- Saturation of Japanese Market Prompts Exports	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	analyze a pros and cons of 'conbini' essay
25	Conbini Quiz	pair work planning paragraph writing	write pros and cons paragraphs working in Japan or, abroad
26	return and feedback for Conbini quiz Unit 13 Mix Masters- Chefs' Machines	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	complete a food quiz
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Food quiz answers and feedback Robots	discussion and paragraph writing	reading task about job loss
28	Unit 14 Virtual Connections- Useful Applications for Virtual-Reality Headsets	pre-reading vocabulary + video comprehension	write about your favorite smartphone app

テキスト	Tatsuroh Yamazaki, Stella M. Yamazaki, Erika C. Yamazaki. *What's on Japan 11* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG201: 英語Ⅲ（7）					担当教員	小林　美文
開講期	春	開講時限	月木４限			研究室	４号館２階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	２年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to ① understand social issues, such as schooling, gender discrimination, and other various issues in Japanese society, ② build up grammar and vocabulary skills, ③ express their opinions clearly on social issues, and ④ conduct research independently on the topics of their choice.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	**Participation and performance in classroom activities**: active involvement, effort to use English; **Homework (including paragraph & essay writing)**: accuracy of language and organization, use of reason, example, and / or evidence; **Speech & Presentation**: preparation, delivery, appropriate use of physical, visual, and story messages, understanding of the social issues studied; **In-class tests (three times)**: accuracy of language, use of vocabulary, grammar, phrases, and expressions studied, understanding of the social issues studied; **Independent learning (Final project-related assignments)**: evidence of doing research, understanding of the collected data, use of effective visuals
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction, Ice breaking Introduction to issues in schooling	Lecture, pair work, discussion	Review syllabus after class Read Unit 1
2	Issues in Schooling ① Unit 1 College Sports	Lecture, pair work, discussion	Read Unit 2
3	Issues in Schooling ② Unit 2 Homework	Lecture, pair work, discussion	Read Unit 3
4	Issues in Schooling ③ Unit 3 Tidying Up	Lecture, pair work, discussion	Read Unit 4
5	Issues in Schooling ④ Unit 4 School Schedules	Lecture, pair work, discussion	Read *English Essentials*, Unit 6

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Review: Units 1-4 How to write a paragraph	Lecture, pair work, discussion	Review Units 1-4 Brainstorm
7	Paragraph writing Speech preparation	Lecture, pair work, discussion	Submit speech script
8	Speech (Schooling in Japan) Self-evaluation and feedback	Speeches, lecture, discussion	Study Units 1-4 for Test ①
9	In-Class Test ① Introduction to issues in gender equality	Test, discussion	Read Unit 6
10	Issues in Gender Equality ① Unit 6 Mamachari	Lecture, pair work, discussion	Read Unit 11
11	Issues in Gender Equality ② Unit 11 Parenting Styles	Lecture, pair work, discussion	Read Unit 12
12	Issues in Gender Equality ③ Unit 12 Gender Segregation	Lecture, pair work, discussion	Read *English Essentials*, Unit 2
13	Review: Units 6, 11, 12 How to deliver a speech effectively	Lecture, pair work, discussion	Review: Units 6, 11, 12 Brainstorm
14	Paragraph writing, Speech preparation Return test ① and go over results	Lecture, pair work, discussion	Submit script
15	Speech (Gender issues in Japan) Self-evaluation and feedback	Speeches, discussion	Study Units 6, 11 & 12 for Test ②
16	In-Class Test ② Final Project ① Project overview	Test, lecture	Do interview for Final Project Read Unit 8
17	Various Issues in Japanese Society ① Unit 8 Paid Days Off	Lecture, pair work, discussion	Read Unit 10
18	Various Issues in Japanese Society ② Unit 10 Napping in Public	Lecture, pair work, discussion	Read Unit 16
19	Various Issues in Japanese Society ③ Unit 16 Healthcare	Lecture, pair work, discussion	Read Unit 19
20	Various Issues in Japanese Society ④ Unit 19 Rapid Transit System	Lecture, pair work, discussion	Read *English Essentials*, Unit 5
21	Final Project ② Brainstorming Return test ② and go over results	Lecture, discussion	Study Units 8, 10, 16 & 19 for Test ③
22	In-Class Test ③ Discussion of social issues in Japan	Test, discussion	Brainstorm Submit outline of presentation
23	Final Project ③ How to organize an effective essay	Lecture, pair work, discussion	Read *English Essentials*, Unit 7
24	Final Project ④ First Draft Preparation Essay writing	Lecture, pair work, discussion	Submit first draft
25	Final Project ⑤ Final Draft Preparation Return test ③ and go over results	Lecture, pair work, discussion	Submit final draft Read *English Essentials*, Unit 4
26	Final Project ⑥ PowerPoint Preparation How to prepare effective visuals	Lecture, pair work, discussion	Submit PowerPoint Prepare presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final Project ⑦ Presentation	Presentations, discussion	Prepare presentation
28	Final Project ⑧ Presentation Course Review	Presentations, discussion	Review the course

テキスト	A. Arao, K. Mihara, Y. Minami, & H. Kimura. *Enjoying Different Cultures* (Nan'un-do).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG201:　英語Ⅲ（8）					担当教員	P. McQuilling
開講期	春	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to use the key vocabulary they have learned to discuss a variety of social issues; express their ideas clearly and justify their reasons in group discussions; structure and organize written reports, speeches and presentations and deliver speeches and presentations effectively with consideration for delivery, content and visual aids.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	**Participation and performance:** active participation in class activities, worksheets will be evaluated for content and effort, discussions will be evaluated for content and contribution, presentations will be evaluated for content and delivery; **Homework:** completed thoroughly and submitted on time; **Testing and assessment:** final report (research, organization, content) final presentation (content, delivery); **Independent Learning:** background research completed thoroughly before each report, discussion or presentation.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Orientation. Introductions, Explaining evaluation criteria.	Course orientation, pair and group work.	Complete learner profiles.
2	Unit 1. Sprouting New Sushi Ideas.	Video, comprehension exercises, pair work.	Review Unit 1 vocabulary for test (p.1).
3	Japanese & International Dishes. Unit 1 test, test feedback.	Test, brainstorming, pair work, group work.	Write a short speech. Read *English Essentials* (pp.19-25).
4	Unit 2: In the Pole Position. Local Festivals.	Short speeches, Q and A, video, comprehension.	Read *Eng. Essentials* (pp.40-45). Research local festivals.
5	Unit 6: Floating on a Dream. Local festivals. Writing Process 1: Planning.	Video, comprehension, discussion.	Review Units 2 & 6 vocabulary for test (pp.7, 31).
6	Units 2 and 6 test, test feedback. Writing Process 2: Writing an Outline	Test, brainstorming, clustering, outlining.	Write an outline for the Festival Report.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Festival Report. Writing Process 3: Paragraph Writing.	Drafting, rewriting, pair work.	Write the Festival Report.
8	Unit 3. Easing Off. Japanese Working Conditions.	Video, comprehension, discussion.	Review Unit 3 vocabulary for test (p.13).
9	Unit 4. In Memory of Monty. Unit 3 test, test feedback.	Test, pair work, group discussion.	Research natural disaster relief efforts.
10	Natural Disasters Prevention & Relief.	Pair work, group discussion.	Write outline for presentation. Read *Eng. Essentials* (pp.26-30).
11	Natural Disasters Relief Efforts. Turning an outline into a presentation.	Pair work, structuring, making visuals.	Presentation preparation. Read *Eng. Essentials* (pp.25-26).
12	Natural Disasters Presentations.	Presentations, listening, self-evaluation.	Complete self-evaluation.
13	Unit 7. Japan Adventurer Completes Grand Slam.	Video, comprehension, pair work, group work.	Review Units 4 & 7 vocabulary for test (pp.19, 37).
14	Unit 5. Dating the AI Way. Units 4 & 7 test, test feedback.	Test, video, pair work, group work.	Research social media issues.
15	Social Media: benefits and dangers discussion.	Brainstorming, group discussion.	Write an opinion essay on Social Media issues.
16	Unit 8. Sorting It Out.	Video, comprehension, pair work, group work.	Review Units 5 & 8 vocabulary for test (pp.25, 43).
17	Save the Planet. Units 5 & 8 test, test feedback.	Test, pair work, group discussion.	Research an environmental issue.
18	Environmental presentation preparation.	Pair work, structuring, making visuals.	Prepare for group presentations.
19	Environmental presentations.	Presentations, listening, self-evaluation.	Complete the listening sheet for the presentations.
20	Unit 9. Haircuts for Charity.	Video, comprehension, discussion.	Research charity organizations for the group discussion.
21	Charity Organizations & Volunteerism Discussion.	Group discussion, report.	Write a report of the group discussion.
22	Unit 10. Peer group consumption. Youth issues in Japan.	Video, comprehension, discussion.	Review Units 9 & 10 vocabulary for test (pp.49, 55)
23	Unit 14. Tanzanian students discover Japan. Units 9 & 10 test, test feedback.	Test, video, comprehension.	Research gender issues in Japanese companies.
24	Equality in Education & Employment.	Brainstorming, pair work, discussion.	Write a short report on equality in education & employment.
25	Final Report Preparation – research & outline.	Writing, drafting, revising, proofreading.	Write outline of final report. Submit research.
26	Final Report Preparation – presentation preparation.	Making visuals, writing scripts.	Prepare for presentation. Read *Eng. Essentials* (pp.46-50).
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final Presentations.	Group presentations, Q and A.	Self-reflection of presentation.
28	Feedback and reflection.	Listening, Q and A, pair work, discussion.	Review the course and reflect on your progress.

テキスト	T. Yamazaki, S.M. Yamazaki. *NHK NEWSLINE 2* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG201:　英語Ⅲ（9）					担当教員	O. Ilina
開講期	春	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to remember and use key English vocabulary to discuss various topics related to the theme “Social issues in Japan”, use problem / solution thinking when expressing their views on these issues; write emails, CVs and cover letters; express their ideas in a short, well-organized presentation with a good delivery; utilize problem / solution thinking in the presentation; create and carry out three-week plans for independent English study; manage one’s time to complete assigned independent learning tasks.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	Participation and performance: active everyday involvement, effort to use English, use of vocabulary studied, content and delivery of speeches; Homework: completed thoroughly, submitted on time, use of vocabulary studied, use of problem / solution thinking; Vocabulary tests: correct answers to multiple-choice, matching, and fill-in questions; Final presentation: length, suitability of theme, use of a “preview” in Introduction, organization, delivery, problem / solution thinking; Independent learning (IL): IL Study Plans, IL Reflection Sheets, and IL Journal completed thoroughly and submitted on time, and evidence of timely completion of assigned IL tasks.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course / Living and working away from home (textbook Unit 1)	Explanation by instructor, pair-work	Review Unit 1 textbook content
2	World travel (textbook Unit 2)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 2 textbook content
3	World travel (supplementary materials), Independent learning (IL), guidelines	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 2 supplementary materials
4	Telling stories (textbook Unit 3); Recap of Unit 2	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; write IL Study Plan #1
5	Telling stories (supplementary materials), discuss IL Study plan #1	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 3

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Truth, secrets, and lies (textbook Unit 4); Recap of Unit 3	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
7	Short speech #1: speech / presentation organization	Speeches, lecture	Prepare speech
8	Truth, secrets, and lies (supplementary materials); explanation of short speech #2	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 4
9	Looking ahead, talking about the future (tb Unit 5); Recap of Unit 4; discuss IL progress	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Write IL Reflection Sheet #1
10	Looking ahead, talking about the future (suppl. materials); Discuss IL study plan #2	Pair-work, small group discussion, listening	Write IL study Plan #2
11	Success in business (textbook Unit 6); Recap of Unit 5	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
12	Success in business (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 6
13	Short speech #2	Speeches	Prepare speech
14	Vocab. test #1; Recap of Unit 6; expl. of short speech #3; Relation-s between people (Unit 7)	Test, pair-work, small group discussion	Write Unit Recap
15	Relationships between people (supplementary materials); Discuss IL progress	Pair-work, small group discussion, listening	Write IL Reflection Sheet #2
16	Extreme experiences (textbook Unit 8); Recap of Unit 7; discuss study plan #3	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; write IL Study Plan #3
17	Extreme experiences (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 8
18	Looking back at the past (textbook Unit 9); Recap of Unit 8; return test #1 and go over results	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
19	Looking back at the past	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 9
20	Solving mysteries (textbook Unit 10); Recap of Unit 9; explanation of final presentation	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
21	Short speech #3; Discuss IL progress	Speeches, small group discussion	Prepare speech; Write IL Reflection Sheet #3
22	Solving mysteries (supplementary materials); discuss IL Study Plan #4	Pair-work, small group discussion, listening	Write IL Study Plan #4
23	Regrets, wishes, and dreams (textbook Unit 11); Recap of Unit 10	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
24	Regrets, wishes, and dreams (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 11
25	Vocabulary test #2, Time flies (textbook Unit 12); Recap of Unit 11	Test, pair-work, small group discussion	Write Unit Recap
26	Return Test #2 and go over results; course evaluation; discuss IL progress; final pres. prep.	Pair-work, small group discussion, listening	Write IL Reflection Sheet #4; Prep. IL Journal (submit today)
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final presentations	Presentations	Prepare presentations
28	Final presentations	Presentations	Prepare presentations

テキスト	Lis and John Soars, Amanda Maris. *New Headway Upper-Intermediate* 4th edition (Oxford).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG201:　英語Ⅲ（10）					担当教員	N. Cook
開講期	春	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.						
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English						
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to meaningfully express their ideas both verbally and in writing. When making presentations, students will know how to focus on physical delivery (through effective posture, gestures, and use of visual aids) as well as vocal delivery. Furthermore, students will have amply participated in group discussions of social issues in Japan and will have shared performance feedback with their peers.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).						
評価基準	**Classroom activities** (30%): Active participation in group discussions, short presentations, and peer feedback. **Homework assignments** (30%): Submission of properly-formatted and insightful writing practice assignments, and 1 final essay. **Testing and assessment** (25%): Good performances of 2 presentations, and 2 Critical Thinking terms tests (midterm & final). **Independent learning** (15%): Assignments completed on time and properly submitted.						
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Unit 1: Study Abroad (Preview, Critical Thinking, Useful Words)	Lecture, pair work, group discussions	Preview textbook Unit 1
2	Unit 1 (Reading, Listening, Critical Discussion); Speech Practice I: Self Intro	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.4-5; Prepare short (1 min) speech
3	Unit 2: Nuclear Power (Preview, Critical Thinking, Useful Words)	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.8-9, 12
4	Unit 2 (Reading, Listening, Critical Discussion); Speech Practice II: Countries (physical delivery)	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.10-11; Prepare short speech
5	Unit 3: Immigration (Preview, Critical Thinking, Useful Words)	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.14-15, 18
6	Unit 3 (Reading, Listening, Critical Discussion); Speech Practice III: Hobbies (visuals)	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.16-17; Prepare short speech w / visuals

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Unit 4: Social Safety Net (Preview, Critical Thinking, Useful Words)	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.20-21, 24
8	Unit 4 (Reading, Listening, Critical Discussion); Speech Practice IV: Explaining Charts	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.22-23; Prepare short speech
9	Unit 6: Women in the Workplace (Preview, Critical Thinking, Useful Words)	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.32-33, 36
10	Unit 6 (Reading, Listening, Critical Discussion); Conducting surveys & Making charts	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.34-35; Prepare a survey question
11	Unit 7: School on Saturdays (Preview, Critical Thinking, Useful Words)	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.38-39, 42
12	Unit 7 (Reading, Listening, Critical Discussion); Midterm *Critical Thinking* test	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.40-41; Review *Critical Thinking*
13	Unit 8 (Preview, Critical Thinking, Useful Words); Return test & discuss results	Lecture, pair work, group discussions, test review	Read & do pp.44-45, 48
14	Unit 8 (Reading, Listening, Critical Discussion); Midterm Presentation	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.46-47; Prepare presentation
15	Unit 9: Etiquette in the Digital Age (Preview, Critical Thinking, Useful Words)	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.50-51, 54
16	Unit 9 (Reading, Listening, Critical Discussion); Writing I: Brainstorming & Outlines	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.52-53; Prepare writing assignment
17	Unit 10: Merit-based Pay (Preview, Critical Thinking, Useful Words)	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.56-57, 60
18	Unit 10 (Reading, Listening, Critical Discussion); Writing II: Paragraphs	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.58-59; Prepare writing assignment
19	Unit 11: American Military Bases in Japan (Preview, Critical Thinking, Useful Words)	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.62-63, 66
20	Unit 11 (Reading, Listening, Critical Discussion); Research & Critical Thinking	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.64-65
21	Unit 12: Taxes (Preview, Critical Thinking, Useful Words)	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.68-69, 72
22	Unit 12 (Reading, Listening, Critical Discussion); Research & Critical Thinking	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.70-71
23	Unit 13: Living Together Before Marriage (Preview, Critical Thinking, Useful Words)	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.74-75, 78
24	Unit 13 (Reading, Listening, Critical Discussion); Final Presentation	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.76-77; Prepare Final Presentation
25	Unit 14: Animal Rights (Preview, Critical Thinking, Useful Words)	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.80-81, 84; Review *Critical Thinking*
26	Unit 14 (Reading, Listening, Critical Discussion); Critical Thinking Final Test	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.82-83
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Unit 15: (Preview, Critical Thinking, Useful Words); Return test and discuss results	Lecture, pair work, group discussions, test review	Read & do pp.86-87, 90
28	Unit 15 (Reading, Listening, Critical Discussion); Submit Final Essay (on Moodle)	Lecture, pair work, group discussions	Read & do pp.88-89

テキスト	Michael Hood. *Think Smart* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Handouts based on David Harrington & Charles Le Beau. *Speaking of Speech: Basic Presentation Skills for Beginners* (MacMillan). (Provided by teacher)

科目名	ENG201:　英語Ⅲ（11）					担当教員	J. Zhang
開講期	春	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to discuss and write about several social issues faced in and out of Japan. Also, students will be able to think about these issues critically by watching videos, listening to world news, studying vocabulary, having group discussions, giving presentations, writing paragraphs, and acquiring knowledge about them. Additionally, students will be able to conduct research and give presentations collaboratively and individually. In this way, students will build the confidence to speak out in public.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment (two presentations and a final report) (25%); Independent learning (15%).
評価基準	・Participation in class: active participation in everyday class activities; ・Homework assignments: completing and submitting assignments on time; showing quality and effort; ・Testing and assessment: presentation#1 (5%); presentation#2 (5%); a final report (15%) ・Independent learning: effort to study outside of class (e.g., preview; review; keep vocabulary notebook)
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview; self-introduction; explain the evaluation criteria; ice-breaking	Course orientation; pair/group work	Buy textbook; prepare for [plus + Media]; buy a notebook
2	Unit 1 The challenges of teaching English amid Coronavirus	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review Unit 1; vocabulary note 1
3	Review Unit 1; complementary material: how pandemics end? How to give presentations?	Listening; exercise; pair/group work; lecture	Review textbook pp. 1~6
4	Unit 2 Students keeping memory of Shuri Castle alive	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review Unit 2; vocabulary note 2
5	Review Unit 2; complementary material: the art of conversation; what is a good presentation	Listening; exercise; pair/group work; lecture	Review textbook pp. 7~12; find a topic for presentation#1
6	Unit 3 A bitter taste for healthy fish	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review Unit 3; vocabulary note 3

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Review Unit 3; complementary material: united against food waste; finding partners for p#1	Listening; exercise; pair/group work; lecture	Review textbook pp. 13~18; prepare for p#1: doing research
8	Unit 4 Robots luring diners back	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review Unit 4; vocabulary note 4
9	Review Unit 4; complementary material: 3D printers; Prepare for p#1: report progress	Listening; exercise; pair/group work; lecture	Review textbook pp. 19~24; prepare for p#1: PowerPoint
10	Unit 5 Toilet designs aim to flush away issues	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review Unit 5; vocabulary note 5
11	Review Unit 5; complementary material: climate change—overpopulation; Prepare for p#1	Listening; exercise; pair/group work; lecture	Review textbook pp. 25~30; rehearse p#1
12	Presentation #1; discuss the final report (FR)	Lecture; presentation; Q & A; discussion	Review Units 1~5
13	Review Units 1~5; review p#1; academic writing (1): paragraph writing—the structure	Lecture; pair/group work; exercise	Review Units 1~5; think about presentation #2
14	Unit 6 Teleworking encourages Tokyo exodus	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review Unit 6; vocabulary note 6; find a topic for p#2
15	Review Unit 6; academic writing (2): paragraph writing—outline	Lecture; writing tasks; pair/group work	Review textbook pp. 31~36; doing research for p#2
16	Unit 7 Learning to love rural Japan	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review Unit 7; vocabulary note 7
17	Review Unit 7; academic writing (3): paragraph writing—supporting sentences	Lecture; writing tasks; pair/group work	Review textbook pp. 37~42; prepare for p#2
18	Unit 8 Advocate for abduction issue remembered	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review Unit 8; prepare for p#2; vocabulary note 8
19	Review Unit 8; academic writing (4): essay writing— the structure	Lecture; writing tasks; pair/group work	Review textbook pp. 43~48; think about FR
20	Unit 9 Clay artist in touch with tradition	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review Unit 9; prepare for final report; vocabulary note 9
21	Review Unit 9; academic writing (4): essay writing—thesis statement	Lecture; writing tasks; pair/group work	Review textbook pp. 49~54; write an outline for FR
22	Unit 10 Space development board game	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review Unit 10; start writing FR; vocab. note 10
23	Review Unit 10; discuss p#2 and FR; academic writing (5)—introduction & conclusion	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review textbook pp. 55~60; continue with FR
24	Unit 11 Tatami takes on new shapes and sizes	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review Unit 11; continue with FR; vocab. note 11
25	Review Unit 11; discuss p#2 and FR; academic writing (6)—body	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review textbook pp. 61~66; revise FR
26	Unit 12 A runway to a new start; discuss FR and p#2	Lecture; video; exercise; discussion; group work	Review Unit 12; rehearse p#2; revise FR; vocab. note 12
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final presentations (p#2) on social issues in Japan	Oral presentation; comments; discussion	Rehearse p#2; submit FR
28	Final presentations (p#2); review Units 10~12; Summarizing the course	Oral presentation; comments; discussion	Review the course

テキスト	T. Yamazaki & S. M. Yamazaki. *NHK Newsline 5* (KINSEIDO).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Complementary material based on BBC news online.

科目名	ENG202:　英語Ⅳ（1）					担当教員	P. McQuilling
開講期	秋	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will be able to use the key vocabulary they have learned to discuss a variety of social issues; express their ideas clearly and justify their reasons in group discussions; structure and organize written reports, speeches and presentations and deliver speeches and presentations effectively with consideration for delivery, content and visual aids.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.
評価基準	**Participation and performance:** active participation in class activities, worksheets will be evaluated for content and effort, discussions will be evaluated for content and contribution, presentations will be evaluated for content and delivery; **Homework:** completed thoroughly and submitted on time; **Testing and assessment:** final report (research, organization, content) final presentation (content, delivery); **Independent Learning:** background research completed thoroughly before each report, discussion or presentation.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Orientation. Introduction to the course, evaluation criteria explanation.	Course orientation, pair and group work.	Complete learner profile.
2	Unit 1. Hitchhiking around the world.	Q and A, pair work, group work.	Review unit 1 vocabulary for test (p.3).
3	Unit 1 test, test feedback, Discussion techniques. Bucket List Discussion.	Test, brainstorming, pair work, group work.	Write a short speech. Read *English Essentials* (pp.19-25).
4	Unit 2. Olympic Spirit – history and internationalism.	Short speeches, Q and A, pair work, group work.	Review unit 2 for test (p.7) research Olympics pros & cons.
5	Unit 2 test, test feedback. The Olympics–benefit or burden? Discussion skills review.	Test, brainstorming, group discussion.	Write a short opinion essay on hosting the Olympics.
6	Unit 4. Where’s My Hotel? Understanding Cultural Differences.	Reading, Q and A, pair work.	Review the unit.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Unit 5. Global Connections. Writing Process (WP) 1: Planning.	Reading, Q and A, pair work.	Review units 4 & 5 for test. (pp.15, 19).
8	Units 4 & 5 test and feedback, Global Issues Research Project, WP 2: Writing an Outline.	Test, brainstorming, clustering, outlining.	Research & write outline. Read *English Essentials* (pp.26-30).
9	Global Issues Research Project draft & revision. WP 3: Paragraph Writing.	Writing, revising.	Redraft & submit Global Issues essay.
10	Unit 6. Welcome Home. Cross Cultural Issues: Emotions.	Pair work, group work, discussion.	Review unit 6 for test (p.23).
11	Unit 6 test, test feedback. Unit 8. Is This Seat Taken?	Test, listening, reading, Q and A, pair work.	Prepare for speech on positive role models.
12	Positive role model presentations.	Presentations, listening, self-evaluation.	Complete presentation self-evaluation.
13	Unit 7. The Secret of Life.	Listening, reading, Q and A, pair work.	Review units 7 & 8 for test. (pp.27, 31).
14	Units 7 & 8 test, test feedback, The World Happiness Report.	Test, pair work, group work, discussion.	Write a short essay based on the World Happiness Report.
15	Unit 9. Exploring World Religions.	Listening, reading, Q and A, pair work.	Research world religions.
16	World Religions & Religious Festivals.	Pair work, group work, discussion.	Write a report about a religious festival.
17	Unit 12. A Crowded Planet. Population Problems Research.	Pair work, group work, discussion.	Review units 9 & 12 for test (pp.35, 47).
18	Units 9 & 12 test, test feedback, Population problems.	Test, pair work, group discussion.	Write a report based on the group discussion.
19	Unit 15. World Citizenship.	Listening, reading, Q and A, pair work.	Review unit 15 for test (p.59). Research SDGs.
20	Unit 15 test, test feedback, Sustainable Development Goals (SDGs).	Test, listening, reading, Q and A, pair work.	Research SDGs for a group presentation.
21	SDGs Group Presentation preparation.	Pair work, discussion, writing script.	Prepare presentation visuals and script.
22	SDGs Group Presentations.	Presentations, listening.	Write a short report based on the presentations.
23	Unit 14. Beware of Landmines.	Listening, reading, Q and A, pair work.	Review unit 14 for test (p.55). Research NGOs for a report.
24	Unit 14 test, test feedback. NGOs & NPOs.	Listening, reading, Q and A, pair work.	Write a short report on NGOs.
25	Review of units and topics covered in the course.	Brainstorming, pair work, discussion.	Write first draft of final report. Read *Eng. Essentials* (pp.46-50).
26	Final Report Preparation.	Writing, drafting, revising, proofreading.	Submit final report. Prepare presentation.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final Presentations.	Group presentations, Q and A.	Self-reflection of presentation.
28	Feedback and reflection.	Listening, Q and A, pair work, discussion.	Review the course and reflect on your progress.

テキスト	K.A. Cates, N. Kurihara. *Off to the World! – Adventures in Language and Life* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG202:　英語Ⅳ（2）					担当教員	A. Wintzer
開講期	秋	開講時限	月木４限			研究室	４号館２階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	２年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-①
キーワード	Integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.						
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English						
到達目標（学修成果）	This class aims at improving the reading, listening, writing and speaking skills of the students. By exposing them to various documents about different countries, they will enhance their knowledge about the world and get exposed to various English accents. Students will also get many opportunities to express their thoughts, and to interact with their classmates in English. This class aims also at helping students to acquire important methods to enhance their foreign language learning skills on their own.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.						
評価基準	Classroom activities (30%): participation in class, a short speech, a skit, and a final presentation. Assessment criteria: delivery, body language, accuracy, speed, lexical variety, etc. Homework assignments (30%): writing practice assignments (essay, short story, etc). Assessment criteria: structure, language accuracy, lexical variety, quality of the arguments. Testing and assessment (25%): in-class tests, vocabulary quizzes. Independent learning (15%): lexical notebook, self-evaluation surveys after performances and TOEIC-IP.						
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions, World Adventures Chapter 1: India (Reading). Short speech #1: instructions.	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 1-3.
2	Ch. 1: India (Videos & Discussions) Short speech #1: A recent news	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 3-6. Prepare short speech #1
3	World Adventures Ch. 2: Philippines	Lecture, discussions	World Adventures pp. 7-12.
4	Vocabulary quiz World Adventures Ch. 3: Thailand	Lecture, pair work, group discussions	Study for the vocabulary quiz. World Adventures pp. 13-18.
5	Ch. 4: Vietnam (Reading). Instructions related to the skit +beginning of the writing of the skit	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 19-21.
6	Ch. 4: Vietnam (Videos & Discussions) Ch. 5: Korea (Reading)	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 21-27. Submit the skit script #1
7	Ch. 5: Korea (Videos & Discussions) Feedback regarding the skit scripts.	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 27-30.
8	Vocabulary quiz Ch. 6: France	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 31-36. Study for the vocabulary quiz.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	World Adventures Chapter 7: Italy Lexical notebook check.	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 37-42. Update your lexical notebook.
10	World Adventures Chapter 8: Denmark	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 43-48. Submit the skit script #2
11	Vocabulary quiz. Ch. 9: Portugal (Reading). Feedback about the scripts and skit rehearsals.	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 49-51. Study for the vocabulary quiz.
12	Ch. 9: Portugal (Videos & Discussions). Take-home essay #1: instructions. In-class test #1	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 51-54. Study for the in-class test #1.
13	Skit performances (part I)	Evaluations, discussions	Skit preparation
14	Skit performances (part II) Return in-class test #1 and go over results.	Evaluations, discussions	Skit preparation
15	World Adventures Chapter 10: Turkey	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 55-60. Submit the take-home essay #1.
16	World Adventures Chapter 11: Egypt	Lecture, discussions	World Adventures pp. 61-66.
17	Vocabulary quiz. Ch. 12: South Africa (Reading) Feedback regarding the take-home essay #1.	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 67-69. Study for the vocabulary quiz.
18	Ch. 12: South Africa (Videos & Discussions) Instructions regarding the take-home essay #2. Lexical notebook check.	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 69-72. Update your lexical notebook.
19	Vocabulary quiz. Film screening: *Argo* (Ben Affleck, 2012), part I	Screening and discussion	Study for the vocabulary quiz.
20	Film screening, part II	Screening and discussion	
21	World Adventures Chapter 13: Brazil	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 73-78. Submit the take-home essay #2.
22	World Adventures Chapter 14: Peru	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 79-84.
23	Ch. 14: Guatemala (Reading). Feedback about the essay #2. Instructions for the presentations	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 85-87.
24	Ch. 14: Guatemala (Videos). Lexical notebook check. In-class test #2.	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 87-90. Update your lexical notebook.
25	“The Roots of the Ukraine War: How the Crisis Developed” (*The New York Times*)	Lecture, pair work, group discussions	Read the newspaper article in advance.
26	“What’s behind China-Taiwan tensions?” (*BBC News*). Return in-class test #2 and go over results.	Lecture, pair work, group discussions	Read the newspaper article in advance.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Student’s presentations: “One issue in today’s world” (part I)	Evaluations, feedback and discussions	Preparation of the presentation and PowerPoint slides.
28	Student’s presentations: “One issue in today’s world” (part II).	Evaluations, feedback and discussions	Preparation of the presentation and PowerPoint slides.

テキスト	Scott Berlin, Megumi Kobayashi. *World Adventures* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student’s final grade.

科目名	ENG202:　英語Ⅳ（3）					担当教員	R. Burton
開講期	秋	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.						
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English						
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will have expanded their vocabulary relevant to being able to bring polite enquiry to their participation in discussions addressing international issues, as seen from a Japanese and international perspective. They will have learned methods of writing clearly, and in well-structured sentences that combine cohesively. They will have broadened their understanding, and thereby their tolerance, of diverging opinions on social issues, and gained ability to incorporate that vocabulary into their written and spoken sentences. Teacher presentations and follow-up discussions will provide ample listening-skills development. In this way students should also become more resourceful and skillful as autonomous learners of English.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.						
評価基準	**Participation and performance:** There will be regular text comprehension exercises to gauge grasp of cultural contents, including vocabulary; contributions to discussions will be evaluated on frequency and pertinence. **Homework:** Paragraph writings will be scrutinized and evaluated for critical enquiry and clarity in politely putting forward alternative views and general cohesiveness. **Assessment:** Text Comprehension & Vocabulary Quizzes (20%), Final Report (5%) and **Independent learning** which will be evaluated with a quiz and summary task.						
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course Introduction through example of Unit 1 SNS and Identity theft- SNS Security Risks	mini-lecture on topic + pair work discussion	Read page 7 “Identity theft” & vocabulary check
2	Identity theft examined through readings from 4 different sources plus x2 pro & x2 con opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 13 “Women-only train cars” & vocabulary check
3	Unit 2 Women’s Protection or Gender Equality?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
4	Does disproportionate empathy = sexism? Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 19 “Where have eco-caps gone” & vocabulary check
5	Unit 3 Eco or Ego?- Recycling Industry Integrity Mini reading comprehension / vocabulary quiz	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
6	Distinguishing broken promises from bogus claims Readings from 4 different sources	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 25 “Online High School” & vocabulary check

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Unit 4 Rewarding Pastime? Online Education	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
8	What makes a pastime NOT a waste of time? Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 31 “Japan’s press freedom” & vocabulary check
9	Unit 5 Democracy- How Free is the Press?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
10	The 4 essentials for a ‘full democracy’ + Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 37 “Casino gambling in Japan” & vocabulary check
11	Unit 6 Hopes and Fears around Casinos	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
12	Is gambling a pastime, an industry of hope, or a ruin? + Readings from 4 different sources	group discussion + vocab of betting and chance	Read page 43 “Exploitative employment” & vocab. check
13	Unit 7 Should High Schoolers Work Part-time?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
14	Balancing studies and having to earn a living Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 49 “TPP negotiators” & vocabulary check
15	Unit 8 Globalization- Who Really Benefits?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
16	Are large wealth gaps an insult to humanity? Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 55 “AI beats shogi master” & vocabulary check
17	Unit 9 Humans or AI? Will AI take our jobs?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
18	Can AI learn human values? Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 61 “Gap year” & vocabulary check
19	Unit 10 Gap Year- Advantage or Disadvantage for Job Hunting?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
20	Does military conscription count as a ‘gap year’? Readings from 4 different sources	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 67 “Privatization of universities” & vocab. check
21	Unit 11 Big Government or Limited Government?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
22	Dangers of too big or too little tax. Is there an Optimum? Readings from 4 different sources	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 73 “Homelessness Responsibility” & vocab. check
23	Unit 12 Are the Homeless Responsible for Their Own Homelessness?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
24	Mental health and human vulnerability – Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	group discussion + vocab. check
25	Unit 13 Severe Crimes: Punishment, Restitution or Rehabilitation?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
26	Forgiveness: guilt cultures versus shame cultures Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 85 “Foreign workers in Japan” & vocabulary check
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Unit 14 Open Borders or Closed Societies? How far open?	mini-lecture + pair work discussion + reading	paragraph writing and vocabulary quiz
28	Appropriate degrees of pity, mercy, and charity – Readings from 4 different sources & 4 opinions	group discussion + vocab + mini-writing	Read page 91 “Tax burden”

テキスト	Ichizo Ueda et al. *Take a Stance* (Cengage / National Geographic).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student’s final grade.

科目名	ENG202:　英語Ⅳ（4）					担当教員	M. Wilkinson
開講期	秋	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of the course students should be able to engage with a number of social issues facing Japanese society and the wider world. Students will be able to think critically about these issues and apply the skills they study in discussions, such as problem solving and responding appropriately to opinions. These skills be applied when giving a presentation and asking and answering questions. Independent learning skills are also developed by writing a weekly journal.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as giving a talk, a final presentation, and peer summaries (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.
評価基準	*Participation*: Actively contributing to pair and group discussions and completing in-class tasks. *Homework assignments*: Completing and submitting assignments by the deadline (Textbook activities). *Testing and assessment*: Talk giving summary of TED talk of choice-fluency (tone, eye contact, loudness, speed), content (clarity); final presentation (5 minutes)- fluency and paralanguage (body language, tone, eye contact, speed, loudness), content, including clarity and quality of PowerPoint slides, organization (introduction, transitions, conclusion), with bonus points for asking questions of peer presentations; peer summary of four presentations (accuracy in summarising key points). *Independent learning*: Weekly journal giving thoughts on current global news and events
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is neded for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course Introduction and Explanation, introductions, Unit 1: Free Therapy	Lecture, group work, discussions	Preview textbook and prepare journal
2	Unit 1: Free Therapy Discussion, vocabulary, listening	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 1
3	Unit 1: Free Therapy Critical thinking, speaking, vocabulary	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
4	Unit 1: Free Therapy Listening (video), Critical thinking, *English Essentials* Critical thinking	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 2
5	Unit 2: The Right to Know Discussion, vocabulary, listening	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
6	Unit 2: The Right to Know Critical thinking, speaking, vocabulary	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 3
7	Unit 2: The Right to Know Listening (video), Critical thinking	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unit 3: Listen Up! Discussion, vocabulary, listening	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 4
9	Unit 3: Listen Up! Critical thinking, speaking, vocabulary	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
10	Unit 3: Listen Up! Listening (video), Critical thinking	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 5
11	Unit 4: Big Data Discussion, vocabulary, listening	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
12	Unit 4: Big Data Critical thinking, speaking, vocabulary	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 6
13	Unit 4: Big Data Listening (video), Critical thinking, *English Essentials* Speech	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
14	Talk based on TED Q & A	Talks, Q & A	Finish textbook exercises, write journal 7
15	Unit 5: Fear Factor Discussion, vocabulary, listening	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
16	Unit 5: Fear Factor Critical thinking, speaking, vocabulary	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 8
17	Unit 5: Fear Factor Listening (video), Critical thinking	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
18	Unit 6: Food for Thought Discussion, vocabulary, listening	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 9
19	Unit 6: Food for Thought Critical thinking, speaking, vocabulary	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
20	Unit 6: Food for Thought Listening (video), Critical thinking	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 10
21	Unit 7: A Good Reputation Discussion, vocabulary, listening	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
22	Unit 7: A Good Reputation Critical thinking, speaking, vocabulary	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 11
23	Unit 7: A Good Reputation Listening (video), Critical thinking, *English Essentials* Presentation	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
24	Unit 8: Life Hacks Discussion, vocabulary, listening	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 12
25	Unit 8: Life Hacks Critical thinking, speaking, vocabulary	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, prepare presentation
26	Unit 8: Life Hacks Listening (video), Critical thinking, *English Essentials* Visuals	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, prepare presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final presentations Q & A	Presentations with Q & A after each, peer summaries	Complete peer summaries
28	Final presentations Q & A, submit summaries	Presentations with Q & A after each, peer summaries	Review the course and reflect on progress.

テキスト	Christian Lee. *21st Century Communication: Listening Speaking and Critical Thinking* (Cengage).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG202:　英語Ⅳ（5）					担当教員	G. Freddes
開講期	秋	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues. Students will conduct research in areas of personal interest and make three presentations.
達成目標（授業の目的）	With the aim of students becoming autonomous learners, emphasis will be placed on the development of presentation skills. Students will learn to conduct research, critically analyze information, formulate a reasoned point of view, and gain skills in clear expression.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to make effective plans for independent learning; individually conduct research; separate facts from opinions; discuss the topic with others; write an essay including facts and a personal point of view; create and deliver a five to seven-minute PowerPoint presentation that includes an effective story message, visual message, and physical message. By making three presentations, students will build the confidence to speak-out in public forums.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.
評価基準	Participation and performance (active involvement in text exercises, discussions, group work and Q&A); Homework (effort in thoroughly completing assignments & timely submission); Assessment: Two Essays 5% each (including facts and a personal point of view; and follow guidelines in English Essentials); and three presentations 5% each (depth and quality of research, separation of facts from opinions, the story message, visual message, physical message, follow guidelines in English Essentials); Independent Learning (15%) 5% for submission of three IL Plans – Progress Reports, and Final Report
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction: Japanese / Global issues Mingle / Network	Meeting and greeting, Discuss social issues	Write two paragraphs; Read Inspiring Voices pp. 11-12, DVD
2	Ride-Hailing Innovation: Creating Jobs Through Technology, Nadiem Makarim (CEO, Gojek)	Networking, form groups, discussion	Read English Essentials (E.E.) pp. 40-45, Begin research
3	The Writing Process	Brainstorming, Clustering, Outlining	Outline; I.V. text pp. 17-18 DVD Independent Learning (IL) plan
4	Bringing Medicine to the African Backcountry: Eri Machii (Chairperson, AfriMedico)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Read E.E. pp. 46-50; Continue research
5	Outlining and revising an essay: organization and content	Reading, revising an essay outline	Complete outline; Read I.V. text pp. 23-24 and watch DVD
6	Saving Children in Poverty Through Music Margaret Martin (Founder, Harmony Project)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Read E.E. text pp. 61-64; Write a paragraph

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Essay writing: thesis statement, E.E. text pp. 19-23 Speech	Oral presentation, listening, discussion	I.V. text pp. 29-30 and watch the DVD; First draft of essay
8	The Matcha Business: A Maverick Spirit Takeo Sugita (President, Aiya)	Oral presentation, listening, discussion	Submit First Draft of Essay; E.E. text pp. 19-30 (skim)
9	E.E. text Speech; Visuals: Making them outstanding and effective	Vocabulary, listening, discussion, writing	I.V. text pp. 35-36 DVD; begin preparing visuals; (IL Report)
10	French Refugee Integration Ayyam Sureau (Founder, Pierre Claver)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Complete Essay and prepare for Presentation #1
11	Presentation preparation and practice with your group	Integration of skills, group work	Practice for presentation and submit Essay
12	Presentation #1. Women with Others: A Japanese / Global Issue of Personal Interest	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete the Self-Evaluation Form; I.V. text pp. 41-42, DVD
13	The Power of Biologging: Yuuki Watanabe (Marine Biologist: National I. of Polar Research)	Listening, discussion, Form new groups	I.V. text pp. 47-48 and watch the DVD
14	Farming is the Future: Cherrie Atilano (Founding Farmer and CEO, AGREA)	Listening, discussion, topics for Presentation 2	I.V. text pp. 53-54 and watch the DVD
15	New Challenges for a Fashion Giant Luciano Benetton (Co-founder, Benetton Group)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Outline Presentation #2; I.V. text pp. 59-60 and DVD
16	Helping the Socially Vulnerable: Viola Cheng (Entrepreneur, Good Food Enterprise)	Vocabulary, listening, discussion, writing	(IL Report); Prepare 11 visuals for Presentation #2
17	Final preparations and practice for Presentation #2	Concise writing, peer review, practice timing	Practice for presentation, Check your timing
18	Presentation #2. Women for Others: A Positive Contribution Toward Solving a Global Issue	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete the Self-Evaluation Form; I.V. text pp. 65-66, DVD
19	The Danish Recipe for Happiness: Meik Wiking (CEO, Happiness Research Institute)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Begin Outline of your Final Report; I.V. text pp. 71-72, DVD
20	Knitting the Future by Hand: Tamako Mitarai (CEO, Kesennuma Knitting)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Complete Outline of your Final Report; I.V. text pp. 77-78, DVD
21	Towards a Zero-Waste Future Sun Xiaolong (Scientist, Zerowaste Asia)	Vocabulary, listening, discussion, writing	I.V. text pp. 83-84 and watch the DVD
22	The Healing Power of Dogs: Toru Oki (Chairman, International Therapy Dog Assc.)	Vocabulary, listening, discussion, writing	(IL Report); First Draft of Final Report; I.V. text pp. 89-90, DVD
23	Uncovering Our Hidden Biases: Mahzarin Banji (Social Psychologist, Harvard University)	Vocabulary, listening, discussion, writing	I.V. text pp. 95-96, DVD; Revise your Final Report
24	Space Exploration: Can Private Citizens Play a Role? Bill Nye (CEO, The Planetary Society)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Revise your Final Report
25	Preparations for Presentation #3, present to your group	Integration of skills, group work	Practice for Presentation #3
26	Presentation #3. Women for Others, With Others: Global Issue…Your Future (Group 1)	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Submit Final Report; Self-Evaluation Form and P.A.R;
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentation #3. Women for Others, With Others: Global Issue…Your Future (Group 2)	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Submit late homework, Prepare for Interview
28	Interview and Portfolio Review	Interviewing skills	Submit late homework

テキスト	Kobayashi, Fujita, Collins. *Inspiring Voices* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook* Watch TEDTalks, NHK World News, BBC and CNN (all online)
その他 特記事項	Homework must be completed before class, used in class, and submitted at the end of class. Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG202: 英語Ⅳ（6）					担当教員	B. Irwin
開講期	秋	開講時限	火金 1 限			研究室	4216
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will have expanded their knowledge of a number of global issues and how they relate to Japan. Students will learn key vocabulary and phrases to help them communicate their opinions and discuss these topics with others. Students should be able to collaborate to create a 7-10 minute PowerPoint presentation in groups with effective slides and thoughtfully researched information. Students should also be able to create 5-10 minute individual PowerPoint presentations.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as self-reflection reports, group presentation, and individual presentation (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.
評価基準	Participation and performance: active involvement in group and pair work. Homework assignments: regular homework submitted in a timely manner; weekly vocabulary and phrases preview sheets. Testing and assessment: self-reflection reports (x3) : shows understanding of global issues and thoughtfulness of reflection; group and individual presentations: length, content, organization, and language accuracy; Independent learning: submission of peer evaluation feedback.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction: syllabus, learning materials, class policies, and expectations	Self-introductions and pair work	Read syllabus, review schedule & textbook
2	Introducing SDGs; discussion: importance and significance of SDGs	Lecture, pair work, group discussion	Textbook pp. 11-14: preview vocab.; research topic online
3	Unit 1. No Poverty; discussion: spending habits	Lecture, pair work, group discussion	Textbook pp. 15-20: preview vocab.; research topic online
4	Unit 2. Zero Hunger; discussion: food waste	Lecture, pair work, group discussion	Textbook pp. 21-26: preview vocab.; research topic online
5	Unit 3. Good Health & Well-being; discussion: fitness apps	Lecture, pair work, group discussion	Textbook pp. 27-32: preview vocab.; research topic online
6	Unit 4. Quality Education; discussion: reflecting on your education	Lecture, pair work, group discussion	Textbook pp. 33-38: preview vocab.; research topic online

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Self-reflection report 1; Group presentations explanation	Lecture, report writing	Prepare self-reflection report
8	Unit 5. Gender Equality; discussion: personal experiences	Lecture, pair work, group discussion	Textbook pp. 39-44: preview vocab.; research topic online
9	Unit 6. Clean Water & Sanitation; discussion: water conservation	Lecture, pair work, group discussion	Textbook pp. 45-50: preview vocab.; research topic online
10	Unit 7. Affordable & Clean Energy; discussion: renewable energy in Japan	Lecture, pair work, group discussion	Textbook pp. 51-56: preview vocab.; research topic online
11	Unit 8. Decent Work & Economic Growth; discussion: fair trade	Lecture, pair work, group discussion	Textbook pp. 57-62: preview vocab.; research topic online
12	Unit 9. Industry, Innovation & Infrastructure; discussion: innovation in Japan	Lecture, pair work, group discussion	Textbook pp. 63-68: preview vocab.; research topic online
13	Group presentations; peer feedback	Group presentations, peer eval. & feedback	Prepare presentation & feedback
14	Group Presentations; peer feedback	Group presentations, peer eval. & feedback	Prepare presentation & feedback
15	Unit 10. Reduced Inequalities; discussion: immigration issues	Lecture, pair work, group discussion	Textbook pp. 69-74: preview vocab.; research topic online
16	Unit 11. Sustainable Cities & Communities; discussion: improving your communities	Lecture, pair work, group discussion	Textbook pp. 75-80: preview vocab.; research topic online
17	Unit 12. Responsible Consumption & Production; discussion: your shopping habits	Lecture, pair work, group discussion	Textbook pp. 81-86: preview vocab.; research topic online
18	Unit 13. Climate Action; discussion: reducing emissions	Lecture, pair work, group discussion	Textbook pp. 87-92: preview vocab.; research topic online
19	Self-reflection report 2; Individual presentations explanation (poster presentations)	Lecture, report writing	Prepare self-reflection report
20	Unit 14. Life Below Water; discussion: reducing plastic waste	Lecture, pair work, group discussion	Textbook pp. 93-98: preview vocab.; research topic online
21	Unit 15. Life on Land; discussion: guerilla gardening	Lecture, pair work, group discussion	Textbook pp. 99-104: preview vocab.; research topic online
22	Unit 16. Peace, Justice & Strong Institutions; discussion: peace	Lecture, pair work, group discussion	Textbook pp. 105-110: preview vocab.; research topic online
23	Unit 17. Partnerships for the Goals; discussion: volunteering	Lecture, pair work, group discussion	Textbook pp. 111-116: preview vocab.; research topic online
24	SDG review; Individual presentation preparation	Lecture, pair work, group discussion	Review units 1-17; prepare posters for presentations
25	Individual presentations; peer feedback	Individual presentations, peer eval. & feedback	Prepare presentation; write peer feedback
26	Individual presentations; peer feedback	Individual presentations, peer eval. & feedback	Prepare presentation; write peer feedback
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Individual presentations; peer feedback	Individual presentations, peer eval. & feedback	Prepare presentation; write peer feedback
28	Individual presentation feedback; course feedback; self-reflection report 3	Lecture and self-reflection activity	Prepare self-reflection activity

テキスト	Miki Tagashira, Fergus Hann, Reiko Fujita. *Making Choices* (Cengage).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG202:　英語Ⅳ（7）					担当教員	G. Freddes
開講期	秋	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues. Students will conduct research in areas of personal interest and make three presentations.
達成目標（授業の目的）	With the aim of students becoming autonomous learners, emphasis will be placed on the development of presentation skills. Students will learn to conduct research, critically analyze information, formulate a reasoned point of view, and gain skills in clear expression.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to make effective plans for independent learning; individually conduct research; separate facts from opinions; discuss the topic with others; write an essay including facts and a personal point of view; create and deliver a five to seven-minute PowerPoint presentation that includes an effective story message, visual message, and physical message. By making three presentations, students will build the confidence to speak-out in public forums.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.
評価基準	Participation and performance (active involvement in text exercises, discussions, group work and Q&A); Homework (effort in thoroughly completing assignments & timely submission); Assessment: Two Essays 5% each (including facts and a personal point of view; and follow guidelines in English Essentials); and three presentations 5% each (depth and quality of research, separation of facts from opinions, the story message, visual message, physical message, follow guidelines in English Essentials); Independent Learning (15%) 5% for submission of three IL Plans - Progress Reports, and Final Report
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction: Japanese / Global issues Mingle / Network	Meeting and greeting, Discuss social issues	Write two paragraphs; Read British News text pp. 1-3, DVD
2	The Windows of Canterbury Cathedral: Historic buildings, landmarks, preservation of the past	Networking, form groups, discussion	Read English Essentials (E.E.) pp. 40-45, Begin research
3	The Writing Process	Brainstorming, Clustering, Outlining	Outline; News text pp. 7-9 DVD Independent Learning (IL) plan
4	A Skateboarding School for Women: New Sports at the Tokyo Olympics / Paris Olympics 2024	Vocabulary, listening, discussion, writing	Read E.E. pp. 46-50; Continue research
5	Outlining and revising an essay: organization and content	Reading, revising an essay outline	Complete outline; Read B.N.U. text pp. 13-15 and watch DVD
6	West London's Community Gardens: Greening urban areas, food self-sufficiency, open spaces	Vocabulary, listening, discussion, writing	Read E.E. text pp. 61-64; Write a paragraph

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Essay writing: thesis statement, E.E. text pp. 19-23 Speech	Oral presentation, listening, discussion	B.N.U. text pp. 19-21 and watch the DVD; First draft of essay
8	Two Generations Sharing a Home: Care for the elderly and affordable housing for the young	Oral presentation, listening, discussion	Submit First Draft of Essay; E.E. text pp. 19-30 (skim)
9	E.E. text Speech; Visuals: Making them outstanding and effective	Oral presentation, listening, discussion	B.N.U. text pp. 19-21 and watch the DVD; Second draft of essay
10	Cornwall's Lithium Mines: Electric vehicles, circular economy, recycling electronic goods	Vocabulary, listening, discussion, writing	Complete Essay and prepare for Presentation #1
11	Presentation preparation and practice with your group	Integration of skills, group work	Practice for presentation and submit Essay
12	Presentation #1. Women with Others: A Japanese / Global Issue of Personal Interest	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete the Self-Evaluation Form; B.N.U. text pp. 31-33
13	How to Be Happy on Blue Monday: Depression, social media, color therapy, adapting to stress	Listening, discussion, Form new groups	B.N.U. text pp. 37-39 and watch the DVD
14	The New Brixham Banking Hub: New financial services, banking hubs, online banking	Listening, discussion, topics for Presentation 2	B.N.U. text pp. 43-45 and watch the DVD
15	Call to Clean Up London's Diesel Trains: Air pollution, government action in communities	Vocabulary, listening, discussion, writing	Outline Presentation #2; B.N.U. text pp. 49-51 and DVD
16	The Fair Shot Café: Employment opportunities for those with learning disabilities	Vocabulary, listening, discussion, writing	(IL Report); Prepare 11 visuals for Presentation #2
17	Final preparations and practice for Presentation #2	Concise writing, peer review, practice timing	Practice for presentation, Check your timing
18	Presentation #2. Women for Others: A Positive Contribution Toward Solving a Global Issue	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete the Self-Evaluation Form; B.N.U. text pp. 55-57
19	The Impact of Covid on the Brain: New research on sensory loss and complex mental tasks	Vocabulary, listening, discussion, writing	Begin Outline of your Final Report; B.N.U. text pp. 61-63
20	Women Learning Skills for Life after Prison: Rehabilitation and reintegration into society	Vocabulary, listening, discussion, writing	Complete Outline of your Final Report; B.N.U. text pp. 67-69
21	A Space for Green Businesses: Climate change, Sustainable Ventures, entrepreneurship	Vocabulary, listening, discussion, writing	B.N.U. text pp. 73-75 and watch the DVD
22	Diversity in the Workplace: Equal employment opportunities, women in management positions	Vocabulary, listening, discussion, writing	(IL Report); First Draft of Final Report; B.N.U. text pp. 79-81
23	Repayment of Student Loans: University fees, middle-class / working-class, KPMG	Vocabulary, listening, discussion, writing	B.N.U. text pp. 85-87; Revise your Final Report
24	Bringing Back Scottish Wetlands: Climate change, rising sea levels, re-imagining coastlines	Vocabulary, listening, discussion, writing	Revise your Final Report
25	Preparations for Presentation #3, present to your group	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Practice for Presentation #3
26	Presentation #3. Women for Others, With Others: Global Issue…Your Future (Group 1)	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Submit Final Report; Self-Evaluation Form and P.A.R;
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentation #3. Women for Others, With Others: Global Issue…Your Future (Group 2)	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Submit late homework, Prepare for Interview
28	Interview and Portfolio Review	Interviewing skills	Submit late homework

テキスト	Knowles, Tanaka, Nakamura, Moue. *British News Update 5* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook* Watch TEDTalks, NHK World News, BBC and CNN (all online)
その他 特記事項	Homework must be completed before class, used in class, and submitted at the end of class. Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG202: 英語Ⅳ（8）					担当教員	A. Wintzer
開講期	秋	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	Integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	This class aims at improving the reading, listening, writing and speaking skills of the students. By exposing them to various documents about different countries, they will enhance their knowledge about the world and get exposed to various English accents. Students will also get many opportunities to express their thoughts and opinions orally and in essays, and to interact with their classmates in English. By encouraging students to write new words in their lexical notebooks, this class aims also at helping students to acquire important methods to enhance their foreign language learning skills on their own.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.
評価基準	Classroom activities (30%): participation in class, a short speech, a skit, and a final presentation. Assessment criteria: delivery, body language, accuracy, speed, lexical variety, etc. Homework assignments (30%): writing practice assignments (essay, short story, etc). Assessment criteria: structure, language accuracy, lexical variety, quality of the arguments. Testing and assessment (25%): final exam, vocabulary quizzes. Independent learning (15%): lexical notebook, self-evaluation surveys after performances and TOEIC-IP results.
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions, World Adventures Chapter 1: India (Reading). Short speech #1: instructions.	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 1-3.
2	Ch. 1: India (Videos & Discussions) Short speech #1: A recent news	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 3-6. Prepare short speech #1
3	World Adventures Ch. 2: Philippines	Lecture, discussions	World Adventures pp. 7-12.
4	Vocabulary quiz World Adventures Ch. 3: Thailand	Lecture, pair work, group discussions	Study for the vocabulary quiz. World Adventures pp. 13-18.
5	Ch. 4: Vietnam (Reading). Instructions related to the skit +beginning of the writing of the skit	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 19-21.
6	Ch. 4: Vietnam (Videos & Discussions) Ch. 5: Korea (Reading)	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 21-27. Submit the skit script #1
7	Ch. 5: Korea (Videos & Discussions) Feedback regarding the skit scripts.	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 27-30.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Vocabulary quiz Ch. 6: France	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 31-36. Study for the vocabulary quiz.
9	World Adventures Chapter 7: Italy Lexical notebook check.	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 37-42. Update your lexical notebook.
10	World Adventures Chapter 8: Denmark	Evaluations, feedback and discussions	World Adventures pp. 43-48. Submit the skit script #2
11	Vocabulary quiz. Ch. 9: Portugal (Reading). Feedback about the scripts and skit rehearsals.	Evaluations, feedback and discussions	World Adventures pp. 49-51. Study for the vocabulary quiz.
12	Ch. 9: Portugal (Videos & Discussions) take-home essay #1: instructions	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 51-54.
13	Skit performances (part I)	Evaluation, discussions	Skit preparation
14	Skit performances (part II)	Evaluation, discussions	Skit preparation
15	World Adventures Chapter 10: Turkey	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 55-60. Submit the take-home essay #1.
16	World Adventures Chapter 11: Egypt	Lecture, discussions	World Adventures pp. 61-66.
17	Vocabulary quiz. Ch. 12: South Africa (Reading) Feedback regarding the take-home essay #1.	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 67-69. Study for the vocabulary quiz.
18	Ch. 12: South Africa (Videos & Discussions) Instructions regarding the take-home essay #2. Lexical notebook check.	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 69-72. Update your lexical notebook.
19	Vocabulary quiz. Film screening: *Argo* (Ben Affleck, 2012), part I	Film screening and discussion	Study for the vocabulary quiz.
20	Film screening: *Argo* (Ben Affleck, 2012), part II	Film screening and discussion	
21	World Adventures Chapter 13: Brazil	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 73-78. Submit the take-home essay #2.
22	World Adventures Chapter 14: Peru	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 79-84.
23	Ch. 14: Guatemala (Reading). Feedback about the essay #2. Instructions for the presentations	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 85-87.
24	Ch. 14: Guatemala (Videos) Instructions about the final exam. Lexical notebook check.	Lecture, pair work, group discussions	World Adventures pp. 87-90. Update your lexical notebook.
25	Student's presentations: "One issue in today's world" (part I)	Evaluations, feedback and discussions	Preparation of the presentation and PowerPoint slides.
26	Student's presentations: "One issue in today's world" (part II)	Evaluations, feedback and discussions	Preparation of the presentation and PowerPoint slides.
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	Feedback about the student's presentations:	Lecture, discussions	
28	Feedback regarding the final exam	Lecture, discussions	

テキスト	Scott Berlin, Megumi Kobayashi. *World Adventures* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG202:　英語Ⅳ（9）					担当教員	岩崎　明子
開講期	秋	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to conduct effective research on global issues of SDGs; make a clear speech on each topic; discuss the topic with others; write an essay with well-structured passage, and confidently deliver about seven-minute PowerPoint presentation that includes clear message with effective visual aid and performance.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.
評価基準	**Participation and performance**: active involvement in-text exercises, discussions, group work, and speech; **Homework**: submission of assignments (writing, etc.) in time; **Assessment:** ①result of vocabulary quizzes and review tests; ② essays (good structure with facts and a personal point of view); and final presentation (with quality of research, clear facts and opinions, persuasive message, effective visual aid, and performance) [*following guidelines in English Essentials]; **Independent Learning**: submission of IL plans, review reports, journals in time.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course	presentation, small-group discussion	Review syllabus after class
2	Ut.1 No poverty / zero hunger	pair work, small-group discussion	Prepare pp.8-11
3	Food bank	presentation, small-group discussion	Prepare speech
4	Ut.2 Good health and well-being	pair work, small-group discussion	Write IL Study plan #1 Prepare pp.14-17
5	Washing a million hands	presentation, small-group discussion	Prepare speech
6	Vocab Quiz (1-2), Ut.3 Quality Education	pair work, small-group discussion	Prepare pp.20-23

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Reasons for not going to school	presentation, small-group discussion	Prepare speech
8	Ut.4 Gender Equality / reduced inequalities	pair work, small-group discussion	Prepare pp.26-29
9	Girls' education	presentation, small-group discussion	Write IL reflection sheet #1 Prepare speech
10	Vocab Quiz (3-4), Ut.5 Clean water and sanitation, discuss IL plan#2	pair work, small-group discussion	Write IL study plan #2 Prepare pp.32-35
11	Water and climate change	presentation, small-group discussion	Prepare speech
12	Ut.6 Affordable and clean energy	pair work, small-group discussion	Prepare pp.38-41
13	A pellet stove	presentation, small-group discussion	Prepare speech
14	Review Test #1 (Ut.1~6), Vocab Quiz (5-6) Final presentation: theme and outline	lecture	Prepare test, submit theme and outline of FP
15	Ut.7 Decent work and economic growth	pair work, small-group discussion	Prepare pp.44-47
16	Return Test #1 Child labor	presentation, small-group discussion	Write IL reflection sheet #2 Prepare speech
17	Ut.9 Sustainable cities and communities discuss IL plan#3	pair work, small-group discussion	Write IL study plan #3 Prepare pp.56-59
18	Waste management	presentation, small-group discussion	Prepare speech
19	Vocab Quiz (7-9), Ut.10 Responsible production and consumption	pair work, small-group discussion	Prepare pp.62-65
20	Doing more and better with less	presentation, small-group discussion	Prepare speech
21	Ut.11 Climate action	pair work, small-group discussion	Prepare pp.68-71
22	Fossil fuel divestment	presentation, small-group discussion	Write IL reflection sheet #3 Prepare speech
23	Vocab Quiz (10-11), Ut.12 Life below water / life on land; discuss IL plan#4	pair work, small-group discussion	Write IL study plan #4 Prepare pp.74-77
24	Ecolabel	presentation, small-group discussion	Prepare speech
25	Ut.13 Peace, justice and strong institutions	pair work, small-group discussion	Prepare pp.80-83
26	Child soldiers Review Test #2 (Ut.9~13), Vocab Quiz (12-13)	presentation, small-group discussion	Prepare speech
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Return Test #2, Final presentations	presentations	Write IL reflection #4 & journal submit, prepare presentation
28	Final presentations	presentations	Prepare presentation

テキスト	笹島茂、他（2021）『CLIL 英語で考える SDGs－持続可能な開発目標』（三修社）
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG202: 英語Ⅳ（10）					担当教員	O. Massoud
開講期	秋	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, the students will be able to: ・clearly express their opinion on world topics or issues ・deliver an interesting and informative two to three-minute presentation ・comprehend the topics or events by answering questions ・recognize and use key vocabulary and phrases from the textbook ・utilize the key phrases and appropriate grammar forms in their presentations ・use key vocabulary in sentences as their homework
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment including quizzes, final presentation and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.
評価基準	1. Participation and performance: Students will be evaluated on their participation in class discussions, their performance in pair and group work, and the quality of their oral presentations. 2. Homework: Students will be evaluated on their ability to complete relevant assignments on time, including textbook exercises and vocabulary sentences. 3. Testing and assessment: Quizzes will be used to assess understanding of vocabulary and class discussion topics, and the final presentation will be evaluated on volume, clarity, and the incorporation of visuals. The final report, a research project paper in essay form, will be evaluated on the quality of the research, organization, and writing style. 4. Independent learning: Students will be evaluated on their completion of two independent learning (IL) study plans and reflections.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions to Each Other; and How We Will Use the Text	Meeting and greeting, course overview	Read *English Essentials* pp. 26-30
2	Unit 1: Waste and Recycling	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *You, Me and the World* text pp. 2-7
3	TED Talk 1, Listening Log #1, The Writing Processes	Listening, group discussion, writing	Read *English Essentials* pp. 31-39
4	Unit 2: Endangered Species; Animal Rights	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *You, Me and the World* text pp. 8-13
5	TED Talk 2, Listening Log #2	Lecture, Listening, writing, group discussion	Read *English Essentials* pp. 40-50

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Unit 3: Rainforests	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *You, Me and the World* text pp. 14-19
7	Unit 4: Global Warming	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *You, Me and the World* text pp. 20-28
8	Quiz #1; Review	quiz and comments, lecture, discussion	Read *English Essentials* pp. 51-60
9	Unit 5: Energy	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *You, Me and the World* text pp. 28-33
10	Unit 6: Developing Countries; Research Project Report Draft #1	Vocabulary, listening, discussion, group work	Choosing topics for Presentations; pp. 34-43
11	Unit 7: Human Rights	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *You, Me and the World* text pp. 44-51
12	Unit 8: Tourism	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *You, Me and the World* text pp. 52-59
13	Unit 9: Peace and Conflict; Research Project Report Draft #2	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read text pp. 60-69. Prepare for presentations
14	Review, How to Give Presentations: Presentation preparation	Review, presentation preparation	Read *English Essentials* pp. 61-70
15	Presentations 1: Global Issue	Oral presentation, Q&A, discussion	Prepare power point for Presentation
16	Presentations 1: Global Issue	Oral presentation, Q&A, discussion	Prepare power point for Presentation
17	Unit 10: Gender Issues	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *You, Me and the World* text pp. 70-77
18	Unit 11: Refugees	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *You, Me and the World* text pp. 78-83
19	TED Talk 3, Listening Log #3	Lecture, Listening, writing, group discussion	Begin the outline of Final Report
20	Unit 12: The United Nations	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *You, Me and the World* text p. 84
21	Religious Freedom	Vocabulary, listening, discussion, group work	Supplementary material. Complete the outline of Final Report
22	TED Talk 4, Listening Log #4	Lecture, Listening, writing, group discussion	Write the first draft of Final Report
23	Overpopulation	Vocabulary, listening, discussion, group work	Supplementary material.
24	Review, Quiz #2; Research Project Report Draft #3	Lecture, Listening, writing, group discussion	Quiz #2. Revise Final Report
25	Space Exploration	Vocabulary, listening, discussion, group work	Supplementary material.
26	Prepare for Research Report Project Presentations	Writing and Q&A	Submit Final Report, prepare for the presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Research Report Project Presentations	Oral presentation, Q&A, comments	Presentation
28	Review the Course	Oral presentation, comments, discussion	Presentation feedback and review the course

テキスト	David Peaty. *You, Me and the World: Second Edition A Course in Communicative English for Global Citizenship* (Kinseido). 978-4-7647-3898-0
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG202:　英語Ⅳ（11）					担当教員	N. Cook
開講期	秋	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to organize their ideas and express them clearly through proper academic writing and presentations; discuss topics related to being a global citizen; demonstrate a deep understanding of NPO’s, NGO’s, and UN Sustainable Development Goals through essays and presentations; and understand vocabulary commonly used in English language news broadcasts.
評価方法	Active participation and performance in classroom activities (30%); Complete and timely submission of homework assignments (30%); Good performance on tests and assessments, such as essays and presentations (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.
評価基準	**Participation:** demonstrating understanding of English language news broadcasts through active engagement in group discussions and pair work. **Homework assignments:** coming to class having completed the assigned readings and vocabulary tasks from the textbook. **Assessment:** two essays and two presentations. **Independent learning:** assignments completed on time.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Voice 1: Creating Jobs Through Technology (Background and Vocabulary)	Introductions, group work, discussion, video	Voice1:Do BuildingBackground & Boosting Vocabulary tasks
2	Voice 1 (Conclusion) *English Essentials*: Writing Practice (clusters)	Group work, discussion, lecture	Read *English Essentials* pp.40-42
3	Voice 2: Medicine to the African Backcountry (Background and Vocabulary)	Group work, discussion, video	Voice2:Do BuildingBackground & Boosting Vocabulary tasks
4	Voice 2 (Conclusion) *English Essentials*: Writing Practice (drafting)	Group work, discussion, lecture	Read *English Essentials* pp.43-50
5	Voice 3: Saving Children Through Music (Background and Vocabulary)	Group work, discussion, video	Voice3:Do BuildingBackground & Boosting Vocabulary tasks
6	Voice 3 (Conclusion) *English Essentials*: Paragraphs (topic sentences)	Group work, discussion, lecture	Read *English Essentials* pp.51-54

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Voice 5: French Refugee Integration (Background and Vocabulary)	Group work, discussion, video	Voice5:Do BuildingBackground & Boosting Vocabulary tasks
8	Voice 5 (Conclusion); *English Essentials*: Paragraphs (structure & checklist)	Group work, discussion, lecture	Read *English Essentials* pp.54-60
9	Voice 7: Farming is the Future (Background and Vocabulary)	Group work, discussion, video	Voice7:Do BuildingBackground & Boosting Vocabulary tasks
10	Voice 7 (Conclusion) *English Essentials*: Paragraph share & feedback	Group work, discussion, lecture	Submit paragraph #1 to Moodle & via paper to share in class
11	Voice 8: New Challenges for a Fashion Giant (Background and Vocabulary)	Group work, discussion, video	Voice8:Do BuildingBackground & Boosting Vocabulary tasks
12	Voice 8 (Conclusion); *English Essentials*: Paragraph share & Essay Writing I	Group work, discussion, lecture	Submit paragraph #2; Read *English Essentials* pp.61-65
13	Voice 9: Helping the Socially Vulnerable (Background and Vocabulary)	Group work, discussion, video	Voice 9: Building Background & Boosting Vocabulary; Essay
14	Voice 9 (Conclusion) *English Essentials*: Essay Writing II	Group work, discussion, lecture	Read *English Essentials* pp.65-70
15	Voice 10: The Danish Recipe for Happiness (Background and Vocabulary)	Group work, discussion, video	Voice10 Building Background & Boosting Vocabulary tasks
16	Voice 10 (Conclusion) *English Essentials*: Essay #1 peer checking	Group work, discussion, lecture	Submit Essay #1 (Draft 1) to Moodle & via paper to share
17	Voice 11: Knitting the Future by Hand (Background and Vocabulary)	Group work, discussion, video	Voice11 Building Background & Boosting Vocabulary tasks
18	Voice 11 (Conclusion) *English Essentials*: Speeches & Presentations	Group work, discussion, lecture	Read *English Essentials* pp.19-30
19	Voice 12: Towards a Zero-Waste Future (Background and Vocabulary)	Performances and peer-review	Voice 12 Building Background & Boosting Vocabulary tasks
20	Voice 12 (Conclusion) *English Essentials*: Visuals, Presentation 1 prep	Performances and peer-review	Read *English Essentials* pp.31-39
21	Voice 13: The Healing Power of Dogs (Background and Vocabulary)	Group work, discussion, video	Voice13DoBuildingBackground & Boosting Vocabulary tasks
22	Presentation 1: UN Sustainable Development Goals; Voice 13 (Conclusion)	Group work, discussion, lecture	Prepare presentation
23	Voice 14: Uncovering Our Hidden Biases (Background and Vocabulary)	Group work, discussion, video	Voice14DoBuildingBackground & Boosting Vocabulary tasks
24	Voice 14 (Conclusion); Presentation feedback, Essay review, Essay #2 prep	Group work, discussion, lecture	Review *English Essentials* essay information
25	Voice 15: Space Exploration (Background and Vocabulary)	Group work, discussion, video	Voice15DoBuildingBackground & Boosting Vocabulary tasks
26	Voice 15 (Conclusion); Essay #2 Peer review; Presentation 2 prep	Group work, discussion, lecture	Submit Essay #2 (Draft 1) to Moodle and via paper
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentation 2 Day 1: NGO's / NPO's	Performances and peer-review	Prepare Presentation 2; submit Essay #2 (Final) to Moodle
28	Voice 6: The Power of Biologging	Group work, discussion, video	Voice 6: Building Background & Boosting Vocabulary tasks

テキスト	Megumi Kobayashi, Reiko Fujita, Peter J. Collins. *Inspiring Voices* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG111: TOEIC 対策講座 I			担当教員	C. Oliver, 神谷 雅仁, Thomas, M. Lupas, B. Irwin, M. Wilkinson
開講期	春	分類	必修		
単位	1	標準受講年次	1 年		

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Spring Semester, the course will place emphasis on acquiring crucial knowledge and practical advice related to TOEIC. This may include, for instance, understanding each section of the TOEIC test, understanding one's strengths and weaknesses on the test, and learning how to develop good study habits for the test. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to acquire the skills, strategies, and knowledge that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・better understanding of the TOEIC test and its various parts; ・better understanding of one's own strengths and weaknesses on the exam; ・developing effective study skills and study habits for the exam; ・learning how to build up one's TOEIC-related vocabulary; and ・learning effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher. In addition, students should be able to: ・manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.
評価方法	・Participation in class (25%) ・Homework and quizzes (30%) ・Assessment (30%) ・Independent learning (15%): study using e-learning
評価基準	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher. In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Spring semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score from the start of Spring semester.
課題等に対するフィードバック方法	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。 For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1-14	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.		

テキスト	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
参考書	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
その他特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG112:　TOEIC 対策講座Ⅱ			担当教員	O. Ilina，P. McQuilling，J. Zhang
開講期	秋	分類	必修		
単位	1	標準受講年次	1 年		

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Fall Semester, the course will build upon what students have learned in the Spring Semester and will emphasize practical advice and training for TOEIC. This may include, for instance, learning effective test-taking strategies for each part of the exam and doing practice exams or exam sections. As needed, key points from the Spring Semester may be reviewed and developed further. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to develop further the skills and strategies that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・learning how to overcome one's own weaknesses on the exam; ・applying effective study skills and study habits for the exam; ・increasing one's TOEIC-related vocabulary; and ・applying effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher. In addition, students should be able to: ・manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.
評価方法	・Participation in class (25%) ・Homework and quizzes (30%) ・Assessment (30%) ・Independent learning (15%): study using e-learning
評価基準	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher. In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Fall semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score from the end of Spring semester.
課題等に対するフィードバック方法	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。 For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1-14	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.		

テキスト	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
参考書	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
その他特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April or July TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG111: TOEIC 対策講座Ⅰ（A）					担当教員	Thomas
開講期	春	開講時限	木 1 限			研究室	4211
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Spring Semester, the course will place emphasis on acquiring crucial knowledge and practical advice related to TOEIC. This may include, for instance, understanding each section of the TOEIC test, understanding one's strengths and weaknesses on the test, and learning how to develop good study habits for the test. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to acquire the skills, strategies, and knowledge that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・better understanding of the TOEIC test and its various parts; ・better understanding of one's own strengths and weaknesses on the exam; ・developing effective study skills and study habits for the exam; ・learning how to build up one's TOEIC-related vocabulary; and ・learning effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	In addition, students should be able to: ・manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester. ・improve their knowledge of the features of TOEIC test; ・improve their knowledge of vocabulary and grammar to answer correctly in TOEIC test; ・learn more test taking strategies for TOEIC test; ・improve their ability to comprehend the main ideas of a paragraph in TOEIC test; ・complete TOEIC related tasks in time during test.
評価方法	・Participation in class (25%) ・Homework and quizzes (30%) ・Assessment (30%) ・Independent learning (15%): study using e-learning
評価基準	To be distributed at the first class.
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to syllabus, teaching materials and class policies.	Lecture, self-introduction, pair work	Buy textbook, read syllabus
2	Unit 1 Travel: TOEIC vocabulary, 'Wh' questions, TOEIC phrase and collocation	Lecture, pair work, reading	Learn TOEIC vocabulary, do listening exercises in Unit 1

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
3	Unit 2 Dining out: TOEIC vocabulary, questions using ‘where’, understanding long sentences	Lecture, pair work, reading, quiz	Submit unit homework, do listening exercises in Unit 2
4	Unit 3 Media: TOEIC vocabulary, questions using ‘when’, TOEIC expressions	Lecture, pair work, reading, quiz	Learn TOEIC vocabulary, do listening exercises in Unit 3
5	Unit 4 Entertainment: TOEIC vocabulary, part 1 activities of persons, questions using ‘why’	Lecture, pair work, reading, Assessment 1	Prepare for Assessment 1, do listening exercises in Unit 4
6	Unit 5 Purchasing: TOEIC vocabulary, position of persons, TOEIC phrases and collocation	Lecture, pair work, reading, quiz	Learn TOEIC vocabulary, do listening exercises in Unit 5
7	Unit 6 Clients: TOEIC vocabulary, use of how often, how long, how many etc.,	Lecture, pair work, reading, quiz	Do listening exercises in Unit 6
8	Unit 7 Recruiting: TOEIC vocabulary, TOEIC conversations, TOEIC expressions	Lecture, pair work, reading, quiz	Learn TOEIC vocabulary, do all listening exercises in Unit 7
9	Unit 8 Personnel: TOEIC vocabulary, Yes / No questions, return Assessment 1, give feedback	Lecture, pair work, reading, quiz	Submit unit homework, do listening exercises in Unit 8
10	Unit 9 Advertising: TOEIC vocabulary, TOEIC phrases & collocations, comparison	Lecture, pair work, reading, Assessment 2	Prepare for Assessment 2, do listening exercises in Unit 9
11	Unit 10 Meetings: TOEIC vocabulary, use of preposition	Lecture, pair work, reading, quiz	Submit unit homework, do listening exercises in Unit 10
12	Unit 11 Finance: TOEIC vocabulary, negative question	Lecture, pair work, reading, quiz	Do listening exercises in Unit 11
13	Unit 12 Offices: TOEIC vocabulary, use of pronoun, return Assessment 2, give feedback	Lecture, pair work, reading, quiz	Submit unit homework, do listening exercises in Unit 12
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Unit 13 Daily life, TOEIC vocabulary, conclusion, feedback	Lecture, pair work, reading, discussion	Prepare for feedback

テキスト	Koji Hayakawa, Nobuko Nakamura, Naoyuki Bamba, and Ken Suzuki. *The High Road to the TOEIC Listening and Reading Test* (Kinseido).
その他 特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG111: TOEIC 対策講座Ⅰ（B）					担当教員	神谷　雅仁
開講期	春	開講時限	月 1 限			研究室	4215
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Spring Semester, the course will place emphasis on acquiring crucial knowledge and practical advice related to TOEIC. This may include, for instance, understanding each section of the TOEIC test, understanding one's strengths and weaknesses on the test, and learning how to develop good study habits for the test. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to acquire the skills, strategies, and knowledge that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・better understanding of the TOEIC test and its various parts; ・better understanding of one's own strengths and weaknesses on the exam; ・developing effective study skills and study habits for the exam; ・learning how to build up one's TOEIC-related vocabulary; and ・learning effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	Through this course, students will be able to do the following: ・to understand various types of texts, especially reading texts; ・to further build vocabulary necessary to understand various types of texts; ・to gain finer points of grammatical knowledge; ・to understand and strengthen strategies to find correct answers by closely examining the tendencies and patterns of questions; and ・to learn effective test-taking strategies. In addition, students should be able to: ・manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.
評価方法	・Participation in class (25%) ・Homework and quizzes (30%) ・Assessment (30%) ・Independent learning (15%): study using e-learning
評価基準	・Participation in class: active involvement in class activities. ・Homework: listening and reading exercises in designtaed chapters in the textbook and Book Check on the vocabulary training book to find out one's strengths and weaknesses. ・Quizzes: understanding of vocabulary items learned through the vocabulary training book. ・Assessment: scores of two in-class tests. They test students' understanding of various types of text, of grammar points in the textbook, and of listening and reading strategies learned in the class. ・Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%). In addition, students will earn 5 bonus points if their TOEIC-IP score at the end of Spring semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score at the start of Spring semester. In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Spring semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score from the start of Spring semester.
課題等に対するフィードバック方法	・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview; introducing basic TOEIC strategies; Lesson 2: The Internet 動詞	Lecture and do exercises	Read Introduction part and explanations of Ch.2
2	Lesson 2: The Internet 動詞（後半の内容）; Lesson 1: Headhunting 消える音（1）	Lecture and exercise check, grammar points	Read explanations and do exercises (pp. 11-16)
3	Lesson 4: Corporate Culture 時制 Lesson 3: Weddings 消える音（2）; voc. quiz ①	Lecture and exercise check, grammar points	Study for the quiz; read and do exercises (pp. 17-22)
4	Lesson 6: Movies 形容詞 Lesson 5: Music 応答の予測	Lecture and exercise check, grammar points	Read explanations and do exercises (pp. 23-28)
5	Lesson 8: Recruiting 名詞 Lesson 7: Sightseeing 1つになる音	Lecture and exercise check, grammar points	Read explanations and do exercises (pp. 29-34)
6	Lesson 10: Forecasts 分詞構文; Lesson 9: Shopping 音の短縮; review; voc. quiz ②	Lecture and exercise check, grammar points	Study for the quiz; read and do exercises (pp. 35-40)
7	Review of the first half; in-class test ①; review the test partly	Do the review and take the test	Read the 10 chapters again and prepare for the test
8	Return the test and go over results; Lesson 12: Crime 不定詞; Lesson 11: Customs つながる音(1)	Review the test. Lecture and exercise check.	Read explanations and do exercises (pp. 41-46)
9	Lesson 14: Global Matters 動名詞 Lesson 13: New Products つながる音（2）	Lecture and exercise check, grammar points	Read explanations and do exercises (pp. 47-52)
10	Lesson 16: Parties 主語と動詞の一致 Lesson 15: Health 無声化する音	Lecture and exercise check, grammar points	Read explanations and do exercises (pp. 53-58)
11	Lesson 18: Travel 関係詞 Lesson 17: Skiing 有声化する音; voc. quiz ③	Lecture and exercise check, grammar points	Study for the quiz; read and do exercises (pp. 59-64)
12	Lesson 22: Opportunities 仮定法; Lesson 21: Advertising 音の弱形と強形	Lecture and exercise check, grammar points	Read explanations and do exercises (pp. 71-76)
13	Review of the second half; in-class test ②; review the test partly	Do the review and take the test	Read the 10 chapters again and prepare for the test
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Voc. quiz ④; return the test and go over results; Course Review	Review the test. Wrap-up of the course	Study for the quiz; prepare for the review of the test

テキスト	・Donald Beaver, Michael Walker, & Kei Mihara. *Navigator for the TOEIC Test*（南雲堂）. ・『TOEIC テスト公式問題で学ぶボキャブラリー』(ETS 国際ビジネスコミュニケーション協会)
その他特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG111: TOEIC 対策講座Ⅰ（C）					担当教員	M. Lupas
開講期	春	開講時限	木 1 限			研究室	4206
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Spring Semester, the course will place emphasis on acquiring crucial knowledge and practical advice related to TOEIC. This may include, for instance, understanding each section of the TOEIC test, understanding one's strengths and weaknesses on the test, and learning how to develop good study habits for the test. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to acquire the skills, strategies, and knowledge that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・better understanding of the TOEIC test and its various parts; ・better understanding of one's own strengths and weaknesses on the exam; ・developing effective study skills and study habits for the exam; ・learning how to build up one's TOEIC-related vocabulary; and ・learning effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	By the end of this course students should be able to: ・master over 400 high-frequency TOEIC vocabulary words and phrases. ・know the names of the different parts of the test and the number of questions in each part. ・be aware of common strategies for approaching each part of the test. ・work through and correctly answer past TOEIC questions. In addition, students should be able to: ・manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.
評価方法	・Participation in class (25%) ・Homework and quizzes (30%) ・Assessment (30%) ・Independent learning (15%): study using e-learning
評価基準	・Participation in class: responding to the teacher's questions in class, active participation in group work and pair work ・Homework and quizzes: completion of homework problem sets and vocabulary quizzes ・Assessment: score on test 1 (10%) and test 2 (20%). The tests include questions about the TOEIC test format (information about the parts of the test and possible strategies for answering questions in each part) and past TOEIC questions. ・Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%). In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Spring semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score from the start of Spring semester.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course: What are my TOEIC-related goals?	Whole group lecture, group work, pair work	After the class, review the syllabus, do e-learning, review vocab pp. 91-97
2	Listening Parts 1 and 2: Predicting the answer 問題集 4, pp. 30-34	Whole group lecture, listening, group work	do e-learning; do problem sets; do vocab. pp.1-29 quizzes in Moodle
3	Listening Parts 3 and 4: Skimming 問題集 4, pp. 35-41	Whole group lecture, group work	do e-learning; do problem sets; do vocab. quizzes pp. 30-49 in Moodle
4	Reading Part 7: Scanning the questions 問題集 4, pp. 49-69	Whole group lecture, in-class reading practice	do e-learning; do problem sets; do vocab. quizzes pp. 50-69 in Moodle
5	Reading parts 5 and 6: S-V agreement 問題集 4, pp. 42-48	Whole group lecture, group work, pair work	do e-learning; do problem sets; do vocab. quizzes pp. 70-89 in Moodle
6	Test 1; Listening parts 1 and 2 問題集 4, pp. 72-76	Test, whole group lecture	review for the test; review vocab pp. 98-106
7	Listening Parts 3 and 4: Being aware of the same word distractors; 問題集 4, pp. 77-83	Whole group lecture, group work, pair work	do e-learning; do problem sets; do vocab. quizzes pp. 108-127 in Moodle
8	Reading Part 7: Using context to answer vocab. questions; Return and go over test 1; 問題集 4, pp. 91-111 (a)	Whole group lecture, group work, pair work	do e-learning; do problem sets; do vocab. pp. 128-147 quizzes in Moodle
9	Listening Parts 3 and 4: Becoming familiar with re-statements	Whole group lecture, group work, pair work	do e-learning; do problem sets; do vocab. pp. 148-167 quizzes in Moodle
10	Reading Part 7: Answering “NOT” questions 問題集 4, pp. 91-111 (b)	Whole group lecture, group work, pair work	do e-learning; do problem sets; do vocab. pp. 176-195 quizzes in Moodle
11	Reading parts 5 and 6: Verb tenses, prepositions	Whole group lecture, group work, pair work	do e-learning; do problem sets; do vocab. pp. 196-215 quizzes in Moodle
12	Reading Part 7: Questions with charts and tables 問題集 4, pp. 91-111 (c)	Whole group lecture, group work, pair work	do e-learning; do problem sets; do vocab. pp 169-171 quizzes in Moodle
13	Review; test 2	Whole group lecture, test	review for the test
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Reading parts 5 and 6: Conjunctions, adverbs, pronouns; Return and go over test 2 問題集 4, pp. 84-90	Whole group lecture, group work, pair work	do e-learning; do problem sets; do vocab. pp. 246-265 quizzes in Moodle

テキスト	① T. 加藤『TOEIC L&R Test 出る単特急 金のフレーズ』（Asahi Shimbun） ②『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 4』（2018, IIBC）
その他 特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG111:　TOEIC 対策講座Ⅰ（D）					担当教員	M. Wilkinson
開講期	春	開講時限	月 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Spring Semester, the course will place emphasis on acquiring crucial knowledge and practical advice related to TOEIC. This may include, for instance, understanding each section of the TOEIC test, understanding one's strengths and weaknesses on the test, and learning how to develop good study habits for the test. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to acquire the skills, strategies, and knowledge that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・better understanding of the TOEIC test and its various parts; ・better understanding of one's own strengths and weaknesses on the exam; ・developing effective study skills and study habits for the exam; ・learning how to build up one's TOEIC-related vocabulary; and ・learning effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	After taking this course students should be able to: ・understand all parts of the TOEIC test; ・be aware of their own strengths and weaknesses; ・use skills and stratagies learned to correctly answer questions; ・pace themselves on the Reading section. In addition: ・manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.
評価方法	・Participation in class (25%) ・Homework and quizzes (30%) ・Assessment (30%) ・Independent learning (15%): study using e-learning
評価基準	・Participation in class: Pay attention to lectures and show active involvement in everyday class activities. ・Homework and quizzes: complete textbook activities according to instructions, and on time; show effort to improve study habits, answering vocabulary quizzes correctly. ・Assessment (two tests): correctly answer test questions by applying knowledge and strategies learned in class. ・Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%). In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Spring semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score from the start of Spring semester.
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to syllabus and textbook	Lecture, self-introduction, pair work	Buy textbook, read syllabus
2	Unit 1 Travel: TOEIC vocabulary, 'Wh' questions, TOEIC phrase and collocation	Lecture, pair work, reading	Review TOEIC vocabulary, do listening exercises in Unit 1
3	Unit 2 Dining out: TOEIC vocabulary, questions using 'where', understanding long sentences, vocabulary quiz	Lecture, pair work, reading, quiz	Submit unit homework, do listening exercises in Unit 2
4	Unit 3 Media: TOEIC vocabulary, questions using 'when', TOEIC expressions	Lecture, pair work, reading	Review TOEIC vocabulary, do listening exercises in Unit 3
5	Unit 4 Entertainment: TOEIC vocabulary, part 1 activities of persons, questions using 'why'	Lecture, pair work, reading, Assessment 1	Prepare for Assessment 1, do listening exercises in Unit 4
6	Unit 5 Purchasing: TOEIC vocabulary, position of persons, TOEIC phrases and collocation	Lecture, pair work, reading	Review TOEIC vocabulary, do listening exercises in Unit 5
7	Unit 6 Clients: TOEIC vocabulary, use of how often, how long, how many etc, vocabulary quiz	Lecture, pair work, reading, quiz	Do listening exercises in Unit 6
8	Unit 7 Recruiting: TOEIC vocabulary, TOEIC conversations, TOEIC expressions	Lecture, pair work, reading	Review TOEIC vocabulary, do all listening exercises in Unit 7
9	Unit 8 Personnel: TOEIC vocabulary, Yes / No questions, return Assessment 1 and go over results, vocabulary quiz	Lecture, pair work, reading, quiz	Submit unit homework, do listening exercises in Unit 8
10	Unit 9 Advertising: TOEIC vocabulary, TOEIC phrases & collocations, comparison	Lecture, pair work, reading, Assessment 2	Prepare for Assessment 2, do listening exercises in Unit 9
11	Unit 10 Meetings: TOEIC vocabulary, use of preposition	Lecture, pair work, reading	Submit unit homework, do listening exercises in Unit 10
12	Unit 11 Finance: TOEIC vocabulary, negative question	Lecture, pair work, reading	Do listening exercises in Unit 11
13	Unit 12 Offices: TOEIC vocabulary, use of pronoun, return Assessment 2 and go over results	Lecture, pair work, reading, quiz	Submit unit homework, do listening exercises in Unit 12
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Unit 13 Daily life, TOEIC vocabulary, conclusion, feedback	Lecture, pair work, reading, discussion	Review all vocabulary from course

テキスト	Koji Hayakawa, Nobuko Nakamura, Naoyuki Bamba, and Ken Suzuki. *The High Road to the TOEIC Listening and Reading Test* (Kinseido).
その他 特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG111: TOEIC 対策講座Ⅰ（E）					担当教員	B. Irwin
開講期	春	開講時限	月 1 限			研究室	4216
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Spring Semester, the course will place emphasis on acquiring crucial knowledge and practical advice related to TOEIC. This may include, for instance, understanding each section of the TOEIC test, understanding one's strengths and weaknesses on the test, and learning how to develop good study habits for the test. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to acquire the skills, strategies, and knowledge that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・better understanding of the TOEIC test and its various parts; ・better understanding of one's own strengths and weaknesses on the exam; ・developing effective study skills and study habits for the exam; ・learning how to build up one's TOEIC-related vocabulary; and ・learning effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	By the end of the semester, each student should be able to demonstrate an understanding of the vocabulary, terms, and idiomatic expressions commonly found in the TOEIC test. Students should be able to identify and define questions associated with the various parts of TOEIC. Students will also have developed individual strategies to succeed at the TOEIC test. In addition, students should be able to: ・manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.
評価方法	・Participation in class (25%) ・Homework and quizzes (30%) ・Assessment (30%) ・Independent learning (15%): study using e-learning
評価基準	・ Participation in class: students are expected to be actively involved in each lesson and to participate in group and pair work. ・ Homework and quizzes: regular homework and self-study quizzes must be submitted in a timely manner. ・ Assessment: includes quizzes, regular self-reflection activities, and review tests. ・ Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%). In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Spring semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score from the start of Spring semester.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers ・上記以外で行う／other : Peer feedback
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction: syllabus, learning materials, class policies, and expectations	Self-introductions and pair work	Read syllabus, review textbook website and mobile app
2	Unit 1 Daily Life Part 1 ～ Part 4 / Part 5：Parts of speech / Part 7：Advertising	Lecture, group work, reading & listening	Review introduction lesson, Preview Unit 1 & Self-study
3	Unit 2 Places Part 1 ～ Part 4 / Part 6：Email / Part 7：Announcements	Lecture, group work, reading & listening	Review Unit 1, Preview Unit 2 & Self-study
4	Unit 3 People Part 1 ～ Part 4 / Part 5：Pronouns / Part 7：Text messages	Lecture, group work, reading & listening	Review Unit 2, Preview Unit 3 & Self-study
5	Unit 4 Travel Part 1 ～ Part 4 / Part 6：Email / Part 7：Websites	Lecture, group work, reading & listening	Review Unit 3, Preview Unit 4 & Self-study
6	Unit 5 Business Part 1 ～ Part 4 / Part 5：Verb forms / Part 7：Memos	Lecture, group work, reading & listening	Review Unit 4, Preview Unit 5 & Self-study
7	Review; Test 1	Test; group/pair work, test feedback, review	Review Unit 5, Study for Review Test 1
8	Return Test 1 and go over results; Unit 7 Technology Part 1 ～ Part 4 / Part 5：Vocabulary / Part 7：Report and text messages	Lecture, group work, reading & listening	Review Test 1 Feedback, Preview Unit 7 & Self-study
9	Unit 12 Media Part 1 ～ Part 4 / Part 6：Letter / Part 7：Articles	Lecture, group work, reading & listening	Review Unit 7, Preview Unit 12 & Self-study
10	Unit 13 Entertainment Part 1 ～ Part 4 / Part 5：Propositions / Part 7：Email	Lecture, group work, reading & listening	Review Unit 12, Preview Unit 13 & Self-study
11	Unit 14 Health Part 1 ～ Part 4 / Part 6：Advertisement / Part 7：Email・Documents	Lecture, group work, reading & listening	Review Unit 13, Preview Unit 14 & Self-study
12	Unit 15 Restaurants Part 1 ～ Part 4 / Part 5：Idioms / Part 7：Website form・Email	Lecture, group work, reading & listening	Review Unit 14, Preview Unit 15 & Self-study
13	Review; Test 2; Explanation of self-reflection activity	Test; group/pair work, test feedback, review	Review Unit 14, Study for Review Test 2
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Return Test 2 and go over results; Course feedback & self-reflection	Lecture and self-reflection activity	Review Test 2 Feedback, Prepare self-reflection activity

テキスト	Mark D. Stafford. *Successful Keys To The TOEIC(R) Listening and Reading Test 2 / 4th Edition* (Kirihara).
その他特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG111: TOEIC 対策講座Ⅰ（F）					担当教員	C. Oliver
開講期	春	開講時限	月 2 限			研究室	4205
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Spring Semester, the course will place emphasis on acquiring crucial knowledge and practical advice related to TOEIC. This may include, for instance, understanding each section of the TOEIC test, understanding one's strengths and weaknesses on the test, and learning how to develop good study habits for the test. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to acquire the skills, strategies, and knowledge that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・better understanding of the TOEIC test and its various parts; ・better understanding of one's own strengths and weaknesses on the exam; ・developing effective study skills and study habits for the exam; ・learning how to build up one's TOEIC-related vocabulary; and ・learning effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	Through taking this course, students should be able to: ・demonstrate knowledge of basic features of the TOEIC test (test sections, question types, etc.); ・correctly answer questions about TOEIC-related vocabulary studied during the semester; ・demonstate understanding of skills and strategies covered in class; ・use skills and strategies learned to correctly answer TOEIC Listening and Reading questions; In addition, students should be able to: ・manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.
評価方法	・Participation in class (25%) ・Homework and quizzes (30%) ・Assessment (30%) ・Independent learning (15%): study using e-learning
評価基準	・Participation in class: active involvement in everyday class activities ・Homework: completed thoroughly, according to instructions, and on time; homework may not be submitted more than 2 weeks after the due date ・Quizzes: correct answers to questions about TOEIC-related vocabulary, knowledge, skills, and / or strategies covered in class; quizzes may be given at random dates during the semester ・Assessment (two tests): correct answers to TOEIC Listening and Reading questions; correct answers to questions about TOEIC-related vocabulary, knowledge, skills, and / or strategies covered in class ・Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%). In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Spring semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score from the start of Spring semester.
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course; how to access audio files for the textbooks; explanation of Study Goals sheet; explanation of 問題集 homework	lecture, pair work, textbook activities	Get textbook; download all audio files (mp3 files)
2	Unit 1: Traveling	lecture, textbook activities, pair work	Complete Study Goals sheet; study Unit 1 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 1 Parts 1, 3, 5, 7
3	Unit 2: Daily Life & Shopping	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 2 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 1 Parts 2, 4, 6, 7
4	Unit 3: At Restaurants	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 3 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 1 Parts 1, 3, 5, 7
5	Unit 4: Job Hunting & Unit 5: At the Office 1	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 4 & Unit 5 vocab. in advance; complete 問題集 Qs from Test 1 Parts 2, 4, 6, 7
6	Unit 6: At the Office 2	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 6 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 1 Parts 1, 3, 5, 7
7	Test #1; Unit 8: Doing Business Online	test, lecture, textbook activities, pair work	Study for test; study Unit 8 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 1 Parts 2, 4, 6, 7
8	Unit 9: Housing	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 9 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 2 Parts 1, 3, 5, 7
9	Unit 10: Making Deals & Contracts; return Test #1 and go over results	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 10 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 2 Parts 2, 4, 6, 7
10	Unit 11: Public Service	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 11 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 2 Parts 1, 3, 5, 7
11	Unit 12: Banking & Finance	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 12 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 2 Parts 2, 4, 6, 7
12	Unit 13: At Seminars & Workshops	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 13 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 2 Parts 1, 3, 5, 7
13	Test #2; explanation of Summer Break Study Plan	test, lecture, pair work	Study for test; complete 問題集 Qs from Test 2 Parts 2, 4, 6, 7
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Return Test #2 and go over results; Summer Break Study Plan follow-up	lecture, pair work	Complete Summer Break Study Plan

テキスト	① Michiko Ueki et al. *Illuminating the Path to the TOEIC L&R Test* (Kinseido). ②『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 3』（国際ビジネスコミュニケーション協会）
その他特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG112: TOEIC 対策講座Ⅱ（A）					担当教員	J. Zhang
開講期	秋	開講時限	火 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Fall Semester, the course will build upon what students have learned in the Spring Semester and will emphasize practical advice and training for TOEIC. This may include, for instance, learning effective test-taking strategies for each part of the exam and doing practice exams or exam sections. As needed, key points from the Spring Semester may be reviewed and developed further. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to develop further the skills and strategies that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・learning how to overcome one's own weaknesses on the exam; ・applying effective study skills and study habits for the exam; ・increasing one's TOEIC-related vocabulary; and ・applying effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	By the end of the semester, each student should be able to: ・better understand TOEIC test features (7 parts of the test, question types, etc.); ・understand and effectively use the skills and strategies learned in class to answer TOEIC questions; ・pace themselves when taking the Reading section; ・form a better habit of independent learning. In addition, students should be able to: ・manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.
評価方法	・Participation in class (25%) ・Homework and quizzes (30%) ・Assessment (30%) ・Independent learning (15%): study using e-learning
評価基準	・Participation in class: active participation in everyday class activities; ・Homework and quizzes: completing homework thoroughly and submitting it on time; reflecting an effort to improve study habits; reflecting an understanding of skills and strategies learned in class; answering vocabulary quizzes correctly; Homework: 15%; Quizzes: 15%. ・Assessment (two mini tests): correct answers to TOEIC Listening and Reading questions by applying knowledge and strategies learned in class; Test 1: 15%; Test 2: 15%. ・Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%). In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Fall semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score from the end of Spring semester.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview; Introduction; Test structure review; Time management	Lecture; individual /pair/group tasks	Buy textbook; Download all mp3 files; Read pp. 10-11
2	Unit 1 Shopping: Listening and Reading section; Grammar: 名詞	Lecture; exercise; individual/pair/group t.	Do e-learning; Do vocabulary quizzes in Moodle
3	Unit 2 Dining Out: Listening and Reading section; Grammar: 代名詞	Lecture; exercise; individual/pair/group t.	Do e-learning; Do vocabulary quizzes in Moodle
4	Unit 3 Daily Life: Listening and Reading section; Grammar: 形容詞	Lecture; exercise; individual/pair/group t.	Do e-learning; Do vocabulary quizzes in Moodle
5	Unit 4 Travel: Listening and Reading section; Grammar: 副詞	Lecture; exercise; individual/pair/group t.	Do e-learning; Do vocabulary quizzes in Moodle
6	Unit 5 Entertainment: Listening and Reading section; Grammar: 時制（現在・過去・未来）	Lecture; exercise; individual/pair/group t.	Do e-learning; Review Unit 1~5
7	Test 1; Pair grading; Return and go over Test 1	Test; lecture; pair/group t.	Do e-learning; Review Test 1
8	Unit 6 News & Media: Listening and Reading section; Grammar: 進行形・現在完了形	Lecture; exercise; individual/pair/group t.	Do e-learning; Do vocabulary quizzes in Moodle
9	Unit 7 Housing: Listening and Reading section; Grammar: 主語と動詞の一致	Lecture; exercise; individual/pair/group t.	Do e-learning; Do vocabulary quizzes in Moodle
10	Unit 8 Office 1: Listening and Reading section; Grammar: 他動詞・自動詞	Lecture; exercise; individual/pair/group t.	Do e-learning; Do vocabulary quizzes in Moodle
11	Unit 12 Office 2: Listening and Reading section; Grammar: 接続詞	Lecture; exercise; individual/pair/group t.	Do e-learning; Do vocabulary quizzes in Moodle
12	Unit 9 Employment: Listening and Reading section; Grammar: 動名詞・不定詞	Lecture; exercise; individual/pair/group t.	Do e-learning; Review Units 6, 7, 8, 9, 12
13	Review; Test 2	Lecture; test; pair/group discussion	Do e-learning; Do vocabulary quizzes in Moodle
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Return and go over Test 2; discuss self-study plan; course review.	Lecture; group discussion	Review Test 2; Review textbook; Continue to study.

テキスト	R. Hickling. *First Try for the TOEIC L&R Test* (KINSEIDO).
その他 特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April or July TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG112: TOEIC 対策講座Ⅱ（B）					担当教員	J. Zhang
開講期	秋	開講時限	金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Fall Semester, the course will build upon what students have learned in the Spring Semester and will emphasize practical advice and training for TOEIC. This may include, for instance, learning effective test-taking strategies for each part of the exam and doing practice exams or exam sections. As needed, key points from the Spring Semester may be reviewed and developed further. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to develop further the skills and strategies that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・learning how to overcome one's own weaknesses on the exam; ・applying effective study skills and study habits for the exam; ・increasing one's TOEIC-related vocabulary; and ・applying effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	By the end of the semester, each student should be able to: ・better understand TOEIC test features (7 parts of the test, question types, etc.); ・understand and effectively use the skills and strategies learned in class to answer TOEIC questions; ・pace themselves when taking the Reading section; ・form a better habit of independent learning. In addition, students should be able to: ・manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.
評価方法	・Participation in class (25%) ・Homework and quizzes (30%) ・Assessment (30%) ・Independent learning (15%): study using e-learning
評価基準	・Participation in class: active participation in everyday class activities; ・Homework and quizzes: completing homework thoroughly and submitting it on time; reflecting an effort to improve study habits; reflecting an understanding of skills and strategies learned in class; answering vocabulary quizzes correctly; Homework: 15%; Quizzes: 15%. ・Assessment (two mini tests): correct answers to TOEIC Listening and Reading questions by applying knowledge and strategies learned in class; Test 1: 15%; Test 2: 15%. ・Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%). In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Fall semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score from the end of Spring semester.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview; Introduction; Test structure review; Time management	Lecture; individual /pair/group tasks	Buy textbook; Download all mp3 files; read pp. 10-11
2	Unit 1 Shopping: Listening and Reading section; Grammar: 名詞	Lecture; exercise; individual/pair/group t.	Do e-learning; Do vocabulary quizzes in Moodle
3	Unit 2 Dining Out: Listening and Reading section; Grammar: 代名詞	Lecture; exercise; individual/pair/group t.	Do e-learning; Do vocabulary quizzes in Moodle
4	Unit 3 Daily Life: Listening and Reading section; Grammar: 形容詞	Lecture; exercise; individual/pair/group t.	Do e-learning; Do vocabulary quizzes in Moodle
5	Unit 4 Travel: Listening and Reading section; Grammar: 副詞	Lecture; exercise; individual/pair/group t.	Do e-learning; Do vocabulary quizzes in Moodle
6	Unit 5 Entertainment: Listening and Reading s.; Grammar: 時制（現在・過去・未来）	Lecture; exercise; individual/pair/group t.	Do e-learning; Review Unit 1~5
7	Test 1; Pair grading; Return and go over Test 1	Test; lecture; pair/group t.	Do e-learning; Review Test 1
8	Unit 6 News & Media: Listening and Reading section; Grammar: 進行形・現在完了形	Lecture; exercise; individual/pair/group t.	Do e-learning; Do vocabulary quizzes in Moodle
9	Unit 7 Housing: Listening and Reading section; Grammar: 主語と動詞の一致	Lecture; exercise; individual/pair/group t.	Do e-learning; Do vocabulary quizzes in Moodle
10	Unit 8 Office 1: Listening and Reading section; Grammar: 他動詞・自動詞	Lecture; exercise; individual/pair/group t.	Do e-learning; Do vocabulary quizzes in Moodle
11	Unit 12 Office 2: Listening and Reading section; Grammar: 接続詞	Lecture; exercise; individual/pair/group t.	Do e-learning; Do vocabulary quizzes in Moodle
12	Unit 9 Employment: Listening and Reading section; Grammar: 動名詞・不定詞	Lecture; exercise; individual/pair/group t.	Do e-learning; Review Units 6, 7, 8, 9, 12
13	Review; Test 2	Lecture; test; pair/group discussion	Do e-learning; Do vocabulary quizzes in Moodle
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Return and go over Test 2; discuss self-study plan; course review.	Lecture; group discussion	Review Test 2; Review textbook; Continue to study.

テキスト	R. Hickling. *First Try for the TOEIC L&R Test* (KINSEIDO).
その他 特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April or July TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG112: TOEIC 対策講座Ⅱ（C）					担当教員	P. McQuilling
開講期	秋	開講時限	火 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Fall Semester, the course will build upon what students have learned in the Spring Semester and will emphasize practical advice and training for TOEIC. This may include, for instance, learning effective test-taking strategies for each part of the exam and doing practice exams or exam sections. As needed, key points from the Spring Semester may be reviewed and developed further. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to develop further the skills and strategies that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・learning how to overcome one's own weaknesses on the exam; ・applying effective study skills and study habits for the exam; ・increasing one's TOEIC-related vocabulary; and ・applying effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	By the end of the course students should be able to: ・implement TOEIC test reading and listening strategies to improve their TOEIC score; ・raise their awareness of TOEIC related grammatical structures; ・increase their knowledge of TOEIC related vocabulary in reading and listening contexts. In addition, students should be able to: ・manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.
評価方法	・Participation in class (25%) ・Homework and quizzes (30%) ・Assessment (30%) ・Independent learning (15%): study using e-learning
評価基準	・Participation in class: active participation in classroom activities, on worksheets and textbook exercises. ・Homework: homework assignments on TOEIC related vocabulary, grammar and practice test questions. Homework should be completed thoroughly and submitted on time (20%). ・Quizzes: correct answers to questions about TOEIC related vocabulary on four vocabulary tests conducted during class (10%). ・Assessment: correct answers to questions on two full mock TOEIC tests – i) Listening test (15%) ii) Reading test (15%). ・Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%). In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Fall semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score from the end of Spring semester.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Orientation & Course Overview. Listening part 1 Predicting from photographs.	Lecture, individual, pair & group tasks.	Moodle Lesson 1 (L1). Business vocabulary exercises.
2	Listening part 2 Factual questions. Part 3 Skimming to predict context.	Lecture, individual, pair & group tasks.	L2. Office issues exercises. Review L1 & L2 for quiz.
3	Vocabulary Quiz 1. Answer check & feedback. Listening part 4 Paraphrasing and predicting.	Quiz, lecture, individual, pair & group tasks.	L3. Personnel vocabulary exercises.
4	Listening part 1 Listen for the correct verb. Part 2 Direct questions.	Lecture, individual, pair & group tasks.	L4. Purchasing exercises. Review L3 & L4 for quiz.
5	Vocabulary Quiz 2. Quiz feedback. Listening part 3 Distractors. Part 4 “What” questions.	Quiz, lecture, individual, pair & group tasks.	L5. Financing & Budgeting vocabulary exercises.
6	Listening test content and strategy review. Mock Test 1: Listening Test.	Lecture, pair work. Listening test.	L6. Management Issues vocabulary exercises.
7	Test review and feedback. Reading part 5 Parts of speech & time management. Part 6 Context clues.	Lecture, individual, pair & group tasks.	L7. Restaurant & Events vocabulary exercises.
8	Reading part 5 Gerunds, infinitives, phrasal verbs. Part 7 Scanning the questions.	Lecture, individual, pair & group tasks.	L8. Travel exercises. Review L5, L6 & L7 for quiz.
9	Vocabulary Quiz 3. Quiz feedback. Reading part 6 Parts of speech. Part 7 Inferring meaning.	Quiz, lecture, individual, pair & group tasks.	L9. Entertainment vocabulary exercises.
10	Reading part 5 Suffixes & Prefixes. Part 6. Clues from the questions.	Lecture, individual, pair & group tasks.	L10. Health vocabulary exercises.
11	Reading part 5 Pronouns. Part 6 “Not” questions.	Lecture, individual, pair & group tasks.	L11. Test practice exercises. Review L8, L9 & L10 for quiz.
12	Vocabulary Quiz 4. Quiz feedback. Reading part 6 Prepositions, conjunctions. Part 7 Charts.	Quiz, lecture, individual, pair & group tasks.	L12. Test practice exercises.
13	Mock Test 2: Reading test.	Reading test.	L13. Test practice exercises.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Test feedback. TOEIC strategies and course review.	Pair work, group work & discussion.	Make a plan for future learning.

テキスト	G. Trew. *Tactics for TOEIC Listening and Reading Test* (Oxford University Press).
その他 特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April or July TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG112:　TOEIC 対策講座Ⅱ（D）					担当教員	P. McQuilling
開講期	秋	開講時限	金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Fall Semester, the course will build upon what students have learned in the Spring Semester and will emphasize practical advice and training for TOEIC. This may include, for instance, learning effective test-taking strategies for each part of the exam and doing practice exams or exam sections. As needed, key points from the Spring Semester may be reviewed and developed further. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to develop further the skills and strategies that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・learning how to overcome one's own weaknesses on the exam; ・applying effective study skills and study habits for the exam; ・increasing one's TOEIC-related vocabulary; and ・applying effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	By the end of the course students should be able to: ・implement TOEIC test reading and listening strategies to improve their TOEIC score; ・raise their awareness of TOEIC related grammatical structures; ・increase their knowledge of TOEIC related vocabulary in reading and listening contexts. In addition, students should be able to: ・manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.
評価方法	・Participation in class (25%) ・Homework and quizzes (30%) ・Assessment (30%) ・Independent learning (15%): study using e-learning
評価基準	・Participation in class: active participation in classroom activities, on worksheets and textbook exercises. ・Homework: homework assignments on TOEIC related vocabulary, grammar and practice test questions. Homework should be completed thoroughly and submitted on time (20%). ・Quizzes: correct answers to questions about TOEIC related vocabulary on four vocabulary tests conducted during class (10%). ・Assessment: correct answers to questions on two full mock TOEIC tests – i) Listening test (15%) ii) Reading test (15%). ・Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%). In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Fall semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score from the end of Spring semester.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Orientation & Course Overview. Listening part 1 Predicting from photographs.	Lecture, individual, pair & group tasks.	Moodle Lesson 1 (L1). Business vocabulary exercises.
2	Listening part 2 Factual questions. Part 3 Skimming to predict context.	Lecture, individual, pair & group tasks.	L2. Office issues exercises. Review L1 & L2 for test.
3	Vocabulary Quiz 1. Answer check & feedback. Listening part 4 Paraphrasing and predicting.	Quiz, lecture, individual, pair & group tasks.	L3. Personnel vocabulary exercises.
4	Listening part 1 Listen for the correct verb. Part 2 Direct questions.	Lecture, individual, pair & group tasks.	L4. Purchasing exercises. Review L3 & L4 for test.
5	Vocabulary Quiz 2. Quiz feedback. Listening part 3 Distractors. Part 4 “What” questions.	Quiz, lecture, individual, pair & group tasks.	L5. Financing & Budgeting vocabulary exercises.
6	Listening test content and strategy review. Mock Test 1: Listening Test.	Lecture, pair work. Listening test.	L6. Management Issues vocabulary exercises.
7	Test review and feedback. Reading part 5 Parts of speech & time management. Part 6 Context clues.	Lecture, individual, pair & group tasks.	L7. Restaurant & Events vocabulary exercises.
8	Reading part 5 Gerunds, infinitives, phrasal verbs. Part 7 Scanning the questions.	Lecture, individual, pair & group tasks.	L8. Travel exercises. Review L5, L6 & L7 for test.
9	Vocabulary Quiz 3. Quiz feedback. Reading part 6 Parts of speech. Part 7 Inferring meaning.	Quiz, lecture, individual, pair & group tasks.	L9. Entertainment vocabulary exercises.
10	Reading part 5 Suffixes & Prefixes. Part 6. Clues from the questions.	Lecture, individual, pair & group tasks.	L10. Health vocabulary exercises.
11	Reading part 5 Pronouns. Part 6 “Not” questions.	Lecture, individual, pair & group tasks.	L11. Test practice exercises. Review L8, L9 & L10 for test.
12	Vocabulary Quiz 4. Quiz feedback. Reading part 6 Prepositions, conjunctions. Part 7 Charts.	Quiz, lecture, individual, pair & group tasks.	L12. Test practice exercises.
13	Mock Test 2: Reading test.	Reading test.	L13. Test practice exercises.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Test feedback. TOEIC strategies and course review.	Pair work, group work & discussion.	Make a plan for future learning.

テキスト	G. Trew. *Tactics for TOEIC Listening and Reading Test* (Oxford University Press).
その他 特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April or July TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG112:　TOEIC 対策講座Ⅱ（E）					担当教員	O. Ilina
開講期	秋	開講時限	火 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Fall Semester, the course will build upon what students have learned in the Spring Semester and will emphasize practical advice and training for TOEIC. This may include, for instance, learning effective test-taking strategies for each part of the exam and doing practice exams or exam sections. As needed, key points from the Spring Semester may be reviewed and developed further. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to develop further the skills and strategies that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・learning how to overcome one's own weaknesses on the exam; ・applying effective study skills and study habits for the exam; ・increasing one's TOEIC-related vocabulary; and ・applying effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	・demonstrate solid knowledge of features of the TOEIC test (test sections, question types, etc.); ・demonstrate understanding of skills and strategies covered in class; ・use skills and strategies learned to correctly answer TOEIC Listening and Reading questions; ・effectively pace themselves on the Reading section; ・better understand and make improvements to their own study habits. In addition, students should be able to: ・manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.
評価方法	・Participation in class (25%) ・Homework and quizzes (30%) ・Assessment (30%) ・Independent learning (15%): study using e-learning
評価基準	・Participation in class: active involvement in everyday class activities ・Homework: completed thoroughly, according to instructions, and on time; reflects understanding of and effort to improve study habits ・Quizzes: correct answers to questions about TOEIC-related knowledge, skills, and strategies covered in class ・Assessment (four tests): correct answers to TOEIC Listening and Reading questions; correct answers to questions about TOEIC-related knowledge, skills, and strategies covered in class ・Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the elearning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%). In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Fall semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score from the end of Spring semester.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview, Introduction Unit 1 Career: Listening and Reading section.	Talk about the course, lecture, exercise	Do exercises: Unit 1 (pp. 9-16)
2	Vocabulary quiz Unit 2 Workplaces: Listening and Reading s.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 2 (pp. 17-24)
3	Vocabulary quiz Unit 3 Communications: Listening and Reading s.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 3 (pp. 25-32)
4	Test #1 Unit 1-3 Unit 4 Retailing: Listening and Reading s.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 4 (pp. 39-46)
5	Vocabulary quiz Unit 5 Industry: Listening and Reading s.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 5 (pp. 47-54)
6	Return Test #1 go over results Unit 6 Trade: Listening and Reading s.	Quiz, lecture, exercise	Do exercises: Unit 6 (pp. 55-62)
7	Test #2 Unit 4-6 Unit 7 Leisure: Vocabulary, Listening section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 7 (pp. 69-76)
8	Return test #2 go over results Unit 7 Leisure: Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 7 (pp. 69-76)
9	Vocabulary quiz Unit 8 Money: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 8 (pp. 77-84)
10	Vocabulary quiz Unit 9 Travel: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 9 (pp. 85-92)
11	Test #3 Unit 7-9 Unit 10 Environment: Listening and Reading s.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 10 (pp. 99-106)
12	Return Test #3 go over results Unit 11 Health: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Do exercises: Unit 11 (pp. 107-114)
13	Unit 12 Society: Vocabulary, Listening section. Test #4 Unit 10-12	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 12 (pp. 115-122)
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Vocabulary quiz; Unit 12 Society: Reading section; Return Test #4 go over results	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do ex-s: Unit 12 (pp. 115-122)

テキスト	Charles Talkott, Graham Tullis. *Target Score A Communicative Course for TOEIC Test preparation* (2nd edition) (Cambridge).
参 考 書	松本茂『速読速聴・英単語 Core1900 ver.5』（Z-Kai）
その他 特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April or July TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG112: TOEIC 対策講座Ⅱ（F）					担当教員	O. Ilina
開講期	秋	開講時限	金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. In the Fall Semester, the course will build upon what students have learned in the Spring Semester and will emphasize practical advice and training for TOEIC. This may include, for instance, learning effective test-taking strategies for each part of the exam and doing practice exams or exam sections. As needed, key points from the Spring Semester may be reviewed and developed further. Students are required to take TOEIC-IP at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to develop further the skills and strategies that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・learning how to overcome one's own weaknesses on the exam; ・applying effective study skills and study habits for the exam; ・increasing one's TOEIC-related vocabulary; and ・applying effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	・demonstrate solid knowledge of features of the TOEIC test (test sections, question types, etc.); ・demonstrate understanding of skills and strategies covered in class; ・use skills and strategies learned to correctly answer TOEIC Listening and Reading questions; ・effectively pace themselves on the Reading section; ・better understand and make improvements to their own study habits. In addition, students should be able to: ・manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester; ・master the vocabulary necessary to pass the TOEIC; ・organize their knowledge of English grammar; ・increase their TOEIC-IP scores by 80 or more points during the semester.
評価方法	・Participation in class (25%) ・Homework and quizzes (30%) ・Assessment (30%) ・Independent learning (15%): study using e-learning
評価基準	・Participation in class: active involvement in everyday class activities ・Homework: completed thoroughly, according to instructions, and on time; reflects understanding of and effort to improve study habits ・Quizzes: correct answers to questions about TOEIC-related knowledge, skills, and strategies covered in class ・Assessment (four tests): correct answers to TOEIC Listening and Reading questions; correct answers to questions about TOEIC-related knowledge, skills, and strategies covered in class ・Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%). In addition, students will earn 5 bonus points (5%) if their TOEIC-IP score at the end of Fall semester is 80 or more points higher than their TOEIC-IP score from the end of Spring semester.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う / Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う / orally ・提出物にコメントをつけて返却する / comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview, Introduction Unit 1 Career: Listening and Reading section.	Talk about the course, lecture, exercise	Do exercises: Unit 1 (pp. 9-16)
2	Vocabulary quiz Unit 2 Workplaces: Listening and Reading.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 2 (pp. 17-24)
3	Vocabulary quiz Unit 3 Communications: Listening and Reading.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 3 (pp. 25-32)
4	Test #1 Unit 1-3 Unit 4 Retailing: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 4 (pp. 39-46)
5	Vocabulary quiz Unit 5 Industry: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 5 (pp. 47-54)
6	Return Test #1 and go over results Unit 6 Trade: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 6 (pp. 55-62)
7	Test #2 Unit 4-6 Unit 7 Leisure: Vocabulary, Listening section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 7 (pp. 69-76)
8	Return test #2 and go over results Unit 7 Leisure: Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 7 (pp. 69-76)
9	Vocabulary quiz Unit 8 Money: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 8 (pp. 77-84)
10	Vocabulary quiz Unit 9 Travel: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do exercises: Unit 9 (pp. 85-92)
11	Test #3 Unit 7-9 Unit 10 Environment: Listening and Reading.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 10 (pp. 99-106)
12	Return Test #3 and go over results; Unit 11 Health: Listening and Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Do exercises: Unit 11 (pp. 107-114)
13	Unit 12 Society: Vocabulary, Listening section. Test #4 Unit 10-12	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the test; Do exercises: Unit 12 (pp. 115-122)
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Return test #4 and go over results; Vocabulary quiz; Unit 12 Society: Reading section.	Quiz, lecture, exercise	Prepare for the vocabulary quiz; Do ex-s: Unit 12 (pp. 115-122)

テキスト	Charles Talkott, Graham Tullis. *Target Score: A Communicative Course for TOEIC Test preparation* (2nd edition) (Cambridge).
参 考 書	松本茂『速読速聴・英単語 Core1900 ver.5』（Z-Kai）
その他 特記事項	・Students must take TOEIC-IP at the end of the semester to receive credit (単位) for the course. ・Students with an April or July TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course.

科目名	ENG121:　基礎英語スキルズ（生活の英語）					担当教員	O. Massoud
開講期	春	開講時限	火金２限			研究室	４号館２階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	Speaking, Day to Day Natural English Conversation Topics, Culture, Listening
授業の概要	This course is designed to help students improve their English communication skills in everyday situations. The focus will be on developing speaking skills, practicing natural English conversation topics, and increasing awareness of English-speaking cultures. Additionally, students will improve their listening skills and learn strategies for effective communication in a variety of settings. Through a combination of class discussions, activities, and homework assignments, students will develop the confidence and ability to communicate effectively in English.
達成目標（授業の目的）	・To improve students' ability to understand and express themselves in English. ・To engage students in meaningful conversations and develop their communication skills. ・To help students focus on key grammar points, understand lesson outcomes, and avoid basic errors. ・To provide students with regular pronunciation practice. ・To help students develop fluency and confidence in their English speaking abilities. ・To further develop students' conversation strategies.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, the students should be able to: ・apply, demonstrate, expand, and practice the key phrases from the textbook lessons in their own conversations and writing. ・increase their vocabulary and use new words correctly in sentences with accurate grammar. ・express their points of view clearly. ・deliver a confident, well-prepared four-minute presentation. ・respond to questions with fluency and precise grammar during a one-on-one interview. ・use expressions and grammar effectively for casual conversation.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (25%); Testing and assessment, including one-to-one interview, quizzes, final presentation and final report (30%); Independent learning (15%).
評価基準	1. Participation and performance in classroom activities: Students will be evaluated on their level of engagement in class discussions. This includes their willingness to contribute to the discussion, their ability to articulate their thoughts clearly and concisely, and their ability to listen actively to their classmates. 2. Homework: Students will be evaluated on their ability to complete relevant assignments on time, including textbook exercises and vocabulary sentences. 3. Testing and assessment: The one-to-one interview will be used to assess the student's understanding of the material covered in the course. Quizzes will be used to assess understanding of vocabulary and class discussion topics, and the final presentation will be evaluated on volume, clarity, and the incorporation of visuals. The final report, a research project paper in essay form, will be evaluated on the quality of the research, organization, and writing style. 4. Independent learning: Students will be evaluated on their completion of two independent learning (IL) study plans and reflections, including the incorporation of key phrases.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions to Each Other, Course Overview, Google, Moodle	Meeting and greeting	Read *English Essentials* pp. 26-30
2	Unit 1A: Life Stories	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *FacetoFace* text pp. 6-7
3	TED Talk 1, Listening Log #1, The Writing Processes	Listening, group discussion, writing	Read *English Essentials* pp. 31-39

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
4	Unit 1C: Time Off	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *FacetoFace* text pp. 10-11
5	TED Talk 2, Listening Log #2	Lecture, Listening, writing, group discussion	Read *English Essentials* pp. 40-50
6	Unit 2A: Beginnings, Paragraph (1)	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *FacetoFace* text pp. 14-15
7	Unit 2C: Coincidences	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *FacetoFace* text pp. 18-19
8	Quiz #1; Review	quiz and comments, lecture, discussion	Read *English Essentials* pp. 51-60
9	Unit 3A: Getting Qualified, One-to-one Interview and Discussion 1: The Ideal Job	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *FacetoFace* text pp. 22-23
10	Unit 4A: Lookalikes; Research Project Report Draft #1	Vocabulary, listening, discussion, group work	pp. 30-31, presentation
11	Unit 4D: What do you think?, Listening Log #3	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *FacetoFace* text pp. 36-37
12	Unit 5A: Crowded Planet	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *FacetoFace* text pp. 38-39
13	Unit 5D: Charity Event, Research Project Report Draft #2	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read text pp. 44-45, prepare for presentations
14	Review, How to Give Presentations: Presentation preparation	Review, presentation preparation	Read *English Essentials* pp. 61-70
15	Presentations 1: Someone you Admire or Popular Culture	Oral presentation, Q&A, discussion	Prepare power point for presentation
16	Presentations 1: Someone you Admire or Popular Culture	Oral presentation, Q&A, discussion	Prepare power point for presentation
17	Unit 7A: 50 Places to Go	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *FacetoFace* text pp. 54-55
18	Unit 7C. Wish you were here.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *FacetoFace* text pp. 58-59
19	Discussion 1. A Trip Itinerary, Listening Log #4	Lecture, Listening, writing, group discussion	Begin the outline of Final Report
20	Unit 8C. Cultural Differences.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *FacetoFace* text pp. 66-67
21	Unit 9A. Problems, problems	Vocabulary, listening, discussion, group work	pp. 70-71
22	Presentation #2: Cultural Aspects of Japan and Abroad	Lecture, Listening, writing, group discussion	Presentation
23	Unit 11A. Guess What.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *FacetoFace* text pp. 86-87
24	Review, Quiz #2, Research Project Report Draft #3	Lecture, Listening, writing, group discussion	Revise Final Report
25	Unit 11C. In the news.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *FacetoFace* text pp. 90-91
26	Prepare for Research Report Project Presentations	Writing and Q&A	Submit Final Report, prepare for the presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Research Report Project Presentations	Oral presentation, Q&A, comments	Presentation
28	Review the Course	Oral presentation, comments, discussion	Presentation feedback and review the course

テキスト	Chris Redson and Gillie Cunningham. *face2face Pre-intermediate Student's Book* (Cambridge). TED Talks (Online), BBC (Online).
参 考 書	*English essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG121:　基礎英語スキルズ（生活の英語）					担当教員	A. Garin
開講期	秋	開講時限	火金 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	Speaking, listening, reading, pair-work, group work, communication
授業の概要	In this course students will build confidence to communicate in English through a range of interactive, personalized activities. They will improve their speaking, reading, listening, vocabulary and Internet search skills.
達成目標（授業の目的）	1) Students will be better able to express themselves in spoken English on topics familiar and motivating to a college student. 2) Students will practice using and recording a range of expressions related to each topic. 3) Students will improve their reading skills through topical short readings and reading tasks. 4) Students will improve their listening skills through interactive listening and dictation tasks. 5) Students will engage in collaborative Internet research tasks relevant to each unit topic.
到達目標（学修成果）	Students should be able to use a range of topical expressions in pair and group activities and in a group presentation; be able to give a group presentation on a familiar topic, with logical content, clear organization, effective visuals and engaging delivery; be able to independently organize and regularly update their lexical notebooks.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (25%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class quizzes and presentations (30%); Independent learning (15%).
評価基準	*Participation and performance*: active involvement in individual, pair, and small group tasks; *Homework*: assignments must be complete and submitted on time; *Testing and assessment*: two in-class lexical quizzes and one in-class presentation (content, organization, visuals, delivery); *Independent learning*: lexical notebooks (consistently update with new phrases and expressions and organize the content via chosen format).
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions, class guidelines, lexical notebooks	Lecture, individual, pair, group tasks	Review collocation PowerPoint, begin lexical notebooks
2	Unit 1 College Life	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks
3	Unit 2 Future Plans / Jobs	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, homework assignment 1
4	Unit 3 Part-time Jobs and Otakatsu	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks
5	Unit 4 Movies	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, Internet research activity
6	Unit 1-4 review activities	Lecture, individual, pair, group tasks	Unit 1-4 review, lexical notebooks
7	Share research results, Unit 5 Parties and Festivals	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, Internet research activity

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Lexical quiz 1, Unit 6 Friends	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks
9	Return quiz 1 and go over the results, Unit 7 Study Abroad / World Englishes	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, homework assignment 2
10	Unit 5-7 review activities	Lecture, individual, pair, group tasks	Unit 5-7 review, lexical notebooks
11	Unit 8 SNS	Lecture, individual, pair, group tasks	Internet research activity, lexical notebooks
12	Unit 8 Fashion / Weather	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks
13	Unit 9 Culture / Idols / Anime	Lecture, individual, pair, group tasks	Internet research activity, lexical notebooks
14	Unit 10 Music	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, homework assignment 3
15	Unit 8-10 review activities	Lecture, individual, pair, group tasks	Unit 8-10 review, lexical notebooks
16	Unit 11 Relationships	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, homework assignment 3
17	Lexical quiz 2, Unit 12 Traveling Overseas	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks
18	Return quiz 2 and go over the results, Unit 13 Shopping	Lecture, individual, pair, group tasks	Internet research activity, lexical notebooks
19	Unit 14 Social Media	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks
20	Unit 10-14 review activities	Lecture, individual, pair, group tasks	Unit 10-14 review, lexical notebooks
21	Unit 15 SDGs	Lecture, individual, pair, group tasks	Internet research activity, lexical notebooks
22	Presentation preparation class	Lecture, individual, pair, group tasks	Research presentation topic
23	Presentation planning class	Lecture, individual, pair, group tasks	Plan and prepare for the group presentation
24	Group presentations	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks
25	Presentations feedback and reflection activities	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, review activities
26	Supplementary reading and speaking activities	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, review activities
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Course review activities	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, review activities
28	Course closure reflection activities	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks

テキスト	Tadashi Shiozawa, Adam Martinelli. *Activator Next* (Kinseido).

科目名	ENG123: 基礎英語スキルズ（ライティング・文法）					担当教員	J. Zhang
開講期	春	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	English writing, grammar, sentence, paragraph, writing skills, independent learning
授業の概要	This course aims at developing students' writing ability and grammatical knowledge. The course will offer a step-by-step approach to developing skills and knowledge in the sentence, paragraph, and essay writing. Based on interesting topics closely related to students' daily life, they will engage in practicing English writing through diverse writing tasks and pair/group work. Course activities will include brainstorming, pair/group discussion, pair editing, research, and writing assignments. In this way, students will learn effective writing skills, widen their vocabulary, and master practical grammatical knowledge.
達成目標（授業の目的）	This course is designed to engage students in English writing and improve their English writing skills and grammatical knowledge. It will help students develop writing strategies, learn grammatical knowledge and vocabulary frequently used in essay writing, and use what they learn effectively to communicate and express themselves in written form.
到達目標（学修成果）	By the end of the semester, each student should be able to understand the structure of a paragraph and the structure and mechanics of quality writing. Also, students will be able to understand and effectively use the writing skills, grammatical knowledge, and vocabulary learned in class to create an essay. Simultaneously, students will be able to avoid making common errors highlighted in class. Overall, students will become independent writers.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Writing assignments (30%: 5 writing assignments, 6%×5=30%); Final assignment (an essay) (30%); Independent learning (10%)
評価基準	・Participation in class: active participation in everyday class activities; effort to write in English ・Writing assignments: completing and submitting on time; showing quality and effort; reflecting an understanding of writing skills, grammatical knowledge, and vocabulary learned in class; ・Final assignment: completing the assignment thoroughly and submitting it on time; reflecting an effort to engage in the writing process, rather than just focusing on the final product; ・Independent learning: effort to study outside of class (e.g., preview; review; keep error notebook)
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview; self-introduction; discussion: how to create good writing?	Lecture; pair/group tasks	Buy textbook; read syllabus; prepare a writing notebook
2	Unit 1 Building the sentence; grammar: independent clauses & common fragment errors	Lecture; exercise; pair tasks	Review Unit 1: pp. 10-15; establish error notebook
3	Unit 2 Combining sentences; grammar: using conjunctions to combine sentences	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Review Unit 2: pp. 16-21; update error notebook
4	Unit 3 Building the paragraph: structure of a paragraph & topic sentences	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Review Unit 3: pp. 22-26; update error notebook
5	Unit 3 + 4 Building the paragraph: concluding & supporting sentences	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Review Unit 3: pp. 27-29; update error notebook

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Unit 4 Building the paragraph: major and minor support; grammar: fragments	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Review Unit 4: pp. 30-34; update error notebook
7	Review Units 1~4: analyze the structure of a paragraph	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Review Unit 4: pp. 34-37; update error notebook
8	Extra 1: writing & formatting your document; approaches to writing; the writing process	Lecture; exercise; group tasks; writing tasks	Review pp. 40-43; E. Essentials: pp. 40-45; Writing Assignment1
9	Comments on WA1; Unit 5 The process paragraph (1); chronological ordering	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Review pp. 46-52; prepare for WA2 (outline→draft)
10	Unit 6 The process paragraph (2); grammar: using modals; getting readers' attention;	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Review pp. 53-58; revise and complete the first draft of WA2
11	Review Units 5 & 6; pair editing WA2; Unit 7 The descriptive paragraph (1)	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Submit WA2; update error notebook; prepare for WA3
12	Unit 8 The descriptive paragraph (2); Adjective order; specific language; sensory details	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Review pp. 59-70; revise and complete the first draft of WA3
13	Review Units 7 & 8; Pair editing WA3; Extra 2: Comparison and Contrast	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Submit WA3; download the PDF from Moodle and review
14	Unit 9 The narrative paragraph (1); Grammar: simple past; past progressive; complex sentences	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Review pp. 71-77; update error notebook; prepare for WA4
15	Unit 10 The narrative paragraph (2); Emotional details; direct and indirect quotes	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Review pp. 78-83; revise and complete the first draft of WA4
16	Review Units 9 & 10; Pair editing WA4; Unit 11 The opinion paragraph (1): convince the readers	Lecture; exercise; pair tasks	Submit WA4; review pp. 84-90; update error notebook
17	Unit 11 The opinion paragraph (1): opposing opinions; prepare for WA5	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Review pp. 91-93; update error notebook
18	Unit 12 The opinion paragraph (2): logical ordering; irrelevant sentences	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	Review pp. 94-99; revise and complete the first draft of WA5
19	Review Units 11 & 12; pair editing WA5; review Units 5~12	Lecture; group discussion; pair tasks	Submit WA5; review Units 1~12; update error notebook
20	Academic writing (1): paragraph length; transition words; revise your paragraph	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	E. Essentials: pp. 56-59; prepare for the final essay—topic
21	Academic writing (2): make your writing formal/academic; proofreading your paragraph	Lecture; exercise; peer proofreading	E. Essentials: pp. 48-50; prepare for the final essay—outline
22	Academic writing (3) Essay writing: structure of an essay; thesis statement	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	E. Essentials: pp. 61-65; prepare for the final essay—start writing
23	Academic writing (4) Essay writing: introduction & conclusion	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	E. Essentials: pp. 65, 66, 69; prep for the final essay—continue
24	Academic writing (5) Essay writing: how to write the body of an essay	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	E. Essentials: pp. 67-68; prepare for the final essay—complete
25	Academic writing (6): show connections between paragraphs	Lecture; exercise; pair tasks; writing tasks	E. Essentials: p. 68; prepare for the final essay—revise
26	Academic writing (7): appreciate a good essay; pair editing the final essay	Lecture; exercise; pair tasks	Review what you learn; prepare for the final essay—revise
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Review Academic writing; Peer proofreading the final essay	Lecture; exercise; pair tasks	Submit the final essay
28	Course review; Self-evaluation; Comments on the final essay; future study plan	Lecture; pair tasks; writing tasks; discussion	Review the book; continue to practice writing skills.

テキスト	J. Kenney. *Essential Writing 1—From Sentence to Paragraph* (KINSEIDO).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG123: 基礎英語スキルズ（ライティング・文法）					担当教員	小林　美文
開講期	秋	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	基礎英文法　パラグラフ　ライティング
授業の概要	本科目は基本的な英文法の理解とライティング力向上を主な目的とし、以下のことを行います。①ライティングモデル（手本のパラグラフ）を読み、その章で目標とする段落の内容、構成を理解する ②パラグラフ（段落）を書くのに必要とされる文法事項、ボキャブラリーを理解し、運用できるよう練習する ③段落の構成要素を学ぶ ④ライティングのフォーマット（形式）に従って書けるように練習する ⑤実際に段落を書く
達成目標（授業の目的）	5 段落構成のエッセイなどを英語で書くためにはその前提として、きちんと構成された段落を書く練習が不可欠です。またその一方で英文法の知識や語彙力も必要です。本科目では様々なタイプの段落を書く準備をする過程で文法の復習や語彙力の増強を行い、最終的には、ライティング課題、発表課題（各章終了後に実施）で正確で説得力のあるパラグラフが書けるようになることを目標にします。
到達目標（学修成果）	①様々な種類のパラグラフ（段落）に触れ、特徴を理解する。 ②様々な段落を書くのに必要な文法事項、ボキャブラリーを実際に使うことが出来る。 ③段落の構成要素（Topic Sentence, Supporting Sentences, Concluding Sentence）を理解する。 ④フォーマット（形式）のルールを把握し、運用できる。 ⑤①～④を踏まえ、様々なトピックについて、段落を書くことが出来る。
評価方法	積極的な授業参加（10 %）ライティング課題（80 %）発表（10 %）
評価基準	積極的な授業参加：授業中に練習問題やペアワークに積極的に取り組む姿勢を評価。 ライティング課題：各章終了後授業内で実施（全 8 回。Ch. 8 を除く）。ガイドライン（トピックなど）に従っているか、学修内容を理解し、段落の構成要素、学修した文法、語彙が的確に使用されているかを評価する。 発表：Ch. 8 終了後実施。授業で扱ったトピックに対する理解、表現力、発信力を評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	シラバス説明 アイスブレイキング Ch. 1 Introducing Yourself: Introduction	講義、ペアワーク ディスカッション	授業終業後シラバスを読む Ch. 1 pp. 1-3 の問題を解く
2	Ch. 1: Vocabulary, Organization, Sentence Structure and Mechanics	講義、ペアワーク ディスカッション	Ch. 1 pp. 11-13 の問題を解く
3	Ch. 1: Grammar, Vocabulary, Writing Process 授業内ライティング課題 ①: Ch. 1	講義、ペアワーク テスト（授業内課題）	Ch. 2 pp. 22-24 の問題を解く
4	Ch. 2: Intro, Vocabulary, Organization, Sentence Structure　課題 ① 返却、結果確認	講義、ペアワーク ディスカッション	Ch. 2 pp. 33-36 の問題を解く
5	Ch. 2: Grammar, Vocabulary, Writing Process 授業内ライティング課題 ②: Ch. 2	講義、ペアワーク テスト（授業内課題）	Ch. 3 pp. 44-46 の問題を解く

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Ch. 3 Every Picture Tells a Story: Introduction, Vocabulary, Organization	講義、ペアワーク ディスカッション	Ch. 3 pp. 55-57 の問題を解く
7	Ch. 3 Sentence Structure, Grammar 課題 ② 返却、結果確認	講義、ペアワーク ディスカッション	Ch. 3 pp. 61-63 の問題を解く
8	Ch. 3: Applying Vocabulary, Writing Process 授業内ライティング課題 ③: Ch. 3	講義、ペアワーク テスト（授業内課題）	Ch. 4 pp. 69-71 の問題を解く
9	Ch. 4 A Good Day: Introduction, Vocabulary, Organization	講義、ペアワーク ディスカッション	Ch. 4 pp. 74-75 の問題を解く
10	Ch. 4: Sentence Structure and Grammar ライティング課題 ③ 返却、結果確認	講義、ペアワーク ディスカッション	Ch. 4 pp. 76-78 の問題を解く
11	Ch. 4: Applying Vocabulary 授業内ライティング課題 ④: Ch. 4	講義、ペアワーク テスト（授業内課題）	Ch. 5 pp. 88-91 の問題を解く
12	Ch. 5 Your Hometown: Introduction, Vocabulary	講義、ペアワーク ディスカッション	Ch. 5 pp. 94-96 の問題を解く
13	Ch. 5: Organization, Grammar ライティング課題 ④ 返却、結果確認	講義、ペアワーク ディスカッション	Ch. 5 pp. 100-101 の問題を解く
14	Ch. 5: Sentence Structure 授業内ライティング課題 ⑤: Ch. 5	講義、ペアワーク テスト（授業内課題）	Ch. 6 pp. 108-110 の問題を解く
15	Ch. 6 On the Job: Introduction, Vocabulary	講義、ペアワーク ディスカッション	Ch. 6 pp. 111-112 の問題を解く
16	Ch. 6: Organization, Grammar ライティング課題 ⑤ 返却、結果確認	講義、ペアワーク ディスカッション	Ch. 6 pp. 115-118 の問題を解く
17	Ch. 6: Sentence Structure 授業内ライティング課題 ⑥: Ch. 6	講義、ペアワーク テスト（授業内課題）	Ch. 7 pp. 129-132 の問題を解く
18	Ch. 7 Remembering an Important Event: Introduction, Vocabulary	講義、ペアワーク ディスカッション	Ch. 7 pp. 137-138 の問題を解く
19	Ch. 7: Organization, Grammar ライティング課題 ⑥ 返却、結果確認	講義、ペアワーク ディスカッション	Ch. 7 pp. 139-143 の問題を解く
20	Ch. 7: Sentence Structure, Grammar 授業内ライティング課題 ⑦: Ch. 7	講義、ペアワーク テスト（授業内課題）	Ch. 8 pp. 152-155 の問題を解く
21	Ch. 8 Memories of a Trip: Introduction, Vocabulary　　発表課題概要説明	講義、ペアワーク ディスカッション	Ch. 8 pp. 160-162 の問題を解く、発表課題を確認する
22	Ch. 8: Organization, Grammar ライティング課題⑦ 返却、結果確認	講義、ペアワーク ディスカッション	Ch. 8 pp. 160-162 の問題を解く
23	Ch. 8: Sentence Structure, Applying Vocabulary 発表準備: Ch. 8	講義、ペアワーク ディスカッション	発表原稿を提出する
24	発表: Memories of a Trip	発表、ディスカッション	発表を振り返る、Ch. 9 pp. 172-175 の問題を解く
25	Ch. 9: Looking Ahead, Introduction, Organization	講義、ペアワーク ディスカッション	Ch. 9 pp. 178-181 の問題を解く
26	Ch. 9: Grammar	講義、ペアワーク ディスカッション	Ch. 9 pp. 184-185 の問題を解く
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Ch. 9: Sentence Structure, Writing 授業内ライティング課題 ⑧: Ch. 9	講義、ペアワーク テスト（授業内課題）	Ch. 9 の学修内容を復習する
28	発表課題全体フィードバック ライティング課題 ⑧ 返却、結果確認	講義 ディスカッション	学期の学修内容を復習する

テキスト	L. Butler. *Longman Academic Writing Series 1 with Digital Enhancement (Student Book with MyEnglishLab & app (2nd Edition))* (Pearson).

科目名	ENG124: 基礎英語スキルズ（リーディング・語彙）					担当教員	石原　久子
開講期	春 / 秋	開講時限	月木 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	基本 5 文型、文章構造と展開の理解、語彙・慣用表現、分析的思考力
授業の概要	様々なテーマの文章を読みながら、英語の 4 技能（読む・書く・聴く・話す）の基礎固めをします。文法事項や慣用表現を確認しつつ、文章の構造と全体の展開を理解します。英文読解に効果的なストラテジーを身につけると同時に、英文を読む楽しさを味わいます。語彙を増やすためのアクティビティも行い、英語表現の豊かを理解し、英語の発信力として役立てられるようにします。毎回の授業で、授業内提出物とムードル課題（クイズ）があります。
達成目標（授業の目的）	総合的英語力に必要不可欠な文法事項の約束事を整理して理解し、あらゆる種類の文章読解に応用できる基礎力を育成します。個々の文章を正しく分析して理解するだけにとどまらず、段落内の展開、段落と段落とのつながりを的確に把握できるようにします。そして、全体を俯瞰的にとらえて正しく分析し、内容理解できるようにします。語彙の数を増やして、実践的に活用できるようにします。これらにより、英検（準 2 級、2 級）、TOEIC、TOEFL、IELTS などの、各種英語外部検定試験に自信をもって臨める学力を身につけます。
到達目標（学修成果）	・文法の約束事を理解した上で、文章内容を理解できる。 ・文章の構造を理解して分析できる。（分析的思考力） ・初めて読む文章でも文脈から語句の意味を推測でき、大意を把握できる。（分析的思考力） ・扱ったトピックについて、自分なりの見解を、自分の言葉で発表できる。 ・語彙の数を増やして、様々な場面に応じて適切に使用できる。
評価方法	①積極的な授業参加（20%） ②語彙（30%） ③各種提出物［授業内提出物やムードル課題］（50%）
評価基準	①授業内での質疑応答や練習問題に積極的に取り組み、自発的に考える姿勢を示したか。 ②指定した単語の使われ方を理解した上で、正しいスペリングで書いているか。 ③授業で学んだ（インプット）した内容［新出語句、慣用表現、文法事項、文章構造、キーワード、段落の展開、要旨］について、適切な分析と正しい理解に基づいて、適切に記述（アウトプット）をしているか。筆者の主張を正しく理解した上で、自分なりの見解を自分の言葉で論理的に述べているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	授業方針の説明と確認 語彙を増やす方法	講義	配布資料復習
2	「古代のマラソン」について読む	講義と演習	pp.14-15 予習と復習
3	「健康に良い選択」について読む	講義と演習	pp.19-20 予習と復習 語彙プリント (1) 予習と復習
4	「笑いの効果」について読む	講義と演習	pp.24-25 予習と復習
5	「日本のアニメ」について読む	講義と演習	pp.29-30 予習と復習 語彙プリント (2) 予習と復習
6	「夢の実現」について読む	講義と演習	pp.34-35 予習と復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	「自由の女神像」について読む	講義と演習	pp.39-40 予習と復習 語彙プリント（3）予習と復習
8	Unit 1~6 まとめ	講義と演習	6 つのユニットの総復習
9	「タージ・マハル」について読む	講義と演習	pp.43-44 予習と復習 語彙プリント（4）予習と復習
10	「ユニバーサルデザイン」について読む	講義と演習	pp.49-50 予習と復習
11	「火星移住計画」について読む	講義と演習	pp.54-55 予習と復習 語彙プリント（5）予習と復習
12	「ロンドンのタクシー運転手」について読む	講義と演習	pp.59-60 予習と復習
13	「昆虫食」について読む	講義と演習	pp.64-65 予習と復習 語彙プリント（6）予習と復習
14	「美術犯罪」について読む	講義と演習	pp.69-70 予習と復習
15	Unit 7~12 まとめ	講義と演習	6 つのユニットの総復習 語彙プリント（7）予習と復習
16	「動物の第 6 感」について読む	講義と演習	pp.74-75 予習と復習
17	「ゴディバチョコレートと貴婦人」について読む	講義と演習	pp.79-80 予習と復習 語彙プリント（8）予習と復習
18	「ハワイ観光」について読む	講義と演習	pp.84-85 予習と復習
19	「現代サーカス」について読む	講義と演習	pp.89-90 予習と復習 語彙プリント（9）予習と復習
20	「スマホ依存症」について読む	講義と演習	pp.94-95 予習と復習
21	「血液型と人の性格」について読む	講義と演習	pp.99-100 予習と復習 語彙プリント（10）予習と復習
22	Unit 13-18 まとめ	講義と演習	6 つのユニットの総復習
23	「和食のマナー」について読む	講義と演習	pp.104-105 予習と復習 語彙プリント（11）予習と復習
24	「ご当地マスコット」について読む	講義と演習	pp.109-110 予習と復習
25	「自然の恵み」について読む	講義と演習	pp.114-115 予習と復習 語彙プリント（12）予習と復習
26	「交番の役割」について読む	講義と演習	pp.119-120 予習と復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	「3D プリンター」について読む	講義と演習	pp.124-125 予習と復習
28	半期の振り返りと総括	講義	配布資料復習

テキスト	Robert Hickling, 臼倉美里（共著）. *Reading Steps*（金星堂）. ボキャブラリーについては、その都度、プリントを配布します。
参考書	奥タカユキ（編著）『総合英語エバーグリーン』（いいずな書店） 藤田英時『「ローマの休日」を観るだけで英語の基本が身につく DVD ブック』（アスコム）
その他 特記事項	授業には辞書を携帯して受講してください。（電子辞書を推奨） 提出物の遅れ提出は 0 点扱いとなりますので、注意してください。

科目名	ENG125:　基礎英語スキルズ（旅行の英語）					担当教員	仲沢　淳子
開講期	春	開講時限	月木４限			研究室	４号館２階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	旅行、会話、語彙、フレーズ
授業の概要	テキストの内容に沿って、実際の旅行の場面を想定しながら、その場に適切な語彙・表現を実践的に学ぶ。また、通じやすい英語を目指すために、英語特有の発音の仕方についても音声教材を基に、個人・ペア・グループで実践的に学ぶ。
達成目標（授業の目的）	旅行の会話に必要な語彙力や表現力を強化し、海外旅行に行った際に、様々な場面での目的を果たせる英語力を身につけることを目的とする。
到達目標（学修成果）	・旅行の行程で発生し得る様々な会話について、最低限の語彙・フレーズを身につける。 ・英語の音調の特色を理解し、体得する。
評価方法	①授業への積極的参加：30% ②課題（小課題：25%、期末課題：25%）：50% ③リアクション・ペーパー：20%
評価基準	①授業内でのペア・グループワークに積極的に取り組み、自発的に学習しているかどうか。 ②指示に合った適切な内容であり、学習した内容を踏まえて成されているか。 ③授業を通して学んだことや気づきを、主観的・客観的な視点から言語化できているか。
課題等に対するフィードバック方法	・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション Ch.1 Preparing for the Trip	講義、演習、リア・ペ	予習：「本書の構成」を読む 復習：既習内容を整理
2	配布資料：Online Booking	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
3	Ch.2 On the Airplane	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
4	配布資料：Traveling by Air	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
5	Ch.3 Arrival and Passport Control	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
6	配布資料：Lost and Found	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
7	Ch.4 Banking and Leaving the Airport	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
8	配布資料：Money Exchange	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
9	Ch.5 Checking into the Hotel	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	配布資料：Accommodation	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
11	Ch.6 Hotel Facilities	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
12	配布資料：Wi-Fi Connection	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
13	Ch.7 Let's Eat!	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
14	配布資料：Food　　小課題提示	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
15	Ch.8 Sightseeing	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
16	配布資料：Public Transportation	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
17	Ch.9 Making Small Talk	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
18	配布資料：Events	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
19	Ch.10 Shopping	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
20	配布資料：Tip, Discount, Change	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
21	Ch.11 Feeling Sick	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
22	配布資料：First Aid Room	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
23	Ch.12 Getting Around　　期末課題提示	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
24	配布資料：Taxi	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
25	Ch.13 Checking Out of the Hotel	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
26	Ch.14 Heading Home	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Ch.15 Talking About Your Trip	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
28	復習・まとめ	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理

テキスト	Diane H. Nagatomo, Fumiko Murase. *Simply Traveling*（金星堂）.
参 考 書	バーデン・タイラー、千葉剛他『Travel English in Action 役に立つ旅行英会話』（南雲堂）
その他 特記事項	指定があった場合は、資料等を各自でダウンロード&印刷し、授業に持参すること。

科目名	ENG150:　標準英語スキルズ（職場の英語）					担当教員	N. Cook
開講期	春	開講時限	火金２限			研究室	４号館２階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	business English, workplace, work, e-mail, email, presentation skills
授業の概要	This course will prepare students to use English in a variety of workplace environments. Students will also explore cultural differences in workplace etiquette and language use; as well as practice reading and responding to business-style emails.
達成目標（授業の目的）	・Make students aware of the differences between formal and informal registers of English (business English vs. conversational English) ・Provide students with practice writing professional e-mails ・Learn and practice business presentation techniques
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to express their ideas in a professional manner in both speaking and writing, communicate effectively across cultures, and learn essential presentation skills.
評価方法	Presentations (25%), Evaluation tasks: Email Test & Essay (20%), Participation (25%), Homework (30%)
評価基準	Presentations: Two presentations will be given. Grades will be based on business appropriate physical and vocal delivery. Evaluation Tasks: An essay based on an in-depth understanding of one of the speakers from our textbook will be assigned as well as a test about business emails. Participation: Grades will be based on active participation in group discussions and activities based on intercultural workplace norms. Homework: Grades will be based on thorough effort to complete assigned tasks as well as four Revision Tests.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions; Textbook Unit 1 (Discussion & Vocabulary)	Self-introductions; Discussion, textbook	Read syllabus; Textbook Unit 1: Vocab A, D-F.
2	Textbook Unit 1 (Language Review)	Discussion, group work, lecture	Textbook Unit 1: Reading (p.8), Lang. Rev. A-B
3	Textbook Unit 2 (Discussion & Vocabulary)	Discussion, group work, lecture	Textbook Unit 2: Vocab B-C; Reading articles 1-2
4	Textbook Unit 2 (Language Review)	Discussion, group work, lecture	Unit 2: Language Review
5	Textbook Unit 3 (Discussion & Vocabulary)	Discussion, group work, lecture	Unit 3: Vocab. A-B; Reading Article
6	Textbook Unit 3 (Language Review)	Discussion, group work, lecture	Unit 3: Lang. Review
7	Textbook Unit 4 (Discussion & Vocabulary); Revision Test A	Discussion, group work, lecture	Unit 4: Vocab. A-B; Study for Revision Test A
8	Textbook Unit 4 (Language Review); Working Across Cultures #1	Discussion, group work, lecture	Unit 4: Lang. Review Unit A Revision pp.32-33

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Textbook Unit 5 (Discussion & Vocabulary); Return Revision Test A and go over the results	Discussion, group work, lecture	Unit 5: Vocab. A-C
10	Textbook Unit 5 (Language Review)	Discussion, group work, lecture	Unit 5: Lang. Review A 1-minute Speech
11	Textbook Unit 6 (Discussion & Vocabulary) Business Emails practice (based on GTEC)	Discussion, group work, lecture	Unit 6: Reading passage (p.55)
12	Textbook Unit 6 (Language Review) Business Emails (British Council Lesson 7)	Discussion, group work, lecture	Unit 6: Language Review
13	Textbook Unit 7 (Discussion & Vocabulary); Revision Test B, Email Response quiz	Textbook group work; Writing assessment	Unit 7: Vocab A-B
14	Textbook Unit 7 (Language Review); Business Emails (British Council Lesson 9)	Discussion, group work, lecture	Read Articles (p.69); Lang Rev. A-B
15	Textbook Unit 8 (Discussion & Vocabulary); Return Revision Test B and go over the results	Discussion, group work, lecture	Unit 8: Vocab A & C
16	Textbook Unit 8 (Language Review) Business Emails (British Council Lesson 4)	Discussion, group work, lecture	Unit 8: Read article (p.77), Language Review A-C
17	Textbook Unit 9 (Discussion & Vocabulary); Business Emails (British Council Lesson 2)	Discussion, group work, lecture	Unit 9: Vocab A-C
18	Textbook Unit 9 (Language Review); Revision Test C; Business E-mail Test	Discussion, group work, lecture	Unit 9: Read Article, Language Review A-C, Study for Tests
19	Textbook Unit 10 (Discussion & Vocabulary)	Discussion, group work, lecture	Unit 10: Vocab A, C, & D
20	Textbook Unit 10 (Language Review); Return Rev. Test C & Email Test and go over the results	Discussion, group work, lecture	Unit 10: Article; Language Review A-B
21	Textbook Unit 11 (Discussion & Vocabulary)	Discussion, group work, lecture	Unit 11: Vocab A, C, & D
22	Textbook Unit 11 (Language Review)	Discussion, group work, lecture	Unit 11: Read article; Lang. Review A, B, & D
23	Textbook Unit 12 (Discussion & Vocabulary)	Discussion, group work, lecture	Unit 12: Vocab A, B, & F
24	Textbook Unit 12 (Language Review)	Discussion, group work, lecture	Unit 12: Read article; Language Review A & B
25	Working Across Cultures #4 Role-play practice	Discussion, group work, lecture	Read textbook (Working Across Cultures #4)
26	Role-play performance Revision Test D	Role-Play Presentations; Textbook group work	Prepare for role-play; study for Revision Test D
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentation about Essay; Return Revision Test D and go over the results	Discussion, group work, lecture	Prepare a presentation about your essay content & progress
28	Course Review, Feedback Essay Due (via Moodle)	Discussion; group work	Review textbook and assignments

テキスト	David Cotton, David Falvey, Simon Kent. *Market Leader Pre-intermediate* (Pearson).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG160: 標準英語スキルズ（メディアの英語）					担当教員	A. Garin
開講期	春	開講時限	火金 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	media English, speaking, reading, writing, critical thinking, theme-based learning
授業の概要	In this course students will explore a range of media topics. They will also improve their academic speaking, reading, writing, and critical thinking skills necessary for study at university level in English.
達成目標（授業の目的）	1) Students will gain a better understanding of a range of media topics and improve their ability to express their views on these both verbally and in writing. 2) Students will improve their group discussion, reading and paragraph writing skills. 3) Students will improve their critical thinking skills by responding to a range of texts. 4) Students will be better able to express themselves in English by acquiring a wide range of topical expressions and phrases.
到達目標（学修成果）	Students should be able to use a range of phrases and expressions to effectively express their opinions on media topics; be able to better write an essay paragraph through exposure to model paragraphs, writing practice and corrective feedback; become better critical thinkers by reading about media topics, analyzing them, and expressing their opinions with the support of reasons and examples; be able to independently organize and regularly update their lexical notebooks.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (25%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class quizzes and paragraph assignments (30%); Independent learning (15%).
評価基準	*Participation and performance*: active involvement in individual, pair, and small group tasks; *Homework*: assignments must be complete and submitted on time; *Testing and assessment*: two in-class lexical quizzes and three take-home essay paragraph assignments (topic sentence, supporting sentences, concluding sentence, lexical and grammatical range and accuracy); *Independent learning*: lexical notebooks (consistently update with new phrases and expressions and organize the content via chosen format).
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions, class guidelines, lexical notebooks	Lecture, individual, pair, group tasks	Start lexical notebook, online collocation dictionaries
2	Unit 1 Global Competition in the Sky	Lecture, individual, pair, group tasks	Unit 1 reading tasks, lexical notebooks
3	Unit 2 Library on Wheels, topic sentences	Lecture, individual, pair, group tasks	Unit 2 reading tasks, lexical notebooks
4	Unit 3 English Subtitles Help Foreign Residents, supporting sentences	Lecture, individual, pair, group tasks	Unit 3 reading tasks, lexical notebooks
5	Unit 4 Olympic Pride, sequence words and phrases	Lecture, individual, pair, group tasks	Unit 4 reading tasks, lexical notebooks
6	Unit 5 The Big Business of Water	Lecture, individual, pair, group tasks	Paragraph assignment 1, lexical notebooks

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Collocations in writing, Lexical Quiz1	Lecture, individual, pair, group tasks	Collocation writing task, lexical notebooks
8	Return Quiz 1 and go over the results, Unit 6 Evacuation Shelters for Pets	Lecture, individual, pair, group tasks	Unit 6 reading tasks, lexical notebook
9	Collocations in writing	Lecture, individual, pair, group tasks	Collocation writing task, lexical notebooks
10	Unit 7 How to Live a Zero Waste Lifestyle	Lecture, individual, pair, group tasks	Unit 7 reading tasks, lexical notebooks
11	Collocations in writing	Lecture, individual, pair, group tasks	Collocation writing task, lexical notebooks
12	Unit 8 Home is Where the Heart Is	Lecture, individual, pair, group tasks	Paragraph assignment 2, lexical notebooks
13	Unit 9 Loss of Ice Increases Global Temperatures	Lecture, individual, pair, group tasks	Unit 9 reading tasks, lexical notebooks
14	Unit 10 The Historic Red Planet Mission	Lecture, individual, pair, group tasks	Unit 10 reading tasks, lexical notebooks
15	Complex sentences, Lexical Quiz 2	Lecture, individual, pair, group tasks	Sentence writing task, lexical notebooks
16	Return Quiz 2 and go over the results, Unit 11 More Layers Make You Feel Cooler	Lecture, individual, pair, group tasks	Unit 11 reading tasks, lexical notebooks
17	Compound sentences	Lecture, individual, pair, group tasks	Sentence writing task, lexical notebook
18	Unit 12 Impossible May Be Possible	Lecture, individual, pair, group tasks	Unit 12 reading tasks, lexical notebooks
19	Relative clauses	Lecture, individual, pair, group tasks	Sentence writing task, lexical notebooks
20	Unit 13 No Teens Allowed	Lecture, individual, pair, group tasks	Unit 13 reading tasks, lexical notebooks
21	Unit 14 The Truth About the Deer in Nara	Lecture, individual, pair, group tasks	Paragraph assignment 3, lexical notebooks
22	Unit 15 Looking for Microcosmic World	Lecture, individual, pair, group tasks	Unit 15 reading tasks, lexical notebooks
23	Unit 16 Physical Ability of Teens in Japan	Lecture, individual, pair, group tasks	Unit 16 reading tasks, lexical notebooks
24	Unit 17 We Still Don’t Have Choices	Lecture, individual, pair, group tasks	Unit 17 reading tasks, lexical notebook
25	Unit 18 Urban Farming in Singapore	Lecture, individual, pair, group tasks	Unit 18 reading tasks, lexical notebooks
26	Unit 19 The Power of Design Creates a Pleasant Buzz	Lecture, individual, pair, group tasks	Unit 19 reading tasks, lexical notebooks
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Unit 20 A New Dream Found in Kyoto	Lecture, individual, pair, group tasks	Unit 20 reading tasks, lexical notebooks
28	Course closure reflection activities	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks

テキスト	Junko Murao, Akiko Miyama, Tomoko Tsujimoto, Kana Yokoyama, Ashley Moore. *Insights 2022* (Kinseido).

科目名	ENG160:　標準英語スキルズ（メディアの英語）					担当教員	仲沢　淳子
開講期	秋	開講時限	月木４限			研究室	４号館２階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	ニュース、英字新聞、ヘッドライン、SNS、TV、広告
授業の概要	国内外の様々な分野のニュースに触れることによりメディア英語の特徴を理解し、必要な情報を読み取る練習を行う。各章ごとに語彙の復習を行い、関連語句や派生語なども併せて学習することにより効率的に語彙知識を増やす。また、グループワークやディスカッションを通じて自分の考えや意見を伝える練習を行う。
達成目標（授業の目的）	基礎的な文法力・語彙力・語彙の類推力、及びメディア・リテラシーを身につけ、英字新聞やインターネット上の英語記事を抵抗なく読めるようにすることを目的とする。また、他者との協同作業やディスカッションを通じて視野を広げ、受信力・発信力を培うことを目的とする。
到達目標（学修成果）	・英語で書かれた記事の概要を、ポイントを押さえながら読み取ることができる。 ・メディアで頻出度の高い語彙を中心に語彙力をつけ、新出の語彙に出会った際も辞書無しに文脈からある程度の意味を推測できる。 ・様々な話題について、自らの意見を他者に分かりやすく伝えることができる。
評価方法	①授業への積極的参加：30% ②課題（小課題：25%、期末課題：25%）：50% ③リアクション・ペーパー：20%
評価基準	①授業内でのペア・グループワークに積極的に取り組み、自発的に学習しているかどうか。 ②指示に合った適切な内容であり、学習した内容を踏まえて成されているか。 ③授業を通して学んだことや気づきを、主観的・客観的な視点から言語化できているか。
課題等に対するフィードバック方法	・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	メディア英語の特徴について	講義、リア・ペ	復習：ポイントの整理
2	Ch.1: Being Eco-Friendly with Edible Tableware	講義、練習問題、リア・ペ	予習：pp.11-16 復習：語彙の復習
3	Vocabulary Review Ch.2: In Search of More Fluid Styles of Work	講義、練習問題、リア・ペ	予習：pp.17-22 復習：語彙の復習
4	Vocabulary Review Ch.3: Cats Don’t Look, but They Know	講義、練習問題、リア・ペ	予習：pp.23-28 復習：語彙の復習
5	紙媒体のメディア：英字新聞①	講義、練習問題、リア・ペ	予習：p.4, 6 復習：語彙の復習
6	Vocabulary Review Ch.4: Challenges of a High School Entrepreneur	講義、練習問題、リア・ペ	予習：pp.29-34 復習：語彙の復習
7	Vocabulary Review Ch.5: The Ties that Bind Hearts	講義、練習問題、リア・ペ	予習：pp.35-40 復習：語彙の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Vocabulary Review Ch.6: Insect Funerals	講義、練習問題、 リア・ペ	予習：pp.41-46 復習：語彙の復習
9	紙媒体のメディア：英字新聞②	講義、練習問題、 リア・ペ	予習：p.4, 6 復習：語彙の復習
10	Vocabulary Review Ch.7: The History of QR Codes	講義、練習問題、 リア・ペ	予習：pp.47-52 復習：語彙の復習
11	Vocabulary Review Ch.8: Afghanistan's Bacha Posh	講義、練習問題、 リア・ペ	予習：pp.53-58 復習：語彙の復習
12	Vocabulary Review Ch.9: Buy a Drink, Change the World	講義、練習問題、 リア・ペ	予習：pp.59-64 復習：語彙の復習
13	紙媒体のメディア：英字新聞③	講義、練習問題、 リア・ペ	予習：p.4, 6 復習：語彙の復習
14	Vocabulary Review　　小課題提示 Ch.10: Real × Unreal	講義、練習問題、 リア・ペ	予習：pp.65-70 復習：語彙の復習
15	Vocabulary Review Ch.11: Tiny Organisms Play a Big Role	講義、練習問題、 リア・ペ	予習：pp.71-76 復習：語彙の復習
16	Vocabulary Review Ch.12: Amateurs Beat Professionals at …	講義、練習問題、 リア・ペ	予習：pp.77-82 復習：語彙の復習
17	オンライン版のメディア：英語記事、広告①	講義、練習問題、 リア・ペ	予習：p.5, 6 復習：語彙の復習
18	Vocabulary Review Ch.13: Teaching Traditional Buddhism with …	講義、練習問題、 リア・ペ	予習：pp.83-88 復習：語彙の復習
19	Vocabulary Review Ch.14: Placing Hope in a Space Telescope	講義、練習問題、 リア・ペ	予習：pp.89-94 復習：語彙の復習
20	Vocabulary Review Ch.15: A Home for Retired Racehorses	講義、練習問題、 リア・ペ	予習：pp.95-100 復習：語彙の復習
21	オンライン版のメディア：英語記事、広告②	講義、練習問題、 リア・ペ	予習：p.5, 6 復習：語彙の復習
22	Vocabulary Review Ch.16: Distant Memory Leads a Man to Home	講義、練習問題、 リア・ペ	予習：pp.101-106 復習：語彙の復習
23	Vocabulary Review Ch.17: Asian Americans Making their …	講義、練習問題、 リア・ペ	予習：pp.107-112 復習：語彙の復習
24	Vocabulary Review　　期末課題提示 Ch.18: Rising Conductor Faces the Music	講義、練習問題、 リア・ペ	予習：pp.113-118 復習：語彙の復習
25	オンライン版のメディア：英語記事、広告③	講義、練習問題、 リア・ペ	予習：p.5, 6 復習：語彙の復習
26	Vocabulary Review Ch.19: Roadmap to a Zero-Emissions Society	講義、練習問題、 リア・ペ	予習：pp.119-124 復習：語彙の復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Vocabulary Review Ch.20: Making Sense of the Metaverse	講義、練習問題、 リア・ペ	予習：pp.125-130 復習：語彙の復習
28	まとめ・振り返り	講義、練習問題、 リア・ペ	復習：全体の復習

テキスト	Junko Murao, Akiko Miyama, Tomoko Tsujimoto, Kana Yokoyama, Christopher Cladis. *INSIGHTS 2023* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG159: 標準英語スキルズ（パブリックスピーキング）					担当教員	A. Wintzer
開講期	春	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	Public speaking skills, presentation skills, listening skills, critical thinking skills, discussions
授業の概要	In this class, you will develop your ability to give a speech and a presentation in various contexts, including academic ones. You will improve your level of confidence and study different strategies to capture the attention of your audience (gestures, metaphors, analogies, examples, intonation, tempo, etc.). These strategies will be observed in videos or records of famous speeches.
達成目標（授業の目的）	For students to acquire abilities to give presentations and speeches in English For students to acquire abilities to use presentation software For students to acquire abilities to participate in a question and answer sessions For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	Students will enhance their capacities to produce oral speeches and presentations in English. They will engage in several speech topics and explore their own unique speech delivery style. By the end of this course, they will acquire confidence in their oral expression in a variety of contexts.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (20%); Presentations, in-class test and final exam (35%); Independent learning (15%).
評価基準	Classroom activities (30%): effort to communicate in English, talking during the class discussions, asking questions actively to the teacher when you need additional explanations. Homework assignments (20%): writing practice assignments. Assessment criteria: structure, language accuracy, lexical variety, quality of the arguments. Presentation, speeches, in-class test and final exam (35%): Assessment criteria: structure, language accuracy, lexical variety, quality of the arguments, body language. Independent learning (15%): self-evaluation surveys after performances.
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course outline, self-introductions. Speech #1: “Introducing my hometown”: instructions and starting writing it	Lecture, discussions	Prepare a short self-introduction.
2	*English Essentials* “Speech”	Lecture, discussions	*English Essentials*, pp. 19-25.
3	Students’ speeches #1 (part I)	Evaluations, discussions	Preparation of the short speech.
4	Students’ speeches #1 (part II)	Evaluations, discussions	Preparation of the short speech.
5	Feedback about students’ speeches #1 Rihanna’s Speech at Harvard University: analysis of her gestures, etc.	Lecture, discussions	Watch the video in advance.
6	Barack Obama’s address to students (part I) gestures, emotions, content, etc. Instructions for the speech #2	Lecture, discussions	Watch the video in advance.
7	Barack Obama’s address to students (part II): Vocabulary for the werewolf game.	Lecture, discussions	Watch the video in advance. Submit an outline of your speech #2

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Speaking practice: the werewolf game Outline of the speech #2: written feedback	Speaking practice	Study the vocabulary for the werewolf game.
9	Students' speeches #2: "In the shoes of an American president" (part I)	Evaluations, discussions	Preparation of your speech.
10	Students' speeches #2: "In the shoes of an American president" (part II)	Evaluations, discussions	Preparation of your speech.
11	Students' speeches #2: "In the shoes of an American president" (part III)	Evaluations, discussions	Preparation of your speech.
12	Students' speeches #2: "In the shoes of an American president" (part IV)	Evaluations, discussions	Preparation of your speech.
13	*English Essentials* "Presentation" Feedback about the students' speeches #2	Lecture, discussions	English Essentials pp. 26-30.
14	"Rethinking Infidelity", a TED talk of Esther Perel (part I): gestures, voice rhythm and rhetorical questions	Lecture, discussions	Watch the video in advance.
15	"Rethinking Infidelity", a TED talk of Esther Perel (part II)	Lecture, discussions	Watch the video in advance.
16	*English Essentials* "Visuals". In-class test	Lecture, discussions	English Essentials pp. 31-39. Study for the test.
17	Best of John Mulaney: humour in speeches	Lecture, discussions	Watch the video in advance.
18	The Basics of Non Violent Communication 1.1 (a talk by Marshall Rosenberg): metaphors	Lecture, discussions	Watch the video in advance.
19	The Basics of Non Violent Communication 1.2 (a talk by Marshall Rosenberg): examples. Return in-class test and go over results.	Lecture, discussions	Watch the video in advance. Submit the PowerPoint of your academic presentation.
20	"I have a dream", speech of Martin Luther King	Lecture, discussions	Watch the video in advance.
21	"Ich bin ein Berliner", speech of John F. Kennedy. Feedback regarding the PowerPoints for the academic presentations.	Lecture, discussions	Listen to the audio file in advance.
22	Mary Fisher, "A Whisper of AIDS" Instructions regarding the final exam	Evaluations, discussions	Listen to the audio file in advance.
23	Students' Academic presentations (part I)	Evaluations, discussions	Preparation of your speech.
24	Students' Academic presentations (part II)	Evaluations, discussions	Preparation of your speech.
25	Students' Academic presentations (part III)	Evaluations, discussions	Preparation of your speech.
26	Students' Academic presentations (part IV)	Evaluations, discussions	Preparation of your speech.
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	Feedback regarding academic presentations	Lecture, discussions	Prepare your feedback sheet about the presentations of the other students.
28	Return final exam and go over the results	Lecture, discussions	Prepare questions regarding the difficult parts of the final exam.

テキスト	No textbook. Links to the online videos will be provided in class. Additional files for speech analysis, preparing and assessing presentations will be distributed during the class.
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG158: 標準英語スキルズ（ディスカッション）					担当教員	O. Ilina
開講期	春	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	discussion skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	In this course we will learn various kinds of discussion (informal / formal, unstructured / structured, debate, etc.) and polish up our discussion skills (e.g., leading a discussion, developing a discussion, asking for clarification, asking questions to deepen understanding, eliciting input from others, inviting others to contribute to a discussion, etc.), discussing social issues in Japan and in the world.
達成目標（授業の目的）	・To understand a subject or topic area more deeply. ・To explore ideas and exchange information. ・To expand and clarify our knowledge. ・To improve our ability to think critically. ・To improve our language skills. ・To increase our confidence in participating in discussions in English. ・A discussion can change our attitudes and ideas. ・A discussion can helps a group make a particular decision or come to a conclusion. ・A discussion gives us the chance to hear the thoughts and ideas of other students.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to remember and use key English vocabulary to discuss various topics, use problem / solution thinking when expressing their views on these issues; do short speeches (short oral presentations) about common topics as the starting point for follow-up discussions; utilize problem / solution thinking in group discussions.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (35%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, including vocabulary tests, group discussions and the final discussion (35%).
評価基準	Participation and performance: active everyday involvement, effort to use English, use of vocabulary studied, content and delivery of speeches and the discussions are followed; Homework: completed thoroughly, submitted on time, use of vocabulary studied, use of problem / solution thinking; Vocabulary tests: correct answers to multiple-choice, matching, and fill-in questions; Group discussions: participation, argumentation, interaction with other participants Final discussion: the strategy chosen, the presentation of the material, the conduct of the discussion, organization, delivery, problem / solution thinking.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course / Friends, modern popular culture (textbook Unit 1)	Explanation by instructor, pair-work, discussion, listening	Review Unit 1 textbook content
2	Short oral presentations (popular culture); Modern popular culture (suppl. materials)	3 minutes presentation, pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 1 supplementary materials
3	Sports (textbook Unit 2) Recap of Unit 1	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Review Unit 2
4	Short oral presentations (sports activities); Sports supplementary materials	3 minutes presentation, pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 2 supplementary materials
5	Family. Relationships (textbook Unit 3) Recap of Unit 2	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Review Unit 3
6	Family. Relationships (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 3 supplementary materials

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Test #1 Festivals. Party (textbook Unit 4)	Pair-work, small group discussion, listening	Prepare the test; Review Unit 4
8	Short oral presentations (traditions, festivals); Festivals suppl. materials	3 minutes presentation, pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 4 supplementary materials
9	Cuisines of the World (Unit 5), Recap of Unit 4; Return test #1 and go over results	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Review Unit 5
10	Short oral presentations (food); Cuisines of the World (suppl. materials)	3 minutes presentation, pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 5 supplementary materials
11	Time and modern civilization (Unit 6) Recap of Unit 5	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Review Unit 6
12	Time and modern civilization (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 6 supplementary materials
13	Test #2 News (textbook Unit 7)	Pair-work, small group discussion, listening	Prepare the test; Review Unit 7
14	Short oral presentations about mass media; News (supplementary materials)	3 minutes presentation, pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 7 supplementary materials
15	Journey (textbook Unit 8), Recap of Unit 7; Return test #2 and go over results	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Review Unit 8
16	Short oral presentations (traveling); Journey (supplementary materials)	3 minutes presentation, pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 8 supplementary materials
17	Opinions (books, movies, music) (Unit 9) Recap of Unit 8	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Review Unit 9
18	Opinions (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 9 supplementary materials
19	Test #3 Childhood (textbook Unit 10)	Pair-work, small group discussion, listening	Prepare the test; Review Unit 10
20	Short oral presentations about relationships; Childhood (suppl. materials)	3 minutes presentation, pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 10 supplementary materials
21	Age, wishes and regrets (Unit 11), Recap of Unit 10; Return test #3 and go over results	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Review Unit 11
22	Age (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 11 supplementary materials
23	Style, fashion (textbook Unit 12) Recap of Unit 11	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Review Unit 12
24	Short oral presentations about fashion; Style (supplementary materials)	3 minutes presentation, pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 12 supplementary materials
25	Test #4; group discussions	Pair-work, small group discussion	Prepare the test
26	Discuss the social issues in Japan; Return test #4 and go over results	Pair-work, small group discussion	Supplementary materials
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final discussions	Discussions	Prepare discussion
28	Final discussions	Discussions	Prepare discussion

テキスト	Sue Kay and Vaughan Jones. *New Inside Out Intermediate* (Macmillan).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG158: 標準英語スキルズ（ディスカッション）					担当教員	O. Massoud
開講期	秋	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	Speaking, Argumentation, Domestic and International Topics, Cultures, Stories
授業の概要	The objective of this course is to help students develop their speaking skills and ability to engage in argumentation on a variety of domestic and international topics. Through discussions of cultural differences and the use of the text, students will learn to express their opinions clearly and respectfully, and to consider multiple perspectives on complex issues.
達成目標（授業の目的）	・For students to improve their ability to understand and express themselves effectively in English. ・For students to engage in meaningful conversations and develop critical thinking skills. ・For students to organize their thoughts and consider other perspectives. ・For students deepen their understanding of course topics through speaking, reading and writing. ・To develop confidence and acquire logical thinking skills.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, the students should be able to: ・answer and discuss assigned topics with their peers in small groups. ・increase their knowledge of the assigned topics. ・respond to questions with fluency and appropriate grammar during discussions. ・use, demonstrate, and expand upon the topics discussed in their group discussions. ・engage in meaningful discussions about domestic and international topics and cultures. ・use argumentation skills to present and defend their opinions. ・tell engaging stories and incorporate them into their discussions.
評価方法	Participation and performance in classroom activities and discussions (40%); Homework assignments (25%); Testing and assessment, such as in-class quizzes and leading discussions (20%); Independent learning (15%).
評価基準	1. Participation and performance: Students will be evaluated on their level of engagement in class discussions. This includes their willingness to contribute to the discussion, their ability to articulate their thoughts clearly and concisely, and their ability to listen actively to their classmates. 2. Homework: Students will be evaluated on their ability to complete relevant assignments on time, including textbook exercises and vocabulary sentences. 3. Testing and assessment: Quizzes will be used to assess understanding of vocabulary and class discussion topics. Leading discussions, students will be evaluated on their demonstration of effective discussion techniques during class, including the ability to respond to questions fluently and with good grammar. This includes the ability to facilitate discussions, guide the conversation in a productive direction, and engage all participants in the discussion. 4. Independent learning: Students will be evaluated on their completion of two independent learning (IL) study plans and reflections.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions to Each Other. Course Overview. Google. Moodle	Meeting and greeting, course overview	Read *English Essentials* pp. 26-30
2	Introducing Points of View. Unit 1: Which is better for a holiday, camping or staying at a hotel?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion* text pp. 9-16
3	Asking Questions to Deepen Understanding, TED Talk 1. Listening Log #1	Listening, group discussion, writing	Read *English Essentials* pp. 31-39
4	Asking for Clarification. Unit 2: Which is better for your health, tea or coffee?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion* text pp. 17-24

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	Leading a Discussion. TED Talk 2. Listening Log #2	Lecture, Listening, writing, group discussion	Read *English Essentials* pp. 40-50
6	Agreeing with an Opinion. Unit 3: Which class style is more effective, face-to-face or online?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion* text pp. 25-32
7	Expressing (Dis)Agreement. Unit 4: Which do you prefer, buying clothes or renting them?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion* text pp. 33-40
8	Developing a Discussion. Review. Quiz #1.	quiz and comments, lecture, discussion	Read *English Essentials* pp. 51-60
9	Expressing Personal Opinion. Unit 5: Should eSports be in the Olympic Games?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion* text pp. 41-48
10	Giving Reasons or Evidence. Unit 6: Should food companies abandon best-before dates?	Vocabulary, listening, discussion, group work	pp. 49-56
11	Paraphrasing an Idea. Unit 7: Where do you like to watch movies, at a theater or at home?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion* text pp. 57-64
12	Asking for Opinions. Unit 8: Should homeowners install solar panels?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion* text pp. 65-72
13	Interrupting Politely. Unit 9: Should Japan ban the sale of pets?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read text pp. 73-80
14	Eliciting Input from Others. Inviting Others to Contribute to a Discussion Review.	Review, discussion preparation	Read *English Essentials* pp. 61-70
15	Prepare a Discussion I	Q&A, discussion	Prepare a discussion topic
16	Lead a Discussion I	Q&A, discussion	Lead a discussion
17	Correct Misunderstanding. Unit 10: Should Japan introduce a four-day workweek?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion* text pp. 81-88
18	Starting Something as Fact. Unit 11: Should children's video game time be limited by law?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion* text pp. 89-96
19	TED Talk 3. Listening Log #3.	Lecture, Listening, writing, group discussion	Begin the outline of Final Report
20	Expressing Contrasting Points of View. Unit 12: Should cashless payment be promoted further in Japan?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion* text pp. 97-104
21	Make a Counterargument. Unit 13: Should social media companies censor their platforms?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion* text pp. 105-112
22	TED Talk 4. Listening Log #4	Lecture, Listening, writing, group discussion	Write the first draft of Final Report
23	Speculating / Hypothesizing. Unit 14: Should Japan invest more in space development?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion* text pp. 113-120
24	Review. Quiz #2.	Lecture, listening, writing, group discussion	Quiz #2.
25	Drawing Conclusions. Unit 15: Should public baths and hot springs accept people with tattoos?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion* text pp. 121-128
26	Prepare a Discussion II	Q&A, discussion	Prepare a discussion
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Lead a Discussion II	Q&A, discussion	Lead a Discussion
28	Review the Course	comments, discussion	Review the course

テキスト	Atsushi Iino / Sayo Nakamura / Brian Wistner / Toshihiko Wada / Yukiko Yabuta. *Voice Your Opinion* (Kinseido). TED Talks (Online). BBC (Online).
参 考 書	*English essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG162: 標準英語スキルズ（ライティング・文法）					担当教員	R. Burton
開講期	春	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	Writing through grammar analysis of reading at sentence, paragraph, and essay levels.
授業の概要	Students will read texts analytically such that grammar patterns and paragraphing become apparent. That knowledge is then used to construct phrases, sentences, paragraphs, and whole essays. 8 different topic areas ensure a wide range of topical vocabulary and phrasing. Reading models and writing tasks include comparison / contrast, cause-effect, problem-solution, opinion, summary and opinion (reaction statements), and opinion with supporting reasons and evidence claims.
達成目標（授業の目的）	This course will provide students with reminders of key grammatical patterns involved in meaningful and varied sentence construction. Analyzing the reading texts will provide the input for language development of vocabulary and grammar. Students will be carefully assisted in developing sufficiently flexible sentence-writing skills for paragraph-writing to emerge as the next natural step. Students will not be expected to write complex paragraphs until they show sufficient agility with grammar.
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will have gained enough grammar insights and grammar practice to enhance their writing ability. They will also have become familiar with annotating texts in such a way as to notice many of the recurring syntactical patterns. This will increase both their comprehension, and their reading speed. It will also develop in students the ability to co-opt phrasing they come across in their reading, and put it to use in their own creations.
評価方法	Participation and performance in classroom / Zoom discussions (30%); Homework (20%); x7 final drafts of Written Paragraphs / Essays (35%); Individual 5-minute Presentation of Paragraph / Essay (15%) – each student to choose one of their own, already submitted paragraphs or essays to present to the class.
評価基準	Participation and performance in classroom / Zoom discussions: this will depend on a student's language level, but it also depends on how much preparation students do. Homework: grammar quizzes graded for accuracy. Written Essays / Paragraphs: grading criteria being x4 equal proportions of marks for vocabulary choice, sentence variety, paragraph cohesion and / or essay structure. Presentation of Essay: with assessment 50% based on pronunciation (clarity and continuity), and 50% based on effective paraphrasing from formal written register to more approachable / social spoken register.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Unit 1 "Animals" and Course introduction. "Animals"- mostly discussion	Group Discussion, with Glossary, Watch Video 1	Reading 1- Endangered species: answer set questions
2	"Animals"- Reading Analysis check reading 1, class read-through Reading 2	Lecture / Reading: Losing the Battle for Survival	Language Development- academic verbs & comparatives
3	"Animals" – paragraph / essay planning, topic sentences, combining sentences	Group + pair work tasks- comparison and contrast	1st Essay, 1st Draft "Compare and contrast two sharks"
4	"Animals" – Analysis of a 1st Draft	Paragraph / essay- analysis & discussion	1st Essay, 2nd Draft "On Campus"- plagiarism
5	Unit 2 "The Environment" - mostly discussion	Group Discussion, with glossary, Watch Video 2	Reading 1-Our Changing Planet: answer set questions

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	“The Environment”- Reading Analysis check reading 1, class read-through Reading 2	Lecture / Reading: Causes & Effects: Deforestation	Language Development- academic vocabulary
7	“The Environment” – paragraph unity, verbs of cause and effect, supporting sentences / details	Group + pair work tasks- causes & effects	2nd Essay, 1st Draft “Human contribution to climate change”
8	“The Environment” – Analysis of a 1st Draft	Paragraph / essay- analysis & discussion	2nd Essay, 2nd Draft “On Campus”- choosing courses
9	Unit 3 “Transportation” - mostly discussion	Group Discussion, with glossary, Watch Video 3	Reading 1- Masdar: The Future of Cities: answer set questions
10	“Transportation”- Reading Analysis check reading 1, class read-through Reading 2	Lecture / Reading: Traffic Congestion	Language Development- verb synonyms
11	“Transportation” – future real conditional with if or unless, forms of concluding sentences	Group + pair work tasks- problems & solutions	3rd Essay, 1st Draft “Pros / cons of traffic congestion solutions”
12	“Transportation” – Analysis of a 1st Draft	Paragraph / essay- analysis & discussion	3rd Essay, 2nd Draft “On Campus”- mind mapping
13	Unit 4 “Customs and Traditions” - mostly discussion	Group Discussion, with glossary, Watch Video 4	Reading 1- Customs Around the World: answer set questions
14	“Customs and Traditions”- Reading Analysis check reading 1, class read-through Reading 2	Lecture / Reading: Non-traditional Weddings	Language Development- generalizations and frequencies
15	“Customs and Traditions” – ways to paraphrase and ways to not plagiarize	Group + pair work tasks- summaries & reactions	4th Essay, 1st Draft “Reaction statement to reading 2”
16	“Customs and Traditions” – Analysis of a 1st Draft	Paragraph / essay- analysis & discussion	4th Essay, 2nd Draft “On Campus”- professor liaison
17	Unit 5 “Health and Fitness” - mostly discussion	Group Discussion, with glossary, Watch Video 5	Reading 1- Health and Exercise: answer set questions
18	“Health and Fitness”- Reading Analysis check reading 1, class read-through Reading 2	Lecture / Reading: Tackling Obesity	Language Development- word forms for nouns and verbs
19	“Health and Fitness” – Ways of structuring an essay from first stating opinion, or purpose	Group + pair work tasks- opinions	5th Essay, 1st Draft “Should sport be required of all students?”
20	“Health and Fitness” – Analysis of a 1st Draft	Paragraph / essay- analysis & discussion	5th Essay, 2nd Draft “On Campus”- procrastination
21	Unit 6 “Discovery and Invention”- mostly discussion	Group Discussion, with glossary, Watch Video 6	Reading 1- The Magic of Mimicry: answer set questions
22	“Discovery and Invention”- Reading Analysis check reading 1, class read-through Reading 2	Lecture / Reading: The World of Tomorrow	Language Development- modals and adverbs of certainty
23	“Discovery” – Introductory paragraphs, relative clauses, prepositional phrases for pros / cons	Group + pair work tasks- explanatory prose	6th Essay, 1st Draft “New tech. features, benefits & drawbacks”
24	“Discovery and Invention” – Analysis of a 1st Draft	Paragraph / essay- analysis & discussion	6th Essay, 2nd Draft “On Campus”- annotating texts
25	Unit 7 “Fashion” - mostly discussion	Group Discussion, with glossary, Watch Video 7	Reading 1- Fast Fashion Taking Over? answer set questions
26	“Fashion”- Reading Analysis check reading 1, class read-through Reading 2	Lecture / Reading: Offshore Production	Language Development- fashion business collocations
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	“Fashion” – Body paragraphs in argumentative essays, multiword prepositions	Group + pair work tasks- arguments in prose	7th Essay, 1st Draft “Opinion-piece on ills of fashion industry”
28	“Fashion” – Analysis of a 1st Draft	Paragraph / essay- analysis & discussion	7th Essay, 2nd Draft “On Campus”- internet sourcing

テキスト	Carolyn Westbrook, Lida Baker, Jeanne Lambert, Kate Adams. *Prism Reading & Writing 2* (Cambridge). ISBN 9781316625132

科目名	ENG162: 標準英語スキルズ（ライティング・文法）					担当教員	仲沢　淳子
開講期	秋	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	英文法、語彙、表現、パラグラフ、エッセイ
授業の概要	テキストの練習問題に取り組みながら、読み手に分かりやすい論理的な文章を作成するための基本的な要点を、文法的正確性と共に体得していく。ペア・グループでの客観的分析を通し、自然な英文の書き方についての理解も深める。
達成目標（授業の目的）	英語特有の表現方法について学ぶと共に、語彙力及び文法力を強化して、英語らしい文章が書けることを目標とする。また、伝えるという目的意識を持ちながら、パラグラフ・エッセイのライティングのために必要な基礎知識・技能について学ぶことを目標とする。
到達目標（学修成果）	・自然な英文を書くための語彙力・文法力・表現力を身につける。 ・パラグラフ・エッセイについての基礎知識を身につける。
評価方法	①積極的な授業参加：30% ②課題（小課題：25%、期末課題：25%）：50% ③リアクション・ペーパー：20%
評価基準	①授業内でのペア・グループワークに積極的に取り組み、自発的に学習しているかどうか。 ②指示に合った適切な内容であり、学習した内容を踏まえて成されているか。また、豊富な語彙を使い、文法的に正確且つ英語として自然な文章を書くことを目指しているかどうか。 ③授業を通して学んだことや気づきを、主観的・客観的な視点から言語化できているか。
課題等に対するフィードバック方法	・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション Unit1: 非人称主語（1）	講義、演習、リア・ペ	予習：pp.3-5 を読む 復習：既習内容を整理
2	Unit2: 非人称主語（2）	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
3	Unit3: 仮定法	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
4	基礎知識①： Paragraph – Format, Title, Topic sentence	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
5	Unit4: 発話動詞	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
6	基礎知識②：Paragraph – Supporting sentences	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
7	Unit5: 否定詞	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
8	Unit6: 形容詞構文（1）	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	基礎知識③：Paragraph – Concluding sentence	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
10	Unit7: 形容詞構文（2）	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
11	Unit8: 名詞構文　　小課題提示	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
12	基礎知識④：Essay – Introductory paragraph	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
13	Unit9: 時制	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
14	Unit10: 接続詞	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
15	基礎知識⑤：Essay - Body	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
16	Unit11: 助動詞	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
17	Unit12: 感覚・認識動詞	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
18	基礎知識⑥：Essay – Concluding paragraph	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
19	Unit13: 比較級（1）	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
20	Unit14: 比較級（2）	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
21	基礎知識⑦：Persuasion	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
22	Unit15: 代名詞	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
23	Unit16: 進行形	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
24	基礎知識⑧：Comparison　　期末課題提示	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
25	Unit17: 文修飾副詞	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
26	Unit18: ‘when’の 2 つの用法	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Unit19: 使役動詞	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理
28	Unit20: 総合演習 まとめ	講義、演習、リア・ペ	予習：指定箇所を読む 復習：既習内容を整理

テキスト	Tatsuaki Tomioka, James Hill. *Read Better to Write Better*（金星堂）.
参 考 書	Cynthia A. Boardman, Jia Frydenberg. *Writing to Communicate 2 Paragraphs and Essays THIRD EDITION* (Pearson).
その他 特記事項	指定があった場合は、資料等を各自でダウンロード&印刷し、授業に持参すること。

科目名	ENG163: 標準英語スキルズ（リーディング・語彙）					担当教員	石原　久子
開講期	春 / 秋	開講時限	月木 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	基本 5 文型、文章構造と展開の理解、語彙・慣用表現、分析的思考力
授業の概要	様々なテーマの文章を読みながら英語の 4 技能（読む・書く・聴く・話す）の応用力を伸ばします。文法事項や慣用表現を確認しつつ、文章の構造と全体の展開を理解します。英文読解に効果的なストラテジーを身につけると同時に、英文を読む楽しさを味わいます。語彙を増やすためのアクティビティも行い、英語表現の豊かさを理解し、英語の発信力として役立てられるようにします。毎回の授業で授業内提出物とムードル課題（クイズ）があります。
達成目標（授業の目的）	総合的英語力に必要不可欠な文法事項の約束事を整理して理解し、あらゆる種類の文章理解に活用できる応用力を育成します。個々の文章を正しく分析して理解するだけにとどまらず、段落内の展開、段落と段落とのつながりを、的確に把握できるようにします。そして、全体を俯瞰的にとらえて正しく分析し、内容理解できるようにします。語彙の数を増やして、実践的に活用できるようにします。これらにより、英検（2 級、準 1 級）、TOEIC、TOEFL、IELTS などの、各種英語外部検定試験に自信をもって臨める学力を身につけます。
到達目標（学修成果）	・文法の約束事を理解した上で、文章内容を理解できる。 ・文章の構造を理解して分析できる。（分析的思考力） ・初めて読む文章でも文脈から語句の意味を推測でき、大意を把握できる。（分析的思考力） ・扱ったトピックについて、自分なりの見解を、自分の言葉で発表できる。 ・語彙の数を増やして、様々な場面に応じて適切に使用できる。
評価方法	①積極的な授業参加（20%） ②語彙（30%） ③各種提出物［授業内提出物やムードル課題］（50%）
評価基準	①授業内での質疑応答や練習問題に積極的に取り組み、自発的に考える姿勢を示したか。 ②指定した単語の使われ方を理解した上で、正しいスペリングで書いているか。 ③授業で学んだ（インプット）した内容［新出語句、慣用表現、文法事項、文章構造、キーワード、段落の展開、要旨］について、適切な分析と正しい理解に基づいて、適切に記述（アウトプット）をしているか。筆者の主張を正しく理解した上で、自分なりの見解を自分の言葉で論理的に述べているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	授業方針の説明と確認 語彙を増やす方法	講義	配布資料復習
2	英国の抱える問題点（基礎編）	講義と演習	pp.6-8 予習と復習
3	英国の抱える問題点（応用編）	講義と演習	pp.9-11 予習と復習 （語彙）pp.6-7 予習と復習
4	歌声の国ウェールズ（基礎編）	講義と演習	pp.13-15 予習と復習
5	歌声の国ウェールズ（応用編）	講義と演習	pp.16-18 予習と復習 （語彙）pp.8-9 予習と復習
6	エディンバラ公爵フィリップ殿下逝去（基礎編）	講義と演習	pp.20-22 予習と復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	エディンバラ公爵フィリップ殿下逝去（応用編）	講義と演習	pp.23-25 予習と復習 （語彙）pp.10-11 予習と復習
8	リバプールでのイベント実験（基礎編）	講義と演習	pp.27-29 予習と復習
9	リバプールでのイベント実験（応用編）	講義と演習	pp.30-32 予習と復習 （語彙）pp.12-13 予習と復習
10	英国でのサイバー犯罪（基礎編）	講義と演習	pp.34-36 予習と復習
11	英国でのサイバー犯罪（応用編）	講義と演習	pp.37-39 予習と復習 （語彙）pp.14-15 予習と復習
12	海上風力発電所（基礎編）	講義と演習	pp.41-43 予習と復習
13	海上風力発電所（応用編）	講義と演習	pp.44-46 予習と復習 （語彙）pp.16-17 予習と復習
14	女性ジョッキーの活躍（基礎編）	講義と演習	pp.48-50 予習と復習
15	女性ジョッキーの活躍（応用編）	講義と演習	pp.51-53 予習と復習 （語彙）pp.18-19 予習と復習
16	第三世代（基礎編）	講義と演習	pp.55-57 予習と復習
17	第三世代（応用編）	講義と演習	pp.58-60 予習と復習 （語彙）pp.20-21 予習と復習
18	英国は世界から孤立するか（基礎編）	講義と演習	pp.62-64 予習と復習
19	英国は世界から孤立するか（応用編）	講義と演習	pp.65-67 予習と復習 （語彙）pp.22-23 予習と復習
20	スパイ小説作家ジョン・ル・カレ（基礎編）	講義と演習	pp.69-71 予習と復習
21	スパイ小説作家ジョン・ル・カレ（応用編）	講義と演習	pp.72-74 予習と復習 （語彙）pp.24-25 予習と復習
22	気候変動と地球の危機（基礎編）	講義と演習	pp.76-78 予習と復習
23	気候変動と地球の危機（応用編）	講義と演習	pp.79-81 予習と復習 （語彙）pp.26-27 予習と復習
24	警察権限拡大の危機（基礎編）	講義と演習	pp.83-85 予習と復習
25	警察権限拡大の危機（応用編）	講義と演習	pp.86-88 予習と復習 （語彙）pp.28-29 予習と復習
26	ワクチン接種と自由の日（基礎編）	講義と演習	pp.90-92 予習と復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	ワクチン接種と自由の日（応用編）	講義と演習	pp.93-95 予習と復習
28	半期の振り返りと総括	講義	配布資料復習

テキスト	James C. House, 三好道子（共著）. *Britain Today: Culture, Society and History*（松柏社）. 佐藤誠司. *A Shorter Course in TOEIC TEST VOCABULARY QUIZZES*（南雲堂）.
参 考 書	奥タカユキ（編著）『総合英語エバーグリーン』（いいずな書店） 木下卓、窪田憲子、久守和子（編著）『イギリス文化 55 のキーワード』（ミネルヴァ書房）
その他 特記事項	授業には辞書を携帯して受講してください。（電子辞書を推奨） 提出物の遅れ提出は 0 点扱いとなりますので、注意してください。

科目名	ENG161:　標準英語スキルズ（編入対策）					担当教員	岩崎　明子
開講期	春	開講時限	月木 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	vocabulary, grammar, reading, test-taking strategies
授業の概要	大学編入学試験に対応できる英語力を身につけるために、前半は英検準 1 級の総合問題を解き、後半は試験の過去問題の演習とその解説を中心に授業を進める。Vocabulary & grammar, 長文の Reading, Translation, Summary, Writing エクササイズを繰り返す。また、最後のプレゼンテーションでは、過去問を客観的に分析し解説する課題を行う。
達成目標（授業の目的）	編入学試験の英語問題を解くために必要な教養と表現力を身につける。英語の読解力を高めるのに必要なスキルを習得し、試験の得点をあげる。英文を翻訳する力を伸ばし、日本語で要約する力をつける。編入学試験に向けて、過去問を分析し自律学修ができる力を養う。
到達目標（学修成果）	英検準 1 級程度の英文を読める単語力、文法力、読解力を習得する。多様な専門分野のトピックの英文を読み、翻訳や要約ができるようになる。過去問を分析できるようになる。自分で学修計画を立て、計画に沿って学修できる習慣と力が身につくようになる。
評価方法	授業への積極的参加・課題 50%、Review Test 2 回 20%: #1（10 回目）、Test #2（19 回目）、プレゼンテーション 2 回 30%
評価基準	①Text 演習を必ず予習し、授業内での質疑や解答分析の話合いに積極的に参加し、課題の内容とそれを期日内に提出したかを評価する。 ②Review Test では、授業でやったところをよく復習して身につけたかを評価する。 ③プレゼンテーションでは、試験問題の構造や難易度、トピックについて的確に分析しているかを評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview,　大学編入試験とは	Lecture	p.35
2	1. 自然・環境 Reading 1,2,3B	Vocabulary, reading	pp.44-51 予習
3	1. 自然・環境 Listening, Writing	Listening, writing	pp.52-57 予習
4	1. 自然・環境 まとめ	Review, exercise, Q&A	pp.58-69 復習
5	2. 教育・心理　Reading 1,2,3A	Vocabulary, reading	pp.80-84 予習
6	2. 教育・心理　Listening, Writing	Listening, writing	pp.86-89 予習
7	2. 教育・心理　まとめ	Review, exercise, Q&A	pp.92-113 復習
8	3. 健康・医療　Reading 1,2,3C	Vocabulary, reading	pp.114-118 予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	3. 健康・医療　Listening, Writing	Listening, writing	pp.122-125 予習
10	3. 健康・医療　まとめ　Review Test #1	Review, exercise, Q&A	pp.128-148 復習
11	4. 科学・技術　Reading 1,2,3B Review Test 返却、講評	Vocabulary, reading	pp.152-157 予習
12	4. 科学・技術　Listening, Writing	Listening, writing	pp.158-161 予習
13	4. 科学・技術　まとめ	Review, exercise, Q&A	pp.164-182 復習
14	5. 社会・ビジネス Reading 1,2,3C	Vocabulary, reading	pp.188-195 予習
15	5. 社会・ビジネス Listening, Writing	Listening, writing	pp.196-199 予習
16	5. 社会・ビジネス Reading 1,2,3C	Review, exercise, Q&A	pp.202-221 復習
17	6. 政治・文化　Reading 1,2,3A	Vocabulary, reading	pp.226-231 予習
18	6. 政治・文化　Listening, Writing	Listening, writing	pp.232-235 予習
19	6. 政治・文化　まとめ　Review Test #2	Review, exercise, Q&A	pp.238-257 復習
20	過去問演習（長文読解、空所補充） Review Test 返却、講評	Lecture, exercise	プリント配布　予習
21	過去問演習（翻訳、作文）	Lecture, exercise	プリント配布　予習
22	過去問演習（要約、作文）	Lecture, exercise	プリント配布　予習
23	過去問総合	Lecture, exercise	プリント配布　予習
24	試験問題解説プレゼンテーション①	Presentation, Q＆A	Prepare presentation
25	試験問題解説プレゼンテーション②	Presentation, Q＆A	Prepare presentation
26	試験問題解説プレゼンテーション③	Presentation, Q&A	Prepare presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	試験問題解説プレゼンテーション④予備日	Presentation, Q&A	Prepare presentation
28	編入試験英語対策まとめ	Lecture, Q＆A	質問を用意する

テキスト	西真理子、他『よく出る 6 テーマ別　英検総合トレーニング準 1 級』（三修社）
参 考 書	2021 年度版『英検準 1 級過去 6 回全問題集』（旺文社） 中原道喜（2000 年）『英語長文問題精講 新装版』（旺文社） 瓜生豊他『英文法・語法問題 Next Stage 4th』（桐原書店） 風早寛『速読英単語 必修編（改訂第 7 版）』（Z-KAI）
その他 特記事項	学期中に英検準 1 級の単語本 1 冊をマスターする

科目名	ENG164: 標準英語スキルズ（アメリカの文化と社会）					担当教員	M. Wilkinson
開講期	春	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	American society, movies, character study, culture, news
授業の概要	This course aims to engage students with various voices from within American society, plus one or two outside America, through movie characters, the issues they face, and their perspectives on life.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will be able to express ideas and opinions in English on socio-cultural topics, both in writing and speech; link newly acquired knowledge to issues covered in class; reflect on the lives of others and how this influences the decisions they make.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Essay (30%); Homework assignments (20%); Independent learning (20%)
評価基準	*Participation*: Actively contributing to pair and group discussions and completing in-class tasks, sharing thoughts *Homework assignments*: Preparing thoughts on movies clips, finish textbook activities *Essay*: Essay (Character Study) -organization (introduction with thesis statement, body, conclusion), content (including showing critical thinking and objectivity), language (vocabulary usage, grammar etc) *Independent learning:* Read a recent news article (in English) on America each week that is related to unit topics and be prepared to talk about it in class
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions and course explanation, Unit 1: United by Desperation	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
2	Unit 1: United by Desperation, share thoughts	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises.
3	Unit 2: Assigning a Label	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
4	Unit 2: Assigning a Label, share thoughts	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises, preview next unit.
5	Unit 3: Prejudice and Egocentrism	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
6	Unit 3: Prejudice and Egocentrism, share thoughts	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises, preview next unit.
7	Unit 4: Human vs. Property	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unit 4: Human vs. Property, share thoughts	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises, preview next unit.
9	Unit 5: Choosing a Home	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
10	Unit 5: Choosing a Home, share thoughts	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises, preview next unit.
11	Unit 6: Be an Intercultural Interpreter	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
12	Unit 6: Be an Intercultural Interpreter, share thoughts	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises, preview next unit.
13	Unit 7: An Illegal Life	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
14	Unit 7: An Illegal Life, share thoughts	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises, preview next unit.
15	Unit 8: Foreign Language and Self-Confidence	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
16	Unit 8: Foreign Language and Self-Confidence, share thoughts	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises, preview next unit.
17	Unit 9: Frame of Mind	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
18	Unit 9: Frame of Mind, share thoughts	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises, preview next unit.
19	Unit 10: An Individual or A Number	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
20	Unit 10: An Individual or A Number, share thoughts	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises, preview next unit.
21	Unit 11: Pushing Past Boundaries	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
22	Unit 11: Pushing Past Boundaries, share thoughts, *English Essentials*: Research	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises, preview next unit.
23	Unit 12: Does It Divide or Unite?	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
24	Unit 12: Does It Divide or Unite?, share thoughts, *English Essentials*: Essay	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises, preview next unit.
25	Unit 13: Finding a Cure	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
26	Unit 13: Finding a Cure, share thoughts, *English Essentials*: Essay	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises, preview next unit.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Unit 14: Is Your World Peaceful?	Lecture, listening, reading, discussion	Watch movie clips and prepare thoughts to share with class.
28	Unit 14: Is Your World Peaceful?, share thoughts Submit essay	Lecture, listening, reading, discussion	Finish textbook exercises.

テキスト	Joseph Tabolt & Koji Morinaga. *Our Society, Our Diversity, Our Movies* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG166: 標準英語スキルズ（ホスピタリティの英語）					担当教員	小林　美文
開講期	秋	開講時限	月木４限			研究室	４号館２階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	ホスピタリティ　コミュニケーション　おもてなしの表現　異文化理解
授業の概要	本科目はホスピタリティ業界で必要とされる英語力の育成を主な目的とし、以下のことを行います。① 業界の各分野で必要な知識やスキルに触れる ② インプット活動（読む・聴く）で知識の理解を深める ③ アウトプット活動（書く・話す）で知識・スキルの定着、コミュニケーション力の向上を目指す ④ ボキャブラリーを増強し文法をよりよく理解することで、表現力・発信力を培う ⑤ ホスピタリティに重要な文化的、社会的背景に対する理解力を育成する
達成目標（授業の目的）	航空・テーマパーク・ホテル業界について、初めに特徴、必要知識やスキルを整理、理解し、顧客とのコミュニケーションに必要な語彙、表現、背景知識を学びます。必要に応じて英文法の復習をし、的確に使用できるようにします。最終的にはペアワーク（奇数ユニットで実施）、スピーキングテスト（学期終わりに実施）に対応できることを目標にします。
到達目標（学修成果）	① ホスピタリティ業界の各分野の特徴、必要とされる情報、知識、スキルを理解できる。 ② 各分野でよく使われる語彙、表現を理解し、運用できる。 ③ 各分野の様々な場面の会話や文章を聴いたり、読んだりできる。 ④ 学んだ語彙、表現、文法を使って、的確にコミュニケーションできる。 ⑤ コミュニケーションに必要な文化的、社会的背景を理解する。
評価方法	積極的な授業参加（30％）クイズ（30％）ペアワーク（30％）スピーキングテスト（10％）
評価基準	積極的な授業参加：授業中に練習問題やディスカッションに積極的に取り組む姿勢を評価。 ペアワーク：奇数 Unit 2 回目の授業で実施。課題（Info Gap Activity）を理解し、相手と協働しながら場面に適したコミュニケーションがとれるかを評価する。 クイズ：偶数 Unit 2 回目授業で実施。直近 2 つの Unit で学んだ語彙、表現から出題し得点を評価する。 スピーキングテスト：学期末の授業で実施。授業で扱ったトピックに対する理解、表現力、発信力を評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	シラバス説明 アイスブレイキング ホスピタリティに必要なもの	講義 ディスカッション	シラバスを再読する Unit 1 pp. 7-12 を読む
2	航空系① Unit 1 接客コミュニケーション 基本用語, Vocabulary, Basic Expressions	講義　演習 ディスカッション	ペアワーク準備: Unit 1 pp. 11 -12 を復習
3	航空系② Unit 1 接客コミュニケーション Dialogues, Reading, Info Gap Activity	講義　演習 ペアワーク	Unit 2 pp. 13-18 を読む
4	航空系③ Unit 2 機内サービス 基本用語, Vocabulary, Basic Expressions	講義　演習 ディスカッション	クイズの準備: Units 1 & 2 B3 B4 を復習
5	航空系④ Unit 2 機内サービス Dialogues, Reading, Info Gap Activity	クイズ（翌週返却・解説）講義　演習	Unit 3 pp. 19-21 を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	航空系⑤ Unit 3 LCC と FSC 基本用語, Vocabulary, Basic Expressions	講義　演習 ディスカッション	ペアワーク準備: Unit 3 pp. 23 -24 を復習
7	航空系⑥ Unit 3 LCC と FSC Dialogues, Reading, Info Gap Activity	講義　演習 ペアワーク	Unit 4 pp. 25-30 を読む
8	航空系⑦ Unit 4 面接重視の航空会社 基本用語, Vocabulary, Basic Expressions	講義　演習 ディスカッション	クイズ準備: Units 3 & 4 B3 B4 を復習
9	航空系⑧ Unit 4 面接重視の航空会社 Dialogues, Reading, Info Gap Activity	クイズ（翌週返却・解説）講義　演習	Unit 5 pp. 35-40 を読む
10	テーマパーク系① Unit 5 チケット販売 基本用語, Vocabulary, Basic Expressions	講義　演習 ディスカッション	ペアワーク準備: Unit 5 pp. 39 -40 を復習
11	テーマパーク系② Unit 5 チケット販売 Dialogues, Reading, Info Gap Activity	講義　演習 ペアワーク	Unit 6 pp. 41-46 を読む
12	テーマパーク系③ Unit 6 アトラクション 基本用語, Vocabulary, Basic Expressions	講義　演習 ディスカッション	クイズの準備: Units 5 & 6 B3 B4 を復習
13	テーマパーク系④ Unit 6 アトラクション Dialogues, Reading, Info Gap Activity	クイズ（翌週返却・解説）講義　演習	Unit 7 pp. 47-52 を読む
14	テーマパーク系⑤ Unit 7 トラブル発生 基本用語, Vocabulary, Basic Expressions	講義　演習 ディスカッション	ペアワークの準備: Unit 7 pp. 51-52 を復習
15	テーマパーク系⑥ Unit 7 トラブル発生 Dialogues, Reading, Info Gap Activity	講義　演習 ペアワーク	Unit 8 pp. 53-58 を読む
16	テーマパーク系⑦ Unit 8 業界の先輩メッセージ 基本用語, Vocabulary, Basic Expressions	講義　演習 ディスカッション	クイズの準備: Units 7 & 8 B3 B4 を復習
17	テーマパーク系⑧ Unit 8 業界の先輩メッセージ Dialogues, Reading, Info Gap Activity	クイズ（翌週返却・解説）講義　演習	Unit 9 pp. 61- 66 を読む
18	ホテル系① Unit 9 ホテル業務内容 基本用語, Vocabulary, Basic Expressions	講義　演習 ディスカッション	ペアワークの準備: Unit 9 pp. 65-66 を復習
19	ホテル系② Unit 9 ホテル業務内容 Dialogues, Reading, Info Gap Activity	講義　演習 ペアワーク	Unit 10 pp. 67-72 を読む
20	ホテル系③ Unit 10 料飲部門（F & B） 基本用語, Vocabulary, Basic Expressions	講義　演習 ディスカッション	クイズの準備: Unit 9 & 10 B3 B4 を復習
21	ホテル系④ Unit 10 料飲部門（F & B） Dialogues, Reading, Info Gap Activity	クイズ（翌週返却・解説）講義　演習	Unit 11 pp.73-78 を読む
22	ホテル系⑤ Unit 11 トラブル発生 基本用語, Vocabulary, Basic Expressions	講義　演習 ディスカッション	ペアワークの準備: Unit 11 pp. 77-78 を復習
23	ホテル系⑥ Unit 11 トラブル発生 Dialogues, Reading, Info Gap Activity	講義　演習 ペアワーク	Unit 12 pp. 79-84 を読む
24	ホテル系⑦ Unit 12 ホテル業界就職活動 基本用語, Vocabulary, Basic Expressions	講義　演習 ディスカッション	クイズの準備：Units 11 & 12 B3 B4 を復習
25	ホテル系⑧ Unit 12 ホテル業界就職活動編 Dialogues, Reading, Info Gap Activity	クイズ（翌週返却・解説）講義　演習	スピーキングテストの準備
26	スピーキングテスト（Job Interview） 自己評価	講義　演習 スピーキングテスト	スピーキングテスト振り返り
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	スピーキングテストフィードバック ホスピタリティに必要な背景知識	講義　演習 ディスカッション	配布資料を復習 pp. 32-34, 59-60, 85-86 を読む
28	各業界の補足情報 学期のまとめ	講義 ディスカッション	今学期学んだ内容を復習する

テキスト	仁科恭徳、他『ホスピタリティ・コミュニケーション　実践形式で学ぶおもてなし英語』（三修社）

科目名	ENG167: 標準英語スキルズ（日本の文化）					担当教員	宮崎　幸江
開講期	秋	開講時限	月木５限			研究室	4217
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	茶の湯、日本文化、和敬清寂
授業の概要	この授業では、茶の湯を切り口に、日本の文化を語る語彙、会話力、プレゼンテーション力、読解力を学ぶ。茶の湯が総合芸術と言われるのはなぜか、日本において喫茶の習慣がどのように始まり今に至るのかなど理解するとともに、茶道の点前を実際に学ぶ。SJ 祭や海外の大学生への Zoom での日本文化紹介や海外在住の茶人らとのオンライン交流も行う。
達成目標（授業の目的）	この授業では、学生は海外の人々に対し、英語で茶の湯や茶の湯と関係の深い美術や工芸、喫茶の歴史等について説明できるようになることを目的とする。裏千家の作法で盆略点前という基本の点前で抹茶の点て方を習得する。
到達目標（学修成果）	①茶の湯の歴史やその精神について日英両言語で理解し説明できるようになる。 ②英語で茶の飲み方など客の作法について説明できるようになる。 ③盆略点前で茶を点てて、人をもてなすことができるようになる。
評価方法	①クイズ：20% ②授業への積極参加：10% ③プレゼンテーション（個人）：20% ④プレセンテーション（グループ）：20% ⑤レポート：30%
評価基準	①クイズ：茶の湯に関連する語彙や表現を習得しているかを評価する。 ②授業への積極参加：ディスカッションやお点前の習得に積極的に参加するかを評価する。 ③プレゼンテーション（個人）：日本文化（陶磁器、鋳物、漆器、数寄屋、和菓子）などについて英語で説明できるかを評価する。 ④プレゼンテーション：グループで行う茶道のデモンストレーションを評価する。 ⑤レポート：日英バイリンガルで提出し、茶の湯についての理解と表現力を評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	茶の湯とはーなぜ海外の人々にも知られているのか、お辞儀	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト目次を見て、内容を想像する
2	茶掛、床の間の設え、掛け軸と茶花 ウィスコンシン大学学生との交流	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	ウィスコンシン大学について調べる
3	抹茶の点て方、イリノイ大学 Japan House の活動	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	イリノイ大学 Japan House の活動について調べる
4	A「点前座」は和の美術館 割り稽古（帛紗さばき）	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 6-11 の予習
5	A 和菓子について 割り稽古（棗を清める）	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 42-45 の予習
6	A 道具を清める 割り稽古（茶杓を清める）	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 50-53 の予習
7	A 茶碗の扱い 英語で茶の湯プレゼンテーションをする	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 54-57 の予習
8	A 英語でプレゼンテーション プレゼンテーションリハーサル	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 12-13 の予習 SJ 祭茶の湯デモ練習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	A 日本のお辞儀の意味と違い	講義、質疑応答、 実技、ペアワーク	テキスト A pp. 66-69 の予習
10	A 稽古とは, B Why is tea the master key to the Japanese culture.	講義、質疑応答、 実技、ペアワーク	テキスト A pp. 70-73 の予習 テキスト B pp. 4-14 の予習
11	B 茶の湯と伝統工芸（陶芸、漆器、竹細工）プレゼンテーション	講義、質疑応答、 実技、ペアワーク	プレゼンテーション準備 テキスト B pp. 42-45 の予習
12	B 茶の湯と伝統工芸（金物、染色） プレゼンテーション	講義、質疑応答、 実技、ペアワーク	プレゼンテーション準備 テキスト B pp. 46-47 の予習
13	B 茶の湯と抹茶、着物、数寄屋建築 プレゼンテーション	講義、質疑応答、 実技、ペアワーク	プレゼンテーション準備 テキスト B pp. 48-49 の予習
14	B 茶の湯の歴史（平安～室町時代） プレゼンテーション	講義、質疑応答、 実技、ペアワーク	プレゼンテーション準備 テキスト B pp. 78-79 の予習
15	B 茶の湯の歴史（安土・桃山～現代） プレゼンテーション	講義、質疑応答、 実技、ペアワーク	プレゼンテーション準備 テキスト B pp. 80-83 の予習
16	B Chanoyu and Japanese spirits	講義、質疑応答、 実技、ペアワーク	テキスト B pp. 84-87 の予習
17	B Chanoyu has an international flavor 米国大学生との Zoom 交流会を企画する	講義、質疑応答、 実技、ペアワーク	テキスト B pp. 40 の予習
18	古伊万里再生プロジェクト	講義、質疑応答、 実技、ペアワーク	古伊万里再生プロジェクトについて調べまとめる
19	福田屋「紀尾井亭」について	講義、質疑応答、 実技、ペアワーク	「紀尾井亭」について調べる
20	B 大寄せ茶会とは	講義、質疑応答、 実技、ペアワーク	テキスト B pp. 56-57 の予習
21	B 茶会と茶事の違い	講義、質疑応答、 実技、ペアワーク	テキスト B pp. 53-59 の予習
22	B 懐石について	講義、質疑応答、 実技、ペアワーク	テキスト B pp. 60-65 の予習
23	B 日本の季節感、和菓子の銘を例に考える	講義、質疑応答、 実技、ペアワーク	テキスト B pp. 66-73 の予習
24	B 茶の湯と禅	講義、質疑応答、 実技、ペアワーク	テキスト B pp. 90-93 の予習
25	初釜 新年の道具の取り合わせ	講義、質疑応答、 実技、ペアワーク	リアクションペーパーを書く
26	プレゼンテーション 茶会を企画し、英語でもてなす 1	講義、質疑応答、 実技、ペアワーク	プレゼンテーションの準備 レポートを書く
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	プレゼンテーション 茶会を企画し、英語でもてなす 2	講義、質疑応答、 実技、ペアワーク	プレゼンテーションの準備 レポートを書く
28	まとめ	講義、質疑応答、 実技、ペアワーク	期末レポートを書く

テキスト	A　ランディー・チャネル宗榮『バイリンガル茶の湯 The Book of Chanoyu』（淡交社） B　保科眞智子『英語 DE 茶の湯　こんなとき、どうする？！』（淡交社）
その他 特記事項	盆略点前に必要な次の道具は各自が準備する（茶碗、棗、茶筅、茶杓、茶巾、建水、帛紗、懐子、扇子、見立ても可。7000 円程度）、抹茶（各自用意）、授業で使うお菓子代は別途徴収。希望者には、学期の間に上智大学所有の「紀尾井亭」を見学し茶の湯体験を行う予定。

科目名	ENG182: 準上級英語スキルズ（TOEIC スピーキング・ライティング対策）					担当教員	P. McQuilling
開講期	春	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②, 3-③

キーワード	TOEIC preparation skills, critical thinking, test item formatting, self-directed learning
授業の概要	This class will provide a structured format to prepare for the TOEIC Speaking and Writing Test. In this course students will explore a range of test content and language usage that are common in TOEIC tests and also in daily life. Original test items will be made by the students based on TOEIC test question formatting.
達成目標（授業の目的）	This course aims to help students develop an understanding of test item formatting and the topics presented on the TOEIC Speaking and Writing Test. Students will learn the formatting of each question type and will work with their peers to critically analyze the answers they provide. TOEIC test strategies will also be discussed with peers and the instructor. English language skills will be developed in parallel to a greater understanding of TOEIC test content.
到達目標（学修成果）	By the end of the course, each student should be able to identify and provide answers for all question types on the TOEIC Speaking and Writing Test. Students will then be able to create original test questions in the appropriate format. Participation will include test item creation (TIC), critical thinking and test strategy activities that will help prepare students for a set of 3 mock TOEIC tests. Preparation for each class will include both homework and TIC tasks.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (20%); Homework assignments drawn from the textbook and worksheets (25%); Test Item Creation, focusing on the creation of properly formatted test questions and performance on student created questions (25%); Testing and assessment, including 3 mock-TOEIC tests – i) Speaking test ii) Writing test & iii) Speaking & Writing tests combined (30%).
評価基準	Participation and performance: active involvement, participation and performance on critical thinking activities which reference TOEIC Test question formats, performance on TOEIC test questions in class, effort to use English; Homework (HW): worksheets & assignments completed thoroughly and on time, use of test formatting; Test Item Creation (TIC): completed thoroughly and on time for use in class, performance on student created questions using the strategies studied; Mock-Tests: completion of each test and response to feedback from teacher and peers.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction & orientation. Learner profiles, course goal setting.	Explanation by instructor, pair work.	Read syllabus, complete learner profile.
2	TOEIC Speaking Test overview. Qs.1-2 Reading Announcements practice.	Pair work, group work, peer evaluations.	Speaking Test Qs.1-2 practice worksheet.
3	Speaking Test Qs.3-4 Describing Photos explanation and practice.	Presentation, pair work, group work.	Speaking Test Qs.3-4 practice worksheet.
4	Speaking Test Qs.5-7 Responding to Questions explanation and practice.	Pair work, group work & discussion.	Speaking Test Qs.5-7 practice worksheet.
5	Speaking Test Qs.8-10 Responding to Questions using Provided Information.	Pair work, group work, self recordings.	Speaking Test Qs.9-10 practice worksheet.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Speaking Test Q11. Expressing your opinion organization tactics and practice.	Pair work, discussion, peer evaluations.	Speaking Test Q.11 practice worksheet.
7	Speaking Test Review – review & practice, self-evaluations, self-improvement strategies.	Peer evaluations, self recordings.	Review test questions and strategies.
8	Speaking Mock Test explanation – test practice, peer evaluations	Peer evaluations, self recordings.	Review test questions and strategies for Mock Test 1.
9	Mock Test 1. Speaking Test.	Test, record answers, self-evaluation.	Review answers. Identify areas for improvement.
10	Test feedback & Writing Test overview. Writing Test Qs.1-5. Photo descriptions.	Pair work, group work & discussion.	Writing Test Qs.1-5 practice worksheet.
11	Writing Test. Qs.6-7. Responding to emails. Organizing responses.	Pair work, group work & discussion.	Writing Test Qs.6-7 practice worksheet.
12	Writing Test Q.8 Writing an opinion essay. Organization and supporting opinions.	Pair work, group work & discussion.	Writing Test Q.8 practice worksheet. Essay organization.
13	Writing Test Q.8 Writing an opinion essay. Cohesion and coherence strategies.	Pair work, feedback, self-evaluation.	Writing Test Q.8. Cohesion & coherence worksheet.
14	Writing Test review – review & practice, self-evaluations, self-improvement strategies.	Pair work, group work, peer evaluations.	Review test questions and strategies for Mock Test 2.
15	Mock Test 2 Writing Test.	Test, self-evaluations.	Review answers. Identify areas for improvement.
16	Test feedback & Test Item Creation overview. Test Item Creation: Speaking test Qs.1-2.	Teacher feedback, pair work & research.	Research suitable items for Speaking test Qs.1-2.
17	Test Item Creation: Speaking test. Qs.3-4. Student created question practice.	Pair work & research. Self recordings.	Record two sets of answers for Speaking test Qs.3-4.
18	Test Item Creation: Writing Test Qs.1-5. Student created question practice.	Pair work, group work & research.	Answer two sets of student created Writing Test Qs.1-5.
19	Test Item Creation: Speaking test Qs.5-7. Student created question practice.	Pair work & research. Self recordings.	Create a situation and questions for Speaking test Qs.5-7
20	Test Item Creation: Speaking test Q.8-10. Student created question practice.	Pair work & research. Self recordings.	Answer two sets of student created Speaking test Qs.8-10.
21	Test Item Creation: Writing test Qs.6-7. Student created question practice.	Pair work, group work & research.	Write 2 appropriate emails for Writing test Qs.6-7.
22	Test Item Creation: Speaking test. Q11. Student created question practice.	Pair work, group work & research.	Record one answer for Speaking test Q.11.
23	Test Item Creation: Writing test. Q8. Student created question practice.	Pair work, group work & research.	Create two appropriate questions for Speaking test Q.8.
24	Q8. Opinion Essay Review. Question Type Practice.	Brainstorming, organizing, writing.	Write an opinion essay.
25	TOEIC self-evaluations, self-improvement strategies.	Pair work, group work & discussion.	Review test questions and strategies for Mock Test 3.
26	Mock Test 3. Speaking & Writing tests.	Test, record answers, self-evaluations.	Review answers. Identify areas for improvement.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Test feedback. TOEIC strategies and independent learning review.	Pair work, group work & discussion.	Make a plan for future learning.
28	Feedback and course reflection.	Pair work, group work & discussion.	Review the class and reflect on your progress.

テキスト	Educational Testing Service『公式 TOEIC Speaking & Writing ワークブック』（IIBC）

科目名	ENG183:　準上級英語スキルズ（多読速読）					担当教員	M. Lupas
開講期	春	開講時限	火金 5 限			研究室	4206
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	extensive reading, rapid reading, speed reading, skimming, scanning, levelled readers, graded readers
授業の概要	Reading improves through reading. This skills course is designed to make reading an enjoyable habit by allowing students to read many books in English at a level they feel comfortable with and about content which interests them. Students will have access to a virtual library of adventure, mystery, humor, biography, romance, true stories, and social issues books which they can read on their devices or borrow in paper format from the school library. They will also practice rapid reading techniques in class.
達成目標（授業の目的）	Course Goals: For students to improve their general English reading ability by reading large quantities of texts at a comfortable level. For students to express their understanding of what they have read to others in a clear way. For students to understand written content faster by mastering several common writing patterns. For students to increase their English vocabulary.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will acquire the habit of weekly reading of longer texts and books in English; will be able to write a report about non-fiction and fiction books; will be able to orally communicate about what they read by doing book presentations; will be able to use the SQ3R method to read faster; will have learned and be able to recognize 500 common reading vocabulary words; will reflect on how they read, different ways of reading, and on the process of reading.
評価方法	Participation 20%; Homework 60%; Vocabulary Quizzes 15%; Presentation 5%
評価基準	1. Participation: active participation in class activities including group book presentation sharing (20%) 2. Homework: 12 book reports evaluated on completeness and timely submission (24%), and total number of words read (36%): 180,000 words = 36pts; 150,000 words=30pts; 125,000 words=25 pts; 100,000 words= 20 pts; 75,000 words=15 pts; 50,000 words= 10pts, 25,000 words=5pts, 5,000 words=1 point 3. Vocabulary Quizzes: Moodle quizzes based on the textbook vocabulary lists (15%) 4. Presentation: 1 presentation on “How I Read” evaluated on organization, delivery, and content (5%)
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Class introduction. What are rapid reading (RR) and extensive reading (ER)? Resources	lecture, video	Choose books for extensive reading.
2	RR: readings 42-44 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 2,000 words or more; Do the Moodle quiz
3	RR: readings 45-47 ER: book report 1	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 2,000 words or more; Do the Moodle quiz
4	RR: readings 48-50 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 2,000 words or more; Do the Moodle quiz
5	RR: readings 51-53 ER: book report 2	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 2,000 words or more; Do the Moodle quiz

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	RR: readings 54-56 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 2,000 words or more; Do the Moodle quiz
7	RR: readings 57-59 ER: book report 3	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 2,000 words or more; Do the Moodle quiz
8	RR: readings 60-62 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 2,000 words or more; Do the Moodle quiz
9	RR: readings 63-65 ER: book report 4	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 2,000 words or more; Do the Moodle quiz
10	RR: readings 66-68 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 3,000 words or more; Do the Moodle quiz
11	RR: readings 69-71 ER: book report 5	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 3,000 words or more; Do the Moodle quiz
12	RR: readings 72-74 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 3,000 words or more; Do the Moodle quiz
13	RR: readings 77-79 ER: book report 5	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 3,000 words or more; Do the Moodle quiz
14	RR: readings 80-82 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 3,000 words or more; Do the Moodle quiz
15	RR: readings 83-85 ER: book report 6	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 3,000 words or more; Do the Moodle quiz
16	RR: readings 86-88 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 4,000 words or more; Do the Moodle quiz
17	RR: readings 89-91 ER: book report 7	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 4,000 words or more; Do the Moodle quiz
18	RR: readings 92-94 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 4,000 words or more; Do the Moodle quiz
19	RR: readings 95-97 ER: book report 8	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 4,000 words or more; Do the Moodle quiz
20	RR: readings 98-100 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 5,000 words or more; Do the Moodle quiz
21	RR: readings 101-103 ER: book report 9	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 5,000 words or more; Do the Moodle quiz
22	RR: readings 104-106 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 5,000 words or more; Do the Moodle quiz
23	RR: readings 107-109 ER: book report 10	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 5,000 words or more; Do the Moodle quiz
24	RR: readings 110-112 ER: student presentations	review, RR drills, reading	Read your book(s); Do the vocab; Prepare presentations
25	RR: readings 113-115 ER: book report 11	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 5,000 words or more; Do the Moodle quiz
26	RR: readings 116-118 ER: student presentations	review, RR drills, reading	Read your book(s) 5,000 words or more; Do the Moodle quiz
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	RR: readings 119-121 ER: book report 12	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 5,000 words or more; Do the Moodle quiz
28	RR: readings 122-124 ER: reading celebration	review, RR drills, reading	Read your book(s) 5,000 words or more; Do the Moodle quiz

テキスト	（1）松本茂『TOEIC TEST 速読速聴・英単語 STANDARD 1800 ver.2』（Z-Kai） （2）“Xreading.com” 6-month student subscription.
参 考 書	Day, R., and Julian Bamford. *Extensive Reading in the Second Language Classroom* (Cambridge). Nation, I. S. P., and Rob Waring. *Teaching Extensive Reading in Another Language* (Routledge).

科目名	ENG184: 準上級英語スキルズ（アカデミックライティング）					担当教員	R. Burton
開講期	秋	開講時限	火金２限			研究室	４号館２階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	Academic writing through reading and language analysis, referenced to academic conceptual thought.
授業の概要	This course will give students substantial practice of reading texts analytically, such that the concepts and details within those texts can then be used to help create academic essays. This means a regular routine of reading and writing, and developing analytical thinking appropriate to each section of an academic essay. This course will involve a great deal of discussion, as students must nurture and exercise the spirit of shared rational enquiry that is essential to research.
達成目標（授業の目的）	This course will provide students with the conceptual framework of the key rhetorical modes involved in academic writing. The reading texts also serve as input for language development of vocabulary and grammar. The many language practice exercises lead to guided incorporation of that vocabulary and grammar into writing tasks. As such, students' general writing abilities will evolve and gain in competence and precision appropriate for academic writing and thinking.
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will have gained vast language practice in reading and writing as used in the main concepts that steer academic inquiry. They will be able to set about writing academic essays on any topic involving such rhetorical modes as Explanation, Comparison and Contrast, Opinion, Problem and Solution, Persuasion, Argumentation, and Analysis (of data). Moreover, students should find themselves sufficiently practiced in discussion, to participate effectively in seminar presentations, dialectic and debate.
評価方法	Participation and performance in classroom / Zoom discussions (30%); Homework (20%); x7 final drafts of Written Essays (35%); Individual 5-minute Presentation of Essay (15%) – each student to choose one of their own, already submitted essays to present to the class.
評価基準	Participation and performance in classroom / Zoom discussions: The amount of participation and performance in classroom / Zoom discussions will depend on a student's language level, but it is also dependent on how much preparation students do. Homework: The Homework is either language development exercises, or provisional planning for essays and discussions. Some preparation exercises must be submitted for grading. Written Essays: grading criteria being x4 equal proportions of marks for vocabulary choice, sentence variety, paragraph cohesion & essay structure. Presentation of Essay: with assessment 50% based on pronunciation (clarity and continuity), and 50% based on effective paraphrasing from formal written register to more approachable / social spoken register.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Unit 1 "Globalization" and Course introduction. "Globalization" - mostly discussion	Discussion questions, Glossary, Video	Reading 1-Turkish Treats answer set questions
2	"Globalization" - Reading Analysis Check reading 1, Class read-through Reading 2	Reading 2-Eating Habits Discussion & Definitions	Language Development with phrasal verbs
3	"Globalization" - Essay Planning, noun phrases, time phrases, thesis statements	Live workshop tasks, & 'Explanatory' mode	1st Essay, 1st Draft "How has globalization changed Japan?"
4	"Globalization" - Analysis of a 1st Draft	Essay Structure Critique & Discussion	1st Essay, 2nd Draft. "On Campus"- Study Skills

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	Unit 2 “Education” - mostly discussion	Discussion questions, Glossary, Video	Reading 1-Different Majors answer set questions
6	“Education” - Reading Analysis Check reading 1, Class read-through Reading 2	Reading 2-F2F or on-line Discussion & Inferences	Language Development with “Academic Words”
7	“Education” - Essay Planning, language for comparing and contrasting	Live workshop tasks, & ‘Comparative’ mode	2nd Essay, 1st Draft “Studying a language vs. studying math”
8	“Education” - Analysis of a 1st Draft	Essay Structure Critique & Discussion	2nd Essay, 2nd Draft. “On Campus”-Discussion Board
9	Unit 3 “Medicine” - mostly discussion	Discussion questions, Glossary, Video	Reading 1-Homeopathy Debate -answer set questions
10	“Medicine” - Reading Analysis, Check reading 1, Class read-through Reading 2, & discussion	Reading 2 - Should Healthcare Be Free?	Language Development with “Medical & Academic Words”
11	“Medicine” - Essay Planning, language for definite / indefinite articles, showing concession	Live workshop tasks, & ‘Opinion’ mode	3rd Essay, 1st Draft “Responsible for Disease Prevention- Who?”
12	“Medicine” - Analysis of a 1st Draft	Essay Structure Critique & Discussion	3rd Essay, 2nd Draft. & “On Campus” - Illness Coping
13	Unit 4 “The Environment”- mostly discussion	Discussion questions, Glossary, Video	Reading 1-Disaster Mitigation - answer set questions
14	“The Environment” - Reading Analysis Check reading 1, Class read-through Reading 2	Reading 2 - Combating Drought in Africa	Language Development with “Academic Noun Phrases”
15	“The Environment” - Essay Planning, language for expressing solutions using ‘it’ / ‘the thing is’	Live workshop tasks, & ‘Problem-Solution’ mode	4th Essay, 1st Draft “Case Study Environmental Report Solution”
16	“The Environment” - Analysis of a 1st Draft	Essay Structure Critique & Discussion	4th Essay, 2nd Draft. “On Campus”- Study Plans
17	Unit 5 “Architecture” - mostly discussion	Discussion questions, Glossary, Video	Reading 1-Green Buildings - answer set questions
18	“Architecture” - Reading Analysis Check reading 1, Class read-through Reading 2	Reading 2 - Form vs. Function	Language Development with “Academic Word Families”
19	“Architecture” - Essay Planning, language for expressing formal / informal register	Live workshop tasks, & ‘Persuasive’ mode	5th Essay, 1st Draft “New Home Location vs. Size, Trade-off”
20	“Architecture” - Analysis of a 1st Draft	Essay Structure Critique & Mini Presentations	5th Essay, 2nd Draft. & “On Campus” - Conflict Resolution
21	Unit 6 “Energy” - mostly discussion	Discussion questions, Glossary, Video	Reading 1-Alternative Energy - answer set questions
22	“Energy” - Reading Analysis Check reading 1, Class read-through Reading 2	Reading 2 - Maintaining Vital Natural Resources	Language Development with “Formal vs. Informal Verbs”
23	“Energy” - Essay Planning, language and use of relative clauses	Live workshop tasks, & ‘Explanatory’ mode	6th Essay,1st Draft “Comparison of Advantages / Disadvantages”
24	“Energy” - Analysis of a 1st Draft	Essay Structure Critique & Mini Presentations	6th Essay, 2nd Draft. “On Campus” - Reference Letter
25	Unit 7 “Art and Design” - mostly discussion	Discussion questions, Glossary, Video	Reading 1-All that Art is - answer set questions
26	“Art and Design” - Reading Analysis Check reading 1, Class read-through Reading 2	Reading 2 - Photography as Art	Language Development with “Art & Design Vocabulary”
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	“Art and Design” - Essay Planning, language for substitution, and ellipsis	Live workshop tasks, & ‘Argumentative’ mode	7th Essay, 1st Draft “Cooking IS Fine Art! - Argument”
28	“Art and Design” - Analysis of a 1st Draft	Essay Structure Critique & Mini Presentations	7th Essay, 2nd Draft. & “On Campus” - Common Knowledge

テキスト	Chris Sowton, Alan S. Kennedy. *Prism Reading & Writing 3* (Cambridge). ISBN 9781316624456

科目名	ENG185： 準上級英語スキルズ（翻訳演習）					担当教員	仲沢 淳子
開講期	春	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階 講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	翻訳、辞書、補充訳、国語力
授業の概要	教科書の各回の学習事項をつかみ、手持ちの辞書を使いながら例題を解く。文学、歌詞、映画など、様々なジャンルの英語の和訳にもチャレンジする。また、翻訳技術を支えるための国語力についても意識を向け、原文の意味を崩さずに日本語にしても自然な訳文が作れるよう練習を積む。
達成目標（授業の目的）	日本語として読んだ時に違和感のない訳文を作成するための翻訳技術を学ぶ。原文を正確に読み取るための英語力、及び原文のニュアンスに合う和訳を作るための国語力の向上を図る。
到達目標（学修成果）	・実践的な翻訳技術を身につける。 ・辞書を使いこなすことにより、英語の読み書きの能力を向上させる。 ・自然な和訳を作成するための国語力を身につける。
評価方法	①授業への積極的参加：30% ②課題（小課題：25%、期末課題：25%）：50% ③リアクション・ペーパー：20%
評価基準	①授業内でのペア・グループワークに積極的に取り組み、自発的に学習しているかどうか。 ②指示に合った適切な内容であり、学習した内容を踏まえて成されているか。 ③授業を通して学んだことや気づきを、主観的・客観的な視点から言語化できているか。
課題等に対するフィードバック方法	・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション Lesson1 お試し翻訳	講義、演習、リア・ペ	予習：p.3, 4 を読む 復習：L1 の既習内容を整理
2	Lesson2 辞書引き	講義、演習、リア・ペ	予習：p.8 学課テーマを読む 復習：L2 の既習内容を整理
3	Lesson3 彼、彼女、それ、それら	講義、演習、リア・ペ	予習：p.11 学課テーマを読む 復習：L3 の既習内容を整理
4	Lesson4 形容詞の落とし穴	講義、演習、リア・ペ	予習：p.14 学課テーマを読む 復習：L4 の既習内容を整理
5	Lesson5 補充訳	講義、演習、リア・ペ	予習：p.17 学課テーマを読む 復習：L5 の既習内容を整理
6	Lesson6 原文通りに頭から	講義、演習、リア・ペ	予習：p.22 学課テーマを読む 復習：L6 の既習内容を整理
7	Lesson7 国語力	講義、演習、リア・ペ	予習：p.25 学課テーマを読む 復習：L7 の既習内容を整理
8	Lesson8 動詞のふくみ	講義、演習、リア・ペ	予習：p.28 学課テーマを読む 復習：L8 の既習内容を整理

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Lesson9 名詞の誤訳	講義、演習、リア・ペ	予習：p.31 学課テーマを読む 復習：L9 の既習内容を整理
10	Lesson10 助動詞	講義、演習、リア・ペ	予習：p.35 学課テーマを読む 復習：L10 の既習内容を整理
11	Lesson11 英語力	講義、演習、リア・ペ	予習：p.38 学課テーマを読む 復習：L11 の既習内容を整理
12	Lesson12 態の転換	講義、演習、リア・ペ	予習：p.41 学課テーマを読む 復習：L12 の既習内容を整理
13	Lesson13 品詞転換	講義、演習、リア・ペ	予習：p.43 学課テーマを読む 復習：L13 の既習内容を整理
14	Lesson14 訳語作成	講義、演習、リア・ペ	予習：p.46 学課テーマを読む 復習：L14 の既習内容を整理
15	Lesson15 全課のおさらい　　小課題提示	講義、演習、リア・ペ	予習：全学課テーマを読む 復習：L15 の既習内容を整理
16	翻訳チャレンジ：文学作品①文法的正確性	講義、演習、リア・ペ	予習：指定資料を読む 復習：既習文法項目を確認
17	翻訳チャレンジ：文学作品②自然な日本語	講義、演習、リア・ペ	予習：指定資料を読む 復習：本時既習内容を整理
18	翻訳チャレンジ：文学作品③台詞の表現	講義、演習、リア・ペ	予習：指定資料を読む 復習：本時既習内容を整理
19	翻訳チャレンジ：絵本①文法的正確性	講義、演習、リア・ペ	予習：指定資料を読む 復習：既習文法項目を確認
20	翻訳チャレンジ：絵本②自然な日本語	講義、演習、リア・ペ	予習：指定資料を読む 復習：本時既習内容を整理
21	翻訳チャレンジ：絵本③台詞の表現	講義、演習、リア・ペ	予習：指定資料を読む 復習：本時既習内容を整理
22	翻訳チャレンジ：歌詞①文法的正確性	講義、演習、リア・ペ	予習：指定資料を読む 復習：既習文法項目を確認
23	翻訳チャレンジ：歌詞②自然な日本語	講義、演習、リア・ペ	予習：指定資料を読む 復習：本時既習内容を整理
24	翻訳チャレンジ：歌詞③台詞の表現	講義、演習、リア・ペ	予習：指定資料を読む 復習：本時既習内容を整理
25	翻訳チャレンジ：映画①文法的正確性 期末課題提示	講義、演習、リア・ペ	予習：指定資料を読む 復習：既習文法項目を確認
26	翻訳チャレンジ：映画②自然な日本語	講義、演習、リア・ペ	予習：指定資料を読む 復習：本時既習内容を整理
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	翻訳チャレンジ：映画③字幕の字数制限	講義、演習、リア・ペ	予習：指定資料を読む 復習：本時既習内容を整理
28	超訳について まとめ	講義、演習、リア・ペ	予習：指定資料を読む 復習：全既習内容を整理

テキスト	Mitsushige Kaneko, Richard H. Simpson『英文翻訳上達の秘訣 The Art of Translation』（南雲堂）
参 考 書	中原道喜『誤訳の構造」（聖文新社）
その他 特記事項	指定があった場合は、資料等を各自でダウンロード&印刷し、授業に持参すること。

科目名	ENG186: 準上級英語アカデミックスキルズ（諸学問領域A）					担当教員	B. Irwin
開講期	春	開講時限	火金４限			研究室	4216
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	Academic English, content-based learning, social sciences, linguistics
授業の概要	The objective of this course is for students to take a multi-disciplinary approach to learning skills necessary to succeed in academic English learning environments. While the activities in this course will take a four skills approach to learning English (reading, writing, listening, and speaking), an emphasis will be placed on discussion skills. These skills include active listening, asking questions, clarifying and summarizing, sharing ideas, and note-taking. Students will be given several opportunities to present their ideas and opinions in groups and individually.
達成目標（授業の目的）	This course aims to broaden students' thinking and understanding of various contemporary academic topics in English. Students will learn to become active listeners in English lectures and to share their ideas and opinions with their classmates. Students will also learn to organize presentations, to create visual aids, and to present their ideas effectively.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, each student should be able to participate effectively in academic lectures in English by taking notes, listening actively, and asking questions for clarification. Students should be able to understand a wide range of academic topics in English in order to communicate their ideas and opinions. Students will also be able to construct a well-organized and thoughtful 10-minute presentation in English that includes appropriate and engaging visual aids.
評価方法	Participation and performance, including 2 group presentations (25%); Homework assignments (20%); Tests (30%); Individual presentations (25%)
評価基準	Participation and performance: students are expected to be actively involved in each lesson, making an effort to use English; group presentations based on content, organization, and language accuracy; Homework assignments: regular homework must be submitted in a timely manner; Tests: grammar, vocabulary, and comprehension of each unit tested; Individual presentations evaluated on length, content, organization, and language accuracy.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction: syllabus, learning materials, class policies, and expectations	Self-introductions and pair work	Read syllabus, review schedule & textbook
2	Unit 1 (psychology): vocabulary; note-taking, lecture topics	Pair-work, short lecture, discussion	Textbook pp. 2-6: preview vocabulary
3	Unit 1 (psychology): pronunciation practice; agreeing / disagreeing	Speaking practice, writing, conversation	Textbook pp. 7-11: review homework
4	Unit 2 (linguistics): vocabulary; note-taking, signal questions	Pair-work, short lecture, discussion	Textbook pp. 12-16: preview vocabulary
5	Unit 2 (linguistics): intonation practice; asking for opinions or ideas	Speaking practice, writing, conversation	Textbook pp. 17-21: review homework
6	Test #1 (Units 1 & 2); Explanation of Group Presentation #1	Test; pair / group work, test feedback	Study for test

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Return test and go over results; Unit 3 (public health): vocabulary; note-taking, signal phrases	Pair-work, short lecture, discussion	Textbook pp. 22-25: preview vocabulary
8	Unit 3 (public health): connecting ideas; paraphrasing	Speaking practice, writing, conversation	Textbook pp. 26-31: review homework
9	Unit 5 (art history): vocabulary; note-taking, definitions	Pair-work, short lecture, discussion	Textbook pp. 42-46: preview vocabulary
10	Unit 5 (art history): thought groups; disagreeing	Speaking practice, writing, conversation	Textbook pp. 47-51: review homework
11	Group presentation #1 (health advice / favorite work of art); Peer feedback	Group presentations, peer eval. & feedback	Prepare presentation
12	Unit 6 (engineering): vocabulary; note-taking, examples and restatements	Pair-work, short lecture, discussion	Textbook pp. 52-56: preview vocabulary
13	Unit 6 (engineering): contractions; reaching consensus	Speaking practice, writing, conversation	Textbook pp. 57-61: review homework
14	Unit 7 (media studies): vocabulary; note-taking, evidence and support	Pair-work, short lecture, discussion	Textbook pp. 62-66: preview vocabulary
15	Unit 7 (media studies): slash reading; asking for clarification	Speaking practice, writing, conversation	Textbook pp. 67-71: review homework
16	Test #2 (Units 6 & 7) Explanation of Group Presentation #2	Test; pair / group work, test feedback	Study for test
17	Return test and go over results; Unit 8 (biology): vocabulary; note-taking, key terms	Pair-work, short lecture, discussion	Textbook pp. 72-76: preview vocabulary
18	Unit 8 (biology): linking unstressed words; changing the topic	Speaking practice, writing, conversation	Textbook pp. 77-81: review homework
19	Unit 9 (business): vocabulary; note-taking, describing a process	Pair-work, short lecture, discussion	Textbook pp. 82-86: preview vocabulary
20	Unit 9 (business): intonation for finished / unfinished thoughts; interrupting politely	Speaking practice, writing, conversation	Textbook pp. 87-91: review homework
21	Group presentation #2 (design thinking / comparing food); Peer feedback	Group presentations, peer eval. & feedback	Prepare presentation
22	Unit 11 (philosophy): vocabulary; note-taking, real-world examples	Pair-work, short lecture, discussion	Textbook pp. 102-106: preview vocabulary
23	Unit 11 (philosophy): pauses that separate ideas; offering facts or examples	Speaking practice, writing, conversation	Textbook pp. 107-111: review homework
24	Unit 12 (information technology): vocabulary; note-taking, personal stories	Pair-work, short lecture, discussion	Textbook pp. 112-116: preview vocabulary
25	Unit 12 (information technology): repetition; keeping a discussion going	Speaking practice, writing, conversation	Textbook pp. 117-121: review homework
26	Test #3 (Units 11 & 12); Return test and go over results; Explanation of Individual Presentations	Test; pair / group work, test feedback	Study for test
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Individual Presentations (Topics chosen from Units 1, 2, 6, 7, 11, or 12)	Individual presentations, peer eval. & feedback	Prepare presentation
28	Individual Presentations (Topics chosen from Units 1, 2, 6, 7, 11, or 12)	Individual presentations, peer eval. & feedback	Prepare presentation

テキスト	Helen Solorzano and Laurie Frazier. *Contemporary Topics 1: 21st Century Skills for Academic Success* (Pearson).

科目名	ENG187: 準上級英語アカデミックスキルズ（諸学問領域B）					担当教員	C. Oliver
開講期	秋	開講時限	火金４限			研究室	4205
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	academic English, academic fields, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	This course aims to help students develop skills needed to understand, write, and speak effectively about academic topics in English. Each textbook unit is about a different academic field, such as sociology, linguistics, psychology, etc. Lessons will be based on the main video / audio passage (about 7 minutes) of each textbook unit. During the semester, each student will do three short presentations and a longer final presentation.
達成目標（授業の目的）	Through this course, students will be able to build up their academic English vocabulary, improve their ability to listen to and understand passages on topics related to various academic fields, and develop their skills in writing, discussion, and presentation in relation to such topics.
到達目標（学修成果）	By the end of the semester, students should be able to do the following: ・Vocabulary: understand and use key English vocabulary provided by the textbook; ・Reading: grasp main ideas and details in moderately difficult passages using academic vocabulary; ・Writing: summarize passage content and express one's own views on the topics covered; ・Discussion: engage in discussion of topics covered in the textbook, using key vocabulary; ・Presentation: present both general ideas and specific information / details / examples on a topic related to an academic field in an organized, easy-to-understand way.
評価方法	Participation and performance, including 3 short presentations (35%); Homework (35%); Tests (20%); Final Presentation (10%).
評価基準	Participation and performance: active everyday involvement, effort to use English, engagement in discussions, use of key vocabulary studied; content, organization and understandability of short presentations. Homework: submitted on time and according to instructions, understanding / use of key vocabulary, summarizing of passage content, expression of own views. Tests: understanding / use of key vocabulary, grasp of main ideas / details in passages. Final Presentation: topic related to an academic field, use of general ideas and specific information / details / examples, organization, easy to understand, length.
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course; explanation of Short Presentation #1	explanation by instructor, pair-work	Review syllabus carefully
2	Unit 1 (sociology): vocabulary, listening	pair / small-group work, listening, discussion	Study Unit 1 vocabulary in advance
3	Unit 1 (sociology): comprehension, practice, discussion	pair / small-group work, listening, discussion	Listen to & read Unit 1 passage thoroughly
4	Recap of Unit 1; Unit 2 (linguistics): vocabulary, listening	pair / small-group work, listening, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 2 vocabulary in advance
5	Unit 2 (linguistics): comprehension, practice, discussion	pair / small-group work, listening, discussion	Listen to & read Unit 2 passage thoroughly

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Recap of Unit 2; Unit 3 (psychology): vocabulary, listening	pair / small-group work, listening, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 3 vocabulary in advance
7	Short Presentations #1 (about a scholar); explanation of Short Presentation #2	presentations	Prepare presentation
8	Unit 3 (psychology): comprehension, practice, discussion	pair / small-group work, listening, discussion	Listen to & read Unit 3 passage thoroughly
9	Recap of Unit 3; Unit 4 (business): vocabulary, listening	pair / small-group work, listening, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 4 vocabulary in advance
10	Unit 4 (business): comprehension, practice, discussion	pair / small-group work, listening, discussion	Listen to & read Unit 4 passage thoroughly
11	Recap of Unit 4; Unit 5 (education): vocabulary, listening	pair / small-group work, listening, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 5 vocabulary in advance
12	Unit 5 (education): comprehension, practice, discussion	pair / small-group work, listening, discussion	Listen to & read Unit 5 passage thoroughly
13	Short Presentations #2 (about a mini survey project)	presentations	Prepare presentation
14	Test #1 (Units 1, 2, 3, 4, 5); explanation of Short Presentation #3	test, explanation by instructor	Study for test
15	Recap of Unit 5; Unit 6 (history): vocabulary, listening	pair / small-group work, listening, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 6 vocabulary in advance
16	Unit 6 (history): comprehension, practice, discussion; return Test #1 and go over results	pair / small-group work, listening, discussion	Listen to & read Unit 6 passage thoroughly
17	Recap of Unit 6; Unit 7 (social psychology): vocabulary, listening	pair / small-group work, listening, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 7 vocabulary in advance
18	Unit 7 (social psychology): comprehension, practice, discussion	pair / small-group work, listening, discussion	Listen to & read Unit 7 passage thoroughly
19	Recap of Unit 7; Unit 8 (architecture): vocabulary, listening	pair / small-group work, listening, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 8 vocabulary in advance
20	Unit 8 (architecture): comprehension, practice, discussion; explanation of Final Presentation	pair / small-group work, listening, discussion	Listen to & read Unit 8 passage thoroughly
21	Short Presentations #3 (about a mini interview project)	presentations	Prepare presentation
22	Recap of Unit 8; Unit 9 (public health): vocabulary, listening	pair / small-group work, listening, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 9 vocabulary in advance
23	Unit 9 (public health): comprehension, practice, discussion	pair / small-group work, listening, discussion	Listen to & read Unit 9 passage thoroughly
24	Recap of Unit 9; Unit 10 (urban planning): vocabulary, listening	pair / small-group work, listening, discussion	Prepare Recap homework; study Unit 10 vocabulary in advance
25	Test #2 (Units 6, 7, 8, 9, 10); Unit 10: comprehension, practice, discussion; Final Pres. prep.	test, pair / small-group work, listening, discuss.	Study for test; listen to & read Unit 10 passage thoroughly
26	Unit 10 (finish, as needed); return Test #2 & go over results; recap of Unit 10; Final Pres. prep.	individual guidance from instructor; pair work	Prepare Recap homework; begin working on Final Presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final Presentations	presentations	Prepare presentation
28	Final Presentations	presentations	Prepare presentation

テキスト	Ellen Kisslinger. *Contemporary Topics 2: 21st Century Skills for Academic Success* (Pearson).

科目名	ENG225:　上級英語スキルズ（編入対策）					担当教員	平野　幸治
開講期	春	開講時限	火金４限			研究室	4210
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	holistic view, analytic attitude, schema for comprehension and expression, critical thinking
授業の概要	編入試験に使われた過去問を用いて授業を進める。毎授業に約 500 単語くらいの reading passage を読み、設問に対し日本語による論述と約 150 単語くらいで英語の文章を書く。一つのトピックを 5 回位の授業単位で扱う。授業の終わりに学生と対話し、critical thinking を用いて適切な発問能力と回答する事例を示し考える。schema を付した解題を配布する。
達成目標（授業の目的）	編入の過去問を使うので大学入試と編入学試験の相違や編入学試験が求める学力と表現力の水準を理解することが出来る。TOEFL の設問に慣れることで各々英語外部試験によって試験の趣旨や目的が異なることが理解できる。自己の目標を適切に具体的に設定する習慣と、過去問のトピックの文献を探し読み解く力を身に付け、志望する学科を自ら判断できる。
到達目標（学修成果）	学期末には学生は、大学の編入試験に必要とされる英語力と知識の水準を把握することができる。①指定の時間内に 140 単語から 175 単語くらいの英語の文章が書けるようになる。②指定の時間内に約 500 単語の reading passage を読み、設問に解答できるようになる。TOEFL の設問に慣れ、求められる vocabulary が身に付くようになる。③短時間に英語で意見をまとめ記述する習慣と力が身に付くようになる。
評価方法	①英語の writing（30%: 10%×3 回）。②授業内に行われる試験 2 回（20%: 10%×2 回）。③定期試験（22%）。④毎回の授業の終了時に回収する form に授業に関する質問や意見および計画を適切な英語で記述（28%: 1%×28 回）。
評価基準	評価基準は授業の初回に詳しく説明しますが、基本的には以下のようです。 ①英語の writing は、準備学習の成果を踏まえ、冗長でない英語で、パラグラフで構成された英文になっているか。 ②授業内に行われる試験は、授業で獲得した知識を活用して展開しているか。 ③定期試験は、きちんとした日本語で論述、また的確な英文で構成されているか。 ④上記に記述。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	イントロダクション：論述・記述問題に対応する schema、総合的視点と分析的態度	講義と配布物の説明および CD の聴取	can-do リスト作成
2	TOEFL TEST iBT リーディング（1）：English 101&102	講義と配布物の説明	テキスト Section 1・2 を解答しておく
3	TOEFL TEST iBT リーディング（2）：Color & Bats	講義と配布物の説明	テキスト Section 3・4 を解答しておく
4	TOEFL TEST iBT リーディング（3）：Painting & Energy and Energy Sources	講義と配布物の説明	テキスト Section 5・6 を解答しておく
5	TOEFL TEST iBT リーディング（4）：The Elements of Fiction and Drama & The Hoax	講義と配布物の説明	テキスト Section 7・8 を解答しておく
6	TOEFL TEST iBT リーディング（5）：Philosophy & Mysterious Forces	講義と配布物の説明	テキスト Section 9・10 を解答しておく
7	TOEFL TEST iBT リーディング（6）：Lie and Lie Detection & Sociology and Religion	講義・配布物の説明	テキスト Section 11・12 を解答しておく

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	TOEFL TEST iBT リーディング（7）： PTSD & Zoos: For and Against	講義と配布物の説明	テキスト Section 13・14 を解答しておく
9	TOEFL TEST iBT リーディング（8）： John Dewey's Laboratory School	講義と配布物の説明	テキスト Section 15・16 を解答しておく
10	TOEFL TEST iBT リーディング（9）：	講義と配布物の説明	テキスト Section 17・18 を解答しておく
11	TOEFL TEST iBT リーディング（10）:まとめ	②-1 授業内試験と講評・配布物の説明	テキスト Section 19・20 を解答しておく
12	経済学・経営学・国際関係論・法学を読む・書く（1）：グローバル系の学部の過去問	返却と講評・講義	Write summary & opinion.Read *Economics* (Oxford UP) p.16.
13	経営学の topics を読む・書く（2）： ガバナンス系の学部の過去問	講義・配布物の説明	Read *Management* (Oxford UP) pp.107-115.
14	国際関係論の topics を読む・書く（3）： グローバル・ガバナンス系の過去問	講義と配布物の説明	Read *International Relations* (Oxford UP) pp.56-59.
15	国際関係論の topics を読む・書く（4）： グローバル・文化学系の過去問	①-1 英語の writing 講義と配布物の説明	Read *International Relations* (Oxford UP) pp.120-23.
16	法学の topics を読む・書く（5）： グローバル・文化学系の過去問	返却と講義と配布物の説明	Write summary & opinion (100 wds). Read *Politics* (Oxford UP) p.52.
17	法哲学の topics を読む・書く（6）： 法学部系の過去問	講義・配布物の説明	Read *Political Philosophy*. (Oxford UP) pp.38-40.
18	社会学の topics を読む・書く（1）： The Status of Sociology	②-2 授業内試験と講評・配布物の説明	Read *Sociology* (Oxford UP) pp.3-10.
19	社会学の topics を読む・書く（2）： Social Constructions	返却と講評・講義	Read *Sociology* (Oxford UP) pp.18-22.
20	社会学の topics を読む・書く（3）： The Modern World	講義と配布物の説明	Read *Sociology* (Oxford UP) pp.60-63.
21	社会学の topics を読む・書く（4）： The Impostors	①-2 英語の writing と講評・配布物の説明	Read *Sociology* (Oxford UP) pp.48-50.
22	教育学と心理学の topics を読む・書く（1）： Big Ideas from the 20th Century	返却と講評・講義	Read *Education* (Oxford UP) pp.45-47.
23	教育学の topics を読む・書く（2）： The Curriculum	講義と配布物の説明	Read *Education* (Oxford UP) pp.88-92.
24	心理学の topics を読む・書く（3）： Learning & Memory	①-3 英語の writing と講義・配布物の説明	Read *Psychology* (Oxford UP) pp.28-30.
25	心理学の topics を読む・書く（4）： Developmental Psychology	返却と講評・講義	Read *Psychology* (Oxford UP) pp.70-75.
26	人文学、哲学の topics を読む・書く（1）： Plato's *Crito*	講義と配布物の説明	Read *Philosophy* (Oxford UP) p.12.
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	人文学、文学の topics を読む・書く（2）： Poetics	返却と講評・講義	Read *Shakespeare* (Oxford UP) pp.24-27.
28	人文学、歴史学の topics を読む・書く（3）： The Telling of Truth	講義と配布物の説明	Read *History* (Oxford UP) pp.112-116.

テキスト	Jim Knudsen, 生井健一編『TOEFL TEST iBT リーディング　実践編』（南雲堂書店）およびプリント配布
参 考 書	江川泰一郎『英文法解説』（金子書房） 毎授業の準備学修で指摘している文献
その他 特記事項	実際の編入試験の過去問を用いるため、一年生には授業内容は大変難しい。予習が十分できる学生が前提。試験は暗記型と立論・論述型である。学生のニーズに合う授業を展開する。

科目名	ENG226: 上級英語スキルズ（TOEIC スピーキング・ライティング対策）					担当教員	A. Garin
開講期	秋	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②, 3-③

キーワード	TOEIC, speaking, writing, assessment, test-taking skills, lexical and grammatical knowledge
授業の概要	This course will develop students' test-taking skills and strategies, as well as their grammatical and lexical knowledge to help achieve their goal scores on the TOEIC Speaking and Writing test. It will first familiarize the students with the test format. Then their strengths and weaknesses will be assessed on a pre-test. After that they will thoroughly practice all question types in both Speaking and Writing sections, regularly review the course content, and engage in self-study outside the class.
達成目標（授業の目的）	1) Students will become familiar with the format, content, instructions and procedures for the test. 2) Students will understand what abilities are needed for each proficiency level of the test. 3) Students will evaluate their own strengths and weaknesses on the test. 4) Students will build-up lexical and grammatical knowledge relevant to the test. 5) Students will practice / review test-taking skills and approach test tasks efficiently and effectively.
到達目標（学修成果）	1) Demonstrate an understanding of the format, content, instructions and procedures of the test. 2) Demonstrate an understanding of words, phrases, fixed expressions, grammatical structures, and organizational patterns needed to achieve one's target proficiency level. 3) Utilize test-taking skills and strategies efficiently and effectively to improve one's score on Speaking and Writing sections. 4) Show consistency and diligence in completing classroom tasks and homework assignments.
評価方法	Participation in class 30%; Quizzes and homework 30% (Two lexis and grammar quizzes, practice mini-tests); Assessment 25% (Writing test 10%; Speaking test 15%); Independent learning 15% (Lexical notebooks).
評価基準	*Participation*: active engagement in individual, pair, and small group activities. *Homework and quizzes*: submit fully completed homework on time, accurate comprehension and use of a range of words and phrases; accurate comprehension and use of a range of grammatical structures. *Assessment*: scores on writing and speaking tests (be able to read and understand question instructions, relevance and completeness of content). *Independent learning*: continually update and review lexical notebooks.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions, class guidelines, lexical notebooks, online collocation dictionaries	Lecture, individual, pair, group tasks	Read pp. 2-13 for Speaking, 135-137 for Writing
2	Go over writing section assessment and practice sample writing questions	Lecture, individual, pair, group tasks	Read about Writing Scores on pp. 158-161
3	Unit 13 Write a sentence based on the picture	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
4	Review Unit 13 Unit 14 Write a sentence based on the picture	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
5	Review Unit 14 Unit 15 Respond to a written request	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, write a written request

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Review Unit 15 Unit 16 Write an opinion essay	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, write a practice opinion essay
7	Grammar and lexis Quiz 1, written request f / b Unit 17 Write a sentence based on the picture	Write quiz, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
8	Return Quiz 1 and go over results Unit 18 Write a sentence based on the picture	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
9	Review Unit 18 Unit 19 Respond to a written request	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, write a written request
10	Review unit 19 Unit 20 Write an opinion essay	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, write a practice opinion essay
11	Written request feedback, peer review opinion essays, review skills and strategies units 13-20	Lecture, individual, pair, small group tasks	Review lexical notebooks, grammar, review for writing test
12	Writing test units 13-20, review writing tasks	Writing test, pair and group tasks	Review lexical notebooks and grammar
13	Go over speaking section assessment and practice sample speaking questions	Lecture, individual, pair, small group tasks	Speaking scores pp. 35-38, Pre-read Unit 1
14	Return Writing test and go over results Unit 1 Read a text aloud	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
15	Review unit 1 Unit 2 Describe a picture	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
16	Review Unit 2 Unit 3 Respond to questions	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
17	Review unit 3; Unit 4 Respond to questions using information provided	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
18	Review activities unit 1-4	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
19	Unit 6 Express an opinion	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
20	Grammar and lexis Quiz 2 Unit 7 Read a text aloud	Write quiz, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
21	Return Quiz 2 and go over results, Review unit 7, Unit 8 Describe a picture	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
22	Review Unit 8 Unit 9 Respond to questions	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
23	Review unit 9; Unit 10 Respond to questions using information provided	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
24	Review activities unit 5-10	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
25	Unit 12 Express an opinion	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, practice mini-test
26	Review Unit 12 Review skills and strategies units 1-12	Lecture, individual, pair, group tasks	Review for speaking test
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Speaking test units 1-12, review speaking tasks	Take test, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks, review speaking tasks
28	Go over the results of Speaking test	Lecture, individual, pair, group tasks	Continue lexical notebooks

テキスト	Grant Trew. *Tactics for TOEIC Speaking and Writing Tests* (Oxford).

科目名	ENG229:　上級英語スキルズ（SDGs）					担当教員	A. Garin
開講期	春	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	Sustainable Development Goals, speaking, reading, writing, critical thinking, theme-based learning
授業の概要	In this course students will explore a range of issues relevant to Sustainable Development Goals (SDGs). They will also improve their academic speaking, reading, writing, and critical thinking skills necessary for study at university level in English.
達成目標（授業の目的）	1) Students will gain a better understanding of a range of issues relevant to SDGs and improve their ability to express their views on these both verbally and in writing. 2) Students will improve their group discussion, reading and academic essay writing skills. 3) Students will improve their critical thinking skills by responding to a range of texts. 4) Students will be better able to express themselves in English by acquiring a wide range of topical expressions and phrases.
到達目標（学修成果）	Students should be able to use a range of phrases and expressions to effectively express their opinions on SDG-related issues; be able to better write a problem / solution essay through exposure to model essays, writing practice and corrective feedback; become better critical thinkers by reading about SDG issues, analyzing them, and expressing their opinions with the support of reasons and examples; be able to independently organize and regularly update their lexical notebooks.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (25%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class quizzes and extended essay (30%); Independent learning (15%).
評価基準	*Participation and performance*: active involvement in individual, pair, and small group tasks; *Homework*: assignments must be complete and submitted on time; *Testing and assessment*: two in-class lexical quizzes and one take-home extended essay assignment (content and argument, organization and cohesion, lexical and grammatical range and accuracy, register); *Independent learning*: lexical notebooks (consistently update with new phrases and expressions and organize the content via chosen format); Research task reading articles chosen, researched and summarized independently, diligently and on time, presented and shared in class (must show evidence of synthesis, inference and reflection of the main and supporting ideas from the articles when sharing them in class).
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions, class guidelines, lexical notebooks	Lecture, individual, pair, group tasks	Start lexical notebook, online collocation dictionaries
2	Unit 1 Sustainable Development Goals	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks
3	Unit 2 Woman-Friendly Society	Lecture, individual, pair, group tasks	Research task, lexical notebooks
4	Summarize articles, Unit 3 Population Growth	Lecture, individual, pair, group tasks	Research task, lexical notebooks
5	Group presentation preparation	Lecture, individual, pair, group tasks	Prepare a group presentation

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Group presentations, presentation self-assessment and feedback	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks
7	Unit 4 Technology and Water Crisis	Lecture, individual, pair, group tasks	Research task, lexical notebooks
8	Summarize articles, Unit 5 Quality Education, Lexical Quiz 1	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks
9	Return Quiz 1 and go over the results, Unit 6 Sustainable cities	Lecture, individual, pair, group tasks	Research task, lexical notebooks
10	Summarize articles, Unit 7 Black Companies	Lecture, individual, pair, group tasks	Research task, lexical notebooks
11	Summarize articles, Extended essay guidelines, Academic language for writing	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks
12	Unit 8 Child Labor	Lecture, individual, pair, group tasks	Research task, lexical notebooks
13	Essay main body paragraph, Extended essay questions	Lecture, individual, pair, group tasks	Write an essay main body paragraph
14	Unit 9 Food Waste	Lecture, individual, pair, group tasks	Research task, lexical notebooks
15	Summarize articles, Essay introductions	Lecture, individual, pair, group tasks	Write an essay introduction
16	Unit 10 World without Plastic	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks
17	Lexical Quiz 2, Essay conclusions	Lecture, individual, pair, group tasks	Write an essay conclusion
18	Return Quiz 2 and go over the results, Unit 11 Diversity in Society	Lecture, individual, pair, group tasks	Research task, lexical notebooks
19	Summarize articles, Plagiarism	Lecture, individual, pair, group tasks	Lexical notebooks
20	Unit 12 Clean and Affordable Energy	Lecture, individual, pair, group tasks	Research task, lexical notebooks
21	Summarize articles, Citations and referencing, begin extended essay draft 1	Lecture, individual, pair, group tasks	Extended essay draft 1, lexical notebooks
22	Extended essay draft 1 class time	Lecture, individual, pair, group tasks	Extended essay draft 1
23	Unit 13 Fashion Industry, extended essay class time	Lecture, individual, pair, group tasks	Extended essay draft 1, lexical notebooks
24	Unit 14 Endangered Species, extended essay class time	Lecture, individual, pair, group tasks	Submit extended essay draft 1, lexical notebooks
25	Unit 15 Tourism and Cultural / Historical Barriers	Lecture, individual, pair, group tasks	Research task, lexical notebooks
26	Summarize articles, Extended essay draft 2 class time	Lecture, individual, pair, group tasks	Extended essay draft 2
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Supplementary / review speaking and writing activities	Lecture, individual, pair, group tasks	Submit essay draft 2
28	Extended essay feedback, course closure activities	Lecture, individual, pair, group tasks	Submit lexical notebooks

テキスト	Reiko Yoshihara, Chiyo Hayashi, Emi Itoi, Noriko Iwamoto, Audrey Morrell. *SDGs x Discussion* (Kinseido).

科目名	SCH100:　人間学Ⅰ			担当教員	丹木 博一，小林 宏子， 島村 絵里子
開講期	春	分類	必修		
単位	2	標準受講年次	1 年		

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	1, 2	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	1-①, 2-①

担当教員の連絡情報	担当教員	研究室	オフィスアワー
	丹木　博一	4214	履修要覧 P.19 を参照のこと
	小林　宏子	4204	履修要覧 P.19 を参照のこと
	島村　絵里子	4 号館 2 階　講師控室	授業前後

キーワード	人間の尊厳、かかわり、コミュニケーション、生きる意味
授業の概要	建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムに基づき、「人間とは何か」という問いについて、「かかわり」という視点から学際的な考察を行う。テキスト講読を通して、「他者のために、他者とともに」生きることを模索し、各人固有の存在意義を実現するための道しるべを探求する。
達成目標（授業の目的）	「人間とは何か」という問いと向き合い、自分自身、家族、他者、社会、自然、神との「かかわり」について真剣に考察することによって、「人格的主体」として生きる人間の「尊厳」の意味を理解できるようになる。
到達目標（学修成果）	①人間学のキーワードの意味内容を正確に理解し、それらの語句を適切に用いることができる。 ②人間の間に生まれ、人間によって育まれ、人間とのかかわりを求めながら生きる自己のあり方を振り返り、「他者と共に生きること」を自分自身の課題として受けとめ、その理解内容を表現できる。 ③社会や自然、そして神とのかかわりの諸相に関心を寄せ、人間が「よく生きるために必要なこと」は何であるかを問い、それを自分自身の課題として表現できる。 ④生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、「人はなぜ生きるのか」という問いについて自分の考えを表現できる。
評価方法	①毎回の事前課題の提出（20%），②授業毎のリアクションペーパー（28%），③理事長による講演へのリアクションペーパー（2%），④中間課題（1,000～1,200 字の小レポート）（20%），⑤期末課題（1,800～2,000 字の小論文）（30%）
評価基準	①毎回の事前課題の提出：課題となる準備学修を行い、成果物を毎回提出する。以下の「準備学修」欄に記載の「要約」の課題を授業前日までに Moodle にて提出。（2%×10 回） ②リアクションペーパー：授業内容を踏まえ、自分の意見や疑問を分かりやすく記述できること。（2%×14 回） ③理事長による講演へのリアクションペーパー：講演を聞き、重要なポイントを指摘して、その意味を説明できること。（2%） ④中間課題：1,000～1,200 字のレポート。「他者との共生」について人間学の基本用語を理解した上で、自分の言葉で問題を提起し、その問いについて考察した内容を分かりやすく表現できること。執筆に際し、配布資料に記した指示に従うこと。（20%） ⑤期末課題：1,800～2,000 字の小論文。人間に「生老病死」の苦しみがあることを踏まえ、「希望の在り処」について、事前に最低一冊の「参考文献」（書誌データを明記）を読み、内容のポイントを簡潔に要約した上で、自分の考えを分かりやすく展開できること。執筆に際し、配布資料に記した指示に従うこと。（30%）
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	**人間学Ⅰの概要・目的・進め方・評価方法** キリスト教的人間観の特徴・「愛」	講義・グループ分け リアクションペーパー	事前に教科書 pp.1～27 を通読しておく。
2	**テーマ１　いのちを支えるものとのかかわり** ① 私たちのいのちは何によって支えられているか？	講義・ 視聴覚教材 グループディスカッション リアクションペーパー	教科書 pp.29～44 を通読し、「人間のいのちを尊重すべき理由」に関する筆者の意見を 400 字程度で要約する。
3	**テーマ１　いのちを支えるものとのかかわり** ② 生きるために必要なことを満たすために私たちは何をなすべきか？	講義 ・視聴覚教材 グループディスカッション リアクションペーパー	教科書 pp.45～50 を通読し、「マズローの 5 段階ニード論」を 400 字程度で要約する。
4	**テーマ２　成長発達を促すものとのかかわり** ① 成長の過程にはどのようなかかわりがあるだろうか？	講義・視聴覚教材 グループディスカッション リアクションペーパー	教科書 pp.51～66 を通読し、「大人になるための発達課題」に関する筆者の意見を 400 字程度で要約する。
5	**テーマ２　成長発達を促すものとのかかわり** ② かかわりをとおして自分はどのような成長を遂げたのだろうか？	講義 ・視聴覚教材 グループディスカッション リアクションペーパー	教科書 pp.67～71 を通読し、「アドラーの共同体感覚」の意義を 400 字程度で要約する。
6	**テーマ３　他者へのかかわりと自己理解の形成** ① 私たちのアイデンティティはどのように形成されるのだろうか？	講義・視聴覚教材 グループディスカッション リアクションペーパー	教科書 pp.73～84 を通読し、「ジェンダーアイデンティティ」に関する筆者の意見を 400 字程度で要約する。
7	**テーマ３　他者へのかかわりと自己理解の形成** ② 差別にどう向き合えばよいのだろうか？	講義・視聴覚教材 グループディスカッション リアクションペーパー	教科書 pp.85～96 を通読し、「差別撤廃に関する議論」を 400 字程度で要約する。
8	**テーマ４　他者へのかかわりにおける自由と責任** ① 自由にはどのような種類があるか？	講義・視聴覚教材 グループディスカッション リアクションペーパー	教科書 pp.97～113 を通読しておく。 中間課題（レポート）提出。
9	**テーマ４　他者へのかかわりにおける自由と責任** ② 自由と責任はいかなる関係にあるか？	講義・視聴覚教材 グループディスカッション リアクションペーパー	教科書 pp.102～104 に基づき、「ギヨメの自由」について 400 字程度で要約する。
10	**テーマ４　他者へのかかわりにおける自由と責任** ③ 人間は環境に対していかなる責任を持つのか？ 中間課題（レポート）に対する講評	講義・視聴覚教材 グループディスカッション リアクションペーパー	教科書 pp.114～117 を通読し、「環境に対する責任」について 400 字程度で要約する。
11	**テーマ５　人生の苦しみの意味と希望** ① 人間は、いかなる苦しみに対し、どのように向き合っているか？	講義・視聴覚教材 グループディスカッション リアクションペーパー	教科書 pp.119～131 を通読し、「死に対する態度」について 400 字程度で要約する。
12	**テーマ５　人生の苦しみの意味と希望** ② 人生に苦しみがあることは何を意味するのだろうか？	講義・視聴覚教材 グループディスカッション リアクションペーパー	教科書 pp.132～138 を通読し、「苦しみの経験の意味」を 400 字程度で要約する。
13	**テーマ５　人生の苦しみの意味と希望** ③ 希望を持って生きていく可能性はどこに求められるだろうか？	講義・視聴覚教材 グループディスカッション リアクションペーパー	期末課題（小論文）提出。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	**総まとめ** ※期末課題（小論文）に対するコメント	講義 グループディスカッション リアクションペーパー	教科書 pp.8-27 をもう一度ていねいに読んでおく。

テキスト	上智大学短期大学部編『かかわりの人間学』
参 考 書	ヴィクトール・フランクル（池田香代子訳）『夜と霧』（みすず書房） エーリッヒ・フロム（鈴木晶訳）『愛するということ』（紀伊國屋書店） キューブラー・ロス（鈴木晶訳）『死ぬ瞬間』（中公文庫）
その他 特記事項	14 回の授業に加え、上智学院理事長による講演が行われるので、必ず出席すること。

科目名	SCH101:　人間学Ⅱ					担当教員	小林　宏子
開講期	秋	開講時限	火４限			研究室	4204
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	1, 2	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	1-①, 2-①

キーワード	神の似姿としての人間、自己概念、優越感と劣等感、使命感、隣人愛、信頼、希望、愛
授業の概要	人間学Ⅰに引き続きかかわりの中で成長する人間の諸側面を、キリスト教人間観に照らして考察する。競争原理が強く働く社会において、「他者のために、他者とともに」というモットーの下で隣人愛の実践を目指す本学の建学精神の根本には、どのような生命観や人間観があるのか。自分とのかかわり、他者とのかかわり、人生とのかかわり、神とのかかわりについて教科書からの問いかけとディスカッション、及び、動画の視聴を通して考察する。
達成目標（授業の目的）	キリスト教を信仰する立場の人にとっての人生の意味や人間の価値に関する理解の仕方と、社会一般の考え方とを対照させながら、自分自身の生き方の方向性を定める上で必要となる価値観や選択基準に関する問いを見直し、人が生きる上で欠かせない信頼、希望、愛についての考察を深めることができる。
到達目標（学修成果）	①キリスト教信仰の基本にある生命観・人間観について理解したことを言葉で表現できる。 ②キリスト教信仰に照らした自分自身及び他者とのかかわり方、及び、社会が抱える課題を論理的な文章にまとめ、発表し、議論に参加することができる。 ③キリスト教信仰に基づく人生観を踏まえ、自分の人生に向き合う際の信念を論理的、かつ分かりやすく述べることができる。
評価方法	①事前課題（3%×11=33%）の提出 ②授業内での発表（6%×2=12%）、ディスカッションへの積極的参加（2%×14=28%） ③期末課題（20%）と発表（7%）
評価基準	①指定されたテキストの箇所を読み、事前課題を Moodle 上に提出する。 ②担当箇所についての発表を行い、毎回のディスカッションに積極的に参加する。 ③テキスト及び、参考書のいずれかを読み、「何を信じて生きるのか」という問いに対する自分なりの見解を、2,000 字以上 2,200 字以内の小論文にまとめ、発表する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	講義の概要　テキスト① 一．自分を信じる 1～4	講義、ディスカッション、発表	テキスト①pp.5-41 を読み、考察のまとめを提出する。
2	一．自分を信じる 5～6 二．人を信じる 1～3	講義、ディスカッション、発表	テキスト①pp.41-73 を読み、考察のまとめを提出する。
3	二．人を信じる 4～6 三．明日を信じる 1～2	講義、ディスカッション、発表	テキスト①pp.74-102 を読み、考察のまとめを提出する。
4	三．明日を信じる 3～6 四．信じる心を育てる 1	講義、ディスカッション、発表	テキスト①pp.103-134 を読み、考察のまとめを提出する。
5	四．信じる心を育てる 2～6	講義、ディスカッション、発表	テキスト①pp.134-169 を読み、考察のまとめを提出する。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	テキスト②プロローグ、第一部　見るとき（1）周辺に追いやられた人々の視点	講義、ディスカッション、発表	テキスト②pp.14-48 を読み、考察をまとめる。
7	第一部　見るとき（2）インテグラル・エコロジー	講義、ディスカッション、発表	テキスト②pp.48-68 を読み、考察をまとめる。
8	第二部　選ぶとき（1）二つの声の識別	講義、ディスカッション、発表	テキスト②pp.69-101 を読み、考察をまとめる。
9	第二部　選ぶとき（2）シノドス的アプローチ	講義、DVD 視聴、ディスカッション、発表	テキスト②pp.101-130 を読み、考察をまとめる。
10	第三部　行動するとき（1）民の尊厳	講義、DVD 視聴、ディスカッション、発表	テキスト②pp.131-160 を読み、考察をまとめる。
11	第三部　行動するとき（2）民の尊厳の回復	講義、DVD 視聴、ディスカッション、発表	テキスト②pp.160-182 を読み、考察をまとめる。
12	エピローグ	講義、DVD 視聴、ディスカッション、発表	テキスト②pp183-206 を読む。期末課題の提出準備
13	期末課題の発表（1）	発表、質疑応答、ディスカッション	期末課題発表の準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	期末課題の発表（2）、期末課題及び発表の講評、まとめ	発表、質疑応答、ディスカッション、講評	期末課題発表の準備

テキスト	①片柳弘史『何を信じて生きるのか』（PHP 研究所） ②教皇フランシスコ『コロナの世界を生きる』（PHP 研究所）
参 考 書	教皇フランシスコ『回勅　ラウダート・シ』（カトリック中央協議会） 教皇フランシスコ『使徒的勧告　愛のよろこび』（カトリック中央協議会）

科目名	HST201:　歴史学 A					担当教員	森下　園
開講期	秋	開講時限	木 3 限			研究室	4202
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	歴史学の歴史、近代歴史学の成立、歴史理論
授業の概要	学問としての「歴史学」が近代にどのように成立したのか、「歴史学」は西欧の哲学や思想とどのような関係にある学問なのかを学ぶ。歴史はどのように記録され活用されてきたのか、歴史を記述するとはどういうことかを考えていく。「世界史」の講義ではないので、注意すること。
達成目標（授業の目的）	①歴史学とはどのような学問でありどのように成立したのかを理解するために予習し、積極的に質問・発言できる。 ②歴史認識をめぐる議論や背景となる思想との関係について、講義の要点を自分なりの言葉で記述できる。 ③指定したテーマについてのレポートを適切な資料をつかってまとめることができる。
到達目標（学修成果）	①次回授業プリントや参考資料を読み、事典・参考書で調べ、不明な点の質問や意見表明を授業でできるようになる。 ②講義のポイントを自分の言葉でまとめ、説明できるようになる。 ③専門用語・学問的な概念・適切な資料を用いてレポートを書くことができるようになる。
評価方法	①授業内での質問・発言（初回・最終回を除く）：3%×12 回＝36% ②Moodle 提出の授業内容のまとめ（2～6 回から 2 回、8～12 回から 2 回、自分で選択）：10%×4 回＝40% ③Moodle 提出の期末レポート（約 2000 字）：24%
評価基準	①授業内での質問・発言：予習の上で質問をしているか、積極的に意見を述べているか ②授業内容のまとめ：授業内容を理解して要点を押さえているか ③期末レポート：提出期限と書式を守っているか、適切な資料を用いてまとめてあるか
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	歴史学の諸問題、研究倫理について、授業冒頭でのまとめ発表のわりあて	講義、質疑応答	Moodle 登録、 第 2 回授業プリントの予習
2	歴史学の歴史（1）前近代のヨーロッパの歴史記述	講義、質疑応答	第 2 回授業内容のまとめ 第 3 回授業プリントの予習
3	歴史学の歴史（2）中国と日本の史書	講義、質疑応答、授業内容のまとめの講評	第 3 回授業内容のまとめ 第 4 回授業プリントの予習
4	歴史学の歴史（3）ランケ史学	講義、質疑応答、授業内容のまとめの講評	第 4 回授業内容のまとめ 第 5 回授業プリントの予習
5	歴史学の歴史（4）アナール派	講義、質疑応答、授業内容のまとめの講評	第 5 回授業内容のまとめ 第 6 回授業プリントの予習
6	歴史学の歴史（5）歴史学の作法－史料と先行研究の用い方、レポートについて	講義、質疑応答、授業内容のまとめの講評	第 6 回授業内容のまとめ 第 7 回授業プリントの予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	研究紹介　網野善彦『異形の王権』ほか	講義、質疑応答、授業内容のまとめの講評	第 8 回授業プリントの予習
8	理論（1）構造主義とポスト構造主義－西欧は世界をどうとらえてきたか	講義、質疑応答	第 8 回授業内容のまとめ 第 9 回授業プリントの予習
9	理論（2）言語論的転回が歴史学につきつけたもの	講義、質疑応答、授業内容のまとめの講評	第 9 回授業内容のまとめ 第 10 回授業プリントの予習
10	理論（3）文学とポストコロニアリズム－記述する権力は誰にあるのか、	講義、質疑応答、授業内容のまとめの講評	第 10 回授業内容のまとめ 第 11 回授業プリントの予習
11	理論（4）歴史修正主義と社会構築主義－「私たちの歴史」はどうあるべきなのか	講義、質疑応答、授業内容のまとめの講評	第 11 回授業内容のまとめ 第 12 回授業プリントの予習
12	理論（5）ジェンダーと歴史学－歴史記述者のジェンダーギャップ	講義、質疑応答、授業内容のまとめの講評	第 12 回授業内容のまとめ 第 13 回授業プリントの予習
13	研究紹介　マルク・ブロック『王の奇跡』とナタリー・Z・デーヴィス『帰ってきたマルタン・ゲール』	講義、質疑応答、授業内容のまとめの講評	期末レポート（定期試験期間に提出）の準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	歴史学の諸問題のまとめ、レポートの講評	講義、質疑応答	これまでの復習

テキスト	なし。授業内容に関するプリントを Moodle の「2023　短大部　歴史学 A」にアップロードする。
参 考 書	リン・ハント『なぜ歴史を学ぶのか』（岩波書店）

科目名	HST202:　歴史学 B					担当教員	森下　園
開講期	秋	開講時限	火 5 限			研究室	4202
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	歴史学、史料論、メディアと歴史、国際歴史認識問題、歴史教育
授業の概要	学問としての「歴史学」が近代にどのように成立したのか、「歴史学」はどんな史料をどのように用いて研究されるのか、歴史認識をめぐりどんな問題がおきているのか、歴史教育はどうあるべきかなどについて学ぶ。特に近代国家のための「物語」として創出された「他者を排除する歴史」の問題について考えていく。「世界史」の講義ではないので、注意すること。
達成目標（授業の目的）	①歴史学とはどのような学問であるのかを理解するために予習し、積極的に質問・発言できる。 ②史料を読み込むために何が必要なのか理解し、史料の解読を試みることができる。 ③専門用語・学問的な概念を用いてポイントを自分なりの言葉で記述できる。
到達目標（学修成果）	①次回授業プリントや参考資料を読み、事典・参考書で調べ、授業で不明な点の質問や意見表明をできるようになる。 ②近世日本または近世英国の手書き史料（トランスクリプト付き）について、時代背景や史料の性質を調べ、自分なりの解釈をつけて発表できるようになる。 ③専門用語・学問的な概念を用いて、ポイントをレポートにまとめることができるようになる。
評価方法	①授業内での質問・発言（初回・最終回を除く）：4%×12 回＝48% ②史料についての発表（漢文・英語から選択して行う）：22% ③Moodle 提出の期末レポート（歴史とメディアまたは歴史教育について、約 2000 字）：30%
評価基準	①授業内での質問・発言：予習の上で質問をしているか、積極的に意見を述べているか ②史料についての発表：割り当てられた史料の性質や時代背景を調べ、何が書かれているのか説明したうえで、この史料から何がわかるかを説明できているか。史料と活字にされたトランスクリプトをもとに自分で調べる力をみるものである。 ③期末レポート：提出期限と書式を守っているか、理解した内容を自分の言葉できちんとまとめてあるか、必要に応じて参考資料を用いて調べてあるか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	歴史学とはどんな学問か、研究倫理について	講義、質疑応答	Moodle 登録 第 2 回授業プリントの予習
2	史料を読むために（1）古書体学 発表する史料の選択	講義、質疑応答	第 3 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
3	史料を読むために（2）古書冊学、文書形式学、史料を読む練習	講義、質疑応答	第 4 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
4	史料を読むために（3）暦について	講義、質疑応答	第 5 回授業プリントの予習 史料についての発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	史料を読むために（4）図像解釈学と絵画資料	講義、質疑応答	第 6 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
6	史料を読むために（5）オーラルヒストリー	講義、質疑応答	第 7 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
7	歴史とメディア（1）写本からマス・メディアの登場まで、史料についての発表	講義、質疑応答、発表と講評	第 8 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
8	歴史とメディア（2）現代メディアがもたらす問題点、史料についての発表	講義、質疑応答、発表と講評	第 9 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
9	歴史教育（1）国際歴史教科書問題　－ヨーロッパ、史料についての発表	講義、質疑応答、発表と講評	第 10 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
10	歴史教育（2）国際歴史教科書問題　－日本と韓国、史料についての発表	講義、質疑応答、発表と講評	第 11 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
11	歴史教育（3）英国の歴史教育 史料についての発表	講義、質疑応答、発表と講評	第 12 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
12	震災と歴史 史料についての発表	講義、質疑応答	第 13 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
13	史料紹介　『ジャンヌ・ダルク処刑裁判』『ジャンヌ・ダルク復権裁判』記録を読む	講義、質疑応答	期末レポート（定期試験期間に提出）準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	歴史学と史料および歴史教育問題のまとめ、期末レポートの講評	講義、質疑応答、期末レポートの講評	授業の振り返り、まとめ

テキスト	なし。授業内容に関するプリントを Moodle の「2023　短大部　歴史学 B」にアップロードする。
参 考 書	森安彦『古文書を読もう』（講談社） リン・ハント『なぜ歴史を学ぶのか』（岩波書店）

科目名	PHL203:　哲学 A					担当教員	丹木　博一
開講期	春 / 秋	開講時限	火 5 限			研究室	4214
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	1, 2	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	1-①, 2-①

キーワード	世界の始原、存在と生成、魂への配慮、イデアと世界、自然のロゴス、魂のはたらき
授業の概要	西洋古代哲学の基本的特徴について理解を深めるとともに、古典的テキストを一つ取り上げ、意見交換を行いながらていねい読み進めることで哲学的思考に慣れ親しむ。
達成目標（授業の目的）	西洋古代における哲学的思考の多様な展開を理解することによって、世界と自己に対する哲学的問いを自覚できるようになる。
到達目標（学修成果）	・西洋古代哲学の多様な思想について、その基本を理解し、表現できる。 ・プラトンのテキストに関心を持ち、テキストの意味を探求できる。 ・自ら哲学的問いを提起し、その問いについて論理的に考察を進めることができる。
評価方法	①事前課題　　（20%＝2%×10 回） ②授業毎のリアクションペーパー（14%＝1%×14 回） ③中間レポート（30%） ④期末レポート（36%）
評価基準	①事前課題：事前に指示した通り課題を行い提出できたかどうか。 ②リアクションペーパー：講義内容を正しく理解し、問題関心を明記できるかどうか。 ③中間レポート：1,200 字～1,400 字。アリストテレスの「自然観」について哲学的問いを提起し、その問いに対しアリストテレスがどのように考えているかを自分の言葉で論理的に論述展開できるかどうかを基準に評価する。 ④期末レポート：2,000 字～2,200 字。プラトン『プロタゴラス』について哲学的な問いを提起し、その問いについてプラトンがどう考えているかを自分の言葉で考察する。問いが哲学的であり、考察に説得力があるかどうかを基準として評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	世界の始原への問い タレスの「水」	講義・DVD 視聴・リアクションペーパー	教科書①pp.1-14 をていねいに読んでおく。
2	世界の現れに潜む謎 ヘラクレイトスの「火」	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.15-28 をていねいに読み、要約を提出。
3	自己を形成する知の意味 ソクラテスの「無知の知」	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.58-76 をていねいに読み、要約を提出。
4	存在と知の根拠への問い プラトンの「イデア」	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.77-96 をていねいに読み、要約を提出。
5	生成変化をめぐる謎 アリストテレスの「可能態・現実態」	講義・絵本朗読・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①p.97-108 をていねいに読み、要約を提出。
6	自由と習慣 アリストテレスの「エートス」	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.108-116 をていねいに読み、要約を提出。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	プラトン『プロタゴラス』講読第 1 回 ソフィストによる教育の意味	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.16-58 をていねいに読んでおく。
8	プラトン『プロタゴラス』講読第 2 回 プロタゴラスの徳論	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.59-83 をていねいに読んでおく。 中間レポート提出。
9	プラトン『プロタゴラス』講読第 3 回 徳の多性と一性	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.84-117 についてポイントを整理し、提出。
10	プラトン『プロタゴラス』講読第 4 回 シモニデスの詩の解釈 中間レポートの講評	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.118-151 についてポイントを整理し、提出。
11	プラトン『プロタゴラス』講読第 5 回 徳と快楽	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.152-177 についてポイントを整理し、提出。
12	プラトン『プロタゴラス』講読第 6 回 勇気と知恵	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.178-199 についてポイントを整理し、提出。
13	ストア派の倫理と「アパテイア」	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.117-132 をていねいに読んでおく。 期末レポート提出。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ヘレニズムとヘブライズムの交流へ 期末レポートに対するコメント	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.165-184 についてポイントを整理し、提出。

テキスト	①熊野純彦『西洋哲学史―古代から中世へ』（岩波新書） ②プラトン『プロタゴラス』（中澤務訳）（光文社古典新訳文庫）
参 考 書	荻野弘之『哲学の饗宴―ソクラテス・プラトン・アリストテレス』（NHK ライブラリー） 内山勝利編『哲学の歴史　第 1 巻　哲学誕生』（中央公論新社）

科目名	PHL204:　哲学 B					担当教員	丹木　博一
開講期	秋	開講時限	金 5 限			研究室	4214
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	1, 2	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	1-①, 2-①

キーワード	私と世界、主観と客観、経験と理性、原因と自由
授業の概要	西洋近代哲学の基本的特徴について理解を深めるとともに、古典的テキストを一つ取り上げ、意見交換を行いながらていねい読み進めることで哲学的思考に慣れ親しむ。
達成目標（授業の目的）	西洋近代における哲学的思考の多様な展開を理解することによって、世界と自己に対する哲学的問いを自覚できるようになる。
到達目標（学修成果）	・西洋近代哲学の多様な思想について、その基本を理解し、表現できる。 ・スピノザのテキストに関心を持ち、テキストの意味を探求できる。 ・自ら哲学的問いを提起し、その問いについて論理的に考察を進めることができる。
評価方法	①事前課題（20%＝2%×10 回） ②授業毎のリアクションペーパー（14%＝1%×14 回） ③中間レポート（30%） ④期末レポート（36%）
評価基準	①事前課題：事前に指示した通り課題を行い提出できたかどうか。 ②リアクションペーパー：講義内容を正しく理解し、問題関心を明記できるかどうか。 ③中間レポート：1,200～1,400 字。デカルトとロックの哲学的立場の違いについて正しく論述できるかどうかを基準に評価する。 ④期末レポート：2,000 字～2,200 字。スピノザ『エチカ』で議論されている事柄について哲学的な問いを提起し、その問いについてスピノザがどのように考えているかを自分の言葉で展開する。問いが哲学的であり、考察に説得力があるかどうかを基準にする。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	導入：近代と哲学への問い	講義・DVD 視聴・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.1-20 をていねいに読んでおく。
2	私と世界はいかに関係しているか？（1）デカルトの「コギト」	講義・絵本・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.1-20 をていねいに読み、要約を提出。
3	私と世界はいかに関係しているか？（2）スピノザの「様態」	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.21-38 をていねいに読み、要約を提出。
4	私と世界はいかに関係しているか？（3）ロックの「タブラ・ラサ」	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.39-56 をていねいに読み、要約を提出。
5	私と世界はいかに関係しているか？（4）ライプニッツの「モナド」	講義・写真鑑賞・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.57-74 をていねいに読み、要約を提出。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	スピノザ『エチカ（下）』講読第1回 善悪の認識と感情の力	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.7-35をていねいに読んでおく。
7	スピノザ『エチカ（下）』講読第2回 自己保存の努力と徳	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.35-62についてポイントを整理し、提出。
8	スピノザ『エチカ（下）』講読第3回 感情の分類	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.62-87を読んでおく。中間レポート提出。
9	スピノザ『エチカ（下）』講読第4回 理性と自由 中間レポートに対するコメント	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.88-115についてポイントを整理し、提出。
10	スピノザ『エチカ（下）』講読第5回 精神の認識による感情の制御	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.117-140についてポイントを整理し、提出。
11	スピノザ『エチカ（下）』講読第6回 第三種認識と神への愛	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書②pp.140-167についてポイントを整理し、提出。
12	私と世界はいかに関係しているか？（5） ヒュームの「知覚の束」と「習慣」	講義・DVD視聴・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.91-106をていねいに読み、要約を提出。
13	私と世界はいかに関係しているか？（6） カントの「因果性のカテゴリー」	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.123-133を読んでおく。期末レポート提出
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	私と世界はいかに関係しているか？（7） カントの「自由」論 期末レポートに対するコメント	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	教科書①pp.123-133をていねいに読み、要約を提出。

テキスト	①熊野純彦『西洋哲学史―近代から現代へ』（岩波新書） ②スピノザ『エチカ（下）』（畠中尚志訳）（岩波文庫）
参 考 書	國分功一郎『スピノザ ―読む人の肖像』（岩波新書） 小林道夫編『哲学の歴史　第5巻　デカルト革命』（中央公論新社）

科目名	REL201:　宗教学 A					担当教員	小林　宏子
開講期	春	開講時限	火 4 限			研究室	4204
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	1, 2	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	1-①, 2-①

キーワード	聖書、創造、神の似姿、原罪、契約、信仰、約束の地、過越、バビロン捕囚、メシア待望
授業の概要	旧約聖書と呼ばれる部分に記されたイスラエル民族の歴史を、イエス・キリストの到来を準備する神の救いの働きかけの展開として理解する立場から学ぶ。神の語りかけを信じ、その成就に人生を賭ける人々が切り拓いた信仰共同体の歩みは、どのような困難や誘惑を乗り越えて続いてきたのかを考察する。
達成目標（授業の目的）	キリスト教における旧約聖書理解の基礎的知識を得る。西洋キリスト教文化圏においては常識として語られることの多い聖書の登場人物や用語について、その社会的背景や聖書思想上の解釈を学ぶことによって、時として発想の転換を必要とする異文化理解の障壁に気づくことができる。
到達目標（学修成果）	①旧約聖書における有名な人物や出来事に関する基礎的知識を得られる。 ②聖書の言葉をその字面だけではなく歴史的、文化的背景を含めて理解し、神概念や信仰にまつわる事柄を自分の言葉で表現できる。 ③聖書中の人物や出来事について、人間の本質的傾向とその救いの意味について考察した事柄と自分の意見を、聖書解釈に関連づけながら分かりやすく論述できる。
評価方法	①授業参加における積極性（1%×14 回＝14%） ②リアクションペーパー（4%×10 回＝40%）と復習課題（4%×3 回＝12%）の提出 ③期末課題：設問への解答（14%）と小論文（20%）
評価基準	①準備学修として指定されたテキスト及び聖書箇所を予習したうえで授業に臨み、授業において積極的に発言できること。 ②授業を通して深めた理解を反映させた形でリアクションペーパーに自分の見解を記述できること。また、旧約聖書に登場する人物や用語を正しく理解した上で、復習課題のテーマについて自分の意見を記述できること。 ③テキストと聖書に関する設問に答えられること、また、「旧約聖書の登場人物の中で、神への信仰の観点からもっとも興味を引く人物」について 1200 字以内の小論文が書けること。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	講義の概要と旧約聖書の基礎知識	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.10-12, 76-79 の予習、配布プリントの復習
2	創世記 1 章 天地創造と人間の召命	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.34-37, 80-85 と該当聖書箇所の予習
3	創世記 2-3 章 人間の創造、禁断の実と人間の罪	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.50-51, 86-87 と該当聖書箇所の予習
4	創世記 4 章 カインとアベルの物語	講義、意見交換、復習課題①	テキスト pp.88-89 と聖書箇所の予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	創世記 6-11 章 ノアの箱舟の物語、バベルの塔の物語	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.90-93 と該当聖書箇所の予習
6	創世記 12、15、17 章 アブラハムの召命、契約の思想	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.94-95 と該当聖書箇所の予習
7	創世記 18、21 章 信仰の試練	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.44-45, 14-17 と該当聖書箇所の予習
8	出エジプト記 1-3 章 モーセの召命	講義、意見交換、復習課題②	テキスト pp. 96-97 と該当聖書箇所の予習
9	出エジプト記 12 章 過越祭	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.98-99 と該当聖書箇所の予習
10	出エジプト記 20 章 十戒	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.100-101 と該当聖書箇所の予習
11	サムエル記上 8 章 王たちの物語、サムエル記下 11-12 章 ウリヤの妻バト・シェバ	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.102-107 と該当聖書箇所の予習
12	列王記上 21 章 土地の意味と王の権力、アモス書 預言者の社会批判	講義、意見交換、復習課題③	テキスト pp.108-109 と該当聖書箇所の予習
13	イザヤ書 52-53 章 預言者の苦しみ	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.110-111 と該当聖書箇所の予習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	エルサレムへの帰還、メシアニズムの成長 期末課題の講評	聖書講読、意見交換、講評	科目のまとめ、授業資料の復習

テキスト	月本昭男（監修）『超図解 一番わかりやすいキリスト教入門』（東洋経済新報社）
参 考 書	雨宮慧『（図解雑学）旧約聖書』（ナツメ社） 越川弘英『旧約聖書の学び』（キリスト教新聞社）

科目名	REL202:　宗教学 B					担当教員	小林　宏子
開講期	秋	開講時限	月 2 限			研究室	4204
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	1, 2	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	1-①, 2-①

キーワード	ローマ・カトリック、聖書、契約、神の国、信仰、救い、罪の赦し、隣人愛、永遠の生命
授業の概要	新約聖書の中の福音書を中心に講読し、1 世紀のユダヤ社会に登場したイエスの生涯とそのメッセージの意味を学ぶ。なぜ、イエスが救い主と信じられたのか、どのような人びとがイエスの中に神の救いの意思を見出したのか、イエスの十字架上での死に、神の愛が現われているとはどのような意味なのかなど、キリスト教信仰を理解するための基礎知識を学ぶ。
達成目標（授業の目的）	福音書の講読を通して、キリスト教信仰を理解するための基本的な用語とエピソードの知識を得る。特に、西洋文化圏において常識的に使用される聖書起源の用語やたとえ話が、聖書の中ではどのような文脈において語られているのか、そして、その背景にはどのような社会状況や救いへの希求が存在していたのかを考察することを通して、現代社会において信仰を持つ人びとを理解する助けとする。
到達目標（学修成果）	①新約聖書やキリスト教の基本的用語やエピソードの意味内容を理解できる ②聖書の記述をその字面だけでなく歴史的・文化的背景を含めて理解し、信仰の視点からのイエスの宣教内容の意味やエピソードの解釈を自分の言葉で表現できる ③福音書に描かれたイエスの行動や態度の選択が当時の民族や社会に与えた影響について、人間の本質的傾向と神が備えている救いへの道の内容を踏まえて考察し、分かりやすく論述できる
評価方法	①授業参加における積極性（1%×14 回=14%） ②リアクションペーパー（4%×10 回＝40%）と復習課題（4%×3 回=12%）の提出 ③期末課題：設問への解答（14%）と小論文（20%）
評価基準	①準備学修として指定されたテキストと聖書の該当箇所を読んだ上で授業に臨み、授業において積極的に発言できること。 ②授業を通して深めた理解を反映させた形でリアクションペーパーに自分の見解を記述できること。また、福音書に書かれた出来事やたとえ話の解釈を正しく理解した上で、復習課題のテーマについて自分の意見を記述できること。 ③テキストと授業内容を正しく理解した上で設問に答えられる、また、「新約聖書の登場人物或いは、たとえ話やエピソードの中で最も興味をひく事柄」について、1,200 字以内の小論文が書けること。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	講義の概要 新約聖書の基礎知識	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.114-117 の予習、配布プリントの復習
2	新約聖書の世界（1）ユダヤ教の宗派、神の国の宣教	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.118-123 及びマタイ 20：1-16 の予習
3	新約聖書の世界（2）イエスの弟子たち、ファリサイ派と徴税人	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.124-125 及びルカ 18：9-14 の予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
4	イエスの宣教（1）奇跡物語、罪の赦し	講義、意見交換、復習課題①	テキスト pp.126-127 及びマタイ 8：23-9：8 の予習
5	イエスの宣教（2）山上の説教	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.128-129 及びマタイ 5 章、6：25-7：12 の予習
6	イエスの宣教（3）慈しみ深い神、放蕩息子のたとえ話、主の祈り	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.130-131 及びルカ 15：1-32 の予習
7	イエスの宣教（4）永遠の命、隣人愛の掟、善きサマリア人のたとえ	講義、意見交換、リアクションペーパー	マタイ 25：31-46、ルカ 10：25-37 の予習
8	イエスの受難（1）エルサレム入城、最後の晩餐、新しい契約	講義、意見交換、復習課題②	テキスト pp.132-135 及びマタイ 21 章、26 章の予習
9	イエスの受難（2）死刑判決、十字架の道行き	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.136-138 及びルカ 23 章の予習
10	イエスの受難（3）十字架上の死、イエスの受難と死の意味	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト p.139 及びヨハネ 19 章の予習
11	イエスの復活（1）復活者イエスとの出会い	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.140-141 及びマタイ 28 章、ルカ 24 章の予習
12	イエスの復活（2）使徒たちに受け継がれる宣教の使命	講義、意見交換、復習課題③	テキスト pp.142-143 及びヨハネ 20 章の予習
13	イエスの復活（3）パウロの召命	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp.144-146 及び使徒言行録 8-9 章の予習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	キリスト教の広まり 期末課題の講評	聖書講読、意見交換、講評	科目のまとめ、授業資料の復習

テキスト	月本昭男（監修）『超図解 一番わかりやすいキリスト教入門』（東洋経済新報社）
参 考 書	越川弘英『新約聖書の学び』（キリスト教新聞社） 秋山憲兄（監修）『聖書辞典』（新教出版社）

科目名	MUS201:　音楽 A					担当教員	北村　さおり
開講期	秋	開講時限	木 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	西洋音楽史、音楽、美術、ヨーロッパ、クラシック、音楽鑑賞、歌、オペラ
授業の概要	声楽作品を中心に、時代ごとの演奏様式や歴史的背景の知識を深めながら西洋音楽史を学ぶ。鑑賞では楽典の知識を用いた専門的な分析にこだわらず、また、「好き・嫌い」といった趣向に左右された感想に終始せず、その歴史的社会的な背景から作品の独創性や受容について考察を試みる。
達成目標（授業の目的）	西洋音楽の歴史は美術、文学、演劇、社会、政治などと絡み合う「西洋史」でもある。古代からの音楽の推移を理解し、作曲家や作品の特徴を多角的に分析することで、学生自身の美学的観点におけるアイデンティティーを考察するきっかけを作ることを目標とする。
到達目標（学修成果）	音楽史を理解し、作品の解釈を試みることにより、自己と芸術との関わりを考える。学生は自己の感性を磨き、表現の幅を広げることを目標とする。
評価方法	①授業課題提出 2%×10 回＝20% ②授業内試験 70% ③期末レポート課題 10%
評価基準	①予習・復習を目的とした課題を提出する。 ②テキスト、ノート、資料類の持ち込みを可とする。テキストと授業の内容を的確に理解しているかどうか。 ③調べ学習にとどまらず、授業を踏まえた内容で、自身の考えを比較や考察を加えて論述すること。（引用や参考文献など、レポートの形式が整っているもののみ採点対象とする）
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	音楽の始まり：「リベラルアーツの音楽～その役割と重要性」	講義、鑑賞、質疑応答、ノート記入	第 1 回授業予習課題① 第 1 回授業復習課題①
2	中世：「教会音楽 グレゴリオ聖歌」	講義、鑑賞、質疑応答、ノート記入	第 2 回授業予習課題② 第 2 回授業復習課題②
3	ルネサンス：「美の発見と多声音楽」	講義、鑑賞、質疑応答、ノート記入	第 3 回授業予習課題③ 第 3 回授業復習課題③
4	バロック：「劇化する音楽」「オペラの誕生と器楽の興隆」	講義、鑑賞、質疑応答、ノート記入	第 4 回授業予習課題④ 第 4 回授業復習課題④
5	バロック：「市民に開かれる音楽へ」ヘンデル、バッハ	講義、鑑賞、質疑応答、ノート記入	第 5 回授業予習課題⑤ 第 5 回授業復習課題⑤
6	古典：「近代市民音楽の始まり」「ホモフォニーとソナタ形式」ハイドン	講義、鑑賞、質疑応答、ノート記入	第 6 回授業予習課題⑥ 第 6 回授業復習課題⑥
7	古典：「自由な音楽活動」「神童」モーツァルト	講義、鑑賞、質疑応答、ノート記入	第 7 回授業予習課題⑦ 第 7 回授業復習課題⑦

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	古典：「自己表現としての音楽」ベートーヴェン	講義、鑑賞、質疑応答、ノート記入	第 8 回授業予習課題⑧ 第 8 回授業復習課題⑧
9	前期～中期ロマン派：「内面世界」「性格的小品」「ドイツ歌曲」シューベルト、シューマン	講義、鑑賞、質疑応答、ノート記入	第 9 回授業予習課題⑨ 第 9 回授業復習課題⑨
10	中期ロマン派：「芸術性の追求と娯楽的サロン音楽」「個性と独創性」ショパン、リスト	講義、鑑賞、質疑応答、ノート記入	第 10 回授業予習課題⑩ 第 10 回授業復習課題⑩
11	後期ロマン派：「肥大する音楽」「崩壊する調性」	講義、鑑賞、質疑応答、ノート記入	第 11 回授業予習課題⑪ 第 11 回授業復習課題⑪
12	後期ロマン派～20 世紀：「崩壊する調性」「世紀末」「西洋からの離脱」ワーグナー他	講義、鑑賞、質疑応答、ノート記入	第 12 回授業予習課題⑫ 第 12 回授業復習課題⑬
13	まとめ・授業内試験	試験、試験講評、質疑応答	第 13 回授業予習　試験準備 第 13 回授業復習　復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	まとめ	講義、質疑応答、試験講評・返却	第 14 回授業予習　試験の見直し

テキスト	田村和紀夫『クラシック音楽の世界』（新星出版社）
参 考 書	岡田暁生『西洋音楽史』（NHK 出版）
その他 特記事項	コロナウイルス感染状況により、歌唱を実施する可能性がある。歌唱を実施する場合は、授業内容（評価方法・基準を含む）が変更となる可能性がある。初回授業の前に必ず Moodle に登録し、予習課題を確認してから初回授業に臨むこと。

科目名	MUS202:　音楽 B					担当教員	北村　さおり
開講期	秋	開講時限	木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	西洋音楽史、芸術、音楽、舞台、オペラ、クラシック、ヨーロッパ
授業の概要	映像資料を用いてオペラを鑑賞する。受講生それぞれの視点で作曲家や作品の背景、演出や出演者などについてのレポートを作成し、授業中にレジュメやパワーポイントを使って発表する。レポートを共有することで知識を広げ、また、討論を行うことで知識を深める。
達成目標（授業の目的）	総合芸術と言われるオペラ作品を、音楽、文学、美術、歴史など様々な視点を通して学ぶ。楽典の知識を用いた専門的な分析にこだわらない。「好き・嫌い」といった趣向に左右された感想に終始せず、多角的な視点から考察や討論を試みて、必要な情報を端的にまとめ、発表し、討論を導く。最終的に、発表した内容で期末レポート（小論文）が書けることを目標とする。
到達目標（学修成果）	鑑賞の楽しみ方を知り、芸術に関心を持てるようになる。自己と芸術との関わりを考え、自己の感性を磨き、表現の幅を広げることができるようになる。
評価方法	①発表の評価：30% ②他者の発表に対するリアクションペーパーや鑑賞の感想などの提出：40% ③発表に対する質問や発言など授業内の評価：10% ④期末レポート（小論文）：20%
評価基準	①必要な情報を正しく収集し端的にまとめ、自身の考察、論述ができているか。（ネット検索や辞書を 1 つだけ参照し丸写しすることは認めない。レポート作成のルールに準じる） ②他の発表を精査して聞き、疑問点などをまとめることができているか。能動的に鑑賞できているか。 ③授業の進行に有意義な発言や相手の考えを引き出すような質問ができているか。 ④発表したテーマについて、授業を踏まえた考察を深め、小論文の形式に従って論述できているか。（引用や参考文献など、レポートの形式が整っているもののみ採点対象とする）
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	講義概要 オペラとは	講義、リアクションペーパー	予習・復習：西洋史の概要
2	オペラの成り立ち	講義、鑑賞、リアクションペーパー	予習：授業課題-1 復習：オペラ史
3	モーツァルト「フィガロの結婚」1 鑑賞 1 幕	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-1
4	モーツァルト「フィガロの結婚」2 鑑賞 2 幕	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-2
5	モーツァルト「フィガロの結婚」3 鑑賞 3 幕	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-3

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	モーツァルト「フィガロの結婚」4 発表①	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-4
7	ドニゼッティ「ランメルモールのルチア」1 鑑賞 1 幕	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-5
8	ドニゼッティ「ランメルモールのルチア」2 鑑賞 2 幕	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-6
9	ドニゼッティ「ランメルモールのルチア」3 発表②	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-7
10	ヴェルディ「椿姫」1 鑑賞 1 幕	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-8
11	ヴェルディ「椿姫」2 鑑賞 2 幕	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-9
12	ヴェルディ「椿姫」3 鑑賞 3 幕	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-10
13	ヴェルディ「椿姫」4 発表③	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-11
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	現在のオペラシーンについて。まとめ。	講義	予習・復習：期末レポートの準備

テキスト	授業に関する資料は Moodle にアップする。
参 考 書	水谷彰良『新 イタリア・オペラ史』（音楽の友社） 加藤浩子『オペラでわかるヨーロッパ史』（平凡社新書）
その他 特記事項	基礎的な西洋音楽史の知識がある方が望ましいが、足りない者は予習を入念に行うこと。楽典の専門知識は必要としない。初回授業の前に必ず Moodle に登録すること。

科目名	SOC201:　社会学 A					担当教員	李　侖姫
開講期	春 / 秋	開講時限	金 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	社会学の基本概念、社会学理論、社会構造、個人と社会
授業の概要	本講義では、社会学理論を中心に「社会学とは何か」について考察する。社会学的想像力、社会構造、文化、ネットワーク、権力、機能、社会的相互作用、地位と役割などの社会学の基本的な概念について学ぶ。そして、身近な社会現象をどのように理解するのか、すなわち、個人的な経験がどのようにして社会過程によって作られるのかについて学習する。本講義は、配布資料を解説する講義形式で進める。
達成目標（授業の目的）	社会学の基本概念と考え方に慣れ親しみ、日常生活で経験する個人的な出来事を社会学的な視点で読み解く力を学習することを目的とする。日々の生活の中で、様々な社会現象を社会学的に考えてみるという訓練、そして、社会関係を構築するための実践的な思考力を身につけることを達成目標とする。
到達目標（学修成果）	1. 学生が日常生活で経験する身近な社会現象を社会学的な視点で考えることができる。 2. 学生が社会学の基本概念を理解し、様々な社会現象に対する社会学的視点を身に付けることができる。 3. 学生が社会学理論の様々なアプローチを学習し、様々な社会問題に適用できる。
評価方法	1. 課題提出（12 回）36% 2. 定期試験（テイクホームエグザム）64%
評価基準	1. 毎回、提出される課題をみて講義内容をきちんと学習し理解しているかどうかを評価する。 2. 定期試験（①選択式問題：文章の空欄に入る用語を語群の中から選び、該当する番号を記入する問題、②記述式問題：提示された問題について簡潔に記述し、授業で習ったことを応用する問題）を通して、社会学の基本概念と各理論、社会学用語を学習しているかどうかを評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション：社会学的想像力	講義、課題 1 回目	テキストの序章（pp.1-19）を読んでおくこと
2	理論とは何か：社会学と科学、理論、概念、命題、仮説	講義、課題 2 回目	テキストの 2 章（pp.41-53）を読んでおくこと
3	社会学理論：①機能理論	講義、課題 3 回目	テキストの 3 章（pp.55-62）を読んでおくこと
4	社会学理論：②紛争理論	講義、課題 4 回目	テキストの 3 章（pp.62-67）を読んでおくこと
5	社会学理論：③象徴的相互作用理論	講義、課題 5 回目	テキストの 3 章（pp.67-75）を読んでおくこと

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	社会学理論：④交換理論	講義、課題 6 回目	テキストの 3 章（pp.75-87）を読んでおくこと
7	文化：文化の特性、文化の基本的要素、文化遅滞、エスノセントリズム、下位文化	講義、課題 7 回目	テキストの 4 章（pp.89-101）を読んでおくこと
8	文化と経済：プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神	講義、課題 8 回目	テキストの 14 章（pp.31-33, 268-273）を読んでおくこと
9	地位と役割：地位群と役割群、役割葛藤	講義、課題 9 回目	テキストの 5 章（pp.119-127）を読んでおくこと
10	組織：官僚制の特徴	講義、課題 10 回目	テキストの 9 章（pp.182-196）を読んでおくこと
11	ネットワーク：ネットワークとは何か、紐帯の内容と強さ、密度	講義、課題 11 回目	テキストの 6 章（pp.129-141）を読んでおくこと
12	ネットワークの構造と機能：閉鎖型と開放型ネットワーク	講義、課題 12 回目	テキストの 5 章（pp.141-149）を読んでおくこと
13	社会学のまとめ	授業内容の復習を行う	テキストの復習
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
14	試験の解説	試験問題の解説	試験の振り返り

テキスト	李侖姫・渡辺深著『入門　社会学』（ミネルヴァ書房）
参 考 書	高根 正昭『創造の方法学』（講談社現代新書）
その他 特記事項	本年から上記のテキストを使用するので、受講者はテキストを購入すること。 講義は、パワーポイントを用いて行う。授業の終了後に、課題を提出すること。

科目名	SOC202:　社会学 B					担当教員	李　侖姫
開講期	春 / 秋	開講時限	金 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	社会学の基本概念、社会調査法、個人と社会
授業の概要	本講義では、様々な社会現象を社会学的視点から理解する。例えば、社会化、ジェンダー、ライフコース、文化と消費、逸脱、宗教、社会変動など、社会現象の各領域について考察する。また、本講義では、基本的な調査法（サーベイ、実験、観察、文書分析）について理解し、どのようにして社会現象を観察し分析するのかを学習する。本講義は、配布資料を解説する講義形式で進める。
達成目標（授業の目的）	日々の生活の中で、様々な社会現象を社会学的に考えてみるという訓練、そして、社会関係を構築するための実践的な思考力を身につけることを目的とする。本講義では、特に社会学の各領域に関する基本的な概念によって具体的な内容を理解し、そして、調査方法全般について勉強する。
到達目標（学修成果）	1. 学生が日常生活で経験する身近な社会現象を社会学的な視点で考えることができる。 2. 学生が社会学の各領域に関する基本概念を理解し、様々な社会現象に対する社会学的視点を身に付けることができる。 3. 学生が調査方法の全般について学習し、様々な社会問題を分析し、考察することができる。
評価方法	1. 課題提出（12 回）36% 2. 定期試験（テイクホームエグザム）64%
評価基準	1. 毎回、提出される課題をみて講義内容をきちんと学習し理解しているかどうかを評価する。 2. 定期試験（①選択式問題：文章の空欄に入る用語を語群の中から選び、該当する番号を記入する問題、②記述式問題：提示された問題について簡潔に記述し、授業で習ったことを応用する問題）を通して、社会学の基本概念と各理論、社会学用語を学習しているかどうかを評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション：社会学的視点	講義、課題 1 回目	テキストの 1 章（pp.21-39）を読んでおくこと
2	社会化：生まれか育ちか？社会階層と社会化、社会化のエージェント	講義、課題 2 回目	テキストの 7 章（pp.151-164）を読んでおくこと
3	ジェンダー：性とジェンダー、ジェンダー役割と社会化	講義、課題 3 回目	テキストの 10 章（pp.197-215）を読んでおくこと
4	ライフコース：個人の人生と歴史的出来事、社会構造との関係	講義、課題 4 回目	テキストの 11 章（pp.217-229）を読んでおくこと
5	文化と消費：準拠集団と消費、地位と消費	講義、課題 5 回目	テキストの 4 章（pp.101-112）を読んでおくこと

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	逸脱：デュルケム、マートンのアノミー概念、ラベリング理論	講義、課題 6 回目	テキストの 12 章（pp.231-247）を読んでおくこと
7	宗教：宗教の定義、基本要素、宗教と社会秩序、宗教と近代化	講義、課題 7 回目	テキストの 14 章（pp.263-283）を読んでおくこと
8	社会変動：古典理論（マルクス、ウェーバー、デュルケム）と現代の理論	講義、課題 8 回目	テキストの 15 章（pp.285-300）を読んでおくこと
9	社会調査法 1：調査過程とサーベイ法	講義、課題 9 回目	テキストの 16 章（pp.301-316）を読んでおくこと
10	社会調査法 2：実験法	講義、課題 10 回目	テキストの 16 章（pp.316-323）を読んでおくこと
11	社会調査法 3：観察法	講義、課題 11 回目	テキストの 16 章（pp.323-332）を読んでおくこと
12	社会調査法 4：文書分析法	講義、課題 12 回目	テキストの 16 章（pp.332-345）を読んでおくこと
13	社会学のまとめ	授業内容の復習を行う	テキストの復習
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
14	試験の解説	試験問題の解説	試験の振り返り

テキスト	李侖姫・渡辺深著『入門　社会学』（ミネルヴァ書房）
参 考 書	高根 正昭『創造の方法学』（講談社現代新書）
その他 特記事項	本年から上記のテキストを使用するので、受講者はテキストを購入すること。 講義は、パワーポイントを用いて講義を行う。授業の終了後に、課題を提出すること。

科目名	LAW211:　日本国憲法 A					担当教員	牧　耕太郎
開講期	春	開講時限	金 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	日本国憲法、統治機構、天皇、立法、行政、司法、地方自治、平和主義
授業の概要	本講義は、日本国憲法のうち、主に統治機構論と呼ばれる部分について講じる。統治機構論は、国家の政治を実現するために設置されている様々な機関にまつわる諸問題やその関係を論じるものであるが、本講義は、わが国における統治機構の法的位置づけを日本国憲法という法規範を基に講じるものである。 なお、本講義では、講師作成のレジュメを基に、受講生との対話型の講義を行う。
達成目標（授業の目的）	本講義では、受講生諸君が、日本の統治機構の構造を理解し、その固有の任務や機関の相互関係について正確に説明ないし描写することができるようになる。併せて、現実の政治について、自ら憲法的観点からの分析が可能となる。
到達目標（学修成果）	まず、日本の統治機構の各部について、誤りなく理解している。また、それぞれの機関やその関係について、自らの言葉で正確に説明・描写することができる。その上で、学習したことに照らし、憲法と現状の政治の位置関係を言葉で説明し、かつその問題点を指摘できる。
評価方法	①授業時の参加態度：30% ②中間レポート（第 6 回から 7 回辺りに課題を示す）：30% ③期末レポート：40%
評価基準	①授業時の参加態度：質問に対して必ず解答しているか（正答かどうかは問わない）。 ②中間レポート・③期末レポート：課題内容を正確に理解した上で、当該課題に対し、多角的、かつ論理的な記述がなされているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス・イントロダクション 憲法とは	講義、質疑応答	予習：憲法の前文を読む 復習：教科書第 1 講を読む
2	日本憲法史 焼け堕ちた帝国のあとに	講義、質疑応答	予習：第 2 回レジュメの検討 復習：教科書第 2 講を読む
3	統治機構の諸原則 マジョリティとマイノリティの関係	講義、質疑応答	予習：第 3 回レジュメの検討 復習：教科書第 18 講を読む
4	国会（1）―二院制と議員の地位― 国会議員がたくさんいる理由	講義、質疑応答	予習：第 4 回レジュメの検討 復習：教科書第 19 講を読む
5	国会（2）―会議体としての国会― 会議をする方法	講義、質疑応答	予習：第 5 回レジュメの検討 復習：教科書第 20 講を読む
6	内閣（1）―議院内閣制― 国会との関係	講義、質疑応答	予習：第 6 回レジュメの検討 復習：教科書第 21 講を読む
7	内閣（2）―内閣の組織と運営― 内閣総理大臣の仕事とは	講義、質疑応答	予習：第 7 回レジュメの検討 復習：教科書第 21 講を読む 中間レポートの作成

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	裁判所 憲法の砦・法の番人としての裁判所	講義、質疑応答	予習：第 8 回レジュメの検討 復習：教科書第 22 講を読む
9	地方自治 「民主主義の学校」	講義、質疑応答	予習：第 9 回レジュメの検討 復習：教科書第 23 講を読む
10	中間レポート返却・講評／参政権・国務請求権 国に関わっていくということ	講義、質疑応答	予習：第 10 回レジュメの検討 復習：教科書第 17 講を読む
11	天皇制・皇室 憲法の飛び地	講義、質疑応答	予習：第 11 回レジュメの検討 復習：教科書第 3 講を読む
12	平和主義 敗戦から何を学んだのか	講義、質疑応答	予習：第 12 回レジュメの検討 復習：教科書第 4 講を読む
13	憲法保障　―違憲審査制と憲法変遷― 移り変わってゆく「憲法」という風景	講義、質疑応答	予習：第 13 回レジュメの検討 復習：教科書第 24 講を読む 期末レポートの作成
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	期末レポートに対する解説・講評、 学期の総括	グループディスカッション、質疑応答	日本の統治機構の利点・不利点を確認し、現在の政治状況を確認する

テキスト	長谷部恭男『憲法講話　24 の入門講義〔第 2 版〕』（有斐閣） 講師作成レジュメ
参 考 書	安西文雄ほか『憲法学読本〔第 3 版〕』（有斐閣） 長谷部恭男ほか編『憲法判例百選Ⅱ〔第 7 版〕』（有斐閣）
その他 特記事項	本講義は、教員による発問とそれに対する学生の応答を基に展開されるので、自らが講義を作る意識をもって参加することが望まれる。

科目名	LAW212:　日本国憲法 B					担当教員	牧　耕太郎
開講期	秋	開講時限	金 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	日本国憲法、人権、憲法上の権利、自由、平等、公共の福祉
授業の概要	本講義は、日本国憲法のうち、主に人権論と呼ばれる部分について講じる。人権や自由、平等というものは、ある種の誤解を招きやすい概念でもある。本講義は憲法学における人権の概念を、実際の裁判例なども参照しながら講じるものである。 なお、本講義では、講師作成のレジュメを基に、受講生との対話型の講義を行う。
達成目標（授業の目的）	本講義では、受講生諸君が、人権・自由の概念を理解し、なぜ法的・社会的に重要視されているのかを深く理解することを目指す。併せて、身の回りの出来事について、自ら憲法的観点からの分析が可能となる。
到達目標（学修成果）	まず、人権がなぜ重要であるのかを本質的に理解している。その上で、それぞれの人権の保障根拠を正確に理解できている。さらに、人権の衝突状況などが生じたときに、適切な交通整理をする力を身につけている。
評価方法	①授業時の参加態度：30% ②中間レポート（第 6 回から 7 回辺りに課題を示す）：30% ③期末レポート：40%
評価基準	①授業時の参加態度：質問に対して必ず解答しているか（正答かどうかは問わない）。 ②中間レポート・③期末レポート：課題内容を正確に理解した上で、当該課題に対し、多角的、かつ論理的な記述がなされているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス・イントロダクション 憲法とは	講義、質疑応答	予習：憲法の前文を読む 復習：教科書第 1 講を読む
2	基本的人権総論 人権のある「人」の範囲	講義、質疑応答	予習：第 2 回レジュメの検討 復習：教科書第 5 講を読む
3	思想・良心の自由、信教の自由 あなたの「世界」を成すもの	講義、質疑応答	予習：第 3 回レジュメの検討 復習：教科書第 6 講を読む
4	表現の自由（1）―基本理解― なぜ「表現」は大事なのか	講義、質疑応答	予習：第 4 回レジュメの検討 復習：教科書第 7 講を読む
5	表現の自由（2）―現代における表現― マスメディア、インターネット、結社	講義、質疑応答	予習：第 5 回レジュメの検討 復習：教科書第 8 講を読む
6	学問の自由 ガリレオはなぜ処罰されたのか	講義、質疑応答	予習：第 6 回レジュメの検討 復習：教科書第 9 講を読む
7	職業選択、居住移転、国籍離脱の自由 「仕事」を選べるということの価値	講義、質疑応答	予習：第 7 回レジュメの検討 復習：教科書第 10 講を読む 中間レポートを作成する

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	財産権の保障 「既得権を打ち破れ！」？	講義、質疑応答	予習：第 8 回レジュメの検討 復習：教科書第 11 講を読む
9	中間レポート返却・講評／人身の自由 警察官はゴミ集積所すら漁る	講義、質疑応答	予習：第 9 回レジュメの検討 復習：教科書第 12 講を読む
10	包括的基本権 プライバシーとペルソナ、あるいは環境	講義、質疑応答	予習：第 10 回レジュメの検討 復習：教科書第 13 講を読む
11	平等原則 「平等に扱われていない」ということの意味	講義、質疑応答	予習：第 11 回レジュメの検討 復習：教科書第 14 講を読む
12	生存権 「生きる権利」がなぜ書いてあるのか	講義、質疑応答	予習：第 12 回レジュメの検討 復習：教科書第 15 講を読む
13	教育を受ける権利、労働に関する権利 ツラくても「権利」であるわけ	講義、質疑応答	予習：第 13 回レジュメの検討 復習：教科書第 16 講を読む 期末レポートを作成する。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	期末レポートに対する解説・講評、 学期の総括	グループディスカッション、質疑応答	「人権」の法的限界について考えてみる

テキスト	長谷部恭男『憲法講話　24 の入門講義〔第 2 版〕』（有斐閣） 講師作成レジュメ
参 考 書	安西文雄ほか『憲法学読本〔第 3 版〕』（有斐閣） 長谷部恭男ほか編『憲法判例百選Ⅱ〔第 7 版〕』（有斐閣）
その他 特記事項	本講義は、教員による発問とそれに対する学生の応答を基に展開されるので、自らが講義を作る意識をもって参加することが望まれる。

科目名	LAW201:　法学 A					担当教員	牧　耕太郎
開講期	春	開講時限	金 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	法学、基礎法、法哲学、法制史、比較法、法社会学
授業の概要	本講義は、法学のうち、特に基礎法と呼ばれる分野を概観する。基礎法とは現実の法の根底をなす諸分野を意味するが、本講義ではその中からいくつかのものをトピック的に取り扱う。したがって、講義全体としては緩やかな流れをもちながらも、体系性にはこだわらないものとなっている。 なお、本講義は、講師作成のレジュメ・設問を基に、受講生との対話型にて展開される。
達成目標（授業の目的）	現在の法制度の根底に流れている思想や価値判断が身につくことを目指す。また、現在の日本の法制度が唯一・最良のものではないということを理解する。その上で、未知の問題にぶつかったとき、自ら考え、解決策を提示することができるようになることを目標とする。
到達目標（学修成果）	第 1 に、「法」が他の「ルール」とどう異なるかを理解している。その上で、「法」固有の価値判断がどのようなものかを日本語で論理的に説明できる。さらに、そのような大局的視野に立って、現在の社会問題について論評することができる。
評価方法	①授業時の参加態度：30% ②中間レポート（第 6 回から 7 回辺りに課題を示す）：30% ③期末レポート：40%
評価基準	①授業時の参加態度：質問に対して必ず解答しているか（正答かどうかは問わない）。 ②中間レポート・③期末レポート：課題内容を正確に理解した上で、当該課題に対し、多角的、かつ論理的な記述がなされているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス・イントロダクション 法学と基礎法学	講義、質疑応答	予習：第 1 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消
2	裁判に関わる人々 裁判の人的側面	講義、質疑応答	予習：第 2 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消
3	法に対する 2 つの見方　―西洋と東洋？― 法に何を求めるのか	講義、質疑応答	予習：第 3 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消
4	日本法の出自 日本の法は日本人が考え出したのか	講義、質疑応答	予習：第 4 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消
5	いわゆる「神判」と魔女裁判 裁きは誰の手に握られているのか	講義、質疑応答	予習：第 5 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消
6	法とルールの異同　―権利と義務― チェスのルールと法は何が違うのか	講義、質疑応答	予習：第 6 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消
7	法と慣習 法律は「書かれている」とは限らない	講義、質疑応答	予習：第 7 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消 中間レポートの作成

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	自然法と法実証主義 法は「誰が」作ったのか	講義、質疑応答	予習：第 8 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消
9	レポート返却・講評／英米法と大陸法 信頼すべきは大衆？それともエリート？	講義、質疑応答	予習：第 9 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消
10	正義論 「セイギの味方」はどんな人？	講義、質疑応答	予習：第 10 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消
11	いわゆる「隣人訴訟」 昨日の友は今日の敵？	講義、質疑応答	予習：第 11 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消
12	動物、AI、そして人 アンドロイドは「友達」になれるか	講義、質疑応答	予習：第 12 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消
13	法と文学 夏目漱石『坊っちゃん』に潜む法的思考	講義、質疑応答	予習：第 13 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消 期末レポートの作成
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	期末レポートに対する解説・講評、 学期の総括	グループディスカッション、質疑応答	法の基本的な発想がどのようなものか、もう一度振り返ってみる。

テキスト	講師作成のレジュメ 第 13 回のみ：夏目漱石『坊っちゃん』（角川文庫）
参 考 書	木庭顕『誰のために法は生まれた』（朝日出版社） 三ケ月章『法学入門』（弘文堂）、その他、参考となるものは授業中に示す。
その他 特記事項	本講義は、教員による発問とそれに対する学生の応答を基に展開されるので、自らが講義を作る意識をもって参加することが望まれる。

科目名	LAW202:　法学 B					担当教員	牧　耕太郎
開講期	秋	開講時限	金 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	法学、法解釈学、実定法、民法、刑法、裁判
授業の概要	本講義は、法学のうち、実定法学（法解釈学）と呼ばれる分野を取り扱う。その中でも、基本的な法分野である、市民関係の権利関係を規律する民法と、犯罪と刑罰に関する刑法を中心的に取り扱い（本講義では憲法は扱わないので注意されたい）、その実現である裁判や法の執行の仕組みや法についての概論も行う。 なお、本講義では、講師作成のレジュメを基に、受講生との対話型の講義を行う。
達成目標（授業の目的）	まず、現実に運用されている条文を適切に摘示して根拠として示すことができ、また裁判手続が紛争解決手続としてどのような性質をもつものかを正確に理解していることを目指す。それを踏まえて、民・刑法の観点から社会問題を分析・思考し、それに基づいた基本的な解決の方向性を提示することができるようになる。
到達目標（学修成果）	適切な条文を見つけ、摘示することができる。 裁判・執行という制度・現象について理解し、説明することができる。 日本の民法と刑法の基本的な考え方を正確に理解し、説明することができる。
評価方法	①授業時の参加態度：30% ②中間レポート（第 6 回から 7 回辺りに課題を示す）：30% ③期末レポート：40%
評価基準	①授業時の参加態度：質問に対して必ず解答しているか（正答かどうかは問わない）。 ②中間レポート・③期末レポート：課題内容を正確に理解した上で、当該課題に対し、多角的、かつ論理的な記述がなされているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス・イントロダクション 六法の扱い方	講義、質疑応答	予習：第 1 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消
2	法の分類 犬も歩けば「法」に当たる	講義、質疑応答	予習：第 2 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消
3	法という「体系」と、その「解釈」 「このはし牛馬渡るべからず」の意味	講義、質疑応答	予習：第 3 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消
4	裁判手続法　―法の宣言― 「裁判所は法を語る口である」	講義、質疑応答	予習：第 4 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消
5	民法総論　―私人間規律に関する諸原則― 人々の間の法的関係を作るもの	講義、質疑応答	予習：第 5 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消
6	契約法 誰かに何かをしてもらうために	講義、質疑応答	予習：第 6 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	不法行為法 　地獄の沙汰も金次第	講義、質疑応答	予習：第 7 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消 中間レポートの作成
8	親族法 　「家族になろうよ」？	講義、質疑応答	予習：第 8 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消
9	レポート返却・講評／相続法 　人は「幽霊」と合体する！	講義、質疑応答	予習：第 9 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消
10	犯罪と刑罰 　なぜ人を「悪者」扱いして処罰するのか	講義、質疑応答	予習：第 10 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消
11	犯罪の成立を否定するもの 　「やったのに無罪！」なのはなぜ？	講義、質疑応答	予習：第 11 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消
12	犯罪の特殊な形 　犯罪の範囲が拡がってゆく場合	講義、質疑応答	予習：第 12 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消
13	裁判の執行 　法の「果実」としての執行	講義、質疑応答	予習：第 13 回レジュメの検討 復習：疑問点の確認・解消 期末レポートの作成
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	期末レポートに対する解説・講評、 学期の総括	グループディスカッション、質疑応答	民・刑法の基本的な発想がどのようなものか、もう一度振り返ってみる。

テキスト	池田真朗ほか編『法学六法’24』（信山社） 講師作成のレジュメ
参 考 書	宍戸常寿・石川博康編『法学入門』（有斐閣） 市川正人ほか『現代の裁判〔第 8 版〕』（有斐閣）、その他、参考となるものは授業中に示す。
その他 特記事項	本講義は、教員による発問とそれに対する学生の応答を基に展開されるので、自らが講義を作る意識をもって参加することが望まれる。

科目名	EDU201:　教育学 A					担当教員	櫛桁　祐哉
開講期	秋	開講時限	金 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	教育の歴史，教育の思想，人間学，学校と社会
授業の概要	教育思想史および教育の歴史を探求しながら、「教育とは何か」「教育学とは何か」を問うことで、教育学の基礎理論を学ぶ。とりわけ、「よい教育とは何か」「子どもが育つとは何か」などの教育の基盤となる問い、西洋および日本での子ども観、教育観の変遷、今日の教育問題を批判的に検討する。
達成目標（授業の目的）	教育という営みを、思想的、歴史的側面から探求することを通じて、教育学の基礎的な理論、歴史を理解し、教育学の事象を論理的、批判的に問い直すための視点を獲得することを目標とする。
到達目標（学修成果）	①教育の歴史およびその背後にある思想を理解し、概要を説明し、それらを用いて教育学的な問いと取り組むことができるようになる。 ②教育学についてのレポートを作成し、教育の事象について論理的、批判的に検討することができるようになる。
評価方法	①授業内で課すリアクション・ペーパー（50%） ②レポート（50%）
評価基準	①リアクション・ペーパー：授業の内容を理解し、学んだ概念や用語を用いながら、与えられた問いについて自分の言葉で論述されているか。 ②期末レポート：問題設定に対して、授業および参考文献の内容を用いながら、論理的および教育学的な論述が行えているか。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／verbally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	本講義の目的と概要―教育学とは何を問うのか―	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習
2	教育と人間への問い（I）―「よい教育とは何か」を問うということ―	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.41-49（第 3 節は除く）
3	教育と人間への問い（II）―「子どもが育つ」ということ―	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.45-46, 51-54
4	教育と社会―学校と社会、社会化としての教育、社会の教育作用―	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.179-191
5	西洋教育思想史（I）―古代ギリシア、中世―	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.49-51

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	西洋教育思想史（II）―公教育と近代思想―	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.110-120
7	西洋教育思想史（II）―19 世紀以降―	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.120-123
8	日本教育史（I）―江戸時代から 1945 年まで―	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.96-104
9	日本教育史（II）―1945 年から現代（学習指導要領の変遷）―	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.68-81, 104-109
10	学校という共同体	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.82-95, 126-130
11	道徳教育―道徳観の変遷と教科としての道徳―	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.138-150
12	解放の教育学と教育批判の歴史	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.151-164
13	文学・芸術・宗教と教育	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	総括	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習

テキスト	内海﨑貴子 編著『新・教職のための教育原理』（八千代出版）
参 考 書	勝野正章・庄井良伸『問いからはじめる教育学』（有斐閣）

科目名	EDU202:　教育学 B					担当教員	杉村　美佳
開講期	春	開講時限	火 3 限			研究室	4220
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	教育格差と学力格差、いじめ、不登校、ジェンダー、グローバル化と教育、教育改革
授業の概要	人間や社会にとって「教育とは何か」を問い、教育という営みについて、教育社会学や比較教育学、教育方法学等の視点から探究することを通して教育学の基礎理論を学ぶ。具体的には、教育格差による学力格差、いじめや不登校、外国籍児童の教育、ジェンダーと教育、今日の教育改革など、現代の子どもや学校教育を取り巻く諸問題を取り上げ、その要因や社会的背景、課題解決の方途を探る。
達成目標（授業の目的）	教育という営みについて、教育社会学や比較教育学、教育方法学等の視点から探究することを通して、教育学の基礎理論を理解し、教育事象を教育学的視点から論理的、批判的に考察することができるようになることを目的とする。
到達目標（学修成果）	①教育学の諸分野や基礎理論について的確に理解し、概要を説明することができる。 ②現代の教育を取り巻く諸問題の背景や現状を理解し、課題を論述することができる。 ③教育事象に関するレポートの作成を通して、教育学的視点から教育事象を論理的、批判的に考察し、その結果を効果的に発表することができる。
評価方法	①授業参画（10%）、②授業時に課すリアクション・ペーパー（30%）、③授業内試験（30%）、④レポート（30%）
評価基準	①授業参画：積極的に発言や質問を行っているか。 ②リアクション・ペーパー：論題について授業内容をふまえて論理的に考察できているか。 ③授業内試験：授業内容を理解し、設問に対して正確に答えられているか。 ④レポート：参考文献の内容を理解し、教育学的観点から論理的に論述できているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	教育学とは―教育学の諸分野―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.42-50 の一読 配布プリントの復習
2	子どもを取り巻く社会の変化（1） ―少子化・情報化―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.2-10 の一読 配布プリントの復習
3	子どもを取り巻く社会の変化（2） ―子どもの貧困―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.11-15 の一読 配布プリントの復習
4	学校教育の今日的課題（1）階層と学力	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.23-27 の一読 配布プリントの復習
5	学校教育の今日的課題（2）学力格差の是正策	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.34-40 の一読 配布プリントの復習
6	学校教育の今日的課題（3）いじめ	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.21-24 の一読 配布プリントの復習
7	学校教育の今日的課題（4）不登校・学級崩壊	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.16-20 の一読 配布プリントの復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	学校教育の今日的課題（5）ジェンダーと教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.157-164 の一読 配布プリントの復習
9	グローバル化と教育（1）外国につながる子どもと国際理解教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.151-156 の一読 配布プリントの復習
10	グローバル化と教育（2）小学校の英語教育	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	日本の英語教育改革を調べる 配布プリントの復習
11	カリキュラム論（1）―戦後の学習指導要領の変遷―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.68-76 の一読 配布プリントの復習
12	小括・授業内試験	講義・質疑応答・ 授業内試験	11 回目までの授業内容の復習
13	カリキュラム論（2）―コンピテンシーと資質・能力の育成―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.77-81 の一読 配布プリントの復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	教育方法論―教育方法の日米比較― 試験の返却と解説	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.106-110 の一読 配布プリントの復習

テキスト	内海﨑貴子 編著『新・教職のための教育原理』（八千代出版）
参 考 書	田嶋一他著『やさしい教育原理』（有斐閣アルマ）

科目名	EDU202:　教育学 B					担当教員	黒田　協子
開講期	秋	開講時限	月 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	外国につながる児童生徒、貧困と教育格差、教育格差と学力格差、不登校、教師の役割
授業の概要	人間や社会にとって「教育とは何か」を問う。教育社会学を中心に、教育現場の視点を様々な角度から探究することで、教育学の基礎理論を学ぶ。具体的には、外国につながる児童生徒の実態、貧困が教育に与える影響、いじめや不登校、ジェンダーと教育、今日の教育改革や教員を取り巻く環境などの諸問題を取り上げ、その要因や社会的背景、さらには課題解決の方途を探る。
達成目標（授業の目的）	教育という営みについて、教育社会学を中心に、様々な学問領域や教育現場等の視点から探究することを通して、教育学の基礎理論を理解し、教育現場の諸問題を教育学的視点から客観的かつ論理的、批判的に考察することができるようになることを目的とする。
到達目標（学修成果）	①教育学の諸分野や基礎理論について的確に理解し、概要を説明することができる。 ②現代の教育を取り巻く諸問題の背景や現状を理解し、課題を論述することができる。 ③教育事象に関するレポートの作成を通して、教育学的視点から教育事象を客観的かつ論理的、批判的に考察し、その結果を効果的に発表することができる。
評価方法	①授業参画（30%）、②授業時に課すリアクション・ペーパーあるいはミニレポート（40%）、③授業内試験（30%）
評価基準	①授業参画：積極的に発言や質問を行っているか。 ②リアクション・ペーパー、ミニレポート：論題について授業内容をふまえて論理的に考察できているか。 ③授業内試験：授業内容を理解し、設問に対して正確に答えられているか。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／verbally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	教育とはなにか・教育学とはなにか ―学問としての教育を捉える―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布プリントの復習
2	教育をめぐる現代的課題（家庭教育）(1) ―家族とは―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.2-7 の一読 配布プリントの復習
3	教育をめぐる現代的課題（家庭教育）(2) ―家庭の貧困・DV と教育―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.7-15 の一読 配布プリントの復習
4	教育をめぐる現代的課題（学校）(1) ―学校は何をする場所か―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト p.16 の一読 配布プリントの復習
5	教育をめぐる現代的課題（学校）(2) ―不登校といじめ―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.17-24 の一読 配布プリントの復習
6	教育をめぐる現代的課題（学校）(3) ―相対的貧困と学校― 1～6 までの内容確認試験	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.24-27 の一読 配布プリントの復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	6 回に実施した試験のフィードバック 教育をめぐる今日的課題（1） 外国につながる児童生徒（1）学校文化	講義・ディスカッション リアクションペーパー	（予習）配布プリントの一読 配布プリントの復習
8	教育をめぐる今日的課題（2） 外国につながる児童生徒（2）・学習	講義・ディスカッション リアクションペーパー	（予習）プリントの一読 配布プリントの復習
9	教育をめぐる今日的課題（3） ジェンダー問題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.157-164 の一読 配布プリントの復習
10	教育をめぐる今日的課題（4） 性教育のとらえ方	講義・ディスカッション リアクションペーパー	（予習）プリントの一読 配布プリントの復習
11	教育をめぐる今日的課題（5） 第四次産業と日本の教育課題（1）	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.28-40 の一読 配布プリントの復習
12	教育をめぐる今日的課題（6） コロナ禍が第四次産業に与えたもの	講義・ディスカッション リアクションペーパー	（予習）プリントの一読 配布プリントの復習
13	「教師の役割」を問う 7～13 回までの内容確認試験	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.126-130 の一読 配布プリントの復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	13 回に実施した試験のフィードバック 生徒指導の煩雑さと教職 総括	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.130-137 の一読 配布プリントの復習

テキスト	内海﨑貴子 編著『新・教職のための教育原理』（八千代出版）
参 考 書	酒井朗編著『アクティベート教育学 03 現代社会と教育』（ミネルヴァ書房） 東洋館出版社編『ポスト・コロナショックの学校で教師が考えておきたいこと』（東洋館出版社）

科目名	ECN201:　経済学 A					担当教員	孫　明超
開講期	春	開講時限	月 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	経済学、ミクロ経済学、機会費用、比較優位、需要と供給、余剰、外部性
授業の概要	「経済学はどんなものか？」、「経済学は何の役に立つか？」というシンプルな質問に答えるため、ミクロ経済学の視点からまず基礎的な概念を学ぶ。その後に経済学の考え方を分析ツールとして、現実社会の経済現象をどのように理解すべきか、自身の経済活動をどのように行うべきかについて学ぶ。
達成目標（授業の目的）	自分が暮らしている社会における日常生活や社会問題を経済学的な考え方で理解する。さらに、日常の消費、貯蓄や投資などの個人の経済活動をより賢く行えるようになることを目的とする。
到達目標（学修成果）	①教科書の該当部分を予習した上、講義を通して経済学の基礎的な概念を理解し、毎回の小テストの問題を解くことができるようになる。（評価①） ②授業、予習または復習を通して身につけた経済学的な考え方で積極的かつ的確に発言できるようになる。（評価②） ③世界で起こる経済現象を授業で学んだ経済学用語や理論を用いて、自分の言葉で分析・説明し、考察や自分の考えも踏まえて論述できるようになる。（評価③）
評価方法	①授業毎の小テスト：授業終了時までに提出（4%×14 回=56%） ②授業内での発言：授業中の質問に的確に答えられる（5%×3 回=15%） ③期末レポート：1,200～1,500 字のレポート（29%）
評価基準	①授業毎の小テスト：授業毎に実施する小テスト（選択式 3～4 問）を授業終了時までに提出する。 ②授業内での発言：14 回の授業のうち、最大 3 回分の点数が取れる。 ③期末レポート：教科書、講義中で紹介された事例を参考にした上、経済現象の事例を自らで考え、授業で扱った経済学の専門用語を使って説明できる。その上、自身の考えや考察を論述できる。（自分の論点を述べる際に、関連論文、政府報告書または新聞記事などの引用は認められるが、自分の言葉ではなく、コピペまたは引用の割合が全体の 2 割以上を占める場合、0 点となる）
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス 経済学の十大原理（1）人間の意思決定	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 1 章　第 1 節）
2	経済学の十大原理（2） 市場と政府	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第 1 章　第 2-3 節）
3	経済学者らしく考える（1） 科学者の立場から	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第 2 章　第 1 節）
4	経済学者らしく考える（2） 政策アドバイザーの立場から	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第 2 章　第 2-3 節）

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	相互依存と交易（貿易）からの利益（1） 機会費用と比較優位	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第 3 章　第 1-2 節）
6	相互依存と交易（貿易）からの利益（2） 比較優位の応用例	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第 3 章　第 3 節）
7	市場における需要と供給の作用（1） 市場と競争、価格と需要量の関係	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第 4 章　第 1-2 節）
8	市場における需要と供給の作用（2） 価格と供給量の関係、需要と供給の関係	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第 4 章　第 3-4 節）
9	需要、供給、及び政府の政策（1） 価格規制の効果	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第 5 章　第 1 節）
10	需要、供給、及び政府の政策（2） 税金の効果	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第 5 章　第 2 節）
11	消費者、生産者、市場の効率性（1） 消費者余剰、生産者余剰	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第 6 章　第 1-2 節）
12	消費者、生産者、市場の効率性（2） 市場の効率性と失敗	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第 6 章　第 3-4 節）
13	外部性 正の外部性と負の外部性、公共政策	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第 7 章）
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ミクロ経済学のまとめ	講義、質疑応答、講評、返却	授業の振り返り

テキスト	マンキュー・N・グレゴリー著、足立英之、石川城太、小川英治、地主敏樹、中馬宏之、柳川隆訳『マンキュー入門経済学（第 3 版）』（東洋経済新報社）
参 考 書	①日経ビジネス編集『日本経済入門 第 2 版（日経ビジネス）』（日経 BP） ②神取道宏 著『ミクロ経済学の力』（日本評論社）（微分などの数学を使ってしっかりミクロ経済学の基礎を学びたい人にはおすすめ）
その他 特記事項	①難しい数学を使わず、ミクロ経済学の入門レベルの講義を行う。 ②教科書のすべての内容を解説しきれないので、無理のない範囲で予習または復習を望む。

科目名	ECN202:　経済学 B					担当教員	孫　明超
開講期	秋	開講時限	月 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	経済学、マクロ経済学、国民所得、経済成長、貯蓄と投資、総需要と総供給、輸出と輸入
授業の概要	「経済学はどんなものか？」、「経済学は何の役に立つか？」というシンプルな質問に答えるため、マクロ経済学の視点からまず基礎的な概念を学ぶ。その後に経済学の考え方を分析ツールとして、現実社会の経済現象をどのように理解すべきか、自身の経済活動をどのように行うべきかについて学ぶ。
達成目標（授業の目的）	自分が暮らしている社会における日常生活や社会問題を経済学的な考え方で理解する。さらに、日常の消費、貯蓄や投資などの個人の経済活動をより賢く行えるようになることを目標とする。
到達目標（学修成果）	①教科書の該当部分を予習した上、講義を通して経済学の基礎的な概念を理解し、毎回の小テストの問題を解くことができるようになる。（評価①） ②授業、予習または復習を通して身につけた経済学的な考え方で積極的かつ的確に発言できるようになる。（評価②） ③世界で起こる経済現象を授業で学んだ経済学用語や理論を用いて、自分の言葉で分析・説明し、考察や自分の考えも踏まえて論述できるようになる。（評価③）
評価方法	①授業毎の小テスト：授業終了時までに提出（4%×14 回=56%） ②授業内での発言：授業中の質問に的確に答えられる（5%×3 回=15%） ③期末レポート：1,200～1,500 字のレポート（29%）
評価基準	①授業毎の小テスト：授業毎に実施する小テスト（選択式 3～4 問）を授業終了時までに提出する。 ②授業内での発言：14 回の授業のうち、最大 3 回分の点数が取れる。 ③期末レポート：教科書、講義中で紹介された事例を参考にした上、経済現象の事例を自らで考え、授業で扱った経済学の専門用語を使って説明できる。その上、自身の考えや考察を論述できる。（自分の論点を述べる際に、関連論文、政府報告書または新聞記事などの引用は認められるが、自分の言葉ではなく、コピペまたは引用の割合が全体の 2 割以上を占める場合、0 点となる）
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス 国民所得の測定（1）国内総生産の測定	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第 8 章　第 1-2 節）
2	国民所得の測定（2） GDP の構成要素、名目 GDP と実質 GDP	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第 8 章　第 3-5 節）
3	生計費の測定（1） 消費者物価指数	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第 9 章　第 1 節）
4	生計費の測定（2） インフレーション	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第 9 章　第 2 節）

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	生産と成長（1） 生産性、経済成長と公共政策	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第 10 章　第 1-3 節）
6	生産と成長（2） 失業	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第 10 章　付論）
7	貯蓄、投資と金融システム（1） 金融市場、貯蓄と投資	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第 11 章　第 1-2 節）
8	貯蓄、投資と金融システム（2） 貸付資金市場、貨幣システム	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（11 章, 3 節, 付論 1）
9	総需要と総供給（1） 短期の経済変動	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第 12 章　第 1-2 節）
10	総需要と総供給（2） 総需要曲線と総供給曲線	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第 12 章　第 3-4 節）
11	総需要と総供給（3） 経済変動の原因	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第 12 章　第 5 節）
12	開放マクロ経済学（1） 輸出、輸入	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第 13 章　第 1-2 節）
13	開放マクロ経済学（2） 購買力平価、為替市場	講義、質疑応答、テスト演習、講評、返却	授業内容をテキストで予習・復習（第 13 章　第 3 節）
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	マクロ経済学のまとめ	講義、質疑応答、講評、返却	授業の振り返り

テキスト	マンキュー・N・グレゴリー著、足立英之、石川城太、小川英治、地主敏樹、中馬宏之、柳川隆訳『マンキュー入門経済学（第 3 版）』（東洋経済新報社）
参 考 書	①日経ビジネス編集『日本経済入門 第 2 版（日経ビジネス）』（日経 BP） ②齊藤誠、岩本康志、太田聰一、柴田章久著『マクロ経済学　新版』（有斐閣） （数学を使ってしっかりマクロ経済学の基礎を学びたい人にはおすすめ）
その他 特記事項	①難しい数学を使わず、マクロ経済学の入門レベルの講義を行う。 ②教科書のすべての内容を解説しきれないので、無理のない範囲で予習または復習を望む。

科目名	BUS201:　経営学 A					担当教員	杉山　章
開講期	春	開講時限	木 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	マネジメント、ステークホルダー、戦略と組織、国際経営
授業の概要	ビジネスを取り巻く様々な事例を題材にして、経営学の基礎を幅広く取り扱い、社会と企業の関係、企業活動の意義と責任、マネジメントの重要性について『企業の戦略と組織の視点』から学ぶ。複雑に見える社会の動きを、シンプルに何がどのようになっているのかを理解する力は、就職活動だけでなく、将来の社会人（ビジネスパーソン）にとって重要な資質の 1 つであり、これらが身につけられるように積極的に考える参加型の授業を展開する。
達成目標（授業の目的）	経営学の視点から社会全体と経済活動、会社組織などが、どのような関係になっているのか、様々な仕組みを理解し、自ら考察する事ができるようになることを目標とする。
到達目標（学修成果）	1、経営学を中心に多角的な視点から、社会と経済活動や企業の関係を理解する事ができるようになる。 2、さまざまな経営学の基礎的な用語について説明できるようになる。
評価方法	・授業内テスト：60%　（1）前半試験：30%　（2）後半試験：30% ・授業態度、取り組み姿勢：40%
評価基準	・授業内テスト：講義で学んだ経営学の理論、用語など使って説明できているか理解度を評価する。 ・授業態度、取り組み姿勢：授業毎に行う小課題（リアクションペーパー）を評価する。 また講義への参加意識や受講姿勢は、状況に応じて成績評価の加点、減点の対象になる場合がある。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス、イントロダクション 『経営学って役に立つの？』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	経営学に関連した問題意識の整理
2	マネジメントとは何か？ 『組織の機能と構造について』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
3	株式会社とは何か？『企業の形態、種類、コーポレート・ガバナンス』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
4	ステークホルダーとは何か？ 『さまざまな利害関係者と企業の関係』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
5	企業のさまざまな戦略と組織 『戦略とフレームワーク』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
6	マーケティングとは？ 『儲かるとは？損益分岐点とマーケティング・リサーチ』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
7	第 1 回～6 回までのまとめ ＜前半試験アナウンス＞WEB 試験の実施	講義、質疑応答	授業内容を復習、学修成果を把握し、試験に取り組む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	前半試験の振り返り 日本的経営の特徴とマネジメント	試験講評・返却、講義 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
9	多国籍企業のマネジメント 『グローバルブランドと国際経営』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
10	企業と情報『デジタル社会とサプライチェーンマネジメント』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
11	企業の社会的責任と企業倫理 『CSR、CSV、ビジネス・エシックス』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
12	持続可能な社会の実現に向けて 『SDGs とこれからの企業と社会』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
13	第 8 回～12 回までのまとめ ＜後半試験アナウンス＞WEB 試験の実施	講義、質疑応答	授業内容を復習、学修成果を把握し、試験に取り組む
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	後半試験の振り返り 本講義全体のまとめ	試験講評・返却、講義 リアクションペーパー	授業内容を復習し授業全体の学修成果を整理する。

テキスト	教科書は特に定めない。必要な資料は授業毎に配布する。 （事前にアップロードしている場合は、各自ダウンロードして授業に持参のこと）
参 考 書	高橋 伸夫『大学 4 年間の経営学が 10 時間でざっと学べる』（KADOKAWA） 榊原 清則『経営学入門（上）第 2 版』（日本経済新聞出版社）

科目名	BUS202:　経営学 B					担当教員	杉山　章
開講期	秋	開講時限	木 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	グローバル、モチベーション、リーダーシップ、ダイバーシティ、サスティナビリティ
授業の概要	ビジネスを取り巻く様々な事例を題材にして、経営学の基礎を幅広く取り扱い、社会と企業の関係、企業活動の意義と責任、マネジメントの重要性について『企業および市場にいる人々の視点』から学ぶ。複雑に見える社会の動きを、シンプルに何がどのようになっているのかを理解する力は、就職活動だけでなく、将来の社会人（ビジネスパーソン）にとって重要な資質の 1 つであり、これらが身につけられるように積極的に考える参加型の授業を展開する。
達成目標（授業の目的）	経営学の視点から社会全体と経済活動、会社組織などが、どのような関係になっているのか、様々な仕組みを理解し、自ら考察する事ができるようになることを目標とする。
到達目標（学修成果）	1、経営学を中心に多角的な視点から、社会と経済活動や企業の関係を理解する事ができるようになる。 2、さまざまな経営学の基礎的な用語について説明できるようになる。
評価方法	・授業内テスト：60%　（1）前半試験：30%　（2）後半試験：30% ・授業態度、取り組み姿勢：40%
評価基準	・授業内テスト：講義で学んだ経営学の理論、用語など使って説明できているか理解度を評価する。 ・授業態度、取り組み姿勢：授業毎に行う小課題（リアクションペーパー）を評価する。 また講義への参加意識や受講姿勢は、状況に応じて成績評価の加点、減点の対象になる場合がある。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス、イントロダクション 『経営学って役に立つの？』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	経営学に関連した問題意識の整理
2	組織で働く、とは何か？ 『組織と個人の関係について』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
3	人はなぜ働くのか？：『モチベーション、やりがい、やる気』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
4	グローバル マネジメントとは？ 『企業文化とグローバル人材』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
5	顧客の心理を考える 『消費者行動とは何か？』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
6	消費者とマーケティング 『デジタル社会と顧客価値』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
7	第 1 回～6 回までのまとめ ＜前半試験のアナウンス＞WEB 試験の実施	講義、質疑応答	プリントやノートで授業内容を予習・復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	前半試験の振り返り 日本的経営の特徴と企業文化	講評、返却、講義、リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
9	人材開発とリーダーシップ：『今日的なリーダーシップとは？』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
10	人的資源管理、とは何か？：『人材とは人財である』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
11	ダイバーシティ：『女性活躍とイノベーション』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
12	サスティナビリティについて：『SDGs の実現に向けて』	講義、質疑応答 リアクションペーパー	プリントやノートで授業内容を予習・復習
13	第 8 回～12 回までのまとめ ＜後半試験のアナウンス＞WEB 試験の実施	講義、質疑応答	授業内容を復習、学修成果を把握し、試験に取り組む
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	後半試験の振り返り 本講義全体のまとめ	講評、返却、講義、リアクションペーパー	授業内容を復習し授業全体の学修成果を整理する。

テキスト	教科書は特に定めない。必要な資料は授業毎に配布する。 （事前にアップロードしている場合は、各自ダウンロードして授業に持参のこと）
参 考 書	高橋 伸夫『大学 4 年間の経営学が 10 時間でざっと学べる』（KADOKAWA） 榊原 清則『経営学入門（上）第 2 版』（日本経済新聞出版社）

科目名	SWF201:　社会福祉入門 A					担当教員	西牧　由起
開講期	秋	開講時限	木 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	教養としての社会保障と社会福祉（シチズンシップの観点からの社会福祉・社会保障）
授業の概要	我が国の社会保障や社会福祉の問題を幅広い見方でとらえていく。特に諸外国の社会福祉を学ぶことで、日本のあり方を考える。市民として知っておくべき社会保障や社会福祉について国際比較の視点を持ちながら学んでいく。
達成目標（授業の目的）	本講は、社会福祉を専門としている学生の理解する社会福祉よりも、より幅広い視点をもって、福祉や生活を考えることができるようにすることを目標とする。また、市民として知っておくべき社会保障や社会福祉について理解し、自分自身で説明できるようにする。
到達目標（学修成果）	学生が新聞やテレビを見る際に、現代の社会問題に関わる記事やニュースを、社会政策の観点から、より正確に、深く理解できるとともに、正しく説明できるようになる。
評価方法	①授業毎のリアクションペーパー（30%） ②授業への積極的参加（20%） ③レポート課題（2 回）（50%）
評価基準	①テキストや授業の内容を的確に理解し、要約できているかどうか。 ②授業内容の質疑応答、議論に参加しているかどうか。（特に、教員からの質問や意見について求められた際に、応えることができる。） ③社会問題について、参考文献等を用いてきちんと調べた上で自分の意見を論理的に記述できているかどうか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle で行う／Loyola / Moodle
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	講義の概要 社会福祉とは何か	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書序章を予習 配布資料の復習
2	社会福祉の基礎概念について ーアルムス、アリメント、カリタス	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書第 1 章 1、3、4 節を予習、配布資料の復習
3	我が国における社会福祉の歴史的変遷	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書第 1 章 2 節を予習、配布資料の復習
4	諸外国における社会福祉の歴史的変遷 ー日本の福祉の仕組みを客観的に考える	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書第 1 章 5 節を予習、配布資料の復習
5	海外の社会福祉に関する映像を見ながら日本の福祉について考える	講義、意見交換、リアクションペーパー	Loyola に掲載の資料を予習 配布資料の復習、レポート①提出
6	幸福・豊かさと福祉（Q.O.L、Q.o.Death&Dying）安心の基盤とは	講義、意見交換、リアクションペーパー	Loyola に掲載の資料を予習 配布資料の復習
7	社会福祉の動向について ー少子高齢社会、人口減少社会	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書第 2 章 1、2、3 節を予習、配布資料の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	海外の社会福祉に関する映像を見ながら日本の福祉について考える	講義、意見交換、リアクションペーパー	Loyola に掲載の資料を予習 配布資料の復習
9	社会福祉に関する法制度 －社会保障、社会保障制度の体系、社会政策	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書第 3 章 1、2 節を予習 配布資料の復習
10	福祉行財政 －社会福祉の行政、社会保障の財源と費用	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書第 3 章 3、4 節を予習 配布資料の復習
11	社会福祉制度 －低所得者に対する支援と生活保護制度	講義、意見交換、リアクションペーパー	Loyola に掲載の資料を予習 配布資料の復習
12	社会福祉を支える組織と担い手	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書第 4 章 1～3 節を予習、 配布資料の復習
13	社会福祉を支える組織と担い手 －供給体制作り	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書第 4 章 4 節を予習 資料の復習、レポート②提出
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	まとめ	講義、意見交換、リアクションペーパー	第 1 回～13 回の授業の復習

テキスト	栃本一三郎編『新しい視点で学ぶ社会福祉』（光生館）
参 考 書	岩田正美・上野谷加代子・藤村正之『ウェルビーイング・タウン　社会福祉入門改訂版』（有斐閣アルマ）

科目名	SWF202:　社会福祉入門 B					担当教員	小山　泰明
開講期	秋	開講時限	金 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	社会福祉の広がりと深さ、社会政策、主体としての社会福祉、客体としての社会福祉
授業の概要	社会福祉についての基礎的理解のための入門的な授業を行う。テキストに沿って基本的な概念や枠組みを理解していくことが中心となるが、正確で確実な知識の取得、およびその取得方法、そして社会で生活していく上で必須となる社会福祉、社会保障についての知識を教授する。
達成目標（授業の目的）	社会保障も視野においた広義の社会福祉についての現状、制度、法律について基礎的知識を得る。自己と社会との関係を自分の言葉で説明できるようになる。新聞で取り上げられる社会福祉や社会保障、社会問題の記事について、専門的な視点からある程度読み解くことができるようになる。
到達目標（学修成果）	授業および教科書に書かれている事柄を、新聞記事を利用して自分で調べ、理解し、さらに他者に説明出来るようになる。また、社会福祉や社会保障を自分や家族の生活に引きつけて自分の言葉で語れるようになる。
評価方法	①毎回の新聞の切り抜きとコメント（20%）、②授業毎のリアクションペーパー（30%）、③期末課題（2,000 字以上のレポート）（50%）
評価基準	①国内外の社会福祉や社会保障、社会問題の新聞記事を切り抜いて提出、かつコメント（200 字以上）を付ける。提出回数とコメントの妥当性によって評価する。②自分なりにその回の学習内容やキーワードが何であったかを確認しながら記述する。③配布資料や紹介した文献をもとに、自身が関心を寄せるテーマについて、講義を通じて学んだことを生かしながら自分の考えを論理的に述べることができるかを判断し評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	イントロダクション－講義の進め方、テキストの読み方	講義、意見交換	テキスト序章を予習
2	社会福祉とは何か①－社会福祉と社会保障、社会福祉の基礎概念	講義、新聞切り抜き提出（以下「新聞」）	テキスト第 1 章第 1 節を予習
3	社会福祉とは何か②－日本における社会福祉の内容と歴史的経過	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	テキスト第 1 章第 2 節を予習、配布資料の復習
4	社会福祉とは何か③－ソーシャルポリシー、ニーズの種類、社会福祉の資源	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	テキスト第 1 章第 3、4 節を予習、配布資料の復習
5	社会福祉とは何か④－現金給付と現物給付、普遍主義と選別主義	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	テキスト第 1 章第 4、5 節を予習、配布資料の復習
6	社会福祉の動向①－少子高齢社会、人口減少社会、これからの人口推計	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	テキスト第 2 章第 1 節を予習、配布資料の復習
7	社会福祉の動向②－在宅福祉、地域福祉、社会福祉 8 法改正、社会福祉基礎構造改革	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	テキスト第 2 章第 2、3、4、5 節を予習、配布資料の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	社会福祉の法と行財政①－社会福祉の法制度、社会保障、社会福祉法人	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	テキスト第 3 章第 1 節を予習、配布資料の復習
9	社会福祉の法と行財政②－社会保障給付費、国民負担率、税と社会保障	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	テキスト第 3 章第 2 節を予習、配布資料の復習
10	社会福祉の供給体制①－供給体制の変遷、政府部門、民間部門	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	テキスト第 4 章第 1、2、3 節を予習、配布資料の復習
11	社会福祉の供給体制②－地域を基盤とした公民協働による支援体制	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	テキスト第 4 章第 3、4 節を予習、配布資料の復習
12	社会福祉と労働①－社会福祉専門職と労働法制	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	テキスト第 5 章第 1、2、3 節を予習、配布資料の復習
13	社会福祉と労働②－労働法制と就労支援	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	配布資料の復習 期末課題準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	まとめと期末課題の講評	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	テキスト序章を今一度復習

テキスト	栃本一三郎編『新しい視点で学ぶ社会福祉－保育士を志す人のために』（光生館）
参 考 書	岩田正美・上野谷加代子・藤村正之編『社会福祉入門』（有斐閣アルマ）

科目名	JRN202:　マスメディア論 A					担当教員	吉武　希
開講期	春 / 秋	開講時限	月 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	コミュニケーション論、マスコミュニケーション論、ジャーナリズム史
授業の概要	現在まで、メディアがどのように発展してきたか、社会的にどのような役割を担ってきたかといったマスメディアに関する歴史とコミュニケーション研究の基礎的な概説を行う。その上で、現代社会における新聞・出版・放送・通信といったメディア別の特徴やその役割、影響について検証する。
達成目標（授業の目的）	メディアの歴史や基礎的な理論、現代社会におけるメディアの役割や影響について理解する。その上で、メディアが関係する現代社会の諸問題について、分析を行い、批判的に考えることができるようになる。
到達目標（学修成果）	本科目を通じて、メディアの歴史や理論を理解することで、客観的視点から現代社会における諸問題の批判的思考と考察能力を身につける。
評価方法	①Reaction Paper（20%） ②授業への積極的参加（20%） ③期末レポート（30%） ④授業内試験 2 回（30%）
評価基準	①講義内容を踏まえて自分の意見を論理的に述べられているか。②グループワーク等に積極的に参加し、指定テーマについてのディスカッションでは、学術的な発表ができているか。③講義内容でもあるマスメディア論を題材としたテーマについて、参考文献を用いる等、データに基づいて論理的に述べられているか。④授業内容について内容を理解し、設問に適切に回答ができているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	イントロダクション マスメディア論の概論	講義、Reaction Paper	第 1 回授業内容の復習
2	マス・コミュニケーション・メディアの進化	講義	第 2 回授業内容の復習
3	メディアの日本史①：近代	講義、Reaction Paper	第 3 回授業内容の復習
4	メディアの日本史②：戦後	講義	第 4 回授業内容の復習
5	メディアの日本史③：まとめ（映像学習）	ディスカッション、Reaction Paper	第 5 回授業内容の復習
6	第 1 回　授業内試験　解答・解説 メディア理論への導入	授業内試験 講義	第 1～5 回授業内容の総復習
7	メディア理論①：メディア効果論	講義	授業内試験の振り返り 第 7 回授業内容の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	メディア理論②：メディアと政治	講義、Reaction Paper	第 8 回授業内容の復習
9	メディア理論③：カルチュアルスタディーズ	講義	第 9 回授業内容の復習 グループワークの準備
10	グループワーク：テーマ（メディア理論）	グループワーク、 Reaction Paper	グループワーク振り返り
11	第 2 回　授業内試験　解答・解説 メディアの現在への導入	授業内試験 講義	第 7～9 回授業内容の総復習 期末レポート準備
12	メディアの現在①：新聞・出版	講義	第 12 回授業内容の復習
13	メディアの現在②：放送（テレビ・ラジオ）と通信（インターネット）・SNS	講義、Reaction Paper	第 13 回授業内容の復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	「メディアの現在」まとめ、期末レポート提出、総括	講義	振り返りアンケート調査 まとめ学習

テキスト	特定のテキストを指定しない。講義内容によっては参考書や講義中に紹介する追加の参考書を基に作成したレジュメを配布する。
参 考 書	春原昭彦・武市武雄［編］『ゼミナール 日本のマス・メディア第 3 版』（日本評論社） 水越伸『21 世紀メディア論』（放送大学教育振興課）

科目名	JRN203:　マスメディア論 B					担当教員	吉武　希
開講期	春 / 秋	開講時限	月 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。					2-①
キーワード	コミュニケーション論、マスコミュニケーション論、メディア・リテラシー						
授業の概要	マスメディア論、マスコミュニケーション論の基礎的な概論を基にメディアやインターネットの普及がもたらした社会問題等を概説する。その上で、現代社会における諸課題についてメディアが社会に対して果たす、また果たすべき責任と役割について考察する。						
達成目標（授業の目的）	メディアの発展と社会のコミュニケーションの関係性を理解し、現代におけるマスメディアやグローバルメディア、特にコンテンツプロバイダと呼ばれる事業者の社会責任について、意識し批判的に考えることができるようになる。						
到達目標（学修成果）	本科目を通じて、我々が社会で行っているコミュニケーションとメディアの関係を理解することで、メディアやインターネット上に流れている情報について、正確な情報を読み取る能力や、批判的思考を身に付ける。						
評価方法	①Reaction Paper（30%） ②授業への積極的参加（20%） ③テーマ発表評価（20%） ④期末レポート（30%）						
評価基準	①講義内容を踏まえて自分の意見を論理的に述べられているか。②グループワーク等に積極的に参加しているか。③指定テーマについて学術的なプレゼンテーションができているか。④講義内容でもあるマスメディア論を題材としたテーマについて、参考文献を用いる等、根拠のあるデータに基づいて論理的に述べられているか。						
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally						
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	イントロダクション マスメディア概論	講義、Reaction Paper	第 1 回授業内容の復習
2	表現の自由とジャーナリズム	講義、Reaction Paper	第 2 回授業内容の復習
3	世論とメディア	講義	第 3 回授業内容の復習
4	社会的コミュニケーションとメディア①：概論	講義、Reaction Paper	第 4 回授業内容の復習
5	社会的コミュニケーションとメディア②：ディスカッション	ディスカッション、Reaction Paper	第 5 回授業内容の復習
6	パーソナルコミュニケーションとメディア	講義	第 6 回授業内容の復習 プレゼンテーションの準備
7	国際コミュニケーションとメディア・リテラシー	講義、Reaction Paper	第 7 回授業内容の復習 プレゼンテーションの準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	ソーシャルメディア・コミュニケーション	講義	第 1～8 回授業内容の復習 プレゼンテーションの準備
9	発表テーマ：メディアと政治 ・経済	プレゼンテーション、Reaction Paper	プレゼンテーションの準備
10	発表テーマ：メディアと戦争	プレゼンテーション、Reaction Paper	プレゼンテーションの準備
11	発表テーマ：メディアと現代社会	プレゼンテーション、Reaction Paper	プレゼンテーションの準備 期末レポート準備
12	発表テーマ：メディアと教育	プレゼンテーション、Reaction Paper	プレゼンテーションの準備
13	発表テーマ：メディアとフェイクニュース	プレゼンテーション、Reaction Paper	プレゼンテーションの振り返り
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	発表テーマの振り返り、期末レポート提出、総括	講義	振り返りアンケート調査 まとめ学習

テキスト	特定のテキストを指定しない。講義内容によっては参考書や講義中に紹介する追加の参考書を基に作成したレジュメを配布する。
参 考 書	春原昭彦・武市武雄［編］『ゼミナール 日本のマス・メディア第 3 版』（日本評論社） 浜田純一、田島泰彦、桂敬一編『新訂新聞学』（日本評論社）

科目名	COM101:　基礎コンピューター演習					担当教員	坂本　明子
開講期	春	開講時限	金 3 限 金 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-②

キーワード	コンピュータ、情報リテラシー、情報処理、Office、Word、Excel、PowerPoint
授業の概要	コンピュータを利用して、情報を収集・処理し、文書にまとめ、プレゼンテーションを行うための基礎的な技法について実習を通じて学ぶ。ネット上におけるマナーや、情報リテラシーについて学ぶ。
達成目標（授業の目的）	① タッチタイピングを身につける ② Word、Excel、PowerPoint の基本的な操作を身につける ③ 大学生そして社会人として要求される情報リテラシーおよびコンピュータを利用した情報処理の基本を身につける
到達目標（学修成果）	① 短時間に正確な入力作業を行うことができる ② Word、Excel、PowerPoint の基本的な機能を用いた資料（レポート、資料の整理、発表資料）の作成を行うことができる ③ ネット上におけるセキュリティの意識付けやマナーを身につけ、実践できるようにする
評価方法	① 授業ごとの演習課題（合計 10 回）：30% ② Word を用いたレポートの作成（総合演習）：20% ③ Excel を使用したデータ処理（総合演習）：30% ④ PowerPoint を使用したプレゼンテーションの実践と相互評価（総合課題）：20%
評価基準	① 授業ごとの演習課題：その日の授業内容がどれだけ理解できたか ② レポート作成：必要な情報を収集し、適切な書式や表現でまとめられているか ③ データ処理：様々なデータに対して意図した処理が実現できるかどうか ④ プレゼンテーションの実演と相互評価：集めた情報をもとに発表のための資料を作成し、他者にどれだけ伝えることができるかどうか
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・上記以外で行う／other：（講義専用サイトにて知らせる）
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	PC の基本操作	解説、PC 実習	実習で使用するアカウント等の準備
2	キーボード操作とタイピング Word による文書作成（1）	解説、PC 実習	第 2 回授業の演習課題
3	Word による文書作成（2） 文書の作成、書式設定	解説、PC 実習	第 3 回授業の演習課題
4	Word による文書作成（3） 表の作成・編集、図の挿入等、総合演習	解説、PC 実習	第 4 回授業の演習課題
5	Excel による表計算（1） 基本操作	解説、PC 実習	Word のレポート提出
6	Excel による表計算（2） 相対参照、絶対参照、複合参照	解説、PC 実習	第 6 回授業の演習課題

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Excel による表計算（3） グラフの作成	解説、PC 実習	第 7 回授業の演習課題
8	Excel による表計算（4） データベース機能・ピボットテーブル機能	解説、PC 実習	第 8 回授業の演習課題
9	Excel による表計算（5） マクロ機能	解説、PC 実習	第 9 回授業の演習課題
10	Excel による表計算（6） 総合演習	解説、PC 実習	第 10 回授業の演習課題
11	PowerPoint による資料作成（1） 基本的な操作など	解説、PC 実習	第 11 回授業の演習課題 Excel のレポート提出
12	PowerPoint による資料作成（2） 総合演習	解説、PC 実習	第 12 回授業の演習課題
13	PowerPoint によるプレゼンテーションの実演	発表、相互評価	発表の準備 PowerPoint のレポート提出
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	まとめ（総合演習）	解説、PC 実習	総合演習の提出

テキスト	『情報リテラシー アプリ編＜改訂版＞（Windows 10・Office 2016 対応）』（FOM 出版 2018）

科目名	COM101:　基礎コンピューター演習					担当教員	津垣　正男
開講期	秋	開講時限	火 4 限 金 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-②

キーワード	情報処理，情報リテラシー，Office，Word，Excel，PowerPoint，Html
授業の概要	大学生として必要最低限のコンピュータスキルを身に付けるための演習であり，実際にパソコンを動かしながら PC の基本的な操作と情報リテラシーを学ぶ．具体的にはパソコンの基本（主にタイピング），Word，Excel，PowerPoint の基本的な操作，Html の学習を通じてインターネットの仕組みを学ぶ．
達成目標（授業の目的）	①タッチタイピングを身につける． ②Word，Excel，PowerPoint の基本的な操作を身につける． ③Web ページ作成の基礎を身につける．
到達目標（学修成果）	①短時間に正確な入力作業を行うことができる． ②Word，Excel，PowerPoint の基本的な機能を用いた資料（レポート，資料の整理，発表資料）の作成を行うことができる． ③シンプルな Web ページを作成することができる．
評価方法	①タイピング課題（10%）：P 検の無料タイピング練習のインターネット版（ソーシャル投稿非対応）の英語入力を用いた測定を行う． web サイト：http://www.pken.com/tool/typing.html ②演習課題（50%）：毎回の授業においてその回の理解度をはかるための演習課題を課す．また，PowerPoint を用いたプレゼンテーションも行ってもらう． ③レポート課題（40%）：授業を Word，Excel，PowerPoint，Html の単元に分け，各単元の最後にレポートを課す．
評価基準	①タイピング課題：3 分間で正打率 95%以上，文字数 390 以上を基準とする． ②演習課題：指示通りに提出ファイルが作成されているかどうかをみる．PowerPoint の実演においては，発表準備が十分にできているかどうかをみる． ③レポート課題：指示通りに作成されているかどうかをみる．
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	PC（Windows）の基本操作	PC 実習，解説	アカウントの準備
2	キーボード操作とタイピング： タイピング演習（1）	PC 実習，解説	前回内容の復習
3	Word による文章作成： 基本的な操作方法を学ぶ	PC 実習，解説	前回内容の復習
4	Word による文章作成： 総合演習，タイピング演習（2）	PC 実習，解説	前回内容の復習
5	Excel による表計算： 関数の扱い，相対参照，絶対参照 など	PC 実習，解説	Word のレポート提出

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Excel による表計算： グラフの作成・複数のシートの操作など	PC 実習，解説	前回内容の復習
7	Excel による表計算： データベースの操作など	PC 実習，解説	前回内容の復習
8	Excel による表計算： ピボットテーブルの操作など，タイピング演習（3）	PC 実習，解説	前回内容の復習
9	PowerPoint による資料の作成： 基本的な操作など	PC 実習，解説	Excel のレポート提出
10	PowerPoint による資料の作成： 総合演習，タイピング演習（4）	PC 実習，解説	前回内容の復習
11	PowerPoint による資料の作成： プレゼンテーションの実演	PC 実習，解説	発表の準備 PowerPoint のレポート提出
12	HTML による Web ページの作成： HTML 文章の基本構造を学ぶ	PC 実習，解説	前回内容の復習
13	HTML による Web ページの作成： 画像の挿入，リンクの張り方など	PC 実習，解説	前回内容の復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	HTML による Web ページの作成： 総合演習，タイピング演習（5）	PC 実習，解説	前回内容の復習 Html のレポート提出

テキスト	『学生に役立つ Word & Excel & PowerPoint』（FOM 出版）

科目名	MTH201:　数学 A					担当教員	津垣　正男
開講期	秋	開講時限	火 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	数学，適性検査，SPI，非言語能力，数的処理
授業の概要	①適性検査・SPI において出題される非言語能力（数学）の演習と課題の解説を行う． ②英語で書かれた数学の問題（中学の内容）の演習と課題の解説を行う．
達成目標（授業の目的）	①適性検査・SPI において必要とされる数学の知識が何であるかを知る． ②英語の数学用語に慣れる．
到達目標（学修成果）	①適性検査・SPI の数学の問題を短時間で解くことができるようになる． ②中学の範囲までの英語で書かれた数学の問題を解くことができるようになる．
評価方法	①毎回の授業での課題：60% ②適性検査・SPI 対策授業内試験（2 回）：40%
評価基準	①毎回の課題の評価は「考え方が理解できているかどうか」を重視するので、途中計算と説明の記述を求める． ②実際の適性検査・SPI と同様の問題を用いた試験を 2 回行う．ただし，考え方の確認も行うので，途中計算と説明の記述の確認も行う．詳細は初回授業で説明する．
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	推論	演習，質疑応答	ノートの準備
2	図形の読み取り，集合	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
3	英語での問題演習： 基本用語の紹介，多項式，ルートの計算	演習，質疑応答	配布プリントの予習
4	順列，組み合わせ	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
5	確率	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
6	英語での問題演習： 2 次方程式，関数	演習，質疑応答	配布プリントの予習
7	第 1 回適性検査・SPI 対策授業内試験 試験の解説	試験，試験の解説	ここまでの内容の復習
8	料金の割引，損益算，分割払い，仕事算	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
9	英語での問題演習： 図形に関する問題演習① （相似，合同 等）	演習，質疑応答	配布プリントの予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	速さ，距離，時間	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
11	割合，比，代金の清算	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
12	英語での問題演習： 図形に関する問題演習② （円，ピタゴラスの定理 等）	演習，質疑応答	配布プリントの予習
13	整数の推測，グラフの領域，物の流れと比率，装置と回路	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	第 2 回適性検査・SPI 対策授業内試験 試験の解説	試験，試験の解説	ここまでの内容の復習

テキスト	*THE SHIN-CHU-MON mathematics for 9-th grade*（教育開発出版社）.
参 考 書	SPI ノートの会（著）津田秀樹（著）『これが本当の SPI3 だ！』（洋泉社）

科目名	MTH202:　数学 B					担当教員	津垣　正男
開講期	秋	開講時限	金 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	数学，統計学，微積分学
授業の概要	①統計学とは，大きなデータから一部を抜き取り，その抜き取ったデータの性質を調べることで元の大きなデータの性質を推測する方法を体系化したものである．本授業では大学における統計学の入門コースで学ぶ内容（授業計画参照）を扱う． ②高校の数学 II における微積分学の基礎的な内容を扱う．
達成目標（授業の目的）	①統計学とは何か，統計学を用いると何ができるようになるのかを知る． ②微積分学の基礎計算力を養成することを目標とする．
到達目標（学修成果）	①収集したデータの平均や分散，標準偏差などを計算することでデータの性質を把握することができる．（記述統計） ②大きなデータから一部を抜き取り，その抜き取ったデータに対し推定・検定の計算をすることで元の大きなデータの性質を把握することができる．（推測統計） ③基本的な関数（多項式関数，指数関数，対数関数，三角関数，逆三角関数）に関する微積分の計算ができる．
評価方法	①各回のテーマに関する提出課題：60% ②授業内試験（2 回）：40%
評価基準	①授業の内容を的確に理解し，記述統計に関するデータの処理を正しく行えるかどうか ②授業の内容を的確に理解し，推測統計に関するデータの処理を正しく行えるかどうか ③授業の内容を的確に理解し，微積分に関する計算を正しく行えるかどうか
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	統計学：平均と分散微積分学：関数	演習課題の提出，質疑応答	ノートの準備
2	統計学：信頼区間（母分散が既知の場合）	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
3	微積分学：指数関数，対数関数，三角関数	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
4	統計学：信頼区間（母分散が未知の場合）	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
5	微積分学：多項式関数の微分の計算	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
6	ここまでの内容の復習 第 1 回授業内試験	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
7	第 1 回授業内試験の解説	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	統計学：カイ 2 乗検定	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
9	微積分学：基本的な関数の微分の計算	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
10	統計学：母平均の検定	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
11	統計学：対応のある平均の差の検定	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
12	微積分学：基本的な関数の積分の計算	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
13	ここまでの演習 第 2 回授業内試験	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	第 2 回授業内試験の解説	演習，質疑応答	ここまでの内容の復習

テキスト	向後千春／冨永敦子 著『統計学がわかる』（技術評論社）
参 考 書	宮川公男 著『基本統計学』（有斐閣） 小島寛之 著『完全独習 統計学入門』（ダイヤモンド社）

科目名	PSY201:　心理学 A					担当教員	奥村　桃子
開講期	春 / 秋	開講時限	木 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	心理学の歴史、心理学研究法、認知心理学、パーソナリティ心理学、社会心理学、臨床心理学
授業の概要	心理学の主要な領域を概観しながら、心の発達や健康への理解に向けて授業を進めていきます。基本的には講義形式ですが、テーマによって理解がより深められるよう、DVD などの視聴覚教材を使用します。また、授業内で関連のある話題を提供します。
達成目標（授業の目的）	心理学という学問の基本的な考え方や研究方法、学問成立の背景などを理解するとともに、各々の基本的な知識を修得し、心理学的視点に基づいた考え方を展開できるようになることを目標としています。
到達目標（学修成果）	①心理学を通じて、人のこころや行動の意味について理解を深める。 ②基礎的な心理学領域の知見から、日常生活における人間理解や社会生活に応用して思考できるようになる。
評価方法	①毎授業のリアクションペーパー：50% ②レポート課題 2 回 ：50%
評価基準	・リアクションペーパー：①授業で学習したポイントを理解し授業内容を踏まえた自らの考えを記述できているかどうか ②質問・疑問を通じて積極的に授業に参加しているかどうか ・レポート：学習内容を理解し、自分の経験等を踏まえた上で、自分なりの考えを比較や考察を加えて記述できているかどうか
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション：授業の進め方 心理学概論	講義、質疑応答、リアクションペーパー	Moodle 登録と次回の授業準備
2	心理学の歴史	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と研究方法について事前学修
3	心理学の研究方法	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と認知についての事前学修
4	認知心理学 認知とは？	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習とパーソナリティについての事前学修
5	パーソナリティ心理学 パーソナリティとは？	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と社会心理学についての事前学修
6	社会心理学（1） 社会心理学とは？	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と対人認知・他者理解ついての事前学修
7	社会心理学（2） 対人認知・他者理解	講義、質疑応答、リアクションペーパー	第 1～6 回の授業復習と臨床心理学についての事前学修

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	臨床心理学（1） 臨床心理学とは？	講義、質疑応答、リアクションペーパー	レポート作成と心理アセスメントについての事前学修
9	臨床心理学（2） 心理アセスメント／心の病気Ⅰ	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と心の病気についての事前学修
10	臨床心理学（3） 心の病気Ⅱ	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と発達障がいの概要について事前学修
11	臨床心理学（4） 発達障がいとは？Ⅰ	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と発達障がいについての事前学修
12	臨床心理学（5） 発達障がいとは？Ⅱ	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と発達障がいの具体的イメージをしてみる
13	臨床心理学（6） 発達障がいとは？Ⅲ	視聴覚教材、リアクションペーパー	レポート作成と第 8～12 回の授業復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	全体のまとめ、質疑、補足	講義、質疑応答、リアクションペーパー	第 1～13 回の講義のまとめと振り返り

テキスト	指定しない。授業に関連する資料を Moodle に掲載する。
参 考 書	岩壁茂ら著『臨床心理学入門』（有斐閣アルマ）、道又爾ら著『認知心理学』（有斐閣アルマ）、サトウタツヤら著『心理学入門』（有斐閣アルマ）

科目名	PSY202:　心理学 B					担当教員	奥村　桃子
開講期	春 / 秋	開講時限	木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	生涯発達、認知発達、対人関係、乳幼児期、愛着
授業の概要	発達心理学研究に基づいて、人の発達について多角的に理解することを目指し、胎児から老人にわたる各発達段階の特徴や発達のメカニズムについて解説します。基本的には講義形式ですが、本授業での学びを深め、日常生活に役立てることができるように、視聴覚教材も使用します。
達成目標（授業の目的）	発達心理学の基本的な用語や知識を修得し、人の発達のメカニズムについて理解することを目的としています。生命誕生から人間がどのように発達し、年齢を重ねていくのかについて基本的な発達心理学的思考を身につけ、自分自身の発達過程を振り返りながら現在の自己に向き合い、先の発達を展望する機会を提供します。
到達目標（学修成果）	①人間を発達心理学的な観点から理解する視点を持てるようになる。 ②現在の心の在り方を一生涯という長い時間軸の中で理解し、自分自身の現在を振り返り展望して考えることができるようになる。
評価方法	①毎授業のリアクションペーパー：50% ②レポート課題 2 回：50%
評価基準	・リアクションペーパー：①授業内容を踏まえた自らの考えをリアクションペーパーに記述できているか ②質問・疑問を通じて積極的に授業に参加しているかどうか ・レポート：学習したポイントや心理学用語を正確に理解し、自らの経験等と照らし合わせながら適切に記述できているかどうか
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション：授業の進め方等 生涯発達心理学とは？	講義、リアクションペーパー	Moodle 登録と遺伝的要素／環境的要素について考える
2	発達の可塑性 遺伝と環境	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習とピアジェ／エリクソンについて事前学修
3	発達モデル ピアジェとエリクソン	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と胎児／新生児についての事前学修
4	認知発達の基盤 1 胎児と新生児	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の復習と胎児・新生児の具体的なイメージをしてみる
5	認知発達の基盤 2 胎児と新生児の実態	視聴覚教材、リアクションペーパー	前回の授業復習と乳児についての事前学修
6	認知発達の基盤 3 乳児期	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と幼児についての事前学修
7	認知発達の基盤 4 幼児期	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と乳幼児の実態を具体的に考えてみる

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	認知発達の基盤 5 乳幼児期の実態	視聴覚教材、リアクションペーパー	前回の授業復習と学校における認知能力ついての事前学修
9	子どもの自己発達 自己を表現する	講義、質疑応答、リアクションペーパー	レポート作成と乳幼児の遊びについての事前学修
10	他者との関係性のはじまり 1 遊び	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と友達関係についての事前学修
11	他者との関係性のはじまり 2 友人関係の発達	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と親になることについて考えてみる
12	親になるということ	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業復習と成人・高齢期の認知能力ついて事前学修
13	認知能力の生涯発達 成人後・高齢期の認知能力	講義、質疑応答、リアクションペーパー	第 9 回～第 13 回の授業復習（レポート作成の準備）
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	全体のまとめ、質疑、補足	講義、質疑応答、リアクションペーパー	第 1～13 回の講義のまとめと振り返り

テキスト	指定しない。授業に関連する資料を Moodle に掲載する。
参 考 書	鈴木忠・飯牟礼悦子・滝口のぞみ著『生涯発達心理学』（有斐閣アルマ）

科目名	PED100:　体育理論（ウエルネスと身体）					担当教員	髙橋　弥生
開講期	春 / 秋	開講時限	金 3 限 金 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-③

キーワード	健康、スポーツ、身体構造、トレーニング
授業の概要	ウエルネスとは、健康を身体の側面だけでなくより広範囲の視点から捉えた健康観である。 この授業では、ウエルネスの観点から豊かな生涯を生きるために健康と身体についての基礎的知識を学び、自らの健康と周囲の方の身体に向き合い行動することを学ぶ。
達成目標（授業の目的）	健康の保持・増進に必要な基礎的知識を獲得し、自らの健康観および生活習慣を顧みて健康観を構築するとともに、身体および運動に関する知識と理解を深めることを目的とする。
到達目標（学修成果）	本講義での到達目標は、以下のとおりである。 ・自らの健康に関連する問題を発見・整理する ・ウエルネスの観点から豊かな社会生活を送るために、本講義で得た知識を日常生活に導入し、さらに周囲の人に伝えられるようになる
評価方法	① 授業への積極的参加：20% ② リアクションペーパー：20% ③ 期末プレゼンテーション：25% ④ 確認テスト：35%
評価基準	① 授業への積極的参加 　授業への出席態度、発言、ディスカッションでの積極性 ② リアクションペーパーの提出 　毎回の授業内容を理解し、自らの考察を踏まえて記述されているか ③ 期末プレゼンテーション 　授業で学んだことからさらにオリジナリティのある考察がなされているか 　問題提起、解説、問題の論証があり論証から飛躍せず帰結した結論が述べられているか 　声の大きさやスピードが適切で聞き取りやすい発表であるか ④ 確認テスト 　授業内容を理解し知識として身についているか、自らの考えや意見を記述できているか ＊②～④いずれも研究倫理に反する場合は 0 点となる。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス、健康とは何か （授業概要の説明）	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	シラバスと配布資料の確認
2	心の健康	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	配布資料の復習 （自筆ノートのまとめ）
3	健康と運動の関わり① （運動が身体に及ぼす影響）	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	配布資料の復習 （自筆ノートのまとめ）
4	健康と運動の関わり② （体組成をどうみるか）	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	配布資料の復習 （自筆ノートのまとめ）

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	骨と筋肉、トレーニング	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	配布資料の復習（自筆ノートのまとめ）
6	健康と栄養の関わり	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	配布資料の復習（自筆ノートのまとめ）
7	ストレス、休養	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	配布資料の復習（自筆ノートのまとめ）
8	ドーピング、薬物乱用	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	配布資料の復習（自筆ノートのまとめ）
9	体罰、ハラスメント	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	配布資料の復習（自筆ノートのまとめ）
10	ネット依存、熱中症	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	配布資料の復習（自筆ノートのまとめ）
11	自身の健康寿命について	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	配布資料の復習（自筆ノートのまとめ）
12	期末プレゼンテーション	ディスカッション	配布資料の復習（自筆ノートのまとめ）
13	課題の解説と確認テスト	講義・論述試験	課題の復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	総括と試験の返却および解説	講義・リアクションペーパー	全授業の振り返り

テキスト	指定しない　新聞記事、下記参考書をもとにした資料
参 考 書	深代千之ほか著『スポーツでのばす健康寿命』（東京大学出版会） 大山卞圭悟『アスリートのための解剖学』（草思社）
その他 特記事項	自らの健康に関心を持ち、日々の健康管理に努める中で周囲の方の健康にも目を向け、多くの方が心身ともに健康に過ごせるような働きを心掛けながら授業に臨んでほしい。

科目名	PED113:　体育 A					担当教員	若松　健太
開講期	春 / 秋	開講時限	火 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-③

キーワード	体育、スポーツ、健康
授業の概要	本授業は、ラケットやバットなど道具操作を伴うスポーツを中心とした実技授業である。健康づくりや運動の仕組み、各種目のルールを学び目的に応じた方法を理解することで、生涯にわたってスポーツや運動を親しむための資質や能力を育む。また、「体育理論（ウエルネスと身体)」の講義内容と併せることで、自らの健康の維持および増進、生活習慣病に関する理解を深める。
達成目標（授業の目的）	スポーツをする上で重要となる種目の専門性に応じた競技特性を学び、スポーツおよび運動を通じて豊かなスポーツライフを継続するために必要な資質や能力を高める。また協同学習を通じてコミュニケーションスキルやリーダー＆フォローワーシップの重要性を考え、創意工夫するとともに、運動技能の習熟に合わせてより優れた状態を目指すことを目的とする。
到達目標（学修成果）	・体調を管理して万全な状態で授業に臨み、周囲の環境に応じて行動をとることができる。 ・授業に対して目標や目的を明確にして学びを深めることができる。 ・健康づくりや運動の仕組み、各種目のルールを学び、目的に応じた方法を理解することができる。 ・運動技能の習熟とともに、より優れた状態を目指して努力することができる。 ・設定された課題をもとに、自身の態度、行動、発言に加えて、自身のこころと身体の変化に関して振り返ることができる。
評価方法	①授業への積極的参加 ・授業への出席態度、発言、円滑な授業運営に対する積極性　40% ・協調性　40% ②体育実技能力 ・技能習得への向上心、創意工夫　20%
評価基準	①授業への積極的参加 ・授業への出席態度、発言、円滑な授業運営に対する積極性 運動に適した服装で受講し、ウォーミングアップ・クーリングダウンを行い健康管理に努めることができる。また準備・後片付けなど円滑な授業運営に対し積極的に行動することができる。 ・協調性 仲間とのコミュニケーションやリーダー＆フォローワーシップの重要性を考え、行動することができる。 ②体育実技能力 ・技能習得への向上心、創意工夫 運動技能習熟とともにより優れた状態を目指して努力することができる。また運動の仕組み、各種目のルールを学び、目的に応じた方法を理解し創意工夫することができる。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス （授業概要、注意事項、評価基準の説明）	ペアワーク グループワーク	シラバスを熟読、資料にて授業内容を復習する。
2	モルック （基本的なルール、基本動作、ゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
3	バドミントン① （基本的なルール、基本動作、ミニゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
4	バドミントン② （応用ルール、応用動作、ゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
5	バドミントン③ （シングルス・ダブルスゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
6	テニス① （基本的なルール、基本動作、ミニゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
7	テニス② （応用ルール、応用動作、ミニゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
8	卓球① （基本的なルール、基本動作、ミニゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
9	卓球② （応用ルール、応用動作、ミニゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
10	卓球③ （シングルスゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
11	卓球④ （ダブルスゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
12	ティーボール① （基本的なルール、基本動作、ミニゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
13	ティーボール② （応用ルール、応用動作、ゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	総復習（各種競技）	ペアワーク グループワーク	半期すべての授業内容を復習し、今後の生活について考察する。

テキスト	資料を適宜配布する。
参 考 書	東根明人『コーディネーション運動　ボール運動編』（明治図書） 池田延行『すぐ使える体ほぐしの運動 136 選』（明治図書）
その他 特記事項	スポーツウェア、スポーツシューズを必ず着用すること。 天候や様々な状況などによりスポーツ種目が変更になる場合がある。

科目名	PED114:　体育 B					担当教員	若松　健太
開講期	春 / 秋	開講時限	火 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-③

キーワード	体育、スポーツ、健康
授業の概要	本授業は、大小様々なボール操作を伴うネット型およびゴール型スポーツを中心とした実技授業である。健康づくりや運動の仕組み、各種目のルールを学び目的に応じた方法を理解することで、生涯にわたってスポーツや運動を親しむための資質や能力を育む。また、「体育理論（ウエルネスと身体)」の講義内容と併せることで、自らの健康の維持および増進、生活習慣病に関する理解を深める。
達成目標（授業の目的）	スポーツをする上で重要となる種目の専門性に応じた競技特性を学び、スポーツおよび運動を通じて豊かなスポーツライフを継続するために必要な資質や能力を高める。また協同学習を通じてコミュニケーションスキルやリーダー＆フォローワーシップの重要性を考え、創意工夫するとともに、運動技能の習熟に合わせてより優れた状態を目指すことを目的とする。
到達目標（学修成果）	・体調を管理して万全な状態で授業に臨み、周囲の環境に応じて行動をとることができる。 ・授業に対して目標や目的を明確にして学びを深めることができる。 ・健康づくりや運動の仕組み、各種目のルールを学び、目的に応じた方法を理解することができる。 ・運動技能の習熟とともに、より優れた状態を目指して努力することができる。 ・設定された課題をもとに、自身の態度、行動、発言に加えて、自身のこころと身体の変化に関して振り返ることができる。
評価方法	①授業への積極的参加 ・授業への出席態度、発言、円滑な授業運営に対する積極性　40% ・協調性　40% ②体育実技能力 ・技能習得への向上心、創意工夫　20%
評価基準	①授業への積極的参加 ・授業への出席態度、発言、円滑な授業運営に対する積極性 運動に適した服装で受講し、ウォーミングアップ・クーリングダウンを行い健康管理に努めることができる。また準備・後片付けなど円滑な授業運営に対し積極的に行動することができる。 ・協調性 仲間とのコミュニケーションやリーダー＆フォローワーシップの重要性を考え、行動することができる。 ②体育実技能力 ・技能習得への向上心、創意工夫 運動技能習熟とともにより優れた状態を目指して努力することができる。また運動の仕組み、各種目のルールを学び、目的に応じた方法を理解し創意工夫することができる。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス （授業概要、注意事項、評価基準の説明）	ペアワーク グループワーク	シラバスを熟読、資料にて授業内容を復習する。
2	モルック （基本的なルール、基本動作、ゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
3	ソフトバレーボール① （基本的なルール、基本動作、ミニゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
4	ソフトバレーボール② （応用ルール、応用動作、ゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
5	バレーボール① （基本的なルール、基本動作、ミニゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
6	バレーボール② （応用ルール、応用動作、ゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
7	バスケットボール① （基本的なルール、基本動作、ミニゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
8	バスケットボール② （応用ルール、応用動作、ゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
9	バスケットボール③ （ゲーム中心）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
10	ティーボール① （基本的なルール、基本動作、ミニゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
11	ティーボール② （応用ルール、応用動作、ゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
12	他のボール型・ネット型競技① （基本的ルール、基本動作、ミニゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
13	他のボール型・ネット型競技② （応用ルール、応用動作、ゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	総復習（各種競技）	ペアワーク グループワーク	半期すべての授業内容を復習し、今後の生活について考察する。

テキスト	資料を適宜配布する。
参 考 書	東根明人『コーディネーション運動　ボール運動編』（明治図書） 池田延行『すぐ使える体ほぐしの運動 136 選』（明治図書）
その他 特記事項	スポーツウェア、スポーツシューズを必ず着用すること。 天候や様々な状況などによりスポーツ種目が変更になる場合がある。

科目名	REL210:　キリスト教文化入門					担当教員	小林　宏子
開講期	秋	開講時限	月木４限			研究室	4204
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	1, 4	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	1-①, 4-②

キーワード	聖書、イエス・キリスト、神の愛、典礼音楽、シンボル、海外宣教、聖人、宗教間対話
授業の概要	複数講師による輪講形式でキリスト教文化の諸相を概観する。イエスは何を語り、何を行ったのか、そのイエスがキリストであると信じる人々の信仰理解と表現がどのような思想、行動様式、生活習慣を生み出し、社会や歴史に影響を及ぼしてきたのかについて学ぶ。現在も世界の人々に様々なインスピレーションを与えているキリスト教文化を多面的に考察する。
達成目標（授業の目的）	キリスト教とはどのようなことを目指している宗教であるのかを正しく理解するとともに、そのキリスト教が世界の歴史的出来事や社会、文化、芸術から受けた影響と与えた影響について幅広い関心を持って理解し、自ら考察を進め、その結果を現代文化と関連づけて論じることができるようになることを目標とする。
到達目標（学修成果）	テキスト及び授業を通して、非キリスト教徒であっても教養として理解しておくことが望ましいキリスト教文化の知識、及び、信者以外の人々はあまり知ることのない教会活動の習慣や行動様式を学ぶことを通して、その文化的表現の内容について自分自身の視点や見解を論理的に記述できるようになる。また、キリスト教文化に関する項目の中から自らの選んだテーマについて研究成果を論述し、わかりやすく口頭発表できるようになる。
評価方法	①リアクションペーパー（2%×24 回＝48%） ②復習課題（4%×3=12%） ③期末レポート（25%）と研究発表（15%）
評価基準	①リアクションペーパー：授業を正しく理解し学んだことの要点をまとめ、自分の関心や問題意識を反映させた見解を論理的に記述できているか。 ②復習課題：準備学修として読むテキストと授業で扱った内容を正しく理解しているか。 ③期末レポート：授業で扱った分野に関するテーマについて、最低一冊の参考文献を読んだ上で自分なりの問いを提起し、文献の内容と自分の考えを区別しながら、2,500 字程度の小論文にまとめられるかどうか。また、その期末レポートの成果を、指定された時間内に分かりやすくまとめて口頭発表できるかどうか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス：講義概要と課題の説明 ユダヤ教とキリスト教	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキストはじめに－p.18 の予習
2	ナザレのイエス（1） イエスの生涯と福音書	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.18-38 の予習
3	ナザレのイエス（2） 律法学者との対立、イエスの死	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.38-58 の予習
4	キリスト教と音楽（1） 神の民の賛美と教会音楽	講義・質疑応答、復習課題①	テキスト pp.60-71 の予習
5	キリスト教の歴史（1） キリスト教の成立とローマ帝国下での迫害	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.93-108 の予習
6	キリスト教と音楽（2） 典礼音楽と楽譜のかかわり	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.71-92 の復習
7	キリスト教の典礼 ミサ聖祭、教会の暦	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.108-115 の予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	キリスト教のシンボル、美術	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.116-125 の予習
9	キリスト教の歴史（2） キリスト教の国教化と東西教会の分裂	講義・質疑応答、復習課題②	テキスト pp.71-125 の復習
10	キリスト教と哲学（1） 知解を求める信仰とその系譜	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.128-139 の予習
11	キリスト教と哲学（2）真理への愛、エディット・シュタインの思想と生涯	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.108-111, 137-154 の復習
12	修道院の文化的貢献	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.128-139 の復習
13	カトリックとプロテスタント	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.156-176 の予習
14	キリスト教のヒューマニズム（1）イエズス会の宣教と教育の特徴	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.178-198 の予習
15	キリスト教のヒューマニズム（2）東西の文化交流（マテオ・リッチの中国宣教）	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.221-236 の予習
16	キリスト教のヒューマニズム（3）19 世紀の中国思想に対するキリスト教の影響	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.199-220 の予習
17	キリスト教の倫理（1） いのちの倫理	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.18-38 の復習
18	エキュメニズム運動の歴史と現在	講義・質疑応答、復習課題③	テキスト pp. 156-176, 221-226 の復習
19	キリスト教の倫理（2） 平和への歩み	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.156-176 の復習、期末課題の準備
20	キリスト教の仏教（1） 「十牛図」に見る己事究明	講義・質疑応答、リアクションペーパー	期末課題の準備
21	キリスト教と仏教（2）宗教とは何か 「問われた者」として生きる	講義・質疑応答、リアクションペーパー	期末課題の準備
22	聖マリアについての伝承と祭り	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.139-145, 169-172 の復習
23	時代の必要に応えた人びと（1） アシジの聖フランチェスコ	講義・質疑応答、リアクションペーパー	テキスト pp.108-111, 145-146 の復習、期末課題の準備
24	時代の必要に応えた人びと（2） コルカタの聖テレサ（マザー・テレサ）	講義・質疑応答、リアクションペーパー	期末課題の提出
25	研究発表（1）、講評	発表と講評、リアクションペーパー	研究発表の準備
26	研究発表（2）、講評	発表と講評、リアクションペーパー	研究発表の準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	研究発表（3）、講評	発表と講評、リアクションペーパー	研究発表の準備
28	キリスト教と現代、科目のまとめ	講義、レポート返却	テキスト pp.221-226 の復習

テキスト	山我哲雄『キリスト教入門』（岩波ジュニア新書）
参 考 書	越川弘英『キリスト教史の学び（上）』（キリスト教新聞社） 越川弘英『キリスト教史の学び（下）』（キリスト教新聞社）
その他 特記事項	講師の都合により授業内容及び順序に変更が生じる可能性がある。

科目名	IDS210:　異文化間コミュニケーション					担当教員	C. Oliver
開講期	春	開講時限	火金 3 限			研究室	4205
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-②

キーワード	intercultural communication, linguistics, social psychology, anthropology, critical thinking
授業の概要	This course provides an introduction to intercultural communication as an area of study. Readings and lectures will cover basic definitions, concepts, and issues related to intercultural communication. As regular homework, students will keep a record of their own intercultural communication experiences. We will also carry out one lengthy intercultural simulation in class. Lectures, readings, homework, and tests for this course will be in English.
達成目標（授業の目的）	Students will learn to understand “intercultural communication” (ICC) using concepts coming from linguistics, social psychology, and anthropology; to describe and analyze their own experiences of ICC; and to think critically about ICC in relation to problems in modern societies.
到達目標（学修成果）	By the end of the semester, students will be able to understand key concepts related to ICC drawn from linguistics, social psychology, and anthropology and how they apply to specific examples; factually describe their own recent experiences of ICC and relate those experiences to concepts discussed in class; and explain, in writing, ways in which specific situations of ICC found in the world today are related to broader social and historical contexts and issues.
評価方法	Participation 20%, Homework 40%, Tests 40%.
評価基準	・Participation: active participation in everyday class activities, including lectures and discussions; responses in in-class writing activities that demonstrate engagement with class content. ・Homework: submitted on time and according to instructions, thoroughly completed, provides factual description where required, demonstrates appropriate application of concepts covered in class. Homework may not be submitted more than 2 weeks after the due date. ・Tests: demonstrate ability to understand key concepts related to ICC and how they apply to specific examples, demonstrate ability to explain ways that specific situations of intercultural communication are related to broader social and historical contexts and issues.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview	lecture	Read course syllabus thoroughly, review class notes
2	Defining intercultural communication	lecture, pair work	Read p. 34, review syllabus & class notes
3	“Culture” in intercultural communication	lecture, pair work	Read pp. 9-10, 12-13; skim pp. 13-27; review class notes
4	Features of human communication: basic concepts	lecture, pair work	Read pp. 54-57, 68-71; review class notes
5	Features of human communication: meaning and context	lecture, pair work	Read pp. 54-57, 68-71; review class notes
6	Communication and language: language and thought	lecture, pair work	Write “ICC Experience” homework; read pp. 77-79, 83

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Communication and language: aspects of meaning	lecture, pair work	Read pp. 77-79, 83; review class notes
8	Non-verbal communication: silence	lecture, pair work	Read pp. 86-87, 91-93; skim other pages in Ch. 9
9	Non-verbal communication: functions	lecture, pair work	Read pp. 86-87, 91-93; skim other pages in Ch. 9
10	Edward T. Hall: the first interculturalist	lecture, pair work	Read pp. 49-50, 56, 96, 133; Write “ICC Experience” HW
11	Stereotypes: basic concepts	lecture, pair work	Read pp. 152-153; review class notes
12	Stereotypes: aspects and effects	lecture, pair work	Read pp. 152-153; review class notes
13	Values: basic concepts	lecture, pair work	Read pp. 16-19, 42-49; review class notes
14	Values: kinds of values	lecture, pair work	Write “ICC Experience” HW & “values” HW
15	Culture shock: definition, symptoms, varieties	lecture, pair work	Read pp. 158-165; review class notes
16	Communication “events”: basic concepts; preparation for Test #1	lecture, pair work	Write “culture shock” homework; review class notes
17	Review; Test #1	lecture, written exam	Study for test
18	Communication “events”: dimensions of norms	lecture, pair work	Write “ICC Experience” homework; review class notes
19	Intercultural training: principles and methods	pair work, lecture	Read Ch. 16, especially pp. 186-187; review class notes
20	Intercultural simulation: do in class	small-group discussion	Read handouts about simulation
21	Intercultural simulation: follow-up discussion	small-group discussion, lecture	Review class notes
22	Social and historical contexts of intercultural communication: Quebec	lecture, pair work	Write “ICC Experience” homework; review class notes
23	Social and historical contexts of intercultural communication: U.S. South	lecture, pair work	Review class notes
24	Return Test #1 and go over results; preparation for Test #2	lecture, pair work	Review textbook pages covered, handouts, class notes
25	Social and historical contexts of intercultural communication: American Indians	lecture, pair work	Review class notes
26	Practical implications for the study of ICC; paths toward better understanding of others	lecture, small-group discussion	Write “ICC Experience” homework; review class notes
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Review; Test #2	lecture, written exam	Study for test
28	Return Test #2 and go over results; semester recap, including course evaluation	lecture, small-group discussion	Write “ICC Experience” homework

テキスト	Hidasi Judit. *Intercultural Communication: An Outline*（三元社）.
参 考 書	石井 敏，久米 昭元，長谷川 典子，桜木 俊行，& 石黒 武人『はじめて学ぶ異文化コミュニケーション』（有斐閣）
その他特記事項	Lectures, readings, homework, and tests for this course will be in English.

科目名	LIT201:　英文学概論					担当教員	飯田　純也
開講期	春 / 秋	開講時限	火金 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-②

キーワード	物語、聖書、思想史、エンディング、パラブル、歴史、社会、政治経済、貧困、暴力、女性
授業の概要	文学の裾野を広げ、広義の物語を通して人間と社会の関係性を研究する。物語の意義は問題提起にある。提起される問題は複数の学問領域に横断的に関わる。授業では、英語圏を代表する小説を取り上げ、現代とのかかわりで、物語が描く人間と社会を批判的に分析する。小論文と期末レポートを書くためには、準備学習と授業を通してまとめられたノートが重要になる。
達成目標（授業の目的）	物語論の視点から、文学研究の意義と方法を学び、文学研究を通じて英語文化圏の歴史や社会を理解し、同時に文化を批判的に見る視座を獲得することを目標とする。さらに、毎回の講義内容を基に、自らの意見を事前配布資料と照らし合わせながら、小論文にまとめる能力を身につけることを目標とする。
到達目標（学修成果）	1. 英語文化圏を代表する文学作品を物語として分析、批判、評価することができるようになる。 2. 作品が描く歴史的・社会的問題や課題を理解することができるようになる。 3. 作品で扱われている諸問題を人文科学、社会科学の視点から考えることができるようになる。 4. 問題意識をもって文学作品を見る習慣ができる。 5. 議論をまとめる能力を身につけることができるようになる。
評価方法	①小論文（5 回提出で計 40%）では作品の背景を理解した上で、作品を分析、批判、評価できているか。②定期試験（30%）では何が問題か理解できているか、問題を分析的･批判的に、根拠を示し自分のことばで論述できるか。③シャトルカード（計30%）では問題意識をもって文学作品を見る習慣ができているか。
評価基準	詳細は初回授業時に説明する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	授業紹介　ジャンルではなく物語 研究倫理の説明	講義、質疑応答、 ペアワーク	課題 DVD の入手先を検討、 入手困難のとき応相談
2	物語論：エンディングは問題提起（1） *Citizen Kane* (1941 movie)	講義、質疑応答、 ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
3	物語論：エンディングは問題提起（2） *Black Orpheus* (1959 movie)	講義、質疑応答、 ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
4	物語論：エンディングは問題提起（3） *A Man and a Woman* (1966 movie)	講義、質疑応答、 ディスカッション	小論文 No. 1 の準備（提出は次回授業時）
5	聖書と文学 パラブルとは何か	講義、質疑応答、 ディスカッション	課題資料下調べ、筋と要点をノート
6	聖書のパラブル アブサロム（サミュエル記下）	講義、質疑応答、 ディスカッション	課題資料下調べ、筋と要点をノート
7	聖書のエンディング 預言書	講義、質疑応答、 ディスカッション	課題資料下調べ、筋と要点をノート

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	暴力を繰り返す社会のパラブル *Romeo and Juliet, Tristan and Isolde*	講義、質疑応答、 ディスカッション	小論文 No. 2 の準備（提出は次回授業時）
9	作品研究 *A Passage to India*（1） 分析の手がかり	講義、ペアワーク、 ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
10	作品研究 *A Passage to India*（2） 討論	質疑応答、ペアワーク、 ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
11	作品研究 *Vanity Fair*（1） 分析の手がかり	講義、ペアワーク、 ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
12	作品研究 *Vanity Fair*（2） 討論	質疑応答、ペアワーク、 ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
13	作品研究 *Tess of the d'Urbervilles*（1） 分析の手がかり	講義、ペアワーク、 ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
14	作品研究 *Tess of the d'Urbervilles*（2） 討論	質疑応答、ペアワーク、 ディスカッション	小論文 No. 3 の準備（提出は次回授業時）
15	作家研究 Charles Dickens: *David Copperfield*	講義、質疑応答、 ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
16	作家研究 Charles Dickens: *Nicholas Nickleby*	講義、質疑応答、 ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
17	作家研究 Charles Dickens: *Oliver Twist*	講義、質疑応答、 ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
18	作家研究 Jane Austen: *Sense and Sensibility*	講義、質疑応答、 ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
19	作家研究 Jane Austen: *Pride and Prejudice*	講義、質疑応答、 ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
20	作家研究 Jane Austen: *Mansfield Park*	講義、質疑応答、 ディスカッション	小論文 No. 4 の準備（提出は次回授業時）
21	英国社会研究（1） 奴隷貿易と *Jane Eyre*	講義、質疑応答、 ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
22	英国社会研究（2） 奴隷制度廃止運動と *Wuthering Heights*	講義、質疑応答、 ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
23	米国社会研究（1） ピューリタン社会と *The Scarlet Letter*	講義、質疑応答、 ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
24	米国社会研究（2） 資本主義社会と *The Great Gatsby*	講義、質疑応答、 ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
25	英米社会研究 プロテスタンティズムの世界観	講義、質疑応答、 ディスカッション	小論文 No. 5 の準備
26	英米社会研究 総論	講義、質疑応答、 ディスカッション	小論文 No. 5 の準備（提出は次回授業時）
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	文学研究の応用「学際（interdisciplinary）とは」「予型論（typology）の罪」	講義、質疑応答、 シャトルカード返却	課題資料下調べ、要点をノート
28	定期試験の返却と講評	講義、ペアワーク、 ディスカッション	シャトルカードの読み返しと学修内容の振り返り

テキスト	テキストは特に使用しない。授業で扱う作品の英文資料（課題資料）を事前に配布する。
参 考 書	Herman, David, ed. *The Cambridge Companion to Narrative* (Cambridge University, 2007).
その他 特記事項	この授業では世界史の知識が前提となるので、特に英米を中心とする歴史を復習することが求められる。

科目名	LNG200:　言語学概論					担当教員	近藤　佐智子
開講期	春	開講時限	月木４限			研究室	4208
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-②

キーワード	言語とは、英語史、音素、語形成、生成文法、文／発話の意味、言語のバリエーション
授業の概要	本講を通じて学生は普段何気なく使っている「ことば」を客観的に観察・分析することで、その本質を考察する。具体的には言語学の中心的なテーマである「言語構造」に関する内容と、言語とその他の分野との接点を、指定テキストと担当者の準備した資料（様々な練習問題を含む）をもとに講義およびディスカッション形式で学んでいく。また理解促進のため毎授業時に既習内容に関する復習を質疑応答の形で行う。
達成目標（授業の目的）	本講の目標は学生が英語の音声・音韻の体系、語形成、文構造、文や発話の意味といった基本的な言語構造、および英語史やことばのバリエーション、言語と文化の接点や言語習得といった関連分野に関する基本的概念・理論の理解を深めることである。
到達目標（学修成果）	学生は言語学という学問分野の中で音、語、句・文、談話、そして意味のそれぞれがどのような体系／構造を有しているのかを理解し、それを自らの言語生活（母語と英語）に照らし合わせ、考察することができるようになる。同様にその他の関連テーマについても内容の理解だけにとどまらず、そこから自らがどのように日々言語を使用し、また学んでいるのかについて様々な発見や気付きを得ることができる。
評価方法	理解度テスト（25%）定期試験（45%）ブックレポート（20%）授業参加度（10%）
評価基準	・理解度テスト（25%）：学期の 3 分の 1 の内容についての理解と定着度を確認する。 ・定期試験（45%）：理解度テスト以降の内容についての理解と定着度を確認する。 ・ブックレポート（20%）：ブックリストにある指定図書の中から一冊を読み、内容の要約（記述内容を理解した上で、要点がまとめられているかどうか）と自分の見解（本から学んだことを踏まえ、どのよう新たな発見があったか、どのような疑問が浮かんできたか、どのような課題が見つかったかなどについて論述できているかどうか）を含めたブックレポートを 作成する。 ・授業参加度（10%）：授業内（復習時、グループディスカッション）での発言回数と内容、ブックレポートの口頭発表で分かりやすく伝えることができたか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview & the study of language 本講を概観する＆言語を研究するとは？	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト全体に目を通す
2	What is Language? 人間にとって言語とは何か？	講義、ビデオ視聴、ディスカッション	テキスト（ch. 1-2）、レジュメの予習・復習
3	What is Language? 言語の定義・特性	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 1-2）、レジュメの予習・復習
4	What is Linguistics? 言語学という分野	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 1-2）、レジュメの予習・復習
5	History of English 英語の歴史：古英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 3-5）、レジュメの予習・復習
6	History of English 英語の歴史：中英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 3-5）、レジュメの予習・復習
7	History of English 英語の歴史：近代英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 3-5）、レジュメの予習・復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Phonetics 音声学：言語音	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 8-9）、レジュメの予習・復習
9	Phonology 音韻論：音素	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 8-9）、レジュメの予習・復習
10	Phonology 音韻論：超分節音素	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 8-9）、レジュメの予習・復習
11	Morphology 形態論：形態素とは？	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 10）、レジュメの予習・復習
12	Morphology 形態論：語形成	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 10）、レジュメの予習・復習
13	In-Class Test 理解度テスト（40 分）、ブックレポートの書き方、復習（60 分）	テスト実施 講義、質疑応答	テキスト（ch. 1-10）、レジュメの予習・復習、テスト準備
14	Syntax 1 統語論 1 伝統文法、アメリカ構造主義言語学	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 11-12）、レジュメの予習・復習
15	Syntax 2 統語論 2 生成変形文法：言語観・アプローチ、テストの返却と講評	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 11-12）、レジュメの予習・復習
16	Syntax 2 統語論 2 生成変形文法：句構造規則と変形規則	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 11-12）、レジュメの予習・復習
17	Semantics 意味論：語の意味	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 13-16）、レジュメの予習・復習
18	Semantics 意味論：句・文の意味	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 13-16）、レジュメの予習・復習
19	Pragmatics 語用論 語用論とは：基本概念	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 17-20）、レジュメの予習・復習
20	Pragmatics 語用論 発話行為、会話の含意、ポライトネス	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 17-20）、レジュメの予習・復習
21	Communication and culture 文化と文脈、コミュニケーション	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 21-22）、レジュメの予習・復習
22	Sociolinguistics 社会言語学 言語のバリエーション	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 6 & 23-24）、レジュメの予習・復習
23	Sociolinguistics 社会言語学 言語政策	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 23-24）、レジュメの予習・復習
24	Second Language Acquisition 第二言語習得 様々な第二言語習得理論	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 25）、レジュメの復習、テスト準備
25	Second Language Acquisition 第二言語習得 外国語教授法	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 25）、レジュメの予習・復習
26	Review 定期試験範囲の総復習	講義、ディスカッション、質疑応答	試験範囲の復習
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	Presentation ブックレポート口頭発表	口頭発表 ディスカッション	ブックレポート提出
28	Presentation ブックレポート口頭発表 Test review 定期試験の返却、および解説	口頭発表 講義、質疑応答	試験問題の復習

テキスト	長谷川瑞穂（編著）『はじめての英語学』（研究社）
参 考 書	黒田龍之介『はじめての言語学』（講談社現代新書） 大津由紀雄『探検！ことばの世界』（ひつじ書房）
その他 特記事項	本講は言語研究領域に属する専門科目、および言語系のゼミナール受講への基礎知識を与えるものである。

科目名	LNG200:　言語学概論					担当教員	神谷　雅仁
開講期	秋	開講時限	月木５限			研究室	4215
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-②

キーワード	言語とは、英語史、音素、語形成、文法論、文／発話の意味、言語のバリエーション
授業の概要	本講を通じて学生は普段何気なく使っている「ことば」を客観的に観察・分析することで、その本質を考察する。具体的には言語学の中心的なテーマである「言語構造」に関する内容と、言語とその他の分野との接点を、指定テキストをまとめたレジュメおよび担当者の準備したハンドアウト（練習問題を含む）をもとに講義形式で学んでいく。また理解促進のため毎授業時に既習内容に関する review を行う。
達成目標（授業の目的）	本講は学生が対象言語となっている英語の音声・音韻の体系、語形成、文構造、文や発話の意味といった基本的な言語構造、および歴史やことばのバリエーション、言語と文化の接点や言語習得といった関連分野に関する基本的概念・理論に触れ、その理解を深めることを目標とする。
到達目標（学修成果）	学生は言語学という学問分野の中で音、語、句・文、談話、そして意味のそれぞれがどのような体系／構造を有しているのかを理解し、それを自らの言語生活（母語、第二言語、および学習言語）に照らし合わせ、考察することができるようになる。同様にその他の関連テーマについても内容の理解だけにとどまらず、そこから自らがどのように日々言語を使用し、また学んでいるのかについて様々な発見や気付きを得ることができる。さらに理解したことを整理立てて、用語の定義や言語例を含めたかたちで説明することができるようになる。
評価方法	▸中間試験（30%）、期末試験（40%）、▸Book Report（20%）、▸授業参加度（10%）
評価基準	▸中間試験、および期末試験（客観式）：試験までの学修内容について、用語、概念、理論的枠組みなどが言語例とともに理解され、定着しているかを問う。※中間試験は前半のみの内容が、期末試験は後半のみの内容がそれぞれ試験範囲となる。 ▸Book Report：Booklist にある指定図書の中から一冊を読み、内容の要約（書かれている内容を理解した上で、章や節ごとにしっかりとまとめられているか）と自分の見解（どのような発見があったか、どのような疑問が浮かんできたか、どのような課題が見つかったかなどについて分析的、批判的に論述できているか）を含めたブックレポートとなっているか。 ▸授業参加度：受講態度や授業内での積極的・自発的な発言、また指定単元の Unit Review や練習問題などがトータルに判断される。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview & the study of language 本講を概観する＆言語を研究するとは？	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト全体に目を通す 「はじめに」を読む
2	What is Language? 人間にとって言語とは何か？	講義、ビデオ視聴、ディスカッション	テキストを読む（ch.1-2）、レジュメの予習・復習
3	What is Language? 言語の定義	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.1-2）、レジュメの予習・復習
4	What is Language? 言語の特性	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、 Unit Review の作成
5	What is Linguistics? 言語学という分野	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、 Unit Review の作成
6	History of English 英語の歴史：古英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3-5）、レジュメの予習・復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	History of English 英語の歴史：中英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3-5）、レジュメの予習・復習
8	History of English 英語の歴史：近代英語	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、 Unit Review の作成
9	Phonetics 音声学：言語音の分類	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.8-9）、レジュメの予習・復習
10	Phonology 音韻論：音素	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.8-9）、レジュメの予習・復習
11	Phonology 音韻論：音節	講義、ディスカッション、質疑応答	練習問題をやる、レジュメの予習・復習
12	Phonology 音韻論：超分節音素　Review 前半のまとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、前半内容の見直し、テスト準備
13	Mid-term Test 中間試験 Morphology 形態論：形態素とは	試験実施、講義、質疑応答	前半内容の復習、テキストを読む（ch.10）
14	Test review 試験結果の返却、および解説 Morphology 形態論：異形態	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.10）、レジュメの予習・復習、
15	Morphology 形態論：語形成	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、 Unit Review の作成
16	Syntax 1 統語論 1 伝統文法と構造主義言語学	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.11-12）、レジュメの予習・復習
17	Syntax 2 統語論 2 生成変形文法：基本的概念／言語観	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.11-12）、レジュメの予習・復習
18	Syntax 2 統語論 2 生成変形文法：句構造規則	講義、ディスカッション、質疑応答	練習問題をやる、レジュメの予習・復習
19	Syntax 2 統語論 2 生成変形文法：変形規則	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、 Unit Review の作成
20	Semantics 意味論：言語学における意味とは	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.13-16）、レジュメの予習・復習
21	Semantics 意味論：語の意味	講義、ディスカッション、質疑応答	練習問題をやる、Unit Review の作成
22	Pragmatics 語用論 語用論とは：基本概念	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.17-20）、レジュメの予習・復習
23	Pragmatics 語用論 発話行為、会話の含意	講義、ディスカッション、質疑応答	練習問題をやる、Unit Review の作成
24	Communication and culture 文化と文脈、コミュニケーション	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.21-22）、レジュメの予習・復習
25	Sociolinguistics 社会言語学 言語のバリエーション・言語政策／計画	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.6 & 23-24）、Book Report の作成
26	Second Language Acquisition 第二言語習得 外国語教授法　Review 後半のまとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.25）、後半内容の見直し、テスト準備
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	Genie revisited: Think about language and human mind 言語と心について考える	講義、ディスカッション、質疑応答	言語に関連する配布物の予習
28	Test review 定期試験の返却、および解説 Course review 全体のまとめ	講義、質疑応答	テスト問題の見直し

テキスト	長谷川瑞穂（編著）『はじめての英語学』（研究社）
参 考 書	黒田龍之介『はじめての言語学』（講談社現代新書） 大津由紀雄『探検！ことばの世界』（ひつじ書房）
その他 特記事項	本講は言語研究領域に属する専門科目、および言語系のゼミナール受講への基礎知識を与えるものである。

科目名	EDU205:　児童英語教育概説					担当教員	狩野　晶子
開講期	春	開講時限	月木５限			研究室	4203
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要				学修成果獲得の観点	
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。				4-②, 5-②	
キーワード	児童英語教育、小学校外国語活動・外国語（英語）、第二言語習得、実践						
授業の概要	児童英語教育及び小学校英語教育の背景や知識について、関連する様々な分野（児童心理学、第二言語習得理論、教育学、社会学、英語教授法など）に触れながら学ぶ。授業ではグループワークや発表を通し、学習した内容を実践・体験する。						
達成目標（授業の目的）	児童英語教育の基本的知識を学び、児童英語教育の位置づけや児童期の特性を理解しながら児童期にふさわしい教授法について学ぶ。授業の中で指導の練習や実践を積み、児童英語指導者としての基礎力を身に付けることを目的とする。						
到達目標（学修成果）	児童英語の教授法の基礎知識と応用アクティビティを実践する体験を通して、指導の際の実際の観点を知る。さらに学生相互の実践演習を通じて、効果的な実践方法を体験的に学び、児童英語教育において実際の指導に活かすことができるような基本的知識を得る。						
評価方法	①授業への積極的な参加（20%）②リアクションペーパー（10%）③実践発表の準備と成果（30%）④レポートなどの課題（40%：全２回、各 20%）						
評価基準	①グループワークなども含め自発的に授業に取り組んでいるか。②学習した内容を踏まえ、自身の言葉で考えを述べているか。③実践発表の準備、練習が十分になされ、協同的に取り組んでいるか。④提示された課題に即した適切な内容であり、自分の言葉で具体的に表現しているか。						
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms						
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。						

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	児童英語教育が目指すものとは	講義、グループワーク、リアクションペーパー	復習：ポイントを整理理解
2	外国語の指導法 1：学習指導要領、小中連携、児童や学校の多様性（Unit1-3）	講義、グループワーク、リアクションペーパー	予習：pp.10-21 復習：ポイントを整理理解
3	外国語の指導法 2：言語習得とインプット、コミュニケーションの目的（Unit4-5）	講義、グループワーク、リアクションペーパー	予習：pp.22-29 復習：ポイントを整理理解
4	外国語の指導法 3：音声から文字へ、国語教育との連携（Unit6-7）	講義、グループワーク、リアクションペーパー	予習：pp.30-37 復習：ポイントを整理理解
5	外国語の指導法 4：Classroom English, small talk、読み書き、題材選定（Unit8-10）	講義、グループワーク、リアクションペーパー	予習：pp.38-49 復習：ポイントを整理理解
6	外国語の指導法 5：ALT、ICT 等の活用、学習状況の評価（Unit13-15）	講義、グループワーク、リアクションペーパー	予習：pp.53-71 復習：ポイントを整理理解
7	外国語に関する専門的事項 1：児童文学（Unit7-8、第三部 Unit14）	講義、グループワーク、リアクションペーパー	予習：pp.100-107, 190-193 復習：ポイントを整理理解
8	理論と実践：storybook reading1　第一回課題について提示	講義、学生指導実践発表、相互評価	絵本選択、実践準備・練習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	理論と実践：storybook reading2	講義、学生指導実践発表、相互評価	絵本選択、実践準備・練習
10	外国語に関する専門的事項 2：音声、発音と綴り、文構造、文法、語彙（Unit2-5）	講義、グループワーク、リアクションペーパー	予習：pp.78-93 復習：ポイントを整理理解
11	外国語に関する専門的事項 3：第二言語習得、異文化理解（Unit6, 9）	講義、グループワーク、リアクションペーパー	予習：pp.94-99, 108-111 復習：ポイントを整理理解
12	外国語に関する専門的事項 4：コミュニケーション 4 技能、領域統合（Unit11-15）	講義、グループワーク、リアクションペーパー	予習：pp.116-135 復習：ポイントを整理理解
13	外国語活動の指導法 1：発達心理学、児童の認知・情緒発達（Unit3, 5）	講義、グループワーク、リアクションペーパー	予習：pp.146-149, 154-157 復習：ポイントを整理理解
14	外国語活動の指導法 2：学級担任と JTE（Unit6）第二回課題について提示	講義、グループワーク、リアクションペーパー	予習：pp.158-161 復習：ポイントを整理理解
15	アクティビティのポイントとは	講義、グループワーク、リアクションペーパー	予習：pp.170-189 復習：ポイントを整理理解
16	理論と実践：アクティビティ 1	講義、学生指導実践発表、相互評価	実践準備・練習
17	理論と実践：アクティビティ 2	講義、学生指導実践発表、相互評価	実践準備・練習
18	理論と実践：アクティビティ 3	講義、学生指導実践発表、相互評価	実践準備・練習
19	理論と実践：アクティビティ 4	講義、学生指導実践発表、相互評価	実践準備・練習
20	これまでの復習・まとめ	講義、グループワーク、リアクションペーパー	復習：ポイントを整理理解
21	レッスンプラン作成方法・ポイント	講義、グループワーク、リアクションペーパー	復習：ポイントを整理理解
22	理論と実践：アクティビティ改訂版 1	講義、学生指導実践発表、相互評価	実践準備・練習
23	理論と実践：アクティビティ改訂版 2	講義、学生指導実践発表、相互評価	実践準備・練習
24	理論と実践：アクティビティ改訂版 3	講義、学生指導実践発表、相互評価	実践準備・練習
25	理論と実践：アクティビティ改訂版 4	講義、学生指導実践発表、相互評価	実践準備・練習
26	これからの児童英語教育まとめ：児童期の特性、第二言語習得理論などの視点から	講義、グループワーク、リアクションペーパー	復習：ポイントを整理理解
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	グループディスカッション・質疑応答・省察	講義、グループワーク、リアクションペーパー	復習：ポイントを整理理解
28	全体のまとめ・振り返り	講義、グループワーク、リアクションペーパー	全体の復習

テキスト	小川隆夫・東仁美（著）、吉田研作（監修）『小学校英語 はじめる教科書 改訂版 外国語科・外国語活動指導者養成のために』（mpi 松香フォニックス）
参 考 書	上智大学 CLT プロジェクト・編『コミュニカティブな英語教育を考える：日本の教育現場に役立つ理論と実践』（アルク）

科目名	GMN101:　ドイツ語 I					担当教員	工藤　花野
開講期	春 / 秋	開講時限	（春）月木 4 限 （秋）月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	基礎ドイツ語、初級ドイツ語文法
授業の概要	初心者にとっての「読む・書く・聞く・話す」力の基礎となる文法を中心に、丁寧に時間をかけて進めていく。対話文やドリルを用いた「読む・書く」練習や、ペアワーク等による会話形式の「聞く・話す」練習を通じて、総合的な基礎力を身につける。
達成目標（授業の目的）	「読む・書く・聞く・話す」力の総合的な訓練により、ドイツ語の発音、基礎的文法力、基礎的表現力を合理的に身につけることを目標とする。
到達目標（学修成果）	・ドイツ語の読みと発音がきちんとできるようになる。 ・文の構造と動詞の活用の仕組み・名詞の格の働きを理解できるようになる。 ・簡単な会話や文章を理解し、作文できるようになる。 ・日常で用いる基本的な語彙を身につける。
評価方法	授業参加の積極性（20%）、授業毎の課題提出（20%）、授業内試験（30%）、定期試験（30%）
評価基準	・授業参加（個人やペア等での発表により、表現・発音・聞き取る力を確認する） ・課題提出（授業毎の短い課題提出により、授業内容・文法事項・進出語彙を確認する） ・試験（授業内試験と定期試験により、文法・読み・書きの力を確認する）
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	導入、授業概要の説明 アルファベットと発音・挨拶・数字	演習（発音）	テキスト（以下略）S.7-9 の整理、次回提出用課題準備 1
2	［Lektion 1］ 不定詞・動詞の現在人称変化（語順 1）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.10, 13 の整理 次回提出用課題準備 2
3	［Lektion 1］ 動詞の位置・sein の現在人称変化	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.11, 13 の整理 次回提出用課題準備 3
4	［Lektion 1］出会いと自己紹介 会話と作文・会話表現 1（自己紹介）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.12, 13, 23 の整理 次回提出用課題準備 4
5	［Lektion 2］ 名詞の性と定冠詞の格変化	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.14, 17 の整理 次回提出用課題準備 5
6	［Lektion 2］ 不定冠詞の格変化と haben の現在人称変化	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.15, 17 の整理 次回提出用課題準備 6
7	［Lektion 2］ 会話と作文・会話表現 2（家族について）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.16, 17 の整理 次回提出用課題準備 7
8	［Lektion 3］ 不規則動詞の現在人称変化	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.18, 21 の整理 次回提出用課題準備 8
9	［Lektion 3］ 人称代名詞の格変化・3 格と 4 格の語順	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.19, 21 の整理 次回提出用課題準備 9

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	［Lektion 3］明日の予定を尋ねる 会話と作文・会話表現 3（明日の予定）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.20, 21 の整理 次回提出用課題準備 10
11	［Lektion 4］ 定冠詞類	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.24, 27 の整理 次回提出用課題準備 11
12	［Lektion 4］ 不定冠詞類・所有冠詞・否定冠詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.25, 27 の整理 次回提出用課題準備 12
13	［Lektion 4］ 会話と作文・会話表現 4（買い物）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.26, 27 の整理 試験準備（S. 7-27, 36）
14	Lektion 1-4 の総括・質疑応答（30 分） 授業内試験（60 分）	質疑応答 試験	S.7-27, 36 の整理
15	Lektion 1-4 の総括・試験解答 ［Lektion 5］2 格・3 格・4 格支配の前置詞	試験解答、試験返却、演習	S.28, 31 の整理 次回提出用課題準備 13
16	［Lektion 5］ 3・4 格支配の前置詞・定冠詞との融合形	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.29, 31 の整理 次回提出用課題準備 14
17	［Lektion 5］ 会話と作文・会話表現 5（週末の予定）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.30, 31, 37 の整理 次回提出用課題準備 15
18	［Lektion 6］ 複数形・形容詞の格変化（無冠詞型）	試験解答、試験返却、演習	S.32, 33, 35 の整理 次回提出用課題準備 16
19	［Lektion 6］ 形容詞の格変化（定冠詞・不定冠詞）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.33, 35, 36 の整理 次回提出用課題準備 17
20	［Lektion 6］ 会話と作文・会話表現 6（趣味について）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.34, 35 の整理 次回提出用課題準備 18
21	［Lektion 7］ 話法の助動詞と現在人称変化と助動詞構文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.38, 41, 50 の整理 次回提出用課題準備 19
22	［Lektion 7］ 話法の助動詞・分離動詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.39, 41, 50 の整理 次回提出用課題準備 20
23	［Lektion 7］ 会話と作文・会話表現 7（駅で尋ねる）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.40, 41, 50, 51 の整理 次回提出用課題準備 21
24	［Lektion 8］ Zu 不定詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.42, 45 の整理 次回提出用課題準備 22
25	［Lektion 8］ 従属接続詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.43, 45, 50 の整理 次回提出用課題準備 23
26	［Lektion 8］ 会話と作文・会話表現 8（休暇の計画）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.44, 45 の整理 試験準備（S. 28-45, 50-51）
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	Lektion 5-8 の総括 ［Lektion 8］再起代名詞	試験解答、試験返却、演習	S.43, 45 の整理 次回提出用課題準備 24
28	時刻と日付の表現 道案内の表現	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.50, 51 及び配布物の整理

テキスト	上野成利・本田雅也『パノラマ・エクスプレス初級ドイツ語ゼミナール』（白水社）
参 考 書	橋本政義・橋本淑恵・Heike Pinnau『CD 付き　使ってみよう！ドイツ語　文法＋4 技能のトレーニング』（三修社）
履修条件、前提科目	初学者、初級者向けであり、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は原則、不可とする。
その他特記事項	できるだけ余裕をもって進行に努めるが、欠席が続くと習得度が下がる上、ペアワークやグループワークが滞るので毎回の出席が望ましい。また、辞書の用意を推奨する。

科目名	GMN102:　ドイツ語Ⅱ					担当教員	工藤　花野
開講期	春	開講時限	月木3限			研究室	4号館2階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	基礎ドイツ語、基礎ドイツ語文法の完成
授業の概要	ドイツ語Ⅰに引き続き、「読む・書く・聞く・話す」力の基礎となる文法を中心に、丁寧に時間をかけて進めていく。対話文やドリルを用いた「読む・書く」練習や、ペアワーク等による会話形式の「聞く・話す」練習を通じて、バランスのとれた基礎力を鍛えながら、より複雑な表現方法を修得する。
達成目標（授業の目的）	ドイツ語Ⅰで習得した語彙力・文法力を再確認しながら、さらに学習を進めて、ドイツ語の「書く・読む・聞く・話す」力の総合的な訓練により、ドイツ語の発音、基礎的文法力、基礎的表現力の完成を目指す。
到達目標（学修成果）	・ドイツ語の読み方と発音がきちんとできるようになる。 ・文の構造と動詞の仕組み・名詞の格の働きを理解できるようになる。 ・より複雑な構文の文章を理解し、作文することができるようになる。 ・新出語彙を身につける。
評価方法	授業参加の積極性（20%）、授業毎の課題提出（20%）、授業内試験（30%）、定期試験（30%）
評価基準	・授業参加（個人やペア等での発表により、表現・発音・聞き取る力を確認する） ・課題提出（授業毎の短い課題提出により、授業内容・文法事項・新出語彙を確認する） ・試験（授業内試験と定期試験により、文法・読み・書きの力を確認する）
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ドイツ語Ⅰを振り返る［Lektion 1-4］ 動詞の活用と語順・冠詞と冠詞類の格変化	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	テキスト（以下略）S.10-25 の整理、次回提出用課題準備 1
2	ドイツ語Ⅰを振り返る［Lektion 5-6］ 複数形・人称代名詞の格・前置詞の格支配	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.26-33 の整理 次回提出用課題準備 2
3	ドイツ語Ⅰを振り返る［Lektion 7-8］ 形容詞・話法の助動詞と未来形の構文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.34-47 の整理 次回提出用課題準備 3
4	［Lektion 9］駅の窓口で尋ねる 分離動詞・非分離動詞と分離動詞の構文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.48, 51 の整理 次回提出用課題準備 4
5	［Lektion 9］駅の窓口で尋ねる 従属接続詞と複文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.49, 51 の整理 次回提出用課題準備 5
6	［Lektion 9］駅の窓口で尋ねる 会話と作文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.50, 51 の整理 次回提出用課題準備 6
7	［Lektion 10］休暇の計画を尋ねる zu 不定詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.52, 55 の整理 次回提出用課題準備 7
8	［Lektion 10］休暇の計画を尋ねる 再帰代名詞・再帰動詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.53, 55 の整理 次回提出用課題準備 8

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	［Lektion 10］休暇の計画を尋ねる 会話と作文・会話表現 6（計画）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.54, 55, 80 の整理 次回提出用課題準備 9
10	［Lektion 11］旅の体験を語る（1） 動詞の 3 基本形	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.56, 59 の整理 次回提出用課題準備 10
11	［Lektion 11］旅の体験を語る（1） 動詞の過去人称変化・分離動詞の過去形	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.57, 59 の整理 次回提出用課題準備 11
12	［Lektion 11］旅の体験を語る（1） 会話と作文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.58, 59 の整理 次回提出用課題準備 12
13	［Lektion 12］旅の体験を語る（2） 現在完了形・他動詞と自動詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.60, 63 の整理 次回提出用課題準備 13
14	［Lektion 12］旅の体験を語る（2） 非人称表現	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.61, 63 の整理 次回提出用課題準備 14
15	［Lektion 12］旅の体験を語る（2） 会話と作文・会話表現 7（体験）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.62, 63, 81 の整理 試験準備（S.48-63, 80, 81）
16	Lektion 9-12 の総括・質疑応答（30 分） 授業内試験（60 分）	質疑応答 試験	S.48-63, 80, 81 の整理
17	Lektion 9-12 の総括・試験解答 ［Lektion 13］意見を交換する（1）受動態	試験解答、演習	S.64, 67 の整理 次回提出用課題準備 15
18	［Lektion 13］意見を交換する（1） 形容詞と副詞の比較級	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.65, 67 の整理 次回提出用課題準備 16
19	［Lektion 13］意見を交換する（1） 会話と作文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.66, 67 の整理 次回提出用課題準備 17
20	［Lektion 14］意見を交換する（2） 定関係代名詞・関係文の構文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.68, 71 の整理 次回提出用課題準備 18
21	［Lektion 14］意見を交換する（2） 不定関係代名詞・関係副詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.69, 71 の整理 次回提出用課題準備 19
22	［Lektion 14］意見を交換する（2） 会話と作文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.70, 71 の整理 次回提出用課題準備 20
23	［Lektion 15］別れと再会の約束 接続法 I 式の形態と用法	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.72, 75 の整理 次回提出用課題準備 21
24	［Lektion 15］別れと再会の約束 接続法 II 式の形態と用法	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.73, 75 の整理 次回提出用課題準備 22
25	［Lektion 15］別れと再会の約束 会話と作文・会話表現 8（意見交換）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.74, 75, 81 の整理 次回提出用課題準備 23
26	受動態・関係文・接続法の練習問題	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.64-75, 81・配布物の整理 試験準備（S.64-75, 81）
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	Lektion 13-15 の総括 受動文・関係文・接続法の練習問題	試験講評、返却質疑応答、演習	配布物の整理 次回提出用課題準備 24
28	再帰動詞の練習問題	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	配布物の整理

テキスト	上野成利・本田雅也『パノラマ初級ドイツ語ゼミナール［三訂版］（CD 付）』（白水社）
参 考 書	橋本政義・橋本淑恵・Heike Pinnau『CD 付き　使ってみよう！ドイツ語　文法＋4 技能のトレーニング』（三修社）
履修条件、前提科目	ドイツ語 I の単位を修得済みであるか、またはそれと同等のレベルであること。ただし、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は原則、不可とする。（『履修要覧』P.61～P.62 を参照のこと）
その他特記事項	できるだけ余裕をもって進行に努めるが、欠席が続くと習得度が下がる上、ペアワークやグループワークが滞るので毎回の出席が望ましい。また、辞書の用意を推奨する。

科目名	FRN101:　フランス語Ⅰ					担当教員	渡邉　郁美
開講期	春 / 秋	開講時限	（春）月木 4 限 （秋）月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	フランス語入門
授業の概要	フランス語入門者を対象とする。文法についての講義と関連表現の聞き取り・発音・内容理解・書き換えの練習を通じて、フランス語を使うための基礎を学習する。クラスで一緒にとり組む練習や小テスト・課題・発表準備の機会に、文法・つづり・発音の習熟状況を確認しつつ、正しく使える表現を無理のないペースで継続的に増やしていく。テキストの他に会話場面の例文や文化に関する映像などを補う。辞書類の使い方も練習する。
達成目標（授業の目的）	フランス語の基礎的な文法を、聞く・話す・読む・書く練習を通じて習得し、身につけた基本表現をもとに、一部を適切に書き換えられるようになることを目標とする。
到達目標（学修成果）	・単語や文をフランス語らしく発音することができる。 ・基本的な語彙を身につけ、正しくつづることができる。 ・簡単な文を読んで理解し、基礎的な文法を応用して部分的に書き換えることができる。 ・自分や自分の周囲の事柄について、語彙等を調べて短い作文をすることができる。
評価方法	①授業中に行なうグループワークへの積極的な参加と発表（15%） ②小テスト、授業内試験（50%） ③授業外課題（25%） ④仏作文（10%）
評価基準	①練習に積極的に参加しているか。発表文を暗記し、フランス語らしく発音できているか。 ②学んだ語彙や表現を身につけ、正しくつづることができているか。学んだ文法を理解し、応用できているか。 ③予習・復習としての練習や調べ学習を継続的に行なうことができているか。 ④学んだ語彙や文法をもとに、自分が伝えようと思う内容に応じて、作文できているか。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／verbally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	授業概要の説明 Leçon 0 アルファベ、数字、挨拶	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
2	小テスト Leçon 0 発音とつづり、Leçon 1 - 7 の概観	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
3	小テスト、前回小テストの返却と解説 Leçon 1 前置詞、強勢形	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
4	小テスト、前回小テストの返却と解説 Leçon 2 疑問文	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
5	小テスト、前回小テストの返却と解説 Leçon 2 否定文、副詞	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
6	小テスト、前回小テストの返却と解説 Leçon 3 疑問詞 où	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
7	小テスト、前回小テストの返却と解説 Leçon 4 動詞 être	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
8	小テスト、前回小テストの返却と解説 Leçon 4 形容詞	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	小テスト、前回小テストの返却と解説 Leçon 5 名詞、指示形容詞、所有形容詞	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
10	小テスト、前回小テストの返却と解説 Leçon 6 定冠詞、縮約	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
11	小テスト、前回小テストの返却と解説 Leçon 6 動詞 aimer	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
12	小テスト、前回小テストの返却と解説 Leçon 7 不定冠詞、部分冠詞	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
13	小テスト、前回小テストの返却と解説 Leçon 7 動詞 avoir、ゼロ冠詞	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
14	前回小テストの返却と解説 Leçon 0 - 7 のまとめ（次回試験の練習）	講義、グループワーク	試験準備（Leçon 0 - 7 練習問題の復習）
15	授業内試験 文化紹介ビデオ視聴	講義、ビデオ視聴、グループワーク	文化紹介ビデオのスクリプトの復習
16	授業内試験の返却と解説 Leçon 8 - 13 の概観	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
17	小テスト Leçon 8 er 動詞（1）	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
18	小テスト、前回小テストの返却と解説 Leçon 9 er 動詞（2）	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
19	小テスト、前回小テストの返却と解説 Leçon 10 ir 動詞	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
20	小テスト、前回小テストの返却と解説 Leçon 10 メッセージを読む	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
21	小テスト、前回小テストの返却と解説 Leçon 11 re 動詞	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
22	小テスト、前回小テストの返却と解説 Leçon 12 oir 動詞、非人称の il	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
23	小テスト、前回小テストの返却と解説 Leçon 13 中性代名詞 y、le	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
24	小テスト、前回小テストの返却と解説 Leçon 13 中性代名詞 en	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
25	前回小テストの返却と解説 Leçon 8 - 13 のまとめ（次回試験の練習）	講義、グループワーク	試験準備（Leçon 8 - 13 練習問題の復習）
26	授業内試験、文化紹介ビデオ視聴 自己紹介文を書く	ビデオ視聴、仏作文	自己紹介文の作成
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	授業内試験の返却と解説、文化紹介ビデオ視聴、自己紹介文の修正、発表練習	講義、ビデオ視聴、グループワーク	試験の復習 自己紹介発表練習
28	自己紹介発表 総括	学生の発表、講義	自己紹介の復習

テキスト	白石嘉治、西川葉澄、谷口清彦『トラントラン：初級フランス語・かんたんなことをコツコツやろう』（朝日出版社）
参 考 書	清岡智比古『フラ語入門、わかりやすいにもホドがある！［改訂新版］』（白水社）
履修条件、前提科目	初学者、初級者向けであり、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は原則、不可とする。

科目名	FRN102:　フランス語Ⅱ					担当教員	渡邉　郁美
開講期	春	開講時限	月木3限			研究室	4号館2階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	フランス語入門
授業の概要	「フランス語Ⅰ」で学んだことを復習しながら、文法についての講義と関連表現の聞き取り・発音・内容理解・書き換えの練習を通じて、フランス語を使うための基礎をひき続き学習する。クラスで一緒にとり組む練習や小テスト・課題などの機会に習熟状況を確認しつつ、正しく使える表現を無理のないペースで継続的に増やしていく。会話場面の例文や文化に関する映像などを補い、学んだ内容を身近な場面で応用することにつなげる。
達成目標（授業の目的）	フランス語の基礎的な文法を、聞く・話す・読む・書く練習を通じて習得し、身につけた基本表現をもとに、身近な場面で応用できるようになることを目標とする。
到達目標（学修成果）	・フランス語を相手に伝わるように発音することができる。聞き取ったフランス語を正しく書くことができる。 ・日常的な場面で使う基本的な語彙を身につけ、正しくつづることができる。 ・簡単な文を読んで理解し、基礎的な文法を応用して部分的に書き換えることができる。
評価方法	①授業中に行なうグループワークへの積極的な参加（10%） ②小テスト、授業内試験（60%） ③授業外課題（30%）
評価基準	①発音・聞き取り・書き取りの練習に積極的に参加しているか。 ②学んだ語彙や表現を身につけられているか。学んだ文法を理解し、応用できているか。 ③予習・復習としての練習を継続的に行なうことができているか。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／verbally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	授業概要の説明、フランス語Ⅰの復習（主語人称代名詞、疑問文、否定文）、動詞①	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
2	小テスト、フランス語Ⅰの復習（形容詞、名詞、冠詞）、動詞②	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
3	小テスト、前回小テストの返却と解説、フランス語Ⅰの復習（中性代名詞）、動詞①②	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
4	小テスト、前回小テストの返却と解説、Leçon 14 直接目的補語、動詞③	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
5	小テスト、前回小テストの返却と解説、Leçon 14 間接目的補語、動詞④	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
6	小テスト、前回小テストの返却と解説、Leçon 15 比較（beaucoup）、動詞③④	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
7	小テスト、前回小テストの返却と解説、Leçon 15 比較（その他）、動詞⑤	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	小テスト、前回小テストの返却と解説、 Leçon 16 代名動詞、動詞⑥	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
9	小テスト、前回小テストの返却と解説、 Leçon 16 命令法、動詞⑦	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
10	小テスト、前回小テストの返却と解説、 Leçon 17 関係詞（qui、que）、動詞⑤⑥⑦	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
11	小テスト、前回小テストの返却と解説、 Leçon 17 関係詞（où、dont）、動詞①～⑦	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
12	小テスト、前回小テストの返却と解説、 Leçon 18 強調構文、動詞①～⑦	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
13	小テスト、前回小テストの返却と解説、 Leçon 18 さまざまな疑問文、動詞①～⑦	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
14	前回小テストの返却と解説 Leçon 14 - 18 のまとめ（次回試験の練習）	講義、グループワーク	試験準備（Leçon 14 - 18 練習問題の復習）
15	授業内試験 文化紹介ビデオ視聴	講義、ビデオ視聴、グループワーク	文化紹介ビデオのスクリプトの復習
16	授業内試験の返却と解説 Leçon 19 半過去	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
17	小テスト、Leçon 20 複合過去（avoir＋過去分詞）	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
18	小テスト、前回小テストの返却と解説、 Leçon 20 複合過去（être＋過去分詞）	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
19	小テスト、前回小テストの返却と解説、 Leçon 21 単純未来	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
20	小テスト、前回小テストの返却と解説、 Leçon 19 - 21 のまとめ	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
21	小テスト、前回小テストの返却と解説、 Leçon 22 条件法現在（活用形）	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
22	小テスト、前回小テストの返却と解説、 Leçon 22 条件法現在（用法）	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
23	小テスト、前回小テストの返却と解説、 Leçon 23 接続法現在（活用形）	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
24	小テスト、前回小テストの返却と解説、 Leçon 23 接続法現在（用法）	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習） 小テストの準備
25	前回小テストの返却と解説 Leçon 19 - 23 のまとめ（次回試験の練習）	講義、グループワーク	試験準備（Leçon 19 - 23 練習問題の復習）
26	授業内試験、文化紹介ビデオ視聴	講義、ビデオ視聴、グループワーク	授業外課題（例文書き練習）
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	授業内試験の返却と解説、Leçon ＋ α 複合時制、文化紹介ビデオ視聴	講義、グループワーク	授業外課題（例文書き練習）
28	Leçon ＋ α 代名詞の組み合わせ 総括	講義、グループワーク	授業のふりかえり

テキスト	白石嘉治、西川葉澄、谷口清彦『トラントラン：初級フランス語・かんたんなことをコツコツやろう』（朝日出版社）
参 考 書	清岡智比古『フラ語入門、わかりやすいにもホドがある！［改訂新版］』（白水社） 根木昭英、野澤督、ヴェスィエール ジョルジュ『アクション！フランス語 A1』（白水社）
履修条件、前提科目	フランス語 I の単位を修得済みであるか、またはそれと同等のレベルであること。ただし、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は原則、不可とする。（『履修要覧』P.61～P.62 を参照のこと）

科目名	SPN101:　スペイン語 I					担当教員	関　智彦
開講期	春 / 秋	開講時限	（春）月木 4 限 （秋）月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	第二外国語、スペイン語、スペイン、ラテンアメリカ、スペイン語圏の文化
授業の概要	スペイン語の基礎を学ぶ。スペイン語の文法構造、音声体系、表記法を理解し、「読む」「書く」「聞く」「話す」の 4 技能を初級レベルまで習得する。各回の授業では、習得した知識の運用・実践に加え、スペイン語圏の文化・習慣についても学ぶ。
達成目標（授業の目的）	これまで英語が外国語学習の中心であった学生を対象とする本授業では、次の 2 点を授業の目的とする。①スペイン語とスペイン語圏の文化を学習し、英語圏以外の西欧諸国の言語的・文化的広がりを実感・理解することで、異なる言語文化や習慣に対する理解力と寛容さを身に付ける。②授業内外で学習した文法、語彙、フレーズを活用しつつスペイン語での意思疎通を楽しむことで、英語と日本語以外でのコミュニケーションに対する積極性を養う。
到達目標（学修成果）	①スペイン語の習得において非常に重要な「動詞の活用」と「名詞と形容詞の性数一致」の規則をしっかり理解する。②並行して語彙を増やし、基礎的なスペイン語で「読み」「書き」できるようになる。③挨拶や簡単な日常会話を「聞いて」理解し、ゆっくりではあるがはっきりと「話す」ことができるようになる。
評価方法	①期末発表：30%、②小テスト：20%、③授業への積極参加：30%、④授業外課題：20%
評価基準	①期末発表：スペイン語圏の文化について調べ、word または PowerPoint でプレゼン原稿を作成し、授業で発表する。提出された原稿を基に、授業内で学んだ文法項目を用いたスペイン語の運用能力が身についているかを評価する。評価基準は「スペイン語の知識を積極的に運用できているか」（15%）、「内容が整理されているか」（5%）、「自身の意見を表現しようと努力しているか」（5%）、「明確に発音しようと努めているか」（5%）である。 ②小テスト：単元ごとにテストを実施し、授業外の予習・復習に取り組む態度を評価する。 ③授業への積極参加：正解・不正解を問わず、しっかりと考えて回答しているか。また、リアクションペーパーへの質問や感想の書き込み、ペアワークへの積極参加など「主体的に学ぶ姿勢」も評価する。 ④授業外課題：授業内容を理解し、スペイン語の運用能力が身についているかを評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle で行う／Loyola / Moodle
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	スペイン語とスペイン語圏の紹介	講義、質疑応答	シラバスの確認
2	Unidad 1 挨拶、アルファベット、発音	講義、練習問題、ペアワーク	第 2 講の学習項目の予習、アクセント規則の予習
3	Unidad 1 発音、アクセントと表記法（アクセントの位置、記号の付け方）	講義、練習問題、ペアワーク	第 3 講の学習項目の予習、第 2 講の復習
4	Unidad 1 固有名詞、数字	講義、練習問題、ペアワーク	第 4 講の学習項目の予習、第 3 講の復習
5	Unidad 1 挨拶の表現（名前の自己紹介）	講義、練習問題、ペアワーク	第 5 講の学習項目の予習、第 4 講の復習
6	Unidad 2 名詞の「性」と「数」、小テスト（Unidad 1）・返却・解説	講義、練習問題、ペアワーク	Unidad 1 の総復習、第 6 講の予習
7	Unidad 2 定冠詞、主語代名詞	講義、練習問題、ペアワーク	第 7 講の学習項目の予習、第 6 講の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unidad 2 動詞 ser の直接法現在形、疑問文と否定文	講義、練習問題、ペアワーク	第 8 講の学習項目の予習、第 7 講の復習
9	Unidad 2 数字・職業・国籍を表す表現	講義、練習問題、ペアワーク	第 9 講の学習項目の予習、第 8 講の復習
10	Unidad 3 不定冠詞、品質形容詞、小テスト（Unidad 2）・返却・解説	講義、練習問題、ペアワーク	Unidad 2 の総復習、第 10 講の学習項目の予習
11	Unidad 3 所有詞前置形、動詞 tener の直接法現在形	講義、練習問題、ペアワーク	第 11 講の学習項目の予習、第 10 講の復習
12	Unidad 3 疑問詞	講義、練習問題、ペアワーク	第 12 講の学習項目の予習、第 11 講の復習
13	Unidad 3 数字・家族を表す表現	講義、練習問題、ペアワーク	第 13 講の学習項目の予習、第 12 講の復習
14	Unidad 4 指示形容詞、指示代名詞、小テスト（Unidad 3）・返却・解説	講義、練習問題、ペアワーク	Unidad 3 の総復習、第 14 講の学習項目の予習
15	Unidad 4 動詞 estar の直接法現在形	講義、練習問題、ペアワーク	第 15 講の学習項目の予習、第 14 講の復習
16	Unidad 4 動詞 haber の用法	講義、練習問題、ペアワーク	第 16 講の学習項目の予習、第 15 講の復習
17	Unidad 4 場所を表す副詞、序数	講義、練習問題、ペアワーク	第 17 講の学習項目の予習、第 16 講の復習
18	Unidad 5 規則動詞の直接法現在形、小テスト（Unidad 4）・返却・解説	講義、練習問題、ペアワーク	Unidad 4 の総復習、第 18 講の学習項目の予習
19	Unidad 5 規則動詞の直接法現在形の復習 不規則動詞の直接法現在形	講義、練習問題、ペアワーク	第 19 講の学習項目の予習、第 18 講の復習
20	Unidad 5 不規則動詞の直接法現在形の復習 現在形の用法、疑問詞	講義、練習問題、ペアワーク	第 20 講の学習項目の予習、第 19 講の復習
21	Unidad 5 曜日、頻度を表す副詞表現	講義、練習問題、ペアワーク	第 21 講の学習項目の予習、第 20 講の復習
22	Unidad 6 前置詞、小テスト（Unidad 5）・返却・解説	講義、練習問題、ペアワーク	Unidad 5 の総復習、第 22 講の学習項目の予習
23	Unidad 6 未来を表す表現（ir a ＋不定詞）	講義、練習問題、ペアワーク	第 23 講の学習項目の予習、第 22 講の復習
24	Unidad 6 語幹母音変化動詞、動詞 salir と動詞 venir の活用	講義、練習問題、ペアワーク	第 24 講の学習項目の予習、第 23 講の復習
25	Unidad 6 時間・月と季節・交通機関を表す表現	講義、練習問題、ペアワーク	第 25 講の学習項目の予習、第 24 講の復習
26	第 25 回までの授業内容のまとめ、小テスト（Unidad 6）・返却・解説	講義、練習問題、ペアワーク	Unidad 6 の総復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	スペイン語圏の文化・習慣について発表 1（テーマは自由選択）	レポート課題発表、質疑応答	プレゼンテーション準備
28	スペイン語圏の文化・習慣について発表 2（テーマは自由選択）	レポート課題発表、質疑応答	プレゼンテーション準備

テキスト	スペイン語教材研究会『Entre amigos 1 - 2ª edición -』（朝日出版社）
参 考 書	大原志麻・花方寿行『¡Bienvenidos al mundo del español!』（朝日出版社） 志波彩子・西村秀人・水戸博之・渡辺有美『¡¡¡Excelente!!!La 3ra edición』（朝日出版社） 上田博人、アントニオ・ルイズ・ティノコ 監修『デイリー日西英・西日英辞典』（三省堂編修所）
履修条件、前提科目	初学者、初級者向けであり、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は原則、不可とする。
その他特記事項	継続的に予習・復習し、授業中は積極的に発言することが望ましい。教科書と辞書（電子辞書・辞書アプリ可）は毎回持参すること。

科目名	SPN102:　スペイン語Ⅱ					担当教員	関　智彦
開講期	春	開講時限	月木3限			研究室	4号館2階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	第二外国語、スペイン語、スペイン、ラテンアメリカ、スペイン語圏の文化
授業の概要	「スペイン語Ⅰ」の復習をしながら、スペイン語の習得を進めていく。スペイン語の基本的な文法事項を習得し、より表現豊かなスペイン語の運用能力を身に付ける。言語の習得とともにスペイン語圏の文化・習慣について理解を深める。
達成目標（授業の目的）	スペイン語Ⅰを履修済みの学生に対して開講されている本授業では、次の2点を授業の目的とする。①スペイン語とスペイン語圏の文化を学習し、英語圏以外の西欧諸国の言語的・文化的広がりを実感・理解することで、異なる言語文化や習慣に対する理解力と寛容さを身に付ける。②授業内外で学習した文法、語彙、フレーズを活用しつつスペイン語での意思疎通を楽しむことで、英語と日本語以外でのコミュニケーションに対する積極性を養う。③スペイン語Ⅰよりさらに発展したスペイン語を学び、その後も継続して学び続けることのできる自律的な学習者を目指す。
到達目標（学修成果）	①スペイン語の習得において非常に重要な「動詞の活用」と「名詞と形容詞の性数一致」の規則をしっかり習得する。②並行して語彙を増やし、基礎的なスペイン語で「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を実践できるようになる。③慣用表現なども用いて日常の出来事や自分の意見・感情などを、豊かな言語表現で正確に伝えることができるようになる。
評価方法	①期末発表：30%、②小テスト：20%、③授業への積極参加：30%、④授業外課題：20%
評価基準	①期末発表：スペイン語圏の文化について調べ、word または PowerPoint でプレゼン原稿を作成し、授業で発表する。提出された原稿を基に、授業内で学んだ文法項目を用いたスペイン語の運用能力が身についているかを評価する。評価基準は「既習のスペイン語の知識を積極的に運用できているか」(15%)、「内容が整理されているか」(5%)、「自身の意見を表現しようと努力しているか」(5%)、「明確に発音しようと努めているか」(5%) である。 ②小テスト：単元ごとにテストを実施し、授業外の予習・復習に取り組む態度を評価する。 ③授業への積極参加：正解・不正解を問わず、しっかりと考えて回答しているか。また、リアクションペーパーへの質問や感想の書き込み、ペアワークへの積極参加など「主体的に学ぶ姿勢」も評価する。 ④授業外課題：授業内容を理解し、スペイン語の運用能力が身についているかを評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle で行う／Loyola / Moodle
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	現在形の動詞を用いた表現の復習	講義、質疑応答、ペアワーク	シラバスの確認、スペイン語Ⅰの復習
2	Unidad 7 規則動詞と不規則動詞の復習	講義、質疑応答、ペアワーク	規則動詞・不規則動詞の現在形を用いた表現の復習
3	Unidad 7 語幹母音変化動詞	講義、質疑応答、ペアワーク	第3講の学習項目の予習、第2講の復習
4	Unidad 7 再帰動詞の活用	講義、質疑応答、ペアワーク	第4講の学習項目の予習、第3講の復習
5	Unidad 7 再帰動詞の用法、天候表現	講義、質疑応答、ペアワーク	第5講の学習項目の予習、第4講の復習
6	Unidad 8 直接目的人称代名詞、動詞 ver、小テスト（Unidad 7）・返却・解説	講義、質疑応答、ペアワーク	Unidad 7 総復習、第6講の学習項目の予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Unidad 8 動詞 saber と動詞 conocer の使い分け、（saber + 不定詞）と（poder + 不定詞）	講義、質疑応答、ペアワーク	第 7 講の学習項目の予習、第 6 講の復習
8	Unidad 8（poder + 不定詞）、（querer + 不定詞）	講義、質疑応答、ペアワーク	第 8 講の学習項目の予習、第 7 講の復習
9	Unidad 9 間接目的人称代名詞、小テスト（Unidad 8）・返却・解説	講義、質疑応答、ペアワーク	Unidad 8 の総復習、第 9 講の学習項目の予習
10	Unidad 9 動詞 dar、traer、decir の活用と用法	講義、質疑応答、ペアワーク	第 10 講の学習項目の予習、第 9 講の復習
11	Unidad 9 比較表現（比較級と最上級）	講義、質疑応答、ペアワーク	第 11 講の学習項目の予習、第 10 講の復習
12	Unidad 10 動詞 gustar の発想、小テスト（Unidad 9）・返却・解説	講義、質疑応答、ペアワーク	Unidad 9 の総復習、第 12 講の学習項目の予習
13	Unidad 10 gustar 型のその他の動詞	講義、質疑応答、ペアワーク	第 13 講の学習項目の予習、第 12 講の復習
14	Unidad 10 副詞・数量の比較表現	講義、質疑応答、ペアワーク	第 14 講の学習項目の予習、第 13 講の復習
15	Unidad 11 動詞 doler の用法、小テスト（Unidad 10）・返却・解説	講義、質疑応答、ペアワーク	Unidad 10 の総復習、動詞 doler の活用と用法の予習
16	Unidad 11 動詞 estar と動詞 ser の使い分け	講義、質疑応答、ペアワーク	第 16 講の学習項目の予習、第 15 講の復習
17	Unidad 11 感嘆文、義務を表すイディオム（tener que + 不定詞）（hay que + 不定詞）	講義、質疑応答、ペアワーク	第 17 講の学習項目の予習、第 16 講の復習
18	Unidad 11 不定語と否定語、体調・感情表現	講義、質疑応答、ペアワーク	第 18 講の学習項目の予習、第 17 講の総復習
19	Unidad 12 直接法点過去の規則活用、小テスト（Unidad 11）・返却・解説	講義、質疑応答、ペアワーク	Unidad 11 の総復習、第 19 講の学習項目の予習
20	Unidad 12 直接法点過去の不規則活用、時を表す副詞表現	講義、質疑応答、ペアワーク	第 20 講の学習項目の予習、第 19 講の復習
21	Unidad 13 直接法線過去	講義、質疑応答、ペアワーク	第 21 講の学習項目の予習、第 20 講の復習
22	Unidad 13 直接法点過去・線過去の使い分け	講義、質疑応答、ペアワーク	第 22 講の学習項目の予習、第 21 講の復習
23	Unidad 14 不定詞、過去分詞、現在分詞、小テスト（Unidad 12-13）・返却・解説	講義、質疑応答、ペアワーク	Unidad12-13 の総復習、第 23 講の学習項目の予習
24	Unidad 14 直接法現在完了形、進行形（estar + 現在分詞）	講義、質疑応答、ペアワーク	第 24 講の学習項目の予習、第 23 講の復習
25	Unidad 15 命令形	講義、質疑応答、ペアワーク	第 25 項の学習項目の予習、第 24 講の復習
26	第 25 回までの授業内容のまとめ、小テスト（Unidad 14-15）・返却・解説	講義、質疑応答、ペアワーク	Unidad14-15 の総復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	スペイン語圏の文化・習慣について発表 1（テーマは自由選択）	レポート課題発表、質疑応答	プレゼンテーション準備
28	スペイン語圏の文化・習慣について発表 2（テーマは自由選択）	レポート課題発表、質疑応答	プレゼンテーション準備

テキスト	スペイン語教材研究会『Entre amigos 1 - 2ª edición -』（朝日出版社）
参 考 書	大原志麻・花方寿行『¡Bienvenidos al mundo del español!』（朝日出版社） 志波彩子・西村秀人・水戸博之・渡辺有美『¡¡¡Excelente!!!La 3ra edición』（朝日出版社） 高垣敏博（監修）『西和中辞典』（第 2 版）（小学館）
履修条件、前提科目	スペイン語 I の単位を修得済みであるか、またはそれと同等のレベルであること。ただし、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は原則、不可とする。（『履修要覧』P.61～P.62 を参照のこと）
その他特記事項	継続的な予習・復習、積極的な発言が望ましい。教科書（再購入は注文制）と辞書は必ず毎回持参すること。

科目名	CHN101:　中国語Ⅰ					担当教員	廣重　聖佐子
開講期	春 / 秋	開講時限	（春）月木 4 限 （秋）月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	第二外国語・入門中国語・ピンイン習得
授業の概要	この授業では入門中国語の学習に不可欠なピンイン習得を目指し、音読と会話練習を中心に授業を進める。今年度の授業では教科書前半部分を使用し、各課 2 回の授業で 1 課を終了する。1 回目の授業では、単語と文法の解説後、各自復習本文とドリルを提出する。2 回目の授業では、復習として音読や会話練習をする。各自教科書の音声か動画をダウンロードしてよく練習すること。
達成目標（授業の目的）	中国語学習に必要不可欠なピンイン、入門程度の基本的な文法事項、挨拶などを反復練習によって習得する。
到達目標（学修成果）	・ピンインを習得し本文の音読ができるようになる。 ・教科書本文の基本的な単語や文法事項が理解できるようになる。 ・練習問題や復習プリント等で簡単な和文中訳ができるようになる。
評価方法	①課題提出：授業内課題と復習プリント（20%） ②音読チェック：各課終了時によるチェックと提出された音読データ（20%） ③音読テスト：28 回目に実施する音読テスト（10%） ④授業参加：授業内で指定部分の口頭テスト（10%） ⑤授業内特別課題：2 回の筆記課題と音声データの提出（40%）
評価基準	①課題提出：次回授業 AM10:00 までに課題が提出されているか。 ②音読チェック：本文が正確に読めるか。 ③音読テスト：指定された本文が一人で正確に読めるか。 ④授業参加：授業時に指定した復習部分が中国語で答えられるか。 ⑤授業内特別課題：学習したことを理解しており、かつ身についているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	第 1 課　発音（1）音節・声調 第 2 課　発音（2）短母音・複母音	解説と発音練習	第 1 課・2 課復習と発音練習 ドリル
2	第 3 課　発音（3）子音（1）	解説と発音練習	第 3 課復習と発音練習 ドリル
3	第 4 課　発音（4）子音（2）	解説と発音練習	第 4 課復習と発音練習 ドリル
4	第 5 課　姓のたずね方・こたえ方　①解説	単語と文法の解説	第 5 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
5	第 5 課　姓のたずね方・こたえ方　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
6	第 6 課　動詞“是”・助詞“的”　①解説	単語と文法の解説	第 6 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
7	第 6 課　動詞“是”・助詞“的”　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
8	第 7 課　基本語順 S+V+O　連動文　①解説	単語と文法の解説	第 7 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	第 7 課　基本語順 S+V+O　連動文　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
10	第 8 課　助動詞“想”・動詞“有”の用法 指示代名詞　①解説	単語と文法の解説	第 8 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
11	第 8 課　助動詞“想”・動詞“有”の用法 指示代名詞　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
12	第 9 課　動詞“在”　方位詞の用法 前置詞“从・往”　①解説	単語と文法の解説	第 9 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
13	第 9 課　動詞“在”　方位詞の用法 前置詞“从・往”　②練習中間特別課題告知	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
14	中間特別課題の実施	筆記課題と音声データの提出	第 1 課～9 課までの復習
15	第 10 課　数の言い方　お金・値段のたずね方　形容詞述語文　①解説	単語と文法の解説	第 10 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
16	第 10 課　数の言い方　お金・値段のたずね方　形容詞述語文　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
17	第 11 課　年月日、曜日の言い方　年齢の言い方　①解説	単語と文法の解説	第 11 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
18	第 11 課　年月日、曜日の言い方　年齢の言い方　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
19	第 12 課　量詞　動詞の重ね型　①解説	単語と文法の解説	第 12 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
20	第 12 課　量詞　動詞の重ね型　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
21	第 13 課　時刻の言い方　発生や状態の変化を表す“了”　①解説	単語と文法の解説	第 13 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
22	第 13 課　時刻の言い方　発生や状態の変化を表す“了”　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
23	第 14 課　時間の長さの言い方　動作完了の“了”　①解説	単語と文法の解説	第 14 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
24	第 14 課　時間の長さの言い方　動作完了の“了”　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
25	第 15 課　前置詞“给”助動詞“可以・能”の用法　①解説	単語と文法の解説	第 15 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
26	第 15 課　前置詞“给”助動詞“可以・能”の用法　②練習　期末特別課題の告知	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	期末特別課題の実施 音声データの準備	筆記課題と音読データの提出	第 10 課～15 課までの復習
28	期末特別課題の講評 音読テスト	講評 音読テスト	音読テストの準備

テキスト	陳淑梅・劉光赤『しゃべっていいとも中国語　トータル版』（朝日出版社）
参 考 書	守屋宏則・李軼倫『やさしくくわしい中国語文法の基礎』（東方書店）
履修条件、前提科目	初学者、初級者向けであり、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は原則、不可とする。
その他特記事項	就職活動で欠席する場合は事前に連絡すること。 私用による 20 分以上の遅刻は欠席とする。

科目名	CHN102:　中国語Ⅱ					担当教員	廣重　聖佐子
開講期	春	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	第二外国語・初級中国語
授業の概要	今年度は初級過程の完了を目指す。前年度使用した教科書の後半部分を引き続き学習し、各課 2 回で 1 課を終了する。1 回目の授業では文法、単語、本文の説明後に各自本文と学習ポイントを提出する。2 回目の授業では本文の音読練習と音読チェックをする。課題としてドリル、練習問題、音読データを提出する。
達成目標（授業の目的）	・中国語の初級加齢を完了するとともに、学習した構文等を自分で分析し、和訳や中訳ができる。 ・音読練習と初級過程の成果として、今までに学んだ構文を用いて中国語でスピーチができる。
到達目標（学修成果）	・本文の音読が正確にできるようになる。 ・文法事項が理解でき、和訳や中訳の練習問題ができるようになる。 ・例文等を用いて中国語で表現できるようになる。
評価方法	①課題提出：授業内の確認課題とドリルと練習問題（20%） ②音読チェック：各課終了時授業中に行うチェックと、提出された音読データ（20%） ③スピーチ：10 センテンス以上を授業最終回に発表（10%） ④授業参加：授業時に指定された部分の復習（10%） ⑤授業内特別課題：2 回の筆記課題と音声データの提出（40%）
評価基準	①課題提出：学習したことが理解できているか。 ②音読チェック：本文が正確に読めるか。 ③スピーチ：23 回目の授業までに原稿を提出し、授業最終回に発表。翻訳アプリ等による翻訳は不可とする。 ④授業参加：授業時に指定した復習部分が中国語で答えられるか。 ⑤授業内特別課題：2 回実施。学習してことを理解しており、かつ身についているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	第 15 課　経験を表す“过” 比較を表す前置詞“比”　①解説	単語と文法説明	予習：事前学習単語シート 本文音読シート
2	第 15 課　経験を表す“过” 比較を表す前置詞“比”　②練習	前回の復習 音読と会話練習	復習：ドリル・練習問題 音読データの提出
3	第 16 課　助動詞　二重目的語　①解説	課題解説 単語と文法説明	予習：事前学習単語シート 本文音読シート
4	第 16 課　助動詞　二重目的語　②練習	前回の復習 音読と会話練習	復習：ドリル・練習問題 音読データの提出
5	第 17 課　助動詞“可以”　副詞“有点儿”と名詞“一点儿”　①解説	課題解説 単語と文法説明	予習：事前学習単語シート 本文音読シート
6	第 17 課　助動詞“可以”　副詞“有点儿”と名詞“一点儿”　②練習	前回の復習 音読と会話練習	復習：ドリル・練習問題 音読データの提出
7	第 18 課　様態補語　時間の長さ　①解説	課題解説 単語と文法説明	予習：事前学習単語シート 本文音読シート
8	第 18 課　様態補語　時間の長さ　②練習	前回の復習 音読と会話練習	復習：ドリル・練習問題 音読データの提出

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	第 19 課　結果補語　回数の言い方　①解説	課題解説 単語と文法説明	予習：事前学習単語シート 本文音読シート
10	第 19 課　結果補語　回数の言い方　②練習	前回の復習 音読と会話練習	復習：ドリル・練習問題 音読データの提出
11	第 20 課　“是～的”構文　禁止を表す “別”と“不要”　①解説	課題解説 単語と文法説明	予習：事前学習単語シート 本文音読シート
12	第 20 課　“是～的”構文　禁止を表す “別”と“不要”　②練習	前回の復習 音読と会話練習	復習：ドリル・練習問題 音読データの提出
13	第 21 課　方向補語　動作行為の完了“了” ①解説	課題解説 単語と文法説明	予習：事前学習単語シート 本文音読シート
14	第 21 課　方向補語　動作行為の完了“了” ②練習　中間特別課題の告知	前回の復習 音読と会話練習	復習：ドリル・練習問題 音読データの提出
15	中間特別課題の実施 筆記課題と音声データの準備	筆記課題と音声データの提出	15 課～21 課の復習
16	第 22 課　動作行為の進行　可能補語 第 28 課　助詞“着”　①解説	課題解説 単語と文法説明	予習：事前学習単語シート 本文音読シート
17	第 22 課　動作行為の進行　可能補語 第 28 課　助詞“着”　②練習	前回の復習 音読と会話練習	復習：ドリル・練習問題 音読データの提出
18	第 23 課　前置詞“离”“从”“到” 程度補語　①解説	課題解説 単語と文法説明	予習：事前学習単語シート 本文音読シート
19	第 23 課　前置詞“离”“从”“到” 程度補語　②練習	前回の復習 音読と会話練習	復習：ドリル・練習問題 音読データの提出
20	第 24 課　助動詞“能”“会”　①解説	課題解説 単語と文法説明	予習：事前学習単語シート 本文音読シート
21	第 24 課　助動詞“能”“会”　②練習	前回の復習 音読と会話練習	復習：ドリル・練習問題 音読データの提出
22	第 25 課　使役　主述述語文　①解説	課題解説 単語と文法説明	予習：事前学習単語シート 本文音読シート
23	第 25 課　使役　主述述語文　②練習	前回の復習 音読と会話練習	復習：ドリル・練習問題 音読データの提出
24	第 26 課“把”構文　現存文 ①解説　②練習	課題解説　単語と文法説明　音読練習	事前学習単語シート・ドリル・練習問題
25	第 27 課　不定疑問文　受身表現 ①解説　②練習	課題解説　単語と文法説明　音読練習	事前学習単語シート・ドリル・練習問題の提出
26	第 28 課　“就要～了”①解説　②練習 期末特別課題の告知	課題解説　単語と文法説明　音読練習	事前学習単語シート・ドリル・練習問題の提出
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	期末特別課題の実施 自己紹介の準備	筆記課題	22 課～28 課の復習
28	期末特別課題の講評 自己紹介の発表	講評 自己紹介の発表	自己紹介の準備

テキスト	陳淑梅・張国璐『いま始めよう！アクティブラーニング―初級中国語―』（朝日出版）
参 考 書	守屋宏則・李軼倫『やさしくくわしい中国語文法の基礎』改訂版（東方書店）
履修条件、前提科目	中国語 I の単位を修得済みであるか、またはそれと同等のレベルであること。ただし、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は原則、不可とする。（『履修要覧』P.61～P.62 を参照のこと）
その他特記事項	就職活動で欠席する場合は事前に連絡すること。 私用による 20 分以上の遅刻は欠席とする。

科目名	KOR101:　韓国語Ⅰ					担当教員	金　孝珍
開講期	春 / 秋	開講時限	（春）月木 4 限 （秋）月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	第二外国語、韓国語、韓国、ハングル圏の社会と文化
授業の概要	韓国語は、語順が日本語とほぼ同じであり、漢字文化圏の言語であるため、日本語母語話者や日本語学習経験者にとって、非常に学びやすい言語である。この授業は、韓国語をはじめて学習する学生を対象に、入門及び初級文法前半レベルまでの習得を目標とする。韓国語の文字（ハングル）の書き方、読み方から始め、韓国の社会、文化などにも触れながら、基礎的な文法と日常会話の表現を学ぶ。
達成目標（授業の目的）	初級レベルの「読む・書く・聞く・話す」の 4 技能習得が目標である。ハングル文字の仕組みや韓国語の発音、基礎的な文法を習得した上で、簡単な日常会話が可能になるレベルを目指す。さらに、韓国語の世界を知るために、必要な社会文化的な知識についても触れる。
到達目標（学修成果）	①ハングルの仕組みを理解している。②韓国語の正しい発音を身につける。③韓国語の基礎的な文法を理解している。④韓国語で挨拶、自己紹介、簡単な日常会話ができる。⑤韓国に対する興味、関心、理解を深めている。
評価方法	①平常点評価（60%）、②レポート課題の発表（40%）
評価基準	①平常点評価（60%）：授業内容の理解度、4 技能の学習度、授業態度と参加度を評価する。 ・　授業内試験（小テスト）（15%）：授業開始時に 5 分程度の簡単な小テストを行う。 ・　授業毎の課題（20%）：毎回の授業では、復習課題、予習課題を示す。 ・　授業態度と参加度（25%）：出席、授業中に行うペアワークおよびレポート課題発表時のグループワークへの積極的参加と協調性などを評価する。 ②レポート課題の発表（40%）：グループで韓国の社会や文化について調べ、発表を行う。
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle で行う／Moodle ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	**ガイダンス**　シラバス・授業の進め方説明 **入門 Lesson1**　基本母音、子音①（平音）	講義、質疑応答	シラバスの確認 文字と発音の復習
2	**入門 Lesson2** 子音②（激音）	講義、質疑応答、小テスト	文字と発音の復習
3	**入門 Lesson3** 子音③（濃音）	講義、質疑応答、小テスト	文字と発音の復習
4	**入門 Lesson4** バッチム、連音化、日本語のハングル表記	講義、質疑応答、小テスト	文字と発音の復習
5	**入門 Lesson5** 合成母音	講義、質疑応答、小テスト	文字と発音の復習
6	**入門まとめ** 発音の変化、挨拶など決まり文句	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	挨拶の復習
7	**第 1 課**「私は日本人です」 名詞文の疑問形、自己紹介、分かち書き	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	名詞文の復習 質問の仕方と答え方の復習
8	**第 2 課**「日本人ではありません」 名詞文の否定形	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	名詞文の否定形の復習
9	**第 3 課**「それは何ですか」 指示詞の叙述形と疑問形、指示詞	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	指示詞の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	**第 4 課**「約束があります」 存在詞の叙述形と疑問形、存在詞	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	存在詞の復習
11	**第 5 課**「会社はどこにありますか」 位置・方向・場所の指示代名詞	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	位置・方向・場所の指示代名詞の復習
12	**第 6 課**「週末は何をしますか」 用言の丁寧形①（ハムニダ体）	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	「ハムニダ体」の復習
13	**第 7 課**「そんなに遠くありません」 形容詞文の否定形	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	形容詞文の否定形の復習
14	**第 8 課**「いつ行きますか」 漢字語数詞、感嘆・共感	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	漢字語数詞、感嘆・共感を表す表現の復習
15	**第 9 課**「釜山までどうやって行きますか」 用言の丁寧形②「ヘヨ体」、平音の濃音化	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	「ハムニダ体」の復習
16	**第 10 課**「何時からですか」 固有語数詞、時間・時刻	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	固有語数詞、時間・時刻を表す表現の復習
17	**第 11 課**「いつ日本へ来ましたか」 過去の出来事、年月日と曜日	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	過去の出来事、年月日と曜日を表す表現の復習
18	**第 12 課**「お名前は？」 名前などを年上の方に尋ねる表現、尊敬形	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	尊敬形の復習
19	**第 13 課**「どちらへ行っていらっしゃいましたか」敬語の過去形	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	敬語の過去形の復習
20	**第 14 課**「韓国と日本は似ているけど、けっこう違うでしょう？」逆接・確認	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	逆接・確認を表す表現の復習
21	**第 15 課**「温泉に行きたいです」 願望・希望（したい事、したくない事）	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	願望・希望を表す表現の復習
22	**第 16 課**「プレゼントを買うのでお金をたくさん使います」理由・原因、ㅡ不規則活用	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	理由・原因を表す表現の復習
23	**第 17 課**「結婚式に何を着ていけばいいですか」アドバイス・許可・仮定・条件	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	アドバイス・許可を求める表現、仮定・条件の表現の復習
24	**第 18 課**「食事でも一緒にしましょうか」 勧誘・目的	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	勧誘・目的を表す表現の復習
25	**第 19 課**「写真をちょっと撮っていただけますか」依頼・お願い	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	依頼を表す表現の復習
26	**第 20 課**「自転車に乗ることができますか」 能力・可能、不可能、現在進行	講義、質疑応答、小テスト、ペアワーク	能力・可能、不可能を表す表現、現在進行形の復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	韓国の社会と文化について発表（1） （自由テーマ）	グループワーク、レポート課題発表	プレゼンテーション準備
28	韓国の社会と文化について発表（2） （自由テーマ）	グループワーク、レポート課題発表	プレゼンテーション準備

テキスト	李志暎『〔新装版〕できる韓国語初級 I 』（アスク出版 2010） 李志暎『できる韓国語初級 I ワークブック』（アスク出版 2011）
参 考 書	①　文法参考書『実用韓国語文法初級』（IBC パブリッシング 2021） ②　練習問題集『超入門！書いて覚える韓国語ドリル』（ナツメ社 2017）
履修条件、前提科目	初学者、初級者向けであり、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は原則、不可とする。
その他特記事項	①　提出が必要な課題は、必ず期限を守ること。 ②　講義中の私語、飲食、携帯電話の使用を禁止とする。

科目名	JPN250:　日本語表現法					担当教員	大山　美佳
開講期	春 / 秋	開講時限	（春）月 3 限 （秋）金 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	学術的文章，事実・意見・行動の文，構成
授業の概要	学術的文章を書く上での基礎的なルールをさらう。話し言葉と書き言葉の違いを知り、事実・意見・行動の文に分けて、論理的な学術的文章が書けるように、基礎的な語彙、表現、構成を学ぶ。序論・本論・結びの 3 つの構造に従い、書く体験を通して論文を完成させていく。学生間および教師によるフィードバックなどから客観的に自分の文章を振り返り、学びを進める。
達成目標（授業の目的）	学生が事実・意見・行動の文に書き分けて、論理的な学術的文章が書けるようになることを最終目標とする。そのために、自分の言葉遣いを意識的に振り返り、お互いにフィードバックし合うことで、客観的で説得力のある文を書く体験をする。
到達目標（学修成果）	学期末に、相応しい表現を用いて、説得力のある学術的文章が書けるようになる。その学術的文章は、事実・意見・行動の文を使い分け、序論・本論・結びの構成で 1500 字程度で書けるようになる。
評価方法	①授業態度：積極的な発言をし、責任ある授業参加をする。　24% ②授業課題：「書いてみよう」を指定日時までに Moodle に提出する。　20% ③小 論 文：Word で作成し、学期末の指定期間内に Moodle に提出する。　56%
評価基準	①授業態度：他者の発言・発表を真摯に聴き、フィードバックしているか。リアクションペーパーを提出しているか。 ②授業課題：指定されたポイントや提出期限を守っているか。欠席した場合は Moodle をチェックし、期限までに提出しているか。 ③小 論 文：授業で学んだ論文構成に従い、論文に相応しい表現を用いているか。信頼できるリソースで且つ他者の意見を自分の意見と区別し、自身の考察が述べられているか。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	〔基礎編①〕 よく使われる文の形、語と表現	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 1-8 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
2	〔基礎編②〕引用、要約、句読点、表記規則	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	9-21 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
3	〔論文編Ⅰ―①〕論文について、構成の作り方、まとめ方	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	24-42 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
4	〔論文編Ⅰ―②〕書いてみよう①、3 種類の文、論文のモデル	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	43-50 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
5	〔論文編Ⅱ―①〕序論について、役割、背景説明、事物の説明、先行研究の紹介等	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	52-63 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	〔論文編Ⅱ―②〕 問題提起、方向づけ	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	64-74 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
7	〔論文編Ⅱ―③〕書いてみよう②、全体の予告〔論文編Ⅲ―①〕本論の役割	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	75-83 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
8	〔論文編Ⅲ―②〕 データの提示、事柄データ	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	84-87 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
9	〔論文編Ⅲ―③〕 数量データ、文章データ	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	87-93 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
10	〔論文編Ⅲ―④〕 意見提示、データ解釈、考察	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	93-99 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
11	〔論文編Ⅲ―⑤〕結論提示、行動提示、論の展開、書いてみよう③〔資料編〕	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	100-132 頁を読んでくる。 タスク・練習問題をする。
12	序論、論拠発表会①	講義、プレゼンテーション、質疑応答	発表準備をしておく。
13	序論、論拠発表会②	講義、プレゼンテーション、質疑応答	発表準備をしておく。 提出小論文の書き方を確認。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	序論、論拠発表会③、小論文講評	講義、プレゼンテーション、質疑応答	授業の振り返り、まとめ

テキスト	浜田麻里・平尾得子・由井紀久子『大学生と留学生の論文ワークブック』（くろしお出版）
参 考 書	細川英雄・舘岡洋子・小林ミナ（編著）『プロセスで学ぶレポート・ライティング―アイデアから完成まで―』（日本語ライブラリー）
その他 特記事項	積極的で、且つ建設的なフィードバックをし合う姿勢をもって、授業に出席すること。

科目名	SEF200:　キャリアプランニング					担当教員	森下　園
開講期	秋	開講時限	金 5 限			研究室	4202
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	キャリアデザイン、ライフコース、社会保障、労働法、卒業生との交流、職場での実務
授業の概要	本学ソフィア会（同窓会）の支援により、社会の様々な分野で「for Others, with Others」を実践している卒業生の方々による講演・質疑応答を通して、卒業後のキャリアプランをどう組み立てるか考える。また、あわせて労働法などの基礎知識についても学ぶ。同窓生以外のゲスト講師（秦野市役所）の講義を含む。
達成目標（授業の目的）	①卒業後の人生設計について様々な可能性やその実現に向けて必要なステップを考え、②社会人として必要な労働法の知識を身につけ、③各自のキャリアプランを組み立てることが目標である。
到達目標（学修成果）	①現在の社会情勢と女性のライフコースの問題を各自で考え、卒業生の講演内容を通して将来の多様な可能性について考察できるようになる。 ②労働法や社会人として求められる基礎知識を身につけることができる。 ③各自のキャリアプランを設計できるようになる。
評価方法	①リアクションペーパー：授業後 Moodle に提出、最終回を除く。（5%×13 回＝65%） ②小テスト：労働法に関する小テスト（15%）、授業期間中に Moodle で行う。 ③キャリアプランの作成（20%）
評価基準	①リアクションペーパー：同窓生講師の話から学んだことや考えたことを適切な文でまとめているか ②小テスト：社会人として求められる労働法の基礎知識が身についているか ③キャリアプラン：書式・期限を守り現実的なプランを作成しているか
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	女性のキャリアとライフコース、研究倫理	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出①
2	同窓生：損害保険会社、心療内科クリニック 労働法について	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出②
3	同窓生：出版社、英語教材会社	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出③
4	同窓生：大手食品メーカー、通信制大学、育休 同窓生：フリーランス、マンガ・イラスト・おもちゃのデザインなど	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出④
5	同窓生：放送・ファッション業界、リフレクソロジスト 同窓生：大手メーカー、ジェトロ海外展示会運営	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑤

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	ゲスト講師：秦野市の公共施設マネジメントの取り組み＋地方公務員の仕事	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑥
7	同窓生：大手出版社、特定非営利活動法人	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑦
8	同窓生：映画プロデューサー 同窓生：青年海外協力隊、JICA、コンサルティング会社での海外支援活動	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑧
9	同窓生：留学、外資系 IT 情報・通信企業	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑨
10	同窓生：会社員、子育て、民生委員の活動 同窓生：投資顧問会社勤務、留学について	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑩
11	同窓生：公立小中学校での英語活動 同窓生：市役所、司法書士試験（パラリーガル）	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑪
12	同窓生：国立大学職員、スピーチライター 労働法小テストとキャリアプラン作成について	講義、質疑応答	リアクションペーパー⑫ キャリアプラン作成 労働法の勉強
13	同窓生：留学、教員、日本語教師、JICA 同窓生：YMCA、自宅での英会話講師、YouTuber 活動	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑬ キャリアプラン作成 労働法の勉強
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	まとめとキャリアプランの講評	講義、質疑応答、講評	振り返り

テキスト	なし、パワーポイントスライドなどを用いての講義となる。
参 考 書	厚生労働省「令和 3 年版　働く女性の実情」（https://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/josei-jitsujo/21.html）、インターネットで閲覧可
その他 特記事項	本講座は上智大学短期大学部ソフィア会（同窓会）の協力による寄付講座であり、社会で活躍されている卒業生の方々がボランティアで講師をご担当下さるものである。担当講師のスケジュールは当該年度でないと確定しないため、上記の授業計画は仮のものであり、2023 年度の授業計画の確定版は 9 月 20 日に Moodle の「2023　短大部　キャリアプランニング」にアップする。 なお、同窓生の講義はリアルタイムの Zoom でコーディネータ教員が教室 PC から教室スクリーンに映し、学生からの質問は教室マイクで受け付ける予定である。

科目名	SEF100:　アカデミックスキルズ・フォローアップ講座					担当教員	森下　園
開講期	秋	開講時限	木 5 限			研究室	4202
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-④

キーワード	アカデミックスキルズ、要約、プレゼンテーション、小論文
授業の概要	「人間学 I」「基礎ゼミナール」で学ぶアカデミックスキルズについて学びなおしと復習を行う。具体的にはノートの取り方、要約の仕方、意見表明や質問の仕方、情報や参考資料の探し方、パラグラフライティングの基礎とレポート作成、プレゼンテーションのレジュメ作成などについて学び、その他の科目履修における学修が効果的にできるように支援を行う科目である。なお、プレゼンテーション資料も含めて課題は Moodle に提出となる。
達成目標（授業の目的）	以下のアカデミックスキルズを学ぶ。①授業などのノートテイキング（聞きながら理解して文字化する）と授業内容や参考資料の要約（ノートを使って内容をまとめる）、②授業内での意見や質問の仕方（理解できる部分とできない部分をその場で区別する）、③パラグラフライティングに基づくレポートの作成（定型の書式にそって、引用元の表記や参考文献リストがついたものの作成）、④効果的なプレゼンテーションとそのための資料作成（聞き手にうまく伝えるための方法）。
到達目標（学修成果）	①理解を助けるためのノートテイキングができ、それを使って要約が作成できる ②授業内で意見表明や質問ができる ③引用注や参考資料リストをつけた簡単なレポートが作成できる ④効果的なプレゼンテーションとその資料作成ができる以上が目標である
評価方法	①参考教材を視聴してのノートテイキングと要約の作成（400 字）：12% ②授業時・学生の発表時の質問・意見：2%×14 回＝28% ③指定課題に関するレポートのアウトライン：10% 　指定課題に関するレポート：30% ④レポートをパワーポイントスライドを使って発表：20%
評価基準	①きちんとノートがとれているか、それを活用してポイントをまとめているか ②わからないことを質問できるか、積極的に意見を出せているか ③書式を守っているか、パラグラフライティングができているか、引用元を明記しているか、参考文献リストをつけているか ④レポート内容をわかりやすく発表できているか、そのための資料作成に工夫をしているか ※成績は「P（合格）」「X（不合格）」のいずれかで評価されます。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	管理ツールの使い方、アカデミックスキルズの概要、研究倫理についての説明	講義、ディスカッション、質疑応答	復習、ノートをとる練習（Moodle 教材視聴）
2	ノートの取り方についての解説、ノートテイキングの練習	講義、ディスカッション、動画視聴①とノート作成、質疑応答	動画教材のノートの作成と提出

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
3	とったノートのチェック、 要約の仕方の解説と要約の練習	講義、ディスカッション、動画視聴②と要約の作成、質疑応答	動画教材の要約の作成と提出
4	要約のチェック 情報や参考資料の探し方 情報探しの練習	講義、ディスカッション、グループでの情報検索、質疑応答	指定された情報のリスト作成と提出
5	レポートについての説明①（レポートの書き方）	講義、ディスカッション、資料講読	Moodle 教材を読む
6	レポートについての説明②（レポートの構成とパラグラフ）、 見本からパラグラフ構成を読み取る練習	講義、ディスカッション、資料講読	Moodle 教材を読んでパラグラフ構成を考える
7	レポートについての説明③引用元の表記と参考資料の活用の仕方） 引用元付きで 1 パラグラフにまとめる練習	講義、ディスカッション、パラグラフ作成	1 パラグラフをためしに書く
8	パラグラフと引用元のチェック レポートの書式・内容について レポートの構成と参考資料リスト作成	講義、ディスカッション、参考資料探し	テーマ決定、自分のレポートの参考資料リストを作成して提出
9	レポートのアウトラインと参考資料リストのチェック	講義、ディスカッション	レポート作成
10	プレゼンテーションについての説明 プレゼンテーション資料の作成について	講義、ディスカッション	レポート作成と提出
11	レポートの講評と修正の指示 プレゼンテーション資料の作成	講義、ディスカッション、プレゼンテーション資料の作成	プレゼンテーション資料の作成と提出
12	プレゼンテーション① 質疑応答	講義、プレゼンテーション、質疑応答	プレゼンテーションの準備
13	プレゼンテーション② 質疑応答	講義、プレゼンテーション、質疑応答	プレゼンテーションの準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	質疑応答プレゼンテーションの講評、 振り返り、意見表明	講義、ディスカッション、各自の意見発表	振り返り

テキスト	なし、授業内容と関連するプリント・教材を Moodle の「2023　短大部　アカデミックスキルズ」にアップロードする。
参 考 書	基礎ゼミナールテキスト『Essentials 2023 : A Guide to Finding the Right Career Path for You』 必修英語テキスト *English Essentials*
その他 特記事項	2023 年度春学期履修科目、特に「人間学 Ⅰ」や「基礎ゼミナール」の成績評価において「不合格（F・X）」を修得した学生の履修を強く推奨する。

科目名	ENG252:　留学準備 A					担当教員	岩崎　明子
開講期	春	開講時限	火 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-①

キーワード	短期語学研修、異文化理解、英語運用力、グローバルシティズンシップ
授業の概要	この授業では、履修学生が本学が認定する海外大学での短期語学講座に参加を前提とし、目的意識を持ち自律した学習者として充実した留学生活を送ることを目指す。異文化理解の一環として対象国について調べ学ぶ。さらに短期語学講座の参加に向けて実践的英語運用能力を演習を通して磨く。対象国の現地生活について、安全管理も含めて留意事項を学ぶ。
達成目標（授業の目的）	学生は留学先で想定される異文化体験への準備として対象国の知識を深め、対象国と自国の文化を対比し異文化を客観的に理解し表出できるよう、英語運用能力を向上させる。安全かつ効果的に留学が完遂できるよう、海外生活に関する基本的知識、危機管理等の留意事項を学ぶ。目的意識と自信をもって対象国での学習と生活ができるように備える。
到達目標（学修成果）	留学に向けて、対象国に関する知識を深め自国の文化と対比しながら発信できるようになる。異文化を客観的に理解し英語で表出できるようになる。留学先で必要となる実践的な英語運用のスキルを磨き、現地大学での英語学習に備えて学び、効果的な英語力向上の道筋をつける。渡航および現地生活の際の安全管理の留意事項を理解する。
評価方法	①授業時の参加姿勢（20%）、②対象国・自国プレゼンテーション課題:準備及び発表（30%）、③英語課題（20%）、④授業時の省察及び最終課題（30%）
評価基準	①積極的に学ぶ姿勢と準備を行ったうえで授業に参加し、グループワークやアクティビティに主体的に取り組んでいるか。②対象国に関して複数のリソースにあたり自国と対比しながら十分調べてまとめ、映像資料を効果的に使いながらプレゼンテーションをし、質疑応答にしっかり対応できたか。③英語力向上のための課題を解き、期日までに提出したか。④授業で自らの取り組みを省察し具体的かつ客観的に記述できたか。また、個々の省察をもとに学期を通した学修への取り組みを最終課題としてまとめ、期日までに提出できたか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス、留学の目的 どのような準備が必要か考える	講義、ペアワーク グループワーク	留学の意義を考える
2	プログラムの概要と日程の説明 必要となる英語力とは：英語課題目標設定	講義、ペアワーク グループワーク	英語課題目標を自己設定し具体的なプランを立てる
3	留学のための手続きガイダンス（30 分） 各自の英語課題プランをシェアし相互講評	講義、ペアワーク グループワーク	英語課題プランの改訂 英語課題に取り組む
4	対象国の文化・伝統・歴史についてディスカッション・リサーチ、英語課題	講義、ペアワーク グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題
5	対象国の文化・伝統・歴史プレゼンテーションと相互講評①、英語課題	学生発表 グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題
6	対象国の文化・伝統・歴史プレゼンテーションと相互講評②、英語課題	学生発表 グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	対象国の文化・伝統・歴史プレゼンテーションと相互講評③、英語課題	学生発表 グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題
8	自国について発信したい内容を考える ディスカッション・リサーチ、英語課題	講義、ペアワーク グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題
9	自国について発信プレゼンテーション 相互講評①、英語課題	学生発表 グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題
10	自国について発信プレゼンテーション 相互講評②、英語課題	学生発表 グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題
11	危機管理ガイダンス（90 分） 英語課題への取り組みをシェアし相互講評	講義、ペアワーク グループワーク	ガイダンス内容まとめ 英語課題
12	『対象国と自国について学んで』 異文化理解のためのセッション	講義、学生発表 グループワーク	セッション内容まとめ 英語課題
13	『留学を経てどのような自分になりたいか』 自己省察と留学目的再確認のセッション	講義、学生発表 グループワーク	セッション内容まとめ 英語課題
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	海外渡航ガイダンス（60 分） 最終課題を共有、提出	講義、学生発表 グループワーク	英語課題への取り組み省察 最終課題作成、提出準備

テキスト	テキストは指定しない。オリジナルのハンドアウトを使用。関連するウェブサイトや参考文献、英語課題などを授業時に随時提示する。
参 考 書	Information about Japan（外務省）https://www.mofa.go.jp/j_info/japan/general/index.html 『海外安全ホームページ』（外務省）https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/flash02.html
履修条件、前提科目	今年度の夏期海外短期語学研修プログラムに参加することが履修の条件である。
その他特記事項	下線部ガイダンスについては、海外渡航の可能性に応じて、外部留学コーディネーターの参加も予定。

科目名	ENG253:　留学準備 B					担当教員	狩野　晶子
開講期	秋	開講時限	月 5 限			研究室	4203
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-①

キーワード	短期語学研修、異文化理解、英語運用力、グローバルシティズンシップ
授業の概要	この授業では、履修学生が本学が認定する海外大学での短期語学講座に参加を前提とし、目的意識を持ち自律した学習者として充実した留学生活を送ることを目指す。異文化理解の一環として対象国について調べ学ぶ。さらに短期語学講座の参加に向けて実践的英語運用能力を演習を通して磨く。対象国の現地生活について、安全管理も含めて留意事項を学ぶ。
達成目標（授業の目的）	学生は留学先で想定される異文化体験への準備として対象国の知識を深め、対象国と自国の文化を対比し異文化を客観的に理解し表出できるよう、英語運用能力を向上させる。安全かつ効果的に留学が完遂できるよう、海外生活に関する基本的知識、危機管理等の留意事項を学ぶ。目的意識と自信をもって対象国での学習と生活ができるように備える。
到達目標（学修成果）	留学に向けて、対象国に関する知識を深め自国の文化と対比しながら発信できるようになる。異文化を客観的に理解し英語で表出できるようになる。留学先で必要となる実践的な英語運用のスキルを磨き、現地大学での英語学習に備えて学び、効果的な英語力向上の道筋をつける。渡航および現地生活の際の安全管理の留意事項を理解する。
評価方法	①授業時の参加姿勢（20%）、②対象国・自国プレゼンテーション課題：準備及び発表（30%）、③英語課題（20%）、④授業時の省察及び最終課題（30%）
評価基準	①積極的に学ぶ姿勢と準備を行ったうえで授業に参加し、グループワークやアクティビティに主体的に取り組んでいるか。②対象国に関して複数のリソースにあたり自国と対比しながら十分調べてまとめ、映像資料を効果的に使いながらプレゼンテーションをし、質疑応答にしっかり対応できたか。③英語力向上のための課題を解き、期日までに提出したか。④授業で自らの取り組みを省察し具体的かつ客観的に記述できたか。また、個々の省察をもとに学期を通した学修への取り組みを最終課題としてまとめ、期日までに提出できたか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス、留学の目的、 どのような準備が必要か考える	講義、ペアワーク、 グループワーク	留学の意義を考える
2	プログラムの概要と日程の説明、 必要となる英語力とは：英語課題目標設定	講義、ペアワーク、 グループワーク	英語課題目標を自己設定し具体的なプランを立てる
3	留学のための手続きガイダンス（30 分） 各自の英語課題プランをシェアし相互講評	講義、ペアワーク、 グループワーク	英語課題プランの改訂 英語課題に取り組む
4	対象国の文化・伝統・歴史についてディスカッション・リサーチ、英語課題	講義、ペアワーク、 グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題
5	対象国の文化・伝統・歴史プレゼンテーションと相互講評①、英語課題	学生発表、 グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題
6	対象国の文化・伝統・歴史プレゼンテーションと相互講評②、英語課題	学生発表、 グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	対象国の文化・伝統・歴史プレゼンテーションと相互講評③、英語課題	学生発表、 グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題
8	自国について発信したい内容を考える ディスカッション・リサーチ、英語課題	講義、ペアワーク、 グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題
9	自国について発信プレゼンテーション 相互講評①、英語課題	学生発表、 グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題
10	自国について発信プレゼンテーション 相互講評②、英語課題	学生発表、 グループワーク	プレゼンテーション準備 英語課題
11	危機管理ガイダンス（90 分） 英語課題への取り組みをシェアし相互講評	講義、ペアワーク、 グループワーク	ガイダンス内容まとめ 英語課題
12	『対象国と自国について学んで』 異文化理解のためのセッション	講義、学生発表、 グループワーク	セッション内容まとめ 英語課題
13	『留学を経てどのような自分になりたいか』 自己省察と留学目的再確認のセッション	講義、学生発表、 グループワーク	セッション内容まとめ 英語課題
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	海外渡航ガイダンス（60 分） 最終課題を共有、提出	講義、学生発表、 グループワーク	英語課題への取り組み省察 最終課題作成、提出準備

テキスト	光藤京子『伝わる英語 5 つの鉄則』（コスモピア） 併せて、授業内容に関連するウェブサイトや参考文献などを授業時に随時提示する。
参 考 書	Information about Japan（外務省）https://www.mofa.go.jp/j_info/japan/general/index.html 『海外安全ホームページ』（外務省）https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/flash02.html
履修条件、前提科目	今年度の春期海外短期語学研修プログラムに参加することが履修の条件である。
その他特記事項	下線部ガイダンスについては、外部留学コーディネーターの参加も予定。

科目名	SES100:　基礎ゼミナール			担当教員	平野 幸治，丹木 博一，宮崎 幸江，杉村 美佳，小林 宏子，飯田 純也
開講期	春	分類	必修		
単位	2	標準受講年次	1 年		

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-④

担当教員の連絡情報	担当教員	研究室	オフィスアワー
	平野　幸治	4210	水 2 限、木 2 限・3 限
	丹木　博一	4214	月 3 限、金 3 限
	宮崎　幸江	4217	（春学期）火 4 限、水 4 限 （秋学期）水 4 限、木 3 限
	杉村　美佳	4220	（春学期）金 3 限・5 限 （秋学期）月 3 限、金 5 限
	小林　宏子	4204	（春学期）月 3 限、木 3 限 （秋学期）月 2 限、木 3 限
	飯田　純也	4 号館 2 階 講師控室	授業前後

キーワード	導入教育、アカデミックスキル、プレゼンテーションの方法、小論文の書き方、研究倫理
授業の概要	本学の教育理念である“For Others, With Others”を目指す学生生活への導入となる授業です。大学での学びに必要なアカデミックスキルを身につけ、将来のキャリア形成を視野に入れた大学生活のプランを立てていきます。
達成目標（授業の目的）	大学での自律した学びに必要なアカデミックスキルが身につきます。具体的には、さまざまな分野の問題を論じるために必要となる専門的な情報や知識をどのように得て、プレゼンテーションや小論文としてどのように発信していくかを実践しながら学びます。また大学生が知っておくべき研究倫理について学びます。
到達目標（学修成果）	学生同士のディスカッション、プレゼンテーションを中心に日本語での発信力を磨きます。また、専任教員による Moodle 上のショートレクチャーや小論文を用いて、ノートテイキング技術や要約の仕方、小論文の書き方を実践的に身につけます。
評価方法	①課題：6%×6 回＝36% ②Moodle 教材のノートテイキング：4%×3 回＝12% ③プレゼンテーション：22%（発表 15%、司会 7%） ④小論文作成と発表：30%（小論文 25%、発表 5%）
評価基準	①課題：提出期限、内容及び書式を遵守できているか。 ②Moodle 教材のノートテイキング：3 つのレクチャーについて自分の言葉で要点をまとめ、論理的にコメントを書いているか。 ③プレゼンテーション：内容が整理されていて効果的な資料が提示されているか、声の大きさやスピードが適切でわかりやすく表現しているか。 ④小論文作成と発表：小論文は配布資料の指示に従っているか、論点が明確でパラグラフライティングができているか、発表は要点をまとめて説明できているかを評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	他者のために、他者とともに生きる、アカデミックスキルと研究倫理について	ディスカッション、動画視聴	本学の三つのポリシーとテキストの学長メッセージを読む
2	世界に目を向け、異文化に心を開く、ポートフォリオで自主的な学修	1、2 章購読、動画視聴、ディスカッション	テキスト 4 章購読、課題①視聴動画内容の要約
3	学ぶ姿勢を見直そう―大学での学び、ノートの取り方、ネット・SNS 利用上の留意点	動画視聴、グループディスカッション	テキスト 5 章購読、課題②視聴動画内容の要約
4	最初の一歩を踏み出そう―質問の仕方、レポート作成時の注意事項、研究倫理について	動画視聴、グループディスカッション	テキスト 6 章購読、課題③視聴動画内容の要約
5	文章のパラグラフ構―要約と文章の中心文	動画視聴、グループディスカッション	Moodle 教材ノートテイキング①、課題④
6	ゼミ選択と進路選択―卒業までの計画、進路決定に向けて＋プレゼンテーション	ディスカッション、プレゼンと質疑応答	テキスト 7 章購読、課題⑤、ノートテイキング課題②
7	編入への道―編入試験の概要、進学のために何をすべきか＋プレゼンテーション	ディスカッション、プレゼンと質疑応答	テキスト 8 章購読、ノートテイキング③
8	就職への道―働くとはどういうことか、企業が求めていること＋プレゼンテーション	ディスカッション、プレゼンと質疑応答	テキスト 9 章購読、プレゼンテーションの準備
9	女性のキャリアとライフコース―働く女性、ライフプラン＋プレゼンテーション	動画視聴、ディスカッション、質疑応答	テキスト 10 章購読、課題⑥
10	キャリア・パスを考える―なぜ進学／就職するのか＋プレゼンテーション	ディスカッション、プレゼンと質疑応答	テキスト 11 章購読、プレゼンテーションの準備
11	将来の夢を実現するためのリサーチ、情報リテラシー―リサーチプランを作成する	グループディスカッション、情報収集の仕方	テキスト 12 章、15 章購読、小論文のためのリサーチ
12	論点をまとめる―小論文の骨組みを作る、引用の仕方	ディスカッション、アウトライン作成	テキスト 13 章購読、小論文のためのリサーチ
13	小論文を書く―先行研究や得た情報を踏まえて作成、学修ポートフォリオの書き方	小論文の相互チェック、講評	小論文のアウトライン作成
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	小論文の発表、学修ポートフォリオ作成	グループワーク	小論文作成

テキスト	上智大学短期大学部編『Essentials－A Guide to Finding the Right Career Path for You』
参 考 書	小笠原善康『新版 大学生のためのレポート・論文術』（講談社現代新書）

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	永野　良博
開講期	秋	開講時限	水 1 限			研究室	4218
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-③

キーワード	現代アメリカ文学、Ernest Hemingway、氷山理論、個人の確立、家族、共同体
授業の概要	アメリカの作家 Ernest Hemingway による文学作品とそれらに関する研究書や論文を読み、小説の研究に必要な基礎的な知識を身に付けてゆく。多くを語らない抑制された文章を読み、創造的に主題を読み取る。扱われる主題は、個人の確立、家族、友人、恋人、生と死、戦争、伝統とそこからの脱却、社会的マイノリティーとの関係、文明と自然、ジェンダー、身体論等。授業では学生同士そして教員との意見交換が中心となる。
達成目標（授業の目的）	文学作品の登場人物の心理と人間関係を理解し、同時に作品がそれらをどのような形式や文体で描き出すのかを理解することが主な目的である。そして作品が提示する問題をより広い社会や歴史上の問題と関連させて考え、口頭及び文章において論じる力を身に付ける。様々な研究主題とそれらが持つ重要性を理解し、そこから独自の文学論を形成し、最終的には人間性と社会に関して、学生個人として新たな発見をしてゆく。
到達目標（学修成果）	文学作品と研究資料からメモを取ることから始めて、文学的主題の発見と研究方法の基礎を身に付けることが出来る。同時に日々の気付きと研究成果について、授業で他の学生と討論を重ね、発展させることが出来る。作品と先行研究を充分に理解し、それらに関する自分の意見を発展させて研究ノートにまとめ、独自の主題を設定し、基礎的な学術論文を作成出来る。さらに最終的な研究の成果を効果的に口頭発表出来る。
評価方法	授業参加（40%）、研究ノート（30%）、論文（20%）、研究発表（10%）
評価基準	授業参加に関しては事前に資料を読み、理解し、それを基に洞察力と説得力のある自らの意見を発表出来ること。研究ノートでは作品と先行研究に関する充分な理解を示し、それに対する自分独自の意見の記述をする。論文では以上の成果を基に明確で論理的な文学論を書く。論文の発表では、口頭での明確な意見の発表と共に、充分な質疑応答が出来るよう、発表内容に関する補足説明事項や発展的な考えを準備する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Ernest Hemingway 初期短編導入 氷山理論と作品読解に向けて 課題説明	講義、意見交換	“The Doctor and the Doctor’s Wife” を読む
2	作品 “The Doctor and the Doctor’s Wife” 父と母、科学と宗教、倫理的行為	意見交換、講評	“The Doctor…,” 研究書、論文を読む
3	作品 “The Doctor and the Doctor’s Wife” 悪の拒絶、異人種との共存	意見交換、講評	“The Doctor…,” 研究書、論文を読む
4	“Soldier’s Home” 失われた世代、破壊と日常、破壊と文明、自己喪失	意見交換、講評	“Soldier’s Home,” 研究書、論文を読む
5	“Soldier’s Home” 虚偽の人生、愛の喪失、伝統的共同体	意見交換、講評	“Soldier’s Home,” 研究書、論文を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	“Cat in the Rain” 他者の欲望と自己の欲望、夫婦の危機	意見交換、講評	“Cat in the Rain,” 研究書、論文を読む
7	“Cat in the Rain” 髪を伸ばすこと、猫が表すもの、父権制	意見交換、講評	“Cat in the Rain,” 研究書、論文を読む
8	“Indian Camp” 生と死、通過儀礼、マイノリティー女性の身体、論文作成法	意見交換、講評	“Indian Camp,” 研究書、論文を読む
9	“Indian Camp” 自然、文明、医師の倫理 大学生の研究倫理	意見交換、講評	“Indian Camp,” 研究書、論文を読む
10	“End of Something” 未成熟な恋愛、時間について	意見交換、講評	“End of Something,” 研究書、論文を読む
11	“End of Something” ハードボイルド的文体、男性間の連帯と女性	意見交換、講評	“End of Something,” 研究書、論文を読む
12	研究発表	発表、質疑応答	発表原稿作成
13	研究発表	発表、質疑応答	発表原稿作成
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	研究発表	発表、質疑応答	発表原稿作成

テキスト	Ernest Hemingway. *The Complete Short Stories of Ernest Hemingway* (Scribners). アーネスト・ヘミングウェイ『われらの時代・男だけの世界』（新潮文庫） Hemingway に関する研究書及び論文

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	永野　良博
開講期	春	開講時限	水５限			研究室	4218
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	アメリカ小説、自己、自由意志、人種、ジェンダー、戦争、小説の技巧、英文読解
授業の概要	アメリカ小説と関連する第二次資料を読み、小説の研究に必要な知識を身に付ける。中心的主題は自己の問題であり、自己同一性、分身、自由意志、自己決定等をめぐる考察を行い、社会的な問題である人種、ジェンダー、戦争へと議論を広げる。多様な生の在り方を分析しながら、小説の技巧についても理解を深める。作品読解を通して独自の主題発見をし、精読により英文読解力の向上を目指す。学生同士の議論と学生による研究発表が中心となる。
達成目標（授業の目的）	小説が示す登場人物の自己に関わる問題と、彼等が持つ他者、社会、文化、歴史との複雑な関係を理解することが主な目的である。また様々な文学的主題への理解を深め、それらを文学研究者達がどのように論じ、人間性や彼等を取り巻く世界に関する発見へと繋げてきたのか理解する。また文学作品の読み取り方、そしてそれらに関する研究論文の書き方を習得する。同時に発表力、質問力、そして意見交換を通した建設的な議論実行力を身に付ける。また文学作品の英文を読み解く力を身に付ける。
到達目標（学修成果）	登場人物の考えや行動について理解を深め、彼等を取り巻く世界について、出来るだけ多くの主題を読み取り、独自の主題発見が出来る。他の学生との意見交換を通して、自らの議論の問題点や可能性について知り、議論を発展させることが出来る。独自の主題に基づく文学論を作成し、効果的に口頭発表出来る。英語の文学作品の読解を通して比喩的かつ重層的な文章の読解力を伸ばすことが出来る。
評価方法	授業参加（文学作品に関する議論）（40%）、論文（30%）、研究発表（30%）
評価基準	授業参加に関しては事前に資料を読み、それを基に洞察力と説得力のある自らの意見を授業で提示出来ること。また他人の意見に対して建設的な意見を与えられること。論文作成では、文学的主題の発見力、独自の意見の構築力、論理的議論発展力が求められる。発表は主題を適切にまとめたレジュメを基に行い、質問に対して周到な調査と熟考に基づいた答えを与えることが必要。発表内の英文解説では、第一次資料から選んだ英文について、語彙、文法、意味の解説を的確に行うことが出来ること。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	作品解説および研究展望の発表導入、論文作成の方法、大学生の研究倫理	講義、質疑応答	発表レジュメ作成・論文作成に関するハンドアウトを読む
2	Paul Auster, *Ghosts* 自己同一性と他者、自己と分身、生の再考	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
3	Truman Capote, *Breakfast at Tiffany's* 自己確立と自由の追求、所有意識の拒絶	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
4	Toni Morrison, *The Bluest Eye* 自己同一性、異人種の美の基準、歪んだ生	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	Alice Walker, *The Color Purple* 自己発見、黒人女性の団結、ウーマニズム	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
6	Kurt Vonnegut, *Slaughterhouse-5* 決定論と自由意志、戦争と個人、時間旅行	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
7	John Barth, *The End of the Road* 自己喪失、自己決定、真正なる個人	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
8	学期末論文概要発表	発表、質疑応答	論文・レジュメ作成
9	学期末論文概要発表	発表、質疑応答	論文・レジュメ作成
10	学期末論文概要発表	発表、質疑応答	論文・レジュメ作成
11	学期末論文概要発表	発表、質疑応答	論文・レジュメ作成
12	学期末論文概要発表	発表、質疑応答	論文・レジュメ作成
13	学期末論文概要発表	発表、質疑応答	論文・レジュメ作成
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	論文完成に向けた報告、課題の提示と解決	発表、質疑応答	論文最終確認

テキスト	授業計画内で示した六つの小説の中の一つを一人の学生が担当し、その原書と邦訳書および関連した第二次資料を担当する。それらを基に学生が研究発表用の資料を作成し授業で配布する。その他、担当教員が論文作成や発表に関わる資料を必要に応じて配布する。

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	永野　良博
開講期	秋	開講時限	水５限			研究室	4218
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	アメリカ小説の自律的研究、独自の主題の発見とそれへのアプローチ
授業の概要	アメリカ小説を第一次資料とし、小説に学生自らが興味を持つ主題を関連させながら研究を進め、その成果を報告し、討論を行い、研究論文を作成する。学期前半には学生が研究対象として選択した小説の意義とその後に追求する研究課題を口頭発表により明らかにする。それを基に、多様な第二次資料の読解と理解を基に研究を発展させ、その成果を発表し、論文にまとめる。学生同士の議論そして学生による研究発表が中心となる。
達成目標（授業の目的）	文学作品の登場人物の心理に関わる問題と、彼等が持つ他者、社会、文化、歴史との複雑な関係を深く理解することが主な目的である。また様々な文学的主題に慣れ親しみ、それらを文学研究者達がどのように論じ、人間性や彼等を取り巻く世界に関する発見へと繋げてきたのか深く理解し、独自の発見に繋げる。春学期に修得した知識を活かし、より幅広く調査、研究を行い、自らの研究主題を発展させ、学期末に充実した研究論文としてまとめる。また文学作品の英文を読み解く力を身に付ける。
到達目標（学修成果）	登場人物の考えや行動について理解を深め、彼等を取り巻く世界について、多くの主題を読み取り、独自の課題発見を基に主題設定することが出来る。他の学生との意見交換を通して、自らの議論の問題点や可能性について知り、議論を発展させることが出来る。独自の文学論を作成し、それを効果的に口頭発表し、充実した研究論文を提出する。英語の文学作品の読解を通して比喩的かつ重層的な文章の読解力を伸ばすことが出来る。
評価方法	授業参加（文学作品に関する議論）（20%）、論文（50%）、研究発表（30%）
評価基準	授業参加に関しては事前に資料を読み、それを基に洞察力と説得力のある自らの意見を授業で提示出来ること。また他人の意見に対して建設的な意見を与えられること。論文作成では、文学的主題の発見力、独自の意見の構築力、論理的議論発展力、そして主に人間性について新たな発見を示すことが求められる。発表は主題を適切にまとめたレジュメを基に行い、質問に対して、周到な調査と熟考に基づいた答えを与えることが必要である。発表内の英文解説では、第一次資料から選んだ英文について、語彙、文法、意味の解説を的確に行うことが出来ること。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	論文作成の方法、大学生の研究倫理	講義、質疑応答	課題論文・論文作成重点事項に関するハンドアウトを読む
2	研究対象となる作品解説、研究テーマ、研究の展望の発表	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
3	研究対象となる作品解説、研究テーマ、研究の展望の発表	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
4	研究対象となる作品解説、研究テーマ、研究の展望の発表	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	研究対象となる作品解説、研究テーマ、研究の展望の発表	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
6	研究対象となる作品解説、研究テーマ、研究の展望の発表	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
7	研究対象となる作品解説、研究テーマ、研究の展望の発表	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
8	ゼミナール論文概要発表	発表、質疑応答	ゼミナール論文・レジュメ作成
9	ゼミナール論文概要発表	発表、質疑応答	ゼミナール論文・レジュメ作成
10	ゼミナール論文概要発表	発表、質疑応答	ゼミナール論文・レジュメ作成
11	ゼミナール論文概要発表	発表、質疑応答	ゼミナール論文・レジュメ作成
12	ゼミナール論文概要発表	発表、質疑応答	ゼミナール論文・レジュメ作成
13	ゼミナール論文概要発表	発表、質疑応答	ゼミナール論文・レジュメ作成
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	論文完成に向けた報告、課題の提示と解決	発表、質疑応答	論文最終確認

テキスト	学生が各自第一次資料及び第二次資料を選ぶ。また学生が研究発表用の資料を授業で配布する。その他、担当教員が論文作成や発表に関わる資料を必要に応じて配布する。

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	平野　幸治
開講期	秋	開講時限	水 1 限			研究室	4210
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-③

キーワード	ambiguity（曖昧さ），feminism（フェミニズム），intolerance（不寛容さ），reconciliation（和解）
授業の概要	プレゼミでは 18 世紀後半の小説というジャンルの誕生と女性の作家また読者としての関わりをフェミニズムの観点から研究しながら文学研究の専門用語と概念を中心に授業を展開する。テキストや DVD を使用して分析のポイントを考察し、特にフェミニズムの観点と小説の結びつきを理解する。グループに分かれ作品研究の方法と読者として解釈の主体性の在り方を討論し、学期末にはグループ・ワークによる成果を協力して発表する。
達成目標（授業の目的）	学生が、メアリ・ウルストンクラフトの著作『女性の権利の擁護』（1792 年）やジェーン・オースティンの小説『高慢と偏見』（1813 年）を通し専門用語とフェミニズムの概念が理解できるようになる。特にロマンス物語、ゴシック小説と小説の相違を「本当らしさ」という点に着目し、当時の女性の作家たちの今日的意義を考える。また William Shakespeare の作品を用い先行研究の紹介や研究方法を身に付け、学期末にはグループ・ワークの発表を行う。
到達目標（学修成果）	①学期末に学生は、作品の要約や意見が的確な英語で書けるようになる。②グループで意見を出し合い、自分の意見を相対化することができるようになる。③グループ・ワークによって研究の知識と研究方法の手がかりを身に付け、グループで協力し発表できるようになる。④研究者としての倫理を踏まえ引用を用いた 3,000 字程度の日本語のレポートが書けるようになる。発問の仕方、作品研究の方法と英文学の知識を獲得できる。
評価方法	①毎回の授業で回収する form に的確な英語で述べる観点（28%: 2%×14 回）。②グループ・ディスカッションで書記が form に記入しその成果を発表する観点（20%: 5%×4 回）。③グループ・ワークの成果をプレゼンテーション（10 分程度の発表）する観点（22%: 11%×2 回）。④各自の発表を研究者としての倫理を踏まえたレポート（3,000 字程度の日本語の文章）を学期末に提出する観点（30%: レポート 20%＋アブストラクト提出 10%）。
評価基準	評価基準の詳細は授業の初回時に説明する。基本的には以下の枠組み。 ①上記に記述。 ②準備学習を踏まえてグループ・ディスカッションに積極的に参加し、グループ発表に貢献しているか。 ③プレゼンテーションは獲得した知識を活用して展開しているか。 ④研究者としての倫理を踏まえたレポートで過不足なくまた字数制限を満たしているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	イントロダクション: 18 及び 19 世紀女性の作家や読者としての意義について	講義とプロット・サマリーの説明	プリント（1500wds）の下調べおよび DVD を視聴
2	Mary Wollstonecraft の著作 *A Vindication of the Rights of Women* の意義について	講義とプロット・サマリーの説明	プリント（1500wds）の下調べおよび DVD を視聴
3	*A Vindication of the Rights of Women* の曖昧さと理解の多様性について	②-1 グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための要点整理

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
4	*A Vindication of the Rights of Women* の不寛容さとフェミニズムの要素について	ディスカッションの結果を踏まえた講義	プリント（1500wds）の下調べおよび DVD を視聴
5	作品研究『フランケンシュタイン』: 登場人物内面の展開、特に和解について	②-2 グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための要点整理
6	作品研究『フランケンシュタイン』: 比喩の持つ意義について	ディスカッションの結果を踏まえた講義	プリント（1500wds）の下調べおよび DVD を視聴
7	作品研究『フランケンシュタイン』のグループ発表	③-1 グループ・ワークの発表と講評	発表原稿の整理とレジュメの作成
8	ジェーン・オースティンの小説『高慢と偏見』: 語り手の「曖昧さ」の意義について	講義とプロット・サマリーの説明	ディスカッションのための要点整理
9	ジェーン・オースティンの小説『高慢と偏見』: 語り手の「曖昧さ」の効果について	②-3 グループ・ディスカッションと発表	プリント（1500wds）の下調べおよび DVD を視聴
10	ジェーン・オースティンの小説『高慢と偏見』: 登場人物内面の変化と展開について	ディスカッションの結果を踏まえた講義	プリント（1500wds）の下調べおよび DVD を視聴
11	ジェーン・オースティンの小説『高慢と偏見』: 登場人物の変化、特に成熟について	②-4 グループ・ディスカッションと発表	ノートの整理とレジュメの下調べと資料整理
12	ジェーン・オースティンの小説『高慢と偏見』のグループ発表	③-2 グループ・ワークの発表と講評	発表原稿の整理とレジュメの作成
13	William Shakespeare の作品研究と研究者としての倫理構築と plagiarism について	④レポートの提出と講義	プリント（1500wds）の下調べと原稿の整理
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	18 及び 19 世紀女性の作家や読者としての意義についてとレポート返却と講評	グループ・ディスカッションと講評	ノートの整理

テキスト	Jonathan Bate. *English Literature: A Very Short Introduction* (Oxford University Press). およびプリント配布
参 考 書	Laurie Langbauer. *Women and Romance: The Consolation of Gender in the English Novel* (Cornell UP). Merryn Williams. *Women in The English Novel 1800-1900* (Macmillan Press).

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	平野　幸治
開講期	春	開講時限	水４限			研究室	4210
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	曖昧さ（ambiguity）、比喩（metaphor）、共感（empathy）、和解（reconciliation）
授業の概要	現代の作家 Kazuo Ishiguro の作品が有する個別性と汎用性を考慮し、作品研究を行い、その成果を活かし専門用語が理解できるよう授業を展開する。プレゼミで用いたテキストを活用し分析のポイント、特にプロットや登場人物の描写と作品のテーマがどう結びつくのかを理解する。グループで文学研究の広がりや読者としての主体性の在り方を討論し、学期末にはグループ・ワークによる成果を協力して発表する。
達成目標（授業の目的）	学生は、Kazuo Ishiguro の文学作品『日の名残り』、『私を離さないで』、『クララとお日さま』から、専門用語と研究方法が理解できるようになる。特に彼の作品の持つ個別性と汎用性に着目し、グループに分かれて互いに意見を出し合い、彼の作品の今日的意義についてキーワードを手掛かりに討議する。また William Shakespeare の劇『リア王』を用いて、専門知識と研究方法を身につけ、学期末にグループで発表の準備をする。
到達目標（学修成果）	学期末に学生は、プロット・サマリーや DVD の視聴を基に作品についてグループ・ディスカッションや 10 分程度の発表ができるようになる。他者の意見を聞くことによって自己の考えを相対化し、意見を修正できるようになる。先行研究を十分に活用し作品からの引用を使い論理的に 3,000 字程度の日本語の文章が書けるようになる。
評価方法	①グループ・ディスカッション終了時に専用フォームにグループ内の書記が記入しその成果を発表する（20%: 5%×4 回）。②グループ・ワークの成果をプレゼンテーションする（28%: 10%+10%+8%）。③グループ・ワークのプレゼンテーションをした後で、各自の発表のレポートを学期末に提出する（24%）。④毎回の授業の終了時に回収する form に授業に関する質問や意見をきちんとした日本語で述べる（28%: 2%×14 回）。
評価基準	評価基準の詳細は授業の初回時に説明する。基本的には以下の枠組み。 ①準備学習を踏まえてグループ・ディスカッションに積極的に参加し、グループ発表に貢献しているか。 ②プレゼンテーションは獲得した知識を活用して展開しているか。 ③研究者としての倫理を踏まえたレポートで過不足なく字数制限を遵守しているか。 ④上記に記述。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	イントロダクション: 授業の進め方と Kazuo Ishiguro の作品の文学的意義について	講義とプロット・サマリーの説明	プリント（1500 wds）の下調べおよび DVD を視聴
2	Kazuo Ishiguro の作品研究：『日の名残り』語り手の「曖昧さ」の効果と意義について	①-A グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのため資料整理
3	Kazuo Ishiguro の作品研究：『日の名残り』登場人物の内面の変化と展開について	ディスカッションの結果を踏まえた講義	プリント（1500 wds）の下調べおよび DVD を視聴

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
4	Kazuo Ishiguro の作品研究：『日の名残り』登場人物の内面の変化、特に共感について	①-B グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理
5	Kazuo Ishiguro の作品『日の名残り』の②-A グループ発表	ディスカッションを踏まえた講義	発表原稿の整理と YouTube 視聴（90 分）
6	作品研究：『私を離さないで』の語り手の「曖昧さ」の効果と意義について	講義とプロット・サマリーの説明	プリント（1500 wds）の下調べおよび DVD を視聴
7	作品研究：『私を離さないで』の登場人物の内面の変化と展開について	①-C グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理と YouTube 視聴
8	作品研究：『私を離さないで』の内面の変化、特に和解について	ディスカッションの結果を踏まえた講義	プリント（1500 wds）の下調べおよび DVD を視聴
9	Kazuo Ishiguro の『私を離さないで』の②-B グループ発表	発表と質疑応答と講評	発表原稿の整理と YouTube 視聴（90 分）
10	作品研究：『クララとお日さま』の語り手の「曖昧さ」の効果と意義について	講義とプロット・サマリーの説明	プリント（1500 wds）の下調べ
11	作品研究：『クララとお日さま』の登場人物の内面の変化と展開について	講義とプロット・サマリーの説明	ディスカッションの資料整理
12	Kazuo Ishiguro の『クララとお日さま』の②-C グループ発表	発表と質疑応答と講評	発表原稿の整理
13	William Shakespeare『リア王』の発表の準備と研究倫理や plagiarism について	講義とプロット・サマリーの説明	③レポートの提出準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Kazuo Ishiguro の世界について及び文学研究の有用性について	返却、講評とディスカッション	配布資料の整理

テキスト	Jonathan Bate. *English Literature: A Very Short Introduction* (Oxford University Press). およびプリント配布
参 考 書	D.ロッジ、柴田元幸・斉藤兆史訳『小説の技巧』（白水社） Stanley Wells. *Shakespeare's Tragedies: A Very Short Introduction* (OUP).

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	平野　幸治
開講期	秋	開講時限	水４限			研究室	4210
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	ambiguity（曖昧さ），metaphor（比喩），intolerance（不寛容さ），reconciliation（和解）
授業の概要	学期前半は、William Shakespeare の劇を扱い、専門用語と研究方法が理解できるように授業を展開する。悲劇および喜劇を各一つ扱い、グループでそれぞれの劇のテーマと演出の効果をディスカッションする。後半は、*The Hours*（『めぐり合う時間たち』）を扱い、映像と文学の観点から作品を考察する。学期末には口頭発表を行い論文を完成する。
達成目標（授業の目的）	学期前半はゼミナール I で獲得した文学研究の方法論を William Shakespeare の劇の考察に応用し、劇のテーマと演出の効果についてグループで討議し発表する。普遍性と個別性の観点から Shakespeare の作品を理解する。後半は、映像と文学という観点から *The Hours* を扱い、Virginia Woolf という作家の問題意識と先進性に焦点を当てる。期末に論文を完成する。
到達目標（学修成果）	学期末に学生は、ゼミ論文を完成し、発表ができるようになる。Shakespeare の劇の特徴を理解し、Virginia Woolf の問題意識と先進性を把握し、①ディスカッションによって問題意識と発問のスキルを獲得できるようになる。②グループで発表ができるようになる。③研究者としての倫理を踏まえ、英語の abstract を付した 5,000 字以上の論文が書けるようになる。④発問の仕方、知識を検証する習慣が身に付くようになる。
評価方法	①ディスカッション終了時に成果を発表する（15%: 5%×3 回）。②学期末にグループ・ワークの成果をプレゼンテーションする（27%: 発表 15%＋レジュメ提出 12%）。③研究者としての倫理を踏まえたゼミナール論文（英語の abstract と 5,000 字以上の日本語）を学期末に提出（30%: アウトライン報告 5%＋論文の中間発表 5%＋提出 20%）。④授業の終了時に回収する form に発問の仕方等を適切な英語で述べる（28%: 2%×14 回）。
評価基準	評価基準は授業の初回に詳しく説明する。基本的には以下の枠組み。 ①準備学習を踏まえてグループ・ディスカッションに積極的に参加し、グループ発表に貢献しているか。 ②プレゼンテーションは獲得した知識を活用して展開しているか。 ③研究者としての倫理を踏まえたゼミナール論文で過不足なく字数制限を遵守しているか。 ④上記に記述。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	William Shakespeare の *The Tragedy of King Lear* と *Pericles, Prince of Tyre* の作品の研究	講義とプロット・サマリーの説明	プリント（2000wds）の下調べおよび DVD の視聴
2	悲劇 *The Tragedy of King Lear* の作品研究の方向性と歴史的経緯について	①-1 グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための要点整理
3	喜劇 *Pericles, Prince of Tyre* の作品研究の方向性と歴史的経緯について	①-2 グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための要点整理
4	*King Lear* と *Pericles* の作品研究（1）と③ゼミナール論文のアウトライン報告	講義および発表と質疑応答	アウトライン作成と発表の整理とプリントの下調べ

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	*King Lear* と *Pericles* の作品研究（2）と③ゼミナール論文のアウトライン報告	講義および発表と質疑応答	アウトライン作成と発表の整理とプリントの下調べ
6	*King Lear* と *Pericles* の作品研究（3）と③ゼミナール論文のアウトライン報告	講義および発表と質疑応答	アウトライン作成と発表の整理とプリントの下調べ
7	③ゼミ論文のアウトライン報告と研究者としての倫理構築と plagiarism について	講義および発表と質疑応答	アウトライン作成と発表の整理とプリントの下調べ
8	映画 *The Hours* のテーマ（和解）と Virginia Woolf の問題意識と社会の相関性について	講義とプロット・サマリーの説明	プリント（2000wds）の下調べおよび DVD の視聴
9	③ゼミナール論文の中間発表（全員）	発表と質疑応答および講評	発表用の原稿作成と配布資料整理
10	映画 *The Hours* と作家 Virginia Woolf の研究（1）：内面、特に不寛容さについて	講義とプロット・サマリーの説明	プリント（2000wds）の下調べおよび DVD の視聴
11	映画 *The Hours* と作家 Virginia Woolf の研究（2）：内面、特に和解について	①-3 グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための論点整理
12	映画 *The Hours* と作家 Virginia Woolf の研究（3）：登場人物の人間的成熟について	ディスカッションを踏まえた講評	プリント（2000wds）の下調べおよび DVD の視聴
13	②グループワークの成果の発表	発表の講評、講義と③論文の回収	③ゼミナール論文の提出準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	グループワークの講評と改善の提示	論文の返却と講評、ディスカッション	配布資料の整理

テキスト	Jonathan Bate. *English Literature: A Very Short Introduction* (Oxford University Press). およびプリント配布
参 考 書	D. ロッジ、柴田元幸・斉藤兆史訳『小説の技巧』（白水社） Stanley Wells. *Shakespeare's Tragedies: A Very Short Introduction* (Oxford University Press).

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	近藤　佐智子
開講期	秋	開講時限	水 2 限			研究室	4208
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-③

キーワード	社会言語学、語用論、言語のバリエーション、言語と文化、英語教育
授業の概要	私たちは、住んでいる地域、文化、年齢、ジェンダー、職業といった様々な社会的要因によって、異なる話し方をする。また、場面や相手によって巧みに話し方を変えるということも日常的に行っている。このゼミでは、主に英語と日本語について、このような社会と言語のダイナミックな関係について基礎知識を得る。社会言語学の基礎文献を読み、その内容をまとめ、発表し、ディスカッションをする力をつける。
達成目標（授業の目的）	社会言語学に関する基礎的知識を得ることを目標とする。社会言語学の理論やこれまでの研究内容を理解し、私たちの日々のことばの使用とどのような関係があるのかを考察する力をつける。また、得た知識を発表することによって効果的に他者に伝えることができるようになる。
到達目標（学修成果）	社会言語学の入門書を読むことによって、分析的な思考能力、読んだものをまとめる力、レジメを作成する力、相手に効果的に伝わる発表をする力、疑問点を追求し議論をする力をつけることを目標とする。また、課題のレポート作成によって、研究トピックの選定方法、文献の探し方、研究倫理に関する知識、レポートの構成方法などを学ぶ。
評価方法	授業時の積極参加（10%）、発表（30%）、レポート（30%）、要約の提出（30%）
評価基準	授業時の積極参加（10%） 　授業への参加度、ディスカッションにおける発言の質と量 発表（30%） 　レジメの構成、レジメの内容が的確に要点を捉えているかどうか、発表の内容（理解して発表しているか、分かりやすく伝えることができたかどうか）、発表の態度（声の大きさ、話し方など） レポート（30%） 　複数の文献を読み、引用などの規則を適切に守り、論理的にレポートが構成されているか、レポートの内容が的確に要点を捉えているかどうか、自分の考えが明確に述べられているかどうか 要約と調べ学習の提出（30%） 　教科書各章の要約と疑問点に関する調べ学習の提出（要約は内容のポイントを捉えているかと全回提出したか、疑問点について調べそれをまとめることができたか）
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	導入（社会言語学とは、授業の運営方法、発表とレジメの作成方法、要約の仕方）	講義	教科書 1-9 頁読む
2	地域方言	学生の発表 ディスカッション	教科書 28-37 頁読み要約 発表者はレジメ作成

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
3	社会方言	学生の発表 ディスカッション	教科書 38-51 頁読み要約 発表者はレジメ作成
4	言語変異論と言語変化	学生の発表 ディスカッション	教科書 52-61 頁読み要約 発表者はレジメ作成
5	言語使用域と文体	学生の発表 ディスカッション	教科書 62-71 頁読み要約 発表者はレジメ作成
6	ピジンとクレオール	学生の発表 ディスカッション	教科書 72-81 頁読み要約 発表者はレジメ作成
7	レポートの書き方、研究倫理教育	学生の発表、講義 ディスカッション	講義 ディスカッション
8	世界各地の英語	学生の発表 ディスカッション	教科書 82-95 頁読み要約 発表者はレジメ作成
9	伝達能力と言語教育 言語習得と異文化接触	学生の発表 ディスカッション	教科書 96-117 頁読み要約 発表者はレジメ作成
10	言語と文化	学生の発表 ディスカッション	教科書 118-127 頁読み要約 発表者はレジメ作成
11	発話行為と丁寧さ	学生の発表、講義 ディスカッション	教科書 128-139 頁読み要約 発表者はレジメ作成
12	言語政策と言語計画	英語文献精読演習 ディスカッション	教科書 140-153 頁読み要約 発表者はレジメ作成
13	非言語伝達	英語文献精読演習 ディスカッション	教科書 154-163 頁読み要約 発表者はレジメ作成
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	総括	ディスカッション	レポート提出

テキスト	田中春美・田中幸子（編著）『よくわかる社会言語学』（ミネルヴァ書房）
参 考 書	中尾俊夫ほか（著）『社会言語学概論：日本語と英語の例で学ぶ社会言語学』（くろしお出版） 田中春美・田中幸子（編著）『社会言語学への招待』（ミネルヴァ書房）

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	近藤　佐智子
開講期	春	開講時限	水４限			研究室	4208
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	社会言語学、語用論、言語のバリエーション、言語と文化、ポライトネス
授業の概要	主に英語と日本語を対象に、社会と言語のダイナミックな関係を社会言語学および語用論の観点から研究する。これまでに構築されてきた理論、研究方法、研究結果について英語で書かれた文献を読み概観し、具体的な事象に照らし合わせて先行研究の妥当性についてディスカッションを行う。学期の最後には各自選択したテーマについて文献研究を行い論文にまとめる。
達成目標（授業の目的）	社会の中で言語がどのように使用されているのかを分析できるようになるために、社会言語学および語用論の理論および先行研究の内容を理解し、それらの研究結果が妥当であるかを判断できるようになる。幅広い文献を使って研究ができるようになるために、英語で書かれた専門書を読む力をつける。各自選択したテーマについて秋学期に実証研究を行う素地を作るために、文献研究を行う。
到達目標（学修成果）	英語の専門書を読み、要約や発表用レジメを作成し、内容を日本語で口頭発表することができるようになる。理論、専門用語、先行研究の内容を理解し、具体例をあげて説明やディスカッションができるようになる。各自が選択したテーマに沿った文献を探す、読む、論文の形式でまとめることができるようになる。
評価方法	文献研究論文（30%）、発表（30%）、要旨の提出（30%）、授業時の積極参加（10%）
評価基準	文献研究論文（30%） 　複数の文献を読み、引用などの規則を適切に守り、論理的に論文が構成されているか。論文の内容が的確に要点を捉えているかどうか。自分の考えが明確に述べられているか。 発表（30%） 　レジメの構成、レジメの内容が的確に要点を捉えているかどうか。発表の内容（理解して発表しているか、分かりやすく伝えることができたかどうか）、発表の態度（声の大きさ、話し方など） 要旨の提出（30%） 　教科書各章の要約の提出（内容のポイントを捉え疑問点を明記しているかどうか、全回提出したか） 授業時の積極参加（10%） 　授業への参加度、ディスカッションにおける発言の質と量
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	導入、研究の進め方、文献研究論文の書き方	講義 ディスカッション	教科書 185-217 頁を読む
2	Regional and social dialects	学生の発表 ディスカッション	教科書 185-217 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
3	Gender	学生の発表 ディスカッション	教科書 222-231 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
4	Explanations for women's linguistic behaviour, Age	学生の発表 ディスカッション	教科書 231-251 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
5	Ethnicity and social networks	学生の発表 ディスカッション	教科書 258-280 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
6	Language change	学生の発表 ディスカッション	教科書 287-320 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
7	個人研究の進め方：文献の探し方、文献研究論文の書き方、研究倫理教育	講義 演習	個人テーマの論文作成（論文提出日まで継続）
8	Style, context and register: Addressee, Accommodation theory	学生の発表 ディスカッション	教科書 339-353 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
9	Context, style, and social class, Register, Style in non-English speaking societies	学生の発表 ディスカッション	教科書 353-377 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
10	Speech functions, politeness and cross-cultural communication	学生の発表 ディスカッション	教科書 387-416 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
11	Gender, politeness and stereotypes: Women's language and confidence, Interaction	学生の発表 ディスカッション	教科書 424-441 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
12	Gossip, Construction of gender and sexuality, Sexist language	学生の発表 ディスカッション	教科書 442-459 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
13	研究報告（論文の内容と秋学期の実証研究の計画）	学生の発表 ディスカッション	発表準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	研究報告（論文の内容と秋学期の実証研究の計画）	学生の発表 ディスカッション	論文提出、発表準備

テキスト	J. Holmes and N. Wilson. *An Introduction to Sociolinguistics, Sixth Edition* (Routledge). 田中典子『はじめての論文：語用論的な視点で調査・研究する』（春風社）
参 考 書	飯野公一ほか『新世代の言語学―社会・文化・人をつなぐもの』（くろしお出版） 岡本真一郎『ことばのコミュニケーション―対人関係のレトリック』（ナカニシヤ出版）
その他 特記事項	英語の予習と復習が必要である。

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	近藤　佐智子
開講期	秋	開講時限	水４限			研究室	4208
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	社会言語学、語用論、言語のバリエーション、言語と文化、会話分析、実証研究
授業の概要	ゼミナールⅠで得た社会言語学および語用論に関する知識を基に、個人で研究テーマを設定し、実際に調査研究を行い、成果を「ゼミ論文」としてまとめ、口頭でも発表する。その過程で論文の書き方、研究倫理、調査方法、分析方法、発表方法について学び、論文の完成に向けて段階的に準備を行う。
達成目標（授業の目的）	言語の分析能力を身に付けるために、学生は自ら実証研究を行い、その研究の妥当性や先行研究との関連を判断できるようになることを目標とする。また、他の学生の研究発表を聞き、ディスカッションをすることによって、論理的思考をし、論理的に他者を説得することができるようになる。
到達目標（学修成果）	社会言語学や語用論の理論や先行研究をふまえて、実証研究ができるようになる。研究にあたっては、先行研究論文を批判的に読み、仮説が検証できるような研究計画を立て、データを分析し、その結果を先行研究結果と比較考察し、結論を導き出すことができるようになる。また、論理的に文章を組み立てて論文を書き、その内容を効果的な視覚的補助を用いて発表することができるようになり、他者の発表に対しても分析的な発言ができるようになる。
評価方法	実証研究論文（40%）、発表（30%）、4 回の発表のレジメ提出（20%）、授業時の積極参加（10%）
評価基準	実証研究論文（40%） テーマや仮説の設定が適切か、仮説が検証できる調査方法か、データ分析が適切か、研究結果が論理的に説明できているか、研究結果を先行研究と比較して検証しているか、定められた書式にそって書かれているか 発表（30%） 読んだ論文の報告、中間発表（1）、中間発表（2）、最終発表、の計 4 回の発表における発表の内容（理解して発表しているか、分かりやすく伝えることができたかどうか、的確に要点を捉えているかどうか）、発表の態度（声の大きさ、話し方などが効果的か） 4 回の発表のレジメ提出（20%） 読んだ論文の報告、中間発表（1）、中間発表（2）、最終発表、の計 4 回の発表レジメの提出（内容のポイントを捉えているかどうか、全回提出したかどうか） 授業時の積極参加（10%） 授業への参加度、ディスカッションにおける発言の質と量
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	研究の進め方、研究倫理教育、読んだ論文の内容発表	講義、学生の発表 ディスカッション	各自論文を 1 本読み発表の準備、個人研究データ分析
2	読んだ論文の内容発表	学生の発表 ディスカッション	各自論文を 1 本読み発表の準備、個人研究データ分析

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
3	研究中間報告発表（1）グループ A	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備
4	研究中間報告発表（1）グループ B	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備
5	研究中間報告発表（1）グループ C	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備
6	研究中間報告発表（2）グループ A	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備
7	研究中間報告発表（2）グループ B	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備
8	研究中間報告発表（2）グループ C ゼミ論文作成	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備、ゼミ論文作成
9	最終研究発表　　グループ① ゼミ論文作成	学生の発表 ディスカッション	最終発表の準備、ゼミ論文作成
10	最終研究発表　　グループ② ゼミ論文作成	学生の発表 ディスカッション	最終発表の準備、ゼミ論文作成
11	最終研究発表　　グループ③ ゼミ論文作成	学生の発表 ディスカッション	最終発表の準備、ゼミ論文作成
12	最終研究発表　　グループ④	学生の発表 ディスカッション	最終発表の準備、ゼミ論文初稿提出
13	論文講評、論文修正、abstract の書き方	講義 論文修正	ゼミ論文の直し
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	総括	ディスカッション	ゼミ論文最終稿提出

テキスト	田中典子『はじめての論文：語用論的な視点で調査・研究する』（春風社） プリント『論文テーマの決定と仮説の立て方』『論文の書き方』
参 考 書	戸田山和久『新版論文の教室：レポートから卒論まで』（NHK 出版） 『近藤ゼミ論文集』

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	丹木　博一
開講期	秋	開講時限	水 2 限			研究室	4214
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-③

キーワード	哲学、倫理学、人間のいのちの意味
授業の概要	人間のいのちについてどのような問いや関心が自分のうちに息づいているかをはっきりと自覚し、その問いを哲学的に練り上げ、考察した内容を分かりやすくグループ発表ができるようにする。ディスカッションを通して各自の研究テーマを明確にし、そのテーマについてどうすれば考えを推し進めていくことができるかを学ぶ。
達成目標（授業の目的）	哲学及び倫理学の分野における基礎的な研究姿勢を養うことが達成目標である。
到達目標（学修成果）	・互いにディスカッションを通して、理解を深めていく醍醐味を味わうことができる。 ・文献検索の方法や文献読解の手順を学び、問題を提起し探求する姿勢を身につける。 ・グループのメンバーと協力して発表を準備し、研究発表の手法を学ぶ。 ・自分の研究テーマについて小論文の形で論述展開することができる。
評価方法	①提出課題（18%＝2%×9 回） ②授業参画（14%＝1%×14 回） ③グループ発表（20%） ④期末課題（2,500 字以上のレポート）（48%）
評価基準	①提出課題：事前に指示した通り課題を行い提出したかどうか。 ②授業参画：毎回の授業中の意見交換に積極的に参加しているかどうか。 ③グループ発表：グループワークを通して研究関心を練り上げ、問いを提起し、その問いについて適切な文献を選び、それを正確に読解した上で、その内容の紹介とグループによる独自の考察を加えて、分かりやすく発表できるかどうか。 ④期末課題：複数の参考文献を読み、関心を寄せるテーマについて問いを提起し、先行研究を理解した上で、理由を挙げて自分の考えを論じることができるかどうか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション	講義 自己紹介	自己紹介の準備。夏休み課題（ブックノート）の提出。
2	研究方法の紹介・文献検索及び文献読解の方法・研究倫理	講義	教科書①第 1 章を読み、ポイントを要約して提出。
3	各自の関心の確認とグループ分け	講義・グループ分け グループ作業	自分の研究関心に叶う文献を探し書誌データを記し提出。
4	グループごとの研究テーマの練り上げ テキスト批評の仕方を学ぶ	講義 グループ作業	教科書①第 2 章を読み、ポイントを要約して提出。
5	『星の王子さま』前半講読・テキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書②pp.7-94 を読み、重要ポイントを要約し提出。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	『星の王子さま』後半講読・テキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書②pp.94-137 を読み、重要ポイントを要約し提出。
7	研究事例の紹介 グループ発表の仕方についての説明	講義 グループ作業	グループごとに研究の概要を提示する。
8	グループ発表	グループ発表 質疑応答・講評	発表の準備。ブックレポート。
9	グループ発表	グループ発表 質疑応答・講評	発表の準備。ブックレポート。
10	グループ発表	グループ発表 質疑応答・講評	発表の準備。ブックレポート。
11	グループ発表	グループ発表 質疑応答・講評	発表の準備。ブックレポート。
12	グループ発表の振り返り 個人研究への導入	講義・小論文作成のエクササイズ	個人研究のテーマと問題意識をまとめて提出。
13	研究レポート（小論文）作成の手順を学ぶ	講義・小論文作成のエクササイズ	教科書①第 3 章を読む。小論文のアウトラインを提出した上で、小論文を提出。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	小論文へのコメント ゼミ I に向けてのエクササイズ	講義・エクササイズ	教科書①をもう一度読み直しておく。

テキスト	①　河野哲也『レポート・論文の書き方入門』（慶應義塾大学出版会） ②　サンテグジュペリ『星の王子さま』（池澤夏樹訳）（集英社文庫）
参 考 書	授業内で適宜指摘する。
その他 特記事項	テキストをていねいに読み進めようとする熱意と、自分の考えを練り上げ、わかりやすく伝えようとする粘り強さが求められる。分からないことや要望などがあれば、遠慮せず問い合わせること。

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	丹木　博一
開講期	春	開講時限	水４限			研究室	4214
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	哲学、倫理学、人間のいのちの意味、人間の尊厳
授業の概要	哲学及び倫理学の分野に関する諸問題について、学生が自らテーマを選び、研究を進める。古典を読む力を身につけ、ブックレポートを行い、互いにディスカッションを通して、テーマに関する理解を深めていく。この積み重ねによって、研究方法と発表方法を学び、文献読解、問題提起、論述の論理展開、討論に関する基礎力を身につける。
達成目標（授業の目的）	哲学及び倫理学における基本的な研究能力を身につけることが達成目標である。
到達目標（学修成果）	・毎回の授業において建設的に問いを提起し、討論を繰り広げることができる。 ・古典的著作を読み解く力をつけ、自ら問いを立て、理解を深めることができる。 ・研究に必要な文献を探して正しく読解し、理解内容を分かりやすく表現できる。 ・文献を批判的に読解し、自身の考えを筋道立てて研究論文の形に仕上げることができる。
評価方法	①提出課題（20%＝2%×10回） ②授業参画（14%＝1%×14回） ③ブックレポート（26%） ④小論文（4,000字以上）（40%）
評価基準	①提出課題：事前に指示した通り課題を行い提出したかどうか。 ②授業参画：積極的に授業に参加し、議論の深化発展に寄与できるかどうか。 ③ブックレポート：自らの問いを練り上げ、その問いに関する適切な研究文献を選び、その文献を正確に読解し、理解内容を分かりやすく表現するとともに、批判的に吟味し、自身の意見を提示できるかどうか。 ④小論文：自らの思考の軌跡を、研究論文の形式に仕上げ、分かりやすく論述できるかどうか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション・文献検索の方法・テキスト批評の方法	講義	春休みの宿題（ブックノート）の提出
2	ブックレポートの方法・小論文の書き方・研究倫理・次週から読むテキストの紹介	講義 ディスカッション	研究テーマについてのアンケート提出・文献検索
3	『チッソは私であった』「家出から運動へ」講読・テキスト批評	講義 ディスカッション	教科書①pp.7-39を要約し、問いを提起する。
4	『チッソは私であった』「チッソは私である」講読・テキスト批評	講義 ディスカッション	教科書①pp.43-83を要約し、問いを提起する。
5	『チッソは私であった』「魚とともに生きる」講読・テキスト批評	講義 ディスカッション	教科書①pp.87-115を要約し、問いを提起する。
6	『チッソは私であった』「日月丸東京へゆく」講読・テキスト批評	講義 ディスカッション	教科書①pp.119-144を要約し、問いを提起する。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	『チッソは私であった』「魂とは何ぞや」講読・テキスト批評	講義 ディスカッション	教科書①pp.147-175 を要約し、問いを提起する。
8	『チッソは私であった』「対談 祈りの語り」講読・テキスト批評　教科書②の説明	講義 ディスカッション	教科書①pp.179-237 を要約し、問いを提起する。
9	ブックレポート　第 1 回	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
10	ブックレポート　第 2 回	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
11	ブックレポート　第 3 回	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
12	ブックレポート　第 4 回	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
13	論文作成のエクササイズ	講義 ディスカッション	教科書②を読んでおく。アウトライン及び小論文を提出。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	小論文に対する講評 論文作成のエククサイズ	講義 ディスカッション	ゼミ論についての研究計画を提出

テキスト	①　緒方正人『チッソは私であった―水俣病の思想』（河出文庫） ②　河野哲也『レポート・論文の書き方入門』（慶應義塾大学出版会）
参 考 書	栗原彬編『証言 水俣病』（岩波新書） 田中優子『苦海・浄土・日本―石牟礼道子　もだえ神の精神』（集英社新書）

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	丹木　博一
開講期	秋	開講時限	水４限			研究室	4214
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	哲学、倫理学、人間のいのちの意味、人間の尊厳
授業の概要	自らが選んだ研究テーマをさらに絞り込み、ゼミナールⅠの研究発表において確認した各自の課題を解決することができるように、さらに研究を進めていく。各自一回研究発表を行い、時間をかけて議論をし、テーマに関する理解を深め、足りない点を自覚しながら、最終的に首尾一貫した研究論文を作成する。
達成目標（授業の目的）	哲学及び倫理学の分野における研究発表能力及び論文作成能力を身につけることが達成目標である。
到達目標（学修成果）	・毎回の授業において建設的に問いを提起し、討論を繰り広げることができる。 ・自らが提起した問いを研究的に追求し、古典を含む幅広い文献の読解に基づいて、説得力のある研究発表を行う力を身につける。 ・他の学生からの問いに応答する力を養い、適切な批判であればそれを受け入れ、粘り強く自らの論考を練り直し、説得力のある研究論文の形に仕上げることができる。
評価方法	①提出課題（16%＝2%×8回） ②授業参画（14%＝1%×14回） ③研究発表（20%） ④ゼミ論文（18,000～20,000字）（50%）
評価基準	①提出課題：事前に指示した通り課題を行い提出したかどうか。 ②授業参画：授業中のディスカッションに積極的に参加し、議論の創造的発展に寄与できるかどうか。 ③研究発表：自身の哲学的・倫理学的な問いを練り上げ、先行研究を踏まえて、その問いに説得力のある回答を与えようと努めた成果を、分かりやすく発表できるかどうか。 ④ゼミ論文：自分が提起した哲学的・倫理学的な問いについて、多様な議論に耳を傾けながら自分の立場を提示し、その妥当性について理由を挙げて論述できるかどうか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション・研究能力育成のためのエクササイズ・研究倫理・研究発表方法	講義・ディスカッション・エクササイズ	夏休みの課題（ブックノート）提出
2	『ニコマコス倫理学』の構成と意図についてテキスト批評＋ゼミ論作成の手順	講義・ディスカッション・エクササイズ	ゼミ論レイアウト提出。教科書 pp.11-20 を読んでおく。
3	『ニコマコス倫理学』第8巻第1～3章講読・テキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.184-203 を要約し、問題を提起する。
4	『ニコマコス倫理学』第8巻第4～6章講読・テキスト批評＋研究発表の方法	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.204-221 を要約し、問題を提起する。
5	『ニコマコス倫理学』第8巻第7～9章講読とテキスト批評＋ゼミ論作成の手順	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.222-239 を要約し、問題を提起する。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	『ニコマコス倫理学』第 8 巻第 10〜13 章講読とテキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.240-263 を要約し、問題を提起する。
7	『ニコマコス倫理学』第 8 巻第 14 章〜第 9 巻第 2 章講読・テキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.264-283 を要約し、問題を提起する。
8	『ニコマコス倫理学』第 9 巻第 3〜5 章講読・テキスト批評＋研究発表の方法	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.284-303 を要約し、問題を提起する。
9	研究発表　第 1 回	発表 ディスカッション	発表準備
10	研究発表　第 2 回	発表 ディスカッション	発表準備
11	研究発表　第 3 回	発表 ディスカッション	発表準備
12	研究発表　第 4 回	発表 ディスカッション	発表準備
13	研究発表の振り返り ゼミ論文の書き方	講義 エクササイズ	ゼミ論文初校提出
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ゼミ論文初校についての講評 ゼミ論文作成のためのエクササイズ	講義 エクササイズ	ゼミ論文への加筆修正

テキスト	アリストテレス『ニコマコス倫理学（下）』（光文社古典新訳文庫）
参 考 書	J.O.アームソン『アリストテレス倫理学入門』（雨宮健訳）（岩波書店） 河野哲也『レポート・論文の書き方入門』（慶應義塾大学出版会）
その他 特記事項	テキストをていねいに読み進めようとする熱意と、自分の考えを練り上げ、わかりやすく伝えようとする粘り強さが求められる。分からないことや要望などがあれば、遠慮せず問い合わせること。

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	森下　園
開講期	秋	開講時限	水 2 限			研究室	4202
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-③

キーワード	歴史学の作法、史料論、アカデミックスキルズ
授業の概要	歴史学の作法と先行研究の読み方・資料の探し方、口頭発表の仕方などのアカデミックスキルズを学び、専門の文献の輪読と要約を行い、ゼミ研究のテーマを選ぶ。
達成目標（授業の目的）	先行研究の読み方、発表の仕方、質疑応答などのアカデミックスキルを学ぶ。具体的には、①専門の論文を輪読することで、論文の構成や引用について学び、②ゼミ研究の仮テーマを選択し、③ゼミ研究のテーマを理解するために必要な本の要約発表を通して、批判的な読み方と発表資料の作り方、発表の仕方を学び、④発表後の適切な発言・質問の仕方を学ぶ。
到達目標（学修成果）	①論文の輪読を通して、論文の構成、言葉遣い、引用の仕方を身につける。 ②アカデミックな研究テーマを選択し、先行研究や参考資料を選ぶことができる。 ③本の要約発表を通して、先行研究の批判的な読み方、ポイントのまとめ方、発表資料の作り方、発表の作法を身につける。 ④輪読、要約発表の質疑応答により、アカデミックな場での質問の仕方を身につける。
評価方法	①論文輪読：20% ②ゼミ研究テーマの発表：10% ③本の要約発表：30% ④輪読参加・要約発表への質問：4%×10 回＝40%
評価基準	①論文輪読：割り当てページの十分な予習ができているか。 ②適切なゼミ研究テーマを選択し、必要な参考文献リストを作成できるか。 ③本の要約発表：必要な下調べをしたのち、内容をレジュメにまとめて結論をつけ、適切な話し方で発表をしているか。準備不足は減点となる。 ④輪読、要約発表に適切な質問や意見を出しているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	プレ・ゼミの概要説明 論文輪読の割り当てと研究倫理について	自己紹介、講義、質疑応答	輪読の準備
2	ゼミ研究のテーマ選択と先行研究、参考資料の探し方について	講義、インターネット検索の仕方、意見交換	輪読の準備、 ゼミ研究テーマの選択
3	論文輪読と質疑応答①	輪読、質疑応答、解説	担当学生：輪読準備 その他学生：輪読予習
4	論文輪読と質疑応答②	輪読、質疑応答、解説	担当学生：輪読準備 その他学生：輪読予習
5	論文輪読と質疑応答③	輪読、質疑応答、解説	担当学生：輪読準備 その他学生：輪読予習
6	論文輪読と質疑応答④	輪読、質疑応答、解説	担当学生：輪読準備 その他学生：輪読予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	論文輪読と質疑応答⑤	輪読、質疑応答、解説	担当学生：輪読準備 その他学生：輪読予習
8	論文輪読と質疑応答⑥	輪読、質疑応答、解説	担当学生：輪読準備 その他学生：輪読予習
9	ゼミ研究テーマと参考文献リストの発表	発表、質疑応答、講評	ゼミ研究の仮テーマを選択、 参考文献リストの作成
10	本の要約発表①	要約発表、質疑応答、 講評	要約発表準備 ゼミ研究の資料探し
11	本の要約発表②	要約発表、質疑応答、 講評	要約発表準備 ゼミ研究の資料探し
12	本の要約発表③	要約発表、質疑応答、 講評	要約発表準備 ゼミ研究の資料探し
13	本の要約発表④	要約発表、質疑応答、 講評	要約発表準備 ゼミ研究の資料探し
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	振り返り、ゼミ I の準備、学修ポートフォリオ記入	ポートフォリオ記入、 意見交換	ゼミ研究テーマ・資料探し ポートフォリオ準備

テキスト	井上茂子「社会国家の歴史におけるナチ時代：労働者政策と福祉政策を事例にして」『上智史学』44 号、1999 年、89－120 頁（上智大学学術情報リポジトリより入手可能） （http://digital-archives.sophia.ac.jp/repository/view/repository/00000009856）
参 考 書	基礎ゼミナールテキスト『Essentials 2023 : A Guide to Finding the Right Career Path for You』

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	宮崎　幸江
開講期	秋	開講時限	水 2 限			研究室	4217
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-③, 5-①

キーワード	バイリンガリズム、言語マイノリティ、言語教育政策、多文化共生
授業の概要	日本における言語マイノリティの子どもの教育と多文化共生について、基礎的な事柄を学ぶ。春にサービスラーニング入門講座を履修済みの学生は授業として、履修済みでない学生はボランティアとして、何らかのサービスラーニングに参加し、地域社会の課題を認識し、課題解決の方法について、アクティブラーニングを行う。
達成目標（授業の目的）	本科目は、「多文化共生とバイリンガリズム」に関する知識を深め、身近に存在する多文化を持つ人々に目を向け、共生社会の現状や課題について批判的に考える力を養うことを目的とする。
到達目標（学修成果）	学生は、学期の終わりまでにバイリンガルの言語発達や母語保持、アイデンティティ形成などの理論を理解できるようになる。また、多文化化が進む地域の例として、秦野市における言語マイノリティの子どもの環境の特徴や教育課題を理解し、自分自身の出身地などと比較して意見を述べることができるようになる。
評価方法	①授業への積極参加：30% ②プレゼンテーション：20% ③期末レポート：50%
評価基準	①授業への積極参加：自分とは異なる他者の意見を理解しようとしているかどうか、具体的、建設的な意見を述べることで、議論に貢献したかどうかを評価する。 ②プレゼンテーション：テーマに対して論理的に説明できているか、内容は授業で学んだ理論や事例を適切に反映させているかを評価する。 ③期末レポート：バイリンガルの言語発達や言葉とアイデンティティについて、先行研究を引用し、批判的に分析できているかを評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	B：第 1 章　ハーフ・ダブル・ミックスルーツ　日本人っていったい誰？	講義、グループディスカッション、質疑応答	B：第 1 章を読み、要点をまとめてくる
2	A：第 1 章　文化間移動と子どもの言語発達 B：第 2 章　戦争と難民	講義、グループディスカッション、質疑応答	A：第 1 章と B：第 2 章を読み、課題の質問に答える
3	A：第 2 章　日本に住む多文化のこども B：第 3 章　ヘイトスピーチ	講義、グループディスカッション、質疑応答	A：第 2 章と B：第 3 章を読み、課題の質問に答える
4	A：第 2 章　日本に住む多文化家庭の言語 B：第 4 章　移民政策	講義、グループディスカッション、質疑応答	A：第 2 章と B：第 4 章を読み、課題の質問に答える
5	A：第 3 章　子どものアイデンティティ交渉 B：第 5 章　外国人の子どもの貧困	講義、グループディスカッション、質疑応答	A：第 3 章と B：第 5 章を読み、課題の質問に答える
6	A：第 3 章　子どものアイデンティティ交渉 B：第 6 章　戦争責任	講義、グループディスカッション、質疑応答	A：第 3 章と B：第 6 章を読み、課題の質問に答える

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	A：第 4 章　ブラジルの日系人 B：第 7 章　国家と国民	講義、グループディスカッション、質疑応答	A：第 4 章と B：第 7 章を読み、課題の質問に答える
8	A：第 4 章　在日ブラジル人 B：第 8 章　領土問題	講義、グループディスカッション、質疑応答	A：第 4 章と B：第 8 章を読み、課題の質問に答える
9	A：第 5 章　言葉とアイデンティティ 1 B：第 9 章　アイヌと沖縄	講義、グループディスカッション、質疑応答	A：第 5 章と B：第 9 章を読み、課題の質問に答える
10	A：第 5 章　言葉とアイデンティティ 2 B：第 10 章　未来への選択	講義、グループディスカッション、質疑応答	A：第 5 章と B：第 10 章を読み、課題の質問に答える
11	A：第 6 章　多文化共生社会の実現に向けて	講義、グループディスカッション、質疑応答	A：第 6 章を読み、課題の質問に答える
12	A：第 7 章　多様化する外国籍の子どもと多文化教育の実態	講義、グループディスカッション、質疑応答	A：第 7 章を読み、課題の質問に答える
13	A：第 8 章　文化・ことばと国際理解教育 第 9 章　国際理解教育の実践	講義、グループディスカッション、質疑応答	A：第 8 章と第 9 章を読み、課題の質問に答える
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	プレゼンテーションとまとめ	講義、グループディスカッション、質疑応答	プレゼンテーションと期末レポートを書く

テキスト	A：宮崎幸江（2014）『日本に住む多文化の子どもと教育―ことばと文化の間で生きる―』（上智大学出版） B：「外国につながる子どもたちの物語」編集委員会（2020）『まんが　クラスメートは外国人 課題編―私たちが向き合う多文化共生の現実』（明石書店）
その他 特記事項	春学期に「サービスラーニング入門講座」を未履修の学生は秋学期に履修する。本ゼミナールを受講する学生は、在学中に「サービスラーニング（地域日本語支援 AB）」もしくは「サービスラーニング（小中学校日本語支援 AB）」を履修することが求められる。ただし、抽選に落選し履修できなかった場合は、ボランティアとしてコミュニティフレンド等のサービスラーニングに参加することで代わりとするが、詳細はアドバイザーと個別に相談すること。

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	宮崎　幸江
開講期	春	開講時限	水 5 限			研究室	4217
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-④, 5-①

キーワード	移民、バイリンガリズム、言語マイノリティ、言語教育政策、多文化共生
授業の概要	日本における移民の子どもの教育について基礎的な事柄を学ぶ。サービスラーニングを並行して行い、地域社会の課題を認識し、授業で学んだことを用いて地域の課題解決に向けてアクティブラーニングを行う。
達成目標（授業の目的）	本科目は、「多文化共生とバイリンガリズム」について、移民という視点から見た教育問題に関する知識を深め、多文化共生社会の現状やバイリンガリズムに関する課題について批判的に考える力を養うことを目的とする。
到達目標（学修成果）	学期の終わりには、日本における言語マイノリティを対象とした教育の種類と課題を理解できるようになる。また、ゼミナール論文に向けて、多文化共生とバイリンガリズムの領域からテーマを見つけ、文献を読めるようになる。
評価方法	①授業への積極参加：30% ②口頭発表：20% ③期末レポート：50%
評価基準	①授業への積極参加：自分とは異なる他者の意見を理解しようとしているかどうか。具体的、建設的な意見を述べることで、問題解決に向けた討議の活性化に貢献したかどうかを評価する。 ②口頭発表：学期中に 1～2 回担当箇所について、課題の内容を解説する。 ③期末レポート：ゼミナール II で取り組む研究テーマについて概要をまとめる。研究課題の設定の妥当性、先行研究が適切かどうかを評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	序章　グローバル時代の国際移動と変容する日本社会、研究倫理について	講義、グループディスカッション、質疑応答	序章を読み、要点をまとめてくる。
2	第 1 章　オールドカマー：その歴史が問いかけるもの	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 1 章を読み、課題の質問の答えを書いて提出する。
3	第 2 章　ニューカマー：加速する日本社会の多文化化	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 2 章を読み、課題の質問の答えを書いて提出する。
4	第 3 章　海外帰国生：教育問題の変遷と新たな動向	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 3 章を読み、課題の質問の答えを書いて提出する。
5	第 4 章　留学生：日本における外国人留学生と日本からの海外留学	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 4 章を読み、課題の質問の答えを書いて提出する。
6	第 5 章　家族：多様な文化と教育戦略	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 5 章を読み、課題の質問の答えを書いて提出する。
7	第 6 章　学校：子どものいきにくさから考える	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 6 章を読み、課題の質問の答えを書いて提出する。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	第 7 章　地域：見慣れた風景を見直す	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 7 章を読み、課題の質問の答えを書いて提出する。
9	第 8 章　労働市場：それはいかに移民の教育と関係するのか	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 8 章を読み、課題の質問の答えを書いて提出する。
10	第 9 章　トランスナショナルな生活世界：往還する日系ブラジル人の教育経験から	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 9 章を読み、課題の質問の答えを書いて提出する。
11	第 10 章　グローバル社会と教育格差：東アジアにおける教育移住を手がかりに	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 10 章を読み、課題の質問の答えを書いて提出する。
12	第 11 章　移民国家アメリカの多文化教育：多様性の尊重と社会的公正をめざして	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 11 章を読み、課題の質問の答えを書いて提出する。
13	第 12 章　多文化共生と日本の学校教育（施策編）	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 12 章を読み、課題の質問の答えを書いて提出する。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	まとめ	講義、グループディスカッション、質疑応答	夏休みの研究計画を書く。

テキスト	額賀美沙子他（2019）『移民から教育を考える―子どもたちを取り巻くグローバル時代の課題』（ナカニシヤ出版）
参 考 書	坂本光代（2021）『多様性を再考する―マジョリティに向けた多文化教育』（上智大学出版）
その他 特記事項	本ゼミナールを受講する学生は、在学中に「サービスラーニング（地域日本語支援 A または B）」と「サービスラーニング（小中学校日本語支援 A または B）」を履修することが求められる。1 年生秋学期については同クラスの抽選に落選した場合や、春学期にサービスラーニングの前提科目となる「サービスラーニング入門講座」を履修していない場合は、ボランティアとしてコミュニティフレンド等に参加することを求められる。詳細はアドバイザーと個別に相談すること。

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	宮崎　幸江
開講期	秋	開講時限	水 5 限			研究室	4217
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-④, 5-①

キーワード	バイリンガリズム、言語マイノリティの言語と文化、言語教育政策、多文化共生
授業の概要	ゼミナール II では、日本における言語マイノリティの子どもの教育と多文化共生について、1 年かけて自主的に学んだことを発展させて研究を行う。先行研究の読み方、研究課題の絞り方、調査方法と結果のまとめ方等についても授業で段階的に学び、学年末にゼミナール論文を書く。
達成目標（授業の目的）	本科目は、1 年次から参加してきたコミュニティフレンドまたはカレッジフレンドでの経験と、ゼミナール I、プレゼミナールで学んだ知識を統合し、多文化共生社会の現状や課題について批判的に考える力と論文にまとめる力を養うことを目的とする。
到達目標（学修成果）	学期終了までに、先行研究を読み進め、自分の選んだ研究テーマについての考察を深め、理論やデータを元にゼミナール論文を執筆できるようになる。他の人の研究に対してディスカッションする力やプレゼンテーションのスキルも習得する。
評価方法	①授業への積極参加：20% ②口頭発表（中間発表＋最終発表他）：30% ③ゼミナール論文：50%
評価基準	①授業への積極参加：授業で扱う文献を読んでディスカッションに参加しているか、質問ができるか、討議の活性化に貢献しているかどうかで評価する。 ②口頭発表（中間発表＋最終発表他）：中間発表では、各自の研究の進捗についてポイントを述べ、研究を進めるために足りないものは何かを的確に掴めているかを評価する。最終発表では、論文全体の構成は内容について評価する。 ③ゼミナール論文：テーマにあった選考文献が選ばれているか、論拠に沿って意見がまとめられているか、引用や出典が適切に示されているかなどを評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	夏休みの研究報告 1 回目 個人発表	発表と質疑応答、 ディスカッション	プレゼン準備
2	夏休みの研究報告 2 回目 個人発表	発表と質疑応答、 ディスカッション	プレゼン準備
3	夏休みの研究報告 3 回目 個人発表	発表と質疑応答、 ディスカッション	プレゼン準備 文献購読
4	卒業研究の計画：論文の構成とアウトライン、先行研究の選び方について	発表と質疑応答、 ディスカッション	文献購読、テーマの絞り込み
5	文献購読 1 各自の選んだ文献の内容を発表	発表と質疑応答、 ディスカッション	文献購読、テーマの絞り込み
6	文献購読 2 文献の概要とポイントを発表する	発表と質疑応答、 ディスカッション	文献購読、テーマの絞り込み

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	論文の構成を考える 要約の書き方	発表と質疑応答、 ディスカッション	文献購読、テーマの絞り込み
8	ゼミナール論文、論点の絞り方 アウトラインについて	発表と質疑応答、 ディスカッション	文献購読、アウトライン作成
9	ゼミナール論文のアウトライン発表 構成の修正方法	発表と質疑応答、 ディスカッション	文献購読、発表準備
10	ゼミナール論文の中間発表 1	発表と質疑応答、 ディスカッション	論文作成、発表準備
11	ゼミナール論文の中間発表 2	発表と質疑応答、 ディスカッション	論文作成、発表準備
12	論文作成、引用、参考文献の書き方	発表と質疑応答、 ディスカッション	論文作成、発表準備
13	フォーマットの整え方	発表と質疑応答、 ディスカッション	論文の推敲
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	最終発表、まとめ	発表と質疑応答、 ディスカッション	プレゼン準備、論文の推敲

履修条件、前提科目	1 年次から継続してきたサービスラーニングから、地域の課題解決に向けたアクティブラーニングを行い、卒業研究とする。

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	狩野　晶子
開講期	秋	開講時限	水 2 限			研究室	4203
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-③, 5-②

キーワード	コミュニカティブな言語教育、言語習得、児童英語教育、アクティブラーニング
授業の概要	「言葉をおぼえる、言葉をならう、言葉を教えるとは」をテーマに、言葉の教育、習得、運用の観点から言葉と人との関わりを扱う。プレ・ゼミナールでは各自が自ら興味のあるテーマで研究を進める土台づくりとなる知識を第二言語習得の観点から学び、そこから幅広く発展する分野の知識と関心を深め、2 年次のゼミナールへの土台となる力を養う。
達成目標（授業の目的）	興味関心のあるテーマについて文献を読み、文献資料に基づいて発表を行い、質疑応答ができるようになる。さまざまな関連テーマの内容について読み、調べ、発表することを通して言語学と言語習得の基礎について学ぶ。発表を通して効果的なプレゼンテーションのスキルを学ぶ。グループワークを通して自律的、主体的に学ぶ姿勢を養う。
到達目標（学修成果）	グループや個人での発表を通して、発表準備の手順を学び、聞き手にわかりやすく伝わる発表に不可欠な要素について体得する。資料を読み、理解を深め、内容をアウトラインとしてまとめレジュメを作成する過程で専門知識を深める。他の学生の発表を聞き的確な質問やコメントができるよう、聞く際のポイントを学び、実践する。
評価方法	①授業時の活動への参加姿勢（30%）、②リアクションペーパー及び相互フィードバック（30%）、③グループおよび個人プレゼンテーション（20%）、④期末課題（20%）。
評価基準	①事前に必要な準備や下調べを行ったうえで授業に参加し、ディスカッション等に積極的に関わり、具体的かつ建設的な意見を出して討論への貢献ができる。 ②授業で得た知見をもとに自らの意見や観点を、的確な表現で文章化できる。 ③特定のテーマについて資料や文献を調べ、聞き手が内容を理解しやすい構成とヴィジュアル資料を作成し、興味・関心を共有できるように準備し発表、質疑応答を行える。 ④テーマに沿って調べた内容やテキストの要約を、読み手を意識したわかりやすく的確な表現で文章化できる。さらに、発表等に活用することを念頭に置いて、所定の書式に沿って資料として作成できる。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス 発表グループと分担決め	講義、 グループワーク	テキスト通読
2	テキストの読み進め方、具体的な発表の手法、研究倫理について指導	グループワーク	テキスト通読 発表準備
3	テキスト第 1 章・第 2 章をもとに発表・フィードバック	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
4	テキスト第 3 章・第 4 章をもとに発表・フィードバック	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
5	テキスト第 5 章・第 6 章をもとに発表・フィードバック	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	テキスト第7章・第8章・第9章をもとに発表・フィードバック	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
7	テキストの総括、ブックレポートについて発表の進め方の指導	講義、講評 ディスカッション	相互フィードバック準備 リアクションペーパー
8	ブックレポート発表・フィードバック（1）	学生発表、 相互評価、講評	ブックレポート発表準備 リアクションペーパー
9	ブックレポート発表・フィードバック（2）	学生発表、 相互評価、講評	ブックレポート発表準備 リアクションペーパー
10	ブックレポート発表・フィードバック（3）	学生発表、 相互評価、講評	ブックレポート発表準備 リアクションペーパー
11	次年度ゼミナールに向けて興味・関心のある分野をディスカッションを通して考える	グループワーク、講評 ディスカッション	ブックリスト提出準備 リアクションペーパー
12	次年度ゼミナールに向けて・ブックリスト発表（1）	グループワーク、 講義、発表、講評	発表準備、ブックリスト リアクションペーパー
13	次年度ゼミナールに向けて・ブックリスト発表（2）	グループワーク、 講義、発表、講評	発表準備、ブックリスト リアクションペーパー
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	振り返り活動とまとめ	グループワーク、 発表、まとめ	振り返りと総括（レポートとして提出）

テキスト	新多 了『「英語の学び方」入門』（研究社）
参 考 書	石井一成『大学生のためのレポート・論文の書き方』（ナツメ社）

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	狩野　晶子
開講期	春	開講時限	水 5 限			研究室	4203
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-④, 5-②

キーワード	コミュニカティブな言語教育、言語習得、児童英語教育、アクティブラーニング
授業の概要	「言葉をおぼえる、言葉をならう、言葉を教えるとは」をテーマに、言葉の教育、習得、運用の観点から言葉と人との関わりを扱う。プレ・ゼミナールで学んだ基本的な知識をベースに、ゼミナール論文作成へつながる個人のテーマを決め、内容を絞り込み深めてゆき、ゼミナールⅡでの発表、論文作成に向け準備を整える。
達成目標（授業の目的）	各自の研究テーマについて研究調査の基本的な進め方を体得する。文献の探し方、引用の仕方、研究倫理を学び、資料を読み、理解し、内容について要旨をまとめる。発表を通じて効果的なプレゼンテーションのスキルを学ぶ。発表、ディスカッション、グループワークを通して自律的、主体的に学ぶ姿勢を養うことが授業の目的である。
到達目標（学修成果）	各自が興味関心のあるテーマについて文献を調べ、聞き手がその内容を理解し関心を共有できる発表と質疑応答を行う。発表者は担当箇所について十分に理解を深め、さらに他の文献・資料にもあたりレジュメを作成し発表準備を行う。聞く側は発表に基づいた的確な質問、コメントができるよう、聞く際のポイントを学び、実践する。発表の内容をもとにディスカッションを行う手法を学び、実践する。
評価方法	①授業時の活動への参加姿勢（30%）、②リアクションペーパー及びフィードバック（30%）、③プレゼンテーション（20%）、④期末課題（20%）
評価基準	①事前に必要な準備や下調べを行ったうえで授業に参加し、ディスカッション等に積極的に関わり、具体的かつ建設的な意見を出して討論への貢献ができる。 ②授業で得た知見をもとに意見や観点を、読み手を意識した的確な表現で文章化できる。 ③特定のテーマについて資料や文献を調べ、聞き手が内容を理解しやすい構成とヴィジュアル資料を作成し、興味・関心を共有できるように準備し発表し、質疑応答を行える。 ④ゼミナール論文の中間報告として、テーマに沿って調べた内容やテキストの要約を読み手を意識したわかりやすく的確な表現で文章化できる。さらに、発表等に活用することを念頭に置いて、所定の書式に沿った資料として作成できる。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	プレ・ゼミナール概観・総括 各自が興味のあるテーマを考える	グループワーク	プレ・ゼミナールテキスト復習、テーマ予備調査
2	各自が興味のあるテーマを調べ、深める 文献の探し方、研究倫理指導	講義、グループワーク 適宜図書館等を利用	テーマ探し、文献検索 ブックリスト作成
3	プレゼンテーションスキルの具体的指導	講義、実践指導 学生フィードバック	ポイント要約 発表準備
4	各自のテーマを深め、調べる	個別活動、面談 教員による個別指導	各自テーマを調べる

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	各自のテーマ・調べた内容について発表・フィードバック（1）	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
6	各自のテーマ・調べた内容について発表・フィードバック（2）	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
7	学生によるプレゼンテーション・フィードバック（1）	学生発表、質疑応答 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
8	学生によるプレゼンテーション・フィードバック（2）	学生発表、質疑応答 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
9	学生によるプレゼンテーション・フィードバック（3）	学生発表、質疑応答 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
10	学生によるプレゼンテーション・フィードバック（4）	学生発表、質疑応答 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
11	プレゼンテーションの反省 各自のテーマの方向性の検討	省察、相互評価、 ディスカッション	リアクションペーパー
12	テーマに沿ったブックリスト発表準備	ディスカッション、 グループワーク	ブックリスト更新版作成・発表準備
13	ブックリスト発表・相互フィードバック	学生発表、質疑応答 相互評価、講評	ブックリスト更新版の改定・発表準備・リアペ
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ゼミナールⅠの総括、各自の研究テーマについて方向性と内容の確認	省察、相互評価、 ディスカッション	テーマについてアウトライン作成

テキスト	指定なし。
参 考 書	1. 新多 了『「英語の学び方」入門』（研究社） 2. 小笠原 喜康『最新版 大学生のためのレポート・論文術』（講談社）

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	狩野　晶子
開講期	秋	開講時限	水 5 限			研究室	4203
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-④, 5-②

キーワード	コミュニカティブな言語教育、言語習得、児童英語教育、アクティブラーニング
授業の概要	「言葉をおぼえる、言葉をならう、言葉を教えるとは」をテーマに、プレゼミナールとゼミナールⅠで学んだ知識をベースに、各自が設定したテーマを調べ、発表の過程を通して内容をまとめ、卒業課題となるゼミナール論文を完成させる。研究内容を学術論文の体裁に従ってまとめる具体的方法と、研究倫理、効果的なプレゼンテーションのスキルを併せて学ぶ。
達成目標（授業の目的）	各自の研究テーマについて研究調査を進め、学術論文としての体裁を整えたゼミナール論文を作成する。そのゼミナール論文のアウトラインをゼミナール最終発表として、パワーポイントスライドショー形式で他のゼミナール生に向けて発表する。発表、ディスカッション、グループワークを通して自律的、主体的に学ぶ姿勢を養うことがこの授業の目的である。
到達目標（学修成果）	各自の研究テーマに沿って学びを深め、構成や書式などの基本的な規定を守ったうえで、他のゼミナール生が内容を理解し関心を共有できるようなゼミナール論文を書く。最終発表としてゼミナール論文の概要を短く適切にまとめ、ヴィジュアル資料を活用し、聞く者にわかりやすく発表する。他者の発表を聞き的確な質問、コメントをする力を養う。今後の進路に向け、自律的、主体的学習者としての意識を持ち、実践する。
評価方法	①授業時の活動への参加姿勢（20%）、②リアクションペーパー及びフィードバック（20%）、③プレゼンテーション（30%）、④ゼミナール論文（30%）。
評価基準	①事前に必要な準備や下調べを行ったうえで授業に参加し、ディスカッション等に積極的に関わり、具体的かつ建設的な意見を出して討論への貢献ができる。 ②授業で得た知見をもとに自らの意見や観点を、読み手を意識したわかりやすく的確な表現で文章化できる。 ③ゼミナール論文の内容について聞き手が理解しやすい構成とヴィジュアル資料を活用した準備と発表、質疑応答を行える。 ④ゼミナール論文として十分な文献や資料を調べ、所定の構成および書式に則った文章を作成できる。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	論文作成に向け進捗状況と課題点の確認	グループワーク 教員との個別相談	プレゼミナールテキスト復習 テーマアウトライン準備
2	論文作成に向け各自のテーマについてグループで協議、相互コメント	グループワーク ディスカッション	文献研究 テーマアウトライン準備
3	論文作成に向け各自のテーマに従って準備、研究倫理について確認と指導	個別活動 教員との個別相談	文献研究 テーマ概要発表準備
4	論文作成に向け各自のテーマの概要を発表、相互フィードバック（1）	学生発表、ディスカッション、講評	発表準備 リアクションペーパー

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	論文作成に向け各自のテーマの概要を発表、相互フィードバック（2）	学生発表、ディスカッション、講評	発表準備 リアクションペーパー
6	最終プレゼンテーション（論文報告）のための準備（1）	ディスカッション、 教員による個別指導	発表準備 リアクションペーパー
7	最終プレゼンテーション（論文報告）のための準備（2）	ディスカッション、 教員による個別指導	発表準備 リアクションペーパー
8	最終プレゼンテーション（論文報告）のための準備（3）	ディスカッション、 教員による個別指導	発表準備 リアクションペーパー
9	学生による最終プレゼンテーション・論文作成（1）	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
10	学生による最終プレゼンテーション・論文作成（2）	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
11	学生による最終プレゼンテーション・論文作成（3）	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
12	学生による最終プレゼンテーション・論文作成（4）	学生発表、 相互評価、講評	論文初校提出準備
13	論文初校提出：相互校正	相互校正、相互評価	論文初校修正、最終稿へ向け修正方針をまとめる
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ゼミナール論文を相互に読みあい講評と校正、ゼミナール総括	振り返り活動、ディスカッション	論文初校修正方針の確認、論文最終稿提出準備

テキスト	なし。プレゼミナール、ゼミナール I にて指定したテキストを継続使用。
参 考 書	1. 小笠原 喜康『最新版 大学生のためのレポート・論文術』（講談社） 2. 新多 了『「英語の学び方」入門』（研究社）

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	C. Oliver
開講期	秋	開講時限	水 2 限			研究室	4205
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-③

キーワード	multiculturalism, immigration, ethnicity, identity, vocabulary, presentation skills
授業の概要	In this course, students will read about and discuss various topics related to multiculturalism—such as immigration, ethnicity, discrimination, and cultural identity. While doing so, students will build up their English vocabulary, improve their ability to discuss complex cultural and social issues in English, and develop their basic research skills. Each student will do three presentations in English during the semester.
達成目標（授業の目的）	Students will learn about “multiculturalism” in various countries, improve their ability to understand and discuss social and cultural issues in English, and develop basic research and presentation skills.
到達目標（学修成果）	By the end of the semester, students should be able to: ・appropriately use key English vocabulary from readings related to social and cultural issues; ・summarize important information from readings about social and cultural issues; ・express one’s own views on multiculturalism-related issues in the world today; ・appropriately use information from books or other research sources; ・organize information from research into an outline for a presentation; ・deliver a short, well-organized presentation with good delivery.
評価方法	Participation (35%), Homework (35%), Presentations (30%).
評価基準	・Participation: active involvement in discussions and other everyday class activities, effort to regularly use English, appropriate use of vocabulary from readings, summarizing of information, expression of own views; ・Homework: completed thoroughly and according to instructions, submitted on time, appropriate use of vocabulary from readings, summarizing of information, expression of own views, appropriate use of information from research sources; ・Presentations: appropriate use of vocabulary, summarizing of information, expression of own views, organization (including “preview” in Introduction) of spoken presentation and printed outline, appropriate use of research sources, good delivery (including voice, eye contact, etc.).
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Orientation to the course. Perspectives on multiculturalism. Explanation of Mini Research Project.	explanation by teacher, small-group work	Read the course syllabus. Review handouts.
2	Mini-Research Project about one country. Presentation basics #1 (basic organization, delivery, visuals). Explanation of upcoming Presentation #1.	lecture, small-group discussion	Do light research, prepare homework.
3	Presentation #1 (half of students).	presentations, small-group discussion	Prepare presentation.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
4	Presentation #1 (other half of students).	presentations, small-group discussion	Prepare presentation.
5	Explanation of Presentation #2. Presentation basics #2 (“preview” of presentation content, etc.). Research basics / ethics (using sources, avoiding plagiarism).	lecture, small-group work, in-class writing	Review handouts distributed in class today; start preparing for Presentation #2.
6	Case study: reading and discussion.	small-group discussion, lecture	Read case study material. Prepare Fact Sheet (Canada / Australia).
7	Readings and discussion. Presentation #2: Settler-states (Canada, Australia, Brazil, Mexico).	small-group discussion, presentations	Prepare presentation. Read handout, write summary. Prepare Fact Sheet (Sweden / France).
8	Readings and discussion. Presentation #2: Europe zone (England, France, Sweden, Turkey). Explanation of Presentation #3.	small-group discussion, presentations	Prepare presentation. Read handout, write summary. Prepare Fact Sheet (Malaysia / Indonesia).
9	Readings and discussion. Presentation #2: Asian cases (Malaysia, Indonesia, India, Philippines).	small-group discussion, presentations	Prepare presentation. Read handout, write summary. Prepare Fact Sheet (Switzerland / South Africa).
10	Readings and discussion. Presentation #2: Other complicated cases (Switzerland, South Africa, Israel, Egypt).	small-group discussion, presentations	Prepare presentation. Read handout, write summary.
11	Preparation for Presentation #3.	individual guidance from teacher, in-class writing	Decide topic for presentation. Do research for presentation. Prepare outline.
12	Presentation #3: Topic and country decided by each student.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation and handout.
13	Presentation #3: Topic and country decided by each student.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation and handout.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Remaining presentations, if any. Recap of semester. Overview of Seminar I and Seminar II.	small-group work, in-class writing, lecture	Review materials studied to date.

テキスト	Handouts (mainly news articles) will be provided by the teacher. To prepare for presentations, students will find books or other materials to read.
参 考 書	A. Rattansi. *Multiculturalism: A Very Short Introduction* (Oxford University Press). *English Essentials: An Academic Skills Handbook* (Sophia University Junior College Division).
その他 特記事項	All work for this course is to be done in English. Homework must be submitted at the very beginning of class (if in the classroom) or before the start of class (if online).

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	C. Oliver
開講期	春	開講時限	水５限			研究室	4205
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-④

キーワード	multiculturalism, research skills, presentation
授業の概要	Building upon what students learned in the Pre-seminar, in this course students will investigate various key issues related to multiculturalism. These may include, for instance, illegal immigration, ethnic identity, religious intolerance, racism, language laws, and multicultural education. Through independent study and presentations during the semester, students will develop their research and academic presentation skills.
達成目標（授業の目的）	Students will learn to summarize, organize, present, and ask questions about information that they have found in books and other sources. They will also improve their ability to discuss their own study / career interests.
到達目標（学修成果）	By the end of the semester, students will be able to summarize both general and specific information about an issue and about that issue in a specific country; ask good questions to guide their own future study of an issue; prepare a well-organized outline for a presentation; do a well-organized 7-10 minute presentation with good delivery; discuss their own study / career interests in relation to specific universities / companies that they would like to enter.
評価方法	Participation (45%), Written work, including presentation handouts (20%), Presentations (35%).
評価基準	・Participation: active involvement in everyday discussions and other class activities; effort to regularly use English; shows improvement in ability to discuss study / career interests; ・Written work: completed thoroughly and according to instructions, submitted on time, summarizes both general and focused information, well organized, includes appropriate study questions; ・Presentations: appropriate topic, appropriate length, summarize both general and specific information, well organized (following outline and including a preview), include appropriate study questions, demonstrate good delivery (eye contact, voice, etc.).
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Orientation: perspectives on multiculturalism. Explanation of Presentations #1 and #2.	explanation by teacher, small-group discussion	Read syllabus carefully. Review presentation explanation.
2	Talking / writing about one's study / career interests (with follow-up in class 6). Review: research basics / ethics.	lecture, small-group discussion	Review class notes, begin preparing for presentation. Write presentation Topic Sheet.
3	Presentation #1. Topics: (1) Immigration and (2) Identity.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.
4	Presentation #1. Topics: (3) Religion and (4) Attitudes / Ideologies.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.
5	Presentation #1. Topics: (5) Policies / Laws and (6) Social Action and Organizations.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Asking good questions for research. Discussing one's study / career interests (follow-up from class 2). Explanation of Presentation #3.	lecture, small-group discussion, individual guidance from teacher	Review class notes, prepare written statement of study / career interests.
7	Presentation #2. Topics: (1) Immigration, (2) Identity, and (3) Religion.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.
8	Presentation #2. Topics: (4) Attitudes / Ideologies, (5) Policies / Laws, and (6) Social Action and Organizations.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.
9	Research basics / ethics: using information from sources (avoiding plagiarism). Discussion of research progress for Presentation #3.	lecture, small-group work	Review class notes. Write Reading Report (on material related to Presentation #3).
10	Presentation preparation. Discuss research progress for Presentation #3.	small-group discussion, individual guidance	Write presentation Topic Sheet. Write Reading Report (on material related to Pres. #3).
11	Presentation #3: Topic and country decided by each student.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation content, handout / outline.
12	Presentation #3: Topic and country decided by each student.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation content, handout / outline.
13	Presentation #3: Topic and country decided by each student.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation content, handout / outline.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Remaining presentations, if any. Recap of Spring semester. Planning for Fall semester (including Seminar II Research Project Topic sheet).	explanation by teacher, small-group discussion	Review class notes, handouts.

テキスト	None. To prepare for presentations, students will select their own materials to read.
参 考 書	A. Rattansi. *Multiculturalism: A Very Short Introduction* (Oxford University Press).
その他 特記事項	All work for this course is to be done in English. Homework must be submitted at the very beginning of class (if in classroom) or before the start of class (if online).

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	C. Oliver
開講期	秋	開講時限	水 5 限			研究室	4205
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-④

キーワード	multiculturalism, independent research project, presentation, report
授業の概要	In this course, each student will do an independent research project on a topic related to multiculturalism. For this, students will choose their own topic, think of their own research question, and find related books and other materials to read. In addition to two short presentations, each student will also do a longer final presentation and write a report about her research findings.
達成目標（授業の目的）	Students will develop their ability to do an independent research project and to discuss their study interests.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to: ・formulate a suitable question for an independent research project; ・conduct reading-based research focused on that research question; ・summarize key information related to the research topic; ・describe and analyze “data” related to the research topic; ・organize information in a manner suited to a research report; ・explain one’s study interests in relation to ideas and information learned from books or other materials.
評価方法	Participation (25%), Homework (25%), Presentations (25%), Report (25%).
評価基準	・Participation: active involvement in discussions and other everyday class activities, effort to regularly use English, effort to explain one’s study interests in relation to ideas and information learned from books or other materials; ・Homework: completed thoroughly and according to instructions, submitted on time, summarizes key information related to the research topic; ・Presentations and Report: suitability of research question; evidence of research focused on the research question; summarizing of information related to the research topic; description and analysis of “data” related to the research topic; organization of information.
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Overview of Fall semester. Discuss Research Project Topic prepared by each student. Explanation of presentation #1.	explanation by teacher, small-group discussion	Prepare “Research Project Topic” document in advance.
2	Talking / writing about one’s studies, school life, and future vision. Explanation of Presentation #2.	explanation by teacher, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare SOP worksheet.
3	Short presentation #1: your independent research topic.	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.
4	Short presentation #1: your independent research topic.	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	Short presentation #2: describing and analyzing “data.”	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.
6	Short presentation #2: describing and analyzing “data.”	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.
7	Short presentation #2: describing and analyzing “data.” Explanation of final presentation.	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.
8	Organizing your final Seminar report. Review research basics / ethics: avoiding plagiarism.	lecture, small-group work	Review handouts provided in class.
9	Writing an Introduction (including “thesis statement”) and Conclusion.	lecture, small-group work	Review handouts provided in class.
10	Prepare for final presentation, final Seminar report	individual guidance from teacher	Write draft of presentation outline.
11	Final presentation: your research findings	presentations, whole-class discussion	Prepare presentation, handout.
12	Final presentation: your research findings	presentations, whole-class discussion	Prepare presentation, handout.
13	Final presentation: your research findings	presentations, whole-class discussion	Prepare presentation, handout.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Remaining presentations, if any. Collection of Seminar report. Recap of semester.	small-group discussion, in-class writing	Finish writing final Seminar report.

テキスト	None. For their own independent research projects, students will choose their own books and other materials to read.
参 考 書	A. Rattansi. *Multiculturalism: A Very Short Introduction* (Oxford University Press).
その他 特記事項	All work for this course is to be done in English. Homework must be submitted at the very beginning of class (if in classroom) or before the start of class (if online).

<table>
<tr><td>科 目 名</td><td colspan="4">SES150:　プレ・ゼミナール</td><td>担当教員</td><td colspan="2">神谷　雅仁</td></tr>
<tr><td>開 講 期</td><td>秋</td><td>開講時限</td><td colspan="2">水 1 限</td><td>研 究 室</td><td colspan="2">4215</td></tr>
<tr><td>分 類</td><td>必修</td><td>単 位</td><td>2</td><td>標準受講年次 1 年</td><td>ｵﾌｨｽｱﾜｰ</td><td colspan="2">履修要覧 P.19 を参照のこと</td></tr>
<tr><td rowspan="2">DP 及び
学修成果</td><td>DP 分類</td><td colspan="4">DP（卒業認定・学位授与の方針）概要</td><td colspan="2">学修成果獲得の観点</td></tr>
<tr><td>4</td><td colspan="4">専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。</td><td colspan="2">4-③</td></tr>
<tr><td>キーワード</td><td colspan="7">英語力の向上、アカデミック・スキルズの鍛錬、言語学の学び、自己研究の基礎、研究倫理</td></tr>
<tr><td>授 業 の
概 要</td><td colspan="7">本講は言語学の分野に関する基礎的な知識の習得、英語力の向上、アカデミック・スキルズのトレーニングという 3 つの大きな柱から構成されている。学生たちは英語で書かれたテキストの担当チャプターをレジュメにまとめ、口頭発表をすることで言語学に関する諸々の基本的概念を理解する。同時に、英字新聞などの記事を題材にした言語活動を通し、英語力を高めていく。また、専門的な学びに不可欠な研究倫理や批判的思考についても触れる。</td></tr>
<tr><td>達成目標
（授業の目的）</td><td colspan="7">学生はチャプター・プレゼンテーションを通し、発表の仕方やレジュメの作り方、また発表後のディスカッションの仕方を学び、実践する。同時に英語で書かれたテキストを通し、専門的な内容を英語で読むということへの慣れができる。また英字新聞や雑誌の記事を使い、chunk-reading・chunk-writing、記事の和訳、英語での reaction 作成などの言語活動をする中で英語力の底上げも可能となる。そしてゼミナールⅠ、Ⅱで扱うことになる言語学の領域（社会言語学を含む）を概観することで、この分野の基礎をしっかりと固めることができる。</td></tr>
<tr><td>到達目標
（学修成果）</td><td colspan="7">学生たちはプレゼンテーションに向けた準備を通し、英語で書かれたテキストをまとめ、レジュメを作成することができるようになる。ディスカッションについても、オーディエンス（聞き手）として単なる意見交換をするのではなく、発表の内容をクリティカルにとらえ、自らの意見や見解を発表者にわかりやすく伝えられるようになる。英語学修に関しては、英語の文構造や語の配列を徹底的に学ぶことで、英語の読解力が向上する。最後に、チャプター・プレゼンテーションとチャプター・サマリーを通し、言語学の分野の全体像および個別の理論や考え方についての理解を深め、その後の自己研究へとつなげられるようになる。</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="7">・英語の課題（Article Note）：20%
・Vocabulary quiz（英語のボキャブラリー・クイズ、計 6~7 回）：20%
・Chapter presentation and discussion（口頭発表 & その後のディスカッション）：30%
・Chapter summary（指定されたチャプターの要約）：10%
・Term paper（学期末リポート）：20%</td></tr>
<tr><td>評価基準</td><td colspan="7">・英語の課題：英語で書かれた新聞や雑誌等の記事を題材に、読む、書く、和訳、ボキャビルの総合的言語学修が毎週課せられ、十分な量と回数が実行できたかどうかが問われる。
・Vocabulary quiz：TOEIC Test 用の頻出 vocabulary 学修が日々課せられるが、毎回の quiz で 100~150 語程度の語句の理解、定着がチェックされる。
・Chapter presentation and discussion：自らが担当するチャプターの内容が、適切な構成のもと、見やすいかたちでレジュメにまとめられているか、また大学レベルにふさわしい口頭発表の様式を取っているかが問われる。主な評価点としては概念や理論を含めた用語の定義が言語例とともに説明されているか、レジュメの基本的な構成・書き方に沿っているか、著者による見解と自分の考えが明確に区別されているか、参考文献リストがあるかどうか等である。同時に audience からの質問に的確に答えているかも問われる。
・Chapter summary：発表者以外は全員その週の発表チャプターを読み、そのサマリーを提出することが課せられる。提出回数およびセクションごとのサマリー、および指定された exercise の解答の出来によって評価される。
・Term paper（学期末リポート）：自らが Chapter presentation で扱ったテーマについて、さらに文献を読み、より深く、広いスコープでレポートに仕上げられているかが問われる。</td></tr>
<tr><td>課題等に
対する
フィード
バック方法</td><td colspan="7">・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
・口頭で行う／orally
・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers</td></tr>
<tr><td>準備学修
の時間</td><td colspan="7">本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。</td></tr>
</table>

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview 授業を概観する：目標・課題の確認	Lecture, discussion	Read the first section of the textbook
2	On Pre-seminar: Introduction (talking about learning academic skills) 研究倫理について Vocab. Quiz 1	Lecture, discussion, group work, doing exercises	Review the handout, start the assignments
3	Introduction to Linguistics 言語学という学問分野の全体像、Vocab. Quiz 1	Students' presentation, discussion, feedback	Study the first resume, vocabulary
4	What is Linguistics? 言語学とは	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 1): read and write a summary
5	How English Has Changed over the Centuries <History of English>　英語の歴史	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 2): read and write a summary,
6	The Sounds of English <Phonetics and Phonology>言語音　Vocab. Quiz 2	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 9): read and write a summary, vocabulary
7	How Words Are Made <Morphology>　語形成	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 3): read and write a summary
8	How Words Mean <Semantics 1>　語の意味 Vocab. Quiz 3	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 4): read and write a summary, vocabulary
9	How English Phrases Are Formed <Syntax 1> 句構造・文構造	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 5): read and write a summary
10	How to Communicate with Other People <Pragmatics> 発話の意味　Vocab. Quiz 4	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 8): read and write a summary, vocabulary
11	Regional Varieties of English <Sociolinguistics 1> 地域方言	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 10): read and write a summary
12	English in Society <Sociolinguistics 2> 社会方言　Vocab. Quiz 5	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 11): read and write a summary, vocabulary
13	How Englsih is Acquired <Psycholinguistics> 言語習得	Students' presentation, discussion, feedback	Textbook (chapter 12): read and write a summary
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Course review　まとめ Vocab. Quiz 6（解説含む）	Lecture and discussion	Review of the textbook, vocabulary

テキスト	影山太郎、ブレント・デ・シェン、日比谷潤子（著）『First Steps in English Linguistics』（くろしお出版）
参 考 書	長谷川瑞穂（編著）『はじめての英語学』（研究社） 飯野公一ほか（著）『新世代の言語学』（くろしお出版）
その他 特記事項	「言語学概論」の科目を履修済み、あるいは同時履修が望ましい。

<table>
<tr><td>科 目 名</td><td colspan="4">SES200:　ゼミナール I</td><td>担当教員</td><td colspan="2">神谷　雅仁</td></tr>
<tr><td>開 講 期</td><td>春</td><td>開講時限</td><td colspan="2">水 4 限</td><td>研 究 室</td><td colspan="2">4215</td></tr>
<tr><td>分 類</td><td>必修</td><td>単 位</td><td>2</td><td>標準受講年次 2 年</td><td>ｵﾌｨｽｱﾜｰ</td><td colspan="2">履修要覧 P.19 を参照のこと</td></tr>
<tr><td rowspan="2">DP 及び
学修成果</td><td>DP 分類</td><td colspan="4">DP（卒業認定・学位授与の方針）概要</td><td colspan="2">学修成果獲得の観点</td></tr>
<tr><td>4</td><td colspan="4">専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。</td><td colspan="2">4-④</td></tr>
<tr><td>キーワード</td><td colspan="7">社会言語学、言語変種、アカデミック・スキルズの鍛錬・強化、批判的考察、研究倫理</td></tr>
<tr><td>授 業 の
概 要</td><td colspan="7">学生は社会言語学という専門分野の内容を題材に、専門書を英語で読む、自己研究テーマに沿って発表をする、様々な言語事象についてディスカッションをする、専門分野に関するレポートを作成するなどのアカデミック・スキルズ修練のための活動をおこなう。学期前半は社会言語学に関する指定テキスト（洋書）を輪読しながら、多言語社会や言語政策、また言語のバリエーション等のテーマについて学び、後半は前半で学んだ内容の中から各自がテーマをひとつ選択し、そのテーマに沿って文献を調べ、まとめ、そして発表を行う。</td></tr>
<tr><td>達成目標
（授業の目的）</td><td colspan="7">学生は計 2 回の発表を通し、言語とその使用に関するテーマについて広く深く学ぶと同時に、分析的・批判的に物事を考察することができるようになる。そして自分が理解した内容や得た知識を相手に分かりやすく伝えることができるようになる。また社会言語学的な視点から自分たちの母語や学習言語についての理解を深め、最終的には自己研究へ向けたテーマ設定や問題提起ができるようになる。</td></tr>
<tr><td>到達目標
（学修成果）</td><td colspan="7">学生は発表を通して意見の整理の仕方、レジュメの作成、効果的な発表の方法、先行文献の使い方、発表後のディスカッションや質疑応答の進め方などについて学び、それらを的確に実践できるようになる。また言語を社会的な視点から考察し、それを自らの生活や経験という文脈の中で捉えられるようになる。さらに学期末レポートを作成する中で、先行研究の重要性や自らの意見・主張の大切さ、文献を批判的に読む力、文献リストの書き方などを学び、それらの観点をレポート作成に活かせるようになる。</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="7">・発表 1（Textbook Sociolinguistics by B. Spolsky のチャプター・プレゼンテーション）：20%
・発表 2（自己研究テーマ）：20%
・授業参加・提出物（Post-presentation discussion, chapter summary）：15%
・学期末レポート（Term paper）：25%
・Article Note：20%</td></tr>
<tr><td>評価基準</td><td colspan="7">・発表 1, 2 では、発表の進め方、レジュメの書き方、先行研究の扱い、文献の示し方、そしてディスカッション時の質問に対する受け答えの適切さなどが評価される。
・授業参加は発表後のディスカッション時に、オーディエンスとして発表者にどのようなフィードバックを返すことができるかに着目し、特に分析的、批判的な視点をともなうフィードバックには高い評価が与えられる。発言の回数と発言内容が問われる。提出物とは毎回の chapter summary（学期前半のみ）を指し、期限内に提出できたかどうかが問われる。
・学期末レポート（Term paper）は自己研究テーマについて第二回目の発表内容をもとに、それを自らの論点や問題提起を含めたレポートの体裁にまとめ、提出期限内に提出できたかどうかが評価される。
・Article Note は各エントリーに必要な言語活動がすべて含まれており、設定された回数のエントリー数が達成できている状態で提出期限内に提出できたかどうかが評価される。</td></tr>
<tr><td>課題等に
対する
フィード
バック方法</td><td colspan="7">・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
・口頭で行う／orally
・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers</td></tr>
<tr><td>準備学修
の時間</td><td colspan="7">本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。</td></tr>
</table>

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview　研究倫理について	講義、ディスカッション	Read Preface in the textbook
2	Chapter presentation: 1. The social study of … グループ発表およびディスカッション	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備およびチャプターサマリーの作成、Article Note
3	Chapter presentation: 2. The ethnography of … グループ発表およびディスカッション	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備およびチャプターサマリーの作成、Article Note
4	Chapter presentation: 3. Locating variation … グループ発表およびディスカッション	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備およびチャプターサマリーの作成、Article Note
5	Chapter presentation: 4. Styles, gender, … グループ発表およびディスカッション	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備およびチャプターサマリーの作成、Article Note
6	Chapter presentation: 5. Bilingualism グループ発表およびディスカッション	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備およびチャプターサマリーの作成、Article Note
7	Chapter presentation: 6. Societal multilingualism グループ発表およびディスカッション	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備およびチャプターサマリーの作成、Article Note
8	Chapter presentation: 7. Applied sociolinguistics グループ発表およびディスカッション	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備およびチャプターサマリーの作成、Article Note
9	自己研究テーマに関する個人発表およびディスカッション Group 1	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備および発表内容の復習、Article Note
10	自己研究テーマに関する個人発表およびディスカッション Group 2	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備および発表内容の復習、Article Note
11	自己研究テーマに関する個人発表およびディスカッション Group 3	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備および発表内容の復習、Article Note
12	自己研究テーマに関する個人発表およびディスカッション Group 4	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備および発表内容の復習、Article Note
13	自己研究テーマに関する個人発表およびディスカッション Group 5	発表、ディスカッション、教員コメント	発表準備および発表内容の復習、Article Note
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Course Review まとめ	講義、ディスカッション	2 回のプレゼンテーションで使用したレジュメの見直し

テキスト	Spolsky, B. *Sociolinguistics* (Oxford U.P.). 学生の作成した発表レジュメ
参 考 書	東照二『社会言語学入門』（研究社） 田中春美・田中幸子『よくわかる社会言語学』（ミネルヴァ書房）

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	神谷　雅仁
開講期	秋	開講時限	水４限			研究室	4215
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	ゼミナール論文、社会言語学、論文のテーマ設定、問題提起と仮説、批判的思考、研究倫理
授業の概要	学生はゼミナールⅠで専門的な学びに必要なアカデミック・スキルズをしっかりと学んだ後、本講において自らの学問的興味に従って、論文の作成に向けテーマの絞り込みをしていく。そして学期中に2回の中間発表と1回の最終発表を行い、自らの研究成果をまとめ、論文のかたちで提出する。毎回の授業は3名の学生の個人発表とディスカッションで構成され、最後にひとり一人に対し、担当教員よりフィードバックがなされる。
達成目標（授業の目的）	本講では学びの集大成としてゼミナール論文の作成を課しているが、学生たちは自らの自己研究に必要な様々な知識を、専門書の理解を通じて修得していく。同時に発表の仕方、レジュメの作成、ディスカッション時のポイントなどについても、引き続き実践を通して研鑽していく。
到達目標（学修成果）	本講を通して学生はゼミナール論文作成という大きな目標を掲げ、それを達成するため計画的にそして確実に必要な作業を進めていくことができるようになる。具体的には先行研究の収集、論文構成の決定（仮説やデータ収集法）、実際のデータ収集と分析、そして実際の執筆作業など論文完成までの長い工程の中をひとつずつ着実にステップを踏みながら、最終的に自らの計画した目標を達成することができるようになる。同時にゼミナール論文の作成や発表の機会を通し、自らのテーマ設定の仕方や先行研究の重要性について学ぶ一方で、既存の主張や考え方、また理論に対する批判的な視点も養われていく。
評価方法	・ゼミナール論文：50% ・個人発表（2回）およびディスカッション：30% ・授業参加：20%
評価基準	・ゼミナール論文：提出された論文が、全体の構成を含めひとつの論文として成り立っているかどうかを、総合的に評価する。授業内で学んだことが活かされたかたちで論文が完成されている必要がある。 ・個人発表：自らの研究内容を口頭、そしてレジュメを用いてわかりやすく説明しているかが問われる。ディスカッション：発表した内容に関して質問された際、明確に、過不足なく回答しているかが問われる。 ・授業参加：聴衆（オーディエンス）として発表者の発表に対してコメントや質問を含めたフィードバックを返しているかどうか、またそのフィードバックの内容が発表者に対して建設的であり、示唆を与えるものであり、そして批判的であるかどうかが問われる。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview ゼミナール論文について、研究倫理について、「論文の基本構成」提出	講義、ディスカッション、SAMPLE 提示	ゼミナール論文のテーマ決め、「論文の基本構成」準備
2	第 1 回プレゼンテーション Group 1（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
3	第 1 回プレゼンテーション Group 2（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
4	第 1 回プレゼンテーション Group 3（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
5	第 1 回プレゼンテーション Group 4（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
6	第 1 回プレゼンテーション Group 5（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
7	第 1 回プレゼンテーション Group 6（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
8	第 1 回プレゼンテーション Group 7（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
9	第 2 回プレゼンテーション Group 1（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
10	第 2 回プレゼンテーション Group 2（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
11	第 2 回プレゼンテーション Group 3（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
12	第 2 回プレゼンテーション Group 4（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
13	第 2 回プレゼンテーション Group 5（自己研究テーマに関する発表および質疑応答）	発表、ディスカッション、補足説明	発表者は発表の準備、その他の者は自己研究を進める
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ゼミナール論文の最終発表 Course review まとめ	発表、ディスカッション	発表の準備、PowerPoint 資料の作成

テキスト	テキストは使用せず。各回の発表者が配布する発表用レジュメ、および教員の準備する論文作成に関する資料を使用する。
参 考 書	浜田麻里他『大学生と留学生のための論文ワークブック』（くろしお出版） 東照二『社会言語学入門』（研究社）

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	杉村　美佳
開講期	秋	開講時限	水 2 限			研究室	4220
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-③

キーワード	国際教育学研究、国際教育協力、開発教育、参加型学習の歴史と現状、総合学習
授業の概要	途上国への国際教育協力の状況を検討した上で、先進国における参加型学習の歴史や現状を理解し、途上国の問題解決に参加できる能力と態度を養う教育のあり方を考察する。前半はテキストに基づいてグループ研究発表を行い、国際教育学研究の基礎理論を学ぶ。後半では英文原書の講読を進め、途上国の女子教育について理解を深めるとともに、 2 年生のゼミ論文の発表に参加し、論文の書き方を学ぶ。
達成目標（授業の目的）	国際教育協力や開発教育のあり方、参加型学習の歴史や現状を理解するとともに、教育学の英文原書を読む力を身につける。さらに国際的視点から日本の教育政策や教育実践などの方向性を探ることを通して、国際教育学研究の基礎的な理論と方法論を習得する。
到達目標（学修成果）	①国際教育協力や開発教育のあり方、参加型学習の歴史や現状に関する知識を習得し、国際的視点から教育事象を論理的、批判的に分析し、考察することができる。 ②テキストの内容を整理してレジュメを作成し、相手に効果的に伝わる発表や議論をすることができる。 ③英文講読を通して教育学の専門用語を学び、途上国の女子教育の現状と課題について理解し、教育学の英文原書を読む力を身につける。
評価方法	①討論への参画（10%）、②テキスト発表（30%）、③英文講読（20%）、④リアクションペーパー（30%）、⑤ブックレポート（10%）
評価基準	①討論への参画：研究発表や論点に対し、課題を論理的、批判的に討議できているか。 ②テキスト発表：テキストの内容を的確に整理してレジュメを作成し、効果的な発表を行っているか。討論の論点を提示しているか。 ③英文講読：英文原書の内容を的確に把握し、途上国の女子教育の現状と課題を理解できているか。 ④リアクションペーパー：論題について授業内容をふまえ論理的に考察できているか。 ⑤ブックレポート：内容を的確に要約し、国際教育学の視点から意見を論理的、批判的に論述できているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	国際教育学の理論と研究倫理	講義・ディスカッション	テキスト序章の講読 発表・ディスカッションの準備
2	援助と開発の歴史	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 1 章の要約 発表・ディスカッションの準備
3	開発プロジェクトのタイプ	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 3 章の要約 発表・ディスカッションの準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
4	参加型開発とは	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 4 章の要約 発表・ディスカッションの準備
5	日本の NGO と参加型開発	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 5 章の要約 発表・ディスカッションの準備
6	日本の開発教育	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 6 章の要約 発表・ディスカッションの準備
7	開発教育ワークショップ	ワークショップ・解説・リアクションペーパー	配布資料の講読 発表・ディスカッションの準備
8	総合学習と ESD	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 7 章の要約 発表・ディスカッションの準備
9	参加型学習の歴史的系譜	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 8 章の要約 発表・ディスカッションの準備
10	これからの国際協力と開発教育	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト終章の要約 発表の準備
11	*Women's Education in Developing Countries* の講読（1）	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト pp.1-3 の翻訳 発表の準備
12	*Women's Education in Developing Countries* の講読（2）	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト pp.4-6 の翻訳 発表の準備
13	*Women's Education in Developing Countries* の講読（3）	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト pp.7-10 の翻訳 発表の準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ゼミ論文構想発表	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	発表の準備 リアクションペーパーの作成

テキスト	田中治彦『国際協力と開発教育―「援助」の近未来を探る』（明石書店） King, Elizabeth M. *Women's Education in Developing Countries* (World Bank).
参 考 書	小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』（講談社現代新書） 菅野琴・西村幹子・長岡智寿子編著『ジェンダーと国際教育開発 ―課題と挑戦―』（福村出版）
その他 特記事項	発表の 1 週間前までに教員にレジュメを提出し、指導を受けること。 ゼミ生には討議への活発な参加を求める。

科 目 名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	杉村　美佳
開 講 期	春	開講時限	水４限			研 究 室	4220
分 類	必修	単 位	2	標準受講年次	2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	国際教育学研究、国際教育協力、開発教育、参加型学習の歴史と現状、総合学習
授業の概要	開発教育の理念と歴史、地球的課題と開発教育、今後の開発教育の展開について専門的に学ぶ。具体的には、日英テキストの講読を通して、SDGs、国際協力、環境、多文化共生、子どもの権利、ジェンダーなどをテーマとした開発教育の方法やカリキュラムのあり方を考察する。また、実際に開発教育ワークショップに参加し、開発教育の実践に必要な知識や技術を習得する。最後に各自自由にゼミ論文のテーマを設定し、構想発表を行う。
達成目標（授業の目的）	国際協力、環境、多文化共生、子どもの権利、ジェンダーなどの地球的諸課題について理解を深めた上で、これらをテーマとした開発教育の実践に必要な技術を習得する。またゼミ論文のテーマを設定して文献を収集し、論点を整理して論文の構想を練り上げる力を習得する。
到達目標（学修成果）	①国際協力、環境、多文化共生、子どもの権利、ジェンダーなどの地球的諸課題について、教育を通して問題を解決するための方法を考察することができる。 ②開発教育のワークショップへの参加を通して実践に必要な知識や技術を習得する。 ③ゼミ論文のテーマを設定して先行研究を整理し、研究課題や研究方法などの構想を適切にまとめることができる。
評価方法	①討論への参画（20%）、②テキスト発表（30%）、③ゼミ論文の構想発表（20%）、④リアクション・ペーパー（20%）、⑤ブックレポート（10%）
評価基準	①討論への参画：研究発表や論点に対し、課題を論理的、批判的に討議できているか。 ②テキスト発表：テキストの内容を的確に整理して考察を加えたレジュメを作成し、効果的な発表を行っているか。英文原書の内容を的確に理解できているか。 ③ゼミ論文の構想発表：ゼミ論文のテーマを適切に設定して先行研究を整理し、研究課題や方法などの構想を論理的にまとめているか。 ④リアクションペーパー：論題について発表内容をふまえて論理的に考察できているか。 ⑤ブックレポート：文献を適切に要約して論点を整理し、意見を論理的に述べているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	開発教育の内容・方法・カリキュラムと研究倫理	講義・ディスカッション・リアクションペーパー	テキスト第 2 章の要約 発表・ディスカッションの準備
2	MDGs から SDGs へ	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 4 章の要約 発表・ディスカッションの準備
3	環境問題と ESD	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 6 章の要約 発表・ディスカッションの準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
4	国際協力	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 7 章の要約 発表・ディスカッションの準備
5	貧困と格差	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 8 章の要約 発表・ディスカッションの準備
6	紛争と平和	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 10 章の要約 発表・ディスカッションの準備
7	子どもの権利条約	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 12 章の要約 発表・ディスカッションの準備
8	開発教育ワークショップ	ワークショップ リアクションペーパー	配布資料の講読 発表・ディスカッションの準備
9	ジェンダーと開発	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 13 章の要約 発表・ディスカッションの準備
10	人の移動と多文化共生社会	発表・ディスカッション・解説・リアクションペーパー	テキスト第 14 章の要約 発表の準備
11	ゼミ論文構想発表（1）、*Women's Education in Developing Countries* の講読（1）	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	テキスト pp.285-287 の翻訳 発表の準備
12	ゼミ論文構想発表（2）、*Women's Education in Developing Countries* の講読（2）	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	テキスト pp.291-293 の翻訳 発表の準備
13	ゼミ論文構想発表（3）、*Women's Education in Developing Countries* の講読（3）	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	テキスト pp.294-296 の翻訳 発表の準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ゼミ論文構想発表（4）、*Women's Education in Developing Countries* の講読（4）	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	テキスト pp.297-300 の翻訳 発表の準備

テキスト	田中治彦『SDGs と開発教育』（学文社） King, Elizabeth M. *Women's Education in Developing Countries* (World Bank).
参 考 書	田中治彦・杉村美紀編『多文化共生社会における ESD・市民教育』（上智大学出版） 小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』（講談社現代新書）
その他 特記事項	発表の 1 週間前までに教員にレジュメを提出し、指導を受けること。 ゼミ生には討議への活発な参加を求める。

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	杉村　美佳
開講期	秋	開講時限	水４限			研究室	4220
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	先行研究の検討、研究課題・研究方法の設定、文献研究・調査、ゼミ論文の作成、発表
授業の概要	プレ・ゼミナールおよびゼミナールⅠで学んだ国際教育学研究の基礎的な理論と手法を用いて実際にゼミナール論文を作成する。毎回発表者が研究成果を報告し、ゼミ生全員で課題を討議する。また、開発教育のワークショップを実践する。
達成目標（授業の目的）	国際教育学研究の基礎的な理論と研究手法を用いて教育事象を論理的、批判的に考察し、ゼミナール論文を作成、完成させることを目標とする。また、研究成果の報告ではお互いの課題を見出して討議し、効果的に発表する力を培う。さらに開発教育の実践を通して基礎的な指導技術を修得する。
到達目標（学修成果）	①先行研究の検討、研究課題の設定、文献研究や各種調査などを通して論文作成に必要な知識、技法を修得し、研究論文の形に仕上げることができる。 ②研究内容を論理的に論述し、独自の考察を加え、説得力のある発表ができる。 ③毎回発表者が研究成果を報告し、ゼミ生全員で課題を討議することを通して、教育事象を論理的、批判的に分析し、考察できるようになる。 ④開発教育の実践を通して基礎的な指導技術を修得する。
評価方法	①討論への参画（10%）、②リアクションペーパー（20%）、③研究発表（30%）、④ゼミ論文（40%）
評価基準	①討論への参画：研究発表に対し、課題を論理的、批判的に討議できているか。 ②リアクションペーパー：論題について発表内容をふまえて論理的に考察できているか。 ③研究発表：研究内容を論理的に論述、考察し、説得力のある発表になっているか。 ④ゼミ論文：先行研究の検討、研究課題の設定、研究方法、内容が論文の技法に即していて適切であるか。書式や提出期限を守っているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ゼミ論文の書き方、研究倫理	発表・解説・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 ディスカッションの準備
2	ゼミ論文中間発表と討論（1）	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 ディスカッションの準備
3	ゼミ論文中間発表と討論（2）	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 ディスカッションの準備
4	ゼミ論文中間発表と討論（3）	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 ディスカッションの準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	ゼミ論文中間発表と討論（4）	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 ディスカッションの準備
6	ゼミ論文中間発表と討論（5）	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 ディスカッションの準備
7	開発教育ワークショップの準備	ディスカッション・相互評価・講評	解説の要約、教材の準備
8	開発教育ワークショップの実践	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	教材の準備、論文の作成
9	ゼミ論文発表と討論（1）	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 ディスカッションの準備
10	ゼミ論文発表と討論（2）	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 ディスカッションの準備
11	ゼミ論文発表と討論（3）	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 ディスカッションの準備
12	ゼミ論文発表と討論（4）	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 ディスカッションの準備
13	ゼミ論文発表と討論（5）	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 ディスカッションの準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ゼミ論文発表会	発表・ディスカッション・リアクションペーパー	発表の準備、スライドの作成

テキスト	特になし。適宜、プレ・ゼミナールおよびゼミナールⅠで使用したテキストを参照する。
参 考 書	小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』（講談社現代新書） 「杉村ゼミ論文集」
その他 特記事項	ゼミ生には討議への活発な参加を求める。発表の1週間前までに原稿を教員に提出し、添削を受けること。

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	小林　宏子
開講期	秋	開講時限	水 1 限			研究室	4204
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-③

キーワード	マザー・テレサ、キリスト教、信仰、祈り、愛、奉仕、召命、奉献、隣人愛の実践、救い
授業の概要	テキスト講読を通して、マザー・テレサの言葉や活動の源泉にある神への信仰と愛について学び、キリスト教信仰が目指す神とのかかわり方、人とのかかわり方、この世とのかかわり方を考察する。また、学生同士、そして教員との意見交換を通して、現代社会の人々が抱える人間関係、社会制度の問題を考察し、各自が個人的に研究するためのテーマを見出す。
達成目標（授業の目的）	カトリック教会が 20 世紀の聖女として尊敬するマザー・テレサの信仰と活動に関する学びを通して、貧困や格差、紛争や暴動、病気や障害、孤独や差別など世界が抱える苦しみと向き合う時のキリスト教的視点や態度を学ぶ。すぐには解決できない深刻な問題に対して、忍耐強く愛の奉仕に献身する力の源泉はどのような信仰の確信に因るものなのかを考察する。現代社会が抱える諸問題の中から、各自の研究課題を定めて参考となる文献を探す。
到達目標（学修成果）	①マザー・テレサの生涯とその活動を根底で支えたキリスト教信仰に関する基礎的な知識を得ることができる。 ②人間の宗教的次元を開花させるために不可欠となる内面的成熟の諸要素を意識化し、社会で起こる人間の問題を、自分とのかかわりの中で考察する視点を持つことができる。 ③各自の研究テーマに即した参考書を選び、その内容を要約し、キリスト教的視点からの考察を加えた上で自分自身の見解を論理的に展開してまとめ、口頭発表することができる。
評価方法	①夏休みの課題の発表（10%）とテキスト講読のための分担箇所についての発表（10%） ②事前課題の提出（3%×10 回＝30%）と話し合いへの積極的参加（1%×14 回=14%） ③期末ブックレポート（26%）と発表（10%）
評価基準	①発表内容を分かりやすくまとめ、レジュメ等の資料を作成した上で口頭発表ができること。 ②課題として指示されたテキストの内容を的確に理解した上で、授業での話し合いに備えて自分の見解を論理的に記述できること、また、話し合いが活発に進むよう積極的に発言し意見交換に貢献すること。 ③各自の研究テーマに沿った参考書の内容を的確に要約し、自分の見解を論理的に記述した上で、提示資料を用いて分かりやすく口頭発表できること。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション、夏休み課題の発表、研究倫理	講義、発表、意見交換、DVD 視聴	夏季休暇中の課題発表の準備
2	マザー・テレサの生涯（1） 少女期	講義、意見交換	テキスト①はじめに～p.31 を読み意見をまとめる
3	マザー・テレサの生涯（2） 召命と修道生活	講義、意見交換	テキスト①pp.31～58 を読み意見をまとめる
4	神の愛の宣教者会の創立	講義、意見交換	テキスト①pp.60～95 を読み意見をまとめる

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	神の愛の宣教者会の活動	講義、意見交換	テキスト①pp.96～130 を読み意見をまとめる
6	マザー・テレサの生き方の源泉	講義、意見交換	テキスト①pp.132～173 を読み意見をまとめる
7	マザー・テレサの真実	講義、意見交換	テキスト①pp.176～219 を読み意見をまとめる
8	マザー・テレサと共に（1） 祈り、聞く	講義、意見交換	テキスト②はじめに～p.26 を読み意見をまとめる
9	マザー・テレサと共に（2） 話す、見る	講義、意見交換	テキスト②pp.27～46 を読み意見をまとめる
10	マザー・テレサと共に（3） ほほ笑む、泣く	講義、意見交換	テキスト②pp.47～66 を読み意見をまとめる
11	マザー・テレサと共に（4） 呼吸する、食べる	講義、意見交換	テキスト②pp.67～86 を読み意見をまとめる
12	学生発表（1）	発表、意見交換、講評	個人研究に関する発表準備
13	学生発表（2）	発表、意見交換、講評	個人研究に関する発表準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	学生発表（3）	発表、意見交換、講評	個人研究に関する発表準備

テキスト	①和田町子『マザーテレサ』（清水書院） ②片柳弘史『祈るように生きる　マザー・テレサと共に』（ドン・ボスコ社）
参 考 書	ルシンダ・ヴァーディ編・猪熊弘子訳『マザー・テレサ語る』（早川書房） 川下勝『アッシジのフランチェスコ』（清水書院）

科 目 名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	小林　宏子
開 講 期	春	開講時限	水４限			研 究 室	4204
分　　類	必修	単　　位	2	標準受講年次	2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	キリスト教人間観、解放者イエス、救い、福音、罪、汚れ、聖性、神の似姿、聖母マリア
授業の概要	福音書に登場する女性たちとイエスとの出会いに注目し、当時の社会において女性たちが背負っていた制度的・宗教的な差別と抑圧からイエスがどのように解放したのかを考察し、現代社会の中で生きる女性たちが直面する問題や苦しみと関連づけながら、その原因や構造について学び、各自の個人研究の考察を深める。
達成目標（授業の目的）	「神の似姿」として創造された女性という視点でキリスト教ヒューマニズムの理解を深める。当時の社会通念に囚われることのないイエスとの出会いがもたらした、女性本来の姿とはどのようなものであるかを知り、現代社会が抱える課題を見つける視点を得る。
到達目標（学修成果）	・テキスト及び聖書箇所の考察を通して、自分の意見をまとめ、発表する力をつける。 ・聖書の時代特有の問題と現代社会にも共通する課題とを見出し、女性が直面する課題について考察する力をつける。話し合いの司会を交替で担当する。 ・個人研究に必要な文献を探して読解し、理解した内容を的確にまとめ、自分の見解を論理的に記述し、口頭表現する力をつける。
評価方法	①春休み課題及び事前課題（5%＋3%×10 回＝35%） ②テキスト担当箇所の発表（10%×2 回＝20%）、意見交換時の積極性（1%×14 回=14%） ③期末ブックレポート（20%）と発表（11%）
評価基準	①課題として指示されたテキストの内容を的確に理解した上で、授業での話し合いに備えて自分の見解を、論理的に記述できること。 ②発表の担当者はレジュメを作成し、主題に添った発展的質問を準備するなど、話し合いをリードすること。また、質問されたことに答えられること。担当者以外の学生は準備学修でまとめた意見を積極的に発表し、意見交換に貢献すること。 ③各自の研究テーマに沿った参考文献の内容を的確に要約し、自分の見解を論理的に記述したブックレポートを 3 冊分作成し、分かりやすく口頭発表できること。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション、研究倫理 イエス・キリストの人間観	講義、意見交換	春休みの課題の発表準備
2	神の母聖マリア、ご訪問のマリア 死刑囚の母・聖マリア	講義、意見交換	テキスト①pp.1～14, 56-66, 110～116 を読み意見をまとめる
3	シモン・ペトロの姑、出血症の女 サマリアの女	講義、意見交換	テキスト①pp.15～37 を読み意見をまとめる
4	姦通罪を犯した女 罪の女と仕える女たち	講義、意見交換	テキスト①pp.38～55 を読み意見をまとめる

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	マルタとマリア	講義、意見交換	テキスト①pp.65～79 を読み意見をまとめる
6	カナンの女、貧しいやもめ 女預言者アンナ	講義、意見交換	テキスト①pp.80～102 を読み意見をまとめる
7	ベタニアのマリア マグダラのマリア	講義、意見交換	テキスト①pp.103～109, 117～120 を読み意見をまとめる
8	マザー・テレサと共に（1） 歩く、着る	講義、意見交換	テキスト②pp.87～106 を読み意見をまとめる
9	マザー・テレサと共に（2） 持つ、掃除する	講義、意見交換	テキスト②pp.107～126 を読み意見をまとめる
10	マザー・テレサと共に（3） 育てる、働く	講義、意見交換	テキスト②pp.127～146 を読み意見をまとめる
11	マザー・テレサと共に（4） 休む、生活のすべてを祈りに	講義、意見交換	テキスト②pp.147～166 を読み意見をまとめる
12	学生発表（1）	発表、意見交換、講評	個人研究に関する発表準備
13	学生発表（2）	発表、意見交換、講評	個人研究に関する発表準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	学生発表（3）	発表、意見交換、講評	個人研究に関する発表準備

テキスト	①英　隆一郎『イエスに出会った女性たち』（女子パウロ会） ②片柳弘史『祈るように生きる　マザー・テレサと共に』（ドン・ボスコ社）
参 考 書	教皇フランシスコ『使徒的勧告　愛のよろこび』（カトリック中央協議会） 岸見一郎・古賀史健『嫌われる勇気』（ダイアモンド社）

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	小林　宏子
開講期	秋	開講時限	水 5 限			研究室	4204
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	キリスト教ヒューマニズム、人間の尊厳、人格、神の似姿、愛、幸福、希望の根拠
授業の概要	ゼミナールⅠで学んだイエス・キリストの人間観を土台にしながら各自が選んだ研究テーマに関する考察を深め、ゼミナール論文を執筆する。途中、各段階での研究成果を報告し、クラス内での議論を経て、各自の研究を発展的にまとめ、研究論文の形式で仕上げる。
達成目標（授業の目的）	各自の興味・関心に沿った研究テーマに適した参考文献や資料を探して講読し、学生同士の議論を経て、自分の見解の論理展開を吟味し、文章の推敲を重ねた上で、論文を仕上げる。同時に、キリスト教ヒューマニズムの根底にある「神の似姿」や「人格的存在」という概念に照らして、現代の日常的経験の中に横たわる倫理的行動選択の基準を見直し、人間性に関する価値観の変遷を意識できるようになる。
到達目標（学修成果）	①社会現象や人間関係の諸問題の中から考察の対象となる課題を具体的に設定し、適確な文献や資料を探して研究を深め、資料から学んだ事柄と自分の意見の区別がつく形で、レジュメを作成し、発表することができる。キリスト教の視点からの指摘や質問にも答えることができる。 ②他の学生の発表と資料を批判的に検討し、質問や意見を述べることができる。 ③文献・資料を正しく引用し、脚注つきのゼミナール論文を仕上げることができる。
評価方法	①課題設定、文献・資料検索、夏休みの研究成果、及び 3 回の中間発表（8%×4＝32%） ②授業内の質疑応答における積極的発言（2%×14 回＝28%） ③ゼミナール論文（40%）
評価基準	①社会的な事象や人間にかかわる問題について自分の興味に合わせた課題を設定をし、相応しい参考文献を探して読むことで研究を深め、自分の意見の構築まで発展させることができたか。また、レジュメを作成し論理的で分かりやすい形での中間報告ができたか。 ②他者の発表の要点を理解した上で、適切な質問や意見を述べることができたか。 ③A4 用紙で 8 頁以上、参考文献リスト、脚注つきの論旨が明確なゼミナール論を仕上げることができたか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	夏季休暇中の研究進捗状況の報告 研究倫理について	発表、講義、質疑応答、講評	夏休みの研究成果発表準備
2	ゼミナール論文の 1 回目中間報告①	発表、質疑応答、講評	1 回目中間報告準備
3	ゼミナール論文の 1 回目中間報告②	発表、質疑応答、講評	1 回目中間報告準備
4	ゼミナール論文の 1 回目中間報告③	発表、質疑応答、講評	1 回目中間報告準備
5	ゼミナール論文の 1 回目中間報告④	発表、質疑応答、講評	1 回目中間報告準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	ゼミナール論文の 2 回目中間報告①	発表、質疑応答、講評	2 回目中間報告準備
7	ゼミナール論文の 2 回目中間報告②	発表、質疑応答、講評	2 回目中間報告準備
8	ゼミナール論文の 2 回目中間報告③	発表、質疑応答、講評	2 回目中間報告準備
9	ゼミナール論文の 2 回目中間報告④	発表、質疑応答、講評	2 回目中間報告準備 ゼミナール論文の執筆
10	ゼミナール論文の 3 回目中間報告①	発表、質疑応答、講評	3 回目中間報告準備 ゼミナール論文の執筆
11	ゼミナール論文の 3 回目中間報告②	発表、質疑応答、講評	3 回目中間報告準備 ゼミナール論文の執筆
12	ゼミナール論文の 3 回目中間報告③	発表、質疑応答、講評	3 回目中間報告準備 ゼミナール論文の執筆
13	ゼミナール論文の 3 回目中間報告④	発表、質疑応答、講評	3 回目中間報告準備 ゼミナール論文の提出
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ゼミナール論文についての講評と意見交換	講評、意見交換	意見交換のための準備

テキスト	担当教員、及び学生が配布する資料
参 考 書	岸見一郎・古賀史健『幸せになる勇気』（ダイアモンド社） 教皇フランシスコ『回勅　兄弟のみなさん』（カトリック中央協議会）

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	Thomas
開講期	秋	開講時限	水 1 限			研究室	4211
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-③

キーワード	Peace, positive peace, negative peace, structural violence, causes of war, peace movements
授業の概要	This course introduces basic concepts of peace studies and deals with some major issues in today's world. Some of the principal themes in this course are struggle for peace, wellbeing of human beings and sustainability of nature. Students' active participation in discussions, pair work and presentations are required to facilitate active and participatory learning in class. Through these activities, students will develop critical thinking, ability to express their thoughts and opinions, and respect others' opinions.
達成目標（授業の目的）	Through this course, students will acquire an introductory knowledge of the basic concepts and issues in peace studies. They will also learn the skills to participate in a discussion, to make PowerPoint presentations and take notes in English. Students will also be trained to write an academic essay separating facts from opinions and following research ethics.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to ・understand the key concepts, history and the basic issues in peace studies ・think critically about social and political issues that affect the national and international community ・participate in a discussion creatively on topics related to peace studies ・write a short research paper related to peace and issues related to peace ・read English essays, understand the main points, summarize them and make a clear presentation ・improve their knowledge of English vocabulary related to peace studies and world issues
評価方法	Class participation (50%), research presentation (20%), final report (30%)
評価基準	To be distributed at the first class.
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to teaching materials, class policies, evaluation criteria, and research ethics	Lecture, discussion, Q&A	Buy textbook, read syllabus
2	Unit 1 Education and Gender- education of women in Afghanistan and India	Lecture, pair work, discussion, presentation	Answer the questions on preview sheet (PS)
3	Unit 2 Global Warming – Environmental threats to our planet	Lecture, pair work, discussion, presentation	Read Unit 2, do PS, prepare for discussion
4	Unit 3 Drinking Water – water problem in Gaza and water pollution	Lecture, pair work, discussion, presentation	Read Unit 3, do PS, prepare for discussion
5	Unit 4 Poverty and Hunger – Child malnutrition in Niger, about doing research	Lecture, pair work, discussion, presentation	Read Unit 4, do PS, prepare for discussion
6	Unit 5 Fighting Disease – Malaria and HIV / AIDS; discussing research topic	Lecture, pair work, discussion, presentation	Read Unit 5, do PS, prepare for discussion
7	Unit 6 Terrorism – 9/11 Counter Terrorism Strategy; presentation of research topic	Lecture, pair work, discussion, presentation	Read Unit 6, do PS, prepare for discussion

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unit 9 Genocide and Crimes against Humanity – The Khmer Rouge	Lecture, pair work, discussion, presentation	Read Unit 9, do PS, prepare for discussion
9	Unit 10 Landmines – Demining in Afghanistan and Cambodia; essay writing	Lecture, pair work, discussion, presentation	Read Unit 10, do PS, prepare for discussion
10	Unit 11 Refugees – Life in a Refugee Camp and International Refugee Law	Lecture, pair work, discussion, presentation	Read Unit 11, do PS, prepare for discussion
11	Democracy and human rights in Burma – struggle of the Rohingya people	Lecture, pair work, discussion, presentation	Do personal research on the topic, prepare for discussion
12	Research presentation by the students (Group 1)	Presentation, Q&A, discussion	Prepare for presentation
13	Research presentation by the students (Group 2)	Presentation, Q&A, discussion	Prepare for presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Recap of the course, submission of the final report	Discussion, feedback, Q&A	Submit final report

テキスト	Keiso Tatsukawa, Walter Davies et al. *Global Issues Towards Peace* (Nanun-do).
参 考 書	岡本 三夫、横山 正樹編著『新・平和学の現在 Peace Studies in the Making: A New Edition』（法律文化社）

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	Thomas
開講期	春	開講時限	水５限			研究室	4211
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-④

キーワード	Peace, nonviolence, conflict resolution, reconciliation, environmental protection, peace building
授業の概要	This course introduces fifteen great peacemakers: their life, message and philosophy. It focuses on the following five areas: nonviolence, living peace, honoring diversity, valuing all life, and caring for the planet. Students are expected to study in detail about one of the peacemakers and make a PowerPoint presentation in class. Students are also expected to write a short research thesis on a topic of their choice which is related to peace.
達成目標（授業の目的）	The general goals of this course are to introduce various concepts of peace, to learn how peace can be achieved through philosophy, politics, religion, music, social service, education, dialogue, science, literature, sustainable development, and environmental protection. Another important goal of this course is to learn the skills to read academic articles, summarize main points and make a PowerPoint presentation. Finally, in this course students will learn to write a short research thesis.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will ・know different concepts of peace, various ways of building and maintaining peace ・be able to write a short research paper on topics related to peace based on research ethics ・be able to make a presentation of the result of their research using PowerPoint ・be able to participate in a discussion actively
評価方法	Class participation (40%), Presentation about a peacemaker (20%), Research paper (40%)
評価基準	To be distributed at the first class.
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to teaching materials, class policies, evaluation criteria, and research ethics	lecture, discussion, Q&A	purchase textbook, read syllabus
2	Nonviolence: Nonviolent resistance (Mahatma Gandhi)	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 11-18, and prepare for discussion
3	Nonviolence: Daring to dream (Martin Luther King, Jr.)	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 19-26, prepare for discussion
4	Nonviolence: Living deliberately (Henry David Thoreau)	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 3-10, prepare for discussion
5	Living peace: Living peace (Mother Theresa)	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 37-44, prepare for discussion
6	Living peace: Being peace (Thich Nhat Hanh)	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 45-52, prepare for discussion
7	Living peace: “Us” refers to all of humankind (Oscar Arias)	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 61-67, prepare for discussion

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Honoring diversity: Interfaith Harmony (Bruno Hussar)	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 71-78, prepare for discussion
9	Honoring diversity: Universal compassion (The Dalai Lama)	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 95-101, prepare for discussion
10	Valuing all life: Realizing our humanity (Jane Goodall)	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 129-135, prepare for discussion
11	Research presentation by students (group 1)	presentation, Q&A, discussion	prepare for presentation and discussion
12	Research presentation by students (group 2)	presentation, Q&A, discussion	prepare for presentation and discussion
13	Research presentation by students (group 3)	presentation, Q&A, discussion	prepare for presentation and discussion
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Conclusion, recap of the course, submission of research paper	lecture, reading, discussion, Q&A	submit research paper, Q&A

テキスト	Ken Beller, Heather Chase. *Great Peacemakers: True Stories from Around the World* (LTS Press).
参 考 書	Thomas Keefe & Ron E. Roberts. *Realizing Peace: An Introduction to Peace Studies* (Iowa State Pr).

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	Thomas
開講期	秋	開講時限	水４限			研究室	4211
分類	必修	単位	2	標準受講年次	２年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-④

キーワード	Peace, just war, holy war, diplomacy, negotiation, balance of power, deterrence
授業の概要	This course introduces strategies and theories for preventing wars and building peace. In addition, traditional war theories such as `just war theory`, and concepts of `holy war` from different religious perspectives are dealt with in this course. Specific strategies for building “negative peace” such as diplomacy, negotiations, conflict resolution and means for building “positive peace” such as promotion of human rights, environmental protection, economic well-being, promotion of nonviolence etc., will also be introduced.
達成目標（授業の目的）	In this course students will mainly focus on the strategies to prevent wars through building positive and negative peace. Students will also do personal research based on research ethics throughout the semester on a topic related to peace which will be submitted as their graduation thesis.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will ・have learned about some strategies for preventing wars and building peace ・have developed skills to do an independent research project ・be able to participate in a discussion constructively ・be able to extract ideas and information by reading books and articles for research ・have acquired the skills necessary to make a presentation using PowerPoint effectively
評価方法	Class participation (20%), preview sheets & reaction papers (20%), presentation of research results (20%), thesis (40%)
評価基準	To be distributed at the first class.
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction: course materials and policies; research ethics	lecture, discussion, Q&A	read syllabus
2	Building “Negative Peace”: third-party involvement, negotiating techniques	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
3	Peace through strength: balance of power, collective security, deterrence	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
4	Interim research presentation (group 1)	presentation, discussion, Q&A	prepare for presentation
5	Interim research presentation (group 2)	presentation, discussion, Q&A	prepare for presentation
6	Interim research presentation (group 3)	presentation, discussion, Q&A	prepare for presentation
7	Disarmament and arms control: history of disarmament, arms control etc.	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	International organizations: The United Nations, Just War – part 1	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
9	International law: enforcement of international law, Just War – part 2	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
10	War and general ethics, religious support for war, Holy war – part 1 (Christianity, Buddhism)	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
11	War and general ethics, religious support for war, Holy war – part 2 (Islam)	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
12	Research presentation by students (group 1)	presentation, feedback, discussion, Q&A	prepare for presentation
13	Research presentation by students (group 2)	presentation, feedback, discussion, Q&A	prepare for presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Research presentation by students (group 3), conclusion, submission of thesis	presentation, feedback, discussion, Q&A	prepare for presentation, submit thesis

テキスト	Materials adapted from the following textbook will be used in class. Richard Smoke with Willis Harman. *Paths to Peace: Exploring the Feasibility of Sustainable Peace* (Institute of Noetic Science Westview Press).
参 考 書	Lois Edmund. *Introduction to Peace and Conflict Studies* (Rowman & Littlefield Publishers).

科 目 名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	M. Lupas
開 講 期	秋	開講時限	水 1 限			研 究 室	4206
分 類	必修	単 位	2	標準受講年次	1 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-③

キーワード	world literature, comparative literature, research, narrative, parts of fiction, literary theory
授業の概要	Literature opens us up to different worlds and people. This course introduces the basic elements of literature and gives students opportunities to practice describing characters, setting, and stories in English. At the end of this course students will begin to do their own original research based mostly on the analysis of a primary text of their choosing (or of a text chosen from a list suggested by the teacher).
達成目標（授業の目的）	The goal of this course is for students to improve their language competence especially in reading and writing. They will do this by learning about different authors and texts and the tools used to study them. For the seminar reports students may study a text from a suggested list or of their own choosing with the approval of the teacher.
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will be able to: write and present book reports about the characters, character functions, type of narrative and story of a fiction text, summarize the main point and supporting details of non-fiction texts, and write reports without plagiarism according to the best practices of research ethics.
評価方法	Participation 10%; Book Reports 45%; Reading Word Count 15%; Seminar Reports 30%
評価基準	Participation: active participation in speaking warm-ups, pair work, and group work. Book Reports: 6 reports completed and submitted on time. Reading word count: 75,000 words= 15 points, 50,000 words= 10 points, 25,000 words= 5 points, 5,000 words= 1 point. Seminar Reports: 2 reports of 15% each evaluated on appropriate length, content, organization, and language.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	What is biography? Writing my life story	Warm-up, lecture, writing	Review the class content. Finish writing story of my life.
2	Story narrative: sequence of events linked by cause and effect; how to write book reports	Warm-up, lecture, reading, group work	Do extensive reading 2000 words or more; finish story narrative handout.
3	What is the difference between narrative and narration?	Warm-up, group work, reading	Read a book and write a book report.
4	What is the narrative point of view? What are first-person and third-person narration?	Warm-up, group work, reading	Read a book and write a book report.
5	How do we describe characters?	Warm-up, group work, reading	Read a book and write a book report.
6	What are character functions (hero, villain, donor)?	Warm-up, group work, reading	Read a book and write a book report.
7	Research Ethics Education; Introducing seminar report 1	Warm-up, group work, reading	Read a book and write a book report.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Poetic uses of language	Warm-up, group work, reading	Read a book and write a book report.
9	Reading figures of speech	Warm-up, group work, reading	Do extensive reading 3000 words or more; prepare seminar report 1.
10	Beyond the text	Warm-up, group work, reading	Do extensive reading 3000 words or more; prepare seminar report 1.
11	Share seminar report 1	Warm-up, group work, reading	Prepare seminar report 1
12	Other literary theories Introduce seminar report 2	Warm-up, peer review, reading	Do extensive reading 4000 words or more; prepare seminar report 2.
13	Narrative focalizations / text and film	Warm-up, writing, reading	Do extensive reading 4000 words or more; prepare seminar report 2.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Sharing seminar report 2 Reflecting on the course and looking ahead	Warm-up, group work	Prepare seminar report 2. Prepare reflection on the course.

テキスト	X-Reading.com 6-month student subscription.
参 考 書	Martin Montgomery et al. *Ways of Reading* (Routledge). Andrew Bennett and Nicholas Royle. *An Introduction to Literature, Criticism and Theory* (Routledge).

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	M. Lupas
開講期	春	開講時限	水５限			研究室	4206
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-④

キーワード	cultural differences, research ethics, using sources, data analysis
授業の概要	Building on the pre-seminar where students learned the basic parts of fiction and non-fiction texts, students will practice reading about and discussing more abstract concepts and notions in English. They will practice expressing their ideas on abstract topics and giving examples to support their ideas both from their own experience and from data sources.
達成目標（授業の目的）	The goal of this course is for students to build their English fluency and gain confidence across all four skills, gain critical thinking skills, and gain content knowledge about culture and literature.
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will be able to read English texts about more abstract notions and concepts and prepare discussions about them; summarize and write their opinion in an organized way about fiction and non-fiction texts at their level; write organized essays about more abstract concepts; use multiple sources in their writing and cite them according to the best practices of research ethics.
評価方法	Class discussion presentation / facilitation: 40%; Extensive reading word count: 10%; Reports on discussion: 40%; Final report: 10%
評価基準	Class discussion presentation / facilitation: each student will prepare in a small group the textbook chapter and a worksheet for the class discussion several times during the semester; the extensive reading word count will be evaluated as follows: 50,000 words= 10%, 40,000 words= 8%, 30,000 words= 6%, 20,000 words= 4%, 10,000 words= 2%; the eleven discussion reports should be complete and submitted on time; the discussion reports should show correct use of sources and proper citation of sources, the content should summarize the discussion and express one's opinion in an organized way. The final report is evaluated on expressing one's opinion on an abstract notion and supporting it with examples and properly citing sources.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Research Ethics Education: Using and citing sources	Ice-breaker, reading, semester planning	Read and prepare for the discussion.
2	Group and Individual: Blending in or emphasizing uniqueness?	Warm-up, student presentations & discussion (disc.)	Read and prepare for discussion. Do discussion report.
3	My Physical Limits: Giving my all or managing my energy?	Warm-up, student presentations & disc.	Read and prepare for discussion. Do discussion report.
4	Education: Interactive classes or teacher-centered?	Warm-up, student presentations & disc.	Read and prepare for discussion. Do discussion report.
5	Socializing: Inside or outside the home?	Warm-up, student presentations & disc.	Read and prepare for discussion. Do discussion report.
6	Club-Life Balance: A place for fun or place with rigorous demands	Warm-up, student presentations & disc.	Read and prepare for discussion. Do discussion report.
7	Shops: Customers and staff on equal footing or customers as "royalty"	Warm-up, student presentations & disc.	Read and prepare for discussion. Do discussion report.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Relationships: Understanding through discussion or understanding without words	Warm-up, student presentations & disc.	Read and prepare for discussion. Do discussion report.
9	Conversation: Responding with long answers or with short answers	Warm-up, student presentations & disc.	Read and prepare for discussion. Do discussion report.
10	Parenting: Centered on the child or based on rules and manners	Warm-up, student presentations & disc.	Read and prepare for discussion. Do discussion report.
11	Making Requests: Asking favors directly or indirectly. Introduction to final report	Warm-up, student presentations & disc.	Read and prepare for discussion. Do discussion report.
12	Strangers: Interacting or Ignoring	Warm-up, student presentations & disc.	Read and prepare for discussion. Do discussion report.
13	Writing workshop for the final report	Warm-up, writing	Prepare final report.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Sharing final reports; Looking at the next semester	Group work; individual consultations	Prepare summer research plan.

テキスト	① S. Richmond and B. Vannieu. *Ibunka! Intercultural Communication in Everyday Life* (Alma). ② X-Reading.com student subscription.

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	M. Lupas
開講期	秋	開講時限	水 5 限			研究室	4206
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-④

キーワード	writing, research, comparative literature
授業の概要	This seminar focuses on the seminar thesis writing process. With the support of the teacher, students may choose their own topic connected to their plans after graduation or to their interests. The students will practice framing their topic, gathering ideas, organizing ideas and expressing their ideas in an organized way and according to best research ethics practices. They will produce a seminar thesis in English.
達成目標（授業の目的）	The goal of this course is for students to build their English fluency and gain confidence across all four skills, gain research skills, and gain content knowledge about literature, culture, and history.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to present their research topic and the ideas they gathered about the research topic; write and revise drafts of their work; and make a final research presentation about their topic.
評価方法	Preparing and presenting a research diary 40%; seminar thesis 45%; final research presentation 15%
評価基準	Research diaries are presented several times during the semester and are evaluated on the quality of the source chosen and on the inductive and deductive reasoning applied by the student to the source material. The seminar thesis is evaluated on appropriate length, content, organization, use of sources, and language. It should avoid plagiarism and document its sources. The final presentation is organized and uses visuals and gestures to support the meaning.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Research Ethics; The Thesis Writing Process; Choosing topics and finding information	Lecture, group work, semester planning	Do research diary. Prepare presentation.
2	Outlining	Student presentations, pair and group work	Do research diary.
3	Avoiding Plagiarism	Student presentations, pair and group work	Do research diary.
4	Paraphrasing and academic language Submit Outline	Student presentations, pair and group work	Do research diary. Make an outline.
5	Writing the first draft	Student presentations, pair and group work	Do research diary.
6	In-text citations	Student presentations, pair and group work	Do research diary.
7	Hedging and boosting language Submit Draft 1	Student presentations, pair and group work	Do research diary. Do first draft.
8	Editing Looking at model writing	Student presentations, pair and group work	Do research diary.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Revising Adding subheads	Student presentations, pair and group work	Do research diary.
10	Finalizing References	Student presentations, pair and group work	Do research diary.
11	Working on the seminar thesis Improving the title	Student presentations, pair and group work	Do research diary.
12	Working on the seminar thesis Submit Draft 2	Student presentations, pair and group work	Do research diary. Do second draft.
13	Preparing presentations Preparing an abstract	Individual consultations, individual work	Do thesis.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Presentations Submit final seminar thesis	Presentations	Prepare presentation.

テキスト	D. Zemach, D. Broudy, C. Valvona. *Writing Research Papers*, 2nd edition (Macmillan Education).
参 考 書	Bermann, Sandra, and Catherine Porter. *A Companion to Translation Studies* (Wiley Blackwell).

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	B. Irwin
開講期	秋	開講時限	水 1 限			研究室	4216
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-③

キーワード	Sustainable development goals, environment action, social development, multiculturalism
授業の概要	This seminar introduces several UN Sustainable Development Goals that fit within the broad themes of the environment, development, multicultural society, and action for change. Students will read about the current state of SDGs and gain an understanding of vocabulary and expressions related to each topic. Students will also learn how to conduct research on topics relevant to the course and to share their findings during student led discussions. Finally, students will make presentations on topics of interest related to the SDGs studied in class.
達成目標（授業の目的）	Students in this seminar will learn about sustainable development goals both internationally and within Japan, improve their understanding of the current issues related to each SDG, and develop basic research and presentation skills. Students will also gain a solid understanding of the importance of following research ethics.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to ・ understand key SDG concepts and current issues ・ lead group discussions on a variety of topics ・ conduct research ethically using different sources ・ make presentations based on their research using slideshow software
評価方法	Participation and performance (30%), Homework (30%), including 10% for the final self-reflection report, Presentation (40%)
評価基準	Participation and performance: students are expected to be actively involved in each lesson, making an effort to use English. Students will lead weekly discussions after analyzing readings, conducting research, and sharing their findings; Homework assignments: regular homework must be submitted in a timely manner. Final self-reflection report: content, thoughtfulness of reflection; Presentation: evaluated based on depth of research and understanding of the topic, length, content, organization, and language accuracy.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction; Chapter 1. Global Perspectives; Getting to know the SDGs	Self-introductions and pair work	Read syllabus, review schedule & textbook
2	Chapter 2 The Environment – climate change; explanation of student led discussions	Lecture, group work, teacher led discussion	Read chapter 2, check vocab., prepare for discussion
3	Chapter 3 The Environment – water; presentation skills – basic structure	Lecture, group work, student led discussion	Read chapter 3, check vocab., prepare for discussion
4	Chapter 4 The Environment – clean energy; presentation skills – understanding audience	Lecture, group work, student led discussion	Read chapter 4, check vocab., prepare for discussion
5	Chapter 5 Development – poverty; presentation skills – using hooks	Lecture, group work, student led discussion	Read chapter 5, check vocab., prepare for discussion

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Chapter 6 Development – hunger; presentation skills – effective introductions	Lecture, group work, student led discussion	Read chapter 6, check vocab., prepare for discussion
7	Chapter 7 Development – children; presentation skills – developing ideas	Lecture, group work, student led discussion	Read chapter 7, check vocab., prepare for discussion
8	Chapter 8 Multicultural Society – gender; presentation skills – using signal phrases	Lecture, group work, student led discussion	Read chapter 8, check vocab., prepare for discussion
9	Chapter 9 Multicultural Society – refugees; presentation skills – effective conclusions	Lecture, group work, student led discussion	Read chapter 9, check vocab., prepare for discussion
10	Chapter 11 Action for Change – vegetarianism; presentation skills – conducting Q & A	Lecture, group work, student led discussion	Read chapter 11, check vocab., prepare for discussion
11	Chapter 13 Action for Change – Shopping; Research basics/ethics (using sources, avoiding plagiarism)	Lecture, group work, student led discussion	Read chapter 13, check vocab., prepare for discussion
12	Research presentation	Presentation, Q & A, discussion	Prepare for presentation
13	Research presentation	Presentation, Q & A, discussion	Prepare for presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Course feedback and reflection; submission of final self-reflection report	Lecture, group work, teacher led discussion	Submit final self-reflection report

テキスト	Kazuya Oseki, Kevin M. McManus. *Living as Global Citizens: An Introduction to Sustainable Development Goals.* (Nan'un-do).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook* *Handouts from the instructor*

科目名	HST310:　東洋研究					担当教員	玉置　真紀子
開講期	春	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	アジア基層文化、交易、先住民族、植民地化、開発、児童労働、マイクロファイナンス
授業の概要	西洋から見た「東洋」の自然環境、歴史、宗教、文化、社会を学び、その文化的重層性と多様性を理解する。国際社会の中で、その人口規模からも経済的にも東南アジアの重要性は増している。開発が進む中で生きる人々の生活を知り、その知恵を学ぶ。同時に、発展の陰で取り残される女性や子どもたちの生活に目を向け、現代社会における数々の課題の原因をふまえ、解決方法を探る。
達成目標（授業の目的）	この授業は、東南アジア世界の成立と現代社会のかかわりを理解し、そこに生きる人々の視点を獲得することを目標とする。それによって、遠い他者を身近な隣人として考えることを可能にする。
到達目標（学修成果）	a. 東南アジアの基層文化と多様性を理解する。 b. 人々の日常生活と経済活動を授業で学んだ用語や概念を用いて分析し、記述できる。 c. 開発・発展に伴う貧困や児童労働などの問題群の原因を説明し、解決のための提案ができるようになる。
評価方法	①授業課題：授業内で提出するリアクションペーパー 2%（2 点相当）×26 回＝52%（初回と②の回を除く） ②授業内試験：選択式、論述式 18% ③定期試験：選択式、論述式 30%
評価基準	①授業課題：授業内容を理解した上で、質問に対して（1）論理的に説明すること、（2）具体的に記述すること、を求める。これができていれば 2 点、感想のみの場合は 1 点となる。 ②&③ 授業内試験と定期試験：（1）問題に対し適切な解答を、授業で学んだ用語や理論を援用し論理的に説明すること、（2）課題解決型の問題の場合は具体的な解決策を提案すること、（3）自分の経験に引き寄せて検討すること、を求める。感想のみの場合は減点対象とする。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	講義の概要説明、東洋と東南アジアについて	講義、質疑応答	東南アジア各国の位置と成り立ちを確認する
2	東南アジアの自然環境	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.16-23 を読む
3	東南アジアの基層文化	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.24-36 を読む
4	東南アジアの歴史と社会（1）インド化	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.47-54 を読む
5	東南アジアの歴史と社会（2）交易の時代から植民地化へ	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.55-72 を読む
6	東南アジアの歴史と社会（3）脱植民地化から国民国家形成へ	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.73-79 を読む
7	人びとは何を食べてきたかーコメの歴史と棚田のテクロノジー	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.137-150, pp.297-303 を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	東南アジアの家族観－結婚、家族、親族、子どもの成長	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.173-179 を読む
9	東南アジアの居住空間－都市と農村	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.130-136 を読む
10	児童労働とは（1）子どもの権利条約	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
11	児童労働とは（2）児童労働の実態	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
12	児童労働とは（3）農園で働く子どもたち	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	参考資料を読む
13	児童労働とは（4）子ども兵士	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
14	東南アジアにおける児童労働のまとめ、授業内試験	講義、質疑応答、授業内試験（50 分）	1～13 回の講義を復習する
15	現代東南アジア史におけるキーパーソン	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.366-412 を読む
16	試験の返却と解説 先住民族と呼ばれる人々	試験返却および解説 講義	テキスト pp.252-275 を読む
17	東南アジアの古典文学	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.182-188 を読む
18	東南アジアの宗教（1）仏教、ヒンズー教	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.152-157, pp.166-172 を読む
19	東南アジアの宗教（2）イスラム教、キリスト教	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.158-165 を読む
20	大陸東南アジアの現在（1）ラオス	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
21	大陸東南アジアの現在（2）ミャンマー／ビルマ	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
22	マイクロファイナンスを学ぶ（1） マイクロファイナンスの成立と背景	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
23	マイクロファイナンスを学ぶ（2） マイクロファイナンス機関と実践	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
24	マイクロファイナンスを学ぶ（3） 課題と解決に向けて	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
25	東南アジアの移住／移民労働者	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
26	日本で働く東南アジアの人々	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	東南アジア社会における経済と労働問題のまとめ	講義、質疑応答 リアクションペーパー	16～26 回の講義を復習する
28	東洋を再考する 定期試験の返却と解説	講義、試験返却、および解説	講義の振り返り

テキスト	今井昭夫編『東南アジアを知るための 50 章』（明石書店）
参 考 書	大野・鈴木・日下編著『フィリピンを知るための 64 章』（明石書店） 岩崎育夫『入門 東南アジア近現代史』（ミネルヴァ書房）
その他 特記事項	学習者にとって初めて聞く・見る内容になると思います。好奇心を持って臨みましょう。

科目名	HST300:　比較社会史					担当教員	森下　園
開講期	秋	開講時限	火金 4 限			研究室	4202
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	社会史、社会構築主義、身分階層、ジェンダー、家族、教育
授業の概要	社会構築主義の観点から、身分階層、ジェンダー、家族、他者排除、ナショナリズムとグローバリゼーションなどについて講義を行う。地域・時代が異なる事例をトピックごとに取り上げていく。高校レベルの世界史の知識を前提とする。
達成目標（授業の目的）	社会構築主義に基づく分析に必要な用語・概念を理解し、これらを用いて国内外の社会の諸問題を各自の問題意識と観点から論述できるようにする。
到達目標（学修成果）	①学生は次回授業プリントを読んで事典類で用語などを調べ、授業課題を書くことで毎回のポイントを把握できるようになる。 ②任意の社会問題について、授業で学んだ用語や概念を用いて分析し、自分の見解を論述できるようになる。
評価方法	①授業課題：Moodle で次の授業開始時までに提出、3%×25 回=75% ②レポート（3000 字）：扱ったトピックに関するオリジナルのレポート、Moodle 提出、25%
評価基準	①授業課題：要点を整理して自分の言葉でまとめているか、提出期限を守っているか。なお原則として授業を欠席した回の授業課題は採点対象としない。 ②レポート：社会問題などの事例について、授業で扱った用語・理論・概念を用いて分析し、自分なりの考察を加えて論述できているか。 いずれも研究倫理を守らない（友達の課題を写す、またはネット情報や事典類などから無断引用する）場合は 0 点とする。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	社会史と社会構築主義 研究倫理について	講義、質疑応答	第 1 回授業内容の復習 第 2 回授業プリントの予習
2	近代の学的知（1）歴史学	講義、質疑応答	第 2 回授業課題の提出① 第 3 回授業プリントの予習
3	近代の学的知（2）英文学と比較文学	講義、質疑応答	第 3 回授業課題の提出② 第 4 回授業プリントの予習
4	近代の学的知（3）文化人類学・自然人類学	講義、質疑応答	第 4 回授業課題の提出③ 第 5 回授業プリントの予習
5	近代の学的知（4）ジェンダー・スタディーズ	講義、質疑応答	第 5 回授業課題の提出④ 第 6 回授業プリントの予習
6	王権（1）西欧の王　―　皇帝と王	講義、質疑応答	第 6 回授業課題の提出⑤ 第 7 回授業プリントの予習
7	王権（2）日本の王　―　天皇と将軍	講義、質疑応答	第 7 回授業課題の提出⑥ 第 8 回授業プリントの予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	身分階層（1）身分と社会的ステータス	講義、質疑応答	第 8 回授業課題の提出⑦ 第 9 回授業プリントの予習
9	身分階層（2）カースト制	講義、質疑応答	第 9 回授業課題の提出⑧ 第 10 回授業プリントの予習
10	教育と学校　―　教育の誕生と文化資本	講義、質疑応答	第 10 回授業課題の提出⑨ 第 11 回授業プリントの予習
11	女性と職業　―　働くミドルクラス女性	講義、質疑応答	第 11 回授業課題の提出⑩ 第 12 回授業プリントの予習
12	家族と社会（1）近代英国	講義、質疑応答	第 12 回授業課題の提出⑪ 第 13 回授業プリントの予習
13	家族と社会（2）近代日本	講義、質疑応答	第 13 回授業課題の提出⑫ 第 14 回授業プリントの予習
14	女性のイメージ　―　近代英国と日本の女性向けメディアが構築したもの	講義、質疑応答	第 14 回授業課題の提出⑬ 第 15 回授業プリントの予習
15	スティグマの付与（1）聖女と魔女	講義、質疑応答	第 15 回授号課題の提出⑭ 第 16 回授業プリントの予習
16	スティグマの付与（2）アウトサイダー	講義、質疑応答	第 16 回授業課題の提出⑮ 第 17 回授業プリントの予習
17	死者との交流（1）西欧の幽霊 レポートの説明	講義、質疑応答	第 17 回授業課題の提出⑯ 第 18 回授業プリントの予習
18	死者との交流（2）日本の幽霊 レポートの説明	講義、質疑応答	第 18 回授業課題の提出⑰ 第 19 回授業プリントの予習
19	他者イメージと自己イメージの構築	講義、質疑応答	第 19 回授業課題の提出⑱ 第 20 回授業プリントの予習
20	言語（1）標準語の問題	講義、質疑応答	第 20 回授業課題の提出⑲ 第 21 回授業プリントの予習
21	言語（2）クレオール	講義、質疑応答	第 21 回授業課題の提出⑳ 第 22 回授業プリントの予習
22	法と秩序	講義、質疑応答	第 22 回授業課題の提出㉑ 第 23 回授業プリントの予習
23	無縁とアジール	講義、質疑応答	第 23 回授業課題の提出㉒ 第 24 回授業プリントの予習
24	ナショナリズム（1）日本人とは誰か	講義、質疑応答	第 24 回授業課題の提出㉓ 第 25 回授業プリントの予習
25	ナショナリズム（2）想像の共同体、記憶と記録	講義、質疑応答	第 25 回授業課題の提出㉔ 第 26 回授業プリントの予習
26	パブリックヒストリーとエゴドキュメントの歴史学	講義、質疑応答	第 26 回授業内容の復習 レポートの準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	サブカルチャーとしてのマンガとアニメ	講義、質疑応答	第 27 回授業課題の提出㉕ 第 28 回授業プリントの予習
28	社会構築主義の応用 レポートの講評	講義、質疑応答	授業の振り返り

テキスト	なし。授業内容に関するプリントを Moodle の「2023　短大部　比較社会史」で配付する。
参 考 書	上野千鶴子『構築主義とは何か』（勁草書房）

科目名	INT301:　国際関係論					担当教員	大木　優利
開講期	春 / 秋	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	国際政治、グローバル社会、国際協力、国際平和
授業の概要	国際関係論の入門科目。 国際関係の歴史、理論・概念、地球規模課題（グローバルイッシュー）などについて講義を行う。授業中には、新聞記事や映像資料を用いて対話・ディスカッションする時間を設け、学生自ら考える授業を目指す。
達成目標（授業の目的）	授業内容を通じて国際関係論という学問分野及び学術的用語を理解する。その過程で、抽象的な理論・概念を具体的な事例に適用し、逆に具体的な事例から抽象的な概念を引き出すなど、考える力を身につける。
到達目標（学修成果）	1.　国際関係論の基礎的な知識を習得する。（評価基準 1 及び 2） 2.　資料収集及びその資料を一定の観点に沿ってまとめることができる。（評価基準 3 及び 4） 3.　関心分野に学習した内容を適用し、事実に基づいて自分の考えを展開することができる。（評価基準 3 及び 4）
評価方法	1.　授業参加　10% 2.　課題形式の試験（テイクホーム・エグザム）2 回　各 25%（合計 50%） 3.　グループ・プレゼンテーションに関連する個人課題　15%（個人評価） 4.　グループ・プレゼンテーション　25%（グループ評価）
評価基準	1.　授業参加：質疑応答、ディスカッション参加など。 2.　課題形式の試験（テイクホーム・エグザム）：授業内容を正確に理解しているか。 3.　グループ・プレゼンテーションに関連する個人課題：適切な資料調査及び内容の一貫性。 4.　グループ・プレゼンテーション：授業内容の適用した問題提起及び事実関係の整理。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	授業のガイダンス及び現在の国際社会について	講義	2 回の授業資料を読む（予習）
2	今の「国家」ができるまで	講義 ディスカッション	3 回の授業資料を読む（予習）
3	現代の「国際関係」はどうできたのか	講義 ディスカッション	1~3 回の内容を復習 4 回の授業資料を読む（予習）
4	現状をどう見るか 1：パワーを中心に	講義 ディスカッション	5 回の授業資料を読む（予習）
5	現状をどう見るか 2：利益を中心に	講義 ディスカッション	6 回の授業資料を読む（予習）
6	現状をどう見るか 3：規範 / 従属	講義 ディスカッション	4~6 回の内容を復習 7 回の授業資料を読む（予習）
7	国際関係と経済	講義 ディスカッション	7 回の内容を復習 8 回の授業資料を読む（予習）
8	戦争のない国際社会のために	講義 ディスカッション	9 回の授業資料を読む（予習）
9	安全保障	講義 ディスカッション	10 回の授業資料を読む（予習）

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	「核」にどう向き合うか	講義 ディスカッション	11 回の授業資料を読む（予習）
11	新しい脅威とどう向き合うか	講義 ディスカッション	復習及び課題形式試験の準備
12	プレゼンテーションのグループワーク 課題形式の試験	グループワーク 課題形式の試験	プレゼンテーションについての準備
13	試験の返却、および解説 （国際 / 国内）紛争の事例	映像資料観覧 講義	14 回の授業資料を読む（予習）
14	紛争の背景にあるもの	講義 ディスカッション	15 回の授業資料を読む（予習）
15	平和構築 / 紛争解決	講義 ディスカッション	14~15 回の内容を復習 16 回の授業資料を読む（予習）
16	「国家」以外のアクターとその役割	講義 ディスカッション	17 回の授業資料を読む（予習）
17	国家間統合は可能なのか	講義 ディスカッション	18 回の授業資料を読む（予習）
18	技術・エネルギーをめぐるイッシュー	講義 ディスカッション	19 回の授業資料を読む（予習）
19	「人」に関する議論－難民・人の移動・人権	講義 ディスカッション	20 回の授業資料を読む（予習）
20	領域をめぐるイッシュー	講義 ディスカッション	21 回の授業資料を読む（予習）
21	環境問題とどう向き合うか	講義 ディスカッション	22 回の授業資料を読む（予習）
22	国際協力と持続可能な開発（開発援助）	講義 ディスカッション	23 回の授業資料を読む（予習）
23	貧困削減と人間の安全保障	講義 ディスカッション	24 回の授業資料を読む（予習）
24	グローバルガバナンス	講義 ディスカッション	22~24 回の内容を復習
25	グループ・プレゼンテーション	プレゼンテーション 質疑応答	プレゼンテーションの準備
26	グループ・プレゼンテーション	プレゼンテーション 質疑応答	プレゼンテーションの準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	プレゼンテーションに対する評価・フィードバック 課題形式の試験	講義 課題形式の試験	課題形式の試験の準備
28	試験の返却、および解説 授業の総括	講義	復習

テキスト	授業内容をまとめた資料を事前に LOYOLA 又は MOODLE にアップする。その他のディスカッション資料（新聞記事や文献の一部かつ必要最小限の複製資料）は事前あるいは授業中に配布する。
参 考 書	村田晃嗣他『国際政治学をつかむ（新版）』（有斐閣）2015 年 ジョセフ・S・ナイ・ジュニア / ディヴィッド・A・ウェルチ『国際紛争―理論と歴史（原書第 10 版）』（有斐閣）2017 年

科目名	ANT200:　文化人類学					担当教員	C. Oliver
開講期	秋	開講時限	火金 3 限			研究室	4205
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-⑤

キーワード	cultural anthropology, culture, fieldwork, understanding others, interview research
授業の概要	This course provides an introduction to cultural anthropology. Regular class sessions will consist of lectures, watching scenes from films, and discussions among students. Examples will come from many parts of the world, including Indonesia, Mexico, Papua New Guinea, Iran, North America, and sub-Saharan Africa. Each student will do an interview project (with a written report) and discuss the findings in class. All lectures, assignments, and tests will be in English.
達成目標（授業の目的）	This course will help students understand what cultural anthropologists study and how they study it. Students will also be able to develop their own research skills.
到達目標（学修成果）	By the end of the semester, students should be able to: ・understand key ways that anthropological study differs from that of other social sciences; ・understand broadly the range of topics often studied in anthropology; ・understand and explain the significance of key examples of those topics; ・understand key anthropological concepts and apply them to cultural processes; ・use careful observation and inference-making to gain cultural understanding; ・ask good questions for doing qualitative, interview research.
評価方法	Participation 10%; Homework 30%; Interview Project, including written report 30%; Tests 30%.
評価基準	Participation: Active participation in everyday class activities, including discussions. Homework: Submitted on time and completed thoroughly, shows adequate understanding and application of key concepts, demonstrates careful observation and inference-making. Homework may not be submitted more than 2 weeks after the due date. Interview Project: Each part submitted on time and according to instructions, demonstrates asking good interview questions as well as careful observation and inference-making. Tests: Demonstrates understanding of how anthropological study differs from that of other social sciences, understanding of the range of topics studied in anthropology, understanding and ability to explain the significance of key examples, understanding and ability to apply key concepts, and careful observation and inference-making.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	What is cultural anthropology?	lecture	Review syllabus, read pp. 2 & 73-74
2	Culture: definitions and examples	lecture, pair work	Read pp. 34-41
3	Anthropological research: fieldwork	lecture, video, pair work	Read pp. 13, 21-24 (also skim pp. 1-12 for homework)
4	Anthropological research: dialogue	lecture, video, pair work	Complete homework about textbook authors' fieldwork
5	Doing qualitative interviews: the basics	interview practice with another student	Read handout provided by the teacher
6	Religion: general approach	lecture, video, pair work	Complete interview practice worksheet

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Interview Project planning (interview project will be explained)	lecture, small-group discussion	Read handout about Interview Project
8	Religion: “witchcraft” in Africa	lecture, pair work	Read pp. 123-125
9	Ritual: general concepts	lecture, video, pair work	Complete HW about objective / subjective information
10	Ritual: what do rituals “do”?	lecture, video, pair work	Read pp. 123-125
11	Marriage and family: cultural arrangements	lecture, pair work	Read pp. 75-81, 86-87; complete HW about film
12	Doing qualitative interviews: strategies for asking good questions	interview practice with another student	Read handout provided by the teacher
13	Gift-giving and exchange: general concepts	lecture, pair work	Complete interview practice worksheet
14	Gift-giving and exchange: *potlatch* (also: discuss Interview Project topics)	lecture, video, small-group discussion	Read pp. 109-112, 115-117; complete Interview Project topic
15	Gift-giving and exchange: *kula*	lecture, simulation (role-play)	Read pp. 109-112, 115-117
16	Culture and person / self: general concepts	lecture, pair work	Read pp. 131-141
17	Culture and person / self: cultural variations	lecture, pair work	Complete worksheet on Ch. 8
18	Review, Test #1	lecture, test	Study for test
19	Health, illness, and medicine: key concepts	lecture, pair work	Read pp. 136-140
20	Health, illness, and medicine: culture-bound syndromes	lecture, pair work	Complete homework on culture-bound illnesses
21	Social class: cultural dimensions	lecture, video, pair work	Read pp. 93, 103
22	Discuss Interview Project findings (based upon each student’s completed interview)	small-group discussion	Complete interview; prepare copy of actual interview notes
23	Identity: individual and collective; return Test #1 and go over results	lecture, pair work	Read pp. 92-94, 96-100
24	Nation and culture: what holds society together?	lecture, pair work	Read pp. 63-64, 89-90, 96-100
25	Globalization and transnationalism: anthropological approaches	lecture, pair work	Read pp. 103-106
26	Review, Test #2	lecture, test	Study for test
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Watch film: “Children of Heaven” (making observations, forming inferences)	pair work, watch video while taking notes	Complete Fact Sheet on Iran, Interview Project report
28	Discuss film: observations / inferences; return Test #2 and go over results	small-group discussion, lecture	Complete worksheet about the film

テキスト	J. Monaghan & P. Just. *Social & Cultural Anthropology: A Very Short Introduction* (Oxford University Press).
参 考 書	H. Peters-Golden. *Culture Sketches: Case Studies in Anthropology* (McGraw-Hill).
その他 特記事項	Lectures, assignments, and tests will be in English. Each student must do an Interview Project that requires finding a suitable person to interview and interviewing that person outside of class.

科目名	ART200:　現代美術					担当教員	G. Freddes
開講期	春	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-⑤

キーワード	Romanticism, Japonisme, Modernism, Modern Art, Contemporary Art, Post-Modernism
授業の概要	This course will explore developments in art from the 19th to the 21st Century. Each class will begin with a lecture and / or video on an artist, period, or style. This will be followed by readings pertaining to the lecture and discussion in small groups. Every class will conclude with students writing comments on class content and their online research. Students will be required to conduct research in areas of personal interest, visit two museums and submit two written reports in English.
達成目標（授業の目的）	Students will acquire a fundamental knowledge of major artists and art movements of the past 200 years. They will learn the vocabulary of art and various ways of looking at art by considering its formal characteristics, materials, and cultural / historical contexts. The course aims to support students in developing insights into how the rapidly changing modern world has affected individual artists and how they, in turn, have influenced and shaped the world in which we live.
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will be able to recognize many of the most important modern artists. They will be able to describe the works' formal characteristics, materials, and possess some understanding of its cultural / historical significance. Ultimately, students will be able to enjoy visiting museums, viewing new works, and more confidently express personal opinions.
評価方法	Participation and Written Reactions (40%) Midterm Report (25%) Final Report (35%)
評価基準	Participation, Written Reactions (Note-taking during lecture, involvement in discussions and art-making activities, effort in answering all written reactions using vocabulary learned in class and expressing a personal opinion of the artworks seen in class, online research summary) Midterm Report (at least 800 words) Final Report (at least 1000 words) Guidelines for both are the same. (1) Choose an artist of interest and research his / her life. Write the artist's biography. (2) Choose at least six works by the artist and, using vocabulary learned in class, describe the works in detail. Write a conclusion including what you learned about the artist. (3) Visit a museum and report on what you saw. Choose at least five works seen and write in detail about each of them, including materials, formal characteristics, the work's cultural / historical context, and a personal opinion.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course Introduction; How to Look at a Painting, 100 Great Paintings of All Time	Lecture, video, reading, writing, online sources	Read textbook pp. 66-71
2	Introduction to the textbook; online resources; art vocabulary; What is Modern Art?	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 76-78 Review, View online sources
3	The Nineteenth Century: Birth of the "Isms" Neoclassicism and Romanticism	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 74-75, 79-80 Review, Online research
4	Romanticism: Goya, Turner, Chopin, Beethoven	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 81-88 Review, Online research
5	Nineteenth Century Japan: Ukiyo-e, Hokusai	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 89-91 Review, Online research
6	The Industrial Revolution: Early Modern Architecture, Japonisme, Art Nouveau	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 92-95 Review, Online research
7	The Birth of Photography: Inventors, Pioneers, Travel, War, Documentary, Portrait, Art	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 96-103 Review, Online research

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Impressionism: Manet, Monet	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 104-109 Review, Online research
9	Impressionism: Renoir, Degas, Cassatt, Morisot	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 110-113, 133 Review, Online research
10	Modern Sculpture: Rodin, Brancusi	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 114-115 Review, Online research
11	Post-Impressionism: Seurat, Lautrec	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 118-122 Review, Online research
12	Post-Impressionism: Gauguin, Van Gogh	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Bring colored pencils, markers, and / or pastels to class
13	Van Gogh: “The Sunflowers”	Art making activity	Read text pp. 123-125 Review, Online research
14	Early Expressionism: Munch, M-Becker Symbolism: Rousseau, Redon	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 128-133 Review, Online research
15	Fauvism: Matisse, Vlamink, Derain, Dufy	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Submit Midterm Report; Bring Scissors, glue, colored paper
16	Matisse cutouts: Create a class mural	Art making activity	Read pp. 116-117, 136-138 Review, Online research
17	Cezanne, Picasso	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 139-145 Review, Online research
18	Futurism; Constructivism; Precisionism	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 146-147 Review, Online research
19	Modernist Architecture: Le Corbusier	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text p. 148 Review, Online research
20	Dada: Duchamp, Arp, Schwitters	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 149-151 Review, Online research
21	Surrealism: Miro, Ernst, Dali, Magritte	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp.152-153 Review, Online research
22	20th Century Photography: Cartier-Bresson	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 158-163 Review, Online research
23	Figural and Abstract Expressionism	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 172-176 Review, Online research
24	Pre-Pop and Pop Art	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 177-179 Review, Online research
25	Minimal and Conceptual Art	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 188-189 Review, Online research
26	Post-Modernism: Diversity	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 194-200 Submit Final Report w. P.A.R.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Recent Trends 1990-2000	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Skim text from p. 200 to the end Review, Online research
28	Recent Trends 2001-2023	Lecture, slideshow, Course Survey	Last chance to submit the Final Report (will not be returned)

テキスト	Carol Strickland. *The Annotated Mona Lisa, Third Edition* (Andrews and McMeel).
参 考 書	*The Letters of Vincent Van Gogh* Online The Museum of Modern Art: Online Collection
その他 特記事項	All lectures and student writing will be entirely in English. Videos: English / Bilingual / Japanese And, as mentioned above, students must visit two museums and write two reports in English.

科目名	EDU302:　比較・国際教育学					担当教員	杉村　美佳
開講期	春	開講時限	火金 4 限			研究室	4220
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	教育の国際比較、教育問題、教育制度、教育政策、開発と教育、グローバル化と教育
授業の概要	先進国と途上国における教育の現状や課題について、歴史、政治、経済、文化等と関連付けて概観し、比較・国際教育学の基礎理論を理解する。さらに、今日的教育課題である多文化教育、シティズンシップ教育、開発教育や国際教育協力等のあり方を国際的視点から考察する。
達成目標（授業の目的）	比較・国際教育学の基礎理論を理解し、日本と諸外国の教育の現状や課題について、歴史的、政治的、経済的、文化的背景と関連付けて考察し、国際的視野から教育問題の解決に向けた方策を論じられるようになることを目標とする。
到達目標（学修成果）	①日本と諸外国の教育制度や教育政策、教育問題等について、歴史、政治、経済、文化等と関連付けて考察する力を身につけ、比較・国際教育学の基礎理論を習得する。 ②比較・国際教育学的視点から教育事象を論理的、批判的に分析し、教育問題の解決に向けた方策を考察することができる。 ③各国の教育の現状や課題について文献の内容をまとめ、論理的に考察することができる。
評価方法	①リアクション・ペーパー（30%）、②レポート（30%）、③授業内試験（40%）
評価基準	①リアクション・ペーパー：論題について授業内容をふまえ論理的に考察できているか。 ②レポート：設定したテーマに即して参考文献の内容を的確にまとめ、教育事象を論理的、批判的に考察できているか。 ③授業内試験：授業内容を理解し、設問に対して正確に解答できているかを評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	OECD データからみる諸外国と日本の教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	ジェンダーと教育について調べる
2	比較教育学の歴史的展開と課題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配付記事の要約・考察 配付プリントの要約・考察
3	国際教育学の歴史的展開と課題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教育の国際組織を調べる 配付プリントの要約・考察
4	教育制度の国際比較（1） ―就学率・識字率―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	識字率について調べる 配付プリントの要約・考察
5	教育制度の国際比較（2） ―学校教育制度の類型―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	英文記事の和訳 配付プリントの要約・考察
6	教育制度の国際比較（3） ―教育制度改革の焦点―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	配付記事の要約・考察 配付プリントの要約・考察
7	先進国における学校化社会と学歴（1） ―学校化社会と学歴社会―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	学歴社会について調べる 配付プリントの要約・考察

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	先進国における学校化社会と学歴（2） ―ヨーロッパの非学歴社会―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配付記事の要約・考察 配付プリントの要約・考察
9	先進国における生涯学習社会の構築	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	生涯学習社会について調べる 配付プリントの要約・考察
10	発展途上国における識字教育（1） ―非識字者の分布と構成―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配付記事の要約・考察 配付プリントの要約・考察
11	発展途上国における識字教育（2） ―識字教育の取り組み―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	識字教育について調べる 配付プリントの要約・考察
12	先進国と途上国における児童労働の現状と撲滅に向けた課題	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	児童労働について調べる 配付プリントの要約・考察
13	開発と教育（1）―MDGs の成果と SDGs の課題―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	MDGs と SDGs を調べる 配付プリントの要約・考察
14	開発と教育（2）―国際教育協力―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	国際教育協力について調べる 配付プリントの要約・考察
15	開発と教育（3）―JICA による国際教育協力の実態―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	JICA について調べる 配付プリントの要約・考察
16	開発と教育（4）―開発教育―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	開発教育について調べる 配付プリントの要約・考察
17	レポートの発表	発表・ディスカッション リアクションペーパー	レポート発表の準備 配付プリントの要約・考察
18	先進国における国民統合と学校教育（1） ―新自由主義的教育政策―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	新自由主義について調べる 配付プリントの要約・考察
19	先進国における国民統合と学校教育（2） ―多文化共生教育―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配付資料の要約・考察 配付プリントの要約・考察
20	多文化教育の国際比較	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	多文化教育について調べる 配付プリントの要約・考察
21	発展途上国における国民統合と学校教育（1） ―マレーシアを中心に―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配付資料の要約・考察 配付プリントの要約・考察
22	発展途上国における国民統合と学校教育（2） ―シンガポールを中心に―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	東南アジアの教育を調べる 配付プリントの要約・考察
23	小括と授業内試験	講義・質疑応答 授業内試験	22 回目までの授業内容の復習
24	紛争後社会における平和構築に向けた教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	紛争後教育について調べる 配付プリントの要約・考察
25	ヨーロッパの自由教育（1）シュタイナー教育	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	配付資料の要約・考察 配付プリントの要約・考察
26	ヨーロッパの自由教育（2）イエナプラン教育	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	自由教育について調べる 配付プリントの要約・考察
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	シティズンシップ教育の日英比較	講義・ディスカッション リアクションペーパー	市民性教育について調べる 配付プリントの要約・考察
28	総括および試験の返却と解説	講義・質疑応答	配付資料の要約・考察 配付プリントの要約・考察

テキスト	なし。毎回書き込み式講義ノートと新聞記事などの資料を配付する。
参 考 書	石附 実『比較・国際教育学』（東信堂） 二宮皓編著『世界の学校』（学事出版）
その他 特記事項	JICA からゲストスピーカーを招き、日本の国際教育協力の実態について講義を行う。

科目名	PHL210:　倫理学					担当教員	丹木　博一
開講期	秋	開講時限	火金 4 限			研究室	4214
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	1, 4	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	1-①, 4-⑤

キーワード	権利、所有、契約、主権、義務、自由、平和
授業の概要	倫理学の歴史を幅広く概観し、個人と社会の望ましい関係はどのようなものか、また社会において私はいかに生きるべきかについて講義とディスカッションを通して考察する。
達成目標（授業の目的）	「社会の中で人生をいかに生きるべきか」という問いを真剣に問い進め、自分の考えを築き上げることができる。
到達目標（学修成果）	・倫理学の歴史に登場する基本的な概念と学説を正しく把握し、それを表現できる。 ・行為選択の倫理的規範についての近現代の主要な議論を理解し、正しく表現できる。 ・倫理的な問いを 提起し、その問いに関する自分自身の考えを説明できる。
評価方法	①提出課題（17%＝1%×17 回）、②リアクションペーパー（28%＝1%×28 回）、③中間レポート（2,000 字以上）（25%）、④期末レポート（2,500 字以上）（30%）
評価基準	①提出課題：事前に指示した通り課題を行い提出できたかどうか。 ②リアクションペーパー：授業で説明された倫理学の基本的な概念と学説の意味を、自分の言葉で正しく論述できるかどうか。 ③中間レポート：14 回目までの授業で取り上げた倫理学説を一つ取り上げ、それが行為選択のための倫理規範をどのように考えているかを自分の言葉でわかりやすく説明した上で、自分の意見を論述展開できるかどうか。 ④期末レポート：『暇と退屈の倫理学』について問いを提起し、筆者の考えを自分の言葉で説明した上で、理由を挙げて自分の考えを展開できるかどうか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	導入　倫理学とは何か	講義・話し合い・リアクションペーパー	「倫理学」とはどのような学問であるかを調べておく。
2	規範倫理学の代表的な理論について① 徳倫理学	講義・話し合い・リアクションペーパー	「徳倫理学」の特徴について調べておく。
3	規範倫理学の代表的な理論について② 功利主義と義務倫理学	講義・話し合い・リアクションペーパー	「功利主義」と「義務倫理学」の特徴を調べておく。
4	ソクラテスの問い「いかに生きるべきか」	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.9-35 と pp.381-390 を読んでおく。
5	利己主義的考慮と倫理的考慮	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.36-55 をていねいに読み、要約を提出する。
6	倫理に関するアルキメデスの支点	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.56-71 をていねいに読み、要約を提出する。
7	幸福と徳	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.72-91 をていねいに読み、要約を提出する。
8	アリストテレス の目的論的思考	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.91-115 をていねいに読み、要約を提出する。
9	基本的自由への権利	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.116-136 をていねいに読んでおく。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	私にとっての実践的熟慮	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.136-148 をていねいに読み、要約を提出する。
11	ロールズの契約論	講義・DVD 視聴・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.149-176 をていねいに読んでおく。
12	ヘアーの功利主義	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.176-188 をていねいに読んでおく。
13	理論と直観の間の反省的均衡	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.189-211 をていねいに読み、要約を提出する。
14	理論と偏見	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.211-237 をていねいに読み、要約を提出する。
15	言語論的転回	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.238-260 をていねいに読み、要約を提出する。
16	客観性をめぐる議論	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.261-284 をていねいに読んでおく。 中間レポート提出。
17	倫理的思考の本性	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.284-303 をていねいに読み、要約を提出する。
18	相対主義と反省 中間レポートの講評	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.304-337 をていねいに読んでおく。
19	道徳的義務と重要性という概念	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.338-390 をていねいに読み。要約を提出する。
20	『暇と退屈の倫理学』 序章　「好きなこと」とは何か？	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp.3-37 をていねいに読んでおく。
21	第 1 章　ウサギ狩りに行く人は本当は何が欲しいのか？	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp.40-81 をていねいに読み、要約を提出する。
22	第 2 章　人間はいつから退屈しているのか？	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp.84-115 をていねいに読み、要約を提出する。
23	第 3 章　なぜ「ひまじん」が尊重されてきたのか？	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp.118-163 をていねいに読み、要約を提出する。
24	第 4 章　贅沢とは何か？	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp.166-227 をていねいに読み、要約を提出する。
25	第 5 章　そもそも退屈とは何か	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp.230-285 をていねいに読み、要約を提出する。
26	第 6 章　トカゲの世界をのぞくことは可能か？	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp.288-338 をていねいに読み、要約を提出する。 期末レポート提出。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	第 7 章　決断することは人間の証しか？	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp.340-388 をていねいに読み、要約を提出する。
28	結論＋傷と運命 期末レポートの講評 まとめ	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp.389-411, 478-502 を読んでおく。

テキスト	①バーナド・ウィリアムズ『生き方について哲学は何が言えるか』（ちくま学芸文庫） ②國分功一郎『暇と退屈の倫理学』（新潮文庫）
参 考 書	マイケル・サンデル『これからの「正義」の話をしよう』（ハヤカワ文庫） 品川哲彦『倫理学入門』（中公新書）
その他 特記事項	主体的な関心をもって授業に臨んで欲しい。分からない点や疑問がある場合は、どんどん質問してもらいたい。

科目名	SOC301:　平和と開発					担当教員	Thomas
開講期	秋	開講時限	火金５限			研究室	4211
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-⑤

キーワード	sustainable development, poverty eradication, universal education, gender equality, global partnership
授業の概要	This course deals in detail with the “Sustainable Development Goals (SDGs)” initiated by the United Nations Organization in the year 2015. It will cover the seventeen SDGs and one hundred sixty-nine targets and how they are built upon the “Millennium Development Goals” which ended in 2015. As part of assignments, students will be required to choose one of the seventeen goals and study how it is being implemented in one of the developing countries. Students are required to read the handouts beforehand and prepare for discussion in class.
達成目標（授業の目的）	The general goals of this course are (1) to study the tasks left behind by the MDGs after fifteen years of hard labor to eradicate extreme poverty and (2) to learn the relevance of SDGs in the next fifteen years for the world, (3) to do research on a particular issue related to SDGs in developing countries especially in Africa and Asia, and (4) to understand the interrelatedness of development and peace.
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will ・acquire a deeper understanding of the relevance and achievements of MDGs ・know the transition from MDGs to SDGs ・know the importance of MDGs and SDGs for the future of the world ・learn about the progress of SDGs ・increase their awareness of global issues especially in developing countries ・improve their ability to do research on issues related to peace and development ・learn to cooperate and contribute to group discussion and active class participation
評価方法	Class participation (40%), Reaction paper (20%), Presentation of SDGs (20%), Research report with presentation (20%)
評価基準	To be distributed at the first class.
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course, course materials, class policies, evaluation criteria	lecture, discussion, Q&A	read syllabus
2	Developed countries and developing countries, OCED, G8, G20, BRICS	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
3	What is development? Relation between development and peace	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
4	Introduction to Millennium Development Goals (MDGs), history of MDGs	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
5	Achievements of MDGs – Goals 1 - 4	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
6	Achievements of MDGs – Goals 5 - 8	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	From MDGs to Sustainable Development Goals (SDGs)	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
8	SDG 1: No poverty, presentation on SDG 1 by students	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
9	SDG 2: Zero hunger, presentation on SDG 2 by students	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
10	SDG 3: Good health and well-being, presentation on SDG 3 by students	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
11	SDG 4: Quality education, presentation on SDG 4 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
12	SDG 5: Gender equality, presentation on SDG 5 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
13	SDG 6: Clean water and sanitation, presentation on SDG 6 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
14	SDG 7: Affordable and clean energy, presentation on SDG 7 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
15	SDG 8: Decent work and economic growth, presentation on SDG 8 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
16	SDG 9: Industry, innovation and infrastructure, presentation on SDG 9 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
17	SDG 10: Reduced inequalities, presentation on SDG 10 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
18	SDG 11: Sustainable cities and communities, presentation on SDG 11 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
19	SDG 12: Responsible consumption and production, presentation on SDG 12 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
20	SDG 13: Climate action, presentation on SDG 13 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
21	SDG 14: Life below water, presentation on SDG 14 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
22	SDG 15: Life on land, presentation on SDG 15 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
23	SDG 16: Peace, justice and strong institutions, presentation on SDG 16 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
24	SDG 17: Partnerships for the goals, presentation on SDG 17 by students	lecture, reading, presentation, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
25	Research presentation by students (Group 1)	presentation, discussion, feedback, Q&A	prepare for research presentation
26	Research presentation by students (Group 2)	presentation, discussion, feedback, Q&A	prepare for research presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Research presentation by students (Group 3)	presentation, discussion, feedback, Q&A	prepare for research presentation
28	Challenges faced by SDGs: politics, international cooperation	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion

テキスト	Materials adapted from *The 2030 Agenda for Sustainable Development* and *The Sustainable Development Goals Report 2023* and *The Millennium Development Goals Report 2015* will be distributed in class.
参 考 書	Rorden Wilkinson and David Hulme (Eds.). *The Millennium Development Goals and Beyond* (Routledge).

科目名	IDS300:　デジタルメディアリテラシー					担当教員	B. Irwin
開講期	秋	開講時限	火金４限			研究室	4216
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-⑤

キーワード	Digital tools, social media, online citizenship, digital storytelling, YouTube
授業の概要	This course will cover 4 strands of digital media literacy related to digital environments, online interests, checking facts, and content creation. Handouts, videos, blogs, vlogs, and podcasts will be used to introduce basic concepts of digital media, information literacy, digital citizenship, media analysis, and digital media tools. Students will be required to conduct online research to make a presentation on a topic of interest and to create a digital storytelling project at the end of the semester.
達成目標（授業の目的）	The goal of this course is to encourage critical thinking, communication, and active online citizenship. Students will evaluate their relationship to technology and its impact in their lives. They will study about social media, digital citizenship, conducting online research, and creating and publishing online content. Students will also learn how to use various productivity apps to collaborate online, conduct research, store and organize data, and present ideas.
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will understand the role that digital media plays in their lives. They should be able to communicate effectively and appropriately in online spaces, using digital media tools to create, share, and collaborate on content. Students should also be able to analyze media messages by studying advertisements and other online content to understand how they are constructed, presented, and interpreted. Finally, students should be able to use online collaborative tools to share their thoughts and opinions and to conduct online research that avoids plagiarism and cites sources appropriately.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (20%); Presentation (20%) and Video project (30%).
評価基準	Participation and performance: students are expected to be actively participate in group and pair work; students will create collaborative online documents to share thoughts and opinions. Homework assignments: regular homework must be submitted in a timely manner; handouts that include advertisements, YouTube videos, and blogs will be provided for students to analyze and share what they have learned in pair work and groups discussions. Presentation: length, content, organization; Video project: content, thoughtfulness and creativity, digital media tool use.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction: syllabus, learning materials, class policies, and expectations	Self-introductions and pair work	Read syllabus, review schedule & textbook
2	The Digital World: My digital life; communication tools survey	Lecture, pair work, discussion	Read handouts, preview vocab., research online
3	The Digital World: Analyzing the internet; advantage and disadvantages	Lecture, pair work, discussion	Read handouts, preview vocab., research online
4	The Digital World: Downloading content; digital piracy	Lecture, pair work, discussion	Read handouts, preview vocab., research online
5	The Digital World: Respectful and responsible use; understanding plagiarism	Lecture, pair work, discussion	Read handouts, preview vocab., research online

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	The Digital World: Digital citizenship; rights and responsibilities	Lecture, pair work, discussion	Read handouts, preview vocab., research online
7	The Digital World: Personal safety concerns; cyberbullying and harassment	Lecture, pair work, discussion	Read handouts, preview vocab., research online
8	The Digital World: Responding to harmful situations; online scams	Lecture, pair work, discussion	Read handouts, preview vocab., research online
9	Online interests: Understanding digital content; using Google Forms	Lecture, pair work, discussion	Read handouts, preview vocab., research online
10	Online interests: Visual representations of data; creating charts	Lecture, pair work, discussion	Read handouts, preview vocab., research online
11	Online interests: Publishing; advantages and disadvantages	Lecture, pair work, discussion	Read handouts, preview vocab., research online
12	Online interests: Searching and evaluating; references and citations	Lecture, pair work, discussion	Read handouts, preview vocab., research online
13	Online interests: Evaluating research; CARRDSS assessments	Lecture, pair work, discussion	Read handouts, preview vocab., research online
14	Online interests: Expression through digital images; Google images	Lecture, pair work, discussion	Read handouts, preview vocab., research online
15	Online interests: Image and video manipulation; deep fake videos	Lecture, pair work, discussion	Read handouts, preview vocab., research online
16	PowerPoint / Google Slides Presentations	Presentations	Prepare for presentations
17	PowerPoint / Google Slides Presentations	Presentations	Prepare for presentations
18	Checking facts: Digital media formats; types and purposes	Lecture, pair work, discussion	Read handouts, preview vocab., research online
19	Checking facts: Media formats; understanding audience	Lecture, pair work, discussion	Read handouts, preview vocab., research online
20	Checking facts: Converting formats; blogs and vlogs	Lecture, pair work, discussion	Read handouts, preview vocab., research online
21	Checking facts: Looking for bias; fake / real news	Lecture, pair work, discussion	Read handouts, preview vocab., research online
22	Checking facts: Internet ownership; content creators	Lecture, pair work, discussion	Read handouts, preview vocab., research online
23	Content creation: Digital media in society; politics in social media	Lecture, pair work, discussion	Read handouts, preview vocab., research online
24	Content creation: Social media and me; social networks	Lecture, pair work, discussion	Read handouts, preview vocab., research online
25	Content creation: Online rights; humans rights	Lecture, pair work, discussion	Read handouts, preview vocab., research online
26	Content creation: Expressing myself online; sharing using YouTube	Lecture, pair work, discussion	Read handouts, preview vocab., research online
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Video project submission; sharing Digital Storytelling videos	Sharing video projects in class	Prepare video project
28	Course feedback; self-reflection	Lecture and self-reflection activity	Prepare self-reflection activity

テキスト	No textbook (Handouts including online resources, YouTube videos, news articles, and social media posts will be provided by the instructor)
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	LIT323:　イギリスの文化と文学					担当教員	山本　浩
開講期	春	開講時限	月木５限			研究室	4212
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	イギリスの４つの国、英語、階級、教育、キリスト教、芸術、メディア、食文化
授業の概要	イギリス（連合王国）を構成している England, Scotland, Wales, Northern Ireland とその民族、England の言語である英語の歴史と特徴、イギリス社会の中で階級がもつ意味、イギリスの初等・中等教育と高等教育の歴史と現在、イギリスのキリスト教の歴史、イギリスの芸術（とくに美術と演劇）、イギリスの新聞と放送の特徴、イギリスの食事と紅茶文化について学び、同時に、それに関連した文学作品を読む。
達成目標（授業の目的）	イギリスと英語を理解するために、イギリスの文化のいろいろな面について学び、イギリスがどのような国であり、英語がどのような言語であるかが分かるようになることを目的とする。
到達目標（学修成果）	イギリスの 4 つの国とその民族、英語の成り立ち・発展・現状、イギリス社会の階級、イギリスの教育、イギリスのキリスト教、イギリスの芸術、イギリスのメディア、イギリスの食文化について十分な理解があり、また、イギリス文学の中でそれらがどのように扱われているかを作品を通して理解できるようになっていることを到達目標とする。
評価方法	テストおよび定期試験　50% 小論文　30% 授業への積極参加　20%
評価基準	テストおよび定期試験：授業で取り上げた４つの国、英語の歴史、階級、教育、キリスト教、芸術、メディアなどの基本的な事柄をよく理解しているかを見る。 小論文：課題に沿った内容であるか、よく考えられた議論を展開しているかを見る。 授業への積極参加：授業での質問・発言・意見表明など（リアクション・ペーパーの記述を含む）を積極的に行なったかを見る。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	イギリスの４つの国と民族（古代～中世）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
2	イギリスの４つの国と民族（近代～現代）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
3	イギリスの４つの国についての評論文	"Being British"の講読と研究	事前に"Being British"を読む
4	英語の歩み（Old English から Middle English へ）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
5	英語の歩み（Middle English から Modern English へ）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
6	OE、ME、ModE の実例	OE, ME, ModE の「主の祈り」を読む	事前に「主の祈り」（日本語および現代英語）を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	イギリス社会の階級（階級とは何か）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
8	イギリス社会の階級（階級と英語）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
9	D. H. Lawrence, *Sons and Lovers* に見られる階級	*Sons and Lovers* の抜粋の講読と研究	事前に *Sons and Lovers* の翻訳を読む
10	テスト（55 分）と 1 回～9 回の授業の復習（45 分）	テスト実施と復習	テストの準備学習をする
11	テストのふりかえり	テストの返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
12	イギリスの教育（初等・中等教育）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
13	イギリスの教育（高等教育）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
14	Roald Dahl, *Boy* に見られるイギリスの教育	Roald Dahl, *Boy* の講読と研究	事前に *Boy* の翻訳を読む
15	イギリスのキリスト教（古代～中世）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
16	イギリスのキリスト教（宗教改革～現代）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
17	Graham Greene, *The End of the Affair* に見られるキリスト教	*The End of the Affair* の講読と研究	事前に *The End of the Affair* の翻訳を読む
18	イギリスの芸術（美術）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
19	イギリスの芸術（演劇）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
20	イギリス演劇の一例として Harold Pinter, *Family Voices* を読む	*Family Voices* の講読と研究	事前に *Family Voices* の翻訳を読む
21	テスト（55 分）と 12 回～20 回の授業の復習（45 分）	テスト実施と復習	テストの準備学習をする
22	テストのふりかえり	テストの返却、および解説と質疑応答	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
23	イギリスのメディア（新聞）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
24	イギリスのメディア（ラジオ・TV）	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
25	イギリスの食文化	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
26	George Orwell, "A Nice Cup of Tea" を読む	"A Nice Cup of Tea"の講読と研究	事前に "A Nice Cup of Tea" の翻訳を読む
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	定期試験のふりかえり	定期試験の返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
28	小論文の講評	小論文を返却し講評する	返却された小論文を読み直す

テキスト	とくに使用しない。受講する学生は事前にパワーポイントのファイルをダウンロードして、授業前によく読んでおくこと。授業には、ファイルをプリントしたものを持参すること。
参 考 書	『イギリス文化事典』（丸善出版）

科目名	LIT310:　英詩研究					担当教員	飯田　純也
開講期	秋	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	詩、詩人、モラル、ダンテ、煉獄、死者の声、戦争、平和、内戦、虐殺、イデオロギー
授業の概要	詩は人類が学んだ教訓を記憶に刻む。詩とは何か踏まえた上で、次に世界の詩人に影響を与えたイタリアの詩人ダンテの代表作『神曲』を概観する。そして最後、極限状況で詩を書いた世界の詩人たちの詩を英語訳で読み、あらためて詩とは何か問う。最終的に各自小論文 no. 1-3 でまとめた内容を振り返り、期末レポート（4,000 字以上）を提出する。
達成目標（授業の目的）	授業の目標は、差別、迫害、暴力、戦争という時代背景を批判的に分析しながら、詩のテキストの中に忘れてはならない教訓を読み取り、自分のことばで表現する語学力と思考力の獲得である。
到達目標（学修成果）	1. 英語文化圏を代表する詩人の作品を分析、批判、評価することができる。 2. 作品が描く歴史的・社会的問題や課題を理解することができる。 3. 作品で扱われている諸問題を人文科学、社会科学の視点から考えることができる。 4. 問題意識をもって詩を読む習慣ができる。 5. 議論をまとめる能力を身につけることができる。
評価方法	①小論文、作品の背景を理解した上で、作品を分析、批判、評価できているか、計 40% ②発表と期末レポート、何が問題か理解できているか、問題を分析し、根拠を上げ、自分の文章で論述しているか、発表 10%、期末レポート 30% ③シャトルカード、問題意識をもって映画を見る習慣ができているか、計 20%
評価基準	詳細は初回授業時に説明する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	授業紹介 Poetry in *In Her Shoes* (2005 movie)	講義、DVD 視聴	課題 DVD 資料の準備
2	Poetry poems: Pablo Neruda, Marianne Moore, William Carlos Williams, Seamus Heaney, etc.	講義、DVD 視聴、質疑応答	課題 DVD 資料の準備
3	Poetry poems: John Donne, Andrew Marvell, Robert Herrick, John Keats, Wallace Stevens	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
4	Long poems vs short poems: Imagist poems, etc.	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
5	Ezra Pound: poems from *Cathay*, etc.	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
6	Poems in sequence: Charles Baudelaire, Emily Dickinson, W. B. Yeats, Pound, etc.	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
7	T. S. Eliot: “The Love Song of J. Alfred Prufrock”; Pound: “Hugh Selwyn Mauberley”	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Eliot: *The Waste Land*	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
9	Dantesque poems: Geoffrey Chaucer, Percy Bysshe Shelley, George Gordon Byron, etc.	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
10	Dantesque poems: Robert Browning, Dante Gabriel Rossetti, Yeats, Heaney, etc.	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
11	総括	ディスカッション	小論文 no. 1 の準備（提出は次回授業時）
12	ダンテ講義①『神曲』全体の枠組 *Inferno* 1-2, *Paradiso* 31-33	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
13	ダンテ講義②『地獄編』リンボの異教徒アリストテレス　*Inferno* 4-5, 10, 13	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
14	ダンテ講義③『地獄編』裏切りは何を裏切るか　*Inferno* 19, 26, 33	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
15	ダンテ講義④『煉獄編』罪人は救われるか *Purgatorio* 1, 3, *Paradiso* 3	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
16	ダンテ講義⑤『煉獄編』わけるよりあわせる　*Purgatorio* 21-30	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
17	ダンテ講義⑥『天国編』哲学のあるべき雛形　*Paradiso* 10-13	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
18	ダンテ講義⑦『天国編』政治のあるべき雛形　*Paradiso* 14-20	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
19	ダンテ講義⑧『神曲』聖戦を戦わない皇帝フェデリコ　十字軍をめぐる教皇 vs 皇帝	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
20	ダンテ講義⑨『神曲』三つの比喩 天空、生命、音楽	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
21	ダンテ講義⑩『神曲』総括	ディスカッション	小論文 no. 2 の準備（提出は次回授業時）
22	詩集 *Against Forgetting* の詩を読む（1） 個人研究の案内（研究倫理等）	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
23	詩集 *Against Forgetting* の詩を読む（2） Poems from “The Holocaust”	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
24	詩集 *Against Forgetting* の詩を読む（3） Poems from “World War II”	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
25	詩集 *Against Forgetting* の詩を読む（4） Poems from “War in Korea and Vietnam”	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
26	詩集 *Against Forgetting* の詩を読む（5） Poems from other chapters	ディスカッション	小論文 no. 3 及び期末レポート準備（提出は次回授業時）
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	詩の朗読会 シャトルカードの返却	朗読	期末レポート提出
28	期末レポートの返却と講評	講義、グループ討論	シャトルカードの読み返しと学修内容の振り返り

テキスト	Carolyn Forché (ed.). *Against Forgetting: Twentieth-Century Poetry of Witness* (W. W. Norton). 詩のテキスト及び資料を随時配布する
参 考 書	Dante Alighieri. *Divine Comedy* (Chartwell Books).

科目名	LIT321:　小説研究					担当教員	永野　良博
開講期	秋	開講時限	月木５限			研究室	4218
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	英米小説、小説技法、批評理論、社会参加、疎外、排除、英文読解、口頭発表、論文作成
授業の概要	小説技法と批評理論への理解を深め、小説の主題として共同体や社会への参加、そこからの疎外や排除の問題を扱う。小説技法としてプロット、語り手、時間、性格、アイロニー、異化などを学び、批評理論として、ジャンル論、脱構築、精神分析、ジェンダー、マルクス主義、ポストコロニアリズム、新歴史主義などを学ぶ。扱う小説は、Mary Shelley 作 *Frankenstein*、John Steinbeck 作 *Of Mice and Men*、及び J.D. Salinger 作 *The Catcher in the Rye*。
達成目標（授業の目的）	基本的な小説技法と批評理論を理解し、それらを基に日々議論を行い、各自が小説に関する独自の論を発展させることが主な目的である。小説の読解を通じて創造的な文章の理解力を高め、第二次資料の読解を通じて、分析的、論理的、批判的な文章への理解力を高める。そして文学研究上重要な用語、概念、研究法に慣れ親しみ、小説に見出した問題を共同体や社会への参加やそこからの疎外や排除という問題と結び付け、研究上の主題を設定し、意見を発表し、議論を発展させる力を養う。また小説に関する論文作成力を身に付ける。
到達目標（学修成果）	学期前半で小説技法と批評理論に関する用語と概念の基本的な意味を理解し、それを学期が進む中で小説の分析に応用出来る。小説の比喩的な言語を理解し、人間の心、対話、行動、社会状況について独自の洞察を含む読解が出来る。主題として社会参加に問題を抱える人物と彼等を取り巻く状況を理解出来る。口頭発表では作品の英文と内容理解を基に自らの意見を明確に述べ、論文作成では小説研究の基本的方法を理解し独自の論を発展出来る。
評価方法	授業参加（30%）、発表（30%）、論文（40%）
評価基準	日々の授業参加では、小説技法と批評理論の基本事項を理解し、また小説の内容を正確に理解し、自らの想像力を駆使して得た洞察を含む意見を明確に述べることが求められる。口頭発表では、小説と第二次資料の内容の重要な点を適切に判断し理解した上で文章にまとめ、その上で自らの意見を明確で論理的に述べることが重要である。また第一次資料から選んだ英文について、語彙、文法、意味の解説を的確に行うことが出来ること。論文作成では、自分が研究対象として選んだ小説一作品を英語で読み、その内容に関して授業で扱った文学研究のアプローチを活用しながら、自ら設定した主題を明確に説明し、それを論理性と構成力を持って発展させ、意義ある結論に到達することが重要である。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	【小説技法導入】ストーリーとプロット 【小説作品導入】M. Shelley, *Frankenstein*	講義、議論	『批評理論入門』pp. 4-21 *Frankenstein* 第 1 巻
2	ストーリー、プロット、サスペンス 冒険家の手紙、生い立ち、母の死	講義、議論	『批評理論入門』pp. 4-21 *Frankenstein* 第 1 巻
3	語り手、枠物語、語り手の人称と信頼性 科学への傾倒、生命の根源への興味	講義、議論	『批評理論入門』pp. 22-33 *Frankenstein* 第 1 巻
4	焦点化、外的焦点化、内的焦点化 人造人間の制作、傲慢さがもたらすもの	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』pp. 34-47 *Frankenstein* 第 1 巻
5	提示と叙述、時間、速度 人造人間、醜悪さの他者性とその拒絶	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』pp. 48-62 *Frankenstein* 第 1 巻
6	性格描写、アイロニー、声 弟の死、召使の死	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』pp. 63-80 *Frankenstein* 第 1 巻

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	イメージャリー、反復、異化 憎悪、復讐、怪物の孤独	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』pp. 81-94 *Frankenstein* 第 2 巻
8	間テクスト性、メタフィクション、結末 他者への偏見、共同体からの排除	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』pp. 95-112 *Frankenstein* 第 2 巻
9	【批評理論】伝統、ジャンル、読者反応 呪われし存在、伴侶の希求	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』pp. 113-142 *Frankenstein* 第 2 巻
10	脱構築、精神分析 新たな人造人間の制作とその解体	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』pp. 143-168 *Frankenstein* 第 3 巻
11	フェミニズム、ジェンダー、マルクス主義 怪物の復讐、花嫁の死、怪物の追跡	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』pp. 169-190 *Frankenstein* 第 3 巻
12	文化批評、ポストコロニアリズム 北極への旅、怪物の独白、孤独	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』pp. 191-217 *Frankenstein* 第 3 巻
13	新歴史主義、文体論、透明な批評 *Frankenstein* まとめ	講義、発表、質疑応答、議論	『批評理論入門』pp. 218-235 *Frankenstein* 第 3 巻
14	【小説作品導入、技法と理論応用】 *Of Mice and Men* 社会参加、社会不適合者の生	講義、発表、質疑応答、議論	*Of Mice and Men* 第 1-2 章 『批評理論入門』選択箇所
15	自律性、動物と人間の生の尊厳、生命剥奪、土地所有、人種差別、権利剥奪	講義、発表、質疑応答、議論	*Of Mice and Men* 第 3-4 章 『批評理論入門』選択箇所
16	社会不適合者と女性の抑圧、殺人、逃亡、友人の殺害、夢の崩壊	講義、発表、質疑応答、議論	*Of Mice and Men* 第 5-6 章 『批評理論入門』選択箇所
17	*Of Mice and Men* まとめ 小説技法と批評理論応用まとめ	講義、発表、質疑応答、議論	*Of Mice and Men* 第 1-6 章 『批評理論入門』選択箇所
18	【小説作品導入、技法と理論応用】*The Catcher in the Rye*　追放、虚偽的社会の拒絶	講義、発表、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 1-3 章 『批評理論入門』選択箇所
19	隣人との関係、貧富の差、虚偽の友情、自己愛、嫉妬、弟の死、トラウマ	講義、発表、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 4-6 章 『批評理論入門』選択箇所
20	孤独、偽りの誠実さ、止まらない嘘、電話での繋がり、夜のホテル	講義、発表、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 7-9 章 『批評理論入門』選択箇所
21	妹との繋がり、他者への敬意の欠如、未成熟な異性への感情、虚偽的な夜の世界	講義、発表、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 10-12 章 『批評理論入門』選択箇所
22	売春、恐喝、階級差の認識、宗教に関する考察	講義、発表、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 13-15 章 『批評理論入門』選択箇所
23	深まる鬱状態、子供達との繋がり、役者の虚偽性、恋人、嫉妬、階級差と劣等感	講義、発表、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 16-18 章 『批評理論入門』選択箇所
24	精神治療、孤独と鬱状態、家への帰還、妹との対話	講義、発表、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 19-21 章 『批評理論入門』選択箇所
25	妹との対話、友人の自殺、父の仕事、教師との対話、転落の予感、同性愛	講義、発表、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 22-24 章 『批評理論入門』選択箇所
26	西部移住の空想、クリスマス、再生の可能性	講義、発表、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 25-26 章 『批評理論入門』選択箇所
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	*The Catcher in the Rye* まとめ 小説技法と批評理論応用まとめ	講義、発表、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 1-26 章 『批評理論入門』pp. 4-235
28	論文概要発表	発表、質疑応答	論文概要作成

テキスト	1 廣野由美子『批評理論入門』（中公新書） 2 メアリー・シェリー『フランケンシュタイン』芦澤恵訳（新潮文庫） 3 ジョン・スタインベック『ハツカネズミと人間』大浦暁生訳（新潮文庫） 4 J.D. サリンジャー『ライ麦畑でつかまえて』野崎孝訳（白水 U ブックス） （上記 2～4 の小説の内で英語原書一冊を加える）

科目名	LIT322:　映画と文学					担当教員	飯田　純也
開講期	春	開講時限	火金２限			研究室	４号館２階　講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	歴史、教訓、社会、戦争、反戦、虐殺、差別、SF、ユートピア、プロパガンダ、ゲーム
授業の概要	映画と文学を物語として捉え、映画作品において、われわれの世界がどのように物語られているのか探求する。名作とされるものを多く取り上げ、作品の内容を理解する語学力、作品が取り上げる問題を分析、批判、議論する思考力を身につける。
達成目標（授業の目的）	授業では毎回、映画作品を取り上げ、物語の内容を理解する語学力と、物語が描く「世界」「社会」「人間」を分析的、批判的、論理的に説明する思考力の獲得を目標とする。
到達目標（学修成果）	1. 映画を物語として分析、批判、評価することができる。 2. 映画が描く現代の問題や課題を理解することができる。 3. 映画で扱われている諸問題を人文科学、社会科学の視点から考えることができる。 4. 問題意識をもって映画を見る習慣ができる。 5. 映画を語学教材として活用する習慣ができる。
評価方法	①小論文では、作品の背景を理解した上で、作品を分析、批判、評価できているか、評価（計 40%） ②発表と定期試験では、何が問題か理解できているか、問題を分析し、根拠を上げ、自分の文章で論述しているか、評価（発表 10%、定期試験 30%、計 40%） ③シャトルカード（SC）では、問題意識をもって映画を見る習慣ができているか、評価（計 20%）
評価基準	詳細は初回授業時に説明する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to Film and Literature *Hugo* (2011)	講義、質疑応答、ペアワーク、グループ討論	課題リストを基に DVD の入手先を各自検討
2	discussion: *Hugo* *Cinema Paradiso* (1988)	講義、質疑応答、ペアワーク、グループ討論	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
3	discussion: *Cinema Paradiso* Chaplin: *The Kid*, *Modern Times*, etc.	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
4	discussion: *The Kid*, *Modern Times*, etc. Chaplin: *The Great Dictator* (1940)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
5	discussion: *The Great Dictator*	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	発表等準備、小論文 No. 1 の準備（提出は次回授業時）
6	Drama: *What's Eating Gilbert Grape*, *Rain Man*, *I Am Sam*, etc.	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
7	discussion: *WEGG*, *RM*, *IAS*, etc. Drama: *The Theory of Everything* (2014)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	discussion: *The Theory of Everything* Epic: *War and Peace*, *Doctor Zhivago*	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
9	discussion: *WAP*, *DZ* Epic: *Dances with Wolves*, *Legends of the Fall*	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
10	discussion: *DWW*, *LOTF* Epic: *Les Misérables* (2012)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
11	discussion: *Les Misérables*	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	発表等準備、小論文 No. 2 の準備（提出は次回授業時）
12	SF: *Metropolis*, *2001: A Space Odyssey*, *The Time Machine*, *The War of the Worlds*, *Avatar*	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
13	discussion: SF films	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
14	Dystopia: *The Hunger Games* trilogy (2012, 2013, 2014, 2015)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
15	discussion: *The Hunger Games* trilogy	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	発表等準備、小論文 No. 3 の準備（提出は次回授業時）
16	War: *The Cold Mountain*, *The Red Baron, A Bridge Too Far*, *Nuremberg*, *Joyeux Noël*	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
17	War: *Thirteen Days* (2000) discussion: *Thirteen Days*	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
18	Propaganda: Eisenstein, Griffith, Riefenstahl *Welcome to Sarajevo* (1998)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
19	discussion: Propaganda, *Welcome to Sarajevo* Introduction to independent research	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	発表等準備、小論文 No. 4 の準備（提出は次回授業時）
20	Music: *The Sound of Music*, *Amadeus*, *The Phantom of the Oper*a, *La La Land*, etc.	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
21	discussion: Music films	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
22	Race: *The Color Purple* (1985), *12 Years a Slave* (2013)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
23	Marriage: *Pride and Prejudice* (1995), *Bridget Jones* film series (2001, 2004)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
24	Fantasy: *Harry Potter*, *Star Wars*, *The Lord of the Rings* film series	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
25	Japanese films: Kurosawa (*Seven Samurai*, etc.), Ozu (*Tokyo Story*, etc.)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
26	Japanese films: Miyazaki (*Princess Mononoke*, *Ponyo*, *From Up on Poppy Hill*, etc.)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	発表等準備、小論文 No. 5 の準備（提出は定期試験時）
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	Romance: *Pretty Woman*, *50 First Dates*, *P.S. I Love You*, *The Notebook*	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
28	定期試験と SC の返却と講評	講義、ペアワーク、ディスカッション	SC の読み返しと学修内容の振り返り

テキスト	テキストは使用しません。授業ごとに資料を用意して配布します。
参 考 書	Robert Sklar. *A World History of Film* (2003); Jill Nelmes. *Introduction to Film Studies* (2011); Edward Bernays. *Propaganda* (2005); Timothy Corrigan. *Film and Literature: An Introduction and Reader* (2012)
その他 特記事項	この授業では世界史の知識が前提となるので、高校世界史を復習すること

科目名	LNG310:　社会言語学					担当教員	神谷　雅仁
開講期	春	開講時限	月木５限			研究室	4215
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	言語コミュニティー、社会・地域方言、多言語主義、Politeness、言語と文化、言語政策
授業の概要	本講は言語学の中でも社会言語学と呼ばれる分野の入門編という位置付けのもと、言語をそれが使われる社会との関係から考察していく。各単元の学修内容は言語選択やポライトネス理論、社会方言など社会言語学の中でも中核を成す内容を中心に構成される。授業はテキストの内容をまとめたレジュメ、および関連する内容についての様々な資料を用い、講義形式で進められる。また、理解定着のため必ず単元ごとに既習内容の review を行う。
達成目標（授業の目的）	本講で対象となる言語社会は多くの学生にとっての母語である日本語社会、および様々な英語圏の国・地域で使用される英語のコミュニティーが中心となるが、ヨーロッパやアジアなど、その他の地域に関する言語状況などについても概観する。そのため、学生は人が社会の中でどのように言葉を選択し、それを使用しているかについて幅広い、グローバルな視点に立って考えることができるようになる。
到達目標（学修成果）	上記の達成目標のもと、学生は言語使用や言語のバリエーションに関する様々な概念や理論に触れ、日本語や英語、また他の言語が各言語コミュニティーの中でどのような状況に置かれているのかについて、客観的に認識できるようになる。同時に自らの言語生活を振り返ることで、いつどこでどのような言葉を使っているか、そして自らの母語（および第二言語）がどのように自らのアイデンティティー形成に関与しているかなどについても考察することができるようになる。
評価方法	▸中間試験（30%）、▸定期試験（40%）、▸Research Assignment（20%）、▸授業参加度（10%）
評価基準	▸中間試験、および定期試験（客観式）：試験までの学修内容について、用語、概念、理論的枠組みなどが言語例とともに理解され、定着しているかを問う。※中間試験は前半のみの内容が、定期試験は後半のみの内容がそれぞれ試験範囲となる。 ▸Research Assignment：学期を通して学ぶいくつかのテーマには、それをさらに学生が自ら調べ、まとめるという課題が課せられる。これらの課題は期限内に提出されたかどうかに加え、①指示通りに調べたことがまとめられているか、②それを自分自身の言語観や日々の言語生活、また経験に照らし合わせ、より深く議論できているかによって評価される。 ▸授業参加度：受講態度や授業内での積極的・自発的な発言、またグループ活動への参加などがトータルに判断される。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview & What is language? 本講の概観＆言語とは何か	講義、グループワーク、ディスカッション	テキストのまえがきを読む 言葉について考える
2	What is Linguistics? 言語学という分野を概観する	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 1）、レジュメの予習・復習
3	What is Sociolinguistics? 社会言語学という分野を概観する	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 1）、レジュメの予習・復習
4	Multilingualism 多言語社会	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 2）、レジュメの予習・復習
5	Diglossia & Domain 2 言語併存の状況	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 2）、レジュメの予習・復習
6	Code-switching: Why do we code-switch? なぜコードスイッチするのか	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 2）、レジュメの予習・復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Code-switching: How do we code-switch? どのようにコードスイッチするのか	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.2）、 レジュメの予習・復習
8	Language death: “Ainu Rebels” 言語の死：“Ainu Rebels”	講義、ディスカッション、DVD 視聴	テキストを読む（ch.2）、 レジュメの予習・復習
9	Language death 言語の死：絶滅危惧言語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.2）、 レジュメの予習・復習
10	Pidgin and Creole　ピジン語とクレオール語：その背景と特徴	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.2）、 レジュメの予習・復習
11	Pidgin and Creole　ピジン語とクレオール語：広がりと言語的発達　前半のまとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、 前半の振り返り
12	Regional variations: dialects in America アメリカの地域方言　前半のまとめとテスト準備	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、 レジュメの予習・復習
13	Mid-term Test 中間試験　Regional variations: language & dialect 言語と方言	講義、ディスカッション、質疑応答	前半内容の復習、 テキストを読む（ch.3）
14	Test review 試験結果の返却と解説　Regional variations: language & dialect 言語と方言続き	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、 レジュメの予習・復習
15	World Englishes: 国際語としての英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、 レジュメの予習・復習
16	Social variations: Studies by Labov 社会方言：Labov の調査研究	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、 レジュメの予習・復習
17	Social variations: social class 社会方言：社会階級	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、 レジュメの予習・復習
18	Social variations: genderlect 社会方言：性別による言語使用	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、 レジュメの予習・復習
19	Social variations: ethnicity and age / generation 社会方言：人種・民族、年齢・年代	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、 レジュメの予習・復習
20	Audience Design and Accommodation Theory オーディエンス・デザインとアコモデーション	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.4）、 レジュメの予習・復習
21	Politeness: Its background ポライトネス：言語学的、語用論的背景	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.4）、 レジュメの予習・復習
22	Politeness: B &L’s politeness ポライトネス：ブラウン＆レビンソン	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.4）、 レジュメの予習・復習
23	Sexist language use 性差別的言語使用	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.5）、 レジュメの予習・復習
24	Cross-cultural Communication: Culture & Context　異文化コミュニケーション：文化	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.5）、 レジュメの予習・復習
25	Cross-cultural Communication: Sapir-Whorf Hypothesis　サピア＝ウォーフ仮説	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.5）、 レジュメの予習・復習
26	Language policy & Planning 言語政策と計画 後半のまとめとテスト準備	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.5）、 レジュメの予習・復習
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	Think about language and identity 言語とアイデンティティーについて考える	講義、ディスカッション、質疑応答	関連する配布物の予習
28	Test review 定期試験の返却、および解説 Course review 全体のまとめ	講義、質疑応答	テスト問題の見直し

テキスト	東照二（著）『社会言語学入門』（研究社）
参 考 書	飯野公一ほか（著）『新世代の言語学』（くろしお出版） Wardhaugh, R. *An Introduction to Sociolinguistics* (Blackwell).
その他 特記事項	本講の履修には「言語学概論」が履修済みか、同時履修している、あるいは言語系のゼミナールに所属していることが望ましい。どれにも該当しない場合には、担当教員と要相談。

科目名	LNG305:　音声学					担当教員	奥澤　萌
開講期	秋	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	英語の音素，音響音声学，Praat
授業の概要	本講義は主に次の 2 点から構成される：1）講師による指定教科書に沿った英語音声学の基礎に関する説明（動画・音声を併用）。2）英語母語話者や日本語母語話者の英語の音声を講師と履修生とで客観的に観察・分析・考察する（PC やフリーの音声解析ソフトなどを使用）。
達成目標（授業の目的）	本講義の主な目的は下記 3 点である： ・音声学の基礎的な知識を獲得すること ・自分の英語の発音を客観的に観察・記述・変容させること ・英語母語話者らしく発音するにはどうすればよいのか一人で考えるだけではなく履修生同士で実践・ディスカッションすること
到達目標（学修成果）	履修生は本講義を受講し課題に取り組むことによって学期末までに下記 5 点が可能となる： ・英語の音素（子音・母音）の英語母語話者らしい発音を理解すること ・自分の英語の発音を客観的に確認・比較・変容させること ・英語の音素を英語母語話者らしく発声する方法について他者に説明すること ・音声解析ソフト Praat と表計算ソフト Excel の基本的な操作方法を習得すること ・科学レポートの書き方・読み方を習得すること
評価方法	・レポート（1 回 / 週）：約 50% ・スライドの作成及びプレゼンテーション：約 50%
評価基準	本講義の全ての到達目標を達成するために，履修生は「レポートの作成・提出（1 回 / 週）」及び「スライドの作成・提出・プレゼンテーション（3 回程度 / 学期）」が求められる。講師は初回講義及び適宜，課題の作成方法や明確な評価基準を履修生に提示する。採点は，基準が満たされている場合は満点（+α あり），不足に伴い減点とする。なお，各課題に対する採点結果やコメントは Moodle（個別）及び次回講義（全体）で行う。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス （授業の概要，目的，評価方法などについて）	講義	予習: シラバスを読む 復習: 講義資料を確認
2	英語の音素 音声解析フリーソフト“Praat”について	講義・演習・グループワーク	予習: 教科書を読む（pp.3-13） 復習: レポートの作成
3	英語の母音（短母音）	講義・演習・グループワーク	予習: 教科書を読む（pp.65-78） 復習: Praat で音声を視聴
4	エクササイズ 短母音を観察してみよう	講義・演習・グループワーク	予習: 自分の音声を録音 復習: レポートの作成
5	英語の母音（長母音）	講義・演習・グループワーク	予習: 教科書を読む（pp.79-87） 復習: Praat で音声を視聴
6	エクササイズ 長母音を観察してみよう	講義・演習・グループワーク	予習: 自分の音声を録音 復習: レポートの作成
7	第 1 回プレゼンテーション（前半）	発表・ディスカッション	予習: スライド作成 復習: コメント確認

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	第 1 回プレゼンテーション（後半）	発表・ディスカッション	予習: スライド作成 復習: コメント確認
9	英語の二重母音	講義・演習・グループワーク	予習: 教科書を読む (pp.88-101) 復習: Praat で音声を視聴
10	エクササイズ 英語の二重母音を観察してみよう	講義・演習・グループワーク	予習: 自分の音声を録音 復習: レポートの作成
11	英語の弱母音	講義・演習・グループワーク	予習: 教科書を読む (pp.102-108) 復習: Praat で音声を視聴
12	エクササイズ 英語の弱母音を観察してみよう	講義・演習・グループワーク	予習: 自分の音声を録音 復習: レポートの作成
13	英語の子音（1）閉鎖音	講義・演習・グループワーク	予習: 教科書を読む (pp.15-30) 復習: Praat で音声を視聴
14	エクササイズ 閉鎖音を観察してみよう	講義・演習・グループワーク	予習: 自分の音声を録音 復習: レポートの作成
15	第 2 回プレゼンテーション（前半）	発表・ディスカッション	予習: スライド作成 復習: コメント確認
16	第 2 回プレゼンテーション（後半）	発表・ディスカッション	予習: スライド作成 復習: コメント確認
17	英語の子音（2）摩擦音	講義・演習・グループワーク	予習: 教科書を読む (pp.31-44) 復習: Praat で音声を視聴
18	エクササイズ 摩擦音を観察してみよう	講義・演習・グループワーク	予習: 自分の音声を録音 復習: レポートの作成
19	英語の子音（破擦音・鼻音・側音）	講義・演習・グループワーク	予習: 教科書を読む (pp.45-56) 復習: Praat で音声を視聴
20	エクササイズ 破擦音・鼻音・側音を観察してみよう	講義・演習・グループワーク	予習: 自分の音声を録音 復習: レポートの作成
21	英語の半母音	講義・演習・グループワーク	予習: 教科書を読む (pp.57-63) 復習: Praat で音声を視聴
22	エクササイズ 半母音を観察してみよう	講義・演習・グループワーク	予習: 自分の音声を録音 復習: レポートの作成
23	英語の音節・アクセントなど	講義・演習・グループワーク	予習: 教科書を読む (pp.109-134) 復習: Praat で音声を視聴
24	エクササイズ 英語の音節や音の脱落，アクセント等を観察	講義・演習・グループワーク	予習: 自分の音声を録音 復習: レポートの作成
25	英語のリズム・イントネーション	講義・演習・グループワーク	予習: 教科書を読む (pp.135-149) 復習: Praat で音声を視聴
26	エクササイズ 英語のリズムやイントネーションを観察	講義・演習・グループワーク	予習: 自分の音声を録音 復習: レポートの作成
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	第 3 回プレゼンテーション（前半）	発表・ディスカッション	予習: スライド作成 復習: コメント確認
28	第 3 回プレゼンテーション（後半）	発表・ディスカッション	予習: スライド作成 復習: コメント確認

テキスト	竹林滋 / 清水あつ子 / 斎藤弘子『改訂新版 初級 英語音声学』（大修館書店）
参 考 書	北原真冬 / 田嶋圭一 / 田中邦佳『音声学を学ぶ人のための Praat 入門』（ひつじ書房） 川原 繁人『ビジュアル音声学』（三省堂）

科目名	LNG330:　日本語学					担当教員	大山　美佳
開講期	秋	開講時限	火 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	日本語の構造、日本語の特徴、日本語教育文法
授業の概要	日本語の仕組みについて、音韻、頭語、形態、運用面から概説する。日本語の母音や子音の種類と分布の特徴、アクセントの型、動詞の活用、敬語や授受表現などの日本語らしい表現、若者言葉や言語変化について学ぶ。授業では、毎回ディスカッションやワークの時間を設け、文法の暗記ではなく学生自らで日本語の構造を考えていく。
達成目標（授業の目的）	日本語の言語学的な構造を理解するとともに、日本語学習者から見た日本語の構造を理解し、説明する知識を身に付けることを目的とする。
到達目標（学修成果）	高校まで習ってきた学校文法とは異なる文法へのアプローチを身に付け、日本語を一つの言語として客観的に捉えられるようになる。言語使用の語用論的な違い、世代差や地域差などを分析し、データや例文を提示しながら記述できるようになる。
評価方法	①　授業への積極的な参加　30% ②　中間試験　30% ③　定期試験　40%
評価基準	①　授業への積極的な参加：授業内のディスカッションに積極的に参加し、発言や発表をしているか。リアクションペーパーを提出しているか。 ②　中間試験：高校まで習ってきた学校文法とは異なる文法を理解しているか。 ③　定期試験：日本語を一つの言語として客観的に捉え、日本語の言語使用をデータや例文を提示しながら記述できるかどうか。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	日本語の音と形：発音の仕組み、特殊拍	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 2-7 頁を読んで、要点をノートにまとめる。
2	日本語の音と形：五十音、音素と異音、アクセント、短縮語	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 8-20 頁を読んで、要点をノートにまとめる。
3	日本語の文法：日本語の品詞、活用	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 21-26 頁を読んで、要点をノートにまとめる。
4	日本語の文法：格助詞、使役	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 27-32 頁を読んで、要点をノートにまとめる。
5	日本語の文法：受身	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 33-36 頁を読んで、要点をノートにまとめる。
6	日本語の文法：テンス、アスペクト	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 37-43 頁を読んで、要点をノートにまとめる。
7	日本語の文法：モダリティ、条件、名詞修飾	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 44-50 頁を読んで、要点をノートにまとめる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	日本語らしい表現：授受表現	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 64-66 頁を読んで、要点をノートにまとめる。
9	中間試験 日本語らしい表現：とりたて助詞	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 58-60 頁を読んで、要点をノートにまとめる。
10	試験の返却および解説 日本語らしい表現：省略、「は」と「が」	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 56-57 頁を読んで、要点をノートにまとめる。
11	日本語らしい表現：敬語、中間言語	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 67-74 頁を読んで、要点をノートにまとめる。
12	日本語の変化と多様性：ら抜きことば、現代語に残る古典語	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 76-80 頁を読んで、要点をノートにまとめる。
13	日本語の変化と多様性：方言、言語の位相	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 81-90 頁を読んで、要点をノートにまとめる。
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
14	試験の返却および講評	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	テスト範囲を見直す。

テキスト	庵功雄・日高水穂・前田尚子・山田敏弘・大和シゲミ『やさしい日本語のしくみ』（くろしお出版）
参 考 書	佐々木泰子『ベーシック日本語教育』（ひつじ書房） 今井新悟『いちばんやさしい日本語教育入門』（アスク出版）

科目名	LNG302:　語用論					担当教員	近藤　佐智子
開講期	秋	開講時限	月木４限			研究室	4208
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	言語学、会話、異文化間語用論、発話行為、ポライトネス、含意
授業の概要	会話における相互理解の仕組みに関する語用論の理論を理解した上で、日本語母語話者が英語で「断り」や「依頼」などの発話行為をする場合どのような誤解が起こりうるのか、異文化間コミュニケーションや英語学習の視点から考察する。授業は、講義と練習問題、質疑応答、ロールプレイ、グループディスカッションによって進める。最後に受講者は各自実際に会話を語用論的視点で分析する研究プロジェクトを行い、レポートにまとめ口頭発表する。
達成目標（授業の目的）	実際に会話を行う際の相互理解のプロセスについて理解を深めることを目標とする。語用論の理論について学んだ上で、実際に会話を分析することによって、言語に関する理解を深めると同時に分析結果を発表する力をつける。また、異文化間語用論的視点で日本語と英語を比較することによって、英語でのコミュニケーション能力を高める。
到達目標（学修成果）	会話の仕組みについての語用論の理論を理解し、具体例を挙げて理論を説明できるようになる。文化的価値観が言語使用にどのような影響を与えるかを理解し、日本語と英語を比較する能力をつける。相手に失礼にならないような、状況に合った適切な英語を使用する能力をつける。映画やドラマの中の会話を語用論的視点で分析し、その結果を書面（レポート）と口頭で表現できるようになる。
評価方法	小テスト２回（50%）　レポート（15%）　発表（10%）　授業時の積極参加（25%）
評価基準	**小テスト２回（50%）**小テスト１（25%）具体例を挙げて理論を論理的に説明できるか。語用論の用語を理解しているか。 小テスト２（25%）例を挙げて会話分析、異文化間語用論の用語を論理的に説明できるか。英語での発話行為を適切に行うことができるか。 **レポート（15%）**理論の紹介が適切に行われているか。語用論的視点から会話を分析できているか。論理的に分かりやすく書かれているか。書式が守られているか。 **発表（10%）**発表の内容（理解して発表しているか、分かりやすく伝えることができたか、的確に要点を捉えているか）発表の態度（声の大きさ、話し方などが効果的か）。 **授業時の積極参加（25%）**Participation Worksheet 5 回の提出とその内容の質（20%）、授業での予習・復習に関する質疑応答（5%）
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	導入：授業の概要と評価方法 What is Pragmatics?（語用論とは何か）	講義、ディスカッション	テキスト 15-22 頁を読む
2	What is Pragmatics?（語用論とは何か）：状況の中での発話の意味	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 15-22 頁を読む
3	Greeting（挨拶）	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 1-8 頁を読む
4	Communicative Competence（言語運用能力）	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 9-15 頁を読む
5	Speech Acts（発話行為）：理論と分類	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 23-30 頁を読む
6	Speech Acts（発話行為）：間接発話行為	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 47-54 頁を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Conversational Implicature（会話による含意）：協調の原則	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 39-46 頁を読む
8	Conversational Implicature（会話による含意）：会話の分析	講義、ビデオ視聴 ディスカッション	テキスト 39-46 頁を読む
9	Politeness（ポライトネス）：Brown & Levinson の理論	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 55-63 頁を読む
10	Politeness（ポライトネス）：Leech の理論	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 64-71 頁を読む
11	日本語と英語のポライトネス	講義、質疑応答、ディスカッション	資料「日英のポライトネス」を読む
12	小テスト 1（40 分） 復習（60 分）	小テスト、講義	小テストのための復習
13	会話分析：隣接応答ペア	講義、質疑応答、ディスカッション	資料「会話分析：隣接応答ペア」を読む
14	会話分析：修復 小テスト 1 の返却、および講評	講義、質疑応答、ディスカッション	資料「会話分析：修復」を読む
15	会話分析：優先構造	講義、質疑応答、ディスカッション	資料「会話分析：優先構造」を読む
16	語用論的視点からの会話の分析 レポートと発表について	ビデオ視聴、講義、ディスカッション	談話完成タスク 発表の題材を考える
17	Cross-cultural Pragmatics（異文化間語用論）	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 80-86 頁読む
18	日英比較：Apologies（謝罪） Participation Worksheet ①	ロールプレイ、ディスカッション、講義	資料「Apologies」を読む テキスト 31-38 頁を読む
19	日英比較：Requests（依頼） Participation Worksheet ②	ロールプレイ、ディスカッション、講義	資料「Requests」を読む テキスト 72-79 頁を読む
20	日英比較：Compliments（誉め） Participation Worksheet ③	ロールプレイ、ディスカッション、講義	資料「Compliments」を読む
21	日英比較：Refusals（断り） Participation Worksheet ④	ロールプレイ、ディスカッション、講義	資料「Refusals」を読む
22	日英比較：Complaints（不満表明） Participation Worksheet ⑤	ロールプレイ、ディスカッション、講義	資料「Complaints」を読む レポート作成
23	小テスト 2（40 分） 復習（60 分）	小テスト、講義	小テストのための復習
24	語用論的視点からの会話の分析（発表）	学生の発表 ディスカッション	発表の準備 レポート作成
25	語用論的視点からの会話の分析（発表）	学生の発表 ディスカッション	発表の準備 レポート作成
26	語用論的視点からの会話の分析（発表）	学生の発表 ディスカッション	発表の準備 レポート作成
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	語用論的視点からの会話の分析（発表）	学生の発表 ディスカッション	発表の準備 レポート作成
28	小テスト 2 の返却、および講評 レポート提出、復習と総括	講義、ディスカッション	レポート提出

テキスト	田中典子『プラグマティクス・ワークショップ―身のまわりの言葉を語用論的に見る』（春風社）、Sachiko Kondo. *Cross-cultural Pragmatics: Speech Acts*（オリジナル資料）.
参 考 書	岡本真一郎（編）『ことばのコミュニケーション』（ナカニシヤ出版） ヘレン・スペンサー＝オーティー（編著）『異文化理解の語用論』（研究社）
その他 特記事項	テキストと資料は日本語と英語で書かれているので、日本語と英語での予習復習が必要である。

科目名	ENG360:　英語史					担当教員	山本　浩
開講期	秋	開講時限	月木４限			研究室	4212
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	英語の史的理解、標準英語と多様な英語、英語と階級・文学・宗教・政治・メディア
授業の概要	現代の国際語としての英語の考察から始め、同時に地球の様々な地域で発達する英語について視野を広げてゆく。その後、英語の歴史的変化の問題を扱ってゆく。中心的な問題は、古英語、キリスト教文献、ノルマン語の流入と中英語への変化、中英語の詩及び劇、印刷技術の発達、近代英語の発達とシェイクスピアの英語、近現代の英語、英語と階級、アメリカ英語を扱う。
達成目標（授業の目的）	古英語、中英語、近代英語、現代英語の特徴を理解し、語彙、文法、発音等の身近な問題について歴史的観点から理解することを主な目的とする。英語史に必要な用語・概念を英語で理解し、英語による文献読解力を身につける。そして英語の発達を、英国史、世界史、英文学史と繋げる視点と知識を得る。
到達目標（学修成果）	英語という言語内の個々の単語、文法、表現を、それらの背後にある歴史的事象等と密接に結びつけ、言語を重層的に理解出来るようになる。英語史発展と関連が深い英国史、世界史、英文学史上の事象についても基本的知識を持つ。英語文献の正確な理解を、語彙、文法、文章構造の理解等と共に行えるようにする。
評価方法	授業参加： 20 % テストおよび定期試験： 80%
評価基準	授業参加：授業での質問に答えたか、積極的に質問や意見を述べたかを見る（リアクション・ペーパーの記述も含む）。 テストおよび定期試験：古英語、中英語、近代英語のそれぞれの特徴と、英語の変遷に関する知識を得ているか、また、英国史、世界史、英文学史と英語の歴史との関係についての知識を得ているかを見る。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	英語の現在	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
2	ケルト人、ローマ人、ゲルマン人	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
3	比較言語学とインド・ヨーロッパ語族	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
4	インド・ヨーロッパ語族の諸言語ーインド・イラン語派、ギリシア語など	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
5	インド・ヨーロッパ語族の諸言語ーイタリック語派、ケルト語派、ゲルマン語派など	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
6	ゲルマン人と古英語	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	古英語の特徴	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
8	古英語の文学	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
9	テスト（55 分）と 1 回～8 回の授業の復習（45 分）	テストとテストに基づく復習	テストの準備学習をする
10	テストのふりかえり	テストの返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
11	ノルマン征服と中英語	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
12	中英語の特徴	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
13	中英語の時代	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
14	中英語の文学	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
15	大母音推移と印刷術の発達	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
16	テスト（55 分）と 11 回～16 回の授業の復習（45 分）	テストとテストに基づく復習	テストの準備学習をする
17	テストのふりかえり	テストの返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
18	ヨーロッパとイングランドのルネサンス	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
19	チューダー朝と宗教改革	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
20	聖書の英語訳	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
21	近代英語の始まりとシェイクスピア	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
22	英語の規範化	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
23	イギリスの階級	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
24	英語と階級、Queen's English, BBC English, RP	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
25	英語の方言	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
26	イギリス英語とアメリカ英語	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	18 回～26 回の授業の復習と定期試験のふりかえり	定期試験に基づく復習、定期試験の返却、および解説	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
28	英語史の総まとめ	パワーポイントを使用した講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する

テキスト	特定の教科書は使用しない。事前に配布されるパワーポイント資料を事前にプリントして予習し、授業の時に持参する。
参 考 書	寺澤盾『英語の歴史－過去から未来への物語』中公新書 1971（中央公論新社） 中尾俊夫・寺島廸子『図説 英語史入門』（大修館書店）

科目名	LNG320: バイリンガル教育					担当教員	宮崎　幸江
開講期	春	開講時限	木 1 限			研究室	4217
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-⑤, 5-①

キーワード	バイリンガル、母語、継承語、手話、アイデンティティ
授業の概要	バイリンガルの言語習得や文化習得に関する応用言語学の理論とバイリンガル教育の方法について学ぶ。日本に住む外国人の子どもたちの言語環境や課題、手話を母語とする「ろう」の人々についても学び、言語マイノリティや言語とアイデンティティの関係について多文化共生的な視点で考えていく。
達成目標（授業の目的）	本科目は、バイリンガルの言語発達や言語教育の方法を理解し、日本人が海外で育った場合いの日本語保持や、日本国内に住む外国人の子どもたちの教育課題について、バイリンガルを取り巻く様々な事象について理解できるようになることが目的である。同時に言語マイノリティの立場への理解を深め、手話言語を母語とする人々についても知識を得る。
到達目標（学修成果）	学生はバイリンガルとモノリンガルの言語発達の違いや特徴、それぞれの教育方法を学ぶことにより、言語や文化的の多様性を持つ人々のことを理解できるようになる。さらに、バイリンガリズムについて具体的な事例を、専門用語を用いて分析し記述できるようになる。
評価方法	① ミニレポート：20% ② 中間テスト（授業内試験）：30% ③ プレゼンテーション（グループ）：20% ④ 期末レポート：30%
評価基準	① ミニレポート：課題の文献を読んで理解できているかを評価する。 ② 中間テスト（授業内試験）：理論や専門用語など授業内ようの基礎的な理解を評価する。 ③ プレゼンテーション：授業で学んだ理論等に基づいて分析しているかを評価する。 ④ 期末レポート：テーマの理解と理論を使い適切にまとめられているかを評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	グローバル化と在日外国人	講義、グループディスカッション、質疑応答	A 第 1 章を読んで、ノートにまとめる
2	にほんで育つ多文化のこどもたち 就学不明の問題	講義、グループディスカッション、質疑応答	A 第 2 章を読んで、ノートにまとめる
3	「発達障害」との見分けの難しさ	講義、グループディスカッション、質疑応答	A 第 3 章を読んで、ノートにまとめる
4	海外子女の教育、母語と外国語	講義、グループディスカッション、質疑応答	B 第 1~4 章を読んで、ノートにまとめる
5	バイリンガルの言語発達、年齢要因、母語保持	講義、グループディスカッション、質疑応答	B 第 5~10 章を読んで、ノートにまとめる
6	家庭でできるバイリンガルの基礎づくり	講義、グループディスカッション、質疑応答	B 第 11~16 章を読んで、ノートにまとめる

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	ことばとアイデンティティ	講義、グループディスカッション、質疑応答	B 第 17~20 章を読んで、ノートにまとめる
8	ファミリーランゲージポリシー グループプレゼンテーション	講義、グループディスカッション、質疑応答	プレゼンテーション準備
9	ろう・難聴者の言語生活、デフファミリー、コーダ	講義、グループディスカッション、質疑応答	資料を読んで、要点をまとめる
10	バイリンガルろう教育	講義、グループディスカッション、質疑応答	資料を読んで、要点をまとめる
11	ろうの言語とアイデンティティ	講義、グループディスカッション、質疑応答	資料を読んで、要点をまとめる
12	「やさしい日本語」を考える	講義、グループディスカッション、質疑応答	資料を読んで、要点をまとめる
13	日本人特権を考える	講義、グループディスカッション、質疑応答	資料を読んで、要点をまとめる
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	まとめ	講義、グループディスカッション、質疑応答	レポート作成

テキスト	A 毎日新聞取材班（編）『にほんでいきる　外国からきた子どもたち』（明石書店） B 中島和子『言葉と教育　海外で子どもを育てている保護者のみなさまへ』（公益財団法人海外子女教育振興財団）

科目名	EDU310:　初等教育					担当教員	杉村　美佳
開講期	秋	開講時限	火金 3 限			研究室	4220
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	小学校教育、発達教育学、初等教育史、教育課程、教育方法、指導案の作成、模擬授業
授業の概要	前半では、児童期の発達の段階と筋道を、主に発達教育学の視点から学ぶ。後半では、教育課程論、教育方法論、初等教育の歴史と現状、課題について探求する。授業実践について理解を深めるため、実際に小学校の授業を見学し、その上で指導案の作成と模擬授業を行う。
達成目標（授業の目的）	児童期の発達や初等教育の基礎理論および課題を理解し、授業実践に必要な知識や技術の基礎を習得する。児童の発達や興味・関心に即した指導案を作成し、模擬授業を行うことを通して、実践的な指導力の基礎を身につけることを目標とする。
到達目標（学修成果）	①初等教育の現状と課題を学び、教師論や教育課程論等を理解することを通して、初等教育の理論や実践に関する基礎知識を身につける。 ②『教育の段階』のブックレポート作成を通して、児童期の発達の筋道を理解し、発達段階に即した教育のあり方を考察できるようになる。 ③各自が学習者を主体とした「総合的な学習の時間」の指導案を作成し、模擬授業を行い、相互に授業評価をし合うことによって、効果的に児童への指導が行える力を養う。
評価方法	①授業時に課すリアクション・ペーパー（30%）、②『教育の段階』のブックレポート（30%）、③小学校見学のレポート（10%）、④指導案の作成・発表（30%）
評価基準	①リアクション・ペーパー：論題について授業内容をふまえて論理的に論述できているか。 ②『教育の段階』のブックレポート：テキストの内容を理解し、発達の筋道に即した教育のあり方について、講義内容もふまえて考察できているか。 ③小学校見学のレポート：教師と児童の様子、授業のねらいや工夫を捉えているか。 ④指導案の作成・発表：ねらいが明確で一貫性があり、学習者の発達や興味に即した指導案であるか、指導案を効果的に実践する工夫がなされているか、を評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	小学生をめぐる今日的課題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配付資料の要約・考察
2	小学生の時代的変化	講義・ディスカッション リアクションペーパー	小学生の問題を調べる 配付資料の要約・考察
3	児童期の発達の諸側面と教育（1） ―認知的発達―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	ピアジェの理論について調べる、配付資料の考察
4	児童期の発達の諸側面と教育（2） ―社会的・人格的発達―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	社会性の発達について調べる 配付資料の要約・考察
5	児童期における道徳性の発達と教育（1） ―コールバーグの道徳性発達理論―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配付資料を読む 配付資料の要約・考察
6	児童期における道徳性の発達と教育（2） ―道徳教育の現状と課題―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配付資料を読む 配付資料の要約・考察
7	児童期における問題行動の意味（1） ―非社会的問題行動―	講義･DVD 視聴 リアクションペーパー	問題行動について調べる DVD の内容の要約・考察
8	児童期における問題行動の意味（2） ―反社会的問題行動―	講義･DVD 視聴 リアクションペーパー	問題行動について調べる DVD の内容の要約・考察

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	『教育の段階』のレポート発表（1）	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』1のレポート 『教育の段階』の復習
10	特別支援教育の現状と課題	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	特別支援教育について調べる、配付資料の要約・考察
11	初等教育の内容と教育課程（1） ―カリキュラムの分類―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	コア・カリキュラムを調べる、配付資料の要約・考察
12	初等教育の内容と教育課程（2） ―学習指導要領の変遷―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	配付資料を読む 配付資料の要約・考察
13	『教育の段階』のレポート発表（2）	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』2のレポート 『教育の段階』の復習
14	秦野市の教育の現状と課題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配付資料を読む 配付資料の要約・考察
15	「総合的な学習の時間」の原理と方法	講義・ディスカッション リアクションペーパー	総合学習について調べる、配付資料の要約・考察
16	「総合的な学習の時間」の系譜	講義・ディスカッション リアクションペーパー	デューイについて調べる 配付資料の要約・考察
17	小学校教師とは	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教師の問題について調べる 配付資料の要約・考察
18	現代における授業改革	講義･DVD 視聴 リアクションペーパー	アクティブ・ラーニングを調べる、DVD の要約・考察
19	小学校見学	見学	見学のポイントを作成 見学のレポート作成
20	『教育の段階』のレポート発表（3）	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』3のレポート 『教育の段階』の復習
21	欧米の初等教育	講義･DVD 視聴 リアクションペーパー	配付資料を読む 配付資料の要約・考察
22	指導案とは―指導案の作成方法―	講義、グループワーク	配付資料を読む 指導案の作成
23	指導案の作成（1）―単元・ねらいの設定―	各自指導案の作成	指導案の作成
24	指導案の作成（2）―教材・教具―	各自指導案の作成	指導案の作成
25	指導案の作成（3）―指導方法・評価―	各自指導案の作成	指導案の作成
26	模擬授業（1）	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	模擬授業（2）	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習
28	模擬授業（3）	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習

テキスト	なし。毎回書き込み式講義ノートと新聞記事などの資料を配付する。
参 考 書	モーリス・ドベス著、堀尾輝久他訳『教育の段階 ―誕生から青年期まで』（岩波書店） 近藤邦夫他編『児童期の課題と支援』（新曜社）
その他 特記事項	秦野市教育委員会からゲストスピーカーを招き、授業実践に関する講義を行う。

科目名	EDU300: 児童英語教育演習 A					担当教員	狩野　晶子
開講期	春	開講時限	月 1・2 限			研究室	4203
分類	選択	単位	4	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-⑤, 5-②

キーワード	児童英語教育、言語習得、サービスラーニング活動、アクティブラーニング
授業の概要	児童英語教育・言語習得の基本事項をふまえて、実践へと結びつける科目である。児童英語教育に関する背景知識や第二言語習得理論の知識をもとに、小学校での使用を想定した指導案と教材を作成し模擬授業を行う。あわせてサービスラーニング枠で行うイングリッシュフレンド（EF）活動に参加し小学生への授業実践と省察を通して理論と実践を体得する。
達成目標（授業の目的）	児童英語の指導に必要な知識を身につけ、実践に結びつけることがこの授業の目的である。主に高学年を対象に、児童の認知発達や特性を考慮した指導案と教材、教具等の作成をする。それを用いて模擬指導実践を行う。さらに小学校でのサービスラーニング活動の実践をもとに、自らの指導を検証、評価し改善する経験を積むことを目標とする。
到達目標（学修成果）	児童英語教育の基礎知識を活かし、主に小学校高学年を対象とした英語指導の目的と意義に沿う指導案と教材、教具等を作成し、小学校での指導に備えて模擬指導実践を行うことができる。グループでの授業準備、小学校での実践を踏まえた相互評価と省察を通して、指導力の育成と自らの指導を検証、評価し改善する課題発見力、課題解決力、協働力が身につく。
評価方法	①授業でのグループワーク参加姿勢（30%）②指導案・教材・教具作成（20%） ③アクティビティ演習・模擬授業（20%）④各回の省察をもとにした期末課題（30%）
評価基準	①授業内のすべての活動およびグループワーク等への積極的参加、協力しあい主体的に関わる姿勢とそれを反映したリフレクションを評価する。②児童特性を考慮した指導案と教材、教具等の作成への取り組みを評価する。③適切な teacher talk の使用、アクティビティ構成、準備と練習の成果を評価する。④各回の省察の蓄積をもとに、改良改善への取り組みの過程を評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	児童英語教育・小学校外国語（英語）教育とは：これまでの学習内容の確認	講義、指導実践 グループワーク	既習科目の内容復習 Moodle 登録・活用方法確認
2	児童英語教育の背景となる言語習得理論・発達理論	講義、指導実践 グループワーク	グループワークをもとに省察、指導に有用な素材集め
3	言語習得理論・発達理論と児童英語教育の指導実践を反映した授業案とは	講義、指導実践 グループワーク	授業内容をもとに指導案作成の準備
4	テキスト概観：学習指導要領に照らして小学校外国語（英語）教育を考える	講義、指導実践 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具作成
5	Communicative Language Teaching の観点からイングリッシュフレンド指導案を考える	講義、指導実践 グループワーク	グループワークをもとに省察、指導案・教材・教具作成
6	小学校高学年への指導案をもとに模擬授業発表①	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具を改訂・発表準備
7	小学校高学年における学習者の特徴を踏まえた指導案・教材教具の在り方	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具を改訂・発表準備
8	小学校高学年への指導案をもとに模擬授業発表②	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具を改訂・発表準備
9	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（1）の研究	講義、学生発表 グループワーク	相互フィードバックと省察をもとに発表準備と実践練習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	小学校高学年モデル指導案（1）の実践練習 Classroom English の効果的な使用	講義、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
11	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（2）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
12	小学校高学年モデル指導案（2）の実践練習 教材・教具の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
13	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（3）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
14	小学校高学年モデル指導案のポイント 言語材料の選び方と展開の技法	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
15	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（4）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
16	小学校高学年モデル指導案（3）（4）の実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
17	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（5）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
18	小学校高学年モデル指導案（5）の実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
19	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（6）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
20	小学校高学年モデル指導案（6）の実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
21	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（7）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
22	小学校高学年モデル指導案（7）の実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
23	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（8）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
24	小学校高学年モデル指導案（8）の実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
25	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（9）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
26	小学校高学年モデル指導案（9）の実践練習 期末課題について説明	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	期末課題の相互フィードバック	指導実践、学生発表グループワーク	EF 活動全体の省察 期末課題作成
28	全体での活動の振り返り	指導実践、学生発表 グループワーク	EF 活動の省察を受けて総括 期末課題総括

テキスト	『CROWN Jr. 5 年生』『CROWN Jr. 6 年生』（三省堂）、文部科学省『Let’s Try! 1』『Let’s Try! 2』『Let’s Try! 1 指導編』『Let’s Try! 2 指導編』（東京書籍） 文部科学省『小学校学習指導要領解説　外国語活動・外国語編　平成 29 年告示』
参 考 書	小川隆夫・東仁美（著），吉田研作（監修）『小学校英語 はじめる教科書 改訂版（外国語科・外国語活動指導者養成のために －コア・カリキュラムに沿ってー）』（mpi 松香フォニックス）
履修条件、前提科目	この科目を履修する学生は、イングリッシュフレンド・サービスラーニング活動への参加を原則とするため、木曜日の午前中は他の科目を履修することはできない。この科目の履修にあたり、「児童英語教育概説」「児童英語指導者養成講座」「第二言語習得」「リテラシーと多文化教育」のいずれかの単位を修得済みであることを条件とする。
その他特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。

科目名	EDU301: 児童英語教育演習 B					担当教員	狩野　晶子
開講期	秋	開講時限	月 1・2 限			研究室	4203
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-⑤, 5-②

キーワード	児童英語教育, 言語習得、サービスラーニング活動、アクティブラーニング
授業の概要	児童英語教育・言語習得の基本事項をふまえて、実践へと結びつける科目である。児童英語教育に関する背景知識や第二言語習得理論の知識をもとに、小学校での使用を想定した指導案と教材を作成し模擬授業を行う。あわせてサービスラーニング枠で行うイングリッシュフレンド（EF）活動に参加し小学生への授業実践と省察を通して理論と実践を体得する。
達成目標（授業の目的）	児童英語の指導に必要な知識を身につけ、実践に結びつけることがこの授業の目的である。主に小学校中学年を対象に、児童の認知発達や特性を考慮した指導案と教材、教具等の作成をする。それを用いて模擬指導実践を行う。さらに小学校でのサービスラーニング活動の実践をもとに、自らの指導を検証、評価し改善する経験を積むことを目標とする。
到達目標（学修成果）	児童英語教育の基礎知識を活かし、主に小学校中学年を対象とした英語指導の目的と意義に沿う指導案と教材、教具等を作成し、小学校での指導に備えて模擬指導実践を行うことができる。グループでの授業準備、小学校での実践を踏まえた相互評価と省察を通して、指導力の育成と自らの指導を検証、評価し改善する課題発見力、課題解決力、協働力が身につく。
評価方法	①授業でのグループワーク参加姿勢（30%）②指導案・教材・教具作成（20%） ③アクティビティ演習・模擬授業（20%）④各回の省察をもとにした期末課題（30%）
評価基準	①授業内のすべての活動およびグループワーク等への積極的参加、協力しあい主体的に関わる姿勢とそれを反映したリフレクションを評価する。②児童特性を考慮した指導案と教材、教具等の作成への取り組みを評価する。③適切な teacher talk の使用、アクティビティ構成、準備と練習の成果を評価する。④各回の省察の蓄積をもとに、改良改善への取り組みの過程を評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	児童英語教育・小学校外国語（英語）教育とは：これまでの学習内容の確認	講義、指導実践 グループワーク	既習科目の内容復習 Moodle 登録・活用方法確認
2	児童英語教育の背景となる言語習得理論・発達理論	講義、指導実践 グループワーク	グループワークをもとに省察、指導に有用な素材集め
3	言語習得理論・発達理論と児童英語教育の指導実践を反映した授業案とは	講義、指導実践 グループワーク	授業内容をもとに指導案作成の準備
4	テキスト概観：学習指導要領に照らして小学校外国語（英語）教育を考える	講義、指導実践 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具作成
5	Communicative Language Teaching の観点からイングリッシュフレンド指導案を考える	講義、指導実践 グループワーク	グループワークをもとに省察、指導案・教材・教具作成
6	小学校中学年への指導案をもとに模擬授業発表①	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具を改訂・発表準備
7	小学校中学年における学習者の特徴を踏まえた指導案・教材教具の在り方	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具を改訂・発表準備
8	小学校中学年への指導案をもとに模擬授業発表②	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具を改訂・発表準備
9	イングリッシュフレンド・小学校中学年モデル指導案（1）の研究	講義、学生発表 グループワーク	相互フィードバックと省察をもとに発表準備と実践練習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	小学校中学年モデル指導案（1）の実践練習 Classroom English の効果的な使用	講義、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
11	イングリッシュフレンド・小学校中学年モデル指導案（2）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
12	小学校中学年モデル指導案（2）の実践練習 教材・教具の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
13	イングリッシュフレンド・小学校中学年モデル指導案（3）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
14	小学校中学年モデル指導案のポイント 言語材料の選び方と展開の技法	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
15	イングリッシュフレンド・小学校中学年モデル指導案（4）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
16	小学校中学年モデル指導案（3）（4）の実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
17	イングリッシュフレンド・小学校中学年モデル指導案（5）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
18	小学校中学年モデル指導案（5）の実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
19	イングリッシュフレンド・小学校中学年モデル指導案（6）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
20	小学校中学年モデル指導案（6）の実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
21	イングリッシュフレンド・小学校中学年モデル指導案（7）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
22	小学校中学年モデル指導案（7）の実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
23	イングリッシュフレンド・小学校中学年モデル指導案（8）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
24	小学校中学年モデル指導案（8）の実践練習	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
25	イングリッシュフレンド・小学校中学年モデル指導案（9）の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	省察をもとに指導案を改訂 EF 活動の省察
26	小学校中学年モデル指導案（9）の実践練習 期末課題について説明	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	期末課題の相互フィードバック	指導実践、学生発表グループワーク	EF 活動全体の省察 期末課題作成
28	全体での活動の振り返り	指導実践、学生発表 グループワーク	EF 活動の省察を受けて総括 期末課題作成

テキスト	『CROWN Jr. 5 年生』『CROWN Jr. 6 年生』（三省堂）、文部科学省『Let’s Try! 1』『Let’s Try! 2』『Let’s Try! 1 指導編』『Let’s Try! 2 指導編』（東京書籍） 文部科学省『小学校学習指導要領解説　外国語活動・外国語編　平成 29 年告示』
参 考 書	小川隆夫・東仁美（著），吉田研作（監修）『小学校英語 はじめる教科書 改訂版（外国語科・外国語活動指導者養成のために －コア・カリキュラムに沿ってー）』（mpi 松香フォニックス）
履修条件、前提科目	この科目を履修する学生は、イングリッシュフレンド・サービスラーニング活動への参加を原則とするため、木曜日の午前中は他の科目を履修することはできない。この科目の履修にあたり、「児童英語教育概説」「児童英語指導者養成講座」「第二言語習得」「リテラシーと多文化教育」のいずれかの単位を修得済みであることを条件とする。
その他特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。

科目名	EDU206: 児童英語指導者養成講座					担当教員	杉村　美佳
開講期	秋	開講時限	火金 4 限			研究室	4220
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-⑤, 5-②

キーワード	児童英語教育、小学校英語活動、言語習得、英語教授法、レッスンプラン
授業の概要	小学校英語指導者認定協議会（J-SHINE）認定による「小学校英語指導者資格」の取得を目指し、児童英語指導者として求められる基礎的な知識と実践経験を得る。子どもの言語習得理論、児童心理学、認知発達理論など、指導者として必要な理論の基礎を学び、児童英語指導者に求められる英語力を身につけるためのトレーニングを行う。模擬授業や実践を通して授業スキルやレッスンプランの書き方を体得する。
達成目標（授業の目的）	児童英語教師として小学校での英語指導や指導補助を行うことを目指し、児童英語に関する基礎知識、教授技術の基本を理解し、英語のみでの指導が行える指導技術と英語力を修得することを目標とする。
到達目標（学修成果）	①児童英語指導者に必要な英語力の体得に加え、言語習得理論や児童心理、認知発達理論等、児童英語教育の理論の基礎を修得する。 ②レッスンプランを作成し、アクティビティを実践することを通して、効果的に児童への指導が行えるようになる。 ③小学校英語指導者認定協議会（J-SHINE）の認定による「小学校英語指導者準認定資格」の取得を目指す。
評価方法	①課題・ノート提出（20%）、②英文法小テスト（30%）、③アクティビティ発表（20%）、④レッスンプラン作成（30%）
評価基準	①課題・ノート提出：通信講座の振り返りチェックを行っているか。 ②英文法小テスト：通信講座『英語力トレーニング』確認テストのスコア ③アクティビティ発表：レッスンプランに即して講義で学んだ教授技術を実践に生かすことができたか。 ④レッスンプラン作成：作成手順に即し子どもの発達段階に合った適切なプランになっているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	児童英語教師とは	講義、グループワーク、DVD 視聴	『基礎知識 1』Week1, 2 の予習、振り返りチェック
2	子どもと英語―児童英語教育の意義・目的	講義、グループワーク、DVD 視聴	『基礎知識 1』Week3 の予習振り返りチェック
3	児童心理学（1）―幼児期の心理―	講義、グループワーク	『基礎知識 1』Week4 の予習
4	児童心理学（2）―児童期の心理―	講義、グループワーク	『基礎知識 1』Week4 の予習振り返りチェック
5	言語習得論	講義、グループワーク	『基礎知識 1』Week5 の予習振り返りチェック
6	認知発達理論	講義、グループワーク	『基礎知識 1』Week6 の予習振り返りチェック
7	バイリンガル教育	講義、グループワーク	『基礎知識 1』Week7 の予習振り返りチェック
8	国際理解教育	講義、グループワーク	『基礎知識 1』Week8 の予習振り返りチェック

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	小学校英語活動の位置づけ（1）―小学校「外国語活動・外国語」の目標と内容―	講義、グループワーク	『基礎知識 2』Week1 の予習
10	小学校英語活動の位置づけ（2）―小学校「外国語活動・外国語」の留意点―	講義、グループワーク	『基礎知識 2』Week1 の予習 振り返りチェック
11	小学校英語活動の意義と課題	講義、グループワーク	『基礎知識 2』Week2 の予習 振り返りチェック
12	小・中・高の連携	講義、グループワーク	『基礎知識 2』Week3 の予習 振り返りチェック
13	求められる英語活動指導者とは	講義、グループワーク	『基礎知識 2』Week4 の予習 振り返りチェック
14	クラスルーム・イングリッシュ	講義、グループワーク	『英語力トレーニング 2』 Week13～15 の予習
15	語彙力のトレーニング	講義、グループワーク	『英語力トレーニング 2』 Week16～18 の予習
16	パラフレーズ力のトレーニング	講義、グループワーク	『英語力トレーニング 2』 Week19～21 の予習
17	状況設定力のトレーニング	講義、グループワーク	『英語力トレーニング 2』 Week22～24 の予習
18	カリキュラムとレッスンプラン	講義、グループワーク	『基礎知識 3』Week6 の予習
19	教材・教具	講義、グループワーク	『基礎知識 3』Week7 の予習 振り返りチェック
20	レッスンを構成するアクティビティ（1） ―レッスンに適したアクティビティ―	講義、グループワーク	『基礎知識 3』Week8 の予習
21	レッスンを構成するアクティビティ（2） ―代表的なアクティビティ例―	講義、グループワーク	『基礎知識 3』Week8 の予習 振り返りチェック
22	レッスンプランの書き方	レッスンプランの作成	『レッスンプラン作成ガイド』Week9 の予習
23	レッスンプランの作成（1） ―はじめの挨拶とウォーミングアップ―	レッスンプランの作成	レッスンプランの作成
24	レッスンプランの作成（2） ―テーマに関する単語や表現の導入―	レッスンプランの作成	レッスンプランの作成
25	レッスンプランの作成（3） ―繰り返し慣れ親しむための活動―	レッスンプランの作成	レッスンプランの作成
26	アクティビティ発表（1）	学生発表、相互評価、講評	発表の準備と練習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	アクティビティ発表（2）	学生発表、相互評価、講評	発表の準備と練習
28	アクティビティ発表（3）	学生発表、相互評価、講評	発表の準備と練習

テキスト	「アルク児童英語教師養成コース」（アルク）で使用するテキスト（『基礎知識編』『英語力トレーニング編』『レッスンプラン編』）およびその他のプリント配付物。
参 考 書	文部科学省『We can!』（東京書籍）
履修条件、前提科目	本講はアルクの通信講座「アルク児童英語教師養成コース」をベースとする授業のため、別途費用がかかる（2022 年度実績￥108,900）。詳細については『履修要覧』p.54 や「小学校英語指導者（J-SHINE）資格ガイダンス」および Loyola にて確認すること。
その他特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。

科目名	SLE201:　サービスラーニング入門講座					担当教員	宮崎　幸江
開講期	春 / 秋	開講時限	（春）木 2 限 （秋）火 4 限			研究室	4217
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-⑤, 5-①, 5-②

キーワード	サービスラーニング、キリスト教ヒューマニズム、秦野市、多文化共生
授業の概要	サービスラーニング参加を希望している学生に対して、サービスラーニングとは何か、本学のサービスラーニングの精神や歴史、フィールドである秦野市について、公教育で求められるボランティアの役割、子どもの発達など、毎回異なる講師により多様な視点から講義を聴く。講義の後、グループディスカッションと全体での意見交換を行う。
達成目標（授業の目的）	本科目では、サービスラーニングに参加することを前提に、地域貢献の精神や活動する秦野市に関する基礎知識を得るとともに、教育現場でのニーズについて学ぶことができる。また、様々な立場の人々から話を聞くことで視野を広げ、多文化共生的な視点を養うことを目的とする。
到達目標（学修成果）	本学のサービスラーニングの内容や特徴を理解し、具体的にどのサービスラーニングが自分に合っているかをイメージできるようになる。また、その活動の持つ社会貢献としての意味や、自分自身にどのような学びを得られるか、どのように関わっていきたいかを主体的に考えられるようになる。
評価方法	①ディスカッション、プレゼンへの積極的参加：25% ②リアクションペーパー：25% ③レポート：50%
評価基準	①ディスカッション、プレゼンへの積極的参加：講義の後半にあるグループディスカッションに積極的に参加しているか、最終回のグループでのプレゼンに積極的に参加しているかを評価する。 ②リアクションペーパー：毎回期限内に提出できているかや内容の適切さを評価する。 ③レポート：本学のサービスラーニングの精神について理解し、自分が参加する際にどのような貢献をしたいか具体的に考えているかを評価する。 ※成績は「P（合格）」「X（不合格）」のいずれかで評価されます。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	サービスラーニングとは何か：サービスラーニングの歴史、目的、本学の伝統	講義、ディスカッション、質疑応答	講義用ノートを準備する。
2	キリスト教とボランティア：社会に尽くす活動をした人々	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んで関連する事柄について調べる。
3	異文化理解：言語や文化の異なる人々との協働	講義、ディスカッション、質疑応答	インターネット等で南米の国々を調べる。
4	特別な個性を持つ子どもたち：多様な子どもたちの捉え方を知り接し方について学ぶ	講義、ディスカッション、質疑応答	関連するトピックについて、調べてみる。
5	はだの学：サービスラーニングを行う秦野市について知る	講義、ディスカッション、質疑応答	関連する記事やサイトを探してみる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	秦野市の学校におけるボランティアの役割：開かれた学校教育の現場とは	講義、ディスカッション、質疑応答	レポートと最終回のポスタープロジェクトの準備をする。
7	みんなで考えるサービスラーニング：サービスラーニングの意味と目的	講義、ディスカッション、質疑応答	レポートを書く。

テキスト	ハンドアウトを Moodle で共有、またはパワーポイントスライドを用いての講義となる。

科目名	SLE301: サービスラーニング（小中学校日本語支援A）					担当教員	大山　美佳
開講期	春	開講時限	月木2限			研究室	4号館2階　講師控室
分類	選択	単位	3	標準受講年次	2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-⑤, 5-①

キーワード	年少者日本語教育、多文化共生、アクティブラーニング、入り込み・取り出し支援
授業の概要	実際に小中学校で支援を行う体験から外国につながる児童生徒の実態を学び、社会課題と向き合うことができるサービスラーニング（カレッジフレンド）の科目である。月曜日は学内で年少者への日本語支援の方法や外国につながる子どもの発達について学び、木曜日は決められた学校でカレッジフレンドとして支援活動を行う。
達成目標（授業の目的）	グローバル化が進む現代社会における外国につながる児童生徒を取り巻く環境や教育課題を理解できるようになる。特に日本の学校で学ぶ外国につながる児童生徒の言語の発達について理論を理解し、当事者の立場からも考察できるようになる。地域の課題を理解し、多文化共生に向けて自ら行動できるようになる。
到達目標（学修成果）	①支援対象者の言語的ニーズをつかみ、相手に合わせた指導の工夫ができるようになる。 ②地域の課題に対する理解が進み、多文化共生的な視点から意見を発表し、文章にまとめられるようになる。 ③サービスラーニング（カレッジフレンド）活動を通して、社会人として成長する。
評価方法	①授業への積極参加　27% ②支援記録の作成　33% ③中間・最終プレゼンテーション　20% ④最終レポートの提出　20%
評価基準	①ディスカッションに積極的に参加し、リアクションペーパーを提出しているか。 ②支援記録を作成し、提出しているか。 ③体験から学んだことをその都度（中間・最終）省察し、プレゼンテーションとしてまとめられているか。 ④1学期間の活動をまとめ、テーマに従って活動内容を分析しているか。 ※成績は「P（合格）」「X（不合格）」のいずれかで評価されます。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	秦野市における多文化化の現状	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んで、ノートにまとめる。
2	「子どもの日本語教育」の実態（1） 日本語指導体制	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書3-16頁を読んで、ノートにまとめる。
3	「子どもの日本語教育」の実態（2） 外国につながる子どもの背景	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書17-39頁を読んで、ノートにまとめる。
4	「子どもの日本語教育」の実践（1） 言語能力の把握	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書43-59、109-126頁を読んで、ノートにまとめる。
5	「子どもの日本語教育」の実践（2） 教科学習と日本語学習	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書81-105頁を読んで、ノートにまとめる。
6	「子どもの日本語教育」の実践（3） 子どものための日本語教材	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書61-79頁を読んで、ノートにまとめる。
7	支援準備 リソース室の活用	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んで、支援方法をまとめる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	実習①：小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
9	実習①：振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	自分の支援をもう一度振り返り、支援計画を立てる。
10	実習②：小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
11	実習②：振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	自分の支援をもう一度振り返り、支援計画を立てる。
12	実習③：小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
13	実習③：振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	自分の支援をもう一度振り返り、支援計画を立てる。
14	実習④：小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
15	中間プレゼンテーション：サービスラーニングの意義を振り返り、発表	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	プレゼンテーションの準備をする。
16	実習⑤：小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りをする。
17	実習⑤：振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	自分の支援をもう一度振り返り、支援計画を立てる。
18	実習⑥：小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りをする。
19	実習⑥：振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	自分の支援をもう一度振り返り、支援計画を立てる。
20	実習⑦：小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りをする。
21	「子どもの日本語教育」で育てる言語の力	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 127-145 頁を読んで、ノートにまとめる。
22	実習⑧：小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りをする。
23	実習⑧：振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	自分の支援をもう一度振り返り、支援計画を立てる。
24	実習⑨：小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りをする。
25	外国につながる子どものキャリアデザイン	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んで、ノートにまとめる。
26	実習⑩：小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りをする。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	最終プレゼンテーション（1）	全体の振り返り、プレゼンテーション	プレゼンテーションの準備をする。
28	最終プレゼンテーション（2）	プレゼンテーション、まとめ	最終レポートを書く。

テキスト	西川朋美『外国につながる子どもの日本語教育』（くろしお出版）
履修条件、前提科目	本講の履修には「サービスラーニング入門講座」の単位を修得していることが前提条件となる。
その他特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。

科目名	SLE302: サービスラーニング（小中学校日本語支援B）					担当教員	宮崎　幸江
開講期	秋	開講時限	月木2限			研究室	4217
分類	選択	単位	3	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-⑤, 5-①

キーワード	年少者日本語教育、バイリンガリズム、多文化共生、アクティブラーニング
授業の概要	この授業では、サービスラーニング（カレッジフレンド）に参加し、秦野市内の小中学校に在籍する外国人児童生徒の日本語及び教科学習支援を行う。サービスラーニングでは、決められた学校で木曜日の2限（学期中11回）に活動を行い、月曜日は学内で日本語支援の方法やバイリンガル環境の子どもの発達について学ぶ。
達成目標（授業の目的）	グローバル化が進む現代社会における外国人児童生徒を取り巻く環境や教育課題を理解できるようになる。特に日本の学校で学ぶ外国人児童生徒の言語発達について、理論的に考察できるようになる。地域の課題を理解し、多文化共生に向けて自ら行動できるようになる。
到達目標（学修成果）	①支援対象の言語的ニーズを掴み相手に合わせた支援が工夫できるようになる。 ②地域の課題に対する理解が進み、多文化共生的な視点からの意見が持てるようになる。 ③サービスラーニングを通して社会人として成長する。
評価方法	①授業への積極参加：20% ②実習：30% ③プレゼンテーション（中間発表と最終発表）：20% ④レポート：30%
評価基準	①授業への積極参加：授業でディスカッション等に積極的に参加しているかを評価する。 ②実習：実習に積極的に参加し、毎回振り返りを期限内に提出しているか、また活動において工夫や成長があるかを評価する。 ③プレゼンテーション：自分の成長や変化、工夫を明確に述べられるかを評価する。 ④レポート：地域の課題を意識し、サービスラーニングを通して自分の視野を広げられたか、自己の学びを客観的に分析できているかを評価する。 ※成績は「P（合格）」「X（不合格）」のいずれかで評価されます。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	第1章　公立小学校での「子どもの日本語教育」を知る	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書3-16頁を読んでノートにまとめる
2	第2章　日本社会の中の「子どもの日本語教育」を知る	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書17-39頁を読んでノートにまとめる
3	カレッジフレンドの支援対象と内容	講義、ディスカッション、質疑応答	前年度の報告書を読んで要点をまとめる
4	実習①：派遣先小中学校での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
5	第3章　子どもの日本語力	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書43-59頁を読んでノートにまとめる
6	実習②：派遣先小中学校での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
7	第5章　教科学習と日本語学習をつなぐ	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書81-108頁を読んでノートにまとめる
8	実習③：派遣先小中学校での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	第 6 章　教科学習に必要な言語力について考える	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 109-126 頁を読んでノートにまとめる
10	第 7 章　子どもの第 2 言語習得について知る	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 127-145 頁を読んでノートにまとめる
11	実習④：派遣先小中学校での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
12	第 4 章　子どものための日本語教材を使う・作る	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 61-79 頁を読んでノートにまとめる
13	実習⑤：派遣先小中学校での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
14	第 3 章　子どもの日本語力を評価する 1	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 43-59 頁を読んでノートにまとめる
15	第 3 章　子どもの日本語力を評価する 2	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 43-59 頁を読んでノートにまとめる
16	第 8 章　日本語という言語を外から見る	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 147-169 頁を読んでノートにまとめる
17	実習⑥：派遣先小中学校での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
18	第 9 章　母語・継承語も育てる	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 171-192 頁を読んでノートにまとめる
19	実習⑦：派遣先小中学校での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
20	発達障害と外国人の子ども	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んでノートにまとめる
21	実習⑧：派遣先小中学校での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
22	インクルーシブ教育とろう	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んでノートにまとめる
23	実習⑨：派遣先小中学校での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
24	実習⑩：派遣先小中学校での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
25	やさしい日本語	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んでノートにまとめる
26	実習⑪：派遣先小中学校での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	プレゼンテーション 1	講義、ディスカッション、質疑応答	プレゼンテーションの準備とレポート作成
28	プレゼンテーション 2	講義、ディスカッション、質疑応答	プレゼンテーションの準備とレポート作成

テキスト	西川朋美『外国につながるこどもの日本語教育』（くろしお出版）
履修条件、前提科目	本講の履修には「サービスラーニング入門講座」の単位を修得していることが前提条件となる。

科目名	SLE303: サービスラーニング（地域日本語支援 A）					担当教員	宮崎　幸江
開講期	春	開講時限	火金 5 限			研究室	4217
分類	選択	単位	3	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-⑤, 5-①

キーワード	多文化共生、やさしい日本語、社会参加、居場所、参加型学習
授業の概要	日本に住む外国籍の人々に対して、日本語や教科学習支援を行うために必要な知識やスキルを講義で学び、実習では担当する外国につながりのある学習者に継続して支援を行う。実習の中で遭遇した疑問や課題について、授業の中で振り返り、解決方法を考える。
達成目標（授業の目的）	本科目は、グローバル化により多文化化が進む日本社会において「多文化共生社会」実現のために、地域社会における外国籍市民の課題について理解し、課題解決に向けた行動を起こせる人材を育成することが目的である。
到達目標（学修成果）	日本語非母語話者の日本語のニーズを理解し、相手に合わせてコミュニケーションを図ることができるようになる。支援活動の計画・実践・振り返り・改善という一連の行動を自主的に続けることができるようになる。また、外国籍市民を含む地域社会に目を向け、当事者として考え行動することができるようになる。
評価方法	①授業への積極参加：20% ②実習（火曜日のコミュニティフレンド）：30% ③プレゼンテーション（中間と最終）：20% ④レポート：30%
評価基準	①授業への積極参加：授業での話し合いに積極的に参加し貢献できているかを評価する。 ②実習：実習に積極的に参加し、毎回の振り返りを期限内に提出しているか、また活動において工夫や成長があるかを評価する。 ③プレゼンテーション（中間と最終）：それまでの支援での工夫や学びを評価する。 ④レポート：活動をまとめ自己の学びを分析できているかを評価する。 ※成績は「P（合格）」「X（不合格）」のいずれかで評価されます。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	日本で育つ外国人家庭の子ども 言語と教育問題、リソースルーム利用方法	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 8-24 頁を読んでノートにまとめる
2	グローバル化と日本の学校文化 秦野市の多文化化の状況について考える	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 8-24 頁を読んでノートにまとめる
3	居場所としての地域日本語教室 活動振り返りの意味	講義、ディスカッション、質疑応答	リソースルームで子ども用教材を閲覧する
4	多様な子どもたちと日本語支援 支援方法、教材	講義、ディスカッション、質疑応答	リソースルームで成人用の教材を閲覧する
5	多様な保護者 成人への日本語支援、教材選び	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書 42-52 頁を読んでノートにまとめる
6	実習①：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	ディスカッション、質疑応答	支援報告を書く
7	支援相手を知る：人間関係の構築 支援計画をたてる	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
8	実習②：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	ディスカッション、質疑応答	支援報告を書く

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	やさしい日本語	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
10	実習③：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	ディスカッション、質疑応答	支援報告を書く
11	読む力をつける方法を考える	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
12	実習④：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	ディスカッション、質疑応答	支援報告を書く
13	読み聞かせの方法	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
14	実習⑤：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	ディスカッション、質疑応答	支援報告を書く
15	子どもたちの家庭環境を考える	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
16	実習⑥：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	ディスカッション、質疑応答	支援報告を書く
17	サービスラーニングの意味と自己の学びを考える	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
18	実習⑦：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	ディスカッション、質疑応答	支援報告を書く
19	個々の子どもの課題を整理する	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
20	実習⑧：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	ディスカッション、質疑応答	支援報告を書く
21	個々の子どもの個性とその子どもにあった支援方法を考える	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
22	実習⑨：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	ディスカッション、質疑応答	支援報告を書く
23	夏祭りプロジェクトを計画する	講義、ディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
24	実習⑩：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	ディスカッション、質疑応答	支援報告を書く
25	支援を振り返る	講義、ディスカッション、質疑応答	振り返りとレポート作成
26	夏祭りイベントの計画と準備	講義、ディスカッション、質疑応答	振り返りとレポート作成
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	実習⑪：コミュニティフレンド拠点での日本語支援と夏祭りイベント	ディスカッション、質疑応答	支援報告を書く
28	プレゼンテーションとまとめ	ディスカッション、質疑応答	プレゼンテーションの準備レポートを書く

テキスト	咲間まり子『保育者のための外国人保護者支援の本』（かもがわ出版）
履修条件、前提科目	本講の履修には「サービスラーニング入門講座」の単位を修得していることが前提条件となる。
その他特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。

科目名	SLE304: サービスラーニング（地域日本語支援B）					担当教員	大山　美佳
開講期	秋	開講時限	火金5限			研究室	4号館2階　講師控室
分類	選択	単位	3	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-⑤, 5-①

キーワード	地域日本語教室、「生活者としての外国人」、多文化共生、社会参加、居場所
授業の概要	学校外での外国人家庭の子どもたちや保護者に対する日本語および教科学習支援を通して、彼らの現状や社会課題について学ぶサービスラーニング（コミュニティフレンド）の科目である。火曜午後6時から7時半まで「はだのこども館」において支援活動を行い、金曜日5限には学内において支援方法について学んだり、検討したりする。
達成目標（授業の目的）	地域に増える外国につながる子どもたちを取り巻く状況について理解し、それぞれに合った支援活動を考えられるようになる。実際の活動を通した経験を振り返り、課題を発見して、必要な解決行動を模索し、実践に移すという省察行動ができるようになる。一対一の活動に留まらず周囲の人々との協働を心がける広い視野を持つことを目指す。
到達目標（学修成果）	①支援対象者の言語的ニーズをつかむことができる。 ②準備外の事態が起こったときの対応ができ、目前の事象にとらわれずに支援対象者の将来を考えた対応ができるようになる。 ③多文化共生社会づくりを担う人材として成長する。
評価方法	①授業への積極的且つ協力的な参加　27% ②コミュニティフレンドへの積極的な参加　44% ③イベントの企画・実施　29%
評価基準	①授業内のディスカッションに積極的に参加し、意見を述べているか。ディスカッションが活性化するように協力しているか。 ②自らの活動を省察した上で、支援記録を作成し、提出したか。 ③参加者全員を意識したイベントを企画・実施したかどうか。 ※成績は「P（合格）」「X（不合格）」のいずれかで評価されます。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	秦野市の多文化化の現状 在留資格（動画視聴）	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んで、ノートにまとめる。
2	「やさしい日本語」(1) 「やさしい日本語」の原則の理解	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んで、ノートにまとめる。
3	「やさしい日本語」(2) 「やさしい日本語」で自己紹介	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んで、ノートにまとめる。
4	地域日本語教室の定義・事例	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んで、ノートにまとめる。
5	支援準備 リソース室の活用	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んで、ノートにまとめる。
6	実習①：「はだのこども館」における日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動への準備をしておく。 活動記録を書く。
7	実習①：振り返り、報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	改善点を考え、記録に記入する。
8	実習②：「はだのこども館」における日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動への準備をしておく。 活動記録を書く。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	実習②：振り返り、報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	改善点を考え、記録に記入する。
10	実習③：「はだのこども館」における日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動への準備をしておく。 活動記録を書く。
11	実習④：「はだのこども館」における日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動への準備をしておく。 活動記録を書く。
12	クリスマスイベントと学期末イベントの素案作成	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	イベントの内容を考えておく。イベントの準備をする。
13	実習⑤：「はだのこども館」における日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動への準備をしておく。 活動記録を書く。
14	実習⑤：振り返り、報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	改善点を考え、記録に記入する。
15	実習⑥：「はだのこども館」における日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動への準備をしておく。 活動記録を書く。
16	実習⑥：振り返り、報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	改善点を考え、記録に記入する。
17	実習⑦：「はだのこども館」における日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動への準備をしておく。 活動記録を書く。
18	実習⑦：振り返り、報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	改善点を考え、記録に記入する。
19	実習⑧：「はだのこども館」における日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動への準備をしておく。 活動記録を書く。
20	実習⑧：振り返り、報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	改善点を考え、記録に記入する。
21	実習⑨：クリスマスイベントの実施（「はだのこども館」における日本語教科支援）	コミュニティフレンド参加	活動への準備をしておく。 活動記録を書く。
22	実習⑨：振り返り、報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	改善点を考え、記録に記入する。
23	外国につながる子どもと保護者を巡る社会問題	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	指定した論文を読んで、ノートにまとめる。
24	学期末イベントの準備	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	イベントの内容を考えておく。イベントの準備をする。
25	実習⑩：「はだのこども館」における日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動への準備をしておく。 活動記録を書く。
26	実習⑩：振り返り、報告 イベントの振り返り	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	改善点を考え、記録に記入する。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	実習⑪：「はだのこども館」における日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動への準備をしておく。 活動記録を書く。
28	最終プレゼンテーション	プレゼンテーション、質疑応答	プレゼンテーションの準備をする。最終レポートを書く。

テキスト	なし。授業内容に関するデータを Moodle 上で配付する。
履修条件、前提科目	本講の履修には「サービスラーニング入門講座」の単位を修得していることが前提条件となる。
その他特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。

科目名	EDU322:　リテラシーと多文化教育					担当教員	M. Lupas
開講期	秋	開講時限	火金 5 限			研究室	4206
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-⑤

キーワード	literacy education, multicultural education, teaching reading, teaching young learners
授業の概要	The course is taught in English and introduces the principles of reading and writing instruction used in kindergarten through elementary school grade 5 in the United States and then analyzes videos of classroom teaching in the United States to understand how these principles are applied. Students can use the knowledge gained in this course to improve their skills as language tutors of English. They will also gain awareness of cross-cultural differences between the American and Japanese education systems.
達成目標（授業の目的）	Course goals are: ·to understand the basic principles of teaching how to read and write in monolingual, bilingual, and multilingual classrooms, ·to become familiar with methods and materials used to teach literacy skills at the elementary school level, ·and to become aware of cross-cultural similarities and differences in approaches to literacy education.
到達目標（学修成果）	By the end of the course students will be able to do the following: (1) Understand and give examples of the key components of teaching reading and how they are carried out in the elementary school classroom. (2) Write clear and organized texts of 300 words or more in English on a regular basis. (3) Summarize and critique the contents of video case studies in small and large group discussion. (4) Compare their own learning experiences with those depicted in the videos and readings.
評価方法	Participation and discussion 50% Reaction papers 50%
評価基準	(1) Participation and discussion: Demonstrate accurate comprehension of the readings and videos as well as show ability to reflect on the contents by responding effectively to the instructor's questions orally or through in-class tasks including small-group and whole-group discussions. Demonstrate understanding of the definition of vocabulary, keywords, and key components of literacy by using them to answer the instructor's questions and comment on the videos. (2) Reaction papers: Punctuality, completeness (meets required length of 300 words), organization, and detail in describing, analyzing, and evaluating the video case studies of teaching. Ability to think critically about the video contents (basic components of reading, key terminology, and concepts of literacy instruction as demonstrated in the videos and readings). Ability to compare one's own learning experiences with those depicted in the videos.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Basic reading skills, oral language, phonological awareness, phonics, fluency, vocabulary	video, lecture, reading	preview the textbook
2	Grades K-2: Video 1: Becoming readers and writers	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
3	Present reaction paper. Textbook reading: "Oral Language" p.8	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
4	Grades K-2: Video 2: Writer's Journal (level appropriate independent writing)	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
5	Present reaction paper. Textbook reading: "Phonological Awareness" p.9	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
6	Grades K-2: Video 3: Building oral language	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Present reaction paper. Textbook reading: “Fluency” p.11	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
8	Grades K-2: Video 4: Thalia learns the details Bilingual schools	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
9	Present reaction paper. Textbook reading: “Learning Vocabulary” p.12	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
10	Grades K-2: Video 5: Assessment driven instruction.	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
11	Present reaction paper. Textbook reading: “Prior Knowledge” p.13	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
12	Grades K-2: Video 6: Cassandra becomes a fluent reader. Using visual clues.	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
13	Present reaction paper. Textbook reading: “Comprehension” p.14	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
14	Grades K-2: Video 7: Connecting Skills to Text Phonics	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
15	Present reaction paper. Textbook reading: “Motivation” p.15	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
16	Grades K-2: Video 8: Promoting readers as leaders	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
17	Present reaction paper. Textbook reading: “Integrated Reading” p.16	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
18	Grades K-2: Video 11: Staying on Topic Autonomy	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
19	Present reaction paper. Textbook reading: “Assessment” p.18	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
20	Grades 3-5: Workshop 1: Creating contexts for learning.	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
21	Present reaction paper. Textbook reading: “Culture factor” p. 19	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
22	Grades 3-5: Workshop 2: Fluency and word study.	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
23	Present reaction paper. Textbook reading: “The Role of Practice” p.20	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
24	Grades 3-5: Workshop 3: Building comprehension	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
25	Present reaction paper. Textbook reading: “Conclusion” p.21	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
26	Grades 3-5: Workshop 4: Writing (reading and writing connection).	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Present reaction paper. Discussion.	group work, video, discussion	write a reaction paper
28	Review and individual consultations.	lecture, one-on-one consultations	read video description handout

テキスト	① Elizabeth Pang and others. *Teaching Reading* (UNESCO International Bureau of Education, PDF in Moodle). ② Videos and handouts from http://learner.org and other sources.
参 考 書	Horn, Martha, and Mary Ellen Giacobbe. *Talking, Drawing, Writing* (Stenhouse). Banks, James. *An Introduction to Multicultural Education* (Pearson).